

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	目次	—	1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等	1. 12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等	⑤
2	冒頭	—	また、1号、2号、3号、4号及び5号炉の原子炉压力容器に燃料が装荷されていないことを前提とする。	(記載なし)	⑤
3	冒頭	—	重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置については、技術的能力の審査基準で規定する内容に加え、設置許可基準規則に基づいて整備する設備の運用手順等についても考慮した第1表に示す「重大事故等対策における手順書の概要」を含めて手順書等を適切に整備する。	重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置については、技術的能力の審査基準で規定する内容に加え、設置許可基準規則に基づいて整備する設備の運用手順等についても考慮し、適切に整備する。整備する手順書については「重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力1.1 から1.19」にて補足する。	⑤
4	1.0.1 (1) a.	1.0-1	通常時に使用する系統から弁操作又は工具等の使用により速やかに切り替えられるように、当該操作等を明確にし、通常時に使用する系統から速やかに切り替えるために必要な手順等を整備するとともに、確実に行えるよう訓練を実施する。	通常時に使用する系統から弁操作等により速やかに切り替えるために必要な手順等を整備するとともに、確実に行えるよう訓練を実施する。	⑤
5	1.0.1 (2) a.	1.0-3	なお、今後も多様な復旧手段の確保、復旧を想定する機器の拡大、その他の有効な復旧対策について継続的な検討を行うとともに、そのために必要な予備品の確保に努める。 また、予備品の取替え作業に必要な資機材等として、がれき撤去等のためのホイールローダ等の重機、夜間の対応を想定した照明機器等及びその他作業環境を想定した資機材を確保する。	また、予備品への取替えのために必要な資機材等を確保する。 なお、今後も多様な復旧手段の確保、復旧を想定する機器の拡大、その他の有効な復旧対策について継続的な検討を行うとともに、そのために必要な予備品の確保に努める。 また、予備品の取替え作業に必要な資機材等として、ガレキ撤去等のためのホイールローダ、夜間の対応を想定した可搬型照明設備及びその他作業環境を想定した資機材を確保する。	⑤
6	1.0.1 (2) c.	1.0-3	アクセスルートは、自然現象、発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの(故意によるものを除く)、溢水及び火災を想定しても設備の復旧作業に支障がないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する。	アクセスルートは、自然現象、人為事象、溢水及び火災を想定しても設備の復旧作業に支障がないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する。	⑤
7	1.0.1 (3)	1.0-4	また、関係機関等とあらかじめ協議・合意の上、外部からの支援計画を定め、重大事故等時の支援及び燃料の供給の協定を締結し、事故等発生後6日間までに支援を受けられる体制を整備する。	また、関係機関等とあらかじめ協議及び合意の上、外部からの支援計画を定め、重大事故等発生時の支援の協定を締結し、事故等発生後6日後までに発電所を支援できる体制を整備する。	⑤
8	1.0.1 (4) c.	1.0-5	重大事故等を起因とする原子力災害が発生するおそれがある場合又は発生した場合に、所長(原子力防災管理者)は、事象に応じて原子力警戒態勢又は緊急時態勢を発令し、所長(原子力防災管理者)を本部長とする発電所の原子力警戒本部又は緊急時対策本部(以下「発電所対策本部」という。)を設置するとともに、重大事故等対策を実施する。	発電所において重大事故等対策の実施が必要な状況となった場合には、事象に応じて、所長(原子力防災管理者)は原子力警戒態勢又は緊急時態勢を発令し、所長(原子力防災管理者)を本部長とする原子力警戒態勢又は緊急時対策本部(以下、「発電所対策本部」という。)を設置するとともに、重大事故等対策を実施する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
9	1.0.1 (4) c.	1.0-5	発電所対策本部は、重大事故等対策を実施する実施組織、技術的助言を行う技術支援組織及び環境を整える運営支援組織で編成し、組織が効率的に重大事故等対策を実施できるよう、機能班の構成を行う。また、各班の役割分担、対策の実施責任を有する班長を定め、指揮命令系統を明確にし、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備する。	発電所対策本部は、重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織から構成されており、それぞれの機能ごとに責任者を定め、役割分担を明確にし、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制とする。また、複数号炉の同時被災の場合においても、重大事故等対処設備を使用して炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止の重大事故対策に対応できる体制とする。さらに、夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において、重大事故等が発生した場合でも速やかに対策を行うことができるよう、発電所内に必要な要員を常時確保する。	⑤
10	1.0.1 (4) c.	1.0-5	複数号炉の同時被災の場合において、重大事故等対処設備を使用して6号及び7号炉の炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止の重大事故等対策を実施するとともに、他号炉の被災対応ができる体制とする。さらに、夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において、重大事故等が発生した場合でも、速やかに対策を行えるよう、発電所内に必要な重大事故等に対処する要員を常時確保する。	また、複数号炉の同時被災の場合においても、重大事故等対処設備を使用して炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止の重大事故対策に対応できる体制とする。さらに、夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において、重大事故等が発生した場合でも速やかに対策を行うことができるよう、発電所内に必要な要員を常時確保する。	⑤
11	1.0.1 (4) c.	1.0-6	発電用原子炉主任技術者は、号炉ごとに選任し、重大事故等時の発電所対策本部において、独立性を確保する。各号炉の発電用原子炉主任技術者は、複数号炉の同時被災時に、号炉ごとの保安監督を誠実かつ最優先に行う。また、実施組織による重大事故等対策の実施に当たり、保安上必要な場合は、重大事故等に対処する要員(発電所対策本部長を含む。)へ指示を行い、事故の拡大防止又は影響緩和を図る。	6号及び7号炉の発電用原子炉主任技術者は号炉ごとに選任し、独立性を確保して配置し、6号及び7号炉同時被災時には、号炉ごとの保安監督を誠実かつ最優先に行う。また、重大事故等の拡大防止又は影響緩和に関し、保安上必要な場合は、重大事故等に対処する要員(発電所対策本部長を含む。)へ指示を行い、事故の拡大防止又は影響緩和を図る。	⑤
12	1.0.1 (4) c.	1.0-6	発電所において原子力警戒態勢又は緊急時態勢が発令された場合には、社長は本社における原子力警戒態勢又は緊急時態勢を発令し、東京本社の原子力施設事態即応センターに発電所外部の支援組織である本社原子力警戒本部又は本社緊急時対策本部(以下「本社対策本部」という。)を設置する。本社対策本部は、原子力部門のみでなく他部門も含めた全社(全社とは、東京電力ホールディングス株式会社及び各事業子会社(東京電力フュエル&パワー株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、東京電力エナジーパートナー株式会社)のことをいう。)での体制とし、発電所対策本部が重大事故等対策に専念できるよう技術面及び運用面で支援する。また、重大事故等発生後の中長期的な対応が必要になる場合に備えて、本社対策本部が中心となり、社内外の関係各所と連携し、適切かつ効果的な対応を検討できる体制を整備する。	発電所において原子力警戒態勢又は緊急時態勢が発令された場合には、社長は本社における原子力警戒態勢又は緊急時態勢を発令し、社長を本部長とする本社原子力警戒本部又は本社緊急時対策本部(以下、「本社対策本部」という。)を原子力施設事態即応センターに設置する。本社対策本部は、原子力部門のみでなく他部門も含めた全社大(全社とは、東京電力ホールディングス株式会社及び各事業子会社(東京電力フュエル&パワー株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、東京電力エナジーパートナー株式会社)のことをいい以下同様とする。)での体制とし、発電所対策本部が重大事故等対策に専念できるよう技術面及び運用面で支援する。また、重大事故等発生後の中長期的な対応が必要になる場合に備えて、本社対策本部が中心となって社内外の関係各所と連携し、適切かつ効果的な対策を検討できる体制を整備する。	⑤
13	1.0.2 (1) a.	1.0-8	本来の用途以外の用途(本来の用途以外の用途とは、設置している設備の本来の機能とは異なる目的で使用する場合に、本来の系統構成とは異なる系統構成を実施し設備を使用する場合をいう。ただし、本来の機能と同じ目的で使用するために設置している可搬型設備を使用する場合は除く。)として重大事故等に対処するために使用する設備にあっては、通常時に使用する系統から弁操作又は工具等の使用により速やかに切り替えられるように、当該操作等を明確にし、通常時に使用する系統から速やかに切り替えるために必要な手順等を整備するとともに、確実に行えるよう訓練を実施する。	本来の用途以外の用途(本来の用途以外の用途とは、設置している設備の本来の機能とは異なる目的で使用する場合に、本来の系統構成とは異なる系統構成を実施し設備を使用する場合をいう。ただし、本来の機能と同じ目的で使用するために設置している可搬型設備を使用する場合は除く。)として重大事故等に対処するために使用する設備については、通常時に使用する系統から弁操作等により速やかに切り替えるために、必要な手順等を整備するとともに、確実に行えるよう訓練を実施する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
14	1.0.2 (1) b.	1.0-9	屋外及び屋内において、アクセスルートは、想定される自然現象、発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの(故意によるものを除く。)、溢水及び火災を想定しても、運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する。	屋外及び屋内において、アクセスルートは、自然現象、人為事象、溢水及び火災を想定しても運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する。	⑤
15	1.0.2 (1) b.	1.0-9	屋内及び屋外アクセスルートに対する自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、屋外アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、屋外アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪及び火山の影響を選定する。なお、森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(火災・爆発)として選定する。地滑りについては、地震による影響に包絡される。 屋外及び屋内アクセスルートに対する発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの(故意によるものを除く。))については、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物(航空機落下等)、ダムの崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、屋外アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、屋外アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)及び有毒ガスを選定する。 また、重大事故等時の高線量下環境を考慮する。	屋内及び屋外アクセスルートは、想定される自然現象に対して地震、津波、風(台風)、竜巻、積雪、低温、落雷、火山による降灰、森林火災、降水及び生物学的事象を、人為事象に対して、火災・爆発、航空機落下及び有毒ガスを考慮する。また、重大事故等発生時の高線量下環境を考慮する。 想定される自然現象のうち、落雷及び生物学的事象については、直接の影響はない。	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更) ⑤(記載を他条文と統一)
16	1.0.2 (1) b. (a)	1.0-11	重大事故等が発生した場合、事故収束に迅速に対応するため、屋外の可搬型重大事故等対処設備(可搬型代替注水ポンプ、可搬型代替交流電源設備、可搬型モニタリングポスト等)の保管場所から使用場所まで運搬するアクセスルートの状況確認、取水箇所の状況確認及びホース敷設ルートの状況確認を行い、併せて、軽油タンク、常設代替交流電源設備及びその他屋外設備の被害状況の把握を行う。	重大事故等が発生した場合、事故収束に迅速に対応するため、屋外の可搬型重大事故等対処設備の保管場所から使用場所まで運搬するアクセスルートの状況確認、取水箇所の状況確認、ホース敷設ルートの状況確認を行い、あわせて、軽油タンク、常設代替交流電源設備、その他屋外設備の被害状況の把握を行う。	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
17	1.0.2 (1) b. (a)	1.0-11	屋外アクセスルートに対する地震による影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり、不等沈下等)、 <b>その他自然現象による影響(風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪並びに火山の影響)</b> を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早期に復旧可能なアクセスルートを確認するため、障害物を除去可能なホイールローダ等の <b>重機</b> を保管、使用し、それを運転できる <b>要員</b> を確保する。	屋外アクセスルートに対する想定される自然現象のうち、地震による影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり、不等沈下)、風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪、火山による降灰を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早期に復旧可能なアクセスルートを確認するため、障害物を除去可能なホイールローダを保管、使用し、それを運転できる緊急時対策要員を確保する。屋外アクセスルートに対する想定される自然現象のうち、地震による影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり、不等沈下)、風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪、火山による降灰を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早期に復旧可能なアクセスルートを確認するため、障害物を除去可能なホイールローダを保管、使用し、それを運転できる緊急時対策要員を確保する。	⑤
18	1.0.2 (1) b. (a)	1.0-11	屋外アクセスルートは、 <b>発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの(故意によるものを除く。)</b> のうち、 <b>火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)</b> 及び <b>有毒ガス</b> に対して、迂回路も考慮した複数のアクセスルートを確認する。	屋外アクセスルートは、想定される自然現象のうち森林火災、人為事象のうち <b>火災・爆発、航空機落下及び有毒ガス</b> に対して、迂回路も考慮した複数のアクセスルートを確認する。	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更)
19	1.0.2 (1) b. (a)	1.0-12	不等沈下等による通行に支障がある段差の発生が想定される箇所においては、 <b>段差緩和対策等の実施、迂回</b> 又は <b>砕石による段差箇所の仮復旧</b> により、通行性を確保する。	不等沈下による通行に支障がある段差の発生が想定される箇所においては、迂回する又は砕石による段差解消対策により通行性を確保する。	⑤
20	1.0.2 (1) b. (a)	1.0-13	(削除)	柏崎刈羽原子力発電所の免震重要棟内緊急時対策所は6号及び7号炉との距離が長く、緊急時対策要員にとって免震重要棟内緊急時対策所から現場まで移動距離があるという発電所特有の特徴がある。 免震重要棟内緊急時対策所と6号及び7号炉の距離がある点について、重大事故等に対処するために必要な指示を行う要員が免震重要棟内緊急時対策所にとどまる点に着目すると放射線被ばく上有効であるが、移動に車両が使用できない場合、要員の現場への移動や現場からの待避に時間がかかることになる。このため、重大事故等対処時において、万一、気象状況の急変、爆発等の不測の事態が発生した場合に現場要員が待避できるよう、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所若しくは6号及び7号炉近傍に複数の一時待避場所(5号炉海水熱交換器建屋、大湊側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋、地下電気洞道(大湊側)、大湊側出入管理建屋)を設定することで現場要員の安全性向上を図る。なお、現場要員は、車両により免震重要棟内緊急時対策所へ待避することを基本とするが、徒歩による移動も考慮し、地上での待避と比較し放射線影響に対して一定の効果が期待できる地下電気洞道を使用した徒歩のアクセスルート等、複数のアクセスルートを確認する。	②(免震重要棟の自主化)
21	1.0.2 (1) b. (b)	1.0-13	重大事故等が発生した場合において、屋内の可搬型重大事故等対処設備( <b>可搬型計測器、逃がし安全弁用可搬型蓄電池、中央制御室可搬型陽圧化空調機等</b> )の保管場所に移動するためのアクセスルートの状況確認を行い、併せて、その他屋内設備の被害状況の把握を行う。	重大事故等が発生した場合において、屋内の可搬型重大事故等対処設備までのアクセスルートの状況確認を行い、あわせて、その他屋内設備の被害状況の把握を行う。	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
22	1.0.2 (1) b. (b)	1.0-13	屋内アクセスルートは、自然現象として選定する地震、津波、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象による影響に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に確保する。なお、森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(故意によるものを除く。)(火災・爆発)として選定する。 また、発電所敷地又はその周辺における発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの(故意によるものを除く。)(火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)及び有毒ガスに対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に確保する。	屋内アクセスルートは、地震、津波及びその他自然現象による影響(風(台風)、竜巻、積雪、低温、落雷、火山による降灰、森林火災、降水、生物学的事象)並びに人為事象(火災・爆発、航空機落下及び有毒ガス)に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に確保する。	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更)  ⑤
23	1.0.2 (1) b. (b)	1.0-14	屋内アクセスルートは、重大事故等時に必要となる現場操作を実施する場所まで外部事象による影響を考慮しても移動可能なルートを選定する。また、屋内アクセスルート上の資機材については、必要に応じて固縛又は転倒防止処置により、通行に支障をきたさない措置を講じる。 屋内アクセスルート周辺の機器に対しては火災の発生防止処置を実施する。	屋内アクセスルートは、重大事故等が発生した場合において必要となる現場操作を実施する場所まで外部事象による影響を考慮しても移動可能なルートを選定する。また、地震時に通行が阻害されないように、通行性確保対策として、屋内アクセスルート上の資機材を固縛、転倒防止対策及び火災の発生防止対策により通行に支障をきたさない措置を講じる。万一、通行が阻害される場合は、迂回する又は乗り越えることで対処する。	⑤
24	1.0.2 (3)	1.0-18	プラントメーカー、協力会社及びその他の関係機関とは平時から必要な連絡体制を整備する等、協力関係を構築するとともに、あらかじめ重大事故等に備え、協議・合意の上、外部からの支援計画を定め、重大事故等時の支援及び燃料の供給の協定を締結する。	プラントメーカー、協力会社及びその他の関係機関とは平時から必要な連絡体制を整備する等協力関係を構築するとともに、あらかじめ協議及び合意の上、外部からの支援計画を定め、重大事故等発生時の支援の協定を締結し、発電所を支援できる体制を整備する。	⑤
25	1.0.2 (3)	1.0-19	発電所外であらかじめ用意された手段(重大事故等対処設備と同種の設備(電源車等)、予備品、燃料等)について支援を受けることによって、発電所内に配備する重大事故等対処設備に不具合があった場合の代替手段及び燃料の確保を行い、継続的な重大事故等対策を実施できるよう事象発生後6日間までに支援を受けられる体制を整備する。	事故発生後7日間以降の事故収束対応を維持するため、事故等発生後6日後までに、あらかじめ選定している候補施設の中から原子力事業所災害対策支援拠点を選定し、発電所の事故収束対応を維持するために必要な燃料、資機材等を継続的に支援できる体制を整備する。また、発電所内に配備している重大事故等対処設備に不具合があった場合の代替手段、資機材及び燃料を支援できるよう、社内で発電所外に保有している重大事故等対処設備と同種の設備(消防車、電源車等)、主要な設備の取替部品、食糧その他の消耗品も含めた資機材、予備品及び燃料等について、事象発生後6日後までに支援できる体制を整備する。	⑤
26	1.0.2 (4) a.	1.0-22	また、手順書は使用主体に応じて、運転操作手順書及び緊急時対策本部用手順書を整備する。 さらに、緊急時対策本部用手順書は使用主体に応じて、緊急時対策本部が使用する手順書、緊急時対策本部のうち技術支援組織が使用する手順書及び緊急時対策本部のうち実施組織(当直(運転員)以外)が使用する手順書に分類して整備する。	また、手順書は使用主体に応じて、運転員が使用する手順書(以下、「運転操作手順書」という。)、緊急時対策要員が使用する手順書(以下、「緊急時対策本部用手順書」という。)を整備する。	⑤
27	1.0.2 (4) a. (a)	1.0-23	具体的には、第1表に示す「重大事故等対策における手順書の概要」のうち「1.15 事故時の計装に関する手順等」の内容を含むものとする。	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
28	1.0.2 (4) a. (b)	1.0-23	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防ぐために、最優先すべき操作等を迷うことなく判断し実施できるよう、判断基準をあらかじめ明確にした手順を以下のとおり運転操作手順書又は緊急時対策本部用手順書に整備する。	(b) 炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するために、最優先すべき操作等を迷うことなく判断し実施できるよう、判断基準を明確にした手順を以下のとおり整備する。	⑤
29	1.0.2 (4) a. (b)	1.0-23	原子炉格納容器圧力が限界圧力に達する前、又は、原子炉格納容器からの異常漏えいが発生した場合に、確実に格納容器圧力逃がし装置等の使用が行えるよう判断基準を明確にした手順を運転操作手順書に整備し、この運転操作手順書に従い、発電所対策本部長の権限と責任において、当直副長が格納容器圧力逃がし装置等によるベントを実施する。	原子炉格納容器の破損防止のため、迷わず格納容器圧力逃がし装置等の使用が行えるよう判断基準を明確にした手順を、運転操作手順書及び緊急時対策本部用手順書に整備する。	⑤
30	1.0.2 (4) a. (b)	1.0-24	全交流動力電源喪失時等において、準備に長時間を要する可搬型重大事故等対処設備を必要な時期に使用可能とするため、準備に要する時間を考慮の上、手順着手の判断基準を明確にした手順を整備する。	全交流動力電源喪失時等において、準備に長時間を要する可搬型設備を必要な時期に使用可能とするため、準備に掛かる時間を考慮の上、手順着手の判断基準を明確にした手順を緊急時対策本部用手順書に整備する。	⑤
31	1.0.2 (4) a. (b)	1.0-24	重大事故等対策時においては、設計基準事故時に用いる操作の制限事項は適用しないことを明確にした手順を整備する。	-	⑤
32	1.0.2 (4) a. (c)	1.0-24	重大事故等時の運転操作において、当直副長が躊躇せず指示できるよう、財産(設備等)保護よりも安全を優先する方針に基づき定めた運転操作手順書を整備し、判断基準を明記する。	重大事故等発生時の運転操作において、当直副長が躊躇せず指示できるよう、財産(設備等)保護よりも安全を優先する方針に基づき定めた判断基準を運転操作手順書に整備する。	⑤
33	1.0.2 (4) a. (d)	1.0-26	実施組織が重大事故等対策を的確に実施するためのその他の対応手順として、大気及び海洋への放射性物質の拡散の抑制、中央制御室、モニタリング設備、発電所対策本部並びに通信連絡設備に関する手順書を定める。	実施組織が重大事故等対策を的確に実施するためのその他の対応手順として、大気、海洋への放射性物質の拡散の抑制、中央制御室、モニタリング設備、発電所対策本部及び通信連絡設備に関する手順書を定める。	⑤
34	1.0.2 (4) a. (d)	1.0-26	運転操作手順書は、事故の進展状況に応じて構成を明確化し、手順書相互間を的確に移行できるよう、移行基準を明確にする。	運転操作手順書は、事故の進展状況に応じて手順書相互間を的確に移行できるよう、移行基準を明確にする。	⑤
35	1.0.2 (4) a. (e)	1.0-28	整理に当たっては、耐震性、耐環境性のある計測機器での確認の可否、記録の可否、直流電源喪失時における可搬型計測器による計測可否等の情報を運転操作手順書に明記する。 なお、発電用原子炉施設の状態を監視するパラメータが故障等により計測不能な場合は、他のパラメータにて当該パラメータを推定する方法を緊急時対策本部用手順書に明記する。 重大事故等対策実施時におけるパラメータ挙動予測、影響評価すべき項目及び監視パラメータ等を緊急時対策本部用手順書に整理する。	整理に当たっては、耐震性、耐環境性のある計測機器での確認の可否、記録の可否、直流電源喪失時における可搬型計測器による計測可否等の情報を明記する。 重大事故等対策実施時におけるパラメータ挙動予測、影響評価すべき項目及び監視パラメータ等を手順書に整理する。	⑤
36	1.0.2 (4) a. (e)	1.0-29	また、所員の高台への避難及び扉の閉止を行い、津波監視カメラ及び取水槽水	また、所員の高台への避難及び扉の閉止を行い、津波監視カメラ及び取水ピット水位計による津波の継続監視を行う手順を整備する。	⑤
37	1.0.2 (4) a. (f)	1.0-29	竜巻の発生が予想される場合には、車両の退避又は固縛の実施、クレーン作業の中止、外部事象防護対象施設を内包する区画に設置する扉の閉止状態を確認する手順を整備する。 その他の前兆事象を伴う事象については、気象情報の収集、巡視点検の強化及び前兆事象に応じた事故の未然防止の対応を行う手順を整備する。	また、竜巻の発生が予想される場合には、車両の退避又は固縛の実施、建屋の水密扉の閉止状態を確認する手順を整備する。 その他の前兆事象を伴う事象については、気象情報の収集、巡視点検の強化及び前兆事象に応じた事故の未然防止の対応を行う手順を整備するとともに、設計基準値を超え、又は設計基準値超えが見込まれると判断した場合、原子炉を停止する手順を整備する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
38	1.0.2 (4) b.	1.0-31	・重大事故等に対処する要員が力量の維持及び向上を図るためには、各要員の役割に応じた教育及び訓練を受ける必要がある。各要員の役割に応じた教育及び訓練を計画的に繰り返すことにより、各手順を習熟し、力量の維持及び向上を図る。	・重大事故等に対処する要員が力量の維持及び向上を図るためには、各要員の役割に応じた教育及び訓練を受ける必要がある。各要員の役割に応じた教育及び訓練を年1回以上、毎年繰り返すことにより、各手順を習熟し、力量の維持及び向上を図る。	⑤
39	1.0.2 (4) b.	1.0-32	・重大事故等対策における中央制御室での操作及び動作状況確認等の短時間で実施できる操作以外の作業や操作については、第2表に示す「重大事故等対策における操作の成立性」の必要な重大事故等に対処する要員数及び想定時間にて対応できるよう、教育及び訓練により、効率的かつ確実に実施できることを確認する。	・重大事故等対策における中央制御室での操作及び動作状況確認等の短時間で実施できる操作以外の作業や操作について、必要な要員数及び想定時間にて対応できるよう、教育及び訓練により効果的かつ確実に実施できることを確認する。	⑤
40	1.0.2 (4) b. (b)	1.0-33	重大事故等時のプラント状況の把握、的確な対応操作の選択等、実施組織及び支援組織の実効性等を総合的に確認するための演習等を計画的に実施する。	重大事故等発生時のプラント状況の把握、的確な対応操作の選択等実施組織及び支援組織の実効性等を総合的に確認するための演習等を定期的に計画する。	⑤
41	1.0.2 (4) b. (b)	1.0-34	実施組織の緊急時対策要員に対しては、要員の役割に応じて、発電用原子炉施設の冷却機能の回復のために必要な電源確保及び可搬型重大事故等対処設備を使用した給水確保の対応操作を習得することを目的に、手順や資機材の取扱い方法の習得を図るための訓練を、訓練ごとに頻度を定めて実施する。訓練では、訓練ごとの訓練対象者全員が実際の設備又は訓練設備を操作する訓練を実施する。	実施組織の緊急時対策要員に対しては、発電用原子炉施設の冷却機能の回復のために必要な電源確保及び可搬型設備を使用した給水確保の対応操作を習得することを目的に、手順や資機材の取り扱い方法の習得を図るための個別訓練を、訓練ごとに実施頻度を定めて実施する。個別訓練は、訓練ごとの訓練対象者全員が実際の設備又は訓練設備を操作する訓練を実施する。	⑤
42	1.0.2 (4) b. (d)	1.0-35	(d) 重大事故等時の対応や事故後の復旧を迅速に実施するために、重大事故等時の事象進展により高線量下になる場所を想定した事故時対応訓練、夜間及び降雨並びに強風等の悪天候下等を想定した事故時対応訓練等、様々な状況を想定し、訓練を実施する。	(d) 重大事故等発生時の対応や事故後の復旧を迅速に実施するために、重大事故等発生時の事象進展により高線量下になる場所を想定した事故時対応訓練、夜間及び降雨、降雪並びに強風等の悪天候下等を想定した事故時対応訓練等、様々な状況を想定し、訓練を実施する。	⑤
43	1.0.2 (4) c. (a)	1.0-39	発電所対策本部は、重大事故等対策を実施する実施組織、実施組織に対して技術的助言を行う技術支援組織及び実施組織が事故対策に専念できる環境を整える運営支援組織で編成する。 通常時の発電所体制下での運転、日常保守点検活動の実務経験が発電所対策本部での事故対応、復旧活動に活かすことができ、組織が効率的に重大事故等対策を実施できるよう、専門性及び経験を考慮した上で機能班の構成を行う。また、各班の役割分担、対策の実施責任を有する班長を定め、指揮命令系統を明確にし、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備する。	発電所対策本部は、重大事故等対策を実施する実施組織、実施組織に対して技術的助言を行う技術支援組織及び実施組織が事故対策に専念できる環境を整える運営支援組織で編成する。また、発電所対策本部は、通常時の発電所体制下での運転、日常保守点検活動の実施経験を活かし、組織が効果的に重大事故等対策を実施できるよう、専門性及び経験を考慮した機能班で構成する。	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
44	1.0.2 (4) c. (a)	1.0-40	(削除)	発電所における原子力防災組織は、その基本的な機能として、①意思決定・指揮、②対外対応、③情報収集・計画立案、④現場対応、⑤ロジスティック・リソース管理を有しており、①の責任者として本部長(所長)が当たり、②～⑤の機能ごとに責任者として「統括」を置いている。 本部長(所長)の権限については、あらかじめ定める手順書に記載された範囲において、②～⑤の各統括に委譲されており、各統括はその範囲内において自律的に活動することができる。 ②～⑤の機能を担う必要要員規模は対応すべき事故の様相、また事故の進展や収束の状況により異なるが、ブルーム通過の前・中・後でも要員の規模を拡大・縮小しながら円滑な対応が可能な組織設計となっている。	⑤(補正書添付の記載と整合を取った(削除した記載は、添付1.0.10に記載あり))
45	1.0.2 (4) c. (b)	1.0-41	(b) 実施組織は、号機統括を配置し、号機班、当直(運転員)、復旧班、自衛消防隊により構成し、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備する。 号機統括は、対象号炉に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わる対応の統括を行う。 号機班は、当直(運転員)からの重要パラメータの入手、事故対応手段の選定に関する当直(運転員)の支援を行う。 当直(運転員)は、事故の影響緩和及び拡大防止に関わるプラントの運転操作を行う。 復旧班は、事故の影響緩和及び拡大防止に関わる可搬型重大事故等対処設備の準備と操作、及び不具合設備の復旧を行う。 自衛消防隊は、火災発生時における消火活動を行う。	(b) 実施組織は、号機統括を配置し、号機班、当直(運転員)、復旧班及び自衛消防隊により構成し、重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備する。 号機統括は、対象号炉に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わるプラント設備の運転操作への助言、可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧の統括を行う。 号機班は、当直からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手、対策本部へインプット、事故対応手段の選定に関する当直のサポート、当直からの支援要請に関する号機統括への助言を行う。 当直(運転員)は、重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作、中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に関わるプラントの運転操作を行う。 復旧班は、事故の影響緩和及び拡大防止に関わる可搬型設備の準備と操作、可搬型設備の準備状況の把握、号機統括へインプット、不具合設備の復旧の実施を行う。 自衛消防隊は、火災発生時における消火活動を行う。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
46	1.0.2 (4) c. (c)	1.0-42	<p>発電所対策本部は、複数号炉の同時被災の場合において、情報の混乱や指揮命令が遅れることのないよう、発電所対策本部長が活動方針を示し、号炉ごとに配置された号機統括は、対象号炉の事故影響緩和・拡大防止に関わるプラント運転操作への助言や可搬型重大事故等対処設備を用いた対応、不具合設備の復旧等の統括を行う。</p> <p>複数号炉の同時被災の場合において、必要な緊急時対策要員を発電所内に常時確保することにより、重大事故等対処設備を使用して6号及び7号炉の炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止の重大事故等対策を実施するとともに、他号炉の使用済燃料プールの被災対応ができる体制とする。</p> <p>また、複数号炉の同時被災時において、当直（運転員）は号炉ごとの運転操作指揮を当直副長が行い、号炉ごとに運転操作に係る情報収集や事故対策の検討等を行うことにより、情報の混乱や指揮命令が遅れることのない体制とする。</p>	<p>複数号炉の同時被災時においても、号炉ごとの運転操作指揮を指揮・命令に関して必要な力量を有している※当直副長が行い、号炉ごとに運転操作に係る情報収集や事故対策の検討等を行うことにより、情報の混乱や指揮命令が遅れることのない体制とする。</p> <p>※「指揮・命令に関して必要な力量を有している」とは、BWR運転訓練センターにおいて、指揮命令、状況判断等について習得する上級初期訓練、及び重大事故等への拡大を防ぐ取り組み、炉心損傷後の対応、状況判断を含む予測について習得するSA(上級)訓練を受講していることを言う。</p> <p>当直長は適宜、発電所対策本部の号機班長と連携しプラント対応操作の状況を報告する。</p> <p>また、号炉ごとの当直主任及び主機操作員は中央制御室内のプラント操作・監視、現場操作の指示を行い、現場支援担当・当直副主任・補機操作員は2名以上が1組で号炉ごとの現場操作を行う。</p> <p>発電所対策本部は、複数号炉の同時被災の場合において、情報の混乱や指揮命令が遅れることのないよう、発電所対策本部の本部長が定めた活動方針に従い、号炉ごとに配置された号機統括は、対象号炉の事故影響緩和・拡大防止に関わるプラント運転操作への助言や可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧等の統括を行う。</p> <p>複数号炉の同時被災の場合において、必要な緊急時対策要員を発電所内に常時確保することにより、重大事故等対処設備を使用して6号及び7号炉の炉心損傷防止及び原子炉格納容器破損防止の重大事故等対策を実施するとともに、他号炉の使用済燃料プールの被災対応ができる体制とする。</p> <p>複数号炉の同時被災の場合において、情報の混乱により通報連絡が遅れることのないよう、通報連絡を行う通報班を設け、原子力災害対策特別措置法に定められた通報連絡先へ円滑に通報連絡を行う体制とする。</p> <p>6号及び7号炉の同時被災時、あらかじめ定めた手順から逸脱するプラント状態に進展するおそれがある場合又は進展した場合、本部長は計画班による事故進展予測を基に優先号炉を決定する。</p>	<p>⑤(記載を再整理: 補正書添十の記載と整合を取った(削除した内容は、添付1.0.10で整理))</p> <p>(通報連絡については、当社は支援組織として整理しており、実施組織の記載となっている本項から削除)</p>
47	1.0.2 (4) c. (c)	1.0-43	<p>また、実施組織による重大事故等対策の実施に当たり、各号炉の発電用原子炉主任技術者は、発電所対策本部から得られた情報に基づき、<b>重大事故等の拡大防止又は影響緩和に関し</b>、保安上必要な場合は、重大事故等に対処する要員(発電所対策本部長を含む。)へ指示を行い、事故の拡大防止又は影響緩和を図る。</p>	<p>また、実施組織による重大事故等対策の実施に当たり、号炉ごとに選任した発電用原子炉主任技術者は、発電所対策本部から得られた情報に基づき、保安上必要な場合は、重大事故等に対処する要員(発電所対策本部長を含む。)へ指示を行い、事故の拡大防止又は影響緩和を図る。</p>	<p>⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
48	1.0.2 (4) c. (d)	1.0-43	<p>計画・情報統括は、<b>事故対応状況の把握及び</b>事故対応方針の立案を行う。                  計画班は、プラント状態の進展予測・評価及びその評価結果の事故対応方針への反映を行う。                  保安班は、発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価、被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する指示を行う。                  実施組織が重大事故等対策に専念できる環境を整えるための運営支援組織は、<b>対外対応統括及び総務統括を配置し</b>、通報班、立地・広報班、資材班<b>及び総務班</b>で構成する。                  対外対応統括は、対外対応活動の統括を行う。                  通報班は、対外関係機関へ通報連絡等を行う。                  立地・広報班は、自治体派遣者<b>及び報道機関</b>対応者の支援を行う。                  総務統括は、発電所対策本部の運営支援の統括を行う。                  資材班は、資材の調達及び輸送に関する一元管理を行う。                  総務班は、要員の呼集、食糧・被服の調達、医療活動、所内の警備指示、一般入所者の避難指示等を行う。</p>	<p>計画・情報統括は、事故対応方針の立案、プラントパラメータ等の把握とプラント状態の予測、本部長への技術的進言・助言(重大事故等対処設備等、構内設備の活用)を行う。                  計画班は、事故対応に必要な情報(パラメータ、常設設備の状況・可搬型設備の準備状況等)の収集、プラント状態の進展予測・評価、プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映、アクシデントマネジメントの専門知識に関する計画・情報統括のサポートを行う。                  保安班は、発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価、被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する緊急時対策要員への指示、影響範囲の評価に基づく対応方針に関する計画・情報統括への助言、放射線の影響の専門知識に関する計画・情報統括のサポートを行う。                  実施組織が重大事故等対策に専念できる環境を整えるための運営支援組織は、<b>対外対応統括及び</b>通報班、立地・広報班、並びに<b>総務統括及び</b>資材班、<b>総務班</b>で構成する。                  対外対応統括は、対外対応活動の統括、対外対応情報の収集、本部長へインプットを行う。                  通報班は、対外関係機関へ通報・連絡等を行う。                  立地・広報班は、自治体派遣者の活動状況把握とサポート、マスコミ対応者への支援を行う。                  総務統括は、発電所対策本部の運営支援の統括を行う。                  資材班は、資材の調達及び輸送に関する一元管理、原子力緊急事態支援組織からの資機材受入調整を行う。                  総務班は、要員の呼集、参集状況の把握、対策本部へインプット、食料・被服の調達、宿泊関係の手配、医療活動、所内の警備指示、一般入所者の避難指示、物的防護施設の運用指示等を行う。</p>	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
49	1.0.2 (4) c. (e)	1.0-45	<p>重大事故等が発生した場合に速やかに対応するため、6号及び7号炉の重大事故等に対処する要員として、<b>発電所内</b>に緊急時対策要員44名、運転員18名、火災発生時の初期消火活動に対応するための自衛消防隊10名の合計72名を確保する。</p> <p>なお、6号及び7号炉のうち、1プラント運転中、1プラント運転停止中※においては、運転員を13名とし、また2プラント運転停止中※においては、運転員を10名とする。</p> <p>※<b>発電用</b>原子炉の状態が冷温停止(原子炉冷却材温度が100℃未満)及び燃料交換の期間</p>	<p>重大事故等が発生した場合、緊急時対策要員のうち緊急時対策所に対応する要員は、免震重要棟内緊急時対策所又は5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集し、各要員の任務に応じた対応を行う。また、現場の対応を行う要員は、準備が整い次第、各要員の任務に応じた現場対応を行う。</p> <p>夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において、重大事故等が発生した場合でも速やかに対応するため、発電所内に必要な要員を常時確保する。</p> <p>重大事故等が発生した場合に速やかに対応する要員は、6号及び7号炉の重大事故等に対処する要員として緊急時対策要員44名、運転員18名、火災発生時の初期消火活動に対応するための自衛消防隊10名(消防隊長1名、消防車隊6名、警備員3名)の合計72名(発電所全体で99名)を発電所内に確保する。また、事象発生10時間を目安として順次参集し、6号及び7号炉の重大事故等に対処する要員として緊急時対策要員106名確保する。</p> <p>1プラント運転中、1プラント運転停止中※については、運転員を13名とし、また2プラント運転停止中については、運転員を10名とする。緊急時対策要員及び自衛消防隊の人数は原子炉の状態が変わることによる変更はない。</p> <p>※原子炉の状態が冷温停止(原子炉冷却材温度が100℃未満)及び燃料交換の期間</p>	<p>②(免震重要棟の自主化)</p> <p>⑤ (記載を再整理:補正書添十の記載と整合を取った(削除した内容は、添付1.0.10で整理))</p>
50	1.0.2 (4) c. (e)	1.0-45	<p>重大事故等が発生した場合、緊急時対策要員は、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集し、要員の任務に応じた対応を行う。</p> <p>重大事故等の対応で、高線量下における対応が必要な場合においても、<b>重大事故等に対処する要員</b>を確保する。</p>	<p>重大事故等の対応で、高線量下における対応が必要な場合においても、社員で対応できるよう要員を確保する。</p>	⑤
51	1.0.2 (4) c. (e)	1.0-46	<p>また、<b>あらかじめ定めた連絡体制に基づき</b>、夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)を含めて必要な緊急時対策要員を非常召集できるよう、定期的に連絡訓練を実施する。</p>	<p>また、夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)を含めて必要な要員を非常召集できるよう、自動呼出・安否確認システムを用いて定期的に連絡訓練を実施する。</p>	⑤
52	1.0.2 (4) c. (f)	1.0-46	<p>(f) 発電所における重大事故等対策の実施組織及び支援組織の各班並びに当直(運転員)の機能は、上記(b)項及び(d)項のとおり明確にするとともに、責任者として配下の各班の監督責任を有する統括、対策の実施責任を有する班長及び当直副長を配置する。</p>	<p>(f) 発電所における重大事故等対策の実施組織及び支援組織の各班、当直の機能は、上記(b)項及び(d)項のとおり明確にするとともに、責任者として配下の各班の監督責任を有する統括及び対策の実施責任を有する班長及び当直副長を配置する。責任者が負傷する等により役割が実行出来ない場合には、同じ機能を担務する下位の職位の要員(副班長等)が代行するか、又は上位の職位の要員が下位の職位の要員の職務を兼務することとし、具体的な代行者の配置については、上位職の者が決定する。</p>	⑤(補正書添十の記載と整合を取った(削除した記載は、添付1.0.10で整理))
53	1.0.2 (4) c. (g)	1.0-46	<p>(g) 重大事故等対策の判断については全て発電所にて行うこととし、発電所対策本部における指揮命令系統を明確にするとともに、指揮者である発電所対策本部長の所長(原子力防災管理者)が欠けた場合に備え、代行者と代行順位をあらかじめ定め明確にする。<b>また、統括、班長及び当直副長についても欠けた場合に備え</b>、代行者と代行順位をあらかじめ定め明確にする。</p> <p>発電所対策本部長(原子力防災管理者)が欠けた場合は、副原子力防災管理者が、あらかじめ定めた順位に従い代行する。</p>	<p>(g) 重大事故等対策の判断については全て発電所にて行うこととし、発電所対策本部における指揮命令系統を明確にするとともに、指揮者である発電所対策本部長の所長(原子力防災管理者)、統括、班長及び当直副長が欠けた場合に備え、発電所対策本部長の所長(原子力防災管理者)、統括、班長及び当直副長の代行者と代行順位をあらかじめ定め明確にする。</p> <p>発電所対策本部長は、発電所対策本部の統括管理を行い、責任を持って、原子力防災の活動方針の決定を行う。</p> <p>発電所対策本部長(原子力防災管理者)が欠けた場合は、副原子力防災管理者が、あらかじめ定めた順位に従い代行する。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
54	1.0.2 (4) c. (h)	1.0-47	支援組織が、必要なプラントのパラメータを確認するための安全パラメータ表示システム(SPDS)、発電所内外に通信連絡を行い関係箇所と連携を図るための統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備(テレビ会議システムを含む。)、衛星電話設備及び無線連絡設備を備えた5号炉原子炉建屋内緊急時対策所を整備する。	支援組織が、必要なプラントのパラメータを確認するための安全パラメータ表示システム(SPDS)、発電所内外に通信連絡を行い関係箇所と連携を図るための統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備(テレビ会議システムを含む。)、衛星電話設備及び無線連絡設備を備えた免震重要棟内緊急時対策所及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所を整備する。	②(免震重要棟の自主化)
55	1.0.2 (4) c. (h)	1.0-48	実施組織が、中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所及び現場との連携を図るため、携帯型音声呼出電話設備、無線連絡設備及び衛星電話設備を整備する。また、電源が喪失し照明が消灯した場合でも、迅速な現場への移動、操作及び作業を実施し、作業内容及び現場状況の情報共有を実施できるように <b>照明機器等</b> を整備する。	実施組織が、中央制御室、免震重要棟内緊急時対策所又は5号炉原子炉建屋内緊急時対策所及び現場との連携を図るため、携帯型音声呼出電話設備、無線連絡設備及び衛星電話設備を整備する。また、電源が喪失し照明が消灯した場合でも、迅速な現場への移動、操作及び作業を実施し、作業内容及び現場状況の情報共有を実施できるように <b>可搬型照明設備</b> を整備する。	②(免震重要棟の自主化)  ⑤
56	1.0.2 (4) c. (i)	1.0-48	支援組織は、発電用原子炉施設の <b>状態及び重大事故等対策の実施状況</b> について、 <b>東京本社の本社対策本部</b> 、国、関係自治体等の発電所内外の組織への通報連絡を実施できるよう、衛星電話設備及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備等を配備し、広く情報提供を行うことができる体制を整備する。	支援組織は、発電用原子炉施設の <b>状態及び重大事故等対策の実施状況</b> について、原子力施設事態即応センターに設置する本社対策本部、国、関係自治体等の発電所内外の組織への通報連絡を実施できるよう、衛星電話設備及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備等を配備し、広く情報提供を行うことができる体制を整備する。	⑤
57	1.0.2 (4) c. (i)	1.0-48	発電用原子炉施設の <b>状態及び重大事故等対策の実施状況</b> に係る情報は、発電所対策本部の通報班にて一元的に集約管理し、発電所内で共有するとともに、本社対策本部と発電所対策本部間において、衛星電話設備、統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備及び安全パラメータ表示システム(SPDS)等を使用することにより、発電所の <b>状況及び重大事故等対策の実施状況</b> の情報共有を行う。また、本社対策本部との情報共有を密にすることで報道発表、外部からの問い合わせ対応及び関係機関への連絡を本社対策本部で実施し、発電所対策本部が事故対応に専念でき、かつ、発電所内外へ広く情報提供を行うことができる体制を整備する。	発電用原子炉施設の <b>状態及び重大事故等対策の実施状況</b> に係る情報は、発電所対策本部の各班の報告をもとに通報班にて一元的に集約管理し、発電所内外で共有するとともに、本社対策本部と発電所対策本部間において、衛星電話設備、統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備及び安全パラメータ表示システム(SPDS)等を使用することにより、発電所の <b>状況及び重大事故等対策の実施状況</b> の情報共有を行う。また、本社対策本部との情報共有を密にすることで報道発表、外部からの問い合わせ対応及び関係機関への連絡を本社対策本部で実施し、発電所対策本部が事故対応に専念でき、かつ、発電所内外へ広く情報提供を行うことができる体制を整備する。	⑤
58	1.0.2 (4) c. (j)	1.0-49	報告を受けた本社原子力運営管理部長は直ちに社長に報告し、社長は本社における原子力警戒態勢又は緊急時態勢を発令する。本社原子力運営管理部長から連絡を受けた本社総務 <b>統括</b> は、本社における緊急時対策要員を非常召集する。	報告を受けた本社原子力運営管理部長はただちに社長に報告し、社長は本社における原子力警戒態勢又は緊急時態勢を発令する。本社原子力運営管理部長から連絡を受けた本社総務 <b>班長</b> は、本社における緊急時対策要員を非常召集する。	⑤
59	1.0.2 (4) c. (j)	1.0-50	本社対策本部は、原子力部門のみでなく他部門も含めた <b>全社(全社とは、東京電力ホールディングス株式会社及び各事業子会社(東京電力フュエル&amp;パワー株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、東京電力エナジーパートナー株式会社)のことをいう。)</b> での体制とし、発電所対策本部が重大事故等対策に専念できるよう <b>技術面及び運用面</b> で支援する。	本社対策本部は、原子力部門のみでなく他部門も含めた <b>全社大</b> での体制とし、発電所対策本部が重大事故等対策に専念できるよう <b>技術面及び運用面</b> で支援する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
60	1.0.2 (4) c. (j)	1.0-50	<p>本社対策本部は、福島第一原子力発電所の事故から得られた<b>教訓</b>から原子力防災組織に適用すべき必要要件を定めた体制とすることにより、社長を本社対策本部長とした指揮命令系統を明確にし、発電所対策本部が重大事故等対策に専念できる体制を整備する。</p> <p>本社対策本部は、<b>復旧統括、計画・情報統括、対外対応統括、総務統括及び支援統括を配置し、発電所の復旧方法検討・立案等を行う復旧班</b>、本社対策本部内での情報共有等を行う<b>情報班</b>、事故状況の把握・進展評価等を行う<b>計画班</b>、放射性物質の放出量評価等を行う<b>保安班</b>、関係官庁への通報連絡等を行う<b>官庁連絡班</b>、報道機関対応等を行う<b>広報班</b>、発電所の立地地域対応の支援等を行う<b>立地班</b>、通信連絡設備の復旧・確保の支援等を行う<b>通信班</b>、発電所の職場環境の整備等を行う<b>総務班</b>、現地医療体制整備支援等を行う<b>厚生班</b>、発電所の復旧活動に必要な資機材の調達・搬送等を行う<b>資材班</b>、原子力事業所災害対策支援拠点の立ち上げ・運営等を行う<b>後方支援拠点班</b>、官庁への支援要請等を行う<b>支援受入調整班及び他の原子力事業者からの支援受入調整等を行う電力支援受入班</b>で構成する。</p> <p>本社対策本部長は、発電所における重大事故等対策の実施を支援するために、原子力災害対策特別措置法第10条通報後、原子力事業所災害対策支援拠点の設営を本社支援統括に指示する。</p> <p>本社支援統括は、あらかじめ選定している施設の候補の中から、放射性物質が放出された場合の影響等を考慮した上で原子力事業所災害対策支援拠点を指定し、必要な要員を派遣するとともに、発電所の事故収束対応を維持するために必要な燃料及び資機材等の支援を実施する。</p> <p><b>また、本社対策本部は、他の原子力事業者及び原子力緊急事態支援組織より技術的な支援が受けられる体制を整備する。</b></p>	<p>本社対策本部は、上記(a)項のとおり福島第一原子力発電所の事故から得られた課題から原子力防災組織に適用すべき必要要件を定めた体制とすることにより、社長を本部長とした指揮命令系統を明確にし、発電所対策本部が重大事故等対策に専念できる体制を整備する。</p> <p>復旧統括は、発電所復旧活動の支援の統括を行う。</p> <p>復旧班は、発電所の復旧方法の検討、立案、発電所への助言等を行う。</p> <p>計画・情報統括は、プラント情報や放射線に関する情報、事故進展評価等の統括を行う。</p> <p>情報班は、事故状況、対応状況の把握、本社対策本部内での情報共有、一元管理等を行う。</p> <p>計画班は、事故状況の把握・進展評価、環境への影響評価、発電所の復旧計画の策定支援等を行う。</p> <p>保安班は、放射性物質の放出量評価、周辺環境への影響の予測・評価、放射線管理用資機材の配備、発電所関係者の線量管理等の支援等を行う。</p> <p>対外対応統括は、対外対応の統括を行う。</p> <p>官庁連絡班は、原子力規制庁等の関係官庁への通報連絡、官庁への情報提供と質問対応を行う。</p> <p>広報班は、広報活動における全店統一方針と戦略の策定、マスコミ対応、お客さまへの広報等を行う。</p> <p>立地班は、発電所の立地地域対応の支援、自治体・防災センターへの情報提供、自治体・防災センターからの要望対応等を行う。</p> <p>総務統括は、発電所復旧要員が的確に復旧活動を行うための支援の統括を行う。</p> <p>通信班は、社内外関係箇所との通信連絡設備について復旧・確保の支援を行う。</p> <p>総務班は、本社対策本部要員の非常召集、発電所における緊急時対策要員の職場環境の整備、人員輸送手段の確保等を行う。</p> <p>厚生班は、本社対策本部における食料・被服の調達及び宿泊関係の手配、発電所対策要員の食料、被服の調達支援、宿泊の手配支援、現地医療体制整備支援等を行う。</p> <p>資材班は、発電所の復旧活動に必要な資機材の調達、適切な箇所への搬送を行う。</p> <p>支援統括は、発電所の復旧に向けた支援拠点や支援の受入の統括を行う。</p> <p>後方支援拠点班は、原子力事業所災害対策支援拠点の立ち上げ・運営、同拠点における社外関係機関(自衛隊、消防、警察等)との情報連絡等を行う。</p> <p>支援受入調整班は、官庁(自衛隊、消防、警察等)への支援要請、調整の窓口を行う。</p> <p>電力支援受入班は、事業者間協力協定に基づく他原子力事業者からの支援受入調整、原子力緊急事態支援組織からの支援受入調整等を行う。</p>	⑤



## まとめ資料変更箇所リスト

**【変更理由の類型化】**

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗, 設備変更による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正            ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
61	1.0.2 (4) c. (k)	1.0-51	重大事故等への対応操作や作業が長期間にわたる場合に備えて, 機能喪失した設備の部品取替えによる復旧手段を整備するとともに, <b>主要な設備の取替部品</b> をあらかじめ確保する。	重大事故等への対応操作や作業が長期間にわたる場合に備えて, 機能喪失した設備の部品取替えによる復旧手段を整備するとともに, 動的機器の取替物品を確保する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.1 本来の用途以外の用途として使用する重大事故等に対処するための設備に係る切り替えの容易性について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	1	1.0.1-1	また、通常時に使用する系統から <b>弁操作又は工具等の使用により速やかに切り替えるため、当該操作を明確にした手順等を整備するとともに、当該操作に係る訓練を継続的に実施することにより速やかに切替えるよう技能の維持・向上を図る。</b>	また、通常時に使用する系統から速やかに切り替えるための手順を整備するとともに、当該操作に係る訓練を継続的に実施することにより速やかに切り替えるよう技能の維持・向上を図る。	⑤
2	第3表	1.0.1-4～ 1.0.1-11	<b>技術的能力1.1～1.19の対応手順の名称変更に伴う修正</b>	—	⑤
3	別紙1.1.	1.0.1-13	(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、給水系・非常用炉心冷却系による原子炉注水機能が喪失し、原子炉水位を維持できない場合、復水補給水系を使用した原子炉圧力容器への注水を行う。 <b>① 復水補給水系から原子炉圧力容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(第1図①)を「閉」し、復水移送ポンプ(第1図④)を起動する。 ② 残留熱除去系注入弁(第1図⑥)を「開」し、原子炉圧力容器を逃がし安全弁(第1図⑤)にて減圧する。 ③ 原子炉圧力が復水補給水系圧力以下にて残留熱除去系洗浄水弁(第1図③)を「開」し、原子炉圧力容器への注水が開始されることを原子炉水位計、原子炉圧力計、復水補給水系圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。その後、復水補給水系常ノ非常用連絡管止め弁(第1図②)を「開」する。</b>	(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、給水系・非常用炉心冷却系による原子炉注水機能が喪失し、原子炉水位を維持できない場合、復水補給水系を使用した原子炉圧力容器への注水を行う。 <b>① 復水補給水系から原子炉圧力容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(図①)を「閉」し、復水補給水系常ノ非常用連絡管止め弁(図②)、残留熱除去系洗浄水弁(図③)を「開」し、復水移送ポンプ(図④)を起動する。 ② 原子炉圧力容器を逃がし安全弁(図⑤)にて減圧し、残留熱除去系注入弁(図⑥)を「開」する。 ③ 原子炉圧力が復水補給水系圧力以下にて、原子炉への注水が開始されることを原子炉水位計、原子炉圧力計、復水補給水系圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</b>	⑤
4	別紙1.2.	1.0.1-14	(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、残留熱除去系が使用不能となり原子炉格納容器内の除熱機能が喪失した場合、復水補給水系を使用し、原子炉格納容器内をスプレーする。 <b>① 復水補給水系から原子炉格納容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(第2図①)を「閉」し、復水移送ポンプ(第2図④)を起動する。 ② 残留熱除去系洗浄水弁(第2図③)及び格納容器スプレー弁(第2図⑤)を「開」し、原子炉格納容器内にスプレーが開始されたことを格納容器圧力計、復水補給水系圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。その後、復水補給水系常ノ非常用連絡管止め弁(第2図②)を「開」する。</b>	(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、残留熱除去系が使用不能となり格納容器の除熱機能が喪失した場合、復水補給水系を使用した格納容器スプレーを行う。 <b>① 復水補給水系から格納容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(図①)を「閉」し、復水補給水系常ノ非常用連絡管止め弁(図②)、残留熱除去系洗浄水弁(図③)を「開」し、復水移送ポンプ(図④)を起動する。 ② 格納容器スプレー弁(図⑤)を「開」し、格納容器へのスプレーが開始されたことを格納容器圧力計、復水補給水系圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</b>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
5	別紙1 3.	1.0.1-15	<p>(1)操作概要 炉心の著しい損傷が発生した場合、原子炉圧力容器が破損して原子炉格納容器下部に放出される熔融炉心を冷却するため、専用の注水ライン弁を「開」とし、復水補給水系による原子炉格納容器下部への水張りを行う。 ① 復水補給水系から原子炉格納容器下部までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(第3図①)を「閉」し、復水移送ポンプ(第3図③)を起動する。 ② 格納容器下部注水弁(第3図④)を「開」とし、原子炉格納容器下部への注水が始まったことを格納容器下部注水流量計、復水補給水系圧力計にて確認する。その後、復水補給水系常ノ非常用連絡管止め弁(第3図②)を「開」する。</p>	<p>(1)操作概要 炉心損傷時、原子炉圧力容器が破損して格納容器下部に放出される熔融炉心を冷却するため、専用の注水ライン弁を「開」とし、復水補給水系による格納容器下部への水張りを行う。 ① 復水補給水系から格納容器下部までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(図①)を「閉」し、復水補給水系常ノ非常用連絡管止め弁(図②)を「開」し、復水移送ポンプ(図③)を起動する。 ② 格納容器下部注水弁(図④)を「開」とし、格納容器下部への注水が始まったことを格納容器下部注水流量計、復水補給水系圧力計にて確認する。</p>	⑤
6	別紙1 6.	1.0.1-25	<p>(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、給水系・非常用炉心冷却系等による原子炉注水機能が喪失し、原子炉水位を維持できない場合、消火系を使用した原子炉圧力容器への注水を行う。 ① ディーゼル駆動消火ポンプ(第13図④)の起動を緊急時対策本部へ依頼し、消火系から原子炉圧力容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(第13図①)を「閉」し、消火系連絡弁(第13図②)を「開」する。 ② 残留熱除去系注入弁(第13図⑥)を「開」し、原子炉圧力容器を逃がし安全弁(第13図⑤)にて減圧する。 ③ 原子炉圧力が消火系統圧力以下にて残留熱除去系洗浄水弁(第13図③)を「開」し、原子炉圧力容器への注水が始まることを原子炉水位計、原子炉圧力計、消火系統圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</p>	<p>(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、給水系・非常用炉心冷却系等による原子炉注水機能が喪失し、原子炉水位を維持できない場合、消火系を使用した原子炉注水を行う。 ① 消火系から原子炉圧力容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(図①)を「閉」し、消火系連絡弁(図②)、残留熱除去系洗浄水弁(図③)を「開」し、ディーゼル駆動消火ポンプ(図④)の起動を緊急時対策本部へ依頼する。 ② 原子炉圧力容器を逃がし安全弁(図⑤)にて減圧し、残留熱除去系注入弁(図⑥)を「開」する。 ③ 原子炉圧力が消火系統圧力以下にて、原子炉への注水が始まることを原子炉水位計、原子炉圧力計、消火系統圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</p>	⑤
7	別紙1 7.	1.0.1-26	<p>(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、残留熱除去系等が使用不能となる等の原子炉格納容器内の除熱機能が喪失した場合、消火系を使用した原子炉格納容器内のスプレイを行う。 ① ディーゼル駆動消火ポンプ(第14図④)の起動を緊急時対策本部へ依頼し、消火系から原子炉格納容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(第14図①)を「閉」し、消火系連絡弁(第14図②)を「開」する。 ② 残留熱除去系洗浄水弁(第14図③)及び格納容器スプレイ弁(第14図⑤)を「開」し、原子炉格納容器内にスプレイが始まったことを格納容器圧力計、消火系統圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</p>	<p>(1)操作概要 原子炉冷却材喪失時等において、残留熱除去系等が使用不能となる等の格納容器の除熱機能が喪失した場合、消火系を使用した格納容器スプレイを行う。 ① 消火系から格納容器までの系統構成として、タービン負荷遮断弁(図①)を「閉」し、消火系連絡弁(図②)、残留熱除去系洗浄水弁(図③)を「開」し、ディーゼル駆動消火ポンプ(図④)の起動を緊急時対策本部へ依頼する。 ② 格納容器スプレイ弁(図⑤)を「開」とし、格納容器へのスプレイが始まったことを格納容器圧力計、消火系統圧力計、残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</p>	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

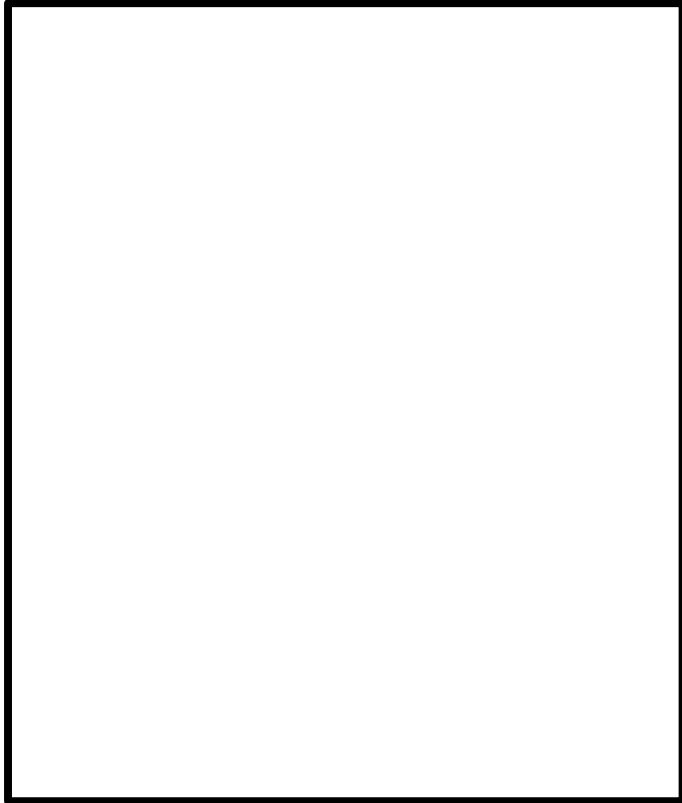
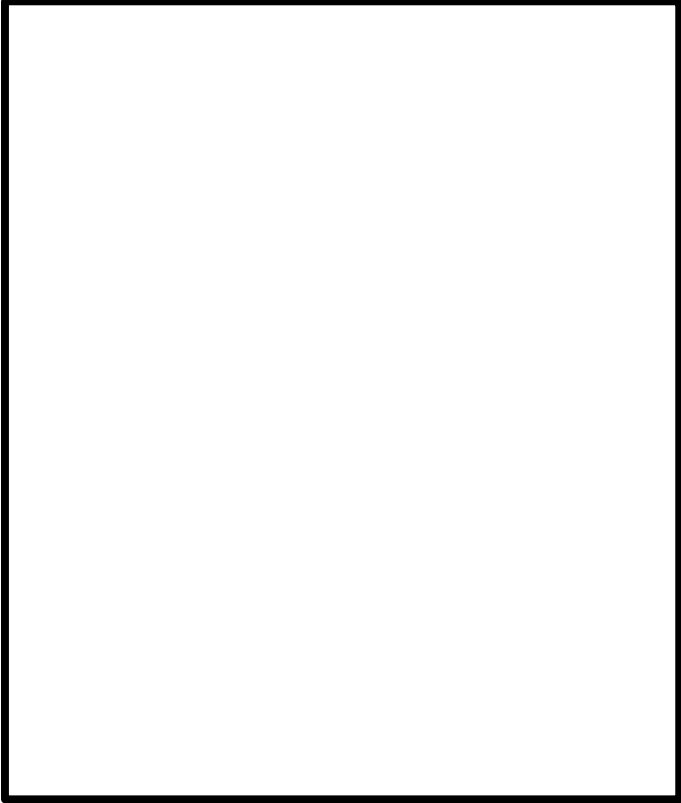
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
8	別紙19.	1.0.1-28	<p>(1)操作概要 使用済燃料プール水位が低下し, 使用済燃料プールの補給が必要な状態にもかかわらず, サプレッションプール水浄化系, 残留熱除去系等が使用不能で使用済燃料プールへの補給ができない場合において, 消火系を使用した使用済燃料プール注水を行う。</p> <p>① ディーゼル駆動消火ポンプ(第16図④)の起動を緊急時対策本部へ依頼し, 消火系から使用済燃料プールまでの系統構成として, タービン負荷遮断弁(第16図①)を「閉」し, 消火系連絡弁(第16図②)を「開」する。</p> <p>② 残留熱除去系洗浄水弁(第16図③)及び残留熱除去系燃料プール側出口弁(第16図⑤)を「開」し, 使用済燃料プールへ注水されたことを使用済燃料プール水位計, 消火系統圧力計, 残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</p>	<p>(1)操作概要 使用済燃料プール水位が低下し, 使用済燃料プールの補給が必要な状態にもかかわらず, サプレッションプール水浄化系, 残留熱除去系等が使用不能で使用済燃料プールへの補給ができない場合において, 復水補給水系を使用した使用済燃料プール注水を行う。</p> <p>① 消火系から使用済燃料プールまでの系統構成として, タービン負荷遮断弁(図①)を「閉」し, 消火系連絡弁(図②), 残留熱除去系洗浄水弁(図③)を「開」し, ディーゼル駆動消火ポンプ(図④)の起動を緊急時対策本部へ依頼する。</p> <p>② 残留熱除去系燃料プール側出口弁(図⑤)を「開」し, 使用済燃料プールへ注水されたことを使用済燃料プール水位計, 消火系統圧力, 残留熱除去系注入配管流量計にて確認する。</p>	⑤

## まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.2 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて

**【変更理由の類型化】**

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	2.(1) 第1図	1.0.2-3			②(設計進捗に伴い可搬型設備の追加, 荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため, SA設備の追加) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																		
2	2.(1) 第1表	1.0.2-4	<p>第1表 保管場所の標高、離隔距離、地盤の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管場所</th> <th>標高</th> <th>常設代替交流電源設備からの離隔距離</th> <th>原子炉建屋からの離隔距離</th> <th>地盤の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>T.M.S.L.+37m</td> <td>約900m</td> <td>約900m</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>T.M.S.L.+35m</td> <td>約250m</td> <td>約250m</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側保管場所</td> <td>T.M.S.L.+12m</td> <td>約380m</td> <td>約120m</td> <td>岩盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側第二保管場所</td> <td>T.M.S.L.+12m</td> <td>約330m</td> <td>約100m<sup>※1</sup></td> <td>粘性土地盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所及び設置場所については、今後の検討結果等により、変更となる可能性がある。 ※1 原子炉建屋から100m以上の離隔を確保している。</p>	保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類	荒浜側高台保管場所	T.M.S.L.+37m	約900m	約900m	砂質地盤・盛土地盤	大湊側高台保管場所	T.M.S.L.+35m	約250m	約250m	砂質地盤・盛土地盤	5号炉東側保管場所	T.M.S.L.+12m	約380m	約120m	岩盤	5号炉東側第二保管場所	T.M.S.L.+12m	約330m	約100m <sup>※1</sup>	粘性土地盤	<p>表1 保管場所の標高、離隔距離、地盤の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管場所</th> <th>標高</th> <th>常設代替交流電源設備からの離隔距離</th> <th>原子炉建屋からの離隔距離</th> <th>地盤の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>T.M.S.L.+37m</td> <td>約900m以上</td> <td>900m以上</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>T.M.S.L.+35m</td> <td>約250m以上</td> <td>250m以上</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側保管場所</td> <td>T.M.S.L.+12m</td> <td>約390m以上</td> <td>120m以上</td> <td>岩盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側第二保管場所</td> <td>T.M.S.L.+12m</td> <td>約350m以上</td> <td>100m以上</td> <td>粘性土地盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所及び設置場所については、今後の検討結果等により、変更となる可能性がある。</p>	保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類	荒浜側高台保管場所	T.M.S.L.+37m	約900m以上	900m以上	砂質地盤・盛土地盤	大湊側高台保管場所	T.M.S.L.+35m	約250m以上	250m以上	砂質地盤・盛土地盤	5号炉東側保管場所	T.M.S.L.+12m	約390m以上	120m以上	岩盤	5号炉東側第二保管場所	T.M.S.L.+12m	約350m以上	100m以上	粘性土地盤	②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤
保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類																																																			
荒浜側高台保管場所	T.M.S.L.+37m	約900m	約900m	砂質地盤・盛土地盤																																																			
大湊側高台保管場所	T.M.S.L.+35m	約250m	約250m	砂質地盤・盛土地盤																																																			
5号炉東側保管場所	T.M.S.L.+12m	約380m	約120m	岩盤																																																			
5号炉東側第二保管場所	T.M.S.L.+12m	約330m	約100m <sup>※1</sup>	粘性土地盤																																																			
保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類																																																			
荒浜側高台保管場所	T.M.S.L.+37m	約900m以上	900m以上	砂質地盤・盛土地盤																																																			
大湊側高台保管場所	T.M.S.L.+35m	約250m以上	250m以上	砂質地盤・盛土地盤																																																			
5号炉東側保管場所	T.M.S.L.+12m	約390m以上	120m以上	岩盤																																																			
5号炉東側第二保管場所	T.M.S.L.+12m	約350m以上	100m以上	粘性土地盤																																																			
3	2.(2)	1.0.2-4	<p>また、自然現象により想定される保管場所及びアクセスルートへの影響について第2-2表のとおり概略評価を実施した結果、地震及び津波が大きな影響を及ぼす可能性があることを確認した。さらに、<b>発電所敷地及びその周辺における発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象</b>であって人為によるもの(故意によるものを除く。)(以下「人為事象」という。))により想定される保管場所及びアクセスルートへの影響について<b>第2-4表のとおり概略評価を実施した結果</b>、影響を及ぼす可能性がある人為事象はないことを確認した。</p>	<p>また、自然現象により想定される保管場所及びアクセスルートへの影響について表3のとおり概略評価を実施した結果、地震及び津波が大きな影響を及ぼす可能性があることを確認した。さらに、<b>発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象</b>であって人為によるもの(故意によるものを除く。)(以下「人為事象」という。))により想定される保管場所及びアクセスルートへの影響について評価した結果、影響を及ぼす可能性がある人為事象はないことを確認した。</p>	⑤																																																		
4	2.(2)①	1.0.2-5	<p>・なお、<b>森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるものとして整理する。</b></p>	—	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更)																																																		
5	2.(2)②	1.0.2-5	<p>「①自然現象抽出の考え方」を踏まえ、保管場所及びアクセスルートに影響はないと評価した事象(33事象)を第2-1表に、残った事象<b>から森林火災を除いた事象</b>(地震、津波+8事象の単一事象)については、設計上想定する規模で発生した場合の影響について確認し、その結果を第2-2表に示す。</p>	<p>「①自然現象抽出の考え方」を踏まえ、保管場所及びアクセスルートに影響はないと評価した事象(33事象)を表2-1に、残った事象(地震、津波+9事象の単一事象)については、設計上想定する規模で発生した場合の影響について確認し、その結果を表2-2に示す。</p>	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更)																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																								
6	2.(2)1)② 第2-1表	1.0.2-6	(注釈を追記)  ※ 海水中の地滑りは、港湾内の影響(発生を想定しても影響がない事象)と港湾外の影響(他の事象の影響(津波)に包括される事象)に分類されるが、本表では「発生を想定しても影響がない事象」として整理する。	—	⑤																																								
7	2.(2)1)② 第2-2表	1.0.2-6	<p>第2-2表 自然現象により想定される影響概略評価結果 (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自然現象</th> <th colspan="3">概略評価結果</th> </tr> <tr> <th></th> <th>保管場所</th> <th>屋外アクセスルート</th> <th>屋内アクセスルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地震 (地滑り含む)</td> <td>地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。</td> <td>地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。 ・サブルートは、地震に伴う津波を考慮すると使用できない。(別紙36参照)</td> <td>資機材等の倒壊・損壊。アクセスルート周辺機器等の火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。</td> </tr> <tr> <td>津波</td> <td>・基準津波に対し、原子伊勢屋等や保管場所へ遡上する浸水はない。したがって、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。 ・万一、遡上範囲を超えた浸水があったとしても、原子伊勢屋等は浸水防止対策を施しているため影響を受けず、保管場所は高さT.M.S.L.+12m以上に配置しており、余裕がある。</td> <td>・基準津波は、アクセスルートまで遡上しない(別紙35参照)。 ・万一、津波によりがれきが発生した場合でも、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・サブルートは防潮堤外側の道路が含まれており、使用できない。</td> <td>・基準津波は、建屋近傍まで遡上しない。 ・万一、建屋近傍まで遡上した場合でも、建屋は浸水防止対策を施しており、影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>風 (台風)</td> <td>・設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため、風による影響はない。また、可搬型設備は荷重が大きく、設計基準の風により飛散することはないことから、同時に機能喪失しない。 ・設計基準(最大風速40.1m/s)を超える風が想定される場合は、手順を定めてプラントを停止する。</td> <td>・台風によりがれきが発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・気象予報における台風の風速、進行速度、規模、進行経路等を踏まえ、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な風が想定される場合は、対応時間を確保するため、あらかじめ手順を定めてプラントを停止する。</td> <td>・建屋内であり影響は受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	概略評価結果				保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート	地震 (地滑り含む)	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。 ・サブルートは、地震に伴う津波を考慮すると使用できない。(別紙36参照)	資機材等の倒壊・損壊。アクセスルート周辺機器等の火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。	津波	・基準津波に対し、原子伊勢屋等や保管場所へ遡上する浸水はない。したがって、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。 ・万一、遡上範囲を超えた浸水があったとしても、原子伊勢屋等は浸水防止対策を施しているため影響を受けず、保管場所は高さT.M.S.L.+12m以上に配置しており、余裕がある。	・基準津波は、アクセスルートまで遡上しない(別紙35参照)。 ・万一、津波によりがれきが発生した場合でも、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・サブルートは防潮堤外側の道路が含まれており、使用できない。	・基準津波は、建屋近傍まで遡上しない。 ・万一、建屋近傍まで遡上した場合でも、建屋は浸水防止対策を施しており、影響を受けない。	風 (台風)	・設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため、風による影響はない。また、可搬型設備は荷重が大きく、設計基準の風により飛散することはないことから、同時に機能喪失しない。 ・設計基準(最大風速40.1m/s)を超える風が想定される場合は、手順を定めてプラントを停止する。	・台風によりがれきが発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・気象予報における台風の風速、進行速度、規模、進行経路等を踏まえ、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な風が想定される場合は、対応時間を確保するため、あらかじめ手順を定めてプラントを停止する。	・建屋内であり影響は受けない。	<p>表2-2 自然現象により想定される影響概略評価結果 (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自然現象</th> <th colspan="3">概略評価結果</th> </tr> <tr> <th></th> <th>保管場所</th> <th>屋外アクセスルート</th> <th>屋内アクセスルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地震</td> <td>地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。</td> <td>地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。 ・サブルートは、地震に伴う津波を考慮すると使用できない。(別紙36参照)</td> <td>資機材等の倒壊・損壊。アクセスルート周辺機器等の火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。</td> </tr> <tr> <td>津波</td> <td>・基準津波に対し、原子伊勢屋等や保管場所へ遡上する浸水はない。したがって、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。 ・万一、遡上範囲を超えた浸水があったとしても、原子伊勢屋等は浸水防止対策を施しているため影響を受けず、保管場所は高さT.M.S.L.+12m以上に配置しており、余裕がある。</td> <td>・基準津波は、アクセスルートまで遡上する浸水はない。(別紙35参照)。 ・互種が発生した場合でも、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・サブルートは防潮堤外側の道路が含まれており、使用できない。</td> <td>・基準津波に対し、建屋近傍まで遡上する浸水はない。 ・万一、建屋近傍まで遡上した場合でも、建屋は浸水防止対策を施しており、影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>風 (台風)</td> <td>・設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため、風による影響はない。また、可搬型設備は荷重が大きく、設計基準の風により飛散することはないことから、同時に機能喪失しない。 ・設計基準(最大風速40.1m/s)を超える風が想定される場合は、手順を定めてプラントを停止する。</td> <td>・台風により互種が発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・気象予報における台風の風速、進行速度、規模、進行経路等を踏まえ、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な風が想定される場合は、対応時間を確保するため、あらかじめ手順を定めてプラントを停止する。</td> <td>・建屋内であり影響は受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	概略評価結果				保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート	地震	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。 ・サブルートは、地震に伴う津波を考慮すると使用できない。(別紙36参照)	資機材等の倒壊・損壊。アクセスルート周辺機器等の火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。	津波	・基準津波に対し、原子伊勢屋等や保管場所へ遡上する浸水はない。したがって、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。 ・万一、遡上範囲を超えた浸水があったとしても、原子伊勢屋等は浸水防止対策を施しているため影響を受けず、保管場所は高さT.M.S.L.+12m以上に配置しており、余裕がある。	・基準津波は、アクセスルートまで遡上する浸水はない。(別紙35参照)。 ・互種が発生した場合でも、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・サブルートは防潮堤外側の道路が含まれており、使用できない。	・基準津波に対し、建屋近傍まで遡上する浸水はない。 ・万一、建屋近傍まで遡上した場合でも、建屋は浸水防止対策を施しており、影響を受けない。	風 (台風)	・設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため、風による影響はない。また、可搬型設備は荷重が大きく、設計基準の風により飛散することはないことから、同時に機能喪失しない。 ・設計基準(最大風速40.1m/s)を超える風が想定される場合は、手順を定めてプラントを停止する。	・台風により互種が発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・気象予報における台風の風速、進行速度、規模、進行経路等を踏まえ、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な風が想定される場合は、対応時間を確保するため、あらかじめ手順を定めてプラントを停止する。	・建屋内であり影響は受けない。	⑤
自然現象	概略評価結果																																												
	保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート																																										
地震 (地滑り含む)	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。 ・サブルートは、地震に伴う津波を考慮すると使用できない。(別紙36参照)	資機材等の倒壊・損壊。アクセスルート周辺機器等の火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。																																										
津波	・基準津波に対し、原子伊勢屋等や保管場所へ遡上する浸水はない。したがって、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。 ・万一、遡上範囲を超えた浸水があったとしても、原子伊勢屋等は浸水防止対策を施しているため影響を受けず、保管場所は高さT.M.S.L.+12m以上に配置しており、余裕がある。	・基準津波は、アクセスルートまで遡上しない(別紙35参照)。 ・万一、津波によりがれきが発生した場合でも、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・サブルートは防潮堤外側の道路が含まれており、使用できない。	・基準津波は、建屋近傍まで遡上しない。 ・万一、建屋近傍まで遡上した場合でも、建屋は浸水防止対策を施しており、影響を受けない。																																										
風 (台風)	・設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため、風による影響はない。また、可搬型設備は荷重が大きく、設計基準の風により飛散することはないことから、同時に機能喪失しない。 ・設計基準(最大風速40.1m/s)を超える風が想定される場合は、手順を定めてプラントを停止する。	・台風によりがれきが発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・気象予報における台風の風速、進行速度、規模、進行経路等を踏まえ、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な風が想定される場合は、対応時間を確保するため、あらかじめ手順を定めてプラントを停止する。	・建屋内であり影響は受けない。																																										
自然現象	概略評価結果																																												
	保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート																																										
地震	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。	地盤や周辺斜面の崩壊による影響、周辺建造物の倒壊・損壊・火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。 ・サブルートは、地震に伴う津波を考慮すると使用できない。(別紙36参照)	資機材等の倒壊・損壊。アクセスルート周辺機器等の火災・溢水による影響が考えられ、個別の評価が必要。																																										
津波	・基準津波に対し、原子伊勢屋等や保管場所へ遡上する浸水はない。したがって、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。 ・万一、遡上範囲を超えた浸水があったとしても、原子伊勢屋等は浸水防止対策を施しているため影響を受けず、保管場所は高さT.M.S.L.+12m以上に配置しており、余裕がある。	・基準津波は、アクセスルートまで遡上する浸水はない。(別紙35参照)。 ・互種が発生した場合でも、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・サブルートは防潮堤外側の道路が含まれており、使用できない。	・基準津波に対し、建屋近傍まで遡上する浸水はない。 ・万一、建屋近傍まで遡上した場合でも、建屋は浸水防止対策を施しており、影響を受けない。																																										
風 (台風)	・設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため、風による影響はない。また、可搬型設備は荷重が大きく、設計基準の風により飛散することはないことから、同時に機能喪失しない。 ・設計基準(最大風速40.1m/s)を超える風が想定される場合は、手順を定めてプラントを停止する。	・台風により互種が発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。 ・気象予報における台風の風速、進行速度、規模、進行経路等を踏まえ、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な風が想定される場合は、対応時間を確保するため、あらかじめ手順を定めてプラントを停止する。	・建屋内であり影響は受けない。																																										



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																														
8	2.(2)1)② 第2-2表	1.0.2-7	<p>第2-2表 自然現象により想定される影響概略評価結果 (2/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自然現象</th> <th colspan="3">概略評価結果</th> </tr> <tr> <th>保管場所</th> <th>屋外アクセスルート</th> <th>屋内アクセスルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">電巻</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可搬型設備は屋外の保管場所に設置しているが、設計基準事故対処設備は電巻に対して頑健な建屋内に設置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・可搬型設備は、複数箇所ある保管場所に分散配置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・常設重大事故等対処設備のうち常設代替交流電源設備を屋外(7号伊南側)に設置しているが、各ユニットディーゼル発電機、可搬型代替交流電源設備保管場所と離隔していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・高台保管場所の可搬型設備は、原子伊雑屋等に対し離隔距離があることから、回轉等の飛散防止対策は実施しなくとも、原子伊雑屋等へ影響を与えない。また、建屋近傍の常設代替交流電源設備、5号伊原子伊雑屋内緊急時対策用可搬型電源設備は、飛来物とならないよう回轉等の飛散防止対策を実施する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電巻によりがれきが発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。通信鉄塔、送電鉄塔や送電鉄塔が倒壊した場合であっても迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である。</li> <li>また、送電鉄塔が転倒した場合であっても送電鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はないと考えられるが、アクセスルートに影響がある場合は、迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である(鉄塔の影響範囲は第12図参照)。</li> <li>・電巻防護施設周辺に関しては、電巻発生予測を踏まえた車両の待避運用等の飛来物発生防止対策を実施することから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>また、その他の場所に関しては、複数のルートが確保されていることから、飛来物によりアクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子伊雑屋は電巻に対し頑健性を有することから影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">積雪</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、原子伊雑屋等、保管場所及び可搬型重大事故対処設備の除雪は積雪状況等を見計らいながら行うことで対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除雪はホイールロードによる実施も可能であるため、万一、積雪量が想定を超える場合であっても、除雪を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、積雪状況等を見計らいながら除雪することで対処が可能である。また、ホイールロードにより約60分で除雪も可能である(別紙27参照)。</li> <li>・積雪時においても、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋内であり影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	概略評価結果			保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート	電巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可搬型設備は屋外の保管場所に設置しているが、設計基準事故対処設備は電巻に対して頑健な建屋内に設置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・可搬型設備は、複数箇所ある保管場所に分散配置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・常設重大事故等対処設備のうち常設代替交流電源設備を屋外(7号伊南側)に設置しているが、各ユニットディーゼル発電機、可搬型代替交流電源設備保管場所と離隔していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・高台保管場所の可搬型設備は、原子伊雑屋等に対し離隔距離があることから、回轉等の飛散防止対策は実施しなくとも、原子伊雑屋等へ影響を与えない。また、建屋近傍の常設代替交流電源設備、5号伊原子伊雑屋内緊急時対策用可搬型電源設備は、飛来物とならないよう回轉等の飛散防止対策を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電巻によりがれきが発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。通信鉄塔、送電鉄塔や送電鉄塔が倒壊した場合であっても迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である。</li> <li>また、送電鉄塔が転倒した場合であっても送電鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はないと考えられるが、アクセスルートに影響がある場合は、迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である(鉄塔の影響範囲は第12図参照)。</li> <li>・電巻防護施設周辺に関しては、電巻発生予測を踏まえた車両の待避運用等の飛来物発生防止対策を実施することから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>また、その他の場所に関しては、複数のルートが確保されていることから、飛来物によりアクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子伊雑屋は電巻に対し頑健性を有することから影響は受けない。</li> </ul>	積雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、原子伊雑屋等、保管場所及び可搬型重大事故対処設備の除雪は積雪状況等を見計らいながら行うことで対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除雪はホイールロードによる実施も可能であるため、万一、積雪量が想定を超える場合であっても、除雪を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、積雪状況等を見計らいながら除雪することで対処が可能である。また、ホイールロードにより約60分で除雪も可能である(別紙27参照)。</li> <li>・積雪時においても、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>	<p>表 2-2 自然現象により想定される影響概略評価結果 (2/4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自然現象</th> <th colspan="3">概略評価結果</th> </tr> <tr> <th>保管場所</th> <th>屋外アクセスルート</th> <th>屋内アクセスルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">電巻</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可搬型設備は屋外の保管場所に設置しているが、設計基準事故対処設備は電巻に対して頑健な建屋内に設置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・可搬型設備は、複数箇所ある保管場所に分散配置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・常設重大事故等対処設備のうち常設代替交流電源設備を屋外(7号伊南側)に設置しているが、各ユニットディーゼル発電機、可搬型代替交流電源設備保管場所と離隔していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・高台保管場所の可搬型設備は、原子伊雑屋等に対し離隔距離があることから、回轉等の飛散防止対策は実施しなくとも、原子伊雑屋等へ影響を与えない。また、建屋近傍の常設代替交流電源設備、5号伊原子伊雑屋内緊急時対策用電源設備は、飛来物とならないよう回轉等の飛散防止対策を実施する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電巻により瓦礫が発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。通信鉄塔、送電鉄塔や送電鉄塔が倒壊した場合であっても迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である。</li> <li>また、送電鉄塔が転倒した場合であっても送電鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はないと考えられるが、アクセスルートに影響がある場合は、迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である(鉄塔の影響範囲は図12参照)。</li> <li>・電巻防護施設周辺に関しては、電巻発生予測を踏まえた車両の待避運用等の飛来物発生防止対策を実施することから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>また、その他の場所に関しては、複数のルートが確保されていることから、飛来物によりアクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子伊雑屋は電巻に対し頑健性を有することから影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">積雪</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、原子伊雑屋等、保管場所及び可搬型重大事故対処設備の除雪は積雪状況等を見計らいながら行うことで対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除雪はホイールロードによる実施も可能であるため、万一、積雪量が想定を超える場合であっても、除雪を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、積雪状況等を見計らいながら除雪することで対処が可能である。また、ホイールロードにより最大140分で除雪も可能である(別紙27参照)。</li> <li>・積雪時においても、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋内であり影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	概略評価結果			保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート	電巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可搬型設備は屋外の保管場所に設置しているが、設計基準事故対処設備は電巻に対して頑健な建屋内に設置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・可搬型設備は、複数箇所ある保管場所に分散配置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・常設重大事故等対処設備のうち常設代替交流電源設備を屋外(7号伊南側)に設置しているが、各ユニットディーゼル発電機、可搬型代替交流電源設備保管場所と離隔していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・高台保管場所の可搬型設備は、原子伊雑屋等に対し離隔距離があることから、回轉等の飛散防止対策は実施しなくとも、原子伊雑屋等へ影響を与えない。また、建屋近傍の常設代替交流電源設備、5号伊原子伊雑屋内緊急時対策用電源設備は、飛来物とならないよう回轉等の飛散防止対策を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電巻により瓦礫が発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。通信鉄塔、送電鉄塔や送電鉄塔が倒壊した場合であっても迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である。</li> <li>また、送電鉄塔が転倒した場合であっても送電鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はないと考えられるが、アクセスルートに影響がある場合は、迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である(鉄塔の影響範囲は図12参照)。</li> <li>・電巻防護施設周辺に関しては、電巻発生予測を踏まえた車両の待避運用等の飛来物発生防止対策を実施することから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>また、その他の場所に関しては、複数のルートが確保されていることから、飛来物によりアクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子伊雑屋は電巻に対し頑健性を有することから影響は受けない。</li> </ul>	積雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、原子伊雑屋等、保管場所及び可搬型重大事故対処設備の除雪は積雪状況等を見計らいながら行うことで対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除雪はホイールロードによる実施も可能であるため、万一、積雪量が想定を超える場合であっても、除雪を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、積雪状況等を見計らいながら除雪することで対処が可能である。また、ホイールロードにより最大140分で除雪も可能である(別紙27参照)。</li> <li>・積雪時においても、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>	<p>④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため、除雪時間を変更した(140分→60分))</p> <p>⑤</p>
			自然現象		概略評価結果																														
保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート																																	
電巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可搬型設備は屋外の保管場所に設置しているが、設計基準事故対処設備は電巻に対して頑健な建屋内に設置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・可搬型設備は、複数箇所ある保管場所に分散配置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・常設重大事故等対処設備のうち常設代替交流電源設備を屋外(7号伊南側)に設置しているが、各ユニットディーゼル発電機、可搬型代替交流電源設備保管場所と離隔していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・高台保管場所の可搬型設備は、原子伊雑屋等に対し離隔距離があることから、回轉等の飛散防止対策は実施しなくとも、原子伊雑屋等へ影響を与えない。また、建屋近傍の常設代替交流電源設備、5号伊原子伊雑屋内緊急時対策用可搬型電源設備は、飛来物とならないよう回轉等の飛散防止対策を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電巻によりがれきが発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。通信鉄塔、送電鉄塔や送電鉄塔が倒壊した場合であっても迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である。</li> <li>また、送電鉄塔が転倒した場合であっても送電鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はないと考えられるが、アクセスルートに影響がある場合は、迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である(鉄塔の影響範囲は第12図参照)。</li> <li>・電巻防護施設周辺に関しては、電巻発生予測を踏まえた車両の待避運用等の飛来物発生防止対策を実施することから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>また、その他の場所に関しては、複数のルートが確保されていることから、飛来物によりアクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子伊雑屋は電巻に対し頑健性を有することから影響は受けない。</li> </ul>																																
積雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、原子伊雑屋等、保管場所及び可搬型重大事故対処設備の除雪は積雪状況等を見計らいながら行うことで対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除雪はホイールロードによる実施も可能であるため、万一、積雪量が想定を超える場合であっても、除雪を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、積雪状況等を見計らいながら除雪することで対処が可能である。また、ホイールロードにより約60分で除雪も可能である(別紙27参照)。</li> <li>・積雪時においても、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>																																
自然現象	概略評価結果																																		
	保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート																																
電巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可搬型設備は屋外の保管場所に設置しているが、設計基準事故対処設備は電巻に対して頑健な建屋内に設置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・可搬型設備は、複数箇所ある保管場所に分散配置していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・常設重大事故等対処設備のうち常設代替交流電源設備を屋外(7号伊南側)に設置しているが、各ユニットディーゼル発電機、可搬型代替交流電源設備保管場所と離隔していることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>・高台保管場所の可搬型設備は、原子伊雑屋等に対し離隔距離があることから、回轉等の飛散防止対策は実施しなくとも、原子伊雑屋等へ影響を与えない。また、建屋近傍の常設代替交流電源設備、5号伊原子伊雑屋内緊急時対策用電源設備は、飛来物とならないよう回轉等の飛散防止対策を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電巻により瓦礫が発生した場合も、ホイールロードにより撤去することが可能である。通信鉄塔、送電鉄塔や送電鉄塔が倒壊した場合であっても迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である。</li> <li>また、送電鉄塔が転倒した場合であっても送電鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はないと考えられるが、アクセスルートに影響がある場合は、迂回ルートを選択することで保管場所へのアクセスが可能である(鉄塔の影響範囲は図12参照)。</li> <li>・電巻防護施設周辺に関しては、電巻発生予測を踏まえた車両の待避運用等の飛来物発生防止対策を実施することから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>また、その他の場所に関しては、複数のルートが確保されていることから、飛来物によりアクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子伊雑屋は電巻に対し頑健性を有することから影響は受けない。</li> </ul>																																
積雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、原子伊雑屋等、保管場所及び可搬型重大事故対処設備の除雪は積雪状況等を見計らいながら行うことで対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除雪はホイールロードによる実施も可能であるため、万一、積雪量が想定を超える場合であっても、除雪を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報により事前の予測が十分可能であり、積雪状況等を見計らいながら除雪することで対処が可能である。また、ホイールロードにより最大140分で除雪も可能である(別紙27参照)。</li> <li>・積雪時においても、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> <li>ただし、除雪可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な積雪が想定される場合は、必要に応じプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																						
9	2.(2)1)② 第2-2表	1.0.2-8	<p>第2-2表 自然現象により想定される影響概略評価結果 (3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自然現象</th> <th colspan="3">概略評価結果</th> </tr> <tr> <th>保管場所</th> <th>屋外アクセスルート</th> <th>屋内アクセスルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低温 (凍結)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>保管場所に設置されている重大事故等対処設備は屋外であるが、設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため影響を受けず、同時に機能喪失しない。</li> <li>低温は、気象予報により事前の予測が十分可能であり、始動に影響が出ないよう、各設備の温度に関する仕様を下回るおそれがある場合には、必要に応じて、あらかじめ可搬型設備の暖機運転等を行うこととしているため、影響を受けない。なお、暖機運転は、事前に実施することからアクセス時間への影響はない。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>気象予報により事前の予測が十分可能であり、アクセスルートへの融雪剤散布を行うことでアクセスに問題が生じる可能性は小さい。</li> <li>路面が凍結した場合にも、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題が生じる可能性は小さい。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>落雷</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計基準事故対処設備は避害対策を施した建屋内に設置されており、かつ保管場所とは位置的分散が図られていることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>1回の落雷により影響を受ける範囲は限定されるため、保管場所は2セットを離隔して位置的分散を図っているため、影響を受けない。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>落雷によりアクセスルートに影響を受けることはない。</li> <li>落雷発生中は、屋内に退避し、状況を見て屋外作業を実施する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>建屋には避害設備を設置しており影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>火山の影響</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、原子伊達屋等、保管場所及び可搬型設備の除灰を行うことにより対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除灰はホイールローダによる実施も可能であるため、万一、降下火砕物の量が想定を超える場合であっても、除灰を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な量の降下火砕物が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、アクセスルートの除灰を行うことにより対処が可能である。また、ホイールローダにより約120分で除灰も可能である(別紙28参照)。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な量の降下火砕物が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	概略評価結果			保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート	低温 (凍結)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保管場所に設置されている重大事故等対処設備は屋外であるが、設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため影響を受けず、同時に機能喪失しない。</li> <li>低温は、気象予報により事前の予測が十分可能であり、始動に影響が出ないよう、各設備の温度に関する仕様を下回るおそれがある場合には、必要に応じて、あらかじめ可搬型設備の暖機運転等を行うこととしているため、影響を受けない。なお、暖機運転は、事前に実施することからアクセス時間への影響はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象予報により事前の予測が十分可能であり、アクセスルートへの融雪剤散布を行うことでアクセスに問題が生じる可能性は小さい。</li> <li>路面が凍結した場合にも、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題が生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>	落雷	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計基準事故対処設備は避害対策を施した建屋内に設置されており、かつ保管場所とは位置的分散が図られていることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>1回の落雷により影響を受ける範囲は限定されるため、保管場所は2セットを離隔して位置的分散を図っているため、影響を受けない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落雷によりアクセスルートに影響を受けることはない。</li> <li>落雷発生中は、屋内に退避し、状況を見て屋外作業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋には避害設備を設置しており影響は受けない。</li> </ul>	火山の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、原子伊達屋等、保管場所及び可搬型設備の除灰を行うことにより対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除灰はホイールローダによる実施も可能であるため、万一、降下火砕物の量が想定を超える場合であっても、除灰を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な量の降下火砕物が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、アクセスルートの除灰を行うことにより対処が可能である。また、ホイールローダにより約120分で除灰も可能である(別紙28参照)。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な量の降下火砕物が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>	<p>表2-2 自然現象により想定される影響概略評価結果 (3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自然現象</th> <th colspan="3">概略評価結果</th> </tr> <tr> <th>保管場所</th> <th>屋外アクセスルート</th> <th>屋内アクセスルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低温</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>保管場所に設置されている重大事故等対処設備は屋外であるが、設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため影響を受けず、同時に機能喪失しない。</li> <li>低温は、気象予報により事前の予測が十分可能であり、始動に影響が出ないよう、各設備の温度に関する仕様を下回るおそれがある場合には、必要に応じて、あらかじめ可搬型設備の暖機運転等を行うこととしているため、影響を受けない。なお、暖機運転は、事前に実施することからアクセス時間への影響はない。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>気象予報により事前の予測が十分可能であり、アクセスルートへの融雪剤散布を行っている。</li> <li>路面が凍結した場合にも、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>落雷</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計基準事故対処設備は避害対策を施した建屋内に設置されており、かつ保管場所とは位置的分散が図られていることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>1回の落雷により影響を受ける範囲は限定されるため、保管場所は2セットを離隔して位置的分散を図っているため、影響を受けない。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>落雷によりアクセスルートに影響を受けることはない。</li> <li>落雷発生中は、屋内に退避し、状況を見て屋外作業を実施する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>関連する建屋には避害設備を設置しており影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>火山による除灰</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、原子伊達屋等、保管場所及び可搬型設備の除灰を行うことにより対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除灰はホイールローダによる実施も可能であるため、万一、降灰量が想定を超える場合であっても、除灰を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な降灰が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、アクセスルートの除灰を行うことにより対処が可能である。また、ホイールローダにより最大280分で除灰も可能である(別紙28参照)。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な降灰が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	概略評価結果			保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート	低温	<ul style="list-style-type: none"> <li>保管場所に設置されている重大事故等対処設備は屋外であるが、設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため影響を受けず、同時に機能喪失しない。</li> <li>低温は、気象予報により事前の予測が十分可能であり、始動に影響が出ないよう、各設備の温度に関する仕様を下回るおそれがある場合には、必要に応じて、あらかじめ可搬型設備の暖機運転等を行うこととしているため、影響を受けない。なお、暖機運転は、事前に実施することからアクセス時間への影響はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象予報により事前の予測が十分可能であり、アクセスルートへの融雪剤散布を行っている。</li> <li>路面が凍結した場合にも、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>	落雷	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計基準事故対処設備は避害対策を施した建屋内に設置されており、かつ保管場所とは位置的分散が図られていることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>1回の落雷により影響を受ける範囲は限定されるため、保管場所は2セットを離隔して位置的分散を図っているため、影響を受けない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落雷によりアクセスルートに影響を受けることはない。</li> <li>落雷発生中は、屋内に退避し、状況を見て屋外作業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する建屋には避害設備を設置しており影響は受けない。</li> </ul>	火山による除灰	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、原子伊達屋等、保管場所及び可搬型設備の除灰を行うことにより対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除灰はホイールローダによる実施も可能であるため、万一、降灰量が想定を超える場合であっても、除灰を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な降灰が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、アクセスルートの除灰を行うことにより対処が可能である。また、ホイールローダにより最大280分で除灰も可能である(別紙28参照)。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な降灰が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>	<p>④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため、除灰時間を変更した(280分→120分))                  ⑤</p>
自然現象	概略評価結果																																										
	保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート																																								
低温 (凍結)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保管場所に設置されている重大事故等対処設備は屋外であるが、設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため影響を受けず、同時に機能喪失しない。</li> <li>低温は、気象予報により事前の予測が十分可能であり、始動に影響が出ないよう、各設備の温度に関する仕様を下回るおそれがある場合には、必要に応じて、あらかじめ可搬型設備の暖機運転等を行うこととしているため、影響を受けない。なお、暖機運転は、事前に実施することからアクセス時間への影響はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象予報により事前の予測が十分可能であり、アクセスルートへの融雪剤散布を行うことでアクセスに問題が生じる可能性は小さい。</li> <li>路面が凍結した場合にも、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題が生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>																																								
落雷	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計基準事故対処設備は避害対策を施した建屋内に設置されており、かつ保管場所とは位置的分散が図られていることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>1回の落雷により影響を受ける範囲は限定されるため、保管場所は2セットを離隔して位置的分散を図っているため、影響を受けない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落雷によりアクセスルートに影響を受けることはない。</li> <li>落雷発生中は、屋内に退避し、状況を見て屋外作業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋には避害設備を設置しており影響は受けない。</li> </ul>																																								
火山の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、原子伊達屋等、保管場所及び可搬型設備の除灰を行うことにより対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除灰はホイールローダによる実施も可能であるため、万一、降下火砕物の量が想定を超える場合であっても、除灰を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な量の降下火砕物が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、アクセスルートの除灰を行うことにより対処が可能である。また、ホイールローダにより約120分で除灰も可能である(別紙28参照)。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な量の降下火砕物が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>																																								
自然現象	概略評価結果																																										
	保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート																																								
低温	<ul style="list-style-type: none"> <li>保管場所に設置されている重大事故等対処設備は屋外であるが、設計基準事故対処設備は建屋内に設置されているため影響を受けず、同時に機能喪失しない。</li> <li>低温は、気象予報により事前の予測が十分可能であり、始動に影響が出ないよう、各設備の温度に関する仕様を下回るおそれがある場合には、必要に応じて、あらかじめ可搬型設備の暖機運転等を行うこととしているため、影響を受けない。なお、暖機運転は、事前に実施することからアクセス時間への影響はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象予報により事前の予測が十分可能であり、アクセスルートへの融雪剤散布を行っている。</li> <li>路面が凍結した場合にも、走行可能なタイヤを装着していることから、アクセスに問題を生じる可能性は小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>																																								
落雷	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計基準事故対処設備は避害対策を施した建屋内に設置されており、かつ保管場所とは位置的分散が図られていることから、同時に機能喪失しない。</li> <li>1回の落雷により影響を受ける範囲は限定されるため、保管場所は2セットを離隔して位置的分散を図っているため、影響を受けない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落雷によりアクセスルートに影響を受けることはない。</li> <li>落雷発生中は、屋内に退避し、状況を見て屋外作業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する建屋には避害設備を設置しており影響は受けない。</li> </ul>																																								
火山による除灰	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、原子伊達屋等、保管場所及び可搬型設備の除灰を行うことにより対処が可能であることから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>また、保管場所等の除灰はホイールローダによる実施も可能であるため、万一、降灰量が想定を超える場合であっても、除灰を行うことが可能である。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な降灰が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火発生の情報を受けた際は、要員を確保し、アクセスルートの除灰を行うことにより対処が可能である。また、ホイールローダにより最大280分で除灰も可能である(別紙28参照)。</li> <li>ただし、除灰可能量を超え、長期に渡り屋外作業や車両の走行が困難な降灰が想定される場合は、必要に応じてプラントを停止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建屋内であり影響は受けない。</li> </ul>																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由											
10	2.(2)1)② 第2-2表	1.0.2-9	・5号炉東側の保管場所は周辺の空地が平坦かつ広大であり、万一、降水による滞留水が発生したとしても2cm程度で拡散すること(別紙30参照)、また、保管する可搬型設備は、周辺地表面上に30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、降水による影響を受けない。	・5号炉東側の保管場所は周辺の空地が平坦かつ広大であり、万一、降水による滞留水が発生したとしても2cm程度であり(別紙30参照)、比較的短時間で拡散すること、また、保管する可搬型設備は、周辺地表面上に30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、降水による影響を受けない。	⑤											
11	2.(2)2)②	1.0.2-10	② 人為事象の影響評価(概略) 設計上考慮すべき人為事象としては、上記①のとおり評価した以外の事象である火災・爆発、航空機落下、有毒ガスに森林火災を加えた4事象である。石油コンビナート施設の火災・爆発については、立地的要因により影響を受けることはなく、発電所敷地内に存在する危険物タンク等の火災及び航空機墜落による火災についても、可搬型重大事故等対処設備の位置的分散や複数のアクセスルートにより影響はない。また、ばい煙等の二次的影響及び有毒ガスについては、セルフエアセット等の装備により通行に影響はない。 森林火災については、設計上想定する規模及び設計上の想定を超える規模で発生した場合の影響について確認し、その結果を第2-4表に示す。なお、森林火災についても、自然現象に加えて重畳した場合の影響について確認する。	② 人為事象の影響評価(概略) 設計上考慮すべき人為事象としては、上記①のとおり評価した以外の事象として、火災・爆発、航空機落下、有毒ガスの3事象である。石油コンビナート施設の火災・爆発については、立地的要因により影響を受けることはなく、発電所敷地内に存在する危険物タンク等の火災及び航空機墜落による火災についても、可搬型重大事故等対処設備の位置的分散や複数のアクセスルートにより影響はない。また、ばい煙等の二次的影響及び有毒ガスについては、セルフエアセット等の装備により通行に影響はない。	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更)											
12	2.(2)2)② 第2-4表	1.0.2-11	<p style="text-align: center;">第2-4表 人為事象により想定される影響概略評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">人為事象</th> <th colspan="3">概略評価結果</th> </tr> <tr> <th>保管場所</th> <th>屋外アクセスルート</th> <th>屋内アクセスルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林火災</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉建屋等と保管場所は防火帯の内側であるため、森林火災による熱影響により設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>万一、防火帯の内側に小規模な火災が延焼したとしても、自衛消防隊が保管場所周辺の消火活動を行うことにより対処が可能である。</li> <li>防火帯内部へ延焼が進んだ場合は、状況を見て引き続き消火活動を行うが、可搬型設備については、灌漑方面へ移動させ、損傷防止に努める。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセスルートは防火帯の内側であり、アクセス性に支障はない。</li> <li>アクセスルートは一部防火帯と重複するものの、迂回ルートを使用することにより、森林火災の影響を受けずに通行可能である。(別紙29参照)</li> <li>万一、小規模な火災が発生したとしても、自衛消防隊がアクセスルート周辺の消火活動を行うことにより対処が可能である。(別紙36参照)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>関連する建屋は防火帯の内側であり、影響を受けない。</li> <li>万一、ばい煙の影響を受ける場合は、セルフエアセット等の装備にて対応する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	人為事象	概略評価結果			保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート	森林火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉建屋等と保管場所は防火帯の内側であるため、森林火災による熱影響により設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>万一、防火帯の内側に小規模な火災が延焼したとしても、自衛消防隊が保管場所周辺の消火活動を行うことにより対処が可能である。</li> <li>防火帯内部へ延焼が進んだ場合は、状況を見て引き続き消火活動を行うが、可搬型設備については、灌漑方面へ移動させ、損傷防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセスルートは防火帯の内側であり、アクセス性に支障はない。</li> <li>アクセスルートは一部防火帯と重複するものの、迂回ルートを使用することにより、森林火災の影響を受けずに通行可能である。(別紙29参照)</li> <li>万一、小規模な火災が発生したとしても、自衛消防隊がアクセスルート周辺の消火活動を行うことにより対処が可能である。(別紙36参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する建屋は防火帯の内側であり、影響を受けない。</li> <li>万一、ばい煙の影響を受ける場合は、セルフエアセット等の装備にて対応する。</li> </ul>	<p>これまでの第2-2表(自然現象により想定される影響概略評価結果)に記載</p>	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更)
人為事象	概略評価結果															
	保管場所	屋外アクセスルート	屋内アクセスルート													
森林火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉建屋等と保管場所は防火帯の内側であるため、森林火災による熱影響により設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備は同時に機能喪失しない。</li> <li>万一、防火帯の内側に小規模な火災が延焼したとしても、自衛消防隊が保管場所周辺の消火活動を行うことにより対処が可能である。</li> <li>防火帯内部へ延焼が進んだ場合は、状況を見て引き続き消火活動を行うが、可搬型設備については、灌漑方面へ移動させ、損傷防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセスルートは防火帯の内側であり、アクセス性に支障はない。</li> <li>アクセスルートは一部防火帯と重複するものの、迂回ルートを使用することにより、森林火災の影響を受けずに通行可能である。(別紙29参照)</li> <li>万一、小規模な火災が発生したとしても、自衛消防隊がアクセスルート周辺の消火活動を行うことにより対処が可能である。(別紙36参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連する建屋は防火帯の内側であり、影響を受けない。</li> <li>万一、ばい煙の影響を受ける場合は、セルフエアセット等の装備にて対応する。</li> </ul>													



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

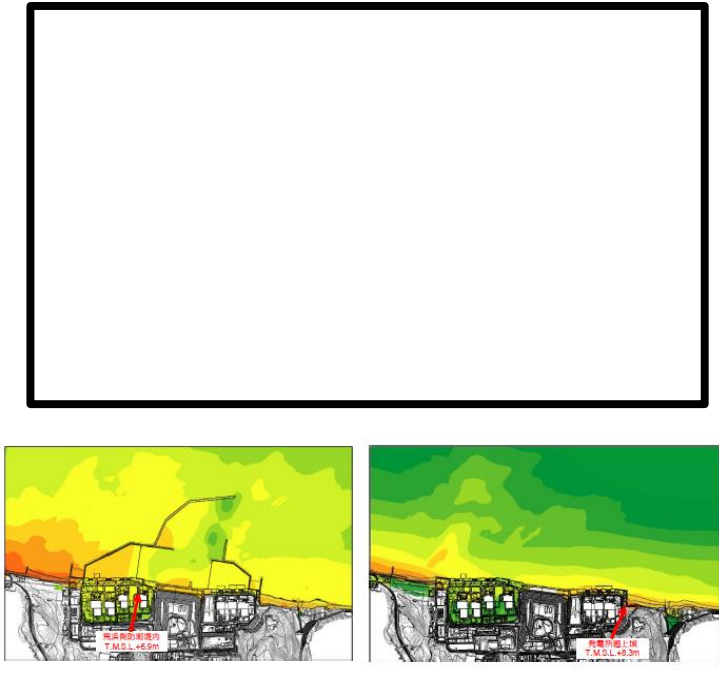
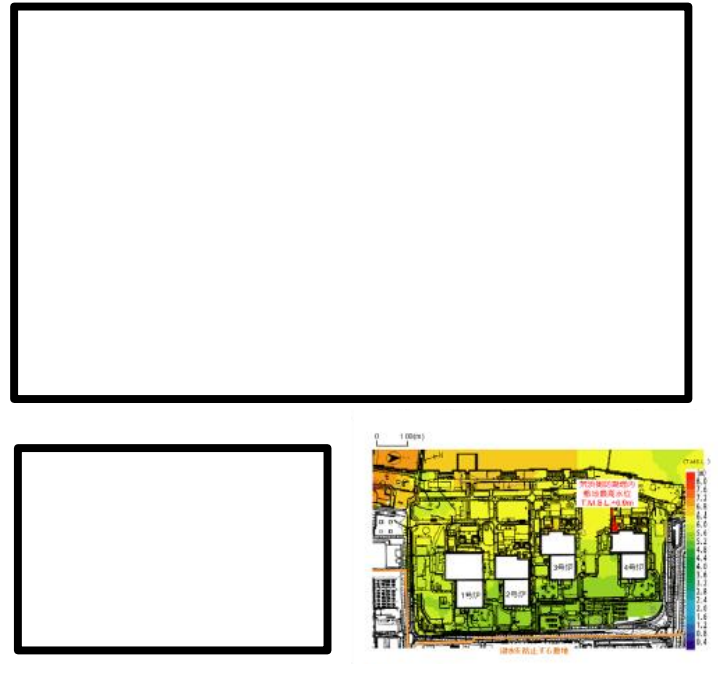
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																										
13	2.(2)3)	1.0.2-12	<p>3) 外部事象(自然現象及び人為事象)の重畳事象評価 各重畳事象の影響確認結果を別紙1に示す。また、重畳事象のうち、単独事象と比較して影響が増長される事象の組み合わせと影響評価結果を以下に示す。 ○アクセスルートの復旧作業が追加される組み合わせ 単独事象でそれぞれアクセスルートの復旧が必要な事象については、重畳の影響としてそれぞれの事象で発生する作業を実施する必要がある。具体的には、除雪と除灰の組み合わせや、(設計基準を超える)地震時の段差復旧と除雪作業の組み合わせ等が該当する。有効性評価のタイムチャートでは、25分以内に常設代替交流電源設備より受電し、20時間以内に代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニットをプラント側へ移動して接続する必要があるが、気象予報等を踏まえてアクセスに支障が生じる前にあらかじめ除雪や除灰等の活動を開始する運用であることから、例えばアクセスルートの復旧に時間を要する除灰の場合でも、約120分であるため、想定を上回る事象が発生したとしても、アクセスルートの機能を維持することが可能である。</p>	<p>③ 自然現象の重畳事象評価 各重畳事象の影響確認結果を別紙1に示す。また、重畳事象のうち、単独事象と比較して影響が増長される事象の組み合わせと影響評価結果を以下に示す。 ○アクセスルートの復旧作業が追加される組み合わせ 単独事象でそれぞれアクセスルートの復旧が必要な事象については、重畳の影響としてそれぞれの事象で発生する作業を実施する必要がある。具体的には、除雪と除灰の組み合わせや、(設計基準を超える)地震時の段差復旧と除雪作業の組み合わせ等が該当する。有効性評価のタイムチャートでは、50分以内にガスタービン発電機を起動し、20時間以内に代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニットをプラント側へ移動して接続する必要があるが、気象予報等を踏まえてアクセス性に支障が生じる前にあらかじめ除雪や除灰等の活動を開始する運用であることから、例えばアクセスルートの復旧に時間を要する除灰の場合でも、280分程度であるため、想定を上回る事象が発生したとしても、アクセスルートの機能を維持することが可能である。</p>	<p>③(森林火災を人為事象として整理したことに伴い、重畳事象評価の記載を変更) (有効性評価のタイムチャート見直し) (アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため、除灰時間を変更した(280分→120分))</p>																																																										
14	2.(4) 第3表	1.0.2-14	<p>第3表 保管場所及び屋外アクセスルートにおいて地震により懸念される被害事象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自然現象</th> <th>保管場所・アクセスルートに影響を与えるおそれのある被害要因</th> <th>保管場所で懸念される被害事象</th> <th>アクセスルートで懸念される被害事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">地震</td> <td>① 周辺建造物の損壊(建屋、鉄塔及び主排気筒)</td> <td>損壊物による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>損壊物によるアクセスルートの閉塞</td> </tr> <tr> <td>② 周辺タンクの損壊</td> <td>火災、溢水による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>タンク損壊に伴う火災・溢水による通行不能</td> </tr> <tr> <td>③ 周辺斜面の崩壊</td> <td>土砂流入による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>土砂流入、道路損壊による通行不能</td> </tr> <tr> <td>④ 敷地下斜面・道路面のすべり</td> <td>敷地下斜面のすべりによる可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>敷地下斜面のすべりによる通行不能</td> </tr> <tr> <td>⑤ 液状化及び揺すり込みによる不等沈下等、液状化に伴う浮き上がり</td> <td>不等沈下、浮き上がり等による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>アクセスルートの不等沈下、地中埋設構造物の浮き上がりによる通行不能</td> </tr> <tr> <td>⑥ 地盤支持力の不足</td> <td>可搬型設備の転倒、通行不能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑦ 地中埋設構造物の損壊</td> <td>陥没による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>陥没による通行不能</td> </tr> <tr> <td>⑧ 淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊</td> <td>堰堤及び送水配管の損壊による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>堰堤及び送水配管の損壊による通行不能</td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	保管場所・アクセスルートに影響を与えるおそれのある被害要因	保管場所で懸念される被害事象	アクセスルートで懸念される被害事象	地震	① 周辺建造物の損壊(建屋、鉄塔及び主排気筒)	損壊物による可搬型設備の損壊、通行不能	損壊物によるアクセスルートの閉塞	② 周辺タンクの損壊	火災、溢水による可搬型設備の損壊、通行不能	タンク損壊に伴う火災・溢水による通行不能	③ 周辺斜面の崩壊	土砂流入による可搬型設備の損壊、通行不能	土砂流入、道路損壊による通行不能	④ 敷地下斜面・道路面のすべり	敷地下斜面のすべりによる可搬型設備の損壊、通行不能	敷地下斜面のすべりによる通行不能	⑤ 液状化及び揺すり込みによる不等沈下等、液状化に伴う浮き上がり	不等沈下、浮き上がり等による可搬型設備の損壊、通行不能	アクセスルートの不等沈下、地中埋設構造物の浮き上がりによる通行不能	⑥ 地盤支持力の不足	可搬型設備の転倒、通行不能	—	⑦ 地中埋設構造物の損壊	陥没による可搬型設備の損壊、通行不能	陥没による通行不能	⑧ 淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊	堰堤及び送水配管の損壊による可搬型設備の損壊、通行不能	堰堤及び送水配管の損壊による通行不能	<p>表3 保管場所及び屋外アクセスルートにおいて地震により懸念される被害事象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>自然現象</th> <th>保管場所・アクセスルートに影響を与えるおそれのある被害要因</th> <th>保管場所で懸念される被害事象</th> <th>アクセスルートで懸念される被害事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">地震</td> <td>① 周辺建造物の損壊(建屋、鉄塔及び煙突)</td> <td>損壊物による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>損壊物によるアクセスルートの閉塞</td> </tr> <tr> <td>② 周辺タンクの損壊</td> <td>火災、溢水による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>タンク損壊に伴う火災・溢水による通行不能</td> </tr> <tr> <td>③ 周辺斜面の崩壊</td> <td>土砂流入による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>土砂流入、道路損壊による通行不能</td> </tr> <tr> <td>④ 敷地下斜面・道路面のすべり</td> <td>敷地下斜面のすべりによる可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>敷地下斜面のすべりによる通行不能</td> </tr> <tr> <td>⑤ 液状化及び揺すり込みによる不等沈下、液状化に伴う浮き上がり</td> <td>不等沈下、浮き上がりによる可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>アクセスルートの不等沈下、浮き上がりによる通行不能</td> </tr> <tr> <td>⑥ 地盤支持力の不足</td> <td>可搬型設備の転倒、通行不能</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑦ 地中埋設構造物の損壊</td> <td>陥没による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>陥没による通行不能</td> </tr> <tr> <td>⑧ 淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊</td> <td>堰堤及び送水配管の損壊による可搬型設備の損壊、通行不能</td> <td>堰堤及び送水配管の損壊による通行不能</td> </tr> </tbody> </table>	自然現象	保管場所・アクセスルートに影響を与えるおそれのある被害要因	保管場所で懸念される被害事象	アクセスルートで懸念される被害事象	地震	① 周辺建造物の損壊(建屋、鉄塔及び煙突)	損壊物による可搬型設備の損壊、通行不能	損壊物によるアクセスルートの閉塞	② 周辺タンクの損壊	火災、溢水による可搬型設備の損壊、通行不能	タンク損壊に伴う火災・溢水による通行不能	③ 周辺斜面の崩壊	土砂流入による可搬型設備の損壊、通行不能	土砂流入、道路損壊による通行不能	④ 敷地下斜面・道路面のすべり	敷地下斜面のすべりによる可搬型設備の損壊、通行不能	敷地下斜面のすべりによる通行不能	⑤ 液状化及び揺すり込みによる不等沈下、液状化に伴う浮き上がり	不等沈下、浮き上がりによる可搬型設備の損壊、通行不能	アクセスルートの不等沈下、浮き上がりによる通行不能	⑥ 地盤支持力の不足	可搬型設備の転倒、通行不能	—	⑦ 地中埋設構造物の損壊	陥没による可搬型設備の損壊、通行不能	陥没による通行不能	⑧ 淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊	堰堤及び送水配管の損壊による可搬型設備の損壊、通行不能	堰堤及び送水配管の損壊による通行不能	⑤
自然現象	保管場所・アクセスルートに影響を与えるおそれのある被害要因	保管場所で懸念される被害事象	アクセスルートで懸念される被害事象																																																												
地震	① 周辺建造物の損壊(建屋、鉄塔及び主排気筒)	損壊物による可搬型設備の損壊、通行不能	損壊物によるアクセスルートの閉塞																																																												
	② 周辺タンクの損壊	火災、溢水による可搬型設備の損壊、通行不能	タンク損壊に伴う火災・溢水による通行不能																																																												
	③ 周辺斜面の崩壊	土砂流入による可搬型設備の損壊、通行不能	土砂流入、道路損壊による通行不能																																																												
	④ 敷地下斜面・道路面のすべり	敷地下斜面のすべりによる可搬型設備の損壊、通行不能	敷地下斜面のすべりによる通行不能																																																												
	⑤ 液状化及び揺すり込みによる不等沈下等、液状化に伴う浮き上がり	不等沈下、浮き上がり等による可搬型設備の損壊、通行不能	アクセスルートの不等沈下、地中埋設構造物の浮き上がりによる通行不能																																																												
	⑥ 地盤支持力の不足	可搬型設備の転倒、通行不能	—																																																												
	⑦ 地中埋設構造物の損壊	陥没による可搬型設備の損壊、通行不能	陥没による通行不能																																																												
	⑧ 淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊	堰堤及び送水配管の損壊による可搬型設備の損壊、通行不能	堰堤及び送水配管の損壊による通行不能																																																												
自然現象	保管場所・アクセスルートに影響を与えるおそれのある被害要因	保管場所で懸念される被害事象	アクセスルートで懸念される被害事象																																																												
地震	① 周辺建造物の損壊(建屋、鉄塔及び煙突)	損壊物による可搬型設備の損壊、通行不能	損壊物によるアクセスルートの閉塞																																																												
	② 周辺タンクの損壊	火災、溢水による可搬型設備の損壊、通行不能	タンク損壊に伴う火災・溢水による通行不能																																																												
	③ 周辺斜面の崩壊	土砂流入による可搬型設備の損壊、通行不能	土砂流入、道路損壊による通行不能																																																												
	④ 敷地下斜面・道路面のすべり	敷地下斜面のすべりによる可搬型設備の損壊、通行不能	敷地下斜面のすべりによる通行不能																																																												
	⑤ 液状化及び揺すり込みによる不等沈下、液状化に伴う浮き上がり	不等沈下、浮き上がりによる可搬型設備の損壊、通行不能	アクセスルートの不等沈下、浮き上がりによる通行不能																																																												
	⑥ 地盤支持力の不足	可搬型設備の転倒、通行不能	—																																																												
	⑦ 地中埋設構造物の損壊	陥没による可搬型設備の損壊、通行不能	陥没による通行不能																																																												
	⑧ 淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊	堰堤及び送水配管の損壊による可搬型設備の損壊、通行不能	堰堤及び送水配管の損壊による通行不能																																																												



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	2.(5)	1.0.2-15	<p>(5) 津波による被害想定 保管場所は、津波遡上解析の結果、第3図に示すとおり、遡上域最大水位よりも標高が高い位置に設置されていることから、津波による被害は想定されない(「設計基準対象施設について」第5条:津波による損傷の防止)。 また、アクセスルートは、液状化及び揺すり込みによる沈下並びに斜面崩壊後の土砂形状を考慮した上で遡上域最大水位よりも標高が高い位置に設置されているため、津波による被害は想定されない(別紙35 参照)。</p>	<p>(5) 津波による被害想定 保管場所は、津波遡上解析の結果、図3に示すとおり、遡上域最大水位よりも標高が高い位置に設置されていることから、津波による被害は想定されない。 また、アクセスルートは、液状化及び揺すり込みによる沈下並びに斜面崩壊後の斜面形状を考慮した上で遡上域最大水位よりも標高が高い位置に設置されているため、津波による被害は想定されない(別紙35 参照)。</p>	⑤
16	2.(5) 第3図	1.0.2-15	 <p>第3図 基準津波による遡上域最大水位</p>	 <p>図3 基準津波による遡上域最大水位</p>	<p>②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																		
17	3.(1) 第4図	1.0.2-16	 <p style="text-align: center;">保管場所の標高、離隔距離、地盤の種類（再掲）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管場所</th> <th>標高</th> <th>常設代替交流電源設備からの離隔距離</th> <th>原子炉建屋からの離隔距離</th> <th>地盤の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 37m</td> <td>約 900m</td> <td>約 900m</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 35m</td> <td>約 250m</td> <td>約 250m</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 12m</td> <td>約 380m</td> <td>約 120m</td> <td>岩盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側第二保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 12m</td> <td>約 330m</td> <td>約 100m<sup>※1</sup></td> <td>粘性土地盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 原子炉建屋から100m以上の離隔を確保している。</p>	保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類	荒浜側高台保管場所	T. M. S. L. + 37m	約 900m	約 900m	砂質地盤・盛土地盤	大湊側高台保管場所	T. M. S. L. + 35m	約 250m	約 250m	砂質地盤・盛土地盤	5号炉東側保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 380m	約 120m	岩盤	5号炉東側第二保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 330m	約 100m <sup>※1</sup>	粘性土地盤	 <p style="text-align: center;">保管場所の標高、離隔距離、地盤の種類（再掲）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保管場所</th> <th>標高</th> <th>常設代替交流電源設備からの離隔距離</th> <th>原子炉建屋からの離隔距離</th> <th>地盤の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 37m</td> <td>約 900m以上</td> <td>900m以上</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 35m</td> <td>約 250m以上</td> <td>250m以上</td> <td>砂質地盤・盛土地盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 12m</td> <td>約 390m以上</td> <td>120m以上</td> <td>岩盤</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側第二保管場所</td> <td>T. M. S. L. + 12m</td> <td>約 350m以上</td> <td>100m以上</td> <td>粘性土地盤</td> </tr> </tbody> </table>	保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類	荒浜側高台保管場所	T. M. S. L. + 37m	約 900m以上	900m以上	砂質地盤・盛土地盤	大湊側高台保管場所	T. M. S. L. + 35m	約 250m以上	250m以上	砂質地盤・盛土地盤	5号炉東側保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 390m以上	120m以上	岩盤	5号炉東側第二保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 350m以上	100m以上	粘性土地盤	<p>②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため修正した)                  ⑤</p>
保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類																																																			
荒浜側高台保管場所	T. M. S. L. + 37m	約 900m	約 900m	砂質地盤・盛土地盤																																																			
大湊側高台保管場所	T. M. S. L. + 35m	約 250m	約 250m	砂質地盤・盛土地盤																																																			
5号炉東側保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 380m	約 120m	岩盤																																																			
5号炉東側第二保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 330m	約 100m <sup>※1</sup>	粘性土地盤																																																			
保管場所	標高	常設代替交流電源設備からの離隔距離	原子炉建屋からの離隔距離	地盤の種類																																																			
荒浜側高台保管場所	T. M. S. L. + 37m	約 900m以上	900m以上	砂質地盤・盛土地盤																																																			
大湊側高台保管場所	T. M. S. L. + 35m	約 250m以上	250m以上	砂質地盤・盛土地盤																																																			
5号炉東側保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 390m以上	120m以上	岩盤																																																			
5号炉東側第二保管場所	T. M. S. L. + 12m	約 350m以上	100m以上	粘性土地盤																																																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																											
18	3.(2) 第4-1表	1.0.2-19	<p>第4-1表 保管場所における主要可搬型設備 (1) 「2n+α」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>9台</td> <td>【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】8台</td> <td>1台</td> <td>4台</td> <td>5台</td> <td>・必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ケーブル (一式: 約40m)</td> <td>9式</td> <td>8式</td> <td>1式</td> <td>4式</td> <td>5式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>17台</td> <td>【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】16台</td> <td>1台</td> <td>荒浜側 6台 大湊側 6台 K5東二 5台</td> <td>6台</td> <td>・必要数 (1基あたりA-2級消防車4台、6号炉ホース292本、7号炉ホース256本)の2セット、2基で合計A-2級消防車16台及びホース1096本 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ A-2級消防車1台 (共用) 及びホース1本 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (1本: 約20m)</td> <td>1097本</td> <td>1096本</td> <td>1本</td> <td>468本 K5東二 160本</td> <td>469本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・熱交換器ユニット: 1式 ・大容量送水車 (熱交換器ユニット用): 1台</td> <td>5式</td> <td>【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td>・必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは1式 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (一式: 約400m, 口径300A)</td> <td>5式</td> <td>4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大容量送水車 (海水取水用) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>3台</td> <td>【6号及び7号炉分】 1台 (2n=2) 【合計】 2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>2台</td> <td>・必要数 (2基で1台)の2セット、2基で合計2台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用) ・なお、予備1台は6号及び7号炉代替原子炉補機冷却系の予備として配備している大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 1台及び原子炉建屋放水設備の予備として配備している大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 1台と兼用。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考	荒浜側	大湊側	可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】8台	1台	4台	5台	・必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)	ケーブル (一式: 約40m)	9式	8式	1式	4式	5式		可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】16台	1台	荒浜側 6台 大湊側 6台 K5東二 5台	6台	・必要数 (1基あたりA-2級消防車4台、6号炉ホース292本、7号炉ホース256本)の2セット、2基で合計A-2級消防車16台及びホース1096本 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ A-2級消防車1台 (共用) 及びホース1本 (共用)	ホース (1本: 約20m)	1097本	1096本	1本	468本 K5東二 160本	469本		代替原子炉補機冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・熱交換器ユニット: 1式 ・大容量送水車 (熱交換器ユニット用): 1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは1式 (共用)	ホース (一式: 約400m, 口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式		大容量送水車 (海水取水用) 【6号及び7号炉共用】	3台	【6号及び7号炉分】 1台 (2n=2) 【合計】 2台	1台	1台	2台	・必要数 (2基で1台)の2セット、2基で合計2台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用) ・なお、予備1台は6号及び7号炉代替原子炉補機冷却系の予備として配備している大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 1台及び原子炉建屋放水設備の予備として配備している大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 1台と兼用。	<p>表4-1 保管場所における主要可搬型設備 (1) 「2n+α」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>9台</td> <td>【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】8台</td> <td>1台</td> <td>4台</td> <td>5台</td> <td>・必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ケーブル (一式: 40m)</td> <td>9式</td> <td>8式</td> <td>1式</td> <td>4式</td> <td>5式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>17台</td> <td>【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】16台</td> <td>1台</td> <td>荒浜側 6台 大湊側 6台 K5東二 5台</td> <td>6台</td> <td>・必要数 (1基あたり4台)の2セット、2基で合計16台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (一式: 75A 500m)</td> <td>8式</td> <td>8式</td> <td>0式</td> <td>2式 K5東二 5式</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホース (一式: 75A 1800m)</td> <td>9式</td> <td>8式</td> <td>1式</td> <td>荒浜側 4式 大湊側 5式</td> <td>5式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・熱交換器ユニット: 1式 ・大容量送水車 (熱交換器ユニット用): 1台</td> <td>5式</td> <td>【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td>・必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは1式 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (一式: 約400m, 口径300A)</td> <td>5式</td> <td>4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大容量送水車 (海水取水用) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>3台</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>2台</td> <td>・必要数 (2基で1台)の2セット、2基で合計2台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用) ・なお、予備1台は6号及び7号炉代替原子炉補機冷却系の予備として配備している大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 1台及び原子炉建屋放水設備の予備として配備している大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 1台と兼用。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考	荒浜側	大湊側	可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】8台	1台	4台	5台	・必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)	ケーブル (一式: 40m)	9式	8式	1式	4式	5式		可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】16台	1台	荒浜側 6台 大湊側 6台 K5東二 5台	6台	・必要数 (1基あたり4台)の2セット、2基で合計16台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)	ホース (一式: 75A 500m)	8式	8式	0式	2式 K5東二 5式	1式		ホース (一式: 75A 1800m)	9式	8式	1式	荒浜側 4式 大湊側 5式	5式		代替原子炉補機冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・熱交換器ユニット: 1式 ・大容量送水車 (熱交換器ユニット用): 1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは1式 (共用)	ホース (一式: 約400m, 口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式		大容量送水車 (海水取水用) 【6号及び7号炉共用】	3台	2台	1台	1台	2台	・必要数 (2基で1台)の2セット、2基で合計2台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用) ・なお、予備1台は6号及び7号炉代替原子炉補機冷却系の予備として配備している大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 1台及び原子炉建屋放水設備の予備として配備している大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 1台と兼用。	③(設計進捗に伴い、保管場所・必要数等を変更)
			設備名					配備数	必要数		予備	保管場所		備考																																																																																																																		
荒浜側	大湊側																																																																																																																															
可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】8台	1台	4台	5台	・必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)																																																																																																																										
ケーブル (一式: 約40m)	9式	8式	1式	4式	5式																																																																																																																											
可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】16台	1台	荒浜側 6台 大湊側 6台 K5東二 5台	6台	・必要数 (1基あたりA-2級消防車4台、6号炉ホース292本、7号炉ホース256本)の2セット、2基で合計A-2級消防車16台及びホース1096本 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ A-2級消防車1台 (共用) 及びホース1本 (共用)																																																																																																																										
ホース (1本: 約20m)	1097本	1096本	1本	468本 K5東二 160本	469本																																																																																																																											
代替原子炉補機冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・熱交換器ユニット: 1式 ・大容量送水車 (熱交換器ユニット用): 1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは1式 (共用)																																																																																																																										
ホース (一式: 約400m, 口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式																																																																																																																											
大容量送水車 (海水取水用) 【6号及び7号炉共用】	3台	【6号及び7号炉分】 1台 (2n=2) 【合計】 2台	1台	1台	2台	・必要数 (2基で1台)の2セット、2基で合計2台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用) ・なお、予備1台は6号及び7号炉代替原子炉補機冷却系の予備として配備している大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 1台及び原子炉建屋放水設備の予備として配備している大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 1台と兼用。																																																																																																																										
設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考																																																																																																																										
				荒浜側	大湊側																																																																																																																											
可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】8台	1台	4台	5台	・必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)																																																																																																																										
ケーブル (一式: 40m)	9式	8式	1式	4式	5式																																																																																																																											
可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】16台	1台	荒浜側 6台 大湊側 6台 K5東二 5台	6台	・必要数 (1基あたり4台)の2セット、2基で合計16台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)																																																																																																																										
ホース (一式: 75A 500m)	8式	8式	0式	2式 K5東二 5式	1式																																																																																																																											
ホース (一式: 75A 1800m)	9式	8式	1式	荒浜側 4式 大湊側 5式	5式																																																																																																																											
代替原子炉補機冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・熱交換器ユニット: 1式 ・大容量送水車 (熱交換器ユニット用): 1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは1式 (共用)																																																																																																																										
ホース (一式: 約400m, 口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式																																																																																																																											
大容量送水車 (海水取水用) 【6号及び7号炉共用】	3台	2台	1台	1台	2台	・必要数 (2基で1台)の2セット、2基で合計2台 ・故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用) ・なお、予備1台は6号及び7号炉代替原子炉補機冷却系の予備として配備している大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 1台及び原子炉建屋放水設備の予備として配備している大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 1台と兼用。																																																																																																																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																												
19	3.(2) 第4-1表	1.0.2-20	<p>(3)「n」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考(必要数nの補足)</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台でスプレイが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレイ冷却が可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置</td> <td>3台</td> <td>1台 【6号炉分】 1台 【7号炉分】 【合計】 2台</td> <td>1台 (共用)</td> <td>1台</td> <td>2台</td> <td>号炉あたり1台で窒素供給が可能。</td> </tr> <tr> <td>スクラバ水pH制御設備</td> <td>3式</td> <td>1式 【6号炉分】 1式 【7号炉分】 【合計】 2式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>号炉あたり1式で薬液注入が可能。</td> </tr> <tr> <td>取水口用汚濁防止膜(シトフェンス) (1箇所あたり)</td> <td>約200m</td> <td>(1重) 約80m</td> <td>(2重+予備) 約120m</td> <td>約100m</td> <td>約100m</td> <td>1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> <tr> <td>放水口用汚濁防止膜(シトフェンス) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>約320m</td> <td>(1重) 約140m</td> <td>(2重+予備) 約180m</td> <td>約160m</td> <td>約160m</td> <td>1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所を示す。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)	荒浜側	大湊側	可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレイが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレイ冷却が可能。	可搬型窒素供給装置	3台	1台 【6号炉分】 1台 【7号炉分】 【合計】 2台	1台 (共用)	1台	2台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。	スクラバ水pH制御設備	3式	1式 【6号炉分】 1式 【7号炉分】 【合計】 2式	1式	1式	2式	号炉あたり1式で薬液注入が可能。	取水口用汚濁防止膜(シトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	(1重) 約80m	(2重+予備) 約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。	放水口用汚濁防止膜(シトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	(1重) 約140m	(2重+予備) 約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。	<p>(3)「n」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考(必要数nの補足)</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台でスプレイが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレイ冷却が可能。</td> </tr> <tr> <td>ホース(一式:500m)・75A:500m</td> <td>2式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)</td> <td rowspan="2">3台</td> <td>1台</td> <td rowspan="2">1台 (共用)</td> <td rowspan="2">1台</td> <td>1台</td> <td rowspan="2">号炉あたり1台で窒素供給が可能。</td> </tr> <tr> <td>7号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>取水口用汚濁防止膜(シトフェンス) (1箇所あたり)</td> <td>約200m</td> <td>約80m</td> <td>約120m</td> <td>約100m</td> <td>約100m</td> <td>1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> <tr> <td>放水口用汚濁防止膜(シトフェンス) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>約320m</td> <td>約140m</td> <td>約180m</td> <td>約160m</td> <td>約160m</td> <td>1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】</td> <td rowspan="2">2式</td> <td rowspan="2">1式</td> <td rowspan="2">1式</td> <td rowspan="2">1式</td> <td rowspan="2">1式</td> <td rowspan="2">申請プラント数の半数以上の1式。ただし、泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。</td> </tr> <tr> <td>一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水車:1台 ・泡原液搬送車:1台</td> </tr> <tr> <td>ホース ・送水側一式:950m, 口径300A ・吸込側一式:80m, 口径150A</td> <td>1式 及び 予備</td> <td>1式</td> <td>送水側 50m1本 10m1本 5m1本 吸込側 20m1本</td> <td>送水側 50m1本 10m1本 5m1本 吸込側 20m1本</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】</td> <td>1式</td> <td>0式 (常設)</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>0式</td> <td>号炉間電力融通ケーブル(常設)の子備。</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ 【発電所共用】</td> <td>【4kl】 4台 【16kl】 2台 【合計】 6台</td> <td>【4kl】 3台 【16kl】 1台 【合計】 4台</td> <td>【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台</td> <td>荒浜側 【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台</td> <td>大湊側 【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台</td> <td>4kl3台及び16kl1台で6号及び7号炉が運転中かつ1~5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。</td> </tr> <tr> <td>小型船舶(海上モニタリング用) 【発電所共用】</td> <td>2隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻で海上モニタリングを実施可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】</td> <td>16台</td> <td>15台</td> <td>1台</td> <td>8台 5号炉原子炉建屋 1台</td> <td>7台</td> <td>モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の隔圧化用で1台の合計15台で測定可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型気象観測装置 【発電所共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>気象観測は1台で測定可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)	荒浜側	大湊側	可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレイが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレイ冷却が可能。	ホース(一式:500m)・75A:500m	2式	1式	1式	1式	1式		6号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	3台	1台	1台 (共用)	1台	1台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。	7号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	1台	取水口用汚濁防止膜(シトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	約80m	約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。	放水口用汚濁防止膜(シトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	約140m	約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。	原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。ただし、泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。	一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水車:1台 ・泡原液搬送車:1台	ホース ・送水側一式:950m, 口径300A ・吸込側一式:80m, 口径150A	1式 及び 予備	1式	送水側 50m1本 10m1本 5m1本 吸込側 20m1本	送水側 50m1本 10m1本 5m1本 吸込側 20m1本	1式		号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】	1式	0式 (常設)	1式	1式	0式	号炉間電力融通ケーブル(常設)の子備。	タンクローリ 【発電所共用】	【4kl】 4台 【16kl】 2台 【合計】 6台	【4kl】 3台 【16kl】 1台 【合計】 4台	【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台	荒浜側 【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台	大湊側 【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台	4kl3台及び16kl1台で6号及び7号炉が運転中かつ1~5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。	小型船舶(海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。	可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の隔圧化用で1台の合計15台で測定可能。	可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。	③(設計進捗に伴い、可搬型設備としてスクラバ水pH制御設備を追加) ⑤
設備名	配備数	必要数	予備					保管場所			備考(必要数nの補足)																																																																																																																																						
				荒浜側	大湊側																																																																																																																																												
可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレイが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレイ冷却が可能。																																																																																																																																											
可搬型窒素供給装置	3台	1台 【6号炉分】 1台 【7号炉分】 【合計】 2台	1台 (共用)	1台	2台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。																																																																																																																																											
スクラバ水pH制御設備	3式	1式 【6号炉分】 1式 【7号炉分】 【合計】 2式	1式	1式	2式	号炉あたり1式で薬液注入が可能。																																																																																																																																											
取水口用汚濁防止膜(シトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	(1重) 約80m	(2重+予備) 約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																											
放水口用汚濁防止膜(シトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	(1重) 約140m	(2重+予備) 約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																											
設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)																																																																																																																																											
				荒浜側	大湊側																																																																																																																																												
可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレイが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレイ冷却が可能。																																																																																																																																											
ホース(一式:500m)・75A:500m	2式	1式	1式	1式	1式																																																																																																																																												
6号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	3台	1台	1台 (共用)	1台	1台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。																																																																																																																																											
7号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)		1台																																																																																																																																															
取水口用汚濁防止膜(シトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	約80m	約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																											
放水口用汚濁防止膜(シトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	約140m	約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																											
原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。ただし、泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。																																																																																																																																											
一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水車:1台 ・泡原液搬送車:1台																																																																																																																																																	
ホース ・送水側一式:950m, 口径300A ・吸込側一式:80m, 口径150A	1式 及び 予備	1式	送水側 50m1本 10m1本 5m1本 吸込側 20m1本	送水側 50m1本 10m1本 5m1本 吸込側 20m1本	1式																																																																																																																																												
号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】	1式	0式 (常設)	1式	1式	0式	号炉間電力融通ケーブル(常設)の子備。																																																																																																																																											
タンクローリ 【発電所共用】	【4kl】 4台 【16kl】 2台 【合計】 6台	【4kl】 3台 【16kl】 1台 【合計】 4台	【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台	荒浜側 【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台	大湊側 【4kl】 1台 【16kl】 1台 【合計】 2台	4kl3台及び16kl1台で6号及び7号炉が運転中かつ1~5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。																																																																																																																																											
小型船舶(海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。																																																																																																																																											
可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の隔圧化用で1台の合計15台で測定可能。																																																																																																																																											
可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。																																																																																																																																											



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																			
20	3.(2) 第4-1表	1.0.2-21	<p>(3) 「n」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考(必要数nの補足)</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大浜側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型船舶(汚濁防止膜設置用) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>汚濁防止膜を1台で設置可能。</td> </tr> <tr> <td>放射性物質吸着材 【6号及び7号炉共用】</td> <td>7式</td> <td>6式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>6式</td> <td>5号、6号及び7号炉雨水排水路集水溝並びにフラップゲート入口3箇所それぞれ1式を設置。</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液混合装置:1台 ・泡原液搬送車:1台</td> <td>2式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液混合装置及び泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。</td> </tr> <tr> <td>ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A</td> <td>1式及び予備</td> <td>1式</td> <td>送水側50m 1本 10m 1本 5m 1本 吸込側20m 1本</td> <td>送水側10m 1本 5m 1本 吸込側20m 1本</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】</td> <td>1式</td> <td>0式(常設)</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>0式</td> <td>号炉間電力融通ケーブル(常設)の予備。</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ 【発電所共用】</td> <td>【4kL】4台 【16kL】2台 【合計】6台</td> <td>【4kL】3台 【16kL】1台 【合計】4台</td> <td>【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台</td> <td>荒浜側 【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台 K5東二</td> <td>大浜側 【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台</td> <td>4kL 3台及び16kL 1台で6号及び7号炉が運転中かつ1~5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。</td> </tr> <tr> <td>小型船舶(海上モニタリング用) 【発電所共用】</td> <td>2隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻で海上モニタリングを実施可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】</td> <td>16台</td> <td>15台</td> <td>1台</td> <td>8台 5号炉原子炉建屋 1台</td> <td>7台</td> <td>モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の陽圧化用で1台の合計15台で測定可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型気象観測装置 【発電所共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>気象観測は1台で測定可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】</td> <td>5台</td> <td>2台</td> <td>3台</td> <td>K5東一 2台</td> <td>大浜側 3台</td> <td>1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。</td> </tr> <tr> <td>可搬ケーブル(一式:約100m)</td> <td>2式</td> <td>0式</td> <td>2式</td> <td>5号炉原子炉建屋 2式</td> <td></td> <td>ケーブル(常設)の予備。</td> </tr> </tbody> </table>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)	荒浜側	大浜側	小型船舶(汚濁防止膜設置用) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	汚濁防止膜を1台で設置可能。	放射性物質吸着材 【6号及び7号炉共用】	7式	6式	1式	1式	6式	5号、6号及び7号炉雨水排水路集水溝並びにフラップゲート入口3箇所それぞれ1式を設置。	原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液混合装置:1台 ・泡原液搬送車:1台	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液混合装置及び泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。	ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A	1式及び予備	1式	送水側50m 1本 10m 1本 5m 1本 吸込側20m 1本	送水側10m 1本 5m 1本 吸込側20m 1本	1式		号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】	1式	0式(常設)	1式	1式	0式	号炉間電力融通ケーブル(常設)の予備。	タンクローリ 【発電所共用】	【4kL】4台 【16kL】2台 【合計】6台	【4kL】3台 【16kL】1台 【合計】4台	【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台	荒浜側 【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台 K5東二	大浜側 【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台	4kL 3台及び16kL 1台で6号及び7号炉が運転中かつ1~5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。	小型船舶(海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。	可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の陽圧化用で1台の合計15台で測定可能。	可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】	5台	2台	3台	K5東一 2台	大浜側 3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。	可搬ケーブル(一式:約100m)	2式	0式	2式	5号炉原子炉建屋 2式		ケーブル(常設)の予備。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>配備数</th> <th>必要数</th> <th>予備</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央制御室 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・フィルタユニット:1台 ・ブロユニット:2台</td> <td>3式</td> <td>【6号炉分】1式 【7号炉分】1式 【合計】2式</td> <td>1式(共用)</td> <td>6号及び7号炉合計2式で中央制御室内を隣接区画+20Pa以上+40Pa未満の範囲内で陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室陽圧化装置 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>194本</td> <td>174本</td> <td>20本</td> <td>6号及び7号炉合計174本で中央制御室待避室を窒息防止しつつ10時間陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 (フィルタ、ブロー一体型)</td> <td>6台</td> <td>3台</td> <td>3台</td> <td>1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を、2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。ただし、建屋内の雰囲気気量は屋外より高い場合においては、可搬型外気取入送風機とあわせて使用する。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】</td> <td>3台</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>建屋内の雰囲気気量は屋外より高い場合において、1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機設置エリアを外気パージすることが可能。その際には、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の陽圧化のため、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機とあわせて追加1台を使用。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>123本以上</td> <td>123本</td> <td>(現場運用を考慮し別途決定)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置の機能とあわせて、123本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機(フィルタ、ブロー一体型) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>4台</td> <td>2台</td> <td>2台</td> <td>2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>1792本以上</td> <td>1792本</td> <td>(現場運用を考慮し別途決定)</td> <td>1792本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】</td> <td>5台</td> <td>2台</td> <td>3台</td> <td>1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。</td> </tr> </tbody> </table>	設備名	配備数	必要数	予備	備考	中央制御室 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・フィルタユニット:1台 ・ブロユニット:2台	3式	【6号炉分】1式 【7号炉分】1式 【合計】2式	1式(共用)	6号及び7号炉合計2式で中央制御室内を隣接区画+20Pa以上+40Pa未満の範囲内で陽圧化することが可能。	中央制御室待避室陽圧化装置 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	194本	174本	20本	6号及び7号炉合計174本で中央制御室待避室を窒息防止しつつ10時間陽圧化することが可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 (フィルタ、ブロー一体型)	6台	3台	3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を、2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。ただし、建屋内の雰囲気気量は屋外より高い場合においては、可搬型外気取入送風機とあわせて使用する。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】	3台	2台	1台	建屋内の雰囲気気量は屋外より高い場合において、1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機設置エリアを外気パージすることが可能。その際には、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の陽圧化のため、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機とあわせて追加1台を使用。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	123本以上	123本	(現場運用を考慮し別途決定)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置の機能とあわせて、123本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機(フィルタ、ブロー一体型) 【6号及び7号炉共用】	4台	2台	2台	2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	1792本以上	1792本	(現場運用を考慮し別途決定)	1792本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】	5台	2台	3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。	<p>③(設計進捗に伴い、可搬型設備(小型船舶、放射性物質吸着材、可搬ケーブル等)を追加) ⑤</p>
			設備名					配備数	必要数		予備	保管場所		備考(必要数nの補足)																																																																																																																										
荒浜側	大浜側																																																																																																																																							
小型船舶(汚濁防止膜設置用) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	汚濁防止膜を1台で設置可能。																																																																																																																																		
放射性物質吸着材 【6号及び7号炉共用】	7式	6式	1式	1式	6式	5号、6号及び7号炉雨水排水路集水溝並びにフラップゲート入口3箇所それぞれ1式を設置。																																																																																																																																		
原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液混合装置:1台 ・泡原液搬送車:1台	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液混合装置及び泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。																																																																																																																																		
ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A	1式及び予備	1式	送水側50m 1本 10m 1本 5m 1本 吸込側20m 1本	送水側10m 1本 5m 1本 吸込側20m 1本	1式																																																																																																																																			
号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】	1式	0式(常設)	1式	1式	0式	号炉間電力融通ケーブル(常設)の予備。																																																																																																																																		
タンクローリ 【発電所共用】	【4kL】4台 【16kL】2台 【合計】6台	【4kL】3台 【16kL】1台 【合計】4台	【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台	荒浜側 【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台 K5東二	大浜側 【4kL】1台 【16kL】1台 【合計】2台	4kL 3台及び16kL 1台で6号及び7号炉が運転中かつ1~5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。																																																																																																																																		
小型船舶(海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。																																																																																																																																		
可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の陽圧化用で1台の合計15台で測定可能。																																																																																																																																		
可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。																																																																																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】	5台	2台	3台	K5東一 2台	大浜側 3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。																																																																																																																																		
可搬ケーブル(一式:約100m)	2式	0式	2式	5号炉原子炉建屋 2式		ケーブル(常設)の予備。																																																																																																																																		
設備名	配備数	必要数	予備	備考																																																																																																																																				
中央制御室 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・フィルタユニット:1台 ・ブロユニット:2台	3式	【6号炉分】1式 【7号炉分】1式 【合計】2式	1式(共用)	6号及び7号炉合計2式で中央制御室内を隣接区画+20Pa以上+40Pa未満の範囲内で陽圧化することが可能。																																																																																																																																				
中央制御室待避室陽圧化装置 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	194本	174本	20本	6号及び7号炉合計174本で中央制御室待避室を窒息防止しつつ10時間陽圧化することが可能。																																																																																																																																				
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 (フィルタ、ブロー一体型)	6台	3台	3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を、2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。ただし、建屋内の雰囲気気量は屋外より高い場合においては、可搬型外気取入送風機とあわせて使用する。																																																																																																																																				
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】	3台	2台	1台	建屋内の雰囲気気量は屋外より高い場合において、1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機設置エリアを外気パージすることが可能。その際には、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の陽圧化のため、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機とあわせて追加1台を使用。																																																																																																																																				
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 陽圧化装置(空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	123本以上	123本	(現場運用を考慮し別途決定)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置の機能とあわせて、123本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。																																																																																																																																				
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機(フィルタ、ブロー一体型) 【6号及び7号炉共用】	4台	2台	2台	2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。																																																																																																																																				
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 陽圧化装置(空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	1792本以上	1792本	(現場運用を考慮し別途決定)	1792本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。																																																																																																																																				
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】	5台	2台	3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。																																																																																																																																				
			<p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大浜側は大浜側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>			<p>※ 各設備の数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p>																																																																																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																										
21	3.(2) 第4-1表	1.0.2-22	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>配備数</th> <th>必要数</th> <th>予備</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央制御室 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・フィルタユニット：1台 ・ブロワユニット：2台</td> <td rowspan="3">3式</td> <td>【6号炉分】 1式</td> <td rowspan="3">1式 (共用)</td> <td rowspan="3">6号及び7号炉合計2式で中央制御室内を隣接区画+20Pa以上+40Pa未満の範囲内で陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>【7号炉分】 1式</td> </tr> <tr> <td>【合計】 2式</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>194本</td> <td>174本</td> <td>20本</td> <td>6号及び7号炉合計174本で中央制御室待避室を窒息防止しつつ10時間陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 (フィルタ、ブロワー体型)</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を、2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。 ただし、建屋内の雰囲気線量が屋外より高い場合においては、可搬型体型とあわせて使用する。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機 【6号及び7号炉共用】</td> <td>3台</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>建屋内の雰囲気線量が屋外より高い場合において、1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機設置エリアを外気パージすることが可能。 その際には、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の陽圧化のため、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機とあわせて追加1台を使用。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>123本以上</td> <td>123本</td> <td>(現場運用を考慮し別途決定)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置の機能とあわせて、123本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型陽圧化空調機 (フィルタ、ブロワー体型) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>4台</td> <td>2台</td> <td>2台</td> <td>2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>1792本以上</td> <td>1792本</td> <td>(現場運用を考慮し別途決定)</td> <td>1792本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	備考	中央制御室 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・フィルタユニット：1台 ・ブロワユニット：2台	3式	【6号炉分】 1式	1式 (共用)	6号及び7号炉合計2式で中央制御室内を隣接区画+20Pa以上+40Pa未満の範囲内で陽圧化することが可能。	【7号炉分】 1式	【合計】 2式	中央制御室待避室陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	194本	174本	20本	6号及び7号炉合計174本で中央制御室待避室を窒息防止しつつ10時間陽圧化することが可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 (フィルタ、ブロワー体型)	2台	1台	1台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を、2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。 ただし、建屋内の雰囲気線量が屋外より高い場合においては、可搬型体型とあわせて使用する。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機 【6号及び7号炉共用】	3台	2台	1台	建屋内の雰囲気線量が屋外より高い場合において、1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機設置エリアを外気パージすることが可能。 その際には、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の陽圧化のため、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機とあわせて追加1台を使用。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	123本以上	123本	(現場運用を考慮し別途決定)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置の機能とあわせて、123本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型陽圧化空調機 (フィルタ、ブロワー体型) 【6号及び7号炉共用】	4台	2台	2台	2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	1792本以上	1792本	(現場運用を考慮し別途決定)	1792本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。	同上	③(設計進捗に伴い、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機の台数変更)
			設備名	配備数	必要数	予備	備考																																								
			中央制御室 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・フィルタユニット：1台 ・ブロワユニット：2台	3式	【6号炉分】 1式	1式 (共用)	6号及び7号炉合計2式で中央制御室内を隣接区画+20Pa以上+40Pa未満の範囲内で陽圧化することが可能。																																								
					【7号炉分】 1式																																										
					【合計】 2式																																										
			中央制御室待避室陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	194本	174本	20本	6号及び7号炉合計174本で中央制御室待避室を窒息防止しつつ10時間陽圧化することが可能。																																								
			5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機 【6号及び7号炉共用】 (フィルタ、ブロワー体型)	2台	1台	1台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を、2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。 ただし、建屋内の雰囲気線量が屋外より高い場合においては、可搬型体型とあわせて使用する。																																								
			5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機 【6号及び7号炉共用】	3台	2台	1台	建屋内の雰囲気線量が屋外より高い場合において、1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機設置エリアを外気パージすることが可能。 その際には、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の陽圧化のため、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機とあわせて追加1台を使用。																																								
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	123本以上	123本	(現場運用を考慮し別途決定)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 二酸化炭素吸収装置の機能とあわせて、123本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。																																											
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型陽圧化空調機 (フィルタ、ブロワー体型) 【6号及び7号炉共用】	4台	2台	2台	2台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を陽圧化することが可能。																																											
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 陽圧化装置 (空気ポンプ) 【6号及び7号炉共用】	1792本以上	1792本	(現場運用を考慮し別途決定)	1792本で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)を窒息防止しつつ10.5時間陽圧化することが可能。																																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																		
22	3.(2) 第4-2表	1.0.2-23	<p style="text-align: center;">第4-2表 保管場所等における主要設備</p> <p>(1) 重機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重機</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>荒浜側高台</th> <th>大湊側高台</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>5台</td> <td>2台</td> <td>3台</td> <td>ホイールローダのうち、4台は可搬型重大事故等対処設備、大湊側高台保管場所の1台は予備として位置付けている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各重機の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p> <p>(2) その他設備（自主的に所有している設備）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>配備数</th> <th>保管場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学消防自動車（火災対応用）</td> <td>2台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所</td> <td>各々1台配備</td> </tr> <tr> <td>消防車（火災対応用）</td> <td>2台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所</td> <td>各々1台配備</td> </tr> <tr> <td>大型化学高所放水車</td> <td>2台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>各々1台配備</td> </tr> <tr> <td>ホース展開車（原子炉建屋放水設備用）</td> <td>5台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：2台配備 大湊側：3台配備</td> </tr> <tr> <td>放射能観測車（モニタリングカー）</td> <td>1台</td> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>7台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：3台配備 大湊側：4台配備</td> </tr> <tr> <td>衛星通信車</td> <td>1台</td> <td>構内保管場所</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>1台</td> <td>構内保管場所</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）</td> <td>各々1台</td> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>予備品</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）</td> <td>各々1台</td> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>予備品</td> </tr> <tr> <td>可搬型照明設備</td> <td>19台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>発電機付照明 荒浜側：10台配備 大湊側：9台配備</td> </tr> <tr> <td>直流給電車</td> <td>4台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：1式配備 大湊側：3式配備</td> </tr> <tr> <td>カードル式空気ポンプユニット</td> <td>5台</td> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ホース展開車</td> <td>7台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：5台配備 大湊側：2台配備</td> </tr> <tr> <td>可搬型大容量窒素供給装置</td> <td>9台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：5台配備 大湊側：4台配備</td> </tr> <tr> <td>代替補機冷却海水ポンプ</td> <td>3台</td> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ショベルカー</td> <td>2台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：1台配備 大湊側：1台配備</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザー</td> <td>1台</td> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p>	重機	配備数	保管場所		備考	荒浜側高台	大湊側高台	ホイールローダ	5台	2台	3台	ホイールローダのうち、4台は可搬型重大事故等対処設備、大湊側高台保管場所の1台は予備として位置付けている。	設備名	配備数	保管場所	備考	化学消防自動車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備	消防車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備	大型化学高所放水車	2台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	各々1台配備	ホース展開車（原子炉建屋放水設備用）	5台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：2台配備 大湊側：3台配備	放射能観測車（モニタリングカー）	1台	荒浜側高台保管場所	-	クレーン付トラック	7台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：3台配備 大湊側：4台配備	衛星通信車	1台	構内保管場所	-	コンクリートポンプ車	1台	構内保管場所	-	原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品	原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品	可搬型照明設備	19台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	発電機付照明 荒浜側：10台配備 大湊側：9台配備	直流給電車	4台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：1式配備 大湊側：3式配備	カードル式空気ポンプユニット	5台	荒浜側高台保管場所	-	ホース展開車	7台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：5台配備 大湊側：2台配備	可搬型大容量窒素供給装置	9台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：5台配備 大湊側：4台配備	代替補機冷却海水ポンプ	3台	大湊側高台保管場所	-	ショベルカー	2台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：1台配備 大湊側：1台配備	ブルドーザー	1台	荒浜側高台保管場所	-	<p style="text-align: center;">表4-2 保管場所等における主要設備</p> <p>(1) 重機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">重機</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>荒浜側高台</th> <th>大湊側高台</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>5台</td> <td>2台</td> <td>3台</td> <td>ホイールローダのうち、4台は可搬型重大事故等対処設備、大湊側高台の1台は予備として位置付けている。</td> </tr> <tr> <td>ショベルカー</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザー</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各重機の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p> <p>(2) その他設備（自主的に所有している設備）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>配備数</th> <th>保管場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学消防車（火災対応用）</td> <td>2台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所</td> <td>各々1台配備</td> </tr> <tr> <td>消防車（火災対応用）</td> <td>2台</td> <td>荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所</td> <td>各々1台配備</td> </tr> <tr> <td>高所放水車</td> <td>2台</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> <td>各々1台配備</td> </tr> <tr> <td>ホース展開車（原子炉建屋放水設備用）</td> <td>5台</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：2台配備 大湊側：3台配備</td> </tr> <tr> <td>放射能観測車（モニタリングカー）</td> <td>1台</td> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源車（750kVA）</td> <td>1台</td> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>1台</td> <td>構内保管場所</td> <td>T.M.S.L+12m以上</td> </tr> <tr> <td>衛星通信車</td> <td>1台</td> <td>構内保管場所</td> <td>T.M.S.L+12m以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>2台</td> <td>構内保管場所</td> <td>T.M.S.L+35m</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）</td> <td>各々1台</td> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>予備品</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）</td> <td>各々1台</td> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>予備品</td> </tr> <tr> <td>可搬型照明設備</td> <td>19台</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> <td>発電機付照明</td> </tr> <tr> <td>直流給電車</td> <td>4台</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：1式配備 大湊側：3式配備</td> </tr> <tr> <td>空気ポンベカードル車</td> <td>5台</td> <td>構内保管場所</td> <td>T.M.S.L+35m</td> </tr> <tr> <td>大容量送水車</td> <td>8台</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：6台配備 大湊側：2台配備</td> </tr> <tr> <td>ホース展開車</td> <td>8台</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> <td>荒浜側：6台配備 大湊側：2台配備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。</p>	重機	配備数	保管場所		備考	荒浜側高台	大湊側高台	ホイールローダ	5台	2台	3台	ホイールローダのうち、4台は可搬型重大事故等対処設備、大湊側高台の1台は予備として位置付けている。	ショベルカー	2台	1台	1台		ブルドーザー	1台	1台	-		設備名	配備数	保管場所	備考	化学消防車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備	消防車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備	高所放水車	2台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	各々1台配備	ホース展開車（原子炉建屋放水設備用）	5台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：2台配備 大湊側：3台配備	放射能観測車（モニタリングカー）	1台	荒浜側高台保管場所		電源車（750kVA）	1台	荒浜側高台保管場所		クレーン付トラック	1台	構内保管場所	T.M.S.L+12m以上	衛星通信車	1台	構内保管場所	T.M.S.L+12m以上	コンクリートポンプ車	2台	構内保管場所	T.M.S.L+35m	原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品	原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品	可搬型照明設備	19台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	発電機付照明	直流給電車	4台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：1式配備 大湊側：3式配備	空気ポンベカードル車	5台	構内保管場所	T.M.S.L+35m	大容量送水車	8台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：6台配備 大湊側：2台配備	ホース展開車	8台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：6台配備 大湊側：2台配備	<p>③（自主的に所有している設備（可搬型大容量窒素供給装置等）を追記） ⑤</p>
重機	配備数	保管場所				備考																																																																																																																																																																																	
		荒浜側高台	大湊側高台																																																																																																																																																																																				
ホイールローダ	5台	2台	3台	ホイールローダのうち、4台は可搬型重大事故等対処設備、大湊側高台保管場所の1台は予備として位置付けている。																																																																																																																																																																																			
設備名	配備数	保管場所	備考																																																																																																																																																																																				
化学消防自動車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備																																																																																																																																																																																				
消防車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備																																																																																																																																																																																				
大型化学高所放水車	2台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	各々1台配備																																																																																																																																																																																				
ホース展開車（原子炉建屋放水設備用）	5台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：2台配備 大湊側：3台配備																																																																																																																																																																																				
放射能観測車（モニタリングカー）	1台	荒浜側高台保管場所	-																																																																																																																																																																																				
クレーン付トラック	7台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：3台配備 大湊側：4台配備																																																																																																																																																																																				
衛星通信車	1台	構内保管場所	-																																																																																																																																																																																				
コンクリートポンプ車	1台	構内保管場所	-																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品																																																																																																																																																																																				
可搬型照明設備	19台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	発電機付照明 荒浜側：10台配備 大湊側：9台配備																																																																																																																																																																																				
直流給電車	4台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：1式配備 大湊側：3式配備																																																																																																																																																																																				
カードル式空気ポンプユニット	5台	荒浜側高台保管場所	-																																																																																																																																																																																				
ホース展開車	7台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：5台配備 大湊側：2台配備																																																																																																																																																																																				
可搬型大容量窒素供給装置	9台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：5台配備 大湊側：4台配備																																																																																																																																																																																				
代替補機冷却海水ポンプ	3台	大湊側高台保管場所	-																																																																																																																																																																																				
ショベルカー	2台	荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所	荒浜側：1台配備 大湊側：1台配備																																																																																																																																																																																				
ブルドーザー	1台	荒浜側高台保管場所	-																																																																																																																																																																																				
重機	配備数	保管場所		備考																																																																																																																																																																																			
		荒浜側高台	大湊側高台																																																																																																																																																																																				
ホイールローダ	5台	2台	3台	ホイールローダのうち、4台は可搬型重大事故等対処設備、大湊側高台の1台は予備として位置付けている。																																																																																																																																																																																			
ショベルカー	2台	1台	1台																																																																																																																																																																																				
ブルドーザー	1台	1台	-																																																																																																																																																																																				
設備名	配備数	保管場所	備考																																																																																																																																																																																				
化学消防車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備																																																																																																																																																																																				
消防車（火災対応用）	2台	荒浜側高台保管場所及び自衛消防隊詰り所	各々1台配備																																																																																																																																																																																				
高所放水車	2台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	各々1台配備																																																																																																																																																																																				
ホース展開車（原子炉建屋放水設備用）	5台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：2台配備 大湊側：3台配備																																																																																																																																																																																				
放射能観測車（モニタリングカー）	1台	荒浜側高台保管場所																																																																																																																																																																																					
電源車（750kVA）	1台	荒浜側高台保管場所																																																																																																																																																																																					
クレーン付トラック	1台	構内保管場所	T.M.S.L+12m以上																																																																																																																																																																																				
衛星通信車	1台	構内保管場所	T.M.S.L+12m以上																																																																																																																																																																																				
コンクリートポンプ車	2台	構内保管場所	T.M.S.L+35m																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却海水ポンプ電動機（6号炉用）（7号炉用）	各々1台	大湊側高台保管場所	予備品																																																																																																																																																																																				
可搬型照明設備	19台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	発電機付照明																																																																																																																																																																																				
直流給電車	4台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：1式配備 大湊側：3式配備																																																																																																																																																																																				
空気ポンベカードル車	5台	構内保管場所	T.M.S.L+35m																																																																																																																																																																																				
大容量送水車	8台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：6台配備 大湊側：2台配備																																																																																																																																																																																				
ホース展開車	8台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	荒浜側：6台配備 大湊側：2台配備																																																																																																																																																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

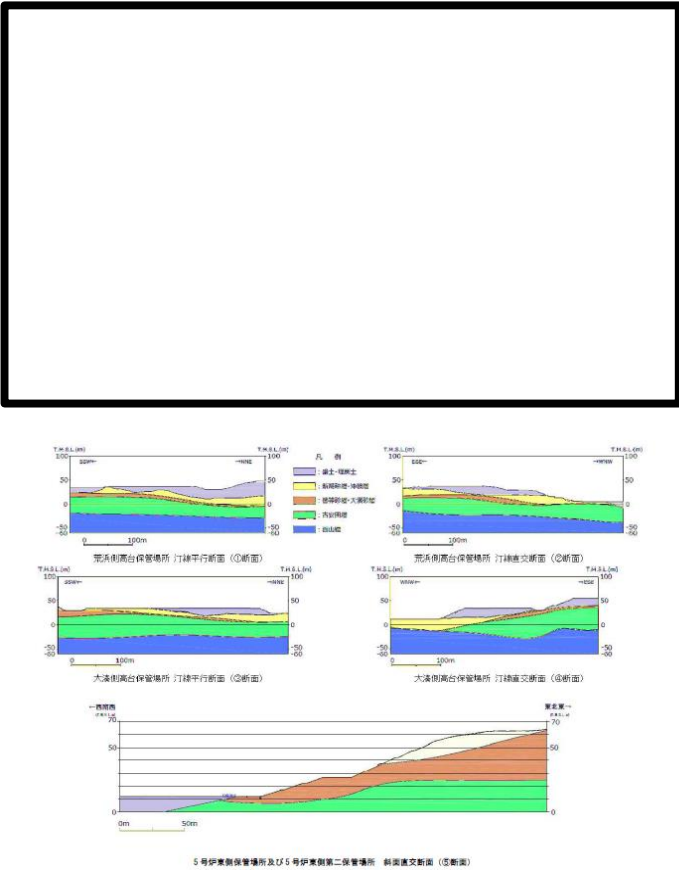
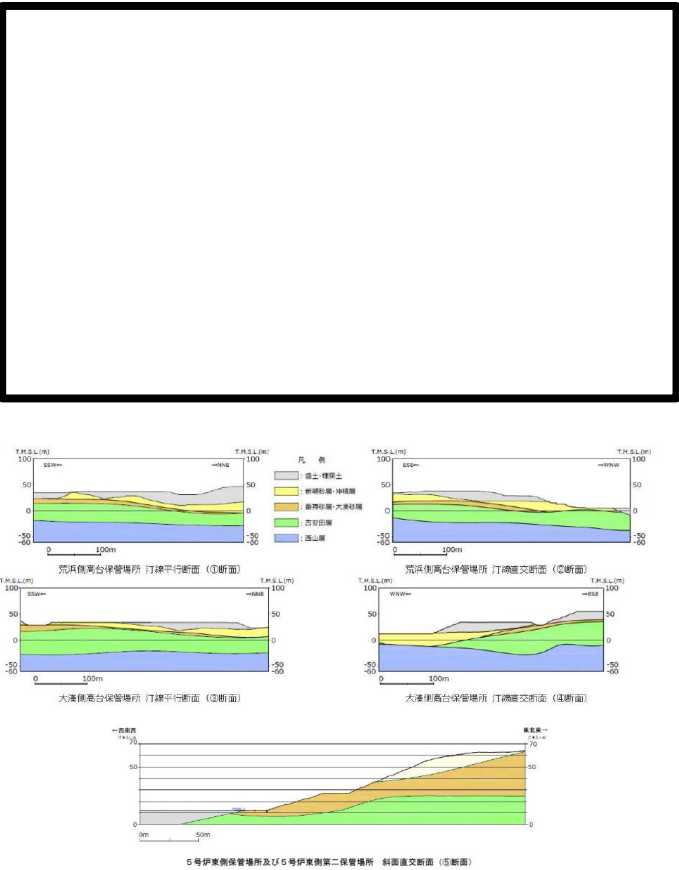
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
23	3.(4)1)② 第7表	1.0.2-26	<p style="text-align: center;">第7表 溢水タンク漏えい時被害想定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・No.3 純水タンク ・No.4 純水タンク ・No.3 ろ過水タンク ・No.4 ろ過水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup> 2,000m<sup>3</sup> 1,000m<sup>3</sup> 1,000m<sup>3</sup></td> <td>・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td>・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、溢水は拡散する。 ・タンクと5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所の間には、建物等の障害物があり、溢水したタンクからの水が直接保管場所へ到達しづらい。 ・5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所に保管する可搬型設備は、周辺地面上30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、周辺タンクの損傷による影響を受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	容量	被害想定	内容	・No.3 純水タンク ・No.4 純水タンク ・No.3 ろ過水タンク ・No.4 ろ過水タンク	2,000m <sup>3</sup> 2,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、溢水は拡散する。 ・タンクと5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所の間には、建物等の障害物があり、溢水したタンクからの水が直接保管場所へ到達しづらい。 ・5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所に保管する可搬型設備は、周辺地面上30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、周辺タンクの損傷による影響を受けない。	<p style="text-align: center;">表7 溢水タンク漏えい時被害想定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・No.3 純水タンク ・No.4 純水タンク ・No.3 ろ過水タンク ・No.4 ろ過水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup> 2,000m<sup>3</sup> 1,000m<sup>3</sup> 1,000m<sup>3</sup></td> <td>・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td>・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散する。 ・タンクと5号炉東側保管場所の間では、建物等の障害物があり、溢水したタンクからの水が直接保管場所へ到達しづらい。 ・5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所に保管する可搬型設備は、周辺地面上30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、周辺タンクの損傷による影響を受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	容量	被害想定	内容	・No.3 純水タンク ・No.4 純水タンク ・No.3 ろ過水タンク ・No.4 ろ過水タンク	2,000m <sup>3</sup> 2,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散する。 ・タンクと5号炉東側保管場所の間では、建物等の障害物があり、溢水したタンクからの水が直接保管場所へ到達しづらい。 ・5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所に保管する可搬型設備は、周辺地面上30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、周辺タンクの損傷による影響を受けない。	⑤
対象設備	容量	被害想定	内容																		
・No.3 純水タンク ・No.4 純水タンク ・No.3 ろ過水タンク ・No.4 ろ過水タンク	2,000m <sup>3</sup> 2,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、溢水は拡散する。 ・タンクと5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所の間には、建物等の障害物があり、溢水したタンクからの水が直接保管場所へ到達しづらい。 ・5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所に保管する可搬型設備は、周辺地面上30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、周辺タンクの損傷による影響を受けない。																		
対象設備	容量	被害想定	内容																		
・No.3 純水タンク ・No.4 純水タンク ・No.3 ろ過水タンク ・No.4 ろ過水タンク	2,000m <sup>3</sup> 2,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup> 1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散する。 ・タンクと5号炉東側保管場所の間では、建物等の障害物があり、溢水したタンクからの水が直接保管場所へ到達しづらい。 ・5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所に保管する可搬型設備は、周辺地面上30cmの浸水が生じた場合であっても機能に影響がない設計とすることから、周辺タンクの損傷による影響を受けない。																		
24	3.(4)2)③④ a.	1.0.2-28	保管場所の周辺斜面については、全斜面が崩壊するものと仮定し、 <b>崩壊後の堆積土砂形状(以下「崩壊形状」という。)</b> を予測した上で、保管場所が <b>崩壊後の堆積土砂による影響範囲内に入らないように必要な離隔を確保していることを確認する。</b>	保管場所の周辺斜面については、全斜面が崩壊するものと仮定した場合の <b>堆積形状</b> を予測し、保管場所が <b>堆積土砂の影響範囲内に入らないように必要な離隔を確保していることを確認する。</b>	⑤																
25	3.(4)2)③④ a.	1.0.2-28	・斜面の崩壊形状としては、安息角と内部摩擦角の関係 <sup>※1</sup> 及び土砂の移動時の内部摩擦角の下限値 <sup>※2</sup> を考慮し、崩壊 <b>形状の勾配</b> を15°と設定する。	・斜面の崩壊形状としては、安息角と内部摩擦角の関係 <sup>※1</sup> 及び土砂の移動時の内部摩擦角の下限値 <sup>※2</sup> を考慮し、崩壊土砂の堆積時の角度を15°と設定する。	⑤																
26	3.(4)2)③④ a.	1.0.2-28	・すべり線が大きいほど、 <b>崩壊後の堆積土砂の到達距離は長くなり、崩壊形状の法肩位置</b> は崩壊前の斜面形状の <b>法肩位置</b> に近づくことから、崩壊前の <b>斜面形状の法肩位置</b> を基点にして、 <b>勾配が15°となる崩壊形状を保守的に設定した(別紙33参照)。</b>	・すべり線が大きいほど、崩壊土砂の到達距離は長くなり、崩壊形状の <b>法肩位置</b> は崩壊前の斜面形状の <b>法肩位置</b> に近づくことから、保守的に崩壊後の土砂の <b>堆積形状</b> は、崩壊前の土砂形状の <b>法肩位置</b> を基点に <b>堆積角度が15°となるように設定した(別紙33参照)。</b>	⑤																



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
27	3.(4)2③④ a. 第7-2図	1.0.2-30	 <p>Figure 7-2: Geological cross-sections of the site. The 'After Change' section is a blank box. The 'Before Change' section contains eight diagrams: four parallel and four cross-sections for the '荒浜側高台保管場所' (Arahama side high ground storage area) and '大浜側高台保管場所' (Oohama side high ground storage area). A legend identifies soil types: 凡 例 (Legend), ① 填土・埋戻土 (Fill/Backfill), ② 新成層・沖積層 (New layer/alluvium), ③ 礫層・大浜砂層 (Gravel layer/Oohama sand layer), ④ 砂質砂層 (Sandy sand layer), and ⑤ 礫山礫 (Gravel mound/gravel). A slope cross-section at the bottom shows the terrain profile with elevation markers.</p>	 <p>Figure 7-2: Geological cross-sections of the site. The 'After Change' section is a blank box. The 'Before Change' section contains eight diagrams: four parallel and four cross-sections for the '荒浜側高台保管場所' (Arahama side high ground storage area) and '大浜側高台保管場所' (Oohama side high ground storage area). A legend identifies soil types: 凡 例 (Legend), ① 填土・埋戻土 (Fill/Backfill), ② 新成層・沖積層 (New layer/alluvium), ③ 礫層・大浜砂層 (Gravel layer/Oohama sand layer), ④ 砂質砂層 (Sandy sand layer), and ⑤ 礫山礫 (Gravel mound/gravel). A slope cross-section at the bottom shows the terrain profile with elevation markers.</p>	②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定)
28	3.(4)2③④ a.	1.0.2-31	<p>解析用地盤物性値は、基礎地盤安定性評価の物性値(「柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性について」ほか)を用いる。</p>	<p>解析用地盤物性値は、基礎地盤安定性評価の物性値(第336回審査会合)を用いる。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																						
29	3.(4)2)③④ b. 第7-5図 第7-6図	1.0.2-33	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p>		②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)																																						
30	3.(4)2)③④ b. 第9表	1.0.2-34	<p>第9表 周辺斜面の崩壊及び敷地下斜面のすべりに対する影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被害要因</th> <th colspan="4">評価結果</th> </tr> <tr> <th>荒浜側高台 保管場所</th> <th>大湊側高台 保管場所</th> <th>5号炉東側 保管場所</th> <th>5号炉東側第二 保管場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ 周辺斜面の崩壊</td> <td>該当なし</td> <td>問題なし</td> <td>問題なし</td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>④ 敷地下斜面のすべり</td> <td>問題なし</td> <td>問題なし</td> <td>該当なし</td> <td>該当なし</td> </tr> </tbody> </table>	被害要因	評価結果				荒浜側高台 保管場所	大湊側高台 保管場所	5号炉東側 保管場所	5号炉東側第二 保管場所	③ 周辺斜面の崩壊	該当なし	問題なし	問題なし	問題なし	④ 敷地下斜面のすべり	問題なし	問題なし	該当なし	該当なし	<p>表9 周辺斜面の崩壊及び敷地下斜面のすべりに対する影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被害要因</th> <th colspan="4">評価結果</th> </tr> <tr> <th>荒浜側高台 保管場所</th> <th>大湊側高台 保管場所</th> <th>5号炉東側 保管場所</th> <th>5号炉東側第二 保管場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ 周辺斜面の崩壊</td> <td>問題なし</td> <td>問題なし</td> <td>問題なし</td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>④ 敷地下斜面のすべり</td> <td>問題なし</td> <td>問題なし</td> <td>該当なし</td> <td>該当なし</td> </tr> </tbody> </table>	被害要因	評価結果				荒浜側高台 保管場所	大湊側高台 保管場所	5号炉東側 保管場所	5号炉東側第二 保管場所	③ 周辺斜面の崩壊	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし	④ 敷地下斜面のすべり	問題なし	問題なし	該当なし	該当なし	⑤
被害要因	評価結果																																										
	荒浜側高台 保管場所	大湊側高台 保管場所	5号炉東側 保管場所	5号炉東側第二 保管場所																																							
③ 周辺斜面の崩壊	該当なし	問題なし	問題なし	問題なし																																							
④ 敷地下斜面のすべり	問題なし	問題なし	該当なし	該当なし																																							
被害要因	評価結果																																										
	荒浜側高台 保管場所	大湊側高台 保管場所	5号炉東側 保管場所	5号炉東側第二 保管場所																																							
③ 周辺斜面の崩壊	問題なし	問題なし	問題なし	問題なし																																							
④ 敷地下斜面のすべり	問題なし	問題なし	該当なし	該当なし																																							
31	3.(4)3)⑤a.	1.0.2-35	<p>液状化及び揺すり込みによる沈下により保管場所が発生する地表面の傾斜及び段差量の評価基準値については、緊急車両が徐行により登坂可能な勾配(15%<sup>※3</sup>)及び走行可能な段差量(15cm<sup>※4</sup>)とする。</p>	<p>液状化及び揺すり込みによる沈下により保管場所が発生する地表面の縦横断勾配及び段差量の評価基準値については、緊急車両が徐行により登坂可能な勾配(15%<sup>※3</sup>)及び走行可能な段差量(15cm<sup>※4</sup>)とする。</p>	⑤																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
32	3.(4)3)⑤a.	1.0.2-36	<p>【液状化による沈下量及び揺すり込みによる沈下量の算出の考え方】 ・液状化については、地下水位以深の飽和地盤(埋戻土、新期砂層・沖積層、番神・大湊砂層、古安田層<sup>※5</sup>(保守的に粘性土層も含む))を、すべて液状化による沈下の対象層として沈下量を算出する。</p>	<p>【液状化による沈下量及び揺すり込みによる沈下量の算出の考え方】 ・液状化については、地下水位以深の飽和地盤(埋戻土、新期砂層・沖積層、古安田層<sup>※</sup>(保守的に粘性土層も含む))を、すべて液状化による沈下の対象層として沈下量を算出する。</p>	⑤
33	3.(4)3)⑤a. 第8-3図	1.0.2-38			<p>②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																														
34	3.(4)3)⑤a. 第10-1表	1.0.2-39	<p>第10-1表 不飽和地盤の掃り込みによる沈下率算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検討地点</th> <th rowspan="2">標高 (T.M.S.L.)</th> <th rowspan="2">Ss-1</th> <th colspan="2">Ss-2</th> <th rowspan="2">Ss-3</th> <th colspan="2">Ss-4</th> <th colspan="2">Ss-5</th> <th colspan="2">Ss-6</th> <th colspan="2">Ss-7</th> </tr> <tr> <th>EW</th> <th>NS</th> <th>EW</th> <th>NS</th> <th>EW</th> <th>NS</th> <th>EW</th> <th>NS</th> <th>EW</th> <th>NS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① K-3/4 CV, K-4 OFケーブルダブ</td> <td>+5m</td> <td>1.46%</td> <td>1.47%</td> <td>1.42%</td> <td>1.49%</td> <td>1.07%</td> <td>0.51%</td> <td>0.70%</td> <td>0.34%</td> <td>1.46%</td> <td>0.74%</td> <td>0.90%</td> <td>0.43%</td> </tr> <tr> <td>② K-3 OFケーブルダブ</td> <td>+5m</td> <td>1.62%</td> <td>1.44%</td> <td>1.53%</td> <td>1.90%</td> <td>1.18%</td> <td>0.57%</td> <td>0.91%</td> <td>0.42%</td> <td>1.57%</td> <td>0.75%</td> <td>1.19%</td> <td>0.40%</td> </tr> <tr> <td>③ K-3 OFケーブルダブ</td> <td>+13m</td> <td>1.12%</td> <td>1.16%</td> <td>1.13%</td> <td>1.18%</td> <td>0.81%</td> <td>0.39%</td> <td>0.57%</td> <td>0.25%</td> <td>1.07%</td> <td>0.54%</td> <td>0.70%</td> <td>0.33%</td> </tr> <tr> <td>④荒浜側高台保管 場所</td> <td>+37m</td> <td>1.18%</td> <td>0.89%</td> <td>0.82%</td> <td>1.13%</td> <td>0.77%</td> <td>0.34%</td> <td>1.13%</td> <td>0.45%</td> <td>1.16%</td> <td>0.54%</td> <td>1.31%</td> <td>0.39%</td> </tr> </tbody> </table> <p>掃り込みによる沈下：沈下率 2%</p>	検討地点	標高 (T.M.S.L.)	Ss-1	Ss-2		Ss-3	Ss-4		Ss-5		Ss-6		Ss-7		EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	① K-3/4 CV, K-4 OFケーブルダブ	+5m	1.46%	1.47%	1.42%	1.49%	1.07%	0.51%	0.70%	0.34%	1.46%	0.74%	0.90%	0.43%	② K-3 OFケーブルダブ	+5m	1.62%	1.44%	1.53%	1.90%	1.18%	0.57%	0.91%	0.42%	1.57%	0.75%	1.19%	0.40%	③ K-3 OFケーブルダブ	+13m	1.12%	1.16%	1.13%	1.18%	0.81%	0.39%	0.57%	0.25%	1.07%	0.54%	0.70%	0.33%	④荒浜側高台保管 場所	+37m	1.18%	0.89%	0.82%	1.13%	0.77%	0.34%	1.13%	0.45%	1.16%	0.54%	1.31%	0.39%	<p>表10-1 不飽和地盤の掃り込みによる沈下率算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検討地点</th> <th rowspan="2">標高 (T.M.S.L.)</th> <th rowspan="2">Ss-1</th> <th colspan="2">Ss-2</th> <th rowspan="2">Ss-3</th> <th colspan="2">Ss-4</th> <th colspan="2">Ss-5</th> <th colspan="2">Ss-6</th> <th colspan="2">Ss-7</th> </tr> <tr> <th>NS</th> <th>EW</th> <th>NS</th> <th>EW</th> <th>NS</th> <th>EW</th> <th>NS</th> <th>EW</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① K-3/4 CV, K-4 OFケーブルダブ</td> <td>+5m</td> <td>1.46%</td> <td>1.47%</td> <td>1.42%</td> <td>1.49%</td> <td>1.07%</td> <td>0.51%</td> <td>0.70%</td> <td>0.34%</td> <td>1.46%</td> <td>0.74%</td> <td>0.90%</td> <td>0.43%</td> </tr> <tr> <td>② K-3 OFケーブルダブ</td> <td>+5m</td> <td>1.62%</td> <td>1.44%</td> <td>1.53%</td> <td>1.90%</td> <td>1.18%</td> <td>0.57%</td> <td>0.91%</td> <td>0.42%</td> <td>1.57%</td> <td>0.75%</td> <td>1.19%</td> <td>0.40%</td> </tr> <tr> <td>③ K-3 OFケーブルダブ</td> <td>+13m</td> <td>1.12%</td> <td>1.16%</td> <td>1.13%</td> <td>1.18%</td> <td>0.81%</td> <td>0.39%</td> <td>0.57%</td> <td>0.25%</td> <td>1.07%</td> <td>0.54%</td> <td>0.70%</td> <td>0.33%</td> </tr> <tr> <td>④荒浜側高台保管 場所</td> <td>+37m</td> <td>1.18%</td> <td>0.89%</td> <td>0.82%</td> <td>1.13%</td> <td>0.77%</td> <td>0.34%</td> <td>1.13%</td> <td>0.45%</td> <td>1.16%</td> <td>0.54%</td> <td>1.31%</td> <td>0.39%</td> </tr> </tbody> </table> <p>掃り込みによる沈下：沈下率 2%</p>	検討地点	標高 (T.M.S.L.)	Ss-1	Ss-2		Ss-3	Ss-4		Ss-5		Ss-6		Ss-7		NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	① K-3/4 CV, K-4 OFケーブルダブ	+5m	1.46%	1.47%	1.42%	1.49%	1.07%	0.51%	0.70%	0.34%	1.46%	0.74%	0.90%	0.43%	② K-3 OFケーブルダブ	+5m	1.62%	1.44%	1.53%	1.90%	1.18%	0.57%	0.91%	0.42%	1.57%	0.75%	1.19%	0.40%	③ K-3 OFケーブルダブ	+13m	1.12%	1.16%	1.13%	1.18%	0.81%	0.39%	0.57%	0.25%	1.07%	0.54%	0.70%	0.33%	④荒浜側高台保管 場所	+37m	1.18%	0.89%	0.82%	1.13%	0.77%	0.34%	1.13%	0.45%	1.16%	0.54%	1.31%	0.39%	⑤
検討地点	標高 (T.M.S.L.)	Ss-1	Ss-2				Ss-3	Ss-4		Ss-5		Ss-6		Ss-7																																																																																																																																																					
			EW	NS	EW	NS		EW	NS	EW	NS	EW	NS																																																																																																																																																						
① K-3/4 CV, K-4 OFケーブルダブ	+5m	1.46%	1.47%	1.42%	1.49%	1.07%	0.51%	0.70%	0.34%	1.46%	0.74%	0.90%	0.43%																																																																																																																																																						
② K-3 OFケーブルダブ	+5m	1.62%	1.44%	1.53%	1.90%	1.18%	0.57%	0.91%	0.42%	1.57%	0.75%	1.19%	0.40%																																																																																																																																																						
③ K-3 OFケーブルダブ	+13m	1.12%	1.16%	1.13%	1.18%	0.81%	0.39%	0.57%	0.25%	1.07%	0.54%	0.70%	0.33%																																																																																																																																																						
④荒浜側高台保管 場所	+37m	1.18%	0.89%	0.82%	1.13%	0.77%	0.34%	1.13%	0.45%	1.16%	0.54%	1.31%	0.39%																																																																																																																																																						
検討地点	標高 (T.M.S.L.)	Ss-1	Ss-2		Ss-3	Ss-4		Ss-5		Ss-6		Ss-7																																																																																																																																																							
			NS	EW		NS	EW	NS	EW	NS	EW																																																																																																																																																								
① K-3/4 CV, K-4 OFケーブルダブ	+5m	1.46%	1.47%	1.42%	1.49%	1.07%	0.51%	0.70%	0.34%	1.46%	0.74%	0.90%	0.43%																																																																																																																																																						
② K-3 OFケーブルダブ	+5m	1.62%	1.44%	1.53%	1.90%	1.18%	0.57%	0.91%	0.42%	1.57%	0.75%	1.19%	0.40%																																																																																																																																																						
③ K-3 OFケーブルダブ	+13m	1.12%	1.16%	1.13%	1.18%	0.81%	0.39%	0.57%	0.25%	1.07%	0.54%	0.70%	0.33%																																																																																																																																																						
④荒浜側高台保管 場所	+37m	1.18%	0.89%	0.82%	1.13%	0.77%	0.34%	1.13%	0.45%	1.16%	0.54%	1.31%	0.39%																																																																																																																																																						
35	3.(4)3)⑤b.	1.0.2-41	<p>また、荒浜側高台保管場所で最大1m、大湊側高台保管場所で一部40cm、5号炉東側第二保管場所で70cm地表面の地盤改良を施しているが、地盤改良部と未改良部との境界では最大2cm(地盤改良厚1mの場合)の段差と想定されることから、通行への影響はない。</p>	<p>また、荒浜側高台保管場所で最大1m、大湊側高台保管場所で一部40cm、5号炉東側第二保管場所で40cm程度※地表面の地盤改良を施しているが、地盤改良部と未改良部との境界では最大2cm(地盤改良厚1mの場合)の段差と想定されることから、通行への影響はない。 ※今後の対策予定であり、今後の検討結果により変更の可能性がある。</p>	②(5号炉東側第二保管場所の詳細設計確定のため)																																																																																																																																																														
36	3.(4)3)⑤b.	1.0.2-41	<p>また、評価地点のうち、想定される最大の傾斜(最大沈下量/保管場所の幅)を仮定しても最大で1.6%であることから通行への影響はない。</p>	<p>また、評価地点のうち、想定される最大沈下が発生した場合の傾斜(最大沈下量/保管場所の幅)を仮定しても最大で1.6%であることから通行への影響はない。</p>	⑤																																																																																																																																																														



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
37	3.(4)3)⑤b. 第8-6図① 第8-6図② 第8-6図③	1.0.2-42 ～ 1.0.2-44	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p>		<p>②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定のため) ⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

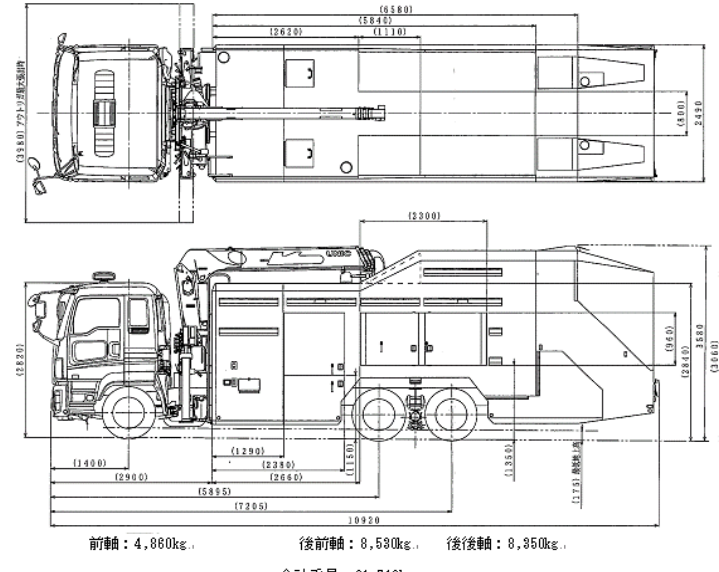
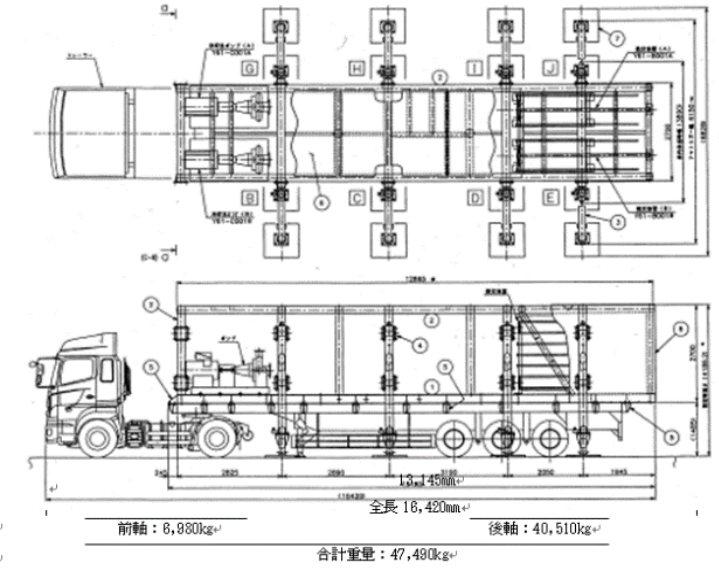
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																						
38	3.(4)3)⑤b. 第10-4表① 第10-4表② 第10-4表③	1.0.2-42 ～ 1.0.2-44	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p> <p>第10-4表① 荒浜側高台保管場所の液状化及び揺すり込みによる傾斜評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">沈下対象層</th> <th colspan="2">東側</th> <th colspan="2">中央部</th> <th colspan="2">西側</th> </tr> <tr> <th>対象厚さ (m)</th> <th>沈下量 (cm)</th> <th>対象厚さ (m)</th> <th>沈下量 (cm)</th> <th>対象厚さ (m)</th> <th>沈下量 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地下水位 以浅</td> <td>盛土・埋戻土</td> <td>6.5</td> <td>13</td> <td>11.7</td> <td>24</td> <td>17.7</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>新期砂層・沖積層</td> <td>12.3</td> <td>25</td> <td>6.6</td> <td>14</td> <td>2.0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">番神砂層・大湊砂層</td> <td>3.2</td> <td>7</td> <td>3.7</td> <td>8</td> <td>2.3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地下水位 以深</td> <td>番神砂層・大湊砂層</td> <td>2.8</td> <td>6</td> <td>3.5</td> <td>7</td> <td>6.2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>古安田層</td> <td>32.8</td> <td>66</td> <td>34.7</td> <td>70</td> <td>32.3</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総沈下量</td> <td colspan="2">117cm</td> <td colspan="2">123cm</td> <td colspan="2">123cm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最大沈下量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">123cm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">保管場所の幅</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">約90m</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">保管場所の傾斜(θ) (最大沈下量/保管場所の幅)</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">1.4%</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	沈下対象層	東側		中央部		西側		対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	地下水位 以浅	盛土・埋戻土	6.5	13	11.7	24	17.7	36	新期砂層・沖積層	12.3	25	6.6	14	2.0	4	番神砂層・大湊砂層		3.2	7	3.7	8	2.3	5	地下水位 以深	番神砂層・大湊砂層	2.8	6	3.5	7	6.2	13	古安田層	32.8	66	34.7	70	32.3	65	総沈下量		117cm		123cm		123cm		最大沈下量				123cm				保管場所の幅				約90m				保管場所の傾斜(θ) (最大沈下量/保管場所の幅)				1.4%				<p>表10-4① 荒浜側高台保管場所の液状化及び揺すり込みによる傾斜</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">沈下対象層</th> <th colspan="2">東側</th> <th colspan="2">中央部</th> <th colspan="2">西側</th> </tr> <tr> <th>対象厚さ (m)</th> <th>沈下量 (cm)</th> <th>対象厚さ (m)</th> <th>沈下量 (cm)</th> <th>対象厚さ (m)</th> <th>沈下量 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地下水位 以浅</td> <td>盛土・埋戻土</td> <td>6.5</td> <td>13</td> <td>11.7</td> <td>24</td> <td>17.7</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>新期砂層・沖積層</td> <td>12.3</td> <td>25</td> <td>6.6</td> <td>14</td> <td>2.0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">番神砂層・大湊砂層</td> <td>3.2</td> <td>7</td> <td>3.7</td> <td>8</td> <td>2.3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地下水位 以深</td> <td>番神砂層・大湊砂層</td> <td>2.8</td> <td>6</td> <td>3.5</td> <td>7</td> <td>6.2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>古安田層</td> <td>32.8</td> <td>66</td> <td>34.7</td> <td>70</td> <td>32.3</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総沈下量</td> <td colspan="2">117cm</td> <td colspan="2">123cm</td> <td colspan="2">123cm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最大沈下量</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">123cm</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">保管場所の幅</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">約90m</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">保管場所の傾斜(θ) (最大沈下量/保管場所の幅)</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">1.4%</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	沈下対象層	東側		中央部		西側		対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	地下水位 以浅	盛土・埋戻土	6.5	13	11.7	24	17.7	36	新期砂層・沖積層	12.3	25	6.6	14	2.0	4	番神砂層・大湊砂層		3.2	7	3.7	8	2.3	5	地下水位 以深	番神砂層・大湊砂層	2.8	6	3.5	7	6.2	13	古安田層	32.8	66	34.7	70	32.3	65	総沈下量		117cm		123cm		123cm		最大沈下量				123cm				保管場所の幅				約90m				保管場所の傾斜(θ) (最大沈下量/保管場所の幅)				1.4%				⑤
沈下対象層	東側		中央部		西側																																																																																																																																																																						
	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)																																																																																																																																																																					
地下水位 以浅	盛土・埋戻土	6.5	13	11.7	24	17.7	36																																																																																																																																																																				
	新期砂層・沖積層	12.3	25	6.6	14	2.0	4																																																																																																																																																																				
番神砂層・大湊砂層		3.2	7	3.7	8	2.3	5																																																																																																																																																																				
地下水位 以深	番神砂層・大湊砂層	2.8	6	3.5	7	6.2	13																																																																																																																																																																				
	古安田層	32.8	66	34.7	70	32.3	65																																																																																																																																																																				
総沈下量		117cm		123cm		123cm																																																																																																																																																																					
最大沈下量				123cm																																																																																																																																																																							
保管場所の幅				約90m																																																																																																																																																																							
保管場所の傾斜(θ) (最大沈下量/保管場所の幅)				1.4%																																																																																																																																																																							
沈下対象層	東側		中央部		西側																																																																																																																																																																						
	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)	対象厚さ (m)	沈下量 (cm)																																																																																																																																																																					
地下水位 以浅	盛土・埋戻土	6.5	13	11.7	24	17.7	36																																																																																																																																																																				
	新期砂層・沖積層	12.3	25	6.6	14	2.0	4																																																																																																																																																																				
番神砂層・大湊砂層		3.2	7	3.7	8	2.3	5																																																																																																																																																																				
地下水位 以深	番神砂層・大湊砂層	2.8	6	3.5	7	6.2	13																																																																																																																																																																				
	古安田層	32.8	66	34.7	70	32.3	65																																																																																																																																																																				
総沈下量		117cm		123cm		123cm																																																																																																																																																																					
最大沈下量				123cm																																																																																																																																																																							
保管場所の幅				約90m																																																																																																																																																																							
保管場所の傾斜(θ) (最大沈下量/保管場所の幅)				1.4%																																																																																																																																																																							
39	3.(4)4)⑥a.	1.0.2-46	<p>荒浜側高台保管場所、大湊側高台保管場所及び5号炉東側第二保管場所については、第9-1図に示す可搬型設備のうち接地圧が最も大きい大容量送水車(21,740kg)を代表として常時・地震時接地圧を以下により算出した。</p>	<p>荒浜側高台保管場所及び大湊高台保管場所については、図9-1に示す可搬型設備のうち車両の重量が最も大きい7号炉の代替熱交換器車(47,490kg)を代表として常時・地震時接地圧を以下により算出した。</p>	④(代替熱交換器車保管方法を変更したため検討対象を大容量送水車に変更した)																																																																																																																																																																						
40	3.(4)4)⑥a.	1.0.2-46	<p>・常時接地圧：大容量送水車の前軸重量(4,860kg)から舗装による荷重分散を考慮して算出</p>	<p>・常時接地圧：代替熱交換器車の後軸重量(40,510kg)をアウトリガーの鉄板(0.9m×0.9m)16枚の面積で除して算出</p>	②(設計進捗に伴い舗装による荷重分散を考慮したため) ④(代替熱交換器車保管方法を変更したため検討対象を大容量送水車に変更した)																																																																																																																																																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																												
41	3.(4)4)⑥a. 第9-1図	1.0.2-47	 <p>前軸：4,860kg. 後前軸：8,530kg. 後後軸：8,350kg. 合計重量：21,740kg.</p> <p>第9-1図 大容量送水車の仕様</p>	 <p>前軸：8,980kg. 後軸：40,510kg. 合計重量：49,490kg.</p> <p>第9-1図 7号炉代替熱交換器車平面図及び断面図</p>	④(代替熱交換器車保管方法を変更したため検討対象を大容量送水車に変更した)																																												
42	3.(4)4)⑥b.	1.0.2-48	<p>第12表 地盤支持力に対する影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>被害要因</th> <th>保管場所</th> <th>地震時接地圧</th> <th>評価基準値</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">⑥地盤支持力</td> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>93kN/m<sup>2</sup></td> <td>400kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>105kN/m<sup>2</sup></td> <td>400kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側保管場所</td> <td>1,090kN/m<sup>2</sup></td> <td>1,780kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側第二保管場所</td> <td>109kN/m<sup>2</sup></td> <td>200kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> </tbody> </table>	被害要因	保管場所	地震時接地圧	評価基準値	評価結果	⑥地盤支持力	荒浜側高台保管場所	93kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし	大湊側高台保管場所	105kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし	5号炉東側保管場所	1,090kN/m <sup>2</sup>	1,780kN/m <sup>2</sup>	問題なし	5号炉東側第二保管場所	109kN/m <sup>2</sup>	200kN/m <sup>2</sup>	問題なし	<p>表12 地盤支持力に対する影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>被害要因</th> <th>保管場所</th> <th>地震時接地圧</th> <th>評価基準値</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">⑥地盤支持力</td> <td>荒浜側高台保管場所</td> <td>55.8kN/m<sup>2</sup></td> <td>400kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>大湊側高台保管場所</td> <td>52.4kN/m<sup>2</sup></td> <td>400kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側保管場所</td> <td>1,090kN/m<sup>2</sup></td> <td>1,780kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> <tr> <td>5号炉東側第二保管場所</td> <td>65.6kN/m<sup>2</sup></td> <td>200kN/m<sup>2</sup></td> <td>問題なし</td> </tr> </tbody> </table>	被害要因	保管場所	地震時接地圧	評価基準値	評価結果	⑥地盤支持力	荒浜側高台保管場所	55.8kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし	大湊側高台保管場所	52.4kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし	5号炉東側保管場所	1,090kN/m <sup>2</sup>	1,780kN/m <sup>2</sup>	問題なし	5号炉東側第二保管場所	65.6kN/m <sup>2</sup>	200kN/m <sup>2</sup>	問題なし	②(設計進捗に伴い舗装による荷重分散を考慮したため) ④(代替熱交換器車保管方法を変更したため検討対象を大容量送水車に変更した)
被害要因	保管場所	地震時接地圧	評価基準値	評価結果																																													
⑥地盤支持力	荒浜側高台保管場所	93kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													
	大湊側高台保管場所	105kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													
	5号炉東側保管場所	1,090kN/m <sup>2</sup>	1,780kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													
	5号炉東側第二保管場所	109kN/m <sup>2</sup>	200kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													
被害要因	保管場所	地震時接地圧	評価基準値	評価結果																																													
⑥地盤支持力	荒浜側高台保管場所	55.8kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													
	大湊側高台保管場所	52.4kN/m <sup>2</sup>	400kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													
	5号炉東側保管場所	1,090kN/m <sup>2</sup>	1,780kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													
	5号炉東側第二保管場所	65.6kN/m <sup>2</sup>	200kN/m <sup>2</sup>	問題なし																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

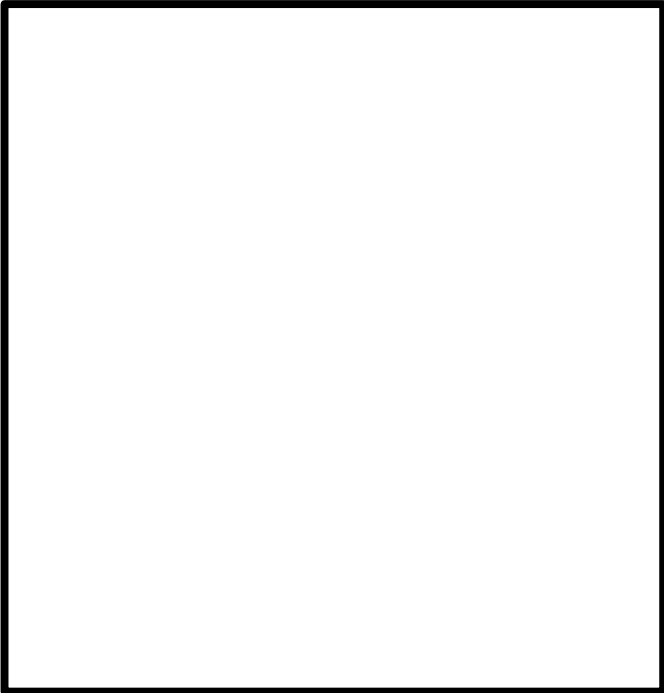
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
43	3.(4)5)⑦⑧	1.0.2-48	また、5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所については、周辺の空地が平坦かつ広大であり、仮に淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊による溢水が発生したとしても、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し、拡散すること、	また、5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所については、周辺の空地が平坦かつ広大であり、仮に淡水貯水池の堰堤及び送水配管の損壊による溢水が発生したとしても、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し比較的短時間で拡散すること、	⑤
44	3.(4)5)⑦⑧ 第10図	1.0.2-49			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

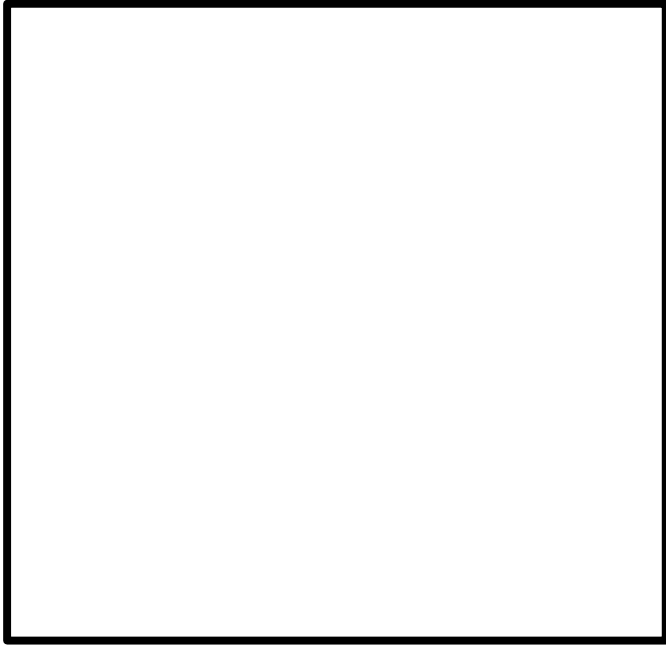
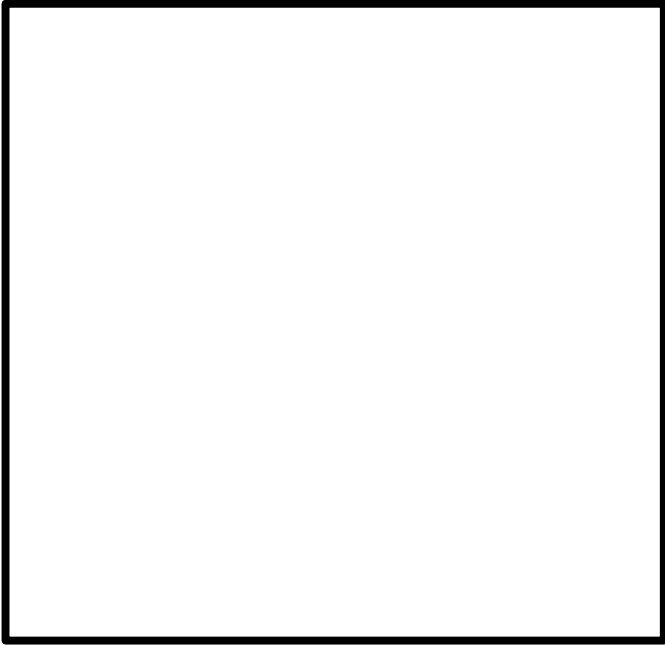
- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
45	4.(1) 第11-1図	1.0.2-50	<p>4. 屋外アクセスルートの評価</p> <p>(1) アクセスルートの概要</p> <p>アクセスルート（車両）はおおむね幅員8mの道路であり、第11-1図に示すとおり5号炉原子炉建屋内緊急時対策所及び4箇所の保管場所から目的地まで、複数ルートでアクセスが可能であり、可搬型設備の運搬、要員の移動、重大事故等時に必要な設備（軽油タンク、常設代替交流電源設備等）の状況把握、対応が可能である*（別紙7参照）。</p> <p><small>*5号炉東側保管場所からは、可搬型設備の運搬はない。</small></p>  <p style="text-align: center;">第11-1図 保管場所からのアクセスルート概要</p>	<p>4. 屋外アクセスルートの評価</p> <p>(1) アクセスルートの概要</p> <p>アクセスルート（車両）はおおむね幅員8mの道路であり、図11-1に示すとおり5号炉原子炉建屋内緊急時対策所及び4箇所の保管場所から目的地まで、複数ルートでアクセスが可能であり、可搬型設備の運搬、要員の移動、取水場所、ホース敷設ルート、重大事故等発生時に必要な設備（軽油タンク、常設代替交流電源設備等）の状況把握、対応が可能である。（別紙7参照）</p>  <p style="text-align: center;">図11-1 保管場所からのアクセスルート概要</p>	<p>②（設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため）</p> <p>⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
46	4.(1) 第11-2図	1.0.2-51			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤
47	4.(3) 第14表	1.0.2-52	・影響があるアクセスルートは、溢水が道路上及び排水路を自然流下するた め、拡散した後に通行する。	・影響があるアクセスルートは、溢水が道路上及び排水路を比較的短時間 で自然流下、拡散した後に通行する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

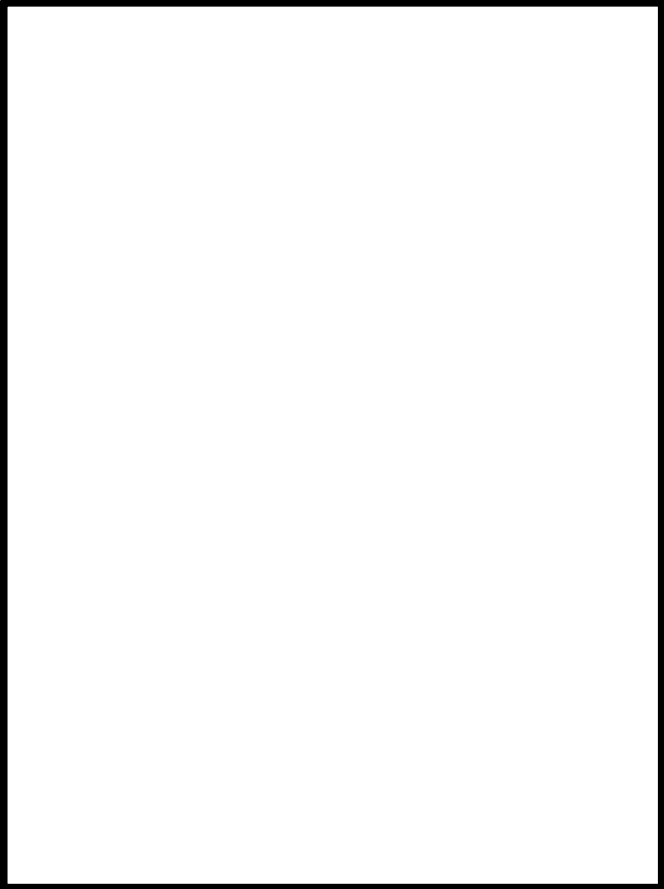
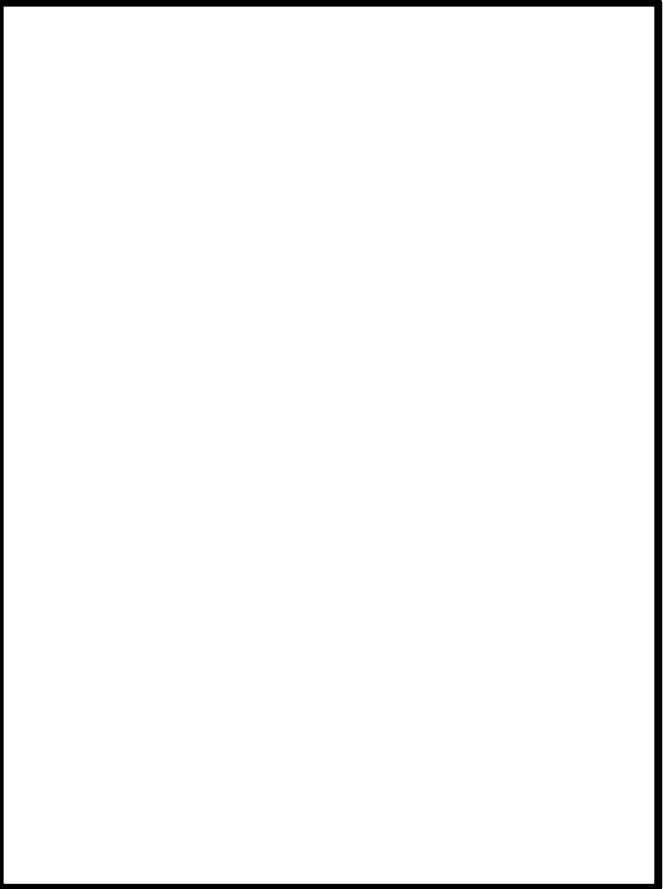
- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
48	4.(4)①	1.0.2-53	<p>(4) 被害想定</p> <p>① 周辺構造物の損壊(建屋、鉄塔及び主排気筒)                      屋外アクセスルート近傍の障害となり得る構造物を抽出し、アクセスルート近傍にある周辺構造物について評価を実施した(別紙32 参照)。その結果、第12 図、第15 表に示すとおり、<b>周辺構造物の損壊があっても</b>アクセスルートを確保することが可能であることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建屋の損壊に伴うがれきの発生により、必要な幅員(3m※)を確保できないアクセスルートも想定されるが、<b>迂回する、若しくは</b>、重機にてがれきを撤去することによりアクセスルートの確保が可能である。</li> <li>・ 荒浜側高台保管場所の近傍には送電線が架線されているが、万一、送電線の垂れ下がりにより通行支障が発生した場合であっても、迂回することが可能であり影響はない。なお、荒浜側高台保管場所の近傍には送電鉄塔が設置されているが、鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線No.1 及び南新潟幹線No.1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている(別紙5 参照)。</li> <li>・ S クラス(Ss 機能維持含む)の構造物において、万一、一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートに影響がある場合には、影響があるアクセスルートを迂回することとし、復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保する。</li> <li>・ 5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所周辺については、アクセスルートに影響を与える構造物はない。</li> </ul>	<p>(4) 被害想定</p> <p>① 周辺構造物の損壊(建屋、鉄塔等)                      屋外アクセスルート近傍の障害となり得る構造物を抽出し、アクセスルート近傍にある周辺構造物について評価を実施した(別紙32 参照)。その結果、図12、表15 に示すとおり、建屋の損壊による影響がないアクセスルートを確保することが可能であることを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建屋の損壊による影響がないアクセスルートを確保することが可能である。</li> <li>・ 建屋の損壊に伴うがれきの発生により、必要な幅員(3.0m※)を確保できないアクセスルートも想定されるが、復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することによりアクセスルートの確保が可能である。</li> <li>・ 荒浜側高台保管場所の近傍には送電鉄塔が設置されているが、鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線No.1 及び南新潟幹線No.1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている(別紙5 参照)。なお、同保管場所の近傍には送電線が架線されているが、万一、送電線の垂れ下がりにより通行支障が発生した場合であっても、迂回することが可能であり影響はない。</li> <li>・ S クラス(Ss 機能維持含む)の構造物において、万一、一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートに影響がある場合には、影響があるアクセスルートを迂回することとし、復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保する。</li> <li>・ 事務建屋付近のアクセスルートは、一部建物損壊の影響を受ける可能性があるが、周辺は平地であることから、徒歩により迂回することが可能である。なお、5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所周辺については、アクセスルートに影響を与える構造物はない。</li> </ul>	<p>②(免震重要棟扱い変更による記載削除)                      ⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
49	4.(4)① 第12図	1.0.2-54			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

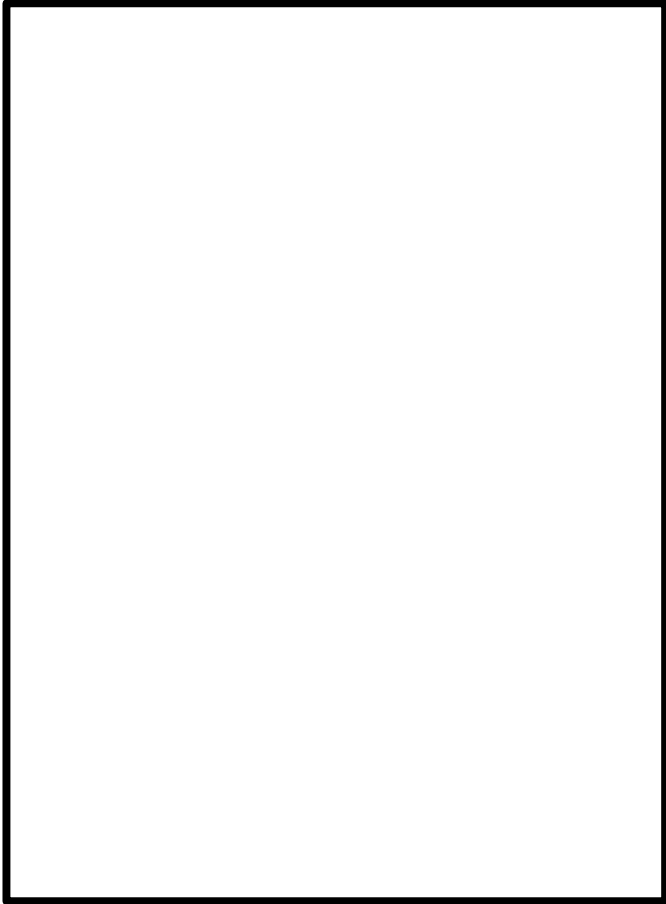
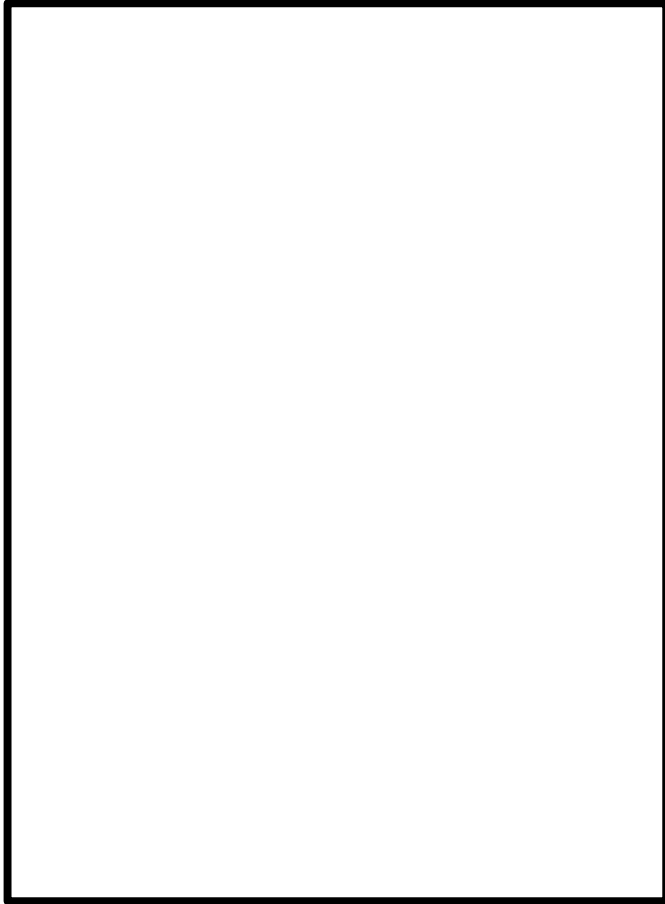
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																			
50	4.(4)① 第15表	1.0.2-55	<p>第15表 損壊によるアクセスルートの閉塞が懸念される設備の被害想定及び対応内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>154kV 荒浜線鉄塔 No. 25, No. 26</td> <td>地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）</td> </tr> <tr> <td>500kV 新新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2</td> <td>地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。</td> </tr> <tr> <td>500kV 南新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2</td> <td>地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）</td> </tr> <tr> <td>通信鉄塔</td> <td>地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>部材やボルト等の破損は起きる可能性はあるが、大規模破損・倒壊はないと考えられ、倒壊による周辺の施設等へ影響を与えるものではないと考える。 万一、破損によりアクセスルートに影響がある場合は、迂回する。</td> </tr> <tr> <td>避雷鉄塔（荒浜側、大湊側）</td> <td>地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>避雷鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はない。</td> </tr> <tr> <td>事務建屋 情報センター棟 重量品倉庫1 重量品倉庫2 技術部倉庫 燃料G倉庫 荒浜側予備品倉庫 6号炉CO<sub>2</sub>ボンベ建屋 雑固体廃棄物焼却設備建屋（大湊側） 補助ボイラー建屋</td> <td>地震により建屋が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>影響があるアクセスルートは通行せず、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。） 新耐震設計法に基づき設計された建築物相当の建屋であり、新耐震設計法に基づき設計された建築物は、地震による被害が多く見られた兵庫県南部地震（1995年）や地震規模の大きい東北地方太平洋沖地震（2011年）においても、大破、倒壊といった大きな被害を受けていない。 万一、建屋の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去する。</td> </tr> <tr> <td>6号炉主変圧器</td> <td>地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>6号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要のある可搬型設備建屋接続口へは、可搬型車両が寄りつく必要がなく、人が迂回することで接続口までアクセスする。 万一、設備の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去する。</td> </tr> <tr> <td>154kV 開閉所遮風壁 5号炉サービス建屋 固体廃棄物処理建屋</td> <td>地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>徒歩ルートであり、周辺は平坦であることから、徒歩により迂回する。</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	被害想定	対応内容	154kV 荒浜線鉄塔 No. 25, No. 26	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）	500kV 新新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。	500kV 南新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）	通信鉄塔	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	部材やボルト等の破損は起きる可能性はあるが、大規模破損・倒壊はないと考えられ、倒壊による周辺の施設等へ影響を与えるものではないと考える。 万一、破損によりアクセスルートに影響がある場合は、迂回する。	避雷鉄塔（荒浜側、大湊側）	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	避雷鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はない。	事務建屋 情報センター棟 重量品倉庫1 重量品倉庫2 技術部倉庫 燃料G倉庫 荒浜側予備品倉庫 6号炉CO <sub>2</sub> ボンベ建屋 雑固体廃棄物焼却設備建屋（大湊側） 補助ボイラー建屋	地震により建屋が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	影響があるアクセスルートは通行せず、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。） 新耐震設計法に基づき設計された建築物相当の建屋であり、新耐震設計法に基づき設計された建築物は、地震による被害が多く見られた兵庫県南部地震（1995年）や地震規模の大きい東北地方太平洋沖地震（2011年）においても、大破、倒壊といった大きな被害を受けていない。 万一、建屋の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去する。	6号炉主変圧器	地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	6号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要のある可搬型設備建屋接続口へは、可搬型車両が寄りつく必要がなく、人が迂回することで接続口までアクセスする。 万一、設備の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去する。	154kV 開閉所遮風壁 5号炉サービス建屋 固体廃棄物処理建屋	地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	徒歩ルートであり、周辺は平坦であることから、徒歩により迂回する。	<p>表15 損壊によるアクセスルートの閉塞が懸念される設備の被害想定及び対応内容（1/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>154kV 荒浜線鉄塔 No. 25, No. 26</td> <td>地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）</td> </tr> <tr> <td>500kV 新新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2</td> <td>地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。</td> </tr> <tr> <td>500kV 南新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2</td> <td>地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）</td> </tr> <tr> <td>通信鉄塔</td> <td>地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>基準地震動により、部材やボルト等の破損は起きる可能性はあるが、大規模破損・倒壊はないと考えられ、倒壊による周辺の施設等へ影響を与えるものではないと考える。 万一、破損によりアクセスルートに影響がある場合は、迂回する。</td> </tr> <tr> <td>避雷鉄塔（荒浜側、大湊側）</td> <td>地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>避雷鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はない。 万一、アクセスルートに影響がある場合は、迂回する。</td> </tr> <tr> <td>事務建屋 情報センター棟 重量品倉庫1 重量品倉庫2 技術部倉庫 燃料G倉庫 発電倉庫（荒浜側） 保安倉庫 第二資材倉庫 荒浜側予備品倉庫 6号炉CO<sub>2</sub>ボンベ建屋 雑固体廃棄物焼却設備建屋（大湊側） 補助ボイラー建屋</td> <td>地震により建屋が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>影響があるアクセスルートは通行せず、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。） 新耐震設計法に基づき設計された建築物相当の建屋であり、新耐震設計法に基づき設計された建築物は、地震による被害が多く見られた兵庫県南部地震（1995年）や地震規模の大きい東北地方太平洋沖地震（2011年）においても、大破、倒壊といった大きな被害を受けていない。 万一、建屋の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保可能である。</td> </tr> <tr> <td>6号炉主変圧器 7号炉主変圧器</td> <td>地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>6号及び7号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要のある可搬型設備建屋接続口へは、可搬型車両が寄りつく必要がなく、人が迂回することで接続口までアクセスすることが可能である。 万一、設備の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保可能である。</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	被害想定	対応内容	154kV 荒浜線鉄塔 No. 25, No. 26	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）	500kV 新新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。	500kV 南新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）	通信鉄塔	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	基準地震動により、部材やボルト等の破損は起きる可能性はあるが、大規模破損・倒壊はないと考えられ、倒壊による周辺の施設等へ影響を与えるものではないと考える。 万一、破損によりアクセスルートに影響がある場合は、迂回する。	避雷鉄塔（荒浜側、大湊側）	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	避雷鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はない。 万一、アクセスルートに影響がある場合は、迂回する。	事務建屋 情報センター棟 重量品倉庫1 重量品倉庫2 技術部倉庫 燃料G倉庫 発電倉庫（荒浜側） 保安倉庫 第二資材倉庫 荒浜側予備品倉庫 6号炉CO <sub>2</sub> ボンベ建屋 雑固体廃棄物焼却設備建屋（大湊側） 補助ボイラー建屋	地震により建屋が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	影響があるアクセスルートは通行せず、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。） 新耐震設計法に基づき設計された建築物相当の建屋であり、新耐震設計法に基づき設計された建築物は、地震による被害が多く見られた兵庫県南部地震（1995年）や地震規模の大きい東北地方太平洋沖地震（2011年）においても、大破、倒壊といった大きな被害を受けていない。 万一、建屋の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保可能である。	6号炉主変圧器 7号炉主変圧器	地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	6号及び7号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要のある可搬型設備建屋接続口へは、可搬型車両が寄りつく必要がなく、人が迂回することで接続口までアクセスすることが可能である。 万一、設備の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保可能である。	⑤
			対象設備	被害想定	対応内容																																																			
154kV 荒浜線鉄塔 No. 25, No. 26	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）																																																						
500kV 新新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。																																																						
500kV 南新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）																																																						
通信鉄塔	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	部材やボルト等の破損は起きる可能性はあるが、大規模破損・倒壊はないと考えられ、倒壊による周辺の施設等へ影響を与えるものではないと考える。 万一、破損によりアクセスルートに影響がある場合は、迂回する。																																																						
避雷鉄塔（荒浜側、大湊側）	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	避雷鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はない。																																																						
事務建屋 情報センター棟 重量品倉庫1 重量品倉庫2 技術部倉庫 燃料G倉庫 荒浜側予備品倉庫 6号炉CO <sub>2</sub> ボンベ建屋 雑固体廃棄物焼却設備建屋（大湊側） 補助ボイラー建屋	地震により建屋が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	影響があるアクセスルートは通行せず、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。） 新耐震設計法に基づき設計された建築物相当の建屋であり、新耐震設計法に基づき設計された建築物は、地震による被害が多く見られた兵庫県南部地震（1995年）や地震規模の大きい東北地方太平洋沖地震（2011年）においても、大破、倒壊といった大きな被害を受けていない。 万一、建屋の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去する。																																																						
6号炉主変圧器	地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	6号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要のある可搬型設備建屋接続口へは、可搬型車両が寄りつく必要がなく、人が迂回することで接続口までアクセスする。 万一、設備の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去する。																																																						
154kV 開閉所遮風壁 5号炉サービス建屋 固体廃棄物処理建屋	地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	徒歩ルートであり、周辺は平坦であることから、徒歩により迂回する。																																																						
対象設備	被害想定	対応内容																																																						
154kV 荒浜線鉄塔 No. 25, No. 26	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）																																																						
500kV 新新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。																																																						
500kV 南新潟幹線鉄塔 No. 1, No. 2	地震により送電線が断線し、アクセスルート上に垂れ下がり、アクセスルートを閉塞する。	鉄塔基礎の安定性に影響を及ぼす要因（「盛土の崩壊」「地すべり」「急傾斜地の崩壊」）について評価を行い、影響がないことを確認している。また、更なる安全性向上のための対策として、新新潟幹線 No. 1 及び南新潟幹線 No. 1 送電鉄塔基礎の補強及び送電鉄塔周辺法面の補強を実施し、信頼性を向上させている。 万一、アクセスルート上に送電線が垂れ下がり、通行に支障が発生した場合、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。）																																																						
通信鉄塔	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	基準地震動により、部材やボルト等の破損は起きる可能性はあるが、大規模破損・倒壊はないと考えられ、倒壊による周辺の施設等へ影響を与えるものではないと考える。 万一、破損によりアクセスルートに影響がある場合は、迂回する。																																																						
避雷鉄塔（荒浜側、大湊側）	地震により鉄塔がアクセスルート上に倒壊し、アクセスルートを閉塞する。	避雷鉄塔はアクセスルートから十分離れておりアクセスルートへの影響はない。 万一、アクセスルートに影響がある場合は、迂回する。																																																						
事務建屋 情報センター棟 重量品倉庫1 重量品倉庫2 技術部倉庫 燃料G倉庫 発電倉庫（荒浜側） 保安倉庫 第二資材倉庫 荒浜側予備品倉庫 6号炉CO <sub>2</sub> ボンベ建屋 雑固体廃棄物焼却設備建屋（大湊側） 補助ボイラー建屋	地震により建屋が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	影響があるアクセスルートは通行せず、迂回する。（徒歩の場合は、影響のある場所を避けて通行する。） 新耐震設計法に基づき設計された建築物相当の建屋であり、新耐震設計法に基づき設計された建築物は、地震による被害が多く見られた兵庫県南部地震（1995年）や地震規模の大きい東北地方太平洋沖地震（2011年）においても、大破、倒壊といった大きな被害を受けていない。 万一、建屋の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保可能である。																																																						
6号炉主変圧器 7号炉主変圧器	地震により設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	6号及び7号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要のある可搬型設備建屋接続口へは、可搬型車両が寄りつく必要がなく、人が迂回することで接続口までアクセスすることが可能である。 万一、設備の一部損壊によるがれきが発生し、アクセスルートの復旧が必要な場合には、重機にてがれきを撤去することで、アクセスルートを確保可能である。																																																						
			<p>表15 損壊によるアクセスルートの閉塞が懸念される設備の被害想定及び対応内容（2/2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>154kV 変電所遮風壁 5号炉サービス建屋 固体廃棄物処理建屋</td> <td>地震により対象設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。</td> <td>徒歩ルートであり、周辺は平坦であることから、徒歩により迂回することが可能である。</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	被害想定	対応内容	154kV 変電所遮風壁 5号炉サービス建屋 固体廃棄物処理建屋	地震により対象設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	徒歩ルートであり、周辺は平坦であることから、徒歩により迂回することが可能である。																																															
対象設備	被害想定	対応内容																																																						
154kV 変電所遮風壁 5号炉サービス建屋 固体廃棄物処理建屋	地震により対象設備が損壊し、発生したがいにより、アクセスルートを閉塞する。	徒歩ルートであり、周辺は平坦であることから、徒歩により迂回することが可能である。																																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
51	4.(4)② 1) 第13図	1.0.2-56			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

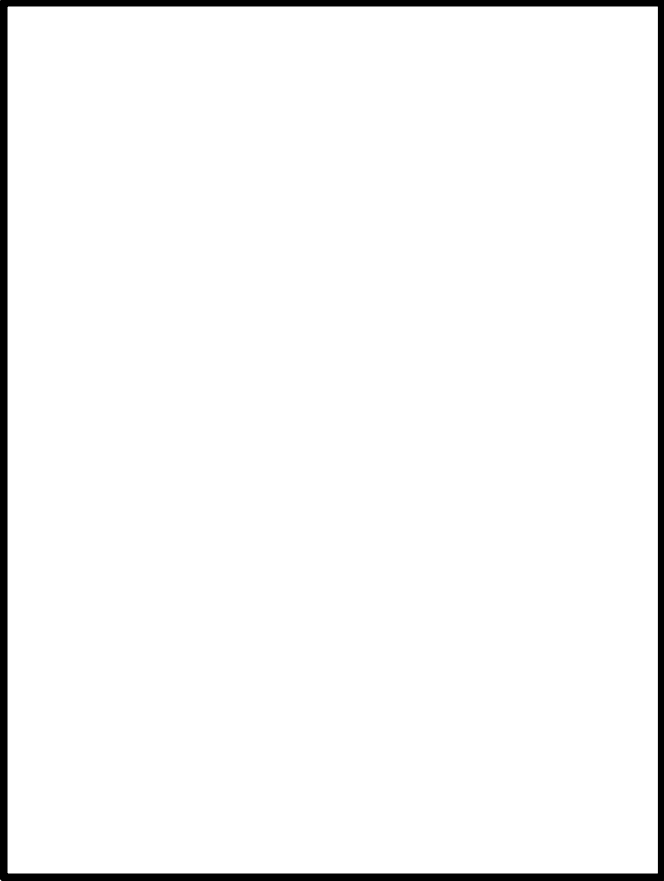

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
52	4.(4)② 2)a.	1.0.2-57	<p>2) 可燃物施設の損壊</p> <p>a. 可燃物施設の損壊</p> <p>可燃物施設で可燃物の漏えいが発生した場合の被害想定判定フローを第14図に示す。また、火災想定施設の配置を第15図に、火災想定施設の火災発生時における放射熱強度を第16図に示す。</p> <p>可燃物施設について評価を実施した結果、第16-1表に示すとおりアクセスルートに影響がないことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセスルートは複数確保していることから、万一、火災が発生した場合においても、迂回することが可能である。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。</li> </ul> <p>なお、屋外に設置されている可燃物施設で、万一火災が発生しても、他の屋外可燃物施設へ引火しないことを「第6条：外部からの衝撃による損傷の防止(外部火災)」にて評価しており、アクセスルートは確保可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要変圧器は、中越沖地震による変圧器火災対策、延焼防止対策が図られていること、また、防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下することから火災発生の可能性は極めて低い(別紙8参照)。</li> <li>・万一、同時に主要変圧器において複数の火災が発生した場合には、自衛消防隊による早期の消火活動が可能であり、アクセスルートに対して影響の大きい箇所から消火活動を行う(別紙9参照)。</li> </ul>	<p>2) 可燃物施設の損壊</p> <p>a. 可燃物施設の損壊</p> <p>可燃物施設で漏えいが発生した場合の被害想定判定フローを図14に示す。また、火災想定施設の配置を図15に、火災想定施設の火災発生時における放射熱強度を16に示す。</p> <p>可燃物施設について評価を実施した結果、表16-1に示すとおりアクセスルートに影響がないことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセスルートは複数確保していることから、火災が発生した場合においても、迂回することが可能である。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。なお、屋外に設置されている可燃物施設で火災が発生しても、他の屋外可燃物施設へ引火しないことを外部火災(KK67-0088)にて評価しており、アクセスルートは確保可能である。</li> <li>・主要変圧器は、中越沖地震による変圧器火災対策、延焼防止対策が図られていること、また、防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下することから火災発生の可能性は極めて低い(別紙8参照)。</li> <li>・主要変圧器及び補助ボイラ用変圧器において、ホース敷設等の作業実施についても問題はない。</li> <li>・万一、同時に主要変圧器において複数の火災が発生した場合には、自衛消防隊による早期の消火活動が可能であり、アクセスルートに対して影響の大きい箇所から消火活動を行う(別紙9参照)。</li> </ul>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
53	4.(4)② 2)a. 第15図	1.0.2-59			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																										
54	4.(4)② 2)a. 第16-1表	1.0.2-61	<p>第16-1表 可燃物施設漏えい時被害想定 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備 (○数字は数量)</th> <th>内容物</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     主要変圧器                      ・主変圧器                      (5号炉)                      200kL                      (6号炉)                      214kL                      (7号炉)                      ・所内変圧器                      (5号炉②)                      18.1kL                      (6号炉②)                      21.0kL                      (7号炉②)                      19.2kL                      ・起動変圧器                      (5号炉②)                      17.1kL                      (6号及び7号炉②)                      24.6kL                      ・励磁電源変圧器                      (5号炉)                      9.5kL                      78.3kL                      ・No.1高起動変圧器                      70kL                      70kL                      ・No.3高起動変圧器                      70kL                 </td> <td>絶縁油</td> <td></td> <td>                     基準地震動 Ss により変圧器が破損し、漏えいした絶縁油による火災発生のおそれ                 </td> <td>                     ・中越沖地震による変圧器火災の対策として、基礎構造変更により変圧器と二次側接続母線部ダクトの基礎で沈下量の差が発生することを防止していること、また、屋外埋設消火配管の地上化を実施おり延焼防止対策が図られていること、及び防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下するため、アクセスルートに影響のある変圧器火災の可能性は極めて低い。                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。                      ・同時に複数の火災が発生し迂回できない場合も自衛消防隊による消火活動を実施する。                 </td> </tr> <tr> <td>補助ボイラ用変圧器③</td> <td>絶縁油</td> <td>9.1kL</td> <td></td> <td>                     ・火災が発生した場合でも、アクセスルートからの離隔距離が確保されており、アクセスルートへの影響はない。                      ・万一、アクセスルートに影響のある火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。                 </td> </tr> <tr> <td>軽油タンク (5号炉②) (6号炉②) (7号炉②)</td> <td>軽油</td> <td>344kL 565kL 565kL</td> <td>なし</td> <td>                     ・耐震 S クラス設計の機器及び付属配管、又は基準地震動 Ss にて評価済の機器は地震により破損しないため、火災は発生しない。                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。                 </td> </tr> <tr> <td>第一ガスタービン発電機用燃料タンク② (常設代替交流電源設備)</td> <td>軽油</td> <td>50kL</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側②) 【大湊側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋】</td> <td>軽油</td> <td>200L</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側) 【給水建屋】</td> <td>軽油</td> <td>200L</td> <td>基準地震動 Ss によりタンク又は付属配管が破損し、漏えいした軽油による火災発生のおそれ</td> <td>                     ・ディーゼル消火ポンプ燃料タンクはコンクリート造の消火ポンプ室内に設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため屋外のアクセスルートへの影響は小さいと考える。                      ・ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク【荒浜側】                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。                 </td> </tr> <tr> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (荒浜側) 【水処理建屋】</td> <td>軽油</td> <td>330L</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二ガスタービン発電機用燃料タンク② (第二代替交流電源設備)</td> <td>軽油</td> <td>50kL</td> <td></td> <td>                     ・地中埋設式のタンクであり火災は発生しない。                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。                 </td> </tr> <tr> <td>地下軽油タンク③ (荒浜側高台保管場所近傍)</td> <td>軽油</td> <td>48kL</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容	主要変圧器 ・主変圧器 (5号炉) 200kL (6号炉) 214kL (7号炉) ・所内変圧器 (5号炉②) 18.1kL (6号炉②) 21.0kL (7号炉②) 19.2kL ・起動変圧器 (5号炉②) 17.1kL (6号及び7号炉②) 24.6kL ・励磁電源変圧器 (5号炉) 9.5kL 78.3kL ・No.1高起動変圧器 70kL 70kL ・No.3高起動変圧器 70kL	絶縁油		基準地震動 Ss により変圧器が破損し、漏えいした絶縁油による火災発生のおそれ	・中越沖地震による変圧器火災の対策として、基礎構造変更により変圧器と二次側接続母線部ダクトの基礎で沈下量の差が発生することを防止していること、また、屋外埋設消火配管の地上化を実施おり延焼防止対策が図られていること、及び防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下するため、アクセスルートに影響のある変圧器火災の可能性は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・同時に複数の火災が発生し迂回できない場合も自衛消防隊による消火活動を実施する。	補助ボイラ用変圧器③	絶縁油	9.1kL		・火災が発生した場合でも、アクセスルートからの離隔距離が確保されており、アクセスルートへの影響はない。 ・万一、アクセスルートに影響のある火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	軽油タンク (5号炉②) (6号炉②) (7号炉②)	軽油	344kL 565kL 565kL	なし	・耐震 S クラス設計の機器及び付属配管、又は基準地震動 Ss にて評価済の機器は地震により破損しないため、火災は発生しない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	第一ガスタービン発電機用燃料タンク② (常設代替交流電源設備)	軽油	50kL			ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側②) 【大湊側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋】	軽油	200L			ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側) 【給水建屋】	軽油	200L	基準地震動 Ss によりタンク又は付属配管が破損し、漏えいした軽油による火災発生のおそれ	・ディーゼル消火ポンプ燃料タンクはコンクリート造の消火ポンプ室内に設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため屋外のアクセスルートへの影響は小さいと考える。 ・ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク【荒浜側】 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (荒浜側) 【水処理建屋】	軽油	330L			第二ガスタービン発電機用燃料タンク② (第二代替交流電源設備)	軽油	50kL		・地中埋設式のタンクであり火災は発生しない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	地下軽油タンク③ (荒浜側高台保管場所近傍)	軽油	48kL			<p>表 16-1 可燃物施設漏えい時被害想定 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備 (○数字は数量)</th> <th>内容物</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     主要変圧器                      ・主変圧器                      (5号炉)                      190kL                      (6号炉)                      200kL                      (7号炉)                      ・所内変圧器                      (5号炉②)                      18.1kL                      (6号炉②)                      21.0kL                      (7号炉②)                      20.0kL                      ・起動変圧器                      (5号炉②)                      17.1kL                      (6号及び7号炉②)                      24.6kL                      ・励磁電源変圧器                      (5号炉)                      9.5kL                      74kL                      70kL                      70kL                      ・No.1高起動変圧器                      70kL                      70kL                      ・No.3高起動変圧器                      70kL                 </td> <td>絶縁油</td> <td></td> <td>                     基準地震動 Ss により変圧器が破損し、漏えいした絶縁油による火災発生のおそれ                 </td> <td>                     ・中越沖地震による変圧器火災の対策として、基礎構造変更により変圧器と二次側接続母線部ダクトの基礎で沈下量の差が発生することを防止していること、また、屋外埋設消火配管の地上化を実施おり延焼防止対策が図られていること、及び防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下するため、アクセスルートに影響のある変圧器火災の可能性は極めて低い。                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。                      ・万一、同時に複数の火災が発生し迂回できない場合も自衛消防隊による消火活動が可能である。                 </td> </tr> <tr> <td>補助ボイラ用変圧器③</td> <td>絶縁油</td> <td>9.1kL</td> <td></td> <td>                     ・火災が発生した場合でも、アクセスルートからの離隔距離が確保されており、アクセスルートへの影響はない。                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。                 </td> </tr> <tr> <td>軽油タンク (5号炉②) (6号炉②) (7号炉②)</td> <td>軽油</td> <td>344kL 565kL 565kL</td> <td>なし</td> <td>                     ・耐震 S クラス設計の機器及び付属配管、又は基準地震動 Ss にて評価済の機器は地震により破損しないため、火災は発生しない。                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。                 </td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機用燃料タンク②) (第二ガスタービン発電機用燃料タンク②)</td> <td>軽油</td> <td>50kL 50kL 50kL</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側) 【給水建屋】</td> <td>軽油</td> <td>200L</td> <td>基準地震動 Ss によりタンク又は付属配管が破損し、漏えいした軽油による火災発生のおそれ</td> <td>                     ・ディーゼル消火ポンプ燃料タンクはコンクリート造の消火ポンプ室内に設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため屋外のアクセスルートへの影響は小さいと考える。                      ・ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク【荒浜側】                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。                 </td> </tr> <tr> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (荒浜側) 【水処理建屋】</td> <td>軽油</td> <td>330L</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>免震重要種 ・ガスタービン発電機燃料地下タンク ・ガスタービン発電機燃料小出槽</td> <td>軽油</td> <td>30kL 950L</td> <td></td> <td>                     ・燃料地下タンクは、地中埋設式のタンクであり火災は発生しない。                      ・燃料小出槽は防油堤が設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため、屋外アクセスルートへの影響は小さいと考える。                      ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、火災感知器も設置されており、早期に自衛消防隊による消火活動が可能である。                 </td> </tr> </tbody> </table>	対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容	主要変圧器 ・主変圧器 (5号炉) 190kL (6号炉) 200kL (7号炉) ・所内変圧器 (5号炉②) 18.1kL (6号炉②) 21.0kL (7号炉②) 20.0kL ・起動変圧器 (5号炉②) 17.1kL (6号及び7号炉②) 24.6kL ・励磁電源変圧器 (5号炉) 9.5kL 74kL 70kL 70kL ・No.1高起動変圧器 70kL 70kL ・No.3高起動変圧器 70kL	絶縁油		基準地震動 Ss により変圧器が破損し、漏えいした絶縁油による火災発生のおそれ	・中越沖地震による変圧器火災の対策として、基礎構造変更により変圧器と二次側接続母線部ダクトの基礎で沈下量の差が発生することを防止していること、また、屋外埋設消火配管の地上化を実施おり延焼防止対策が図られていること、及び防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下するため、アクセスルートに影響のある変圧器火災の可能性は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。 ・万一、同時に複数の火災が発生し迂回できない場合も自衛消防隊による消火活動が可能である。	補助ボイラ用変圧器③	絶縁油	9.1kL		・火災が発生した場合でも、アクセスルートからの離隔距離が確保されており、アクセスルートへの影響はない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。	軽油タンク (5号炉②) (6号炉②) (7号炉②)	軽油	344kL 565kL 565kL	なし	・耐震 S クラス設計の機器及び付属配管、又は基準地震動 Ss にて評価済の機器は地震により破損しないため、火災は発生しない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。	常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機用燃料タンク②) (第二ガスタービン発電機用燃料タンク②)	軽油	50kL 50kL 50kL			ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側) 【給水建屋】	軽油	200L	基準地震動 Ss によりタンク又は付属配管が破損し、漏えいした軽油による火災発生のおそれ	・ディーゼル消火ポンプ燃料タンクはコンクリート造の消火ポンプ室内に設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため屋外のアクセスルートへの影響は小さいと考える。 ・ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク【荒浜側】 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。	ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (荒浜側) 【水処理建屋】	軽油	330L			免震重要種 ・ガスタービン発電機燃料地下タンク ・ガスタービン発電機燃料小出槽	軽油	30kL 950L		・燃料地下タンクは、地中埋設式のタンクであり火災は発生しない。 ・燃料小出槽は防油堤が設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため、屋外アクセスルートへの影響は小さいと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、火災感知器も設置されており、早期に自衛消防隊による消火活動が可能である。	<p>②(設計進捗に伴い、設備追加(大湊側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋燃料タンク等) ③(評価基準を統一し、再評価した結果を反映) ⑤</p>
			対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容																																																																																								
主要変圧器 ・主変圧器 (5号炉) 200kL (6号炉) 214kL (7号炉) ・所内変圧器 (5号炉②) 18.1kL (6号炉②) 21.0kL (7号炉②) 19.2kL ・起動変圧器 (5号炉②) 17.1kL (6号及び7号炉②) 24.6kL ・励磁電源変圧器 (5号炉) 9.5kL 78.3kL ・No.1高起動変圧器 70kL 70kL ・No.3高起動変圧器 70kL	絶縁油		基準地震動 Ss により変圧器が破損し、漏えいした絶縁油による火災発生のおそれ	・中越沖地震による変圧器火災の対策として、基礎構造変更により変圧器と二次側接続母線部ダクトの基礎で沈下量の差が発生することを防止していること、また、屋外埋設消火配管の地上化を実施おり延焼防止対策が図られていること、及び防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下するため、アクセスルートに影響のある変圧器火災の可能性は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・同時に複数の火災が発生し迂回できない場合も自衛消防隊による消火活動を実施する。																																																																																											
補助ボイラ用変圧器③	絶縁油	9.1kL		・火災が発生した場合でも、アクセスルートからの離隔距離が確保されており、アクセスルートへの影響はない。 ・万一、アクセスルートに影響のある火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。																																																																																											
軽油タンク (5号炉②) (6号炉②) (7号炉②)	軽油	344kL 565kL 565kL	なし	・耐震 S クラス設計の機器及び付属配管、又は基準地震動 Ss にて評価済の機器は地震により破損しないため、火災は発生しない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。																																																																																											
第一ガスタービン発電機用燃料タンク② (常設代替交流電源設備)	軽油	50kL																																																																																													
ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側②) 【大湊側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋】	軽油	200L																																																																																													
ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側) 【給水建屋】	軽油	200L	基準地震動 Ss によりタンク又は付属配管が破損し、漏えいした軽油による火災発生のおそれ	・ディーゼル消火ポンプ燃料タンクはコンクリート造の消火ポンプ室内に設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため屋外のアクセスルートへの影響は小さいと考える。 ・ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク【荒浜側】 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。																																																																																											
ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (荒浜側) 【水処理建屋】	軽油	330L																																																																																													
第二ガスタービン発電機用燃料タンク② (第二代替交流電源設備)	軽油	50kL		・地中埋設式のタンクであり火災は発生しない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。																																																																																											
地下軽油タンク③ (荒浜側高台保管場所近傍)	軽油	48kL																																																																																													
対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容																																																																																											
主要変圧器 ・主変圧器 (5号炉) 190kL (6号炉) 200kL (7号炉) ・所内変圧器 (5号炉②) 18.1kL (6号炉②) 21.0kL (7号炉②) 20.0kL ・起動変圧器 (5号炉②) 17.1kL (6号及び7号炉②) 24.6kL ・励磁電源変圧器 (5号炉) 9.5kL 74kL 70kL 70kL ・No.1高起動変圧器 70kL 70kL ・No.3高起動変圧器 70kL	絶縁油		基準地震動 Ss により変圧器が破損し、漏えいした絶縁油による火災発生のおそれ	・中越沖地震による変圧器火災の対策として、基礎構造変更により変圧器と二次側接続母線部ダクトの基礎で沈下量の差が発生することを防止していること、また、屋外埋設消火配管の地上化を実施おり延焼防止対策が図られていること、及び防油堤内に漏えいした絶縁油は防油堤地下の漏油受槽に流下するため、アクセスルートに影響のある変圧器火災の可能性は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。 ・万一、同時に複数の火災が発生し迂回できない場合も自衛消防隊による消火活動が可能である。																																																																																											
補助ボイラ用変圧器③	絶縁油	9.1kL		・火災が発生した場合でも、アクセスルートからの離隔距離が確保されており、アクセスルートへの影響はない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。																																																																																											
軽油タンク (5号炉②) (6号炉②) (7号炉②)	軽油	344kL 565kL 565kL	なし	・耐震 S クラス設計の機器及び付属配管、又は基準地震動 Ss にて評価済の機器は地震により破損しないため、火災は発生しない。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。																																																																																											
常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機用燃料タンク②) (第二ガスタービン発電機用燃料タンク②)	軽油	50kL 50kL 50kL																																																																																													
ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (大湊側) 【給水建屋】	軽油	200L	基準地震動 Ss によりタンク又は付属配管が破損し、漏えいした軽油による火災発生のおそれ	・ディーゼル消火ポンプ燃料タンクはコンクリート造の消火ポンプ室内に設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため屋外のアクセスルートへの影響は小さいと考える。 ・ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク【荒浜側】 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。																																																																																											
ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (荒浜側) 【水処理建屋】	軽油	330L																																																																																													
免震重要種 ・ガスタービン発電機燃料地下タンク ・ガスタービン発電機燃料小出槽	軽油	30kL 950L		・燃料地下タンクは、地中埋設式のタンクであり火災は発生しない。 ・燃料小出槽は防油堤が設置された小規模タンクであり、建屋内火災のため、屋外アクセスルートへの影響は小さいと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。また、火災感知器も設置されており、早期に自衛消防隊による消火活動が可能である。																																																																																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																						
55	4.(4)② 2)a. 第16-1表	1.0.2-62	<p>第16-1表 可燃物施設漏えい時被害想定 (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備 (○数字は数量)</th> <th>内容物</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>免震重要棟 ・ガスタービン発電機 燃料地下タンク ・ガスタービン発電機 燃料小出槽</td> <td>軽油</td> <td>30kL  950L</td> <td>基準地震動 Ss によりタンク 又は付属配管 が破損し、漏 えいした軽油 による火災発 生のおそれ</td> <td>燃料地下タンクは、地中埋設式のタンクであ り火災は発生しない。 ・燃料小出槽は防油堤が設置された小規模タン クであり、建屋内火災のため、屋外アクセ スルートへの影響は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>・少量危険物倉庫</td> <td>・第1石油 類 ・第2石油 類 ・アルコ ール類</td> <td>565L</td> <td>なし</td> <td>・倉庫への保管可能量は限られており、また倉 庫そのものが危険物を保管するための専用の 保管庫になっているため火災の発生は極めて 低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・発電倉庫 (荒浜側) (塗装缶等)</td> <td>・第4類第 1石油類 ・第4類第 2石油類 ・第4類第 3石油類</td> <td>30L  100L 100L</td> <td>なし</td> <td></td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・潤滑油倉庫</td> <td>・第4類第 4石油類</td> <td>100L</td> <td>なし</td> <td>・倉庫そのものが危険物を保管するための専用 の保管庫になっているため、火災の発生は極 めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・ドラム缶転倒防止のための固縛を実施する。</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・発電機冷却用水素ガ ス貯蔵ラック 【ボンベ建屋】 (5号炉) (6号炉) (7号炉)</td> <td>水素ガス</td> <td>28本 30本 30本</td> <td>なし</td> <td>・水素ボンベはマニホールドにて一連で固定、又 はチェーンにより固縛されており、転倒によ る損傷は考えにくく、また着火源とも成り難 いため火災の発生は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・水素ボンベ貯蔵ラッ ク (No.1) (No.2) (No.3) 【高圧ガスボンベ倉 庫】</td> <td>水素ガス</td> <td>120本 120本 120本</td> <td>なし</td> <td></td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・雑固体廃棄物焼却設備 廃油タンク 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】</td> <td>廃油</td> <td>2m<sup>3</sup></td> <td>基準地震動 Ss によりタンク 又は付属配管 が破損し、漏 えいした廃油 による火災発 生のおそれ</td> <td>・廃油タンクは、コンクリート造りの建屋に設 置された小規模タンクであり、建屋内火災の ため、屋外のアクセスルートへの影響は極め て低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>・雑固体廃棄物焼却設備 プロパン庫 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】</td> <td>L Pガス</td> <td>4,000kg</td> <td>なし</td> <td>・プロパンガスボンベは横置きであり、基礎架 台に固縛して設置していることから、転倒に よる損傷は考えにくく、また着火源とも成り 難いため火災の発生は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容		免震重要棟 ・ガスタービン発電機 燃料地下タンク ・ガスタービン発電機 燃料小出槽	軽油	30kL  950L	基準地震動 Ss によりタンク 又は付属配管 が破損し、漏 えいした軽油 による火災発 生のおそれ	燃料地下タンクは、地中埋設式のタンクであ り火災は発生しない。 ・燃料小出槽は防油堤が設置された小規模タン クであり、建屋内火災のため、屋外アクセ スルートへの影響は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	⑤	・少量危険物倉庫	・第1石油 類 ・第2石油 類 ・アルコ ール類	565L	なし	・倉庫への保管可能量は限られており、また倉 庫そのものが危険物を保管するための専用の 保管庫になっているため火災の発生は極めて 低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④	・発電倉庫 (荒浜側) (塗装缶等)	・第4類第 1石油類 ・第4類第 2石油類 ・第4類第 3石油類	30L  100L 100L	なし		④	・潤滑油倉庫	・第4類第 4石油類	100L	なし	・倉庫そのものが危険物を保管するための専用 の保管庫になっているため、火災の発生は極 めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・ドラム缶転倒防止のための固縛を実施する。	④	・発電機冷却用水素ガ ス貯蔵ラック 【ボンベ建屋】 (5号炉) (6号炉) (7号炉)	水素ガス	28本 30本 30本	なし	・水素ボンベはマニホールドにて一連で固定、又 はチェーンにより固縛されており、転倒によ る損傷は考えにくく、また着火源とも成り難 いため火災の発生は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④	・水素ボンベ貯蔵ラッ ク (No.1) (No.2) (No.3) 【高圧ガスボンベ倉 庫】	水素ガス	120本 120本 120本	なし		④	・雑固体廃棄物焼却設備 廃油タンク 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	廃油	2m <sup>3</sup>	基準地震動 Ss によりタンク 又は付属配管 が破損し、漏 えいした廃油 による火災発 生のおそれ	・廃油タンクは、コンクリート造りの建屋に設 置された小規模タンクであり、建屋内火災の ため、屋外のアクセスルートへの影響は極め て低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	⑥	・雑固体廃棄物焼却設備 プロパン庫 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	L Pガス	4,000kg	なし	・プロパンガスボンベは横置きであり、基礎架 台に固縛して設置していることから、転倒に よる損傷は考えにくく、また着火源とも成り 難いため火災の発生は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④	<p>表16-1 可燃物施設漏えい時被害想定 (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備 (○数字は数量)</th> <th>内容物</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・少量危険物倉庫</td> <td>・第1石油類 ・第2石油類 ・アルコール 類</td> <td>565L</td> <td>なし</td> <td>・倉庫への保管可能量は限られており、また倉 庫そのものが危険物を保管するための専用の 保管庫になっているため火災の発生は極めて 低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・発電倉庫 (荒浜側) (塗装缶等)</td> <td>・第4類第1 石油類 ・第4類第2 石油類 ・第4類第3 石油類</td> <td>3L 50L 1L</td> <td>なし</td> <td></td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・潤滑油倉庫</td> <td>・第4類第4 石油類</td> <td>72kL</td> <td>なし</td> <td>・倉庫そのものが危険物を保管する ための専用の保管庫になっている ため、火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。 ・ドラム缶転倒防止のための固縛を 実施する。</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・発電機冷却用水素ガ ス貯蔵ラック 【ボンベ建屋】 (5号炉) (6号炉) (7号炉)</td> <td>水素ガス</td> <td>28本 30本 30本</td> <td>なし</td> <td>・水素ボンベはマニホールドにて一連 で固定、又はチェーンにより固縛さ れており、転倒による損傷は考えに くく、また着火源とも成り難いため 火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・水素ボンベ貯蔵ラッ ク (No.1) (No.2) (No.3) 【高圧ガスボンベ倉庫】</td> <td>水素ガス</td> <td>122本 127本 117本</td> <td>なし</td> <td></td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>・雑固体廃棄物焼却設備 廃油タンク 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】</td> <td>廃油</td> <td>1.9m<sup>3</sup></td> <td>基準地震動 Ssにより タンク又は 付属配管が 破損し、漏 えいした廃 油による火 災発生のお それ</td> <td>・廃油タンクは、コンクリート造りの 建屋に設置された小規模タンクで あり、建屋内火災のため、屋外の アクセスルートへの影響が小さいと 考えられる。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>・雑固体廃棄物焼却設備 プロパン庫 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】</td> <td>L Pガス</td> <td>4,000kg</td> <td>なし</td> <td>・プロパンガスボンベは横置きであり、基礎架 台に固縛して設置していることか ら、転倒による損傷は考えに くく、また着火源とも成り難いた め火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容		・少量危険物倉庫	・第1石油類 ・第2石油類 ・アルコール 類	565L	なし	・倉庫への保管可能量は限られており、また倉 庫そのものが危険物を保管するための専用の 保管庫になっているため火災の発生は極めて 低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④	・発電倉庫 (荒浜側) (塗装缶等)	・第4類第1 石油類 ・第4類第2 石油類 ・第4類第3 石油類	3L 50L 1L	なし		④	・潤滑油倉庫	・第4類第4 石油類	72kL	なし	・倉庫そのものが危険物を保管する ための専用の保管庫になっている ため、火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。 ・ドラム缶転倒防止のための固縛を 実施する。	④	・発電機冷却用水素ガ ス貯蔵ラック 【ボンベ建屋】 (5号炉) (6号炉) (7号炉)	水素ガス	28本 30本 30本	なし	・水素ボンベはマニホールドにて一連 で固定、又はチェーンにより固縛さ れており、転倒による損傷は考えに くく、また着火源とも成り難いため 火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。	④	・水素ボンベ貯蔵ラッ ク (No.1) (No.2) (No.3) 【高圧ガスボンベ倉庫】	水素ガス	122本 127本 117本	なし		④	・雑固体廃棄物焼却設備 廃油タンク 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	廃油	1.9m <sup>3</sup>	基準地震動 Ssにより タンク又は 付属配管が 破損し、漏 えいした廃 油による火 災発生のお それ	・廃油タンクは、コンクリート造りの 建屋に設置された小規模タンクで あり、建屋内火災のため、屋外の アクセスルートへの影響が小さいと 考えられる。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。	⑥	・雑固体廃棄物焼却設備 プロパン庫 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	L Pガス	4,000kg	なし	・プロパンガスボンベは横置きであり、基礎架 台に固縛して設置していることか ら、転倒による損傷は考えに くく、また着火源とも成り難いた め火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。	④	<p>③(評価基準を統一し、再評価した結果を反映) ⑤</p>
			対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容																																																																																																				
			免震重要棟 ・ガスタービン発電機 燃料地下タンク ・ガスタービン発電機 燃料小出槽	軽油	30kL  950L	基準地震動 Ss によりタンク 又は付属配管 が破損し、漏 えいした軽油 による火災発 生のおそれ	燃料地下タンクは、地中埋設式のタンクであ り火災は発生しない。 ・燃料小出槽は防油堤が設置された小規模タン クであり、建屋内火災のため、屋外アクセ スルートへの影響は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	⑤																																																																																																			
			・少量危険物倉庫	・第1石油 類 ・第2石油 類 ・アルコ ール類	565L	なし	・倉庫への保管可能量は限られており、また倉 庫そのものが危険物を保管するための専用の 保管庫になっているため火災の発生は極めて 低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④																																																																																																			
			・発電倉庫 (荒浜側) (塗装缶等)	・第4類第 1石油類 ・第4類第 2石油類 ・第4類第 3石油類	30L  100L 100L	なし		④																																																																																																			
			・潤滑油倉庫	・第4類第 4石油類	100L	なし	・倉庫そのものが危険物を保管するための専用 の保管庫になっているため、火災の発生は極 めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・ドラム缶転倒防止のための固縛を実施する。	④																																																																																																			
			・発電機冷却用水素ガ ス貯蔵ラック 【ボンベ建屋】 (5号炉) (6号炉) (7号炉)	水素ガス	28本 30本 30本	なし	・水素ボンベはマニホールドにて一連で固定、又 はチェーンにより固縛されており、転倒によ る損傷は考えにくく、また着火源とも成り難 いため火災の発生は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④																																																																																																			
			・水素ボンベ貯蔵ラッ ク (No.1) (No.2) (No.3) 【高圧ガスボンベ倉 庫】	水素ガス	120本 120本 120本	なし		④																																																																																																			
			・雑固体廃棄物焼却設備 廃油タンク 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	廃油	2m <sup>3</sup>	基準地震動 Ss によりタンク 又は付属配管 が破損し、漏 えいした廃油 による火災発 生のおそれ	・廃油タンクは、コンクリート造りの建屋に設 置された小規模タンクであり、建屋内火災の ため、屋外のアクセスルートへの影響は極め て低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	⑥																																																																																																			
			・雑固体廃棄物焼却設備 プロパン庫 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	L Pガス	4,000kg	なし	・プロパンガスボンベは横置きであり、基礎架 台に固縛して設置していることから、転倒に よる損傷は考えにくく、また着火源とも成り 難いため火災の発生は極めて低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④																																																																																																			
対象設備 (○数字は数量)	内容物	容量	被害想定	対応内容																																																																																																							
・少量危険物倉庫	・第1石油類 ・第2石油類 ・アルコール 類	565L	なし	・倉庫への保管可能量は限られており、また倉 庫そのものが危険物を保管するための専用の 保管庫になっているため火災の発生は極めて 低い。 ・万一、火災が発生した場合には、迂回する。 また、自衛消防隊による消火活動を実施する。	④																																																																																																						
・発電倉庫 (荒浜側) (塗装缶等)	・第4類第1 石油類 ・第4類第2 石油類 ・第4類第3 石油類	3L 50L 1L	なし		④																																																																																																						
・潤滑油倉庫	・第4類第4 石油類	72kL	なし	・倉庫そのものが危険物を保管する ための専用の保管庫になっている ため、火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。 ・ドラム缶転倒防止のための固縛を 実施する。	④																																																																																																						
・発電機冷却用水素ガ ス貯蔵ラック 【ボンベ建屋】 (5号炉) (6号炉) (7号炉)	水素ガス	28本 30本 30本	なし	・水素ボンベはマニホールドにて一連 で固定、又はチェーンにより固縛さ れており、転倒による損傷は考えに くく、また着火源とも成り難いため 火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。	④																																																																																																						
・水素ボンベ貯蔵ラッ ク (No.1) (No.2) (No.3) 【高圧ガスボンベ倉庫】	水素ガス	122本 127本 117本	なし		④																																																																																																						
・雑固体廃棄物焼却設備 廃油タンク 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	廃油	1.9m <sup>3</sup>	基準地震動 Ssにより タンク又は 付属配管が 破損し、漏 えいした廃 油による火 災発生のお それ	・廃油タンクは、コンクリート造りの 建屋に設置された小規模タンクで あり、建屋内火災のため、屋外の アクセスルートへの影響が小さいと 考えられる。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。	⑥																																																																																																						
・雑固体廃棄物焼却設備 プロパン庫 【雑固体廃棄物焼却設 備建屋 (大浜側)】	L Pガス	4,000kg	なし	・プロパンガスボンベは横置きであり、基礎架 台に固縛して設置していることか ら、転倒による損傷は考えに くく、また着火源とも成り難いた め火災の発生はないと考える。 ・万一、火災が発生した場合には、迂 回する。また、自衛消防隊による消 火活動が可能である。	④																																																																																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																												
56	4.4.(4)② 2)b.c. 第16-2表 第16-3表	1.0.2-64	<p align="center"><b>第16-2表 可搬型設備の被害想定</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>内容物</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可搬型設備 【荒浜側高台保管場所】 【大湊側高台保管場所】 【5号炉東側保管場所】 【5号炉東側第二保管場所】</td> <td>軽油</td> <td>・可搬型設備の車両火災による他の車両への影響 ・可搬型設備のアクセスルートへの運搬不能</td> <td>・可搬型設備間の離隔距離を2m以上取ることで、周囲の車両に影響を及ぼさない。(外部火災にて評価) ・4箇所ある保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。 ・万一、火災が発生した場合には、自衛消防隊による消火活動を実施する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>c. 構内（防火帯内側）の植生                      構内の植生火災について評価を実施した結果、第16-3表に示すとおり、アクセスルート及び可搬型設備に影響がないことを確認した。</p> <p align="center"><b>第16-3表 構内植生による被害想定</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構内の植生</td> <td>・可搬型設備保管場所近傍の植生火災による可搬型設備への影響 ・アクセスルート近傍の植生火災による可搬型設備の運搬不能</td> <td>・4箇所ある保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・可搬型設備への影響が想定される場合には、可搬型設備を影響範囲外に移動する。 ・万一、植生火災が発生した場合には迂回する。</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	内容物	被害想定	対応内容	・可搬型設備 【荒浜側高台保管場所】 【大湊側高台保管場所】 【5号炉東側保管場所】 【5号炉東側第二保管場所】	軽油	・可搬型設備の車両火災による他の車両への影響 ・可搬型設備のアクセスルートへの運搬不能	・可搬型設備間の離隔距離を2m以上取ることで、周囲の車両に影響を及ぼさない。(外部火災にて評価) ・4箇所ある保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。 ・万一、火災が発生した場合には、自衛消防隊による消火活動を実施する。	対象	被害想定	対応内容	・構内の植生	・可搬型設備保管場所近傍の植生火災による可搬型設備への影響 ・アクセスルート近傍の植生火災による可搬型設備の運搬不能	・4箇所ある保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・可搬型設備への影響が想定される場合には、可搬型設備を影響範囲外に移動する。 ・万一、植生火災が発生した場合には迂回する。	<p align="center"><b>表16-2 可搬型設備の被害想定</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>内容物</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可搬型設備 【荒浜側高台保管場所】 【大湊側高台保管場所】</td> <td>軽油</td> <td>・可搬型設備の車両火災による他の車両への影響 ・可搬型設備のアクセスルートへの運搬不能</td> <td>・可搬型設備間の離隔距離を2m以上取ることで、周囲の車両に影響を及ぼさない。(外部火災にて評価) ・荒浜側及び大湊側高台保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。 ・万一、火災が発生した場合には、自衛消防隊による消火活動が可能である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>c. 構内（防火帯内側）の植生                      構内の植生火災について評価を実施した結果、表16-3に示すとおり、アクセスルート及び可搬型設備に影響がないことを確認した。</p> <p align="center"><b>表16-3 構内植生による被害想定</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構内の植生</td> <td>・可搬型設備保管場所近傍の植生火災による可搬型設備への影響 ・アクセスルート近傍の植生火災による可搬型設備の運搬不能</td> <td>・荒浜側及び大湊側高台保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。 ・可搬型設備への影響が想定される場合には、可搬型設備を影響範囲外に移動する。 ・万一、植生火災が発生した場合には迂回する。</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	内容物	被害想定	対応内容	・可搬型設備 【荒浜側高台保管場所】 【大湊側高台保管場所】	軽油	・可搬型設備の車両火災による他の車両への影響 ・可搬型設備のアクセスルートへの運搬不能	・可搬型設備間の離隔距離を2m以上取ることで、周囲の車両に影響を及ぼさない。(外部火災にて評価) ・荒浜側及び大湊側高台保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。 ・万一、火災が発生した場合には、自衛消防隊による消火活動が可能である。	対象	被害想定	対応内容	・構内の植生	・可搬型設備保管場所近傍の植生火災による可搬型設備への影響 ・アクセスルート近傍の植生火災による可搬型設備の運搬不能	・荒浜側及び大湊側高台保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。 ・可搬型設備への影響が想定される場合には、可搬型設備を影響範囲外に移動する。 ・万一、植生火災が発生した場合には迂回する。	②(設計進捗に伴い追加した5号炉東側保管場所等の追記)
対象設備	内容物	被害想定	対応内容																														
・可搬型設備 【荒浜側高台保管場所】 【大湊側高台保管場所】 【5号炉東側保管場所】 【5号炉東側第二保管場所】	軽油	・可搬型設備の車両火災による他の車両への影響 ・可搬型設備のアクセスルートへの運搬不能	・可搬型設備間の離隔距離を2m以上取ることで、周囲の車両に影響を及ぼさない。(外部火災にて評価) ・4箇所ある保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。 ・万一、火災が発生した場合には、自衛消防隊による消火活動を実施する。																														
対象	被害想定	対応内容																															
・構内の植生	・可搬型設備保管場所近傍の植生火災による可搬型設備への影響 ・アクセスルート近傍の植生火災による可搬型設備の運搬不能	・4箇所ある保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。また、自衛消防隊による消火活動を実施する。 ・可搬型設備への影響が想定される場合には、可搬型設備を影響範囲外に移動する。 ・万一、植生火災が発生した場合には迂回する。																															
対象設備	内容物	被害想定	対応内容																														
・可搬型設備 【荒浜側高台保管場所】 【大湊側高台保管場所】	軽油	・可搬型設備の車両火災による他の車両への影響 ・可搬型設備のアクセスルートへの運搬不能	・可搬型設備間の離隔距離を2m以上取ることで、周囲の車両に影響を及ぼさない。(外部火災にて評価) ・荒浜側及び大湊側高台保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。 ・万一、火災が発生した場合には、自衛消防隊による消火活動が可能である。																														
対象	被害想定	対応内容																															
・構内の植生	・可搬型設備保管場所近傍の植生火災による可搬型設備への影響 ・アクセスルート近傍の植生火災による可搬型設備の運搬不能	・荒浜側及び大湊側高台保管場所には、区域全体の火災を検知するために炎感知器及び熱感知カメラを設置するため、早期に検知が可能である。また、自衛消防隊による消火活動が可能である。 ・可搬型設備への影響が想定される場合には、可搬型設備を影響範囲外に移動する。 ・万一、植生火災が発生した場合には迂回する。																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																		
57	4.4.(4)② 3) 第17表	1.0.2-65	<p>第17表 薬品タンク漏えい時被害想定 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>内容物</th> <th>容量 (濃度)</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・液化窒素貯槽 【大浜側】</td> <td>液化窒素</td> <td>120m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入により窒息のおそれがある。 ・接触により凍傷のおそれがある。</td> <td>・液化窒素貯槽は屋外に設置されており、万一漏えい等が発生した場合でも外気中に拡散する。 ・万一、窒素の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。</td> </tr> <tr> <td>・脱酸剤タンク (ヒドラジン) 【補助ボイラ建屋】</td> <td>水加ヒドラジン</td> <td>700L</td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・高温によりガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚、眼の炎症を起こすおそれがある。</td> <td>・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。</td> </tr> <tr> <td>・清缶剤タンク (苛性ソーダ) 【補助ボイラ建屋】 ・苛性ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】</td> <td>苛性ソーダ</td> <td>700L 13m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・金属を腐食し、ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵すおそれがある。</td> <td>・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。</td> </tr> <tr> <td>硫酸タンク 【補助ボイラ建屋】</td> <td>希硫酸</td> <td>250L</td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により皮膚の薬傷、眼の損傷のおそれがある。 ・吸入により生命の危険、呼吸器系の障害のおそれがある。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容	・液化窒素貯槽 【大浜側】	液化窒素	120m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入により窒息のおそれがある。 ・接触により凍傷のおそれがある。	・液化窒素貯槽は屋外に設置されており、万一漏えい等が発生した場合でも外気中に拡散する。 ・万一、窒素の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。	・脱酸剤タンク (ヒドラジン) 【補助ボイラ建屋】	水加ヒドラジン	700L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・高温によりガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚、眼の炎症を起こすおそれがある。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。	・清缶剤タンク (苛性ソーダ) 【補助ボイラ建屋】 ・苛性ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	苛性ソーダ	700L 13m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・金属を腐食し、ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵すおそれがある。	・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。	硫酸タンク 【補助ボイラ建屋】	希硫酸	250L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により皮膚の薬傷、眼の損傷のおそれがある。 ・吸入により生命の危険、呼吸器系の障害のおそれがある。		<p>表17 薬品タンク漏えい時被害想定 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>内容物</th> <th>容量 (濃度)</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・液化窒素貯槽 【大浜側】</td> <td>液化窒素</td> <td>109m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・閉鎖空間においては窒息、また、誤って触れることで凍傷のおそれがある。</td> <td>・液化窒素貯槽は屋外に設置されており、万一漏えい等が発生した場合でも外気中に拡散する。 ・万一、窒素の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。</td> </tr> <tr> <td>・脱酸剤タンク (ヒドラジン) 【補助ボイラ建屋】</td> <td>ヒドラジン</td> <td>700L</td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・ヒドラジンガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により炎症を起こす。</td> <td>・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。</td> </tr> <tr> <td>・清缶剤タンク (苛性ソーダ) 【補助ボイラ建屋】 ・苛性ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】</td> <td>苛性ソーダ</td> <td>700L 5.0m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・毒性の強いガスの発生は少ない。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵す。</td> <td>・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。</td> </tr> <tr> <td>硫酸タンク 【補助ボイラ建屋】</td> <td>硫酸</td> <td>250L</td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚、粘膜に対して腐食性がある。 ・経口摂取すると口、のどが腐食され胃の灼熱感、嘔吐等を引き起こす。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容	・液化窒素貯槽 【大浜側】	液化窒素	109m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・閉鎖空間においては窒息、また、誤って触れることで凍傷のおそれがある。	・液化窒素貯槽は屋外に設置されており、万一漏えい等が発生した場合でも外気中に拡散する。 ・万一、窒素の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。	・脱酸剤タンク (ヒドラジン) 【補助ボイラ建屋】	ヒドラジン	700L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・ヒドラジンガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により炎症を起こす。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。	・清缶剤タンク (苛性ソーダ) 【補助ボイラ建屋】 ・苛性ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	苛性ソーダ	700L 5.0m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・毒性の強いガスの発生は少ない。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵す。	・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。	硫酸タンク 【補助ボイラ建屋】	硫酸	250L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚、粘膜に対して腐食性がある。 ・経口摂取すると口、のどが腐食され胃の灼熱感、嘔吐等を引き起こす。		<p>③(評価基準を統一し、再評価した結果を反映) ⑤</p>
			対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容																																																
・液化窒素貯槽 【大浜側】	液化窒素	120m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入により窒息のおそれがある。 ・接触により凍傷のおそれがある。	・液化窒素貯槽は屋外に設置されており、万一漏えい等が発生した場合でも外気中に拡散する。 ・万一、窒素の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。																																																			
・脱酸剤タンク (ヒドラジン) 【補助ボイラ建屋】	水加ヒドラジン	700L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・高温によりガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚、眼の炎症を起こすおそれがある。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。																																																			
・清缶剤タンク (苛性ソーダ) 【補助ボイラ建屋】 ・苛性ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	苛性ソーダ	700L 13m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・金属を腐食し、ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵すおそれがある。	・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。																																																			
硫酸タンク 【補助ボイラ建屋】	希硫酸	250L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により皮膚の薬傷、眼の損傷のおそれがある。 ・吸入により生命の危険、呼吸器系の障害のおそれがある。																																																				
対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容																																																			
・液化窒素貯槽 【大浜側】	液化窒素	109m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・閉鎖空間においては窒息、また、誤って触れることで凍傷のおそれがある。	・液化窒素貯槽は屋外に設置されており、万一漏えい等が発生した場合でも外気中に拡散する。 ・万一、窒素の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。																																																			
・脱酸剤タンク (ヒドラジン) 【補助ボイラ建屋】	ヒドラジン	700L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・ヒドラジンガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により炎症を起こす。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。																																																			
・清缶剤タンク (苛性ソーダ) 【補助ボイラ建屋】 ・苛性ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	苛性ソーダ	700L 5.0m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・毒性の強いガスの発生は少ない。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵す。	・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセルルートに迂回する。																																																			
硫酸タンク 【補助ボイラ建屋】	硫酸	250L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚、粘膜に対して腐食性がある。 ・経口摂取すると口、のどが腐食され胃の灼熱感、嘔吐等を引き起こす。																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

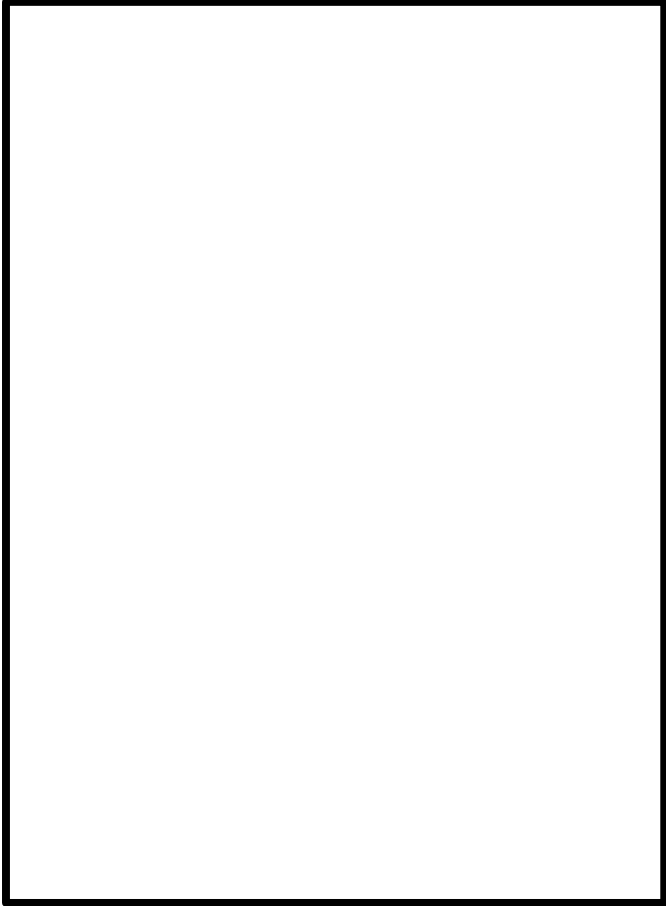
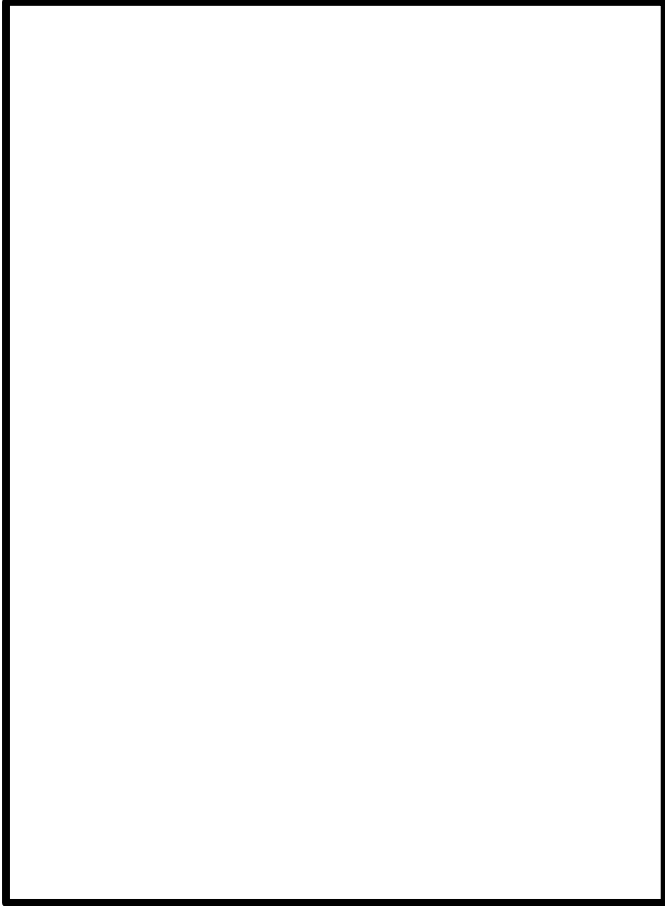
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																												
58	4.(4)② 3) 第17表	1.0.2-66	<p>第17表 薬品タンク漏えい時被害想定 (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>内容物</th> <th>容量 (濃度)</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩酸貯槽 ・塩酸希釈槽 【水処理設備建屋】</td> <td>塩酸</td> <td>5.9m<sup>3</sup> 1.0m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・空気と触れると腐食性ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚、眼の炎症を起こすおそれがある。 ・多量に吸引すると死亡のおそれがある。</td> <td>・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。 ・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセスルートに迂回する。</td> </tr> <tr> <td>・重亜硫酸ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】</td> <td>重亜硫酸ソーダ</td> <td>240L</td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入によりアレルギー、呼吸困難となるおそれがある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・凝集剤貯槽 【水処理設備建屋】</td> <td>ポリ硫酸第二鉄液</td> <td>0.15m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により皮膚の薬傷・眼の損傷となるおそれがある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・脱水助剤タンク 【水処理設備建屋】</td> <td>オルフロック OX-307</td> <td>0.20m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・眼、喉、皮膚等の粘膜に付着した場合、刺激を感じる場合がある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・凝集助剤タンク 【水処理設備建屋】</td> <td>オルフロック AP-1</td> <td>0.20m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚刺激性は弱い。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容	・塩酸貯槽 ・塩酸希釈槽 【水処理設備建屋】	塩酸	5.9m <sup>3</sup> 1.0m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・空気と触れると腐食性ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚、眼の炎症を起こすおそれがある。 ・多量に吸引すると死亡のおそれがある。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。 ・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセスルートに迂回する。	・重亜硫酸ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	重亜硫酸ソーダ	240L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入によりアレルギー、呼吸困難となるおそれがある。		・凝集剤貯槽 【水処理設備建屋】	ポリ硫酸第二鉄液	0.15m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により皮膚の薬傷・眼の損傷となるおそれがある。		・脱水助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック OX-307	0.20m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・眼、喉、皮膚等の粘膜に付着した場合、刺激を感じる場合がある。		・凝集助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック AP-1	0.20m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚刺激性は弱い。		<p>表17 薬品タンク漏えい時被害想定 (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>内容物</th> <th>容量 (濃度)</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩酸貯槽 ・塩酸希釈槽 【水処理設備建屋】</td> <td>塩酸</td> <td>5.9m<sup>3</sup> 1.0m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・激しい刺激臭及び強い腐食性ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵す。塩酸ガスは大量に吸入すると中毒死のおそれがある。</td> <td>・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。 ・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセスルートに迂回する。</td> </tr> <tr> <td>・重亜硫酸ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】</td> <td>重亜硫酸</td> <td>240L</td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入するとアレルギー、呼吸困難となるおそれがある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・凝集剤貯槽 【水処理設備建屋】</td> <td>ポリ硫酸第二鉄</td> <td>0.15m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により重篤な皮膚の薬傷・目の損傷となる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・脱水助剤タンク 【水処理設備建屋】</td> <td>オルフロック OX-307</td> <td>0.16m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・眼、喉、皮膚等の粘膜に付着した場合、刺激を感じる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・凝集助剤タンク 【水処理設備建屋】</td> <td>オルフロック AP-1</td> <td>0.16m<sup>3</sup></td> <td>(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚刺激性は弱い。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容	・塩酸貯槽 ・塩酸希釈槽 【水処理設備建屋】	塩酸	5.9m <sup>3</sup> 1.0m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・激しい刺激臭及び強い腐食性ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵す。塩酸ガスは大量に吸入すると中毒死のおそれがある。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。 ・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセスルートに迂回する。	・重亜硫酸ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	重亜硫酸	240L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入するとアレルギー、呼吸困難となるおそれがある。		・凝集剤貯槽 【水処理設備建屋】	ポリ硫酸第二鉄	0.15m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により重篤な皮膚の薬傷・目の損傷となる。		・脱水助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック OX-307	0.16m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・眼、喉、皮膚等の粘膜に付着した場合、刺激を感じる。		・凝集助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック AP-1	0.16m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚刺激性は弱い。		③(評価基準を統一し、再評価した結果を反映) ⑤
対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容																																																													
・塩酸貯槽 ・塩酸希釈槽 【水処理設備建屋】	塩酸	5.9m <sup>3</sup> 1.0m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・空気と触れると腐食性ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚、眼の炎症を起こすおそれがある。 ・多量に吸引すると死亡のおそれがある。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。 ・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセスルートに迂回する。																																																													
・重亜硫酸ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	重亜硫酸ソーダ	240L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入によりアレルギー、呼吸困難となるおそれがある。																																																														
・凝集剤貯槽 【水処理設備建屋】	ポリ硫酸第二鉄液	0.15m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により皮膚の薬傷・眼の損傷となるおそれがある。																																																														
・脱水助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック OX-307	0.20m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・眼、喉、皮膚等の粘膜に付着した場合、刺激を感じる場合がある。																																																														
・凝集助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック AP-1	0.20m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚刺激性は弱い。																																																														
対象設備	内容物	容量 (濃度)	被害想定	対応内容																																																													
・塩酸貯槽 ・塩酸希釈槽 【水処理設備建屋】	塩酸	5.9m <sup>3</sup> 1.0m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (ガス発生) ・激しい刺激臭及び強い腐食性ガス発生のおそれがある。 (人体への影響) ・接触により皮膚表面の組織を侵す。塩酸ガスは大量に吸入すると中毒死のおそれがある。	・タンクは建物内に設置されている。 ・タンク周辺に堰を設置している。 ・タンク及び付属配管が破損し漏えいしても堰内に全量収まる。 ・万一、薬品の漏えいを見つけた場合には、影響のないアクセスルートに迂回する。																																																													
・重亜硫酸ソーダ貯槽 【水処理設備建屋】	重亜硫酸	240L	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・吸入するとアレルギー、呼吸困難となるおそれがある。																																																														
・凝集剤貯槽 【水処理設備建屋】	ポリ硫酸第二鉄	0.15m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・接触により重篤な皮膚の薬傷・目の損傷となる。																																																														
・脱水助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック OX-307	0.16m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・眼、喉、皮膚等の粘膜に付着した場合、刺激を感じる。																																																														
・凝集助剤タンク 【水処理設備建屋】	オルフロック AP-1	0.16m <sup>3</sup>	(漏えい) ・地震により貯槽が破損し、漏えいする。 (人体への影響) ・皮膚刺激性は弱い。																																																														
59	4.(4)② 4)	1.0.2-66	<p>屋外タンクからの溢水を考慮した場合においても、周辺の空地が平坦かつ広大であり、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し、拡散することからアクセスルートにおける徒歩<sup>*</sup>及び可搬型設備の走行への影響はない(別紙10参照)。</p>	<p>屋外タンクからの溢水を考慮した場合においても、周辺の空地が平坦かつ広大であり、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し比較的短時間で拡散することからアクセスルートにおける徒歩<sup>*</sup>及び可搬型設備の走行への影響はない(別紙10参照)。</p>	⑤																																																												



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】


- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
60	4.(4)② 4) 第17図	1.0.2-67			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																
61	4.(4)② 4) 第18表	1.0.2-68	<p>第18表 溢水タンク漏えい時被害想定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備 (○数字は数量)</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・No.1 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> <td rowspan="7">・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td rowspan="7">・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、溢水は拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、純水、ろ過水等であり人体への影響はない。</td> </tr> <tr> <td>・No.2 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.3 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.4 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.1 ろ過水タンク</td> <td>5,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.2 ろ過水タンク</td> <td>10,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.3 ろ過水タンク</td> <td>1,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.4 ろ過水タンク</td> <td>1,000m<sup>3</sup></td> <td rowspan="2">・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td rowspan="2">・溢水防止対策が実施されるまで、運用停止とする。</td> </tr> <tr> <td>・飲料水受水槽</td> <td>720m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・5号炉非放射性廃液収集タンク②</td> <td>108m<sup>3</sup></td> <td rowspan="2">・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td rowspan="2">・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気に留まることからアクセスルートへの影響はない。 ・万一、地震により堰又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、溢水は拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、結露水や補機冷却水系に含まれる防食剤（十分濃度が低いもの）等であり人体への影響はない。</td> </tr> <tr> <td>・6/7号炉非放射性廃液収集タンク②</td> <td>108m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	対象設備 (○数字は数量)	容量	被害想定	対応内容	・No.1 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、溢水は拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、純水、ろ過水等であり人体への影響はない。	・No.2 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・No.3 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・No.4 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・No.1 ろ過水タンク	5,000m <sup>3</sup>	・No.2 ろ過水タンク	10,000m <sup>3</sup>	・No.3 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>	・No.4 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・溢水防止対策が実施されるまで、運用停止とする。	・飲料水受水槽	720m <sup>3</sup>	・5号炉非放射性廃液収集タンク②	108m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気に留まることからアクセスルートへの影響はない。 ・万一、地震により堰又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、溢水は拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、結露水や補機冷却水系に含まれる防食剤（十分濃度が低いもの）等であり人体への影響はない。	・6/7号炉非放射性廃液収集タンク②	108m <sup>3</sup>	<p>表18 溢水タンク漏えい時被害想定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>容量</th> <th>被害想定</th> <th>対応内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・No.1 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> <td rowspan="7">・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td rowspan="7">・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・溢水した場合であっても、純水、ろ過水等であり人体への影響はない。</td> </tr> <tr> <td>・No.2 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.3 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.4 純水タンク</td> <td>2,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.1 ろ過水タンク</td> <td>5,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.2 ろ過水タンク</td> <td>10,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.3 ろ過水タンク</td> <td>1,000m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・No.4 ろ過水タンク</td> <td>1,000m<sup>3</sup></td> <td rowspan="2">・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td rowspan="2">・溢水防止対策が実施されるまで、運用停止とする。</td> </tr> <tr> <td>・飲料水受水槽</td> <td>750m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>・5号炉非放射性廃液収集タンクA/B</td> <td>216m<sup>3</sup> (2基)</td> <td rowspan="2">・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水</td> <td rowspan="2">・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気に留まることからアクセスルートへの影響はない。 ・万一、地震により堰又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、結露水や補機冷却水系に含まれる防食剤（十分濃度が低いもの）等であり人体への影響はない。</td> </tr> <tr> <td>・6/7号炉非放射性廃液収集タンクA/B</td> <td>216m<sup>3</sup> (2基)</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	容量	被害想定	対応内容	・No.1 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・溢水した場合であっても、純水、ろ過水等であり人体への影響はない。	・No.2 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・No.3 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・No.4 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・No.1 ろ過水タンク	5,000m <sup>3</sup>	・No.2 ろ過水タンク	10,000m <sup>3</sup>	・No.3 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>	・No.4 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・溢水防止対策が実施されるまで、運用停止とする。	・飲料水受水槽	750m <sup>3</sup>	・5号炉非放射性廃液収集タンクA/B	216m <sup>3</sup> (2基)	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気に留まることからアクセスルートへの影響はない。 ・万一、地震により堰又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、結露水や補機冷却水系に含まれる防食剤（十分濃度が低いもの）等であり人体への影響はない。	・6/7号炉非放射性廃液収集タンクA/B	216m <sup>3</sup> (2基)	③(評価基準を統一し、再評価した結果を反映) ⑤
対象設備 (○数字は数量)	容量	被害想定	対応内容																																																																		
・No.1 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、溢水は拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、純水、ろ過水等であり人体への影響はない。																																																																		
・No.2 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.3 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.4 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.1 ろ過水タンク	5,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.2 ろ過水タンク	10,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.3 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.4 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・溢水防止対策が実施されるまで、運用停止とする。																																																																		
・飲料水受水槽	720m <sup>3</sup>																																																																				
・5号炉非放射性廃液収集タンク②	108m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気に留まることからアクセスルートへの影響はない。 ・万一、地震により堰又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、溢水は拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、結露水や補機冷却水系に含まれる防食剤（十分濃度が低いもの）等であり人体への影響はない。																																																																		
・6/7号炉非放射性廃液収集タンク②	108m <sup>3</sup>																																																																				
対象設備	容量	被害想定	対応内容																																																																		
・No.1 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・溢水した場合であっても、純水、ろ過水等であり人体への影響はない。																																																																		
・No.2 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.3 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.4 純水タンク	2,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.1 ろ過水タンク	5,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.2 ろ過水タンク	10,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.3 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>																																																																				
・No.4 ろ過水タンク	1,000m <sup>3</sup>	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・溢水防止対策が実施されるまで、運用停止とする。																																																																		
・飲料水受水槽	750m <sup>3</sup>																																																																				
・5号炉非放射性廃液収集タンクA/B	216m <sup>3</sup> (2基)	・基準地震動 Ss によるタンク及び付属配管の破損による溢水	・地震によりタンク又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気に留まることからアクセスルートへの影響はない。 ・万一、地震により堰又は付属配管が破損した場合でも、周辺の空気が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。 ・万一、溢水した場合であっても、結露水や補機冷却水系に含まれる防食剤（十分濃度が低いもの）等であり人体への影響はない。																																																																		
・6/7号炉非放射性廃液収集タンクA/B	216m <sup>3</sup> (2基)																																																																				
62	4.(4) ③④1),3) ⑤1)a.,b.) 第18図 第20図 第21-4図 第22-1図 第22-2図	1.0.2-69 ~ 1.0.2-83	<p>変更理由が同じため、最初のみ記載</p> 		②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
63	4.(4)③④ 3)	1.0.2-71	<p>アクセスルート沿いの検討対象断面位置を第20図に、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべりの想定結果を第21-1図～第21-3図に、崩壊土砂のアクセスルート通行への影響評価結果を第19-1表～第19-2表に、第21-4図に全斜面が崩壊するものと仮定した場合、必要な幅員が確保できないルートを示す。</p>	<p>アクセスルート沿いの検討対象断面を図20に、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべりの想定結果を図21-1～3に、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべりに対する影響評価結果を表19-1～2に、図21-4に全斜面が崩壊するものと仮定した場合、必要な幅員が確保できないルートを示す。</p>	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
64	4.(4)③④ 3) 第19-1表	1.0.2-75	<p>第19-1表 崩壊土砂のアクセスルート通行への影響評価結果 (1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面No.</th> <th colspan="2">標高</th> <th colspan="2">道路幅</th> <th rowspan="2">位置</th> <th rowspan="2">斜面からの 距離 (m)</th> <th rowspan="2">道路 位置</th> <th rowspan="2">斜面高さ (m)</th> <th rowspan="2">通行への 影響</th> </tr> <tr> <th>T.M.S.L.+ (m)</th> <th>車道 (m)</th> <th>路肩 (m)</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①</td> <td rowspan="2">9.4</td> <td rowspan="2">6.6</td> <td>2.9</td> <td>南側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>3.5</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>3.2</td> <td>北側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>13.0</td> <td>7.0</td> <td>-</td> <td>北側</td> <td>10.2</td> <td>法肩</td> <td>3.5</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td rowspan="2">13.6</td> <td rowspan="2">7.3</td> <td>1.7</td> <td>南側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>4.1</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>北側</td> <td>1.3</td> <td>法尻</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③</td> <td rowspan="2">17.6</td> <td rowspan="2">7.8</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>1.3</td> <td>法尻</td> <td>12.4</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.7</td> <td>西側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④</td> <td rowspan="2">30.7</td> <td rowspan="2">6.6</td> <td>1.6</td> <td>東側</td> <td>10.7</td> <td>法尻</td> <td>13.3</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.9</td> <td>西側</td> <td>3.3</td> <td>法肩</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤</td> <td rowspan="2">32.2</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>11.0</td> <td>法尻</td> <td>22.6</td> <td rowspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>1.9</td> <td>西側</td> <td>3.3</td> <td>法尻</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>13.2</td> <td>6.6</td> <td>2.8</td> <td>西側</td> <td>2.3</td> <td>法肩</td> <td>8.4</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑦</td> <td rowspan="2">13.2</td> <td rowspan="2">7.4</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>3.1</td> <td>法尻</td> <td>15.4</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>西側</td> <td>1.6</td> <td>法肩</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑧</td> <td rowspan="2">19.8</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.9</td> <td>南側</td> <td>24.1</td> <td>法尻</td> <td>8.5</td> <td rowspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>1.9</td> <td>北側</td> <td>13.4</td> <td>法尻</td> <td>29.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑨</td> <td rowspan="2">15.8</td> <td rowspan="2">7.0</td> <td>2.2</td> <td>南側</td> <td>9.4</td> <td>法尻</td> <td>31.9</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>2.2</td> <td>北側</td> <td>2.0</td> <td>法肩</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑩</td> <td rowspan="2">34.7</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>4.6</td> <td>法尻</td> <td>5.0</td> <td rowspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>東側</td> <td>1.9</td> <td>法尻</td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>37.6</td> <td>7.3</td> <td>0.5</td> <td>西側</td> <td>1.0</td> <td>法尻</td> <td>2.3</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑪</td> <td rowspan="2">32.4</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>1.7</td> <td>法尻</td> <td>22.3</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.8</td> <td>西側</td> <td>1.4</td> <td>法尻</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑫</td> <td rowspan="2">29.5</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>1.8</td> <td>法尻</td> <td>25.9</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.7</td> <td>西側</td> <td>1.8</td> <td>法尻</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑬</td> <td rowspan="2">27.4</td> <td rowspan="2">8.0</td> <td>0.9</td> <td>東側</td> <td>2.2</td> <td>法尻</td> <td>27.1</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>西側</td> <td>1.5</td> <td>法尻</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>58.7</td> <td>3.0<sup>※2</sup></td> <td>0.35</td> <td>東側</td> <td>-</td> <td>平地</td> <td>-</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.35</td> <td>西側</td> <td>-</td> <td>平地</td> <td>-</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 緑地帯を通行可能 ※2 セメント改良土による盛土のため、斜面崩壊は想定しない</p>	断面No.	標高		道路幅		位置	斜面からの 距離 (m)	道路 位置	斜面高さ (m)	通行への 影響	T.M.S.L.+ (m)	車道 (m)	路肩 (m)	位置	①	9.4	6.6	2.9	南側	-	法尻	3.5	あり	3.2	北側	-	法尻	4.3	13.0	7.0	-	北側	10.2	法肩	3.5	あり	②	13.6	7.3	1.7	南側	-	法尻	4.1	あり	2.0	北側	1.3	法尻	7.6	③	17.6	7.8	1.7	東側	1.3	法尻	12.4	あり	1.7	西側	-	法尻	3.8	④	30.7	6.6	1.6	東側	10.7	法尻	13.3	あり	1.9	西側	3.3	法肩	3.7	⑤	32.2	6.5	1.7	東側	11.0	法尻	22.6	なし	1.9	西側	3.3	法尻	0.8	⑥	13.2	6.6	2.8	西側	2.3	法肩	8.4	あり	⑦	13.2	7.4	1.7	東側	3.1	法尻	15.4	あり	2.0	西側	1.6	法肩	3.2	⑧	19.8	6.5	1.9	南側	24.1	法尻	8.5	なし	1.9	北側	13.4	法尻	29.5	⑨	15.8	7.0	2.2	南側	9.4	法尻	31.9	あり	2.2	北側	2.0	法肩	3.5	⑩	34.7	6.5	1.7	東側	4.6	法尻	5.0	なし	0.5	東側	1.9	法尻	21.9	37.6	7.3	0.5	西側	1.0	法尻	2.3	なし	⑪	32.4	6.5	1.7	東側	1.7	法尻	22.3	あり	1.8	西側	1.4	法尻	1.9	⑫	29.5	6.5	1.7	東側	1.8	法尻	25.9	あり	1.7	西側	1.8	法尻	4.6	⑬	27.4	8.0	0.9	東側	2.2	法尻	27.1	あり	1.0	西側	1.5	法尻	6.3	58.7	3.0 <sup>※2</sup>	0.35	東側	-	平地	-	なし				0.35	西側	-	平地	-	なし	<p>表19-1 崩壊土砂のアクセスルート通行への影響評価結果 (1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面No.</th> <th colspan="2">標高</th> <th colspan="2">道路幅</th> <th rowspan="2">位置</th> <th rowspan="2">斜面からの 距離 (m)</th> <th rowspan="2">道路 位置</th> <th rowspan="2">斜面高さ (m)</th> <th rowspan="2">通行への 影響</th> </tr> <tr> <th>T.M.S.L.+ (m)</th> <th>車道 (m)</th> <th>路肩 (m)</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">①</td> <td rowspan="2">9.4</td> <td rowspan="2">6.6</td> <td>2.9</td> <td>南側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>3.5</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>3.2</td> <td>北側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>13.0</td> <td>7.0</td> <td>-</td> <td>北側</td> <td>9.7</td> <td>法肩</td> <td>3.5</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td rowspan="2">13.6</td> <td rowspan="2">7.3</td> <td>1.7</td> <td>南側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>4.1</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>北側</td> <td>1.3</td> <td>法尻</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③</td> <td rowspan="2">17.6</td> <td rowspan="2">7.8</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>1.3</td> <td>法尻</td> <td>12.4</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.7</td> <td>西側</td> <td>-</td> <td>法尻</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④</td> <td rowspan="2">30.7</td> <td rowspan="2">6.6</td> <td>1.6</td> <td>東側</td> <td>10.7</td> <td>法尻</td> <td>13.3</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.9</td> <td>西側</td> <td>3.3</td> <td>法肩</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤</td> <td rowspan="2">32.2</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>11.0</td> <td>法尻</td> <td>22.6</td> <td rowspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>1.9</td> <td>西側</td> <td>3.3</td> <td>法尻</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>13.2</td> <td>6.6</td> <td>2.8</td> <td>西側</td> <td>2.3</td> <td>法肩</td> <td>8.4</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑦</td> <td rowspan="2">13.2</td> <td rowspan="2">7.4</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>3.1</td> <td>法尻</td> <td>15.4</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>西側</td> <td>1.6</td> <td>法肩</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑧</td> <td rowspan="2">19.8</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.9</td> <td>南側</td> <td>24.1</td> <td>法尻</td> <td>8.5</td> <td rowspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>1.9</td> <td>北側</td> <td>13.4</td> <td>法尻</td> <td>29.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑨</td> <td rowspan="2">15.8</td> <td rowspan="2">7.0</td> <td>2.2</td> <td>南側</td> <td>9.4</td> <td>法尻</td> <td>31.9</td> <td rowspan="2">あり<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>2.2</td> <td>北側</td> <td>2.0</td> <td>法肩</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑩</td> <td rowspan="2">34.7</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>4.6</td> <td>法尻</td> <td>5.0</td> <td rowspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>東側</td> <td>1.9</td> <td>法尻</td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>37.6</td> <td>7.3</td> <td>0.5</td> <td>西側</td> <td>1.0</td> <td>法尻</td> <td>2.3</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑪</td> <td rowspan="2">32.4</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>1.7</td> <td>法尻</td> <td>22.3</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.8</td> <td>西側</td> <td>1.4</td> <td>法尻</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑫</td> <td rowspan="2">29.5</td> <td rowspan="2">6.5</td> <td>1.7</td> <td>東側</td> <td>1.8</td> <td>法尻</td> <td>25.9</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.7</td> <td>西側</td> <td>1.8</td> <td>法尻</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑬</td> <td rowspan="2">27.4</td> <td rowspan="2">8.0</td> <td>0.9</td> <td>東側</td> <td>2.2</td> <td>法尻</td> <td>27.1</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>西側</td> <td>1.5</td> <td>法尻</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>58.7</td> <td>3.0<sup>※2</sup></td> <td>0.35</td> <td>東側</td> <td>-</td> <td>平地</td> <td>-</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.35</td> <td>西側</td> <td>-</td> <td>平地</td> <td>-</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 緑地帯の通行可能 ※2 セメント改良土による盛土のため、斜面崩壊は想定しない</p>	断面No.	標高		道路幅		位置	斜面からの 距離 (m)	道路 位置	斜面高さ (m)	通行への 影響	T.M.S.L.+ (m)	車道 (m)	路肩 (m)	位置	①	9.4	6.6	2.9	南側	-	法尻	3.5	あり	3.2	北側	-	法尻	4.3	13.0	7.0	-	北側	9.7	法肩	3.5	あり	②	13.6	7.3	1.7	南側	-	法尻	4.1	あり	2.0	北側	1.3	法尻	7.6	③	17.6	7.8	1.7	東側	1.3	法尻	12.4	あり	1.7	西側	-	法尻	3.8	④	30.7	6.6	1.6	東側	10.7	法尻	13.3	あり	1.9	西側	3.3	法肩	3.7	⑤	32.2	6.5	1.7	東側	11.0	法尻	22.6	なし	1.9	西側	3.3	法尻	0.8	⑥	13.2	6.6	2.8	西側	2.3	法肩	8.4	あり	⑦	13.2	7.4	1.7	東側	3.1	法尻	15.4	あり	2.0	西側	1.6	法肩	3.2	⑧	19.8	6.5	1.9	南側	24.1	法尻	8.5	なし	1.9	北側	13.4	法尻	29.5	⑨	15.8	7.0	2.2	南側	9.4	法尻	31.9	あり <sup>※1</sup>	2.2	北側	2.0	法肩	3.5	⑩	34.7	6.5	1.7	東側	4.6	法尻	5.0	なし	0.5	東側	1.9	法尻	21.9	37.6	7.3	0.5	西側	1.0	法尻	2.3	なし	⑪	32.4	6.5	1.7	東側	1.7	法尻	22.3	あり	1.8	西側	1.4	法尻	1.9	⑫	29.5	6.5	1.7	東側	1.8	法尻	25.9	あり	1.7	西側	1.8	法尻	4.6	⑬	27.4	8.0	0.9	東側	2.2	法尻	27.1	あり	1.0	西側	1.5	法尻	6.3	58.7	3.0 <sup>※2</sup>	0.35	東側	-	平地	-	なし				0.35	西側	-	平地	-	なし	⑤
断面No.	標高		道路幅		位置	斜面からの 距離 (m)	道路 位置	斜面高さ (m)						通行への 影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.+ (m)	車道 (m)	路肩 (m)	位置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
①	9.4	6.6	2.9	南側	-	法尻	3.5	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			3.2	北側	-	法尻	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	13.0	7.0	-	北側	10.2	法肩	3.5	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
②	13.6	7.3	1.7	南側	-	法尻	4.1	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			2.0	北側	1.3	法尻	7.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
③	17.6	7.8	1.7	東側	1.3	法尻	12.4	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.7	西側	-	法尻	3.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
④	30.7	6.6	1.6	東側	10.7	法尻	13.3	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.9	西側	3.3	法肩	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑤	32.2	6.5	1.7	東側	11.0	法尻	22.6	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.9	西側	3.3	法尻	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑥	13.2	6.6	2.8	西側	2.3	法肩	8.4	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
⑦	13.2	7.4	1.7	東側	3.1	法尻	15.4	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			2.0	西側	1.6	法肩	3.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑧	19.8	6.5	1.9	南側	24.1	法尻	8.5	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.9	北側	13.4	法尻	29.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑨	15.8	7.0	2.2	南側	9.4	法尻	31.9	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			2.2	北側	2.0	法肩	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑩	34.7	6.5	1.7	東側	4.6	法尻	5.0	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			0.5	東側	1.9	法尻	21.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	37.6	7.3	0.5	西側	1.0	法尻	2.3	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
⑪	32.4	6.5	1.7	東側	1.7	法尻	22.3	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.8	西側	1.4	法尻	1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑫	29.5	6.5	1.7	東側	1.8	法尻	25.9	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.7	西側	1.8	法尻	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑬	27.4	8.0	0.9	東側	2.2	法尻	27.1	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.0	西側	1.5	法尻	6.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	58.7	3.0 <sup>※2</sup>	0.35	東側	-	平地	-	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			0.35	西側	-	平地	-	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
断面No.	標高		道路幅		位置	斜面からの 距離 (m)	道路 位置	斜面高さ (m)	通行への 影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	T.M.S.L.+ (m)	車道 (m)	路肩 (m)	位置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
①	9.4	6.6	2.9	南側	-	法尻	3.5	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			3.2	北側	-	法尻	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	13.0	7.0	-	北側	9.7	法肩	3.5	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
②	13.6	7.3	1.7	南側	-	法尻	4.1	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			2.0	北側	1.3	法尻	7.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
③	17.6	7.8	1.7	東側	1.3	法尻	12.4	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.7	西側	-	法尻	3.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
④	30.7	6.6	1.6	東側	10.7	法尻	13.3	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.9	西側	3.3	法肩	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑤	32.2	6.5	1.7	東側	11.0	法尻	22.6	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.9	西側	3.3	法尻	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑥	13.2	6.6	2.8	西側	2.3	法肩	8.4	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
⑦	13.2	7.4	1.7	東側	3.1	法尻	15.4	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			2.0	西側	1.6	法肩	3.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑧	19.8	6.5	1.9	南側	24.1	法尻	8.5	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.9	北側	13.4	法尻	29.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑨	15.8	7.0	2.2	南側	9.4	法尻	31.9	あり <sup>※1</sup>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			2.2	北側	2.0	法肩	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑩	34.7	6.5	1.7	東側	4.6	法尻	5.0	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			0.5	東側	1.9	法尻	21.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	37.6	7.3	0.5	西側	1.0	法尻	2.3	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
⑪	32.4	6.5	1.7	東側	1.7	法尻	22.3	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.8	西側	1.4	法尻	1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑫	29.5	6.5	1.7	東側	1.8	法尻	25.9	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.7	西側	1.8	法尻	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑬	27.4	8.0	0.9	東側	2.2	法尻	27.1	あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			1.0	西側	1.5	法尻	6.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	58.7	3.0 <sup>※2</sup>	0.35	東側	-	平地	-	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			0.35	西側	-	平地	-	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正        ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
65	4.(4)⑤1) a.	1.0.2-78	<p>【液状化による沈下量の算出法】</p> <p>3.(4)3)a.と同様に、液状化による沈下量は、地下水位以深の飽和地盤(埋戻土、新期砂層・沖積層、<b>番神砂層・大湊砂層</b>、古安田層(保守的に粘性土層も含む))を液状化による沈下の対象層とし、その堆積層厚の2%とした。</p>	<p>【液状化による沈下量の算出法】</p> <p>3.(4)3)a.と同様に、液状化による沈下量は、地下水位以深の飽和地盤(埋戻土、新期砂層・沖積層、古安田層(保守的に粘性土層も含む))を液状化による沈下の対象層とし、その堆積層厚の2%とした。</p>	⑤
66	4.(4)⑤1) a.	1.0.2-78	<p>・液状化については、地下水位以深の飽和地盤(埋戻土、新期砂層・沖積層、<b>番神砂層・大湊砂層</b>、古安田層(保守的に粘性土層も含む))を、すべて液状化するものとして想定する。</p>	<p>・液状化については、地下水位以深の飽和地盤(埋戻土、新期砂層・沖積層、古安田層(保守的に粘性土層も含む))を、すべて液状化するものとして想定する。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
67	4.(4)⑤1) a. 第19-3表	1.0.2-79	<p>第19-3表 浮き上がり評価対象の抽出結果 (1)</p> <p>■：浮き上がり評価対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通し番号</th> <th>名称</th> <th>条件①</th> <th>条件②</th> <th>条件③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>排水路 ボックスカルバート</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td>事務建屋周辺 電線管路</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>K-1 重油配管トレンチ</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>4</td><td>K-1 OFケーブルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>5</td><td>荒浜側5スタビオン発電機用ケーブルダクト 横ドモ</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>6</td><td>荒浜側5スタビオン発電機用ケーブルダクト 横ドモ側面部地盤改良</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>7</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>8</td><td>K-1/2 CV, K-2 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>K-3 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>K-3/4 CVケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>K-4 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>新500kVケーブル溝道</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>K-1 重油配管トレンチ</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>新500kVケーブル溝道</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>排水路 ボックスカルバート</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>免震重要棟連絡ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>18</td><td>排水路 ボックスカルバート</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>20</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>21</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>22</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>23</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>24</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>25</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>26</td><td>排水路 ボックスカルバート</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>27</td><td>排水路 ボックスカルバート</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>28</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>29</td><td>新500kVケーブル溝道</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td>500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td>500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>33</td><td>新500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>34</td><td>K-7 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>35</td><td>K-7 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>36</td><td>K-6 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>37</td><td>K-6 OFケーブルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>38</td><td>K-6 雑給水系統連絡ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>39</td><td>K-5 OFケーブルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>40</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>○：条件に該当する場合 -：地盤改良部のため、浮き上がりの評価対象から除く</p>	通し番号	名称	条件①	条件②	条件③	1	排水路 ボックスカルバート	○		○	2	事務建屋周辺 電線管路				3	K-1 重油配管トレンチ			○	4	K-1 OFケーブルダクト			○	5	荒浜側5スタビオン発電機用ケーブルダクト 横ドモ			○	6	荒浜側5スタビオン発電機用ケーブルダクト 横ドモ側面部地盤改良	-	-	-	7	K1-5 水配管ダクト			○	8	K-1/2 CV, K-2 OFケーブルダクト	○			9	K-3 OFケーブルダクト	○			10	K-3/4 CVケーブルダクト	○			11	K-4 OFケーブルダクト	○			12	新500kVケーブル溝道	○			13	K-1 重油配管トレンチ	○			14	新500kVケーブル溝道	○			15	500kVケーブルダクト	○			16	排水路 ボックスカルバート	○			17	免震重要棟連絡ダクト			○	18	排水路 ボックスカルバート	○			19	K1-5 水配管ダクト			○	20	K1-5 水配管ダクト			○	21	K1-5 水配管ダクト		○	○	22	K1-5 水配管ダクト			○	23	排水路 ヒューム管	○		○	24	排水路 ヒューム管	○	○	○	25	排水路 ヒューム管	○		○	26	排水路 ボックスカルバート		○	○	27	排水路 ボックスカルバート			○	28	K1-5 水配管ダクト			○	29	新500kVケーブル溝道	○			30	500kVケーブルダクト	○			31	K1-5 水配管ダクト	○	○		32	500kVケーブルダクト	○	○	○	33	新500kVケーブルダクト	○	○	○	34	K-7 OFケーブルダクト	○	○	○	35	K-7 OFケーブルダクト	○		○	36	K-6 OFケーブルダクト	○	○	○	37	K-6 OFケーブルダクト			○	38	K-6 雑給水系統連絡ダクト			○	39	K-5 OFケーブルダクト			○	40	K1-5 水配管ダクト				<p>表19-3 浮き上がり評価対象の抽出結果 (1)</p> <p>■：浮き上がり評価対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通し番号</th> <th>名称</th> <th>条件①</th> <th>条件②</th> <th>条件③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>事務建屋周辺 排水路 暗渠</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td>事務建屋周辺 電線管路 多孔暗渠</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>K1 重油配管トレンチ</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>4</td><td>K1 OFダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>5</td><td>荒浜側 GTG 電路 III</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>6</td><td>荒浜側 GTG 電路 III 側面地盤改良</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>7</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>8</td><td>K-1/2 CV, K-2 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>K-3 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>K-3/4 CVケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>K-4 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>新500kVケーブル溝道</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>K-1 重油配管トレンチ</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>新500kVケーブル溝道</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>緊対室へすずかけ通り排水路</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>免震重要棟連絡ダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>18</td><td>排水管 □2100×1600</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>19</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>20</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>21</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>22</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>23</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>24</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>25</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>26</td><td>排水路 ボックスカルバート</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>27</td><td>排水路 ボックスカルバート</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>28</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>29</td><td>新500kVケーブル溝道</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td>500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td>500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>33</td><td>新500kVケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>34</td><td>K-7 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>35</td><td>K-7 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>36</td><td>K-6 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>37</td><td>K-6 OFケーブルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>38</td><td>K-6 MLW 連絡ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>39</td><td>K-5 OFケーブルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>40</td><td>K1-5 水配管ダクト</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>○：条件に該当する場合 -：地盤改良部のため、浮き上がりの評価対象から除く</p>	通し番号	名称	条件①	条件②	条件③	1	事務建屋周辺 排水路 暗渠	○		○	2	事務建屋周辺 電線管路 多孔暗渠				3	K1 重油配管トレンチ		○	○	4	K1 OFダクト		○	○	5	荒浜側 GTG 電路 III		○	○	6	荒浜側 GTG 電路 III 側面地盤改良	-	-	-	7	K1-5 水配管ダクト		○	○	8	K-1/2 CV, K-2 OFケーブルダクト	○	○		9	K-3 OFケーブルダクト	○	○		10	K-3/4 CVケーブルダクト	○	○		11	K-4 OFケーブルダクト	○	○		12	新500kVケーブル溝道	○			13	K-1 重油配管トレンチ	○			14	新500kVケーブル溝道	○			15	500kVケーブルダクト	○			16	緊対室へすずかけ通り排水路	○	○		17	免震重要棟連絡ダクト	○		○	18	排水管 □2100×1600	○	○	○	19	K1-5 水配管ダクト			○	20	K1-5 水配管ダクト			○	21	K1-5 水配管ダクト		○	○	22	K1-5 水配管ダクト			○	23	排水路 ヒューム管	○		○	24	排水路 ヒューム管	○	○	○	25	排水路 ヒューム管	○		○	26	排水路 ボックスカルバート		○	○	27	排水路 ボックスカルバート			○	28	K1-5 水配管ダクト			○	29	新500kVケーブル溝道	○			30	500kVケーブルダクト	○	○		31	K1-5 水配管ダクト	○	○		32	500kVケーブルダクト	○	○	○	33	新500kVケーブルダクト	○	○	○	34	K-7 OFケーブルダクト	○	○	○	35	K-7 OFケーブルダクト	○		○	36	K-6 OFケーブルダクト	○	○	○	37	K-6 OFケーブルダクト			○	38	K-6 MLW 連絡ダクト			○	39	K-5 OFケーブルダクト			○	40	K1-5 水配管ダクト				<p>④((アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤</p>
			通し番号	名称	条件①	条件②	条件③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			1	排水路 ボックスカルバート	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			2	事務建屋周辺 電線管路																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			3	K-1 重油配管トレンチ			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			4	K-1 OFケーブルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			5	荒浜側5スタビオン発電機用ケーブルダクト 横ドモ			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			6	荒浜側5スタビオン発電機用ケーブルダクト 横ドモ側面部地盤改良	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			7	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			8	K-1/2 CV, K-2 OFケーブルダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			9	K-3 OFケーブルダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			10	K-3/4 CVケーブルダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			11	K-4 OFケーブルダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			12	新500kVケーブル溝道	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			13	K-1 重油配管トレンチ	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			14	新500kVケーブル溝道	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			15	500kVケーブルダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			16	排水路 ボックスカルバート	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			17	免震重要棟連絡ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			18	排水路 ボックスカルバート	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			19	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			20	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			21	K1-5 水配管ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			22	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			23	排水路 ヒューム管	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			24	排水路 ヒューム管	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			25	排水路 ヒューム管	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			26	排水路 ボックスカルバート		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			27	排水路 ボックスカルバート			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			28	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			29	新500kVケーブル溝道	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			30	500kVケーブルダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			31	K1-5 水配管ダクト	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			32	500kVケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			33	新500kVケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			34	K-7 OFケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			35	K-7 OFケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			36	K-6 OFケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			37	K-6 OFケーブルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			38	K-6 雑給水系統連絡ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			39	K-5 OFケーブルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
40	K1-5 水配管ダクト																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
通し番号	名称	条件①	条件②	条件③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1	事務建屋周辺 排水路 暗渠	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2	事務建屋周辺 電線管路 多孔暗渠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3	K1 重油配管トレンチ		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
4	K1 OFダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
5	荒浜側 GTG 電路 III		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
6	荒浜側 GTG 電路 III 側面地盤改良	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
7	K1-5 水配管ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
8	K-1/2 CV, K-2 OFケーブルダクト	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9	K-3 OFケーブルダクト	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10	K-3/4 CVケーブルダクト	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11	K-4 OFケーブルダクト	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12	新500kVケーブル溝道	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
13	K-1 重油配管トレンチ	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
14	新500kVケーブル溝道	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
15	500kVケーブルダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
16	緊対室へすずかけ通り排水路	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
17	免震重要棟連絡ダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
18	排水管 □2100×1600	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
19	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
21	K1-5 水配管ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
22	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
23	排水路 ヒューム管	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
24	排水路 ヒューム管	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
25	排水路 ヒューム管	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
26	排水路 ボックスカルバート		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
27	排水路 ボックスカルバート			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
28	K1-5 水配管ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
29	新500kVケーブル溝道	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
30	500kVケーブルダクト	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
31	K1-5 水配管ダクト	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
32	500kVケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
33	新500kVケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
34	K-7 OFケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
35	K-7 OFケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
36	K-6 OFケーブルダクト	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
37	K-6 OFケーブルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
38	K-6 MLW 連絡ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
39	K-5 OFケーブルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
40	K1-5 水配管ダクト																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
68	4.(4)⑤1) a. 第19-4表	1.0.2-80	<p>第19-4表 浮き上がり評価対象の抽出結果 (2)</p> <p>■：浮き上がり評価対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通し番号</th> <th>名称</th> <th>条件①</th> <th>条件②</th> <th>条件③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>41</td><td>排水路 ヒュム管</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>42</td><td>第一ガスタービン発電機用ケーブルダクト*</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>43</td><td>第一ガスタービン発電機用ケーブルダクト部地盤改良</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>44</td><td>排水路 ボックスカバー</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>45</td><td>K-7 ボンベ庫連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>46</td><td>K-7 取水路</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>47</td><td>K-7 タービン建屋〜ボールド補集器ピット間連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>48</td><td>K-7 補機放水路</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>49</td><td>K-6 補機放水路</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>50</td><td>K-6 ボンベ庫連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>51</td><td>K-6 取水路</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>52</td><td>K-6 タービン建屋〜スクリーン室間連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>53</td><td>K-6 補機放水路</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>54</td><td>K-5 循環水配管 取水側</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>55</td><td>K-5 タービン建屋〜海水熱交換器建屋連絡ダクト (南側)</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>56</td><td>K-5 ボンベ庫連絡ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>57</td><td>K-5 タービン建屋〜海水熱交換器建屋連絡ダクト (北側)</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>58</td><td>K-5 タービン建屋〜ボールド補集器ピット間連絡ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>59</td><td>K-5 循環水配管 放水側</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>60</td><td>K-5 タービン建屋北西圧力抑制室アーク水排水系サージタンクダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>61</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-A</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>62</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-B</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>63</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>64</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-D</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>65</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-E</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>66</td><td>K-6 燃料移送系配管ダクト*</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>67</td><td>K-5 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>68</td><td>K-5 低起動二次側ケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>69</td><td>K-5 低起動二次側ケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>70</td><td>K-5 OFケーブルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>71</td><td>排水路 ヒュム管</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>○：条件に該当する場合 —：地盤改良部のため、浮き上がりの評価対象から除く ※：杭を介して岩盤に支持する構造</p>	通し番号	名称	条件①	条件②	条件③	41	排水路 ヒュム管		○	○	42	第一ガスタービン発電機用ケーブルダクト*		○	○	43	第一ガスタービン発電機用ケーブルダクト部地盤改良	—	—	—	44	排水路 ボックスカバー		○	○	45	K-7 ボンベ庫連絡ダクト		○	○	46	K-7 取水路	○	○	○	47	K-7 タービン建屋〜ボールド補集器ピット間連絡ダクト		○	○	48	K-7 補機放水路		○	○	49	K-6 補機放水路		○	○	50	K-6 ボンベ庫連絡ダクト		○	○	51	K-6 取水路	○	○	○	52	K-6 タービン建屋〜スクリーン室間連絡ダクト		○	○	53	K-6 補機放水路		○	○	54	K-5 循環水配管 取水側	○			55	K-5 タービン建屋〜海水熱交換器建屋連絡ダクト (南側)	○		○	56	K-5 ボンベ庫連絡ダクト			○	57	K-5 タービン建屋〜海水熱交換器建屋連絡ダクト (北側)	○		○	58	K-5 タービン建屋〜ボールド補集器ピット間連絡ダクト			○	59	K-5 循環水配管 放水側			○	60	K-5 タービン建屋北西圧力抑制室アーク水排水系サージタンクダクト			○	61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	—	—	—	62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	—	—	—	63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	—	—	—	64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	—	—	—	65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	—	—	—	66	K-6 燃料移送系配管ダクト*			○	67	K-5 OFケーブルダクト	○		○	68	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○	69	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○	70	K-5 OFケーブルダクト			○	71	排水路 ヒュム管			○	<p>表19-4 浮き上がり評価対象の抽出結果 (2)</p> <p>■：浮き上がり評価対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通し番号</th> <th>名称</th> <th>条件①</th> <th>条件②</th> <th>条件③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>41</td><td>排水管 HP-1100</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>42</td><td>第一GTGケーブルダクト*</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>43</td><td>第一GTGケーブルダクト部地盤改良</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>44</td><td>排水暗渠口-1100</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>45</td><td>K-7 ボンベ庫連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>46</td><td>K-7 取水路</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>47</td><td>K-7 タービン建屋〜BCP間連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>48</td><td>K-7 補機放水路</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>49</td><td>K-6 補機放水路</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>50</td><td>K-6 ボンベ庫連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>51</td><td>K-6 取水路</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>52</td><td>K-6 タービン建屋〜スクリーン室間連絡ダクト</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>53</td><td>K-6 補機放水路</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>54</td><td>K5 循環水配管 取水側</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>55</td><td>K-5 B系配管ダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>56</td><td>K-5 ボンベ庫連絡ダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>57</td><td>K-5 A系配管ダクト</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>58</td><td>K-5 タービン建屋〜BCP間連絡ダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>59</td><td>K5 循環水配管 放水側</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>60</td><td>K-5 タービン建屋北西 SPHサージタンクダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>61</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-A</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>62</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-B</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>63</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-C</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>64</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-D</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>65</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-E</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>66</td><td>K-6 非常用ディゼルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>67</td><td>K-5 OFケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>68</td><td>K-5 低起動二次側ケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>69</td><td>K-5 低起動二次側ケーブルダクト</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>70</td><td>K-5 OFケーブルダクト</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>71</td><td>排水管 HP-1200</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>○：条件に該当する場合 —：地盤改良部のため、浮き上がりの評価対象から除く ※：杭を介して岩盤に支持する構造</p>	通し番号	名称	条件①	条件②	条件③	41	排水管 HP-1100		○	○	42	第一GTGケーブルダクト*		○	○	43	第一GTGケーブルダクト部地盤改良	—	—	—	44	排水暗渠口-1100		○	○	45	K-7 ボンベ庫連絡ダクト		○	○	46	K-7 取水路	○	○	○	47	K-7 タービン建屋〜BCP間連絡ダクト		○	○	48	K-7 補機放水路		○	○	49	K-6 補機放水路		○	○	50	K-6 ボンベ庫連絡ダクト		○	○	51	K-6 取水路	○	○	○	52	K-6 タービン建屋〜スクリーン室間連絡ダクト		○	○	53	K-6 補機放水路		○	○	54	K5 循環水配管 取水側	○			55	K-5 B系配管ダクト	○			56	K-5 ボンベ庫連絡ダクト			○	57	K-5 A系配管ダクト	○			58	K-5 タービン建屋〜BCP間連絡ダクト	○		○	59	K5 循環水配管 放水側			○	60	K-5 タービン建屋北西 SPHサージタンクダクト			○	61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	○		○	62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	○		○	63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	○		○	64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	○		○	65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	○		○	66	K-6 非常用ディゼルダクト			○	67	K-5 OFケーブルダクト	○		○	68	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○	69	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○	70	K-5 OFケーブルダクト			○	71	排水管 HP-1200	○		○	⑤
			通し番号	名称	条件①	条件②	条件③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			41	排水路 ヒュム管		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			42	第一ガスタービン発電機用ケーブルダクト*		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			43	第一ガスタービン発電機用ケーブルダクト部地盤改良	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			44	排水路 ボックスカバー		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			45	K-7 ボンベ庫連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			46	K-7 取水路	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			47	K-7 タービン建屋〜ボールド補集器ピット間連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			48	K-7 補機放水路		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			49	K-6 補機放水路		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			50	K-6 ボンベ庫連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			51	K-6 取水路	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			52	K-6 タービン建屋〜スクリーン室間連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			53	K-6 補機放水路		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			54	K-5 循環水配管 取水側	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			55	K-5 タービン建屋〜海水熱交換器建屋連絡ダクト (南側)	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			56	K-5 ボンベ庫連絡ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			57	K-5 タービン建屋〜海水熱交換器建屋連絡ダクト (北側)	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			58	K-5 タービン建屋〜ボールド補集器ピット間連絡ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			59	K-5 循環水配管 放水側			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			60	K-5 タービン建屋北西圧力抑制室アーク水排水系サージタンクダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			66	K-6 燃料移送系配管ダクト*			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			67	K-5 OFケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			68	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			69	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			70	K-5 OFケーブルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			71	排水路 ヒュム管			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			通し番号	名称	条件①	条件②	条件③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			41	排水管 HP-1100		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			42	第一GTGケーブルダクト*		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			43	第一GTGケーブルダクト部地盤改良	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			44	排水暗渠口-1100		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			45	K-7 ボンベ庫連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			46	K-7 取水路	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			47	K-7 タービン建屋〜BCP間連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			48	K-7 補機放水路		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			49	K-6 補機放水路		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			50	K-6 ボンベ庫連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			51	K-6 取水路	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			52	K-6 タービン建屋〜スクリーン室間連絡ダクト		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			53	K-6 補機放水路		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			54	K5 循環水配管 取水側	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			55	K-5 B系配管ダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			56	K-5 ボンベ庫連絡ダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			57	K-5 A系配管ダクト	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			58	K-5 タービン建屋〜BCP間連絡ダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			59	K5 循環水配管 放水側			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			60	K-5 タービン建屋北西 SPHサージタンクダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			66	K-6 非常用ディゼルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			67	K-5 OFケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			68	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			69	K-5 低起動二次側ケーブルダクト	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			70	K-5 OFケーブルダクト			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			71	排水管 HP-1200	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
69	4.(4)⑤1) b. 第19-5表	1.0.2-81	<p>第19-5表 沈下量算出結果(1)</p> <p>■:段差(相対沈下量)が15cmを超える箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">通し番号</th> <th rowspan="2">名称</th> <th>路面高</th> <th>構造物上端</th> <th>構造物下端</th> <th>基礎下端</th> <th>構造物高+基礎<sup>1)</sup></th> <th>地下水位</th> <th>相対沈下量</th> <th rowspan="2">車両通行可否 ○:可 ×:不可</th> <th rowspan="2">備考:斜路降下率以上の箇所 □</th> </tr> <tr> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>H(m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>排水路 ボックス型</td><td>13.0</td><td>11.0</td><td>8.9</td><td>8.6</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>事務建屋周辺 電線管路</td><td>13.0</td><td>12.5</td><td>11.4</td><td>11.2</td><td>1.4</td><td>10.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>3</td><td>K-1 重油配管リフ</td><td>13.0</td><td>11.5</td><td>9.2</td><td>8.8</td><td>2.7</td><td>8.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>K-1 OFケブダ</td><td>13.0</td><td>11.8</td><td>8.6</td><td>8.2</td><td>3.6</td><td>8.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>荒浜側OFケブダ電機用ケブダリフ</td><td>13.0</td><td>12.5</td><td>8.4</td><td>0.5</td><td>12.0</td><td>8.0</td><td>0.18<sup>2)</sup></td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>荒浜側OFケブダ電機用ケブダリフ側面地面改良</td><td>13.0</td><td>11.5</td><td>8.3</td><td>8.3</td><td>3.2</td><td>8.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>13.6</td><td>11.5</td><td>8.9</td><td>8.5</td><td>3.0</td><td>8.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>K-1/2 CV, K-2 OFケブダ</td><td>13.0</td><td>9.0</td><td>5.6</td><td>5.2</td><td>3.8</td><td>10.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>9</td><td>K-3 OFケブダ</td><td>13.0</td><td>9.2</td><td>6.5</td><td>6.2</td><td>3.0</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>10</td><td>K-3/4 CVケブダ</td><td>13.0</td><td>11.4</td><td>8.4</td><td>8.1</td><td>3.3</td><td>10.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>11</td><td>K-4 OFケブダ</td><td>13.0</td><td>11.5</td><td>8.4</td><td>8.1</td><td>3.4</td><td>10.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>12</td><td>新500kVケブダ側道</td><td>13.0</td><td>10.6</td><td>7.4</td><td>7.4</td><td>3.2</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>13</td><td>K-1 重油配管リフ</td><td>13.6</td><td>13.6</td><td>12.5</td><td>12.4</td><td>1.2</td><td>10.0</td><td>0.02</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>14</td><td>新500kVケブダ側道</td><td>14.4</td><td>-13.7</td><td>-16.9</td><td>-16.9</td><td>3.2</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>15</td><td>500kVケブダ側道</td><td>20.6</td><td>18.6</td><td>13.9</td><td>13.5</td><td>5.1</td><td>10.0</td><td>0.10</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>16</td><td>環状区へすきかけ排水路</td><td>13.7</td><td>11.3</td><td>9.1</td><td>8.9</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>17</td><td>免震重要棟連絡ダクト</td><td>13.1</td><td>10.3</td><td>7.9</td><td>7.9</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>18</td><td>排水管 □1200×1600</td><td>13.1</td><td>11.6</td><td>9.5</td><td>9.3</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>19</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>33.9</td><td>32.4</td><td>29.8</td><td>29.4</td><td>3.0</td><td>15.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>37.7</td><td>35.7</td><td>33.1</td><td>32.7</td><td>3.0</td><td>15.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>35.5</td><td>34.5</td><td>32.2</td><td>31.7</td><td>2.7</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>42.2</td><td>41.2</td><td>38.8</td><td>38.4</td><td>2.7</td><td>15.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>23</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>44.0</td><td>18.5</td><td>17.0</td><td>17.0</td><td>1.6</td><td>30.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>42.6</td><td>18.4</td><td>17.0</td><td>16.9</td><td>1.5</td><td>30.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>44.7</td><td>21.8</td><td>20.4</td><td>20.1</td><td>1.7</td><td>30.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>排水路 ボックス型</td><td>42.5</td><td>42.0</td><td>40.1</td><td>39.7</td><td>2.3</td><td>30.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>排水路 ボックス型</td><td>42.5</td><td>41.7</td><td>39.7</td><td>39.3</td><td>2.4</td><td>30.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>40.3</td><td>38.9</td><td>36.5</td><td>36.1</td><td>2.7</td><td>25.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td>新500kVケブダ側道</td><td>15.0</td><td>-4.3</td><td>-7.6</td><td>-7.6</td><td>3.2</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>30</td><td>500kVケブダ</td><td>18.0</td><td>16.4</td><td>11.7</td><td>11.3</td><td>5.1</td><td>13.0</td><td>0.10</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>31</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>19.4</td><td>18.4</td><td>15.8</td><td>15.4</td><td>3.0</td><td>19.4</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> </tbody> </table> <p>1) 構造物上端-基礎下端(それぞれ四捨五入による値のため、合わない場合がある)(第9-1回参照) 2) 5と6は一連の構造物であり、5と6の境界に発生する段差</p>	通し番号	名称	路面高	構造物上端	構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位	相対沈下量	車両通行可否 ○:可 ×:不可	備考:斜路降下率以上の箇所 □	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	H(m)	T.M.S.L. (m)	(m)	1	排水路 ボックス型	13.0	11.0	8.9	8.6	2.4	10.0	0.05	○		2	事務建屋周辺 電線管路	13.0	12.5	11.4	11.2	1.4	10.0	0.03	○	□	3	K-1 重油配管リフ	13.0	11.5	9.2	8.8	2.7	8.0	0.05	○		4	K-1 OFケブダ	13.0	11.8	8.6	8.2	3.6	8.0	0.07	○		5	荒浜側OFケブダ電機用ケブダリフ	13.0	12.5	8.4	0.5	12.0	8.0	0.18 <sup>2)</sup>	×		6	荒浜側OFケブダ電機用ケブダリフ側面地面改良	13.0	11.5	8.3	8.3	3.2	8.0	0.06	○		7	K1-5 水配管ダ	13.6	11.5	8.9	8.5	3.0	8.0	0.06	○		8	K-1/2 CV, K-2 OFケブダ	13.0	9.0	5.6	5.2	3.8	10.0	0.08	○	□	9	K-3 OFケブダ	13.0	9.2	6.5	6.2	3.0	10.0	0.06	○	□	10	K-3/4 CVケブダ	13.0	11.4	8.4	8.1	3.3	10.0	0.07	○	□	11	K-4 OFケブダ	13.0	11.5	8.4	8.1	3.4	10.0	0.07	○	□	12	新500kVケブダ側道	13.0	10.6	7.4	7.4	3.2	10.0	0.06	○	□	13	K-1 重油配管リフ	13.6	13.6	12.5	12.4	1.2	10.0	0.02	○	□	14	新500kVケブダ側道	14.4	-13.7	-16.9	-16.9	3.2	10.0	0.06	○	□	15	500kVケブダ側道	20.6	18.6	13.9	13.5	5.1	10.0	0.10	○	□	16	環状区へすきかけ排水路	13.7	11.3	9.1	8.9	2.4	10.0	0.05	○	□	17	免震重要棟連絡ダクト	13.1	10.3	7.9	7.9	2.4	10.0	0.05	○	□	18	排水管 □1200×1600	13.1	11.6	9.5	9.3	2.4	10.0	0.05	○	□	19	K1-5 水配管ダ	33.9	32.4	29.8	29.4	3.0	15.0	0.06	○		20	K1-5 水配管ダ	37.7	35.7	33.1	32.7	3.0	15.0	0.06	○		21	K1-5 水配管ダ	35.5	34.5	32.2	31.7	2.7	10.0	0.05	○		22	K1-5 水配管ダ	42.2	41.2	38.8	38.4	2.7	15.0	0.05	○	□	23	排水路 ヒューム管	44.0	18.5	17.0	17.0	1.6	30.0	0.03	○		24	排水路 ヒューム管	42.6	18.4	17.0	16.9	1.5	30.0	0.03	○		25	排水路 ヒューム管	44.7	21.8	20.4	20.1	1.7	30.0	0.03	○		26	排水路 ボックス型	42.5	42.0	40.1	39.7	2.3	30.0	0.05	○		27	排水路 ボックス型	42.5	41.7	39.7	39.3	2.4	30.0	0.05	○		28	K1-5 水配管ダ	40.3	38.9	36.5	36.1	2.7	25.0	0.05	○		29	新500kVケブダ側道	15.0	-4.3	-7.6	-7.6	3.2	10.0	0.06	○	□	30	500kVケブダ	18.0	16.4	11.7	11.3	5.1	13.0	0.10	○	□	31	K1-5 水配管ダ	19.4	18.4	15.8	15.4	3.0	19.4	0.06	○	□	<p>表19-5 沈下量算出結果(1)</p> <p>■:段差(相対沈下量)が15cmを超える箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">通し番号</th> <th rowspan="2">名称</th> <th>路面高</th> <th>構造物上端</th> <th>構造物下端</th> <th>基礎下端</th> <th>構造物高+基礎<sup>1)</sup></th> <th>地下水位</th> <th>相対沈下量</th> <th rowspan="2">車両通行可否 ○:可 ×:不可</th> <th rowspan="2">備考:斜路降下率以上の箇所 □</th> </tr> <tr> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>H(m)</th> <th>T.M.S.L. (m)</th> <th>(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>事務建屋周辺 排水路 暗渠</td><td>13.0</td><td>11.0</td><td>8.9</td><td>8.6</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>事務建屋周辺 電線管路 多孔暗渠</td><td>13.0</td><td>12.5</td><td>11.4</td><td>11.2</td><td>1.4</td><td>10.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>3</td><td>K1 重油配管トレンチ</td><td>13.0</td><td>11.5</td><td>9.3</td><td>8.9</td><td>2.7</td><td>8.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>K1 OFダクト</td><td>13.0</td><td>11.8</td><td>8.6</td><td>8.2</td><td>3.6</td><td>8.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>荒浜側GTC電路用</td><td>13.0</td><td>12.5</td><td>8.4</td><td>0.5</td><td>12.0</td><td>8.0</td><td>0.18<sup>2)</sup></td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>荒浜側GTC電路用側面地面改良</td><td>13.0</td><td>11.5</td><td>8.3</td><td>8.3</td><td>3.2</td><td>8.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>13.6</td><td>11.5</td><td>8.9</td><td>8.5</td><td>3.0</td><td>8.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>K-1/2 CV, K-2 OFケブダ</td><td>13.1</td><td>9.0</td><td>5.6</td><td>5.2</td><td>3.8</td><td>10.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>9</td><td>K-3 OFケブダ</td><td>13.3</td><td>9.2</td><td>6.5</td><td>6.2</td><td>3.0</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>10</td><td>K-3/4 CVケブダ</td><td>13.3</td><td>11.4</td><td>8.4</td><td>8.1</td><td>3.3</td><td>10.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>11</td><td>K-4 OFケブダ</td><td>13.3</td><td>11.5</td><td>8.4</td><td>8.1</td><td>3.4</td><td>10.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>12</td><td>新500kVケブダ側道</td><td>13.2</td><td>10.6</td><td>7.7</td><td>7.4</td><td>3.2</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>13</td><td>K-1 重油配管リフ</td><td>13.6</td><td>13.6</td><td>12.7</td><td>12.4</td><td>1.2</td><td>10.0</td><td>0.02</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>14</td><td>新500kVケブダ側道</td><td>14.4</td><td>-13.7</td><td>-16.9</td><td>-16.9</td><td>3.2</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>15</td><td>500kVケブダ側道</td><td>20.6</td><td>18.6</td><td>13.9</td><td>13.5</td><td>5.1</td><td>10.0</td><td>0.10</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>16</td><td>環状区へすきかけ排水路</td><td>13.7</td><td>11.3</td><td>9.1</td><td>8.9</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>17</td><td>免震重要棟連絡ダクト</td><td>13.1</td><td>10.3</td><td>7.9</td><td>7.9</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>18</td><td>排水管 □1200×1600</td><td>13.1</td><td>11.6</td><td>9.5</td><td>9.3</td><td>2.4</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>19</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>33.9</td><td>32.4</td><td>29.8</td><td>29.4</td><td>3.0</td><td>15.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>37.7</td><td>35.7</td><td>33.1</td><td>32.7</td><td>3.0</td><td>15.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>35.5</td><td>34.5</td><td>32.2</td><td>31.7</td><td>2.7</td><td>10.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>42.2</td><td>41.2</td><td>38.8</td><td>38.4</td><td>2.7</td><td>15.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>23</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>44.0</td><td>18.6</td><td>16.8</td><td>16.8</td><td>1.7</td><td>30.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>42.6</td><td>18.6</td><td>16.8</td><td>16.8</td><td>1.7</td><td>30.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>44.7</td><td>21.8</td><td>20.4</td><td>20.1</td><td>1.7</td><td>30.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>排水路 ボックス型</td><td>42.5</td><td>42.0</td><td>40.1</td><td>39.7</td><td>2.3</td><td>30.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>排水路 ボックス型</td><td>42.5</td><td>41.7</td><td>39.7</td><td>39.3</td><td>2.4</td><td>30.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>40.3</td><td>38.9</td><td>36.5</td><td>36.1</td><td>2.7</td><td>25.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td>新500kVケブダ側道</td><td>15.0</td><td>-4.3</td><td>-7.6</td><td>-7.6</td><td>3.2</td><td>10.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>30</td><td>500kVケブダ</td><td>18.0</td><td>16.4</td><td>11.7</td><td>11.3</td><td>5.1</td><td>13.0</td><td>0.10</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>31</td><td>K1-5 水配管ダ</td><td>19.4</td><td>18.4</td><td>15.8</td><td>15.4</td><td>3.0</td><td>19.4</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> </tbody> </table> <p>1) 構造物上端-基礎下端(それぞれ四捨五入による値のため、合わない場合がある)(第9-1回参照) 2) 5と6は一連の構造物であり、5と6の境界に発生する段差</p>	通し番号	名称	路面高	構造物上端	構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位	相対沈下量	車両通行可否 ○:可 ×:不可	備考:斜路降下率以上の箇所 □	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	H(m)	T.M.S.L. (m)	(m)	1	事務建屋周辺 排水路 暗渠	13.0	11.0	8.9	8.6	2.4	10.0	0.05	○		2	事務建屋周辺 電線管路 多孔暗渠	13.0	12.5	11.4	11.2	1.4	10.0	0.03	○	□	3	K1 重油配管トレンチ	13.0	11.5	9.3	8.9	2.7	8.0	0.05	○		4	K1 OFダクト	13.0	11.8	8.6	8.2	3.6	8.0	0.07	○		5	荒浜側GTC電路用	13.0	12.5	8.4	0.5	12.0	8.0	0.18 <sup>2)</sup>	×		6	荒浜側GTC電路用側面地面改良	13.0	11.5	8.3	8.3	3.2	8.0	0.06	○		7	K1-5 水配管ダ	13.6	11.5	8.9	8.5	3.0	8.0	0.06	○		8	K-1/2 CV, K-2 OFケブダ	13.1	9.0	5.6	5.2	3.8	10.0	0.08	○	□	9	K-3 OFケブダ	13.3	9.2	6.5	6.2	3.0	10.0	0.06	○	□	10	K-3/4 CVケブダ	13.3	11.4	8.4	8.1	3.3	10.0	0.07	○	□	11	K-4 OFケブダ	13.3	11.5	8.4	8.1	3.4	10.0	0.07	○	□	12	新500kVケブダ側道	13.2	10.6	7.7	7.4	3.2	10.0	0.06	○	□	13	K-1 重油配管リフ	13.6	13.6	12.7	12.4	1.2	10.0	0.02	○	□	14	新500kVケブダ側道	14.4	-13.7	-16.9	-16.9	3.2	10.0	0.06	○	□	15	500kVケブダ側道	20.6	18.6	13.9	13.5	5.1	10.0	0.10	○	□	16	環状区へすきかけ排水路	13.7	11.3	9.1	8.9	2.4	10.0	0.05	○	□	17	免震重要棟連絡ダクト	13.1	10.3	7.9	7.9	2.4	10.0	0.05	○	□	18	排水管 □1200×1600	13.1	11.6	9.5	9.3	2.4	10.0	0.05	○	□	19	K1-5 水配管ダ	33.9	32.4	29.8	29.4	3.0	15.0	0.06	○		20	K1-5 水配管ダ	37.7	35.7	33.1	32.7	3.0	15.0	0.06	○		21	K1-5 水配管ダ	35.5	34.5	32.2	31.7	2.7	10.0	0.05	○		22	K1-5 水配管ダ	42.2	41.2	38.8	38.4	2.7	15.0	0.05	○	□	23	排水路 ヒューム管	44.0	18.6	16.8	16.8	1.7	30.0	0.03	○		24	排水路 ヒューム管	42.6	18.6	16.8	16.8	1.7	30.0	0.03	○		25	排水路 ヒューム管	44.7	21.8	20.4	20.1	1.7	30.0	0.03	○		26	排水路 ボックス型	42.5	42.0	40.1	39.7	2.3	30.0	0.05	○		27	排水路 ボックス型	42.5	41.7	39.7	39.3	2.4	30.0	0.05	○		28	K1-5 水配管ダ	40.3	38.9	36.5	36.1	2.7	25.0	0.05	○		29	新500kVケブダ側道	15.0	-4.3	-7.6	-7.6	3.2	10.0	0.06	○	□	30	500kVケブダ	18.0	16.4	11.7	11.3	5.1	13.0	0.10	○	□	31	K1-5 水配管ダ	19.4	18.4	15.8	15.4	3.0	19.4	0.06	○	□	<p>④(竣工図反映方法を統一したため) ⑤</p>
			通し番号			名称	路面高	構造物上端	構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位			相対沈下量	車両通行可否 ○:可 ×:不可	備考:斜路降下率以上の箇所 □																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)		T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	H(m)	T.M.S.L. (m)	(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			1	排水路 ボックス型	13.0	11.0	8.9	8.6	2.4	10.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			2	事務建屋周辺 電線管路	13.0	12.5	11.4	11.2	1.4	10.0	0.03	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			3	K-1 重油配管リフ	13.0	11.5	9.2	8.8	2.7	8.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			4	K-1 OFケブダ	13.0	11.8	8.6	8.2	3.6	8.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			5	荒浜側OFケブダ電機用ケブダリフ	13.0	12.5	8.4	0.5	12.0	8.0	0.18 <sup>2)</sup>	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			6	荒浜側OFケブダ電機用ケブダリフ側面地面改良	13.0	11.5	8.3	8.3	3.2	8.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			7	K1-5 水配管ダ	13.6	11.5	8.9	8.5	3.0	8.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			8	K-1/2 CV, K-2 OFケブダ	13.0	9.0	5.6	5.2	3.8	10.0	0.08	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			9	K-3 OFケブダ	13.0	9.2	6.5	6.2	3.0	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			10	K-3/4 CVケブダ	13.0	11.4	8.4	8.1	3.3	10.0	0.07	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			11	K-4 OFケブダ	13.0	11.5	8.4	8.1	3.4	10.0	0.07	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			12	新500kVケブダ側道	13.0	10.6	7.4	7.4	3.2	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			13	K-1 重油配管リフ	13.6	13.6	12.5	12.4	1.2	10.0	0.02	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			14	新500kVケブダ側道	14.4	-13.7	-16.9	-16.9	3.2	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			15	500kVケブダ側道	20.6	18.6	13.9	13.5	5.1	10.0	0.10	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			16	環状区へすきかけ排水路	13.7	11.3	9.1	8.9	2.4	10.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			17	免震重要棟連絡ダクト	13.1	10.3	7.9	7.9	2.4	10.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			18	排水管 □1200×1600	13.1	11.6	9.5	9.3	2.4	10.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			19	K1-5 水配管ダ	33.9	32.4	29.8	29.4	3.0	15.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			20	K1-5 水配管ダ	37.7	35.7	33.1	32.7	3.0	15.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			21	K1-5 水配管ダ	35.5	34.5	32.2	31.7	2.7	10.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			22	K1-5 水配管ダ	42.2	41.2	38.8	38.4	2.7	15.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			23	排水路 ヒューム管	44.0	18.5	17.0	17.0	1.6	30.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			24	排水路 ヒューム管	42.6	18.4	17.0	16.9	1.5	30.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			25	排水路 ヒューム管	44.7	21.8	20.4	20.1	1.7	30.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			26	排水路 ボックス型	42.5	42.0	40.1	39.7	2.3	30.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			27	排水路 ボックス型	42.5	41.7	39.7	39.3	2.4	30.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			28	K1-5 水配管ダ	40.3	38.9	36.5	36.1	2.7	25.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			29	新500kVケブダ側道	15.0	-4.3	-7.6	-7.6	3.2	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			30	500kVケブダ	18.0	16.4	11.7	11.3	5.1	13.0	0.10	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
31	K1-5 水配管ダ	19.4	18.4	15.8	15.4	3.0	19.4	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
通し番号	名称	路面高	構造物上端	構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位	相対沈下量	車両通行可否 ○:可 ×:不可	備考:斜路降下率以上の箇所 □																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	T.M.S.L. (m)	H(m)	T.M.S.L. (m)	(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1	事務建屋周辺 排水路 暗渠	13.0	11.0	8.9	8.6	2.4	10.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2	事務建屋周辺 電線管路 多孔暗渠	13.0	12.5	11.4	11.2	1.4	10.0	0.03	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3	K1 重油配管トレンチ	13.0	11.5	9.3	8.9	2.7	8.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
4	K1 OFダクト	13.0	11.8	8.6	8.2	3.6	8.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
5	荒浜側GTC電路用	13.0	12.5	8.4	0.5	12.0	8.0	0.18 <sup>2)</sup>	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
6	荒浜側GTC電路用側面地面改良	13.0	11.5	8.3	8.3	3.2	8.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
7	K1-5 水配管ダ	13.6	11.5	8.9	8.5	3.0	8.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
8	K-1/2 CV, K-2 OFケブダ	13.1	9.0	5.6	5.2	3.8	10.0	0.08	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
9	K-3 OFケブダ	13.3	9.2	6.5	6.2	3.0	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
10	K-3/4 CVケブダ	13.3	11.4	8.4	8.1	3.3	10.0	0.07	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
11	K-4 OFケブダ	13.3	11.5	8.4	8.1	3.4	10.0	0.07	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
12	新500kVケブダ側道	13.2	10.6	7.7	7.4	3.2	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
13	K-1 重油配管リフ	13.6	13.6	12.7	12.4	1.2	10.0	0.02	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
14	新500kVケブダ側道	14.4	-13.7	-16.9	-16.9	3.2	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
15	500kVケブダ側道	20.6	18.6	13.9	13.5	5.1	10.0	0.10	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
16	環状区へすきかけ排水路	13.7	11.3	9.1	8.9	2.4	10.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
17	免震重要棟連絡ダクト	13.1	10.3	7.9	7.9	2.4	10.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
18	排水管 □1200×1600	13.1	11.6	9.5	9.3	2.4	10.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
19	K1-5 水配管ダ	33.9	32.4	29.8	29.4	3.0	15.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20	K1-5 水配管ダ	37.7	35.7	33.1	32.7	3.0	15.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
21	K1-5 水配管ダ	35.5	34.5	32.2	31.7	2.7	10.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
22	K1-5 水配管ダ	42.2	41.2	38.8	38.4	2.7	15.0	0.05	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
23	排水路 ヒューム管	44.0	18.6	16.8	16.8	1.7	30.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
24	排水路 ヒューム管	42.6	18.6	16.8	16.8	1.7	30.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25	排水路 ヒューム管	44.7	21.8	20.4	20.1	1.7	30.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
26	排水路 ボックス型	42.5	42.0	40.1	39.7	2.3	30.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
27	排水路 ボックス型	42.5	41.7	39.7	39.3	2.4	30.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
28	K1-5 水配管ダ	40.3	38.9	36.5	36.1	2.7	25.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
29	新500kVケブダ側道	15.0	-4.3	-7.6	-7.6	3.2	10.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
30	500kVケブダ	18.0	16.4	11.7	11.3	5.1	13.0	0.10	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
31	K1-5 水配管ダ	19.4	18.4	15.8	15.4	3.0	19.4	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

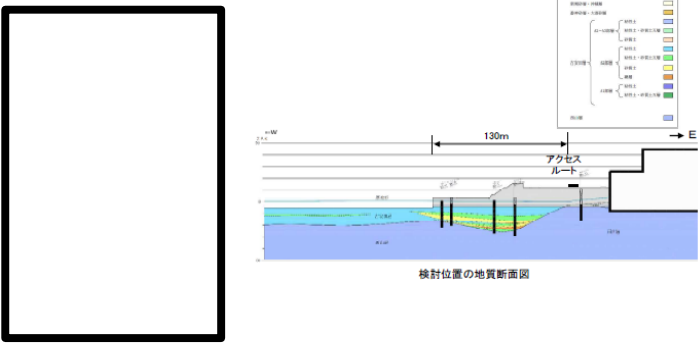
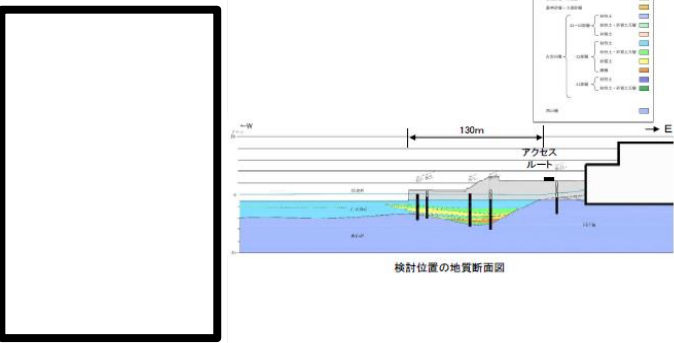


- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
70	4.(4)⑤1). b. 第19-6表	1.0.2-82	<p align="center">第19-6表 沈下量算出結果 (2)</p> <p align="center">■: 段差 (相対沈下量) が15cmを超える箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">通し番号</th> <th rowspan="2">名称</th> <th>路面高</th> <th>構造物上端</th> <th>構造物下端</th> <th>基礎下端</th> <th>構造物高+基礎<sup>1)</sup></th> <th>地下水位</th> <th>相対沈下量</th> <th rowspan="2">車両通行可否 0.15m以下 ○</th> <th rowspan="2">備考: 経年経過 影響の有無 □</th> </tr> <tr> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>H(m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>32</td><td>500kV ケーブル架設</td><td>12.0</td><td>11.2</td><td>6.5</td><td>6.3</td><td>5.1</td><td>7.0</td><td>0.10</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td>新500kV ケーブル架設</td><td>12.2</td><td>9.4</td><td>6.7</td><td>6.3</td><td>3.1</td><td>7.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td>K-7 OFケーブル架設</td><td>12.0</td><td>10.0</td><td>6.3</td><td>5.9</td><td>4.1</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>35</td><td>K-7 OFケーブル架設</td><td>12.0</td><td>10.3</td><td>6.6</td><td>6.2</td><td>4.1</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>36</td><td>K-6 OFケーブル架設</td><td>12.0</td><td>10.7</td><td>3.8</td><td>3.4</td><td>7.3</td><td>7.0</td><td>0.15</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>37</td><td>K-6 OFケーブル架設</td><td>12.0</td><td>11.0</td><td>7.5</td><td>7.1</td><td>4.0</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>38</td><td>K-6 循環水配管架設</td><td>12.0</td><td>10.7</td><td>7.5</td><td>7.1</td><td>3.6</td><td>7.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>39</td><td>K-5 OFケーブル架設</td><td>12.0</td><td>11.5</td><td>7.6</td><td>7.3</td><td>4.3</td><td>7.0</td><td>0.09</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>40</td><td>K1-5 水配管架設</td><td>12.2</td><td>11.3</td><td>8.7</td><td>8.3</td><td>3.0</td><td>7.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>41</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>12.0</td><td>10.5</td><td>8.7</td><td>8.5</td><td>2.0</td><td>7.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>42</td><td>第一ビルディング発電機用ケーブル架設</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>-15.0</td><td>-15.0</td><td>27.0</td><td>7.0</td><td>0.27</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>43</td><td>第一ビルディング発電機用ケーブル架設</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>-1.6</td><td>-1.5</td><td>13.3</td><td>7.0</td><td>0.27</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>44</td><td>排水路 2100×1600</td><td>12.0</td><td>9.7</td><td>8.4</td><td>8.2</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>45</td><td>K-7 2100×1600架設</td><td>12.0</td><td>10.9</td><td>8.4</td><td>8.0</td><td>2.9</td><td>1.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>46</td><td>K-7 取水路</td><td>12.0</td><td>-2.5</td><td>-10.8</td><td>-10.9</td><td>8.4</td><td>1.0</td><td>0.17</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>47</td><td>K-7 3階ビル建屋～2階発電機室架設</td><td>12.0</td><td>10.9</td><td>7.8</td><td>7.5</td><td>3.5</td><td>1.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>48</td><td>K-7 補機放水路</td><td>12.0</td><td>9.9</td><td>8.1</td><td>7.8</td><td>2.1</td><td>1.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>49</td><td>K-6 補機放水路</td><td>12.0</td><td>10.8</td><td>9.0</td><td>8.6</td><td>2.1</td><td>1.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>50</td><td>K-6 2100×1600架設</td><td>12.0</td><td>10.7</td><td>8.0</td><td>7.7</td><td>3.1</td><td>1.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>51</td><td>K-6 取水路</td><td>12.0</td><td>-2.5</td><td>-10.8</td><td>-10.9</td><td>8.4</td><td>1.0</td><td>0.17</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>52</td><td>K-6 3階ビル建屋～2階発電機室架設</td><td>12.0</td><td>10.8</td><td>6.7</td><td>6.4</td><td>4.4</td><td>1.0</td><td>0.09</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>53</td><td>K-6 補機放水路</td><td>12.0</td><td>10.4</td><td>8.6</td><td>8.3</td><td>2.1</td><td>1.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>54</td><td>K-5 循環水配管 取水側</td><td>12.0</td><td>3.3</td><td>-0.1</td><td>-0.7</td><td>3.9</td><td>1.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>55</td><td>K-5 3階ビル建屋～海水熱交換機架設</td><td>12.0</td><td>-0.7</td><td>-6.4</td><td>-6.5</td><td>5.8</td><td>1.0</td><td>0.12</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>56</td><td>K-5 2100×1600架設</td><td>12.0</td><td>10.7</td><td>7.8</td><td>7.5</td><td>3.2</td><td>1.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>57</td><td>K-5 3階ビル建屋～海水熱交換機架設</td><td>12.0</td><td>1.5</td><td>-4.3</td><td>-4.4</td><td>5.8</td><td>1.0</td><td>0.12</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>58</td><td>K-5 3階ビル建屋～2階発電機室架設</td><td>12.0</td><td>12.2</td><td>10.2</td><td>9.9</td><td>2.1</td><td>1.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>59</td><td>K-5 循環水配管 放水側</td><td>12.0</td><td>9.1</td><td>5.8</td><td>5.8</td><td>3.3</td><td>1.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td>K-5 3階ビル建屋北西 圧力抑制室架設</td><td>12.0</td><td>10.8</td><td>7.4</td><td>4.6</td><td>6.2</td><td>1.0</td><td>0.12</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>61</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-A</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>1.1</td><td>1.1</td><td>11.0</td><td>7.0</td><td>0.22</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>62</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-B</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>-9.5</td><td>-9.5</td><td>21.5</td><td>7.0</td><td>0.43</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>63</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-C</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>1.5</td><td>-8.0</td><td>20.0</td><td>7.0</td><td>0.40</td><td>×</td><td>注頭1) で対応 (別紙 34 参照)</td></tr> <tr><td>64</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-D</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td>9.0</td><td>7.0</td><td>0.18</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>65</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-E</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>10.5</td><td>7.0</td><td>0.21</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>66</td><td>K-6 燃料移送水配管架設</td><td>12.0</td><td>11.4</td><td>8.5</td><td>8.0</td><td>11.4</td><td>7.0</td><td>0.23</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>67</td><td>K-5 OFケーブル架設</td><td>12.0</td><td>7.1</td><td>-0.4</td><td>-0.8</td><td>8.0</td><td>7.0</td><td>0.16</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>68</td><td>K-5 低起動二次側ケーブル架設</td><td>12.0</td><td>6.7</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>6.6</td><td>7.0</td><td>0.13</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>69</td><td>K-5 低起動二次側ケーブル架設</td><td>12.0</td><td>10.9</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>10.7</td><td>7.0</td><td>0.21</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>70</td><td>K-5 OFケーブル架設</td><td>12.0</td><td>10.9</td><td>7.3</td><td>6.9</td><td>4.0</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>71</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>12.0</td><td>10.9</td><td>9.0</td><td>8.9</td><td>2.1</td><td>7.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>1) 構造物上端～基礎下端 (それぞれ四捨五入による誤差のため、合わない場合がある) (別表 1-1 参照)          2) 42と43は一連の構造物であり、42と43の境界に発生する段差</p>	通し番号	名称	路面高	構造物上端	構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位	相対沈下量	車両通行可否 0.15m以下 ○	備考: 経年経過 影響の有無 □	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	H(m)	T.M.S.L (m)	(m)	32	500kV ケーブル架設	12.0	11.2	6.5	6.3	5.1	7.0	0.10	○		33	新500kV ケーブル架設	12.2	9.4	6.7	6.3	3.1	7.0	0.06	○		34	K-7 OFケーブル架設	12.0	10.0	6.3	5.9	4.1	7.0	0.08	○		35	K-7 OFケーブル架設	12.0	10.3	6.6	6.2	4.1	7.0	0.08	○		36	K-6 OFケーブル架設	12.0	10.7	3.8	3.4	7.3	7.0	0.15	○		37	K-6 OFケーブル架設	12.0	11.0	7.5	7.1	4.0	7.0	0.08	○		38	K-6 循環水配管架設	12.0	10.7	7.5	7.1	3.6	7.0	0.07	○		39	K-5 OFケーブル架設	12.0	11.5	7.6	7.3	4.3	7.0	0.09	○		40	K1-5 水配管架設	12.2	11.3	8.7	8.3	3.0	7.0	0.06	○	□	41	排水路 ヒューム管	12.0	10.5	8.7	8.5	2.0	7.0	0.04	○		42	第一ビルディング発電機用ケーブル架設	12.0	12.0	-15.0	-15.0	27.0	7.0	0.27	×		43	第一ビルディング発電機用ケーブル架設	12.0	12.0	-1.6	-1.5	13.3	7.0	0.27	×		44	排水路 2100×1600	12.0	9.7	8.4	8.2	1.5	1.0	0.03	○		45	K-7 2100×1600架設	12.0	10.9	8.4	8.0	2.9	1.0	0.06	○		46	K-7 取水路	12.0	-2.5	-10.8	-10.9	8.4	1.0	0.17	×		47	K-7 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	10.9	7.8	7.5	3.5	1.0	0.07	○		48	K-7 補機放水路	12.0	9.9	8.1	7.8	2.1	1.0	0.04	○		49	K-6 補機放水路	12.0	10.8	9.0	8.6	2.1	1.0	0.04	○		50	K-6 2100×1600架設	12.0	10.7	8.0	7.7	3.1	1.0	0.06	○		51	K-6 取水路	12.0	-2.5	-10.8	-10.9	8.4	1.0	0.17	×		52	K-6 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	10.8	6.7	6.4	4.4	1.0	0.09	○		53	K-6 補機放水路	12.0	10.4	8.6	8.3	2.1	1.0	0.04	○		54	K-5 循環水配管 取水側	12.0	3.3	-0.1	-0.7	3.9	1.0	0.08	○		55	K-5 3階ビル建屋～海水熱交換機架設	12.0	-0.7	-6.4	-6.5	5.8	1.0	0.12	○		56	K-5 2100×1600架設	12.0	10.7	7.8	7.5	3.2	1.0	0.06	○		57	K-5 3階ビル建屋～海水熱交換機架設	12.0	1.5	-4.3	-4.4	5.8	1.0	0.12	○		58	K-5 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	12.2	10.2	9.9	2.1	1.0	0.04	○		59	K-5 循環水配管 放水側	12.0	9.1	5.8	5.8	3.3	1.0	0.07	○		60	K-5 3階ビル建屋北西 圧力抑制室架設	12.0	10.8	7.4	4.6	6.2	1.0	0.12	○		61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	12.0	12.0	1.1	1.1	11.0	7.0	0.22	×		62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	12.0	12.0	-9.5	-9.5	21.5	7.0	0.43	×		63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	12.0	12.0	1.5	-8.0	20.0	7.0	0.40	×	注頭1) で対応 (別紙 34 参照)	64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	12.0	12.0	3.0	3.0	9.0	7.0	0.18	×		65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	12.0	12.0	1.5	1.5	10.5	7.0	0.21	×		66	K-6 燃料移送水配管架設	12.0	11.4	8.5	8.0	11.4	7.0	0.23	×		67	K-5 OFケーブル架設	12.0	7.1	-0.4	-0.8	8.0	7.0	0.16	×		68	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.0	6.7	0.3	0.2	6.6	7.0	0.13	○		69	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.0	10.9	0.3	0.2	10.7	7.0	0.21	×		70	K-5 OFケーブル架設	12.0	10.9	7.3	6.9	4.0	7.0	0.08	○		71	排水路 ヒューム管	12.0	10.9	9.0	8.9	2.1	7.0	0.04	○		<p align="center">表 19-6 沈下量算出結果 (2)</p> <p align="center">■: 段差 (相対沈下量) が15cmを超える箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">通し番号</th> <th rowspan="2">名称</th> <th>路面高</th> <th>構造物上端</th> <th>構造物下端</th> <th>基礎下端</th> <th>構造物高+基礎<sup>1)</sup></th> <th>地下水位</th> <th>相対沈下量</th> <th rowspan="2">車両通行可否 0.15m以下 ○</th> <th rowspan="2">備考: 経年経過 影響の有無 □</th> </tr> <tr> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>H(m)</th> <th>T.M.S.L (m)</th> <th>(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>32</td><td>500kV ケーブル架設</td><td>12.3</td><td>11.2</td><td>6.5</td><td>6.1</td><td>5.1</td><td>7.0</td><td>0.10</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td>K-7 OFケーブル架設</td><td>11.9</td><td>10.0</td><td>6.3</td><td>5.9</td><td>4.1</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td>K-7 OFケーブル架設</td><td>11.9</td><td>10.0</td><td>6.3</td><td>5.9</td><td>4.1</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>35</td><td>K-7 OFケーブル架設</td><td>12.1</td><td>10.3</td><td>6.6</td><td>6.2</td><td>4.1</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>36</td><td>K-6 OFケーブル架設</td><td>11.9</td><td>10.7</td><td>3.8</td><td>3.4</td><td>7.3</td><td>7.0</td><td>0.15</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>37</td><td>K-6 OFケーブル架設</td><td>12.1</td><td>11.0</td><td>7.5</td><td>7.1</td><td>4.0</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>38</td><td>K-6 循環水配管架設</td><td>12.0</td><td>10.7</td><td>7.5</td><td>7.1</td><td>3.6</td><td>7.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>39</td><td>K-5 OFケーブル架設</td><td>12.2</td><td>11.5</td><td>7.6</td><td>7.2</td><td>4.3</td><td>7.0</td><td>0.09</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>40</td><td>K1-5 水配管架設</td><td>12.2</td><td>11.3</td><td>8.7</td><td>8.3</td><td>3.0</td><td>7.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td>□</td></tr> <tr><td>41</td><td>排水路 HP=1100</td><td>11.9</td><td>10.5</td><td>-15.0</td><td>8.3</td><td>2.2</td><td>7.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>42</td><td>第一ビルディング架設</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>8.4</td><td>-15.0</td><td>27.0</td><td>7.0</td><td>0.27</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>43</td><td>第一ビルディング架設</td><td>12.0</td><td>11.8</td><td>-</td><td>-1.6</td><td>13.3</td><td>7.0</td><td>0.27</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>44</td><td>排水路開口=1100</td><td>11.7</td><td>9.7</td><td>-10.8</td><td>8.2</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.03</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>45</td><td>K-7 2100×1600架設</td><td>11.9</td><td>10.9</td><td>7.8</td><td>8.0</td><td>2.9</td><td>1.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>46</td><td>K-7 取水路</td><td>11.7</td><td>-2.5</td><td>8.1</td><td>-11.2</td><td>8.7</td><td>1.0</td><td>0.17</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>47</td><td>K-7 3階ビル建屋～2階発電機室架設</td><td>11.9</td><td>10.9</td><td>9.0</td><td>7.5</td><td>3.5</td><td>1.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>48</td><td>K-7 補機放水路</td><td>11.9</td><td>9.9</td><td>8.0</td><td>7.8</td><td>2.1</td><td>1.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>49</td><td>K-6 補機放水路</td><td>11.9</td><td>10.8</td><td>-10.8</td><td>8.6</td><td>2.1</td><td>1.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>50</td><td>K-6 2100×1600架設</td><td>11.9</td><td>10.7</td><td>6.7</td><td>7.7</td><td>3.1</td><td>1.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>51</td><td>K-6 取水路</td><td>11.9</td><td>-2.5</td><td>8.6</td><td>-10.9</td><td>8.4</td><td>1.0</td><td>0.17</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>52</td><td>K-6 3階ビル建屋～2階発電機室架設</td><td>11.9</td><td>10.8</td><td>0.0</td><td>6.4</td><td>4.4</td><td>1.0</td><td>0.09</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>53</td><td>K-6 補機放水路</td><td>11.9</td><td>10.4</td><td>-6.4</td><td>8.3</td><td>2.1</td><td>1.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>54</td><td>K-5 循環水配管 取水側</td><td>12.0</td><td>3.3</td><td>7.8</td><td>-0.7</td><td>3.9</td><td>1.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>55</td><td>K-5 水配管架設</td><td>12.1</td><td>-0.7</td><td>-4.3</td><td>-6.5</td><td>5.8</td><td>1.0</td><td>0.12</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>56</td><td>K-5 2100×1600架設</td><td>12.1</td><td>10.7</td><td>0.3</td><td>7.5</td><td>3.2</td><td>1.0</td><td>0.06</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>57</td><td>K-5 水配管架設</td><td>12.1</td><td>1.5</td><td>5.8</td><td>-4.4</td><td>5.8</td><td>1.0</td><td>0.12</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>58</td><td>K-5 3階ビル建屋～2階発電機室架設</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>7.3</td><td>9.7</td><td>2.3</td><td>1.0</td><td>0.05</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>59</td><td>K-5 循環水配管 放水側</td><td>12.0</td><td>9.1</td><td>1.1</td><td>5.8</td><td>3.3</td><td>1.0</td><td>0.07</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td>K-5 3階ビル建屋北西 SPH ケーブル架設</td><td>12.0</td><td>10.7</td><td>-9.5</td><td>4.5</td><td>6.2</td><td>1.0</td><td>0.12</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>61</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-A</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>-8.0</td><td>1.1</td><td>11.0</td><td>7.0</td><td>0.22</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>62</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-B</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>3.0</td><td>-9.5</td><td>21.5</td><td>7.0</td><td>0.43</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>63</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-C</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>1.5</td><td>-8.0</td><td>20.0</td><td>7.0</td><td>0.40</td><td>×</td><td>注頭1) で対応 (別紙 34 参照)</td></tr> <tr><td>64</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-D</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>8.5</td><td>3.0</td><td>9.0</td><td>7.0</td><td>0.18</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>65</td><td>K-6 軽油タンク部地盤改良-E</td><td>12.0</td><td>12.0</td><td>-0.4</td><td>1.5</td><td>10.5</td><td>7.0</td><td>0.21</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>66</td><td>K-6 非常用ケーブル架設</td><td>12.1</td><td>11.4</td><td>0.3</td><td>0.0</td><td>11.4</td><td>7.0</td><td>0.23</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>67</td><td>K-5 OFケーブル架設</td><td>12.2</td><td>7.1</td><td>0.3</td><td>-0.8</td><td>8.0</td><td>7.0</td><td>0.16</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>68</td><td>K-5 低起動二次側ケーブル架設</td><td>12.2</td><td>6.7</td><td>7.3</td><td>0.2</td><td>6.6</td><td>7.0</td><td>0.13</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>69</td><td>K-5 低起動二次側ケーブル架設</td><td>12.1</td><td>10.9</td><td>9.0</td><td>0.2</td><td>10.7</td><td>7.0</td><td>0.21</td><td>×</td><td></td></tr> <tr><td>70</td><td>K-5 OFケーブル架設</td><td>12.1</td><td>10.9</td><td>12.7</td><td>6.9</td><td>4.0</td><td>7.0</td><td>0.08</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>71</td><td>排水路 HP=1200</td><td>12.2</td><td>10.9</td><td>-2.4</td><td>8.9</td><td>2.1</td><td>7.0</td><td>0.04</td><td>○</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>1) 構造物上端～基礎下端 (それぞれ四捨五入による誤差のため、合わない場合がある) (別表 1-1 参照)          2) 42と43は一連の構造物であり、29と40の境界に発生する段差</p>	通し番号	名称	路面高	構造物上端	構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位	相対沈下量	車両通行可否 0.15m以下 ○	備考: 経年経過 影響の有無 □	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	H(m)	T.M.S.L (m)	(m)	32	500kV ケーブル架設	12.3	11.2	6.5	6.1	5.1	7.0	0.10	○		33	K-7 OFケーブル架設	11.9	10.0	6.3	5.9	4.1	7.0	0.08	○		34	K-7 OFケーブル架設	11.9	10.0	6.3	5.9	4.1	7.0	0.08	○		35	K-7 OFケーブル架設	12.1	10.3	6.6	6.2	4.1	7.0	0.08	○		36	K-6 OFケーブル架設	11.9	10.7	3.8	3.4	7.3	7.0	0.15	○		37	K-6 OFケーブル架設	12.1	11.0	7.5	7.1	4.0	7.0	0.08	○		38	K-6 循環水配管架設	12.0	10.7	7.5	7.1	3.6	7.0	0.07	○		39	K-5 OFケーブル架設	12.2	11.5	7.6	7.2	4.3	7.0	0.09	○		40	K1-5 水配管架設	12.2	11.3	8.7	8.3	3.0	7.0	0.06	○	□	41	排水路 HP=1100	11.9	10.5	-15.0	8.3	2.2	7.0	0.04	○		42	第一ビルディング架設	12.0	12.0	8.4	-15.0	27.0	7.0	0.27	×		43	第一ビルディング架設	12.0	11.8	-	-1.6	13.3	7.0	0.27	×		44	排水路開口=1100	11.7	9.7	-10.8	8.2	1.5	1.0	0.03	○		45	K-7 2100×1600架設	11.9	10.9	7.8	8.0	2.9	1.0	0.06	○		46	K-7 取水路	11.7	-2.5	8.1	-11.2	8.7	1.0	0.17	×		47	K-7 3階ビル建屋～2階発電機室架設	11.9	10.9	9.0	7.5	3.5	1.0	0.07	○		48	K-7 補機放水路	11.9	9.9	8.0	7.8	2.1	1.0	0.04	○		49	K-6 補機放水路	11.9	10.8	-10.8	8.6	2.1	1.0	0.04	○		50	K-6 2100×1600架設	11.9	10.7	6.7	7.7	3.1	1.0	0.06	○		51	K-6 取水路	11.9	-2.5	8.6	-10.9	8.4	1.0	0.17	×		52	K-6 3階ビル建屋～2階発電機室架設	11.9	10.8	0.0	6.4	4.4	1.0	0.09	○		53	K-6 補機放水路	11.9	10.4	-6.4	8.3	2.1	1.0	0.04	○		54	K-5 循環水配管 取水側	12.0	3.3	7.8	-0.7	3.9	1.0	0.08	○		55	K-5 水配管架設	12.1	-0.7	-4.3	-6.5	5.8	1.0	0.12	○		56	K-5 2100×1600架設	12.1	10.7	0.3	7.5	3.2	1.0	0.06	○		57	K-5 水配管架設	12.1	1.5	5.8	-4.4	5.8	1.0	0.12	○		58	K-5 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	12.0	7.3	9.7	2.3	1.0	0.05	○		59	K-5 循環水配管 放水側	12.0	9.1	1.1	5.8	3.3	1.0	0.07	○		60	K-5 3階ビル建屋北西 SPH ケーブル架設	12.0	10.7	-9.5	4.5	6.2	1.0	0.12	○		61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	12.0	12.0	-8.0	1.1	11.0	7.0	0.22	×		62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	12.0	12.0	3.0	-9.5	21.5	7.0	0.43	×		63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	12.0	12.0	1.5	-8.0	20.0	7.0	0.40	×	注頭1) で対応 (別紙 34 参照)	64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	12.0	12.0	8.5	3.0	9.0	7.0	0.18	×		65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	12.0	12.0	-0.4	1.5	10.5	7.0	0.21	×		66	K-6 非常用ケーブル架設	12.1	11.4	0.3	0.0	11.4	7.0	0.23	×		67	K-5 OFケーブル架設	12.2	7.1	0.3	-0.8	8.0	7.0	0.16	×		68	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.2	6.7	7.3	0.2	6.6	7.0	0.13	○		69	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.1	10.9	9.0	0.2	10.7	7.0	0.21	×		70	K-5 OFケーブル架設	12.1	10.9	12.7	6.9	4.0	7.0	0.08	○		71	排水路 HP=1200	12.2	10.9	-2.4	8.9	2.1	7.0	0.04	○		<p>④(竣工図反映方法を統一したため) ⑤</p> <p>④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため)(竣工図反映方法を統一したため) ⑤</p>
通し番号	名称	路面高	構造物上端			構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位	相対沈下量	車両通行可否 0.15m以下 ○	備考: 経年経過 影響の有無 □																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	H(m)	T.M.S.L (m)	(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
32	500kV ケーブル架設	12.0	11.2	6.5	6.3	5.1	7.0	0.10	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
33	新500kV ケーブル架設	12.2	9.4	6.7	6.3	3.1	7.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
34	K-7 OFケーブル架設	12.0	10.0	6.3	5.9	4.1	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
35	K-7 OFケーブル架設	12.0	10.3	6.6	6.2	4.1	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
36	K-6 OFケーブル架設	12.0	10.7	3.8	3.4	7.3	7.0	0.15	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
37	K-6 OFケーブル架設	12.0	11.0	7.5	7.1	4.0	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
38	K-6 循環水配管架設	12.0	10.7	7.5	7.1	3.6	7.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
39	K-5 OFケーブル架設	12.0	11.5	7.6	7.3	4.3	7.0	0.09	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
40	K1-5 水配管架設	12.2	11.3	8.7	8.3	3.0	7.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
41	排水路 ヒューム管	12.0	10.5	8.7	8.5	2.0	7.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
42	第一ビルディング発電機用ケーブル架設	12.0	12.0	-15.0	-15.0	27.0	7.0	0.27	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
43	第一ビルディング発電機用ケーブル架設	12.0	12.0	-1.6	-1.5	13.3	7.0	0.27	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
44	排水路 2100×1600	12.0	9.7	8.4	8.2	1.5	1.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
45	K-7 2100×1600架設	12.0	10.9	8.4	8.0	2.9	1.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
46	K-7 取水路	12.0	-2.5	-10.8	-10.9	8.4	1.0	0.17	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
47	K-7 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	10.9	7.8	7.5	3.5	1.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
48	K-7 補機放水路	12.0	9.9	8.1	7.8	2.1	1.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
49	K-6 補機放水路	12.0	10.8	9.0	8.6	2.1	1.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
50	K-6 2100×1600架設	12.0	10.7	8.0	7.7	3.1	1.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
51	K-6 取水路	12.0	-2.5	-10.8	-10.9	8.4	1.0	0.17	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
52	K-6 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	10.8	6.7	6.4	4.4	1.0	0.09	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
53	K-6 補機放水路	12.0	10.4	8.6	8.3	2.1	1.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
54	K-5 循環水配管 取水側	12.0	3.3	-0.1	-0.7	3.9	1.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
55	K-5 3階ビル建屋～海水熱交換機架設	12.0	-0.7	-6.4	-6.5	5.8	1.0	0.12	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
56	K-5 2100×1600架設	12.0	10.7	7.8	7.5	3.2	1.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
57	K-5 3階ビル建屋～海水熱交換機架設	12.0	1.5	-4.3	-4.4	5.8	1.0	0.12	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
58	K-5 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	12.2	10.2	9.9	2.1	1.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
59	K-5 循環水配管 放水側	12.0	9.1	5.8	5.8	3.3	1.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
60	K-5 3階ビル建屋北西 圧力抑制室架設	12.0	10.8	7.4	4.6	6.2	1.0	0.12	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	12.0	12.0	1.1	1.1	11.0	7.0	0.22	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	12.0	12.0	-9.5	-9.5	21.5	7.0	0.43	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	12.0	12.0	1.5	-8.0	20.0	7.0	0.40	×	注頭1) で対応 (別紙 34 参照)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	12.0	12.0	3.0	3.0	9.0	7.0	0.18	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	12.0	12.0	1.5	1.5	10.5	7.0	0.21	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
66	K-6 燃料移送水配管架設	12.0	11.4	8.5	8.0	11.4	7.0	0.23	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
67	K-5 OFケーブル架設	12.0	7.1	-0.4	-0.8	8.0	7.0	0.16	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
68	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.0	6.7	0.3	0.2	6.6	7.0	0.13	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
69	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.0	10.9	0.3	0.2	10.7	7.0	0.21	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
70	K-5 OFケーブル架設	12.0	10.9	7.3	6.9	4.0	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
71	排水路 ヒューム管	12.0	10.9	9.0	8.9	2.1	7.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
通し番号	名称	路面高	構造物上端	構造物下端	基礎下端	構造物高+基礎 <sup>1)</sup>	地下水位	相対沈下量	車両通行可否 0.15m以下 ○	備考: 経年経過 影響の有無 □																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	T.M.S.L (m)	H(m)	T.M.S.L (m)	(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
32	500kV ケーブル架設	12.3	11.2	6.5	6.1	5.1	7.0	0.10	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
33	K-7 OFケーブル架設	11.9	10.0	6.3	5.9	4.1	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
34	K-7 OFケーブル架設	11.9	10.0	6.3	5.9	4.1	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
35	K-7 OFケーブル架設	12.1	10.3	6.6	6.2	4.1	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
36	K-6 OFケーブル架設	11.9	10.7	3.8	3.4	7.3	7.0	0.15	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
37	K-6 OFケーブル架設	12.1	11.0	7.5	7.1	4.0	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
38	K-6 循環水配管架設	12.0	10.7	7.5	7.1	3.6	7.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
39	K-5 OFケーブル架設	12.2	11.5	7.6	7.2	4.3	7.0	0.09	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
40	K1-5 水配管架設	12.2	11.3	8.7	8.3	3.0	7.0	0.06	○	□																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
41	排水路 HP=1100	11.9	10.5	-15.0	8.3	2.2	7.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
42	第一ビルディング架設	12.0	12.0	8.4	-15.0	27.0	7.0	0.27	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
43	第一ビルディング架設	12.0	11.8	-	-1.6	13.3	7.0	0.27	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
44	排水路開口=1100	11.7	9.7	-10.8	8.2	1.5	1.0	0.03	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
45	K-7 2100×1600架設	11.9	10.9	7.8	8.0	2.9	1.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
46	K-7 取水路	11.7	-2.5	8.1	-11.2	8.7	1.0	0.17	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
47	K-7 3階ビル建屋～2階発電機室架設	11.9	10.9	9.0	7.5	3.5	1.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
48	K-7 補機放水路	11.9	9.9	8.0	7.8	2.1	1.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
49	K-6 補機放水路	11.9	10.8	-10.8	8.6	2.1	1.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
50	K-6 2100×1600架設	11.9	10.7	6.7	7.7	3.1	1.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
51	K-6 取水路	11.9	-2.5	8.6	-10.9	8.4	1.0	0.17	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
52	K-6 3階ビル建屋～2階発電機室架設	11.9	10.8	0.0	6.4	4.4	1.0	0.09	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
53	K-6 補機放水路	11.9	10.4	-6.4	8.3	2.1	1.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
54	K-5 循環水配管 取水側	12.0	3.3	7.8	-0.7	3.9	1.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
55	K-5 水配管架設	12.1	-0.7	-4.3	-6.5	5.8	1.0	0.12	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
56	K-5 2100×1600架設	12.1	10.7	0.3	7.5	3.2	1.0	0.06	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
57	K-5 水配管架設	12.1	1.5	5.8	-4.4	5.8	1.0	0.12	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
58	K-5 3階ビル建屋～2階発電機室架設	12.0	12.0	7.3	9.7	2.3	1.0	0.05	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
59	K-5 循環水配管 放水側	12.0	9.1	1.1	5.8	3.3	1.0	0.07	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
60	K-5 3階ビル建屋北西 SPH ケーブル架設	12.0	10.7	-9.5	4.5	6.2	1.0	0.12	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
61	K-6 軽油タンク部地盤改良-A	12.0	12.0	-8.0	1.1	11.0	7.0	0.22	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
62	K-6 軽油タンク部地盤改良-B	12.0	12.0	3.0	-9.5	21.5	7.0	0.43	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
63	K-6 軽油タンク部地盤改良-C	12.0	12.0	1.5	-8.0	20.0	7.0	0.40	×	注頭1) で対応 (別紙 34 参照)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
64	K-6 軽油タンク部地盤改良-D	12.0	12.0	8.5	3.0	9.0	7.0	0.18	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
65	K-6 軽油タンク部地盤改良-E	12.0	12.0	-0.4	1.5	10.5	7.0	0.21	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
66	K-6 非常用ケーブル架設	12.1	11.4	0.3	0.0	11.4	7.0	0.23	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
67	K-5 OFケーブル架設	12.2	7.1	0.3	-0.8	8.0	7.0	0.16	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
68	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.2	6.7	7.3	0.2	6.6	7.0	0.13	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
69	K-5 低起動二次側ケーブル架設	12.1	10.9	9.0	0.2	10.7	7.0	0.21	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
70	K-5 OFケーブル架設	12.1	10.9	12.7	6.9	4.0	7.0	0.08	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
71	排水路 HP=1200	12.2	10.9	-2.4	8.9	2.1	7.0	0.04	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
71	4.(4)⑤1). b. 第19-7表	1.0.2-84	<p align="center">第19-7表 浮き上がり評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通し番号</th> <th>名称</th> <th>揚圧力 (kN/m)</th> <th>浮き上がり抵抗力 (kN/m)</th> <th>安全率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>24</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>645</td><td>4,303</td><td>6.67</td></tr> <tr><td>32</td><td>500kV ケーブル架設</td><td>402</td><td>470</td><td>1.16</td></tr> <tr><td>33</td><td>新500kV ケーブル架設</td><td>293</td><td>460</td><td>1.56</td></tr> <tr><td>34</td><td>K-7 OFケーブル架設</td><td>261</td><td>414</td><td>1.58</td></tr> <tr><td>36</td><td>K-6 OFケーブル架設</td><td>592</td><td>608</td><td>1.02</td></tr> <tr><td>46</td><td>K-7 取水路</td><td>—</td><td>—</td><td>1.1以上を確保する</td></tr> <tr><td>51</td><td>K-6 取水路</td><td>—</td><td>—</td><td>1.1以上を確保する</td></tr> </tbody> </table>	通し番号	名称	揚圧力 (kN/m)	浮き上がり抵抗力 (kN/m)	安全率	24	排水路 ヒューム管	645	4,303	6.67	32	500kV ケーブル架設	402	470	1.16	33	新500kV ケーブル架設	293	460	1.56	34	K-7 OFケーブル架設	261	414	1.58	36	K-6 OFケーブル架設	592	608	1.02	46	K-7 取水路	—	—	1.1以上を確保する	51	K-6 取水路	—	—	1.1以上を確保する	<p align="center">表 19-7 浮き上がり評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通し番号</th> <th>名称</th> <th>揚圧力 (KN/m)</th> <th>浮き上がり抵抗力 (KN/m)</th> <th>安全率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18</td><td>排水路 □2100×1600</td><td>178</td><td>237</td><td>1.33</td></tr> <tr><td>24</td><td>排水路 ヒューム管</td><td>645</td><td>4,303</td><td>6.67</td></tr> <tr><td>32</td><td>500kV ケーブル架設</td><td>402</td><td>470</td><td>1.17</td></tr> <tr><td>33</td><td>新500kV ケーブル架設</td><td>293</td><td>466</td><td>1.59</td></tr> <tr><td>34</td><td>K-7 OFケーブル架設</td><td>262</td><td>408</td><td>1.56</td></tr> <tr><td>36</td><td>K-6 OFケーブル架設</td><td>592</td><td>602</td><td>1.02</td></tr> <tr><td>46</td><td>K-7 取水路</td><td>—</td><td>—</td><td>1.1以上を確保する</td></tr> <tr><td>51</td><td>K-6 取水路</td><td>—</td><td>—</td><td>1.1以上を確保する</td></tr> </tbody> </table>	通し番号	名称	揚圧力 (KN/m)	浮き上がり抵抗力 (KN/m)	安全率	18	排水路 □2100×1600	178	237	1.33	24	排水路 ヒューム管	645	4,303	6.67	32	500kV ケーブル架設	402	470	1.17	33	新500kV ケーブル架設	293	466	1.59	34	K-7 OFケーブル架設	262	408	1.56	36	K-6 OFケーブル架設	592	602	1.02	46	K-7 取水路	—	—	1.1以上を確保する	51	K-6 取水路	—	—	1.1以上を確保する	<p>④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため)(竣工図反映方法を統一したため) ⑤</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
通し番号	名称	揚圧力 (kN/m)	浮き上がり抵抗力 (kN/m)	安全率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
24	排水路 ヒューム管	645	4,303	6.67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
32	500kV ケーブル架設	402	470	1.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
33	新500kV ケーブル架設	293	460	1.56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
34	K-7 OFケーブル架設	261	414	1.58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
36	K-6 OFケーブル架設	592	608	1.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
46	K-7 取水路	—	—	1.1以上を確保する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
51	K-6 取水路	—	—	1.1以上を確保する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
通し番号	名称	揚圧力 (KN/m)	浮き上がり抵抗力 (KN/m)	安全率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
18	排水路 □2100×1600	178	237	1.33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
24	排水路 ヒューム管	645	4,303	6.67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
32	500kV ケーブル架設	402	470	1.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
33	新500kV ケーブル架設	293	466	1.59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
34	K-7 OFケーブル架設	262	408	1.56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
36	K-6 OFケーブル架設	592	602	1.02																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
46	K-7 取水路	—	—	1.1以上を確保する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
51	K-6 取水路	—	—	1.1以上を確保する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
72	4.(4)⑤③ a. 第24-1図	1.0.2-85	 <p>側方流動検対位置図</p>	 <p>側方流動検対位置図</p>	②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルートを確認したため)
73	4.(4)⑧	1.0.2-88	<p>また、第25図、第20表に示すとおり、仮に保守的な想定として排水路の機能が期待できず全量が6号及び7号炉を設置する敷地に流入するとしても、周辺の空地が平坦かつ広大であり、周辺の道路上及び排水設備を自然流下・拡散することから、アクセスルート及び可搬型設備の走行への影響はない(別紙10、30参照)。</p>	<p>また、図25、表20に示すとおり仮に保守的な想定として排水路の機能が期待できず全量が6号及び7号炉を設置する敷地に流入するとしても、周辺の空地が平坦かつ広大であり、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し比較的短時間で拡散することからアクセスルート及び可搬型設備の走行への影響はない(別紙10参照)。</p>	⑤
74	4.(4)⑧ 第25図	1.0.2-88			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確認したため) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

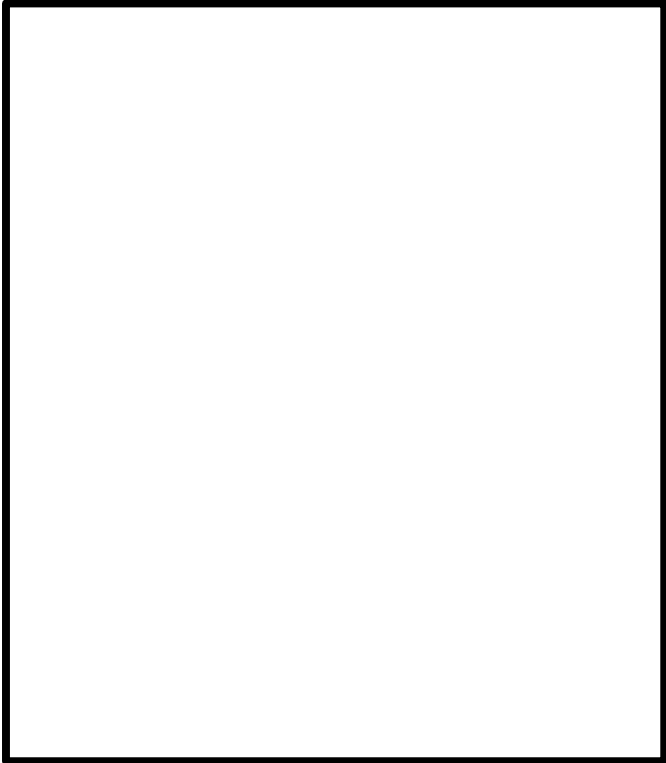
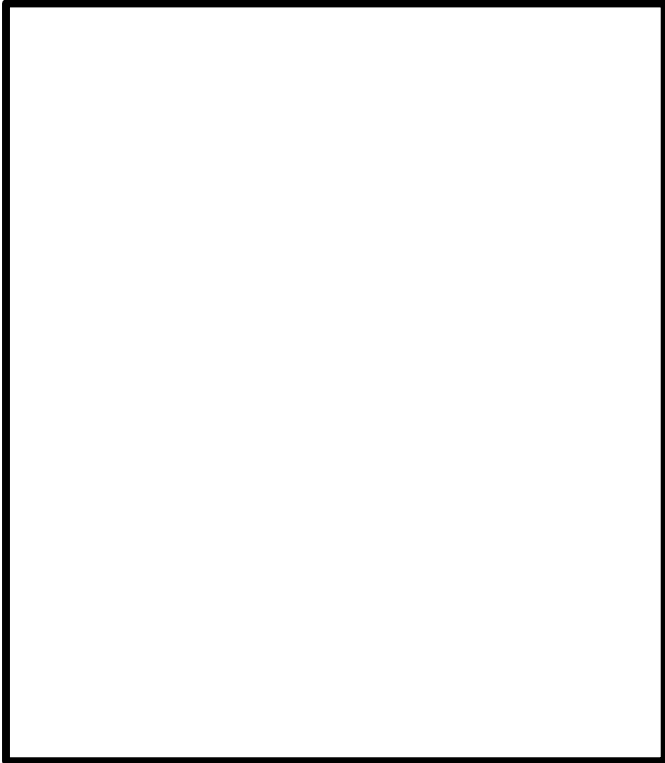
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
75	4.(4)⑧ 第20表	1.0.2-88	・地震により堰堤又は送水配管が損壊した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、 <b>周辺の道路上及び排水設備を自然流下</b> ・拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。	・地震により堰堤又は送水配管が損壊した場合でも、周辺の空地が平坦かつ広大であり、比較的短時間で拡散することから、アクセス性に影響はないと考えられる。	⑤
76	4.(5)	1.0.2-89	①～⑧の被害想定結果(別紙23参照)を踏まえ、優先的に「仮復旧により通路が確保可能なアクセスルート」として大湊側高台保管場所からはBルート を、荒浜側高台保管場所からはCルートを選定した <sup>※</sup> (第26図)。 ここでは、「仮復旧により通路が確保可能なアクセスルート」であるBルート、C ルートについて、仮復旧に要する時間を評価する <sup>※</sup> 。 <b>※5号炉東側保管場所からは、可搬型設備の運搬はない。</b> <b>5号炉東側第二保管場所からは、仮復旧なしで6号及び7号炉まで可搬型車 両の寄りつきが可能。</b>	①～⑧の被害想定結果(別紙23参照)を踏まえ、優先的に「仮復旧により通路が確保可能なアクセスルート」として大湊側高台保管場所からはBルート を、荒浜側高台保管場所からはCルートを選定した。(図26) ここでは、「仮復旧により通路が確保可能なアクセスルート」であるBルート、 Cルートについて、仮復旧に要する時間を評価する。	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
77	4.(5) 第26図	1.0.2-89			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
78	4.(6)1 第27-1図 第27-2図	1.0.2-90	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p> 		<p>②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																
79	4.(6)3 第28-1図 第28-2図 第28-3図 第28-4図 第28-5図 第28-6図 第28-7図	1.0.2-93 ～ 1.0.2-99	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>区間</th> <th>距離 (m)</th> <th>時間評価項目</th> <th>所要時間 (分)</th> <th>累積 (分)</th> <th>備考 (使用するホイールローダ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第二企業センター<sup>1)</sup>～5号炉原子炉棟屋</td> <td>約 1,340 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)</td> <td>徒歩移動</td> <td>24</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉棟屋内</td> <td>東側入口～緊急事対策所～東側入口</td> <td>徒歩移動</td> <td>14</td> <td>38</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①→②</td> <td>約 980 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)</td> <td>徒歩移動</td> <td>19</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②→③</td> <td>約 250</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>1</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③→④</td> <td rowspan="2">約 170</td> <td>土砂撤去<sup>2)</sup></td> <td>159<sup>2)</sup></td> <td>217</td> <td rowspan="2">5号炉<sup>3)</sup> A, B</td> </tr> <tr> <td>安全確認</td> <td>17</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④→⑤</td> <td rowspan="2">約 610</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>3</td> <td>237</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>段差復旧 (建屋直近)</td> <td>78<sup>3)</sup></td> <td>315</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 移動時必要な通行幅とする「第二企業センター又はその近傍に設置する軌道場所又は留置場所」については、第二企業センターを起点として評価する。 2) 土砂撤去の幅は、可搬型設備の通行幅 3m に加え、排水移送に必要なホース敷設幅に必要幅 0.5m を考慮し 3.5m とする。 3) 2台で実施する (別紙 14 参照)。2台目は安全な離隔を確保するため、1台目の作業開始 10 分後に開始する。 4) 各号炉ホイールローダ 1台で同時に復旧する (別紙 17 参照)。</p>	区間	距離 (m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積 (分)	備考 (使用するホイールローダ)	第二企業センター <sup>1)</sup> ～5号炉原子炉棟屋	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	24	24		5号炉原子炉棟屋内	東側入口～緊急事対策所～東側入口	徒歩移動	14	38		①→②	約 980 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	19	57		②→③	約 250	ホイールローダ移動	1	58		③→④	約 170	土砂撤去 <sup>2)</sup>	159 <sup>2)</sup>	217	5号炉 <sup>3)</sup> A, B	安全確認	17	234	④→⑤	約 610	ホイールローダ移動	3	237		段差復旧 (建屋直近)	78 <sup>3)</sup>	315	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区間</th> <th>距離 (約 m)</th> <th>時間評価項目</th> <th>所要時間 (分)</th> <th>累積 (分)</th> <th>備考 (使用するホイールローダ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿直棟～5号炉原子炉棟屋</td> <td>約 1,340 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)</td> <td>徒歩移動</td> <td>24</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉棟屋内</td> <td>東側入口～緊急事対策所～東側入口</td> <td>徒歩移動</td> <td>14</td> <td>38</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①→②</td> <td>約 980 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)</td> <td>徒歩移動</td> <td>19</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②→③</td> <td>約 250</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>1</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③→④</td> <td rowspan="2">約 170</td> <td>土砂撤去<sup>1)</sup></td> <td>159<sup>2)</sup></td> <td>217</td> <td rowspan="2">①②</td> </tr> <tr> <td>安全確認</td> <td>17</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④→⑤</td> <td rowspan="2">約 610</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>3</td> <td>237</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>段差復旧 (建屋直近)</td> <td>78<sup>3)</sup></td> <td>315</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 土砂撤去の幅は、可搬型設備の通行幅 3.0m に加え、排水移送に必要なホース敷設幅に必要幅 0.5m を考慮し 3.5m とする。 2) 2台で実施。2台目は安全な離隔を確保するため、1台目の作業開始 10 分後に開始。 3) 各号炉ホイールローダ 1台で同時に復旧する。</p>	区間	距離 (約 m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積 (分)	備考 (使用するホイールローダ)	宿直棟～5号炉原子炉棟屋	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	24	—		5号炉原子炉棟屋内	東側入口～緊急事対策所～東側入口	徒歩移動	14	38		①→②	約 980 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	19	57		②→③	約 250	ホイールローダ移動	1	58		③→④	約 170	土砂撤去 <sup>1)</sup>	159 <sup>2)</sup>	217	①②	安全確認	17	234	④→⑤	約 610	ホイールローダ移動	3	237		段差復旧 (建屋直近)	78 <sup>3)</sup>	315	<p>②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤</p>
区間	距離 (m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積 (分)	備考 (使用するホイールローダ)																																																																																																
第二企業センター <sup>1)</sup> ～5号炉原子炉棟屋	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	24	24																																																																																																	
5号炉原子炉棟屋内	東側入口～緊急事対策所～東側入口	徒歩移動	14	38																																																																																																	
①→②	約 980 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	19	57																																																																																																	
②→③	約 250	ホイールローダ移動	1	58																																																																																																	
③→④	約 170	土砂撤去 <sup>2)</sup>	159 <sup>2)</sup>	217	5号炉 <sup>3)</sup> A, B																																																																																																
		安全確認	17	234																																																																																																	
④→⑤	約 610	ホイールローダ移動	3	237																																																																																																	
		段差復旧 (建屋直近)	78 <sup>3)</sup>	315																																																																																																	
区間	距離 (約 m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積 (分)	備考 (使用するホイールローダ)																																																																																																
宿直棟～5号炉原子炉棟屋	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	24	—																																																																																																	
5号炉原子炉棟屋内	東側入口～緊急事対策所～東側入口	徒歩移動	14	38																																																																																																	
①→②	約 980 (崩壊土砂影響範囲 約 170 含む)	徒歩移動	19	57																																																																																																	
②→③	約 250	ホイールローダ移動	1	58																																																																																																	
③→④	約 170	土砂撤去 <sup>1)</sup>	159 <sup>2)</sup>	217	①②																																																																																																
		安全確認	17	234																																																																																																	
④→⑤	約 610	ホイールローダ移動	3	237																																																																																																	
		段差復旧 (建屋直近)	78 <sup>3)</sup>	315																																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
80	4.(7)1 a.	1.0.2-100	<p>アクセスルートの確認及び復旧については、以下の考え方、手順に基づき対応する。</p> <p>①緊急時対策要員(現場要員)は、アクセスルート損壊状況を確認し、緊急時対策本部に状況を報告する。</p> <p>②緊急時対策本部は、アクセスルートの復旧が必要な場合、以下の優先順位に従い緊急時対策要員(現場要員)に対し復旧を指示する。</p> <p>&lt;復旧の優先順位設定の考え方&gt;</p> <p>1. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所から車両の寄りつき場所までのルートが確保されている場合、そのルートを第一優先で使用する。</p> <p>2. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所から車両の寄りつき場所までのアクセスルートがいずれも通行できない場合、道路の損壊状況を確認し、早期に復旧可能なルートの復旧を優先する。</p> <p>3. 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から可搬型重大事故等対処設備の保管場所までのアクセスルートを復旧する。</p> <p>4. アクセスルートの複数ルート通行可能となるようにする。</p> <p>③緊急時対策要員(現場要員)は、アクセスルートの復旧の優先順位に従い、アクセスルートを復旧する。</p>	<p>緊急時対策要員からアクセスルートの状況等の報告を受けた緊急時対策本部の復旧班長は、通行可能なアクセスルートの状況を緊急時対策本部内に周知する。</p> <p>万一、通行ができない場合は、応急復旧方法、応急復旧の優先順位を考慮の上、アクセスルートを判断し、緊急時対策要員へ指示及び当直長へ連絡する。</p> <p>アクセスルートの確認及び復旧については、以下の考え方、手順に基づき対応する。</p> <p>①緊急時対策要員(復旧班現場部隊)は、アクセスルート損壊状況を確認し、緊急時対策本部(復旧班)に状況を報告する。</p> <p>②緊急時対策本部(復旧班長)は、アクセスルートの復旧が必要な場合、以下の優先順位に従い緊急時対策要員(復旧班現場部隊)に対し復旧を指示する。</p> <p>&lt;復旧の優先順位設定の考え方&gt;</p> <p>1. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所から車両の寄りつき場所までのルートが確保されている場合、そのルートを第一優先で使用する。</p> <p>2. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所から車両の寄りつき場所までのアクセスルートのいずれも通行ができない場合、道路の損壊状況を確認し、早期に復旧可能なルートの復旧を優先する。</p> <p>3. 緊急時対策所から可搬型重大事故等対処設備の保管場所までのアクセスルートを復旧する。</p> <p>4. アクセスルートの複数ルート通行可能となるようにする。</p>	⑤
81	4.(7)1 c.	1.0.2-101	<p>アクセスルートの復旧後の通行幅は3mで片側通行となるが、タンクローリを除き、可搬型設備は設置場所に移動する際の往路のみとなるため、車両の通行性に影響はない。なお、タンクローリについても、約7日間はプラント側の軽油タンクで補給することが可能なため初動対応において影響はないと考えられる。</p>	<p>アクセスルートの復旧後の通行幅は3m程度で片側通行となるが、タンクローリを除き、可搬型設備は設置場所に移動する際の往路のみとなるため、車両の通行性に影響はない。なお、タンクローリについても、約3日はプラント側の軽油タンクで補給することから初動対応において影響はないと考えられる。</p>	③ (軽油消費量の更新に伴い最新値に変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																			
82	4.(7)3 第21-1表	1.0.2-102	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業名</th> <th>アクセスルート 復旧時間<sup>※1</sup>①</th> <th>その他考慮すべき時間<sup>※2</sup>②</th> <th>移動時間<sup>※3</sup>③</th> <th>作業時間<sup>※4</sup>④</th> <th>有効性評価 想定時間<sup>※5</sup>⑤</th> <th>評価結果 (①又は②)+ ③+④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給</td> <td>約4時間 10分</td> <td>-</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約5時間 30分</td> <td>12時間</td> <td>○ (約10時間10分)</td> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系(可搬型)による原子炉注水準備操作</td> <td>約4時間 10分</td> <td>10時間<sup>※2</sup> (要員参集)</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約2時間 20分</td> <td>22時間</td> <td>○ (約12時間50分)</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による淡水貯水池から使用済燃料プールへの注水(常用スプレッドヘッド使用)</td> <td>約4時間 10分</td> <td>-</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約5時間 20分</td> <td>12時間</td> <td>○ (約10時間)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">給油準備</td> <td>タンクローリ(4kL)</td> <td>約4時間 10分</td> <td>-</td> <td>約1時間 20分</td> <td>12時間</td> <td>○ (約6時間)</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ(16kL)</td> <td>約4時間 10分</td> <td>-</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>12時間</td> <td>○ (約6時間10分)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系準備操作</td> <td>約5時間 30分</td> <td>10時間<sup>※2</sup> (要員参集)</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約8時間 30分</td> <td>20時間</td> <td>○ (約19時間)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該作業が対応可能なアクセスルート復旧時間とする。(放射線防護員着用時間を含む) 荒浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合。大浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合は各作業共約10分短くなる。(第28-1図、第28-2図参照)。          ※2 重要事故シナリオごとに有効性評価の想定時間が異なる場合には、最短の想定時間を記載。          ※3 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所までの移動時間。大浜側高台保管場所の場合は約20分。崩壊土砂範囲の通行等も想定されるが、早期の作業開始等の対応により有効性評価の成立性に影響はない。          ※4 有効性評価では、「代替原子炉補機冷却系準備操作」、「低圧代替注水系(可搬型)による原子炉注水準備操作」を行う緊急時対策要員の参集時間を事象発生から10時間後としており、要員が参集するまでの時間内にアクセスルートの復旧が可能であるため、要員参集後から10時間以内に復旧作業を実施できれば、作業の成立性に影響はない。</p>	作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	有効性評価 想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①又は②)+ ③+④	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給	約4時間 10分	-	約30分 <sup>※3</sup>	約5時間 30分	12時間	○ (約10時間10分)	低圧代替注水系(可搬型)による原子炉注水準備操作	約4時間 10分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約2時間 20分	22時間	○ (約12時間50分)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による淡水貯水池から使用済燃料プールへの注水(常用スプレッドヘッド使用)	約4時間 10分	-	約30分 <sup>※3</sup>	約5時間 20分	12時間	○ (約10時間)	給油準備	タンクローリ(4kL)	約4時間 10分	-	約1時間 20分	12時間	○ (約6時間)	タンクローリ(16kL)	約4時間 10分	-	約30分 <sup>※3</sup>	12時間	○ (約6時間10分)	代替原子炉補機冷却系準備操作	約5時間 30分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約8時間 30分	20時間	○ (約19時間)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業名</th> <th>アクセスルート 復旧時間<sup>※1</sup>①</th> <th>その他考慮すべき時間<sup>※2</sup>②</th> <th>移動時間<sup>※3</sup>③</th> <th>作業時間<sup>※4</sup>④</th> <th>有効性評価 想定時間<sup>※5</sup>⑤</th> <th>評価結果 (①or②)+ ③+④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプによる淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約330分</td> <td>12時間</td> <td>○ (約11時間30分)</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水水系による原子炉への注水準備操作</td> <td>約330分</td> <td>10時間<sup>※2</sup> (要員参集)</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約75分</td> <td>22時間</td> <td>○ (約11時間45分)</td> </tr> <tr> <td>燃料供給準備</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約70分</td> <td>12時間</td> <td>○ (約7時間10分)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系準備操作</td> <td>-</td> <td>10時間<sup>※2</sup> (要員参集)</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>6時間40分</td> <td>20時間</td> <td>○ (約17時間10分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 荒浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合。大浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合は約320分。(図28-1,図28-2)          ※2 重要事故シナリオごとに有効性評価の想定時間が異なる場合には、最短の想定時間を記載。          ※3 有効性評価では、「代替原子炉補機冷却系準備操作」、「可搬型代替注水水系による原子炉への注水準備操作」を行う緊急時対策要員の参集時間を事象発生から10時間後としており、要員が参集するまでの時間内にアクセスルートの復旧が可能であるため、要員参集後から10時間以内に復旧作業を実施できれば、作業の成立性に影響はない。          ※4 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所までの移動時間。大浜側高台保管場所の場合は20分。崩壊土砂範囲の通行等も想定されるが、早期の作業開始等の対応により有効性評価の成立性に影響はない。</p>	作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	有効性評価 想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①or②)+ ③+④	可搬型代替注水ポンプによる淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給	-	-	約30分 <sup>※3</sup>	約330分	12時間	○ (約11時間30分)	可搬型代替注水水系による原子炉への注水準備操作	約330分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約75分	22時間	○ (約11時間45分)	燃料供給準備	-	-	約30分 <sup>※3</sup>	約70分	12時間	○ (約7時間10分)	代替原子炉補機冷却系準備操作	-	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	6時間40分	20時間	○ (約17時間10分)	④ (移動時間、作業実績等の更新反映) ⑤
作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	有効性評価 想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①又は②)+ ③+④																																																																																		
可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給	約4時間 10分	-	約30分 <sup>※3</sup>	約5時間 30分	12時間	○ (約10時間10分)																																																																																		
低圧代替注水系(可搬型)による原子炉注水準備操作	約4時間 10分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約2時間 20分	22時間	○ (約12時間50分)																																																																																		
可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による淡水貯水池から使用済燃料プールへの注水(常用スプレッドヘッド使用)	約4時間 10分	-	約30分 <sup>※3</sup>	約5時間 20分	12時間	○ (約10時間)																																																																																		
給油準備	タンクローリ(4kL)	約4時間 10分	-	約1時間 20分	12時間	○ (約6時間)																																																																																		
	タンクローリ(16kL)	約4時間 10分	-	約30分 <sup>※3</sup>	12時間	○ (約6時間10分)																																																																																		
代替原子炉補機冷却系準備操作	約5時間 30分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約8時間 30分	20時間	○ (約19時間)																																																																																		
作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	有効性評価 想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①or②)+ ③+④																																																																																		
可搬型代替注水ポンプによる淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給	-	-	約30分 <sup>※3</sup>	約330分	12時間	○ (約11時間30分)																																																																																		
可搬型代替注水水系による原子炉への注水準備操作	約330分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約75分	22時間	○ (約11時間45分)																																																																																		
燃料供給準備	-	-	約30分 <sup>※3</sup>	約70分	12時間	○ (約7時間10分)																																																																																		
代替原子炉補機冷却系準備操作	-	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	6時間40分	20時間	○ (約17時間10分)																																																																																		
83	4.(7)3 第21-2表	1.0.2-103	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業名</th> <th>アクセスルート 復旧時間<sup>※1</sup>①</th> <th>その他考慮すべき時間<sup>※2</sup>②</th> <th>移動時間<sup>※3</sup>③</th> <th>作業時間<sup>※4</sup>④</th> <th>想定時間<sup>※5</sup>⑤</th> <th>評価結果 (①又は②)+ ③+④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給油準備</td> <td>約4時間 10分</td> <td>10時間<sup>※2</sup> (要員参集)</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約1時間 40分</td> <td>23時間<sup>※5</sup></td> <td>○ (約12時間10分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該作業が対応可能なアクセスルート復旧時間とする。(放射線防護員着用時間を含む) 荒浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合。大浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合は各作業共約10分短くなる。(第28-1図、第28-2図参照)。          ※2 要員が参集するまでの時間内にアクセスルートの復旧が可能であるため、要員参集後から10時間以内に復旧作業を実施できれば、作業の成立性に影響はない。          ※3 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所の場合。大浜側高台保管場所の場合は20分。          ※4 原子炉格納容器が破損した場合の対応時間。5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の必要な負荷運転時における給油間隔の目安は運転開始後約66時間。</p>	作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①又は②)+ ③+④	給油準備	約4時間 10分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約1時間 40分	23時間 <sup>※5</sup>	○ (約12時間10分)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業名</th> <th>アクセスルート 復旧時間<sup>※1</sup>①</th> <th>その他考慮すべき時間<sup>※2</sup>②</th> <th>移動時間<sup>※3</sup>③</th> <th>作業時間<sup>※4</sup>④</th> <th>想定時間<sup>※5</sup>⑤</th> <th>評価結果 (①or②)+ ③+④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料供給準備</td> <td>約330分</td> <td>10時間<sup>※2</sup> (要員参集)</td> <td>約30分<sup>※3</sup></td> <td>約100分</td> <td>23時間</td> <td>○ (約12時間10分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 荒浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合。大浜側高台保管場所のホイールロードを使用した場合は約320分。(図28-1,図28-2)          ※2 要員が参集するまでの時間内にアクセスルートの復旧が可能であるため、要員参集後から10時間以内に復旧作業を実施できれば、作業の成立性に影響はない。          ※3 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所の場合。大浜側高台保管場所の場合は20分。</p>	作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①or②)+ ③+④	燃料供給準備	約330分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約100分	23時間	○ (約12時間10分)	⑤																																																							
作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①又は②)+ ③+④																																																																																		
給油準備	約4時間 10分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約1時間 40分	23時間 <sup>※5</sup>	○ (約12時間10分)																																																																																		
作業名	アクセスルート 復旧時間 <sup>※1</sup> ①	その他考慮すべき時間 <sup>※2</sup> ②	移動時間 <sup>※3</sup> ③	作業時間 <sup>※4</sup> ④	想定時間 <sup>※5</sup> ⑤	評価結果 (①or②)+ ③+④																																																																																		
燃料供給準備	約330分	10時間 <sup>※2</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※3</sup>	約100分	23時間	○ (約12時間10分)																																																																																		



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

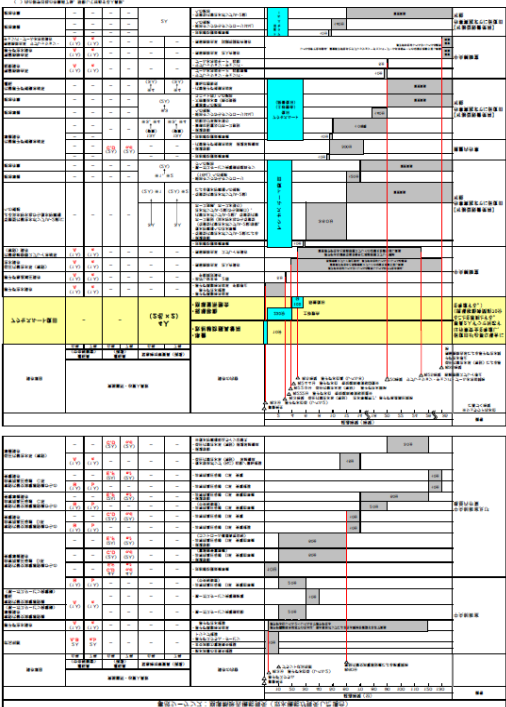
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後							変更前							変更理由
			作業名	アクセスルート 復旧時間①	その他考慮すべき時間 ②	移動時間 ③	作業時間 ④	有効性評価 想定時間 <sup>※1</sup>	評価結果 (①又は②) + ③+④	作業名	アクセスルート 復旧時間①	その他考慮すべき時間 ②	移動時間 ③	作業時間 ④	有効性評価 想定時間	評価結果 (①or②) + ③+④	
84	4.(7)3 第21-3表	1.0.2-103	低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作	0分 <sup>※1</sup>	—	約1時間10分 <sup>※2</sup>	約2時間40分 <sup>※3</sup>	4時間	○ (約3時間50分)	可搬型代替注水系による原子炉への注水準備操作	0分 <sup>※1</sup>	—	約60分 <sup>※2</sup>	約165分 <sup>※3</sup>	4時間	○ (約3時間45分)	④ (移動時間、作業実績等の更新反映) ⑤
			給油準備	タンクローリー(4kL)	0分 <sup>※1</sup>	約2時間 <sup>※4</sup>	約10分 <sup>※5</sup>	約1時間20分	4時間	○ <sup>※6</sup> (約3時間30分)	燃料供給準備	0分 <sup>※1</sup>	約90分 <sup>※4</sup>	約10分 <sup>※5</sup>	約80分	4時間	
			給油準備	タンクローリー(16kL)	約4時間10分	—	約30分 <sup>※7</sup>	約1時間30分	28時間	○ (約6時間10分)	代替原子炉補機冷却系準備操作	約440分	10時間 <sup>※7</sup> (要員参集)	約30分	6時間40分	24時間	○ (約17時間10分)
			代替原子炉補機冷却系準備操作	約7時間20分	10時間 <sup>※8</sup> (要員参集)	約30分 <sup>※7</sup>	約8時間30分	24時間	○ (約19時間)	<p>※1 アクセスルート復旧時間は約210分を想定しているが、アクセスルート復旧時間で別の緊急時対策要員が可搬型代替注水系による原子炉への注水準備操作を並行して行えるため考慮しなくてよい。(図28-4)</p> <p>※2 待機場所から5号炉原子炉建屋内緊急時対策所へ移動し、その後荒浜側高台保管場所までの移動時間。</p> <p>※3 10名で2箇所(高台側、6号及び7号炉周辺)に分かれ作業を行うことで作業時間の短縮を図る。</p> <p>※4 可搬型代替注水系による原子炉への注水準備操作(6号及び7号炉周辺)の対応時間。</p> <p>※5 可搬型代替注水系による原子炉への注水準備操作(6号及び7号炉周辺)終了後、5号炉東側第二保管場所までの移動時間。</p> <p>※6 淡水貯水池近傍に配備した可搬型代替注水ポンプへの給油は、アクセスルート復旧後の約6時間後から可能となる。淡水貯水池近傍に配備した可搬型代替注水ポンプは運転開始後、給油まで約3時間と想定しており可搬型車両への給油に問題はない。</p> <p>※7 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所までの移動時間。大渡側高台保管場所の場合は約20分。崩壊土砂範囲の通行等も想定されるが、早期の作業開始等の対応により有効性評価の成立性に影響はない。</p> <p>※8 有効性評価では、「代替原子炉補機冷却系準備操作」を行う緊急時対策要員の参集時間を事象発生から10時間後としており、要員が参集するまでの時間内にアクセスルートの復旧が可能であるため、要員参集後から10時間以内に復旧作業を実施できれば、作業の成立性に影響はない。</p>							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正        ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
85	4.(7)3 第21-4表	1.0.2-104		<p>&lt;記載なし&gt;</p>	<p>⑤ (過去資料に掲載されていた表が 抜け落ちていたため、データを更新の上反映)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由										
86	5.(4)2 第22-1表 第22-2表	1.0.2-108~ 128	変更理由が同じため、最初の表のみ記載			④ (手順の更新を踏 まえた反映) ⑤									
			対応手段	該当 条文	屋内現場操作		資料中の 印刷による 影響	火災源 の有無	溢水源 の有無	対応手段	該当 条文	屋内現場操作	資料中の 印刷による 影響	火災源 の有無	溢水源 の有無
			高圧代替注水系の現場 操作による発電用原子炉 の冷却	1.2	高圧代替注水ポンプ現場起動 【中央制御室→(④階段 M⑤)→(⑤階段 A ⑥)→(⑥-1)】		無	無	あり (堰高さ)	現場手動操作による高圧 代替注水系起動	1.2	高圧代替注水ポンプ現場起動 【中央制御室→(④階段 M⑤)→(⑤階段 A ⑥)→(⑥-1)】	無	無	あり (堰高さ)
			原子炉隔離時冷却系 の現場操作による発電用原 子炉の冷却	1.2	原子炉隔離時冷却系ポンプ起動 【中央制御室→(④階段 M⑤)→(⑤階段 A ⑦)→(⑦ハッチ開放)→(⑦ハッチ格子③) →(⑧-2)→(⑧ハッチ格子⑦)→(⑦-2)→ (⑦ハッチ格子⑤)→(⑧-2)→(⑧ハッチ格 子⑦)→(⑦階段 A⑥)→(⑥-1)】		無	無	あり (堰高さ) 原子炉 建屋地 下3階 ※1	現場手動操作による原子 炉隔離時冷却系起動	1.2	原子炉隔離時冷却系ポンプ起動 【中央制御室→(④階段 M⑤)→(⑤階段 A ⑦)→(⑦ハッチ開放)→(⑦ハッチ格子③) →(⑧-2)→(⑧ハッチ格子⑦)→(⑦-2)→ (⑦ハッチ格子⑤)→(⑧-2)→(⑧ハッチ格 子⑦)→(⑦階段 A⑥)→(⑥-1)】	無	無	あり (堰高さ) 原子炉 建屋地 下3階 ※2
			ほう酸水注入系による進 捗抑制(ほう酸水注入系貯 蔵タンクを水源とした原子 炉圧力容器へのほう酸水 注入)	1.2	ほう酸水注入系ポンプ起動 【中央制御室→(④階段 M⑤)→(⑤階段 B ③)→(③-2)→(③階段 B⑤)→(⑤階段 I 連絡通路)階段 J⑤)→(⑤階段 J⑤)→(⑤ -8)】 ほう酸水注入系ポンプ電源復旧 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥-2)→ (⑥-3)】		無	あり [1][4]	あり (堰高さ)	ほう酸水注入系による原 子炉注水(水源がほう酸水 注入系貯蔵タンクの場合)	1.2	ほう酸水注入系ポンプ起動 【中央制御室→(④階段 M⑤)→(⑤階段 B ③)→(③-2)→(③階段 B⑤)→(⑤階段 I →J⑤)→(⑤階段 J⑤)→(⑤-8)】 ほう酸水注入系ポンプ電源復旧 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥-2)→ (⑥-3)】	無	あり [1][4]	あり (堰高さ)
			常設代替直流電源設備 による逃がし安全弁機能 回復	1.3	逃がし安全弁の開保持用の駆動源(高圧 窒素ガス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)】		無	無	無	常設代替直流電源設備に よる逃がし安全弁解放	1.3	逃がし安全弁の開保持用の駆動源(高圧 窒素ガス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)】	無	無	無
			逃がし安全弁用可搬型蓄 電池による逃がし安全弁 機能回復	1.3	逃がし安全弁用の駆動源(電源)と逃がし 安全弁の開保持用の駆動源(高圧窒素ガ ス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)→(⑥階段 C⑥)→(⑥ -5)→(⑥-2)→(⑥階段 C①)→(⑥-5)→(⑥ -6)】		無	無	無	逃がし安全弁用可搬型蓄 電池による逃がし安全弁 開放	1.3	逃がし安全弁の開保持用の駆動源(電源)と逃がし 安全弁の開保持用の駆動源(高圧窒素ガ ス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)→(⑥階段 C⑥)→ (⑥-5)→(⑥-2)→(⑥階段 C①)→(⑥-5)→ (⑥-6)】	無	無	無
			高圧窒素ガス供給系による 窒素ガス確保(不活性ガ ス系から高圧窒素ガス供 給系への切替え)	1.3	逃がし安全弁の開保持用の駆動源(高圧 窒素ガス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)】		無	無	無	高圧窒素ガスポンベによ る逃がし安全弁駆動源確 保	1.3	逃がし安全弁の開保持用の駆動源(高圧 窒素ガス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)】	無	無	無
			高圧窒素ガス供給系による 窒素ガス確保(高圧窒素 ガスポンベの切替え及び 取替え)	1.3	逃がし安全弁の開保持用の駆動源(高圧 窒素ガス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)】		無	無	無	高圧窒素ガスポンベによ る逃がし安全弁駆動源確 保(待機側への切替、ポン ベの交換)	1.3	逃がし安全弁の開保持用の駆動源(高圧 窒素ガス)確保 【中央制御室→(④階段 L⑥)→(⑥階段 D ①)→(⑥-6)→(⑥-5)】	無	無	無
			インターフェイスシステム LOCA 発生時の対応(中 央制御室からの隔離操作 を実施できない場合の 現場での隔離操作)	1.3	現場での隔離 【中央制御室→(④階段 M⑤)→各系統へ A 系→(⑤階段 A④)→(④MS トンネル室) →(④へ)→(④-4)】 B 系(⑤-5)、C 系(⑤-2)		無	無	あり (堰高さ)	インターフェイスシステム LOCA 発生時の対応(現 場での隔離操作)	1.3	現場での隔離 【中央制御室→(④階段 M⑤)→各系統へ A 系→(⑤階段 A④)→(④MS トンネル室) →(④へ)→(④-4)】 B 系(⑤-5)、C 系(⑤-2)	無	無	あり (堰高さ)
			低圧代替注水系(常設)に よる発電用原子炉の冷却 (残熱除去系(B)又は残 留熱除去系(A)注入配管 使用)	1.4	低圧代替注水系(常設)による原子炉圧力 容器への注水系統構成 【中央制御室→(④階段 J⑤)→(⑤-8)】		無	あり [1]	無	※2 原子炉建屋地下3階の操作は内部設備により通行不能な場合は原子炉建屋地下2階のハッチを開放しアクセスする。					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																				
87	5.(4)2 第23表	1.0.2-129	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">「重大事故等対策の有効性評価」事故シナシス</th> </tr> <tr> <th></th> <th>図面作成表</th> <th>図番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>高圧・低圧注水機能喪失</td><td>○</td><td>29-1</td></tr> <tr><td>2</td><td>高圧注水・減圧機能喪失</td><td>○</td><td>29-2</td></tr> <tr><td>3</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）</td><td>○</td><td>29-3,4</td></tr> <tr><td>4</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+RCIC失敗</td><td>3番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+直流電源喪失</td><td>3番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>6</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+SRV再開失敗</td><td>○</td><td>29-5,6</td></tr> <tr><td>7</td><td>崩壊熱除去機能喪失（取水機能が喪失した場合）</td><td>○</td><td>29-7,8</td></tr> <tr><td>8</td><td>崩壊熱除去機能喪失（残留熱除去系が故障した場合）</td><td>1番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>9</td><td>原子炉停止機能喪失</td><td>現場操作なし</td><td>-</td></tr> <tr><td>10</td><td>LOCA時注水機能喪失</td><td>1番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>11</td><td>格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA）</td><td>○</td><td>29-9</td></tr> <tr><td>12</td><td>雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破壊） （代替循環冷却系を使用する場合）</td><td>○</td><td>29-10,11</td></tr> <tr><td>13</td><td>雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破壊） （代替循環冷却系を使用しない場合）</td><td>○</td><td>29-12</td></tr> <tr><td>14</td><td>高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>15</td><td>原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>16</td><td>水素燃焼</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>溶融炉心・コンクリート相互作用</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>18</td><td>想定事故1</td><td>現場操作なし</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>想定事故2</td><td>○</td><td>29-13</td></tr> <tr><td>20</td><td>崩壊熱除去機能喪失（停止時）</td><td>2番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>全交流動力電源喪失（停止時）</td><td>3番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>原子炉冷却材の流出（停止時）</td><td>2番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>23</td><td>反応度の誤投入（停止時）</td><td>現場操作なし</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	「重大事故等対策の有効性評価」事故シナシス					図面作成表	図番号		1	高圧・低圧注水機能喪失	○	29-1	2	高圧注水・減圧機能喪失	○	29-2	3	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）	○	29-3,4	4	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+RCIC失敗	3番で包括	-	5	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+直流電源喪失	3番で包括	-	6	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+SRV再開失敗	○	29-5,6	7	崩壊熱除去機能喪失（取水機能が喪失した場合）	○	29-7,8	8	崩壊熱除去機能喪失（残留熱除去系が故障した場合）	1番で包括	-	9	原子炉停止機能喪失	現場操作なし	-	10	LOCA時注水機能喪失	1番で包括	-	11	格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA）	○	29-9	12	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破壊） （代替循環冷却系を使用する場合）	○	29-10,11	13	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破壊） （代替循環冷却系を使用しない場合）	○	29-12	14	高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱	12番で包括	-	15	原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用	12番で包括	-	16	水素燃焼	12番で包括	-	17	溶融炉心・コンクリート相互作用	12番で包括	-	18	想定事故1	現場操作なし	-	19	想定事故2	○	29-13	20	崩壊熱除去機能喪失（停止時）	2番で包括	-	21	全交流動力電源喪失（停止時）	3番で包括	-	22	原子炉冷却材の流出（停止時）	2番で包括	-	23	反応度の誤投入（停止時）	現場操作なし	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">「重大事故等対策の有効性評価」事故シナシス</th> </tr> <tr> <th></th> <th>図面作成表</th> <th>図番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>高圧・低圧注水機能喪失</td><td>○</td><td>29-1</td></tr> <tr><td>2</td><td>高圧注水・減圧機能喪失</td><td>○</td><td>29-2</td></tr> <tr><td>3</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失）</td><td>○</td><td>29-3,4</td></tr> <tr><td>4</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+RCIC失敗）</td><td>3番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>5</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+直流電源喪失）</td><td>○</td><td>29-5,6</td></tr> <tr><td>6</td><td>全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+SRV再開失敗）</td><td>7番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>7</td><td>崩壊熱除去機能喪失（取水機能喪失）</td><td>○</td><td>29-7,8</td></tr> <tr><td>8</td><td>崩壊熱除去機能喪失（RHR喪失）</td><td>1番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>9</td><td>原子炉停止機能喪失</td><td>現場操作なし</td><td>-</td></tr> <tr><td>10</td><td>LOCA時注水機能喪失</td><td>1番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>11</td><td>格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA）</td><td>○</td><td>29-9</td></tr> <tr><td>12</td><td>格納容器過圧・加温破壊（代替循環冷却あり）</td><td>○</td><td>29-10,11</td></tr> <tr><td>13</td><td>格納容器過圧・加温破壊（代替循環冷却なし）</td><td>○</td><td>29-12,13</td></tr> <tr><td>14</td><td>格納容器雰囲気直接加熱(DCH)</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>15</td><td>炉外の溶融燃料-冷却材相互作用(PCI)</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>16</td><td>水素燃焼</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>17</td><td>溶融炉心・コンクリート相互作用</td><td>12番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>18</td><td>想定事故1</td><td>現場操作なし</td><td>-</td></tr> <tr><td>19</td><td>想定事故2</td><td>○</td><td>29-14</td></tr> <tr><td>20</td><td>崩壊熱除去機能喪失（停止時）</td><td>2番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>21</td><td>全交流動力電源喪失（停止時）</td><td>3番で包括</td><td>-</td></tr> <tr><td>22</td><td>停止中原子炉における冷却材流出（停止時）</td><td>2番で包括</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	「重大事故等対策の有効性評価」事故シナシス					図面作成表	図番号		1	高圧・低圧注水機能喪失	○	29-1	2	高圧注水・減圧機能喪失	○	29-2	3	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失）	○	29-3,4	4	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+RCIC失敗）	3番で包括	-	5	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+直流電源喪失）	○	29-5,6	6	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+SRV再開失敗）	7番で包括	-	7	崩壊熱除去機能喪失（取水機能喪失）	○	29-7,8	8	崩壊熱除去機能喪失（RHR喪失）	1番で包括	-	9	原子炉停止機能喪失	現場操作なし	-	10	LOCA時注水機能喪失	1番で包括	-	11	格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA）	○	29-9	12	格納容器過圧・加温破壊（代替循環冷却あり）	○	29-10,11	13	格納容器過圧・加温破壊（代替循環冷却なし）	○	29-12,13	14	格納容器雰囲気直接加熱(DCH)	12番で包括	-	15	炉外の溶融燃料-冷却材相互作用(PCI)	12番で包括	-	16	水素燃焼	12番で包括	-	17	溶融炉心・コンクリート相互作用	12番で包括	-	18	想定事故1	現場操作なし	-	19	想定事故2	○	29-14	20	崩壊熱除去機能喪失（停止時）	2番で包括	-	21	全交流動力電源喪失（停止時）	3番で包括	-	22	停止中原子炉における冷却材流出（停止時）	2番で包括	-	④ (有効性評価の最新状況を反映)
			「重大事故等対策の有効性評価」事故シナシス																																																																																																																																																																																																						
				図面作成表	図番号																																																																																																																																																																																																				
			1	高圧・低圧注水機能喪失	○	29-1																																																																																																																																																																																																			
			2	高圧注水・減圧機能喪失	○	29-2																																																																																																																																																																																																			
			3	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）	○	29-3,4																																																																																																																																																																																																			
			4	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+RCIC失敗	3番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			5	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+直流電源喪失	3番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			6	全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+SRV再開失敗	○	29-5,6																																																																																																																																																																																																			
			7	崩壊熱除去機能喪失（取水機能が喪失した場合）	○	29-7,8																																																																																																																																																																																																			
			8	崩壊熱除去機能喪失（残留熱除去系が故障した場合）	1番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			9	原子炉停止機能喪失	現場操作なし	-																																																																																																																																																																																																			
			10	LOCA時注水機能喪失	1番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			11	格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA）	○	29-9																																																																																																																																																																																																			
			12	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破壊） （代替循環冷却系を使用する場合）	○	29-10,11																																																																																																																																																																																																			
			13	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破壊） （代替循環冷却系を使用しない場合）	○	29-12																																																																																																																																																																																																			
			14	高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			15	原子炉圧力容器外の溶融燃料-冷却材相互作用	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			16	水素燃焼	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			17	溶融炉心・コンクリート相互作用	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
			18	想定事故1	現場操作なし	-																																																																																																																																																																																																			
			19	想定事故2	○	29-13																																																																																																																																																																																																			
			20	崩壊熱除去機能喪失（停止時）	2番で包括	-																																																																																																																																																																																																			
21	全交流動力電源喪失（停止時）	3番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
22	原子炉冷却材の流出（停止時）	2番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
23	反応度の誤投入（停止時）	現場操作なし	-																																																																																																																																																																																																						
「重大事故等対策の有効性評価」事故シナシス																																																																																																																																																																																																									
	図面作成表	図番号																																																																																																																																																																																																							
1	高圧・低圧注水機能喪失	○	29-1																																																																																																																																																																																																						
2	高圧注水・減圧機能喪失	○	29-2																																																																																																																																																																																																						
3	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失）	○	29-3,4																																																																																																																																																																																																						
4	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+RCIC失敗）	3番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
5	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+直流電源喪失）	○	29-5,6																																																																																																																																																																																																						
6	全交流動力電源喪失（外部電源+DG喪失+SRV再開失敗）	7番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
7	崩壊熱除去機能喪失（取水機能喪失）	○	29-7,8																																																																																																																																																																																																						
8	崩壊熱除去機能喪失（RHR喪失）	1番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
9	原子炉停止機能喪失	現場操作なし	-																																																																																																																																																																																																						
10	LOCA時注水機能喪失	1番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
11	格納容器バイパス（インターフェイスシステムLOCA）	○	29-9																																																																																																																																																																																																						
12	格納容器過圧・加温破壊（代替循環冷却あり）	○	29-10,11																																																																																																																																																																																																						
13	格納容器過圧・加温破壊（代替循環冷却なし）	○	29-12,13																																																																																																																																																																																																						
14	格納容器雰囲気直接加熱(DCH)	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
15	炉外の溶融燃料-冷却材相互作用(PCI)	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
16	水素燃焼	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
17	溶融炉心・コンクリート相互作用	12番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
18	想定事故1	現場操作なし	-																																																																																																																																																																																																						
19	想定事故2	○	29-14																																																																																																																																																																																																						
20	崩壊熱除去機能喪失（停止時）	2番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
21	全交流動力電源喪失（停止時）	3番で包括	-																																																																																																																																																																																																						
22	停止中原子炉における冷却材流出（停止時）	2番で包括	-																																																																																																																																																																																																						





まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

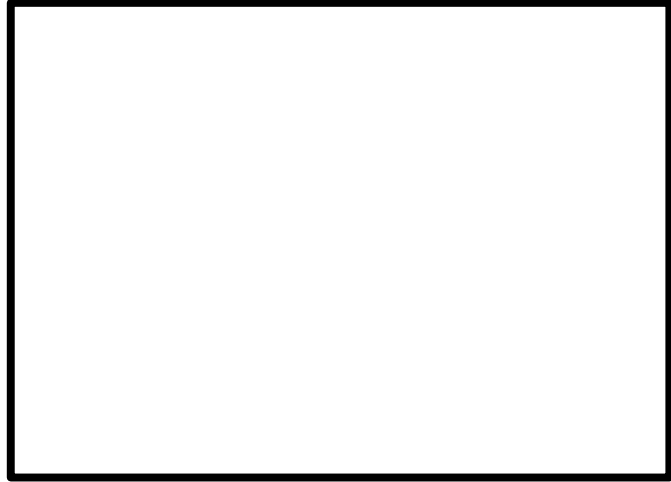
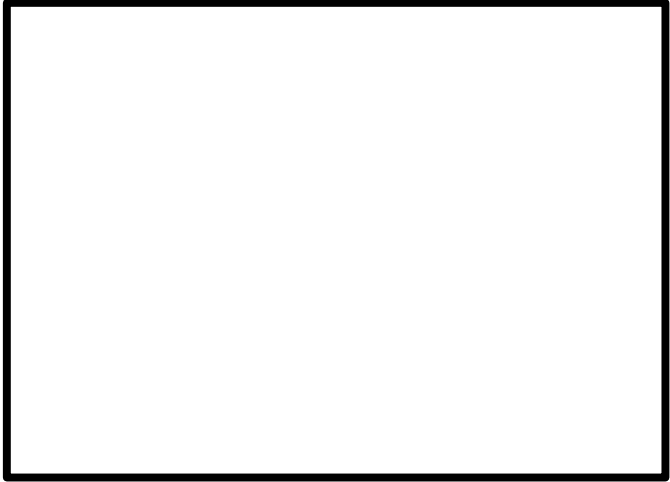
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																				
90	5.(4)2 第25表	1.0.2-149	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>有効性評価上の作業時間<sup>※1</sup></th> <th>移動時間<sup>※2</sup></th> <th>作業時間<sup>※3</sup></th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低圧代替注水系（常設）準備操作</td> <td>30分</td> <td>8分(12分)</td> <td>4分</td> <td>○ 14分(18分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器ベント準備操作</td> <td>1時間</td> <td>9分(14分)</td> <td>2分</td> <td>○ 32分(37分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器ベント準備操作</td> <td>1時間</td> <td>6分(9分)</td> <td>2分</td> <td>○ 8分(11分)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 原子炉停止時冷却モード準備</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>19分(29分)</td> <td>20分</td> <td>○ 49分(59分)</td> </tr> <tr> <td>低圧注水系から停止時冷却モード切替</td> <td>30分</td> <td>5分(8分)</td> <td>7分</td> <td>○ 12分(15分)</td> </tr> <tr> <td>高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-1~2)</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>5分(8分)</td> <td>5分</td> <td>○ 11分(14分)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系 準備操作</td> <td>1時間</td> <td>49分(1時間)</td> <td>1時間20分</td> <td>○ 4時間09分(4時間20分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器ベント操作</td> <td>1時間</td> <td>2分(3分)</td> <td>2分</td> <td>○ 4分(5分)</td> </tr> <tr> <td>高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-2~4M用)</td> <td>準備30分 操作15分</td> <td>10分(15分)</td> <td>11分</td> <td>○ 24分(29分)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備からの受電操作</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>8分(12分)</td> <td>13分</td> <td>○ 25分(29分)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 B系 受電操作</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>3分(5分)</td> <td>18分</td> <td>○ 21分(23分)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 C系 受電操作</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>4分(6分)</td> <td>14分</td> <td>○ 18分(20分)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 D系 受電操作</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>5分(8分)</td> <td>20分</td> <td>○ 25分(28分)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 E系 受電操作</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>5分(8分)</td> <td>20分</td> <td>○ 25分(28分)</td> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作</td> <td>2時間15分(17分)機庫取り出し含む</td> <td>20分(30分)</td> <td>1時間12分</td> <td>○ 1時間32分(1時間42分)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による格納容器スプレイ冷却</td> <td>準備2時間 操作30分</td> <td>20分(30分)</td> <td>40分</td> <td>○ 1時間(1時間10分)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による格納容器スプレイ冷却準備</td> <td>1時間20分</td> <td>5分(8分)</td> <td>4分</td> <td>○ 31分(34分)</td> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作</td> <td>1時間20分</td> <td>5分(8分)</td> <td>4分</td> <td>○ 9分(12分)</td> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作</td> <td>30分</td> <td>8分(12分)</td> <td>4分</td> <td>○ 14分(18分)</td> </tr> <tr> <td>高圧中心注水系からの漏えい停止操作（現場操作）</td> <td>1時間30分</td> <td>20分(30分)</td> <td>40分</td> <td>○ 1時間(1時間10分)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器冷却系 準備操作</td> <td>その1:1時間 その2:30分</td> <td>その1:18分(12分) その2:16分(9分)</td> <td>その1:40分 その2:15分</td> <td>○ その1:34分(38分) ○ その2:21分(24分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水系 準備</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>8分(12分)</td> <td>6分</td> <td>○ 14分(18分)</td> </tr> <tr> <td>燃料プール水位低下要因調査及び隔離</td> <td>調査30分 隔離30分</td> <td>調査30分 隔離30分</td> <td>15分</td> <td>○ 21分(24分)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）運転</td> <td>30分</td> <td>5分(8分)</td> <td>7分</td> <td>○ 12分(15分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉ウエル水位低下調査及び隔離（原子炉冷却材の流出）</td> <td>50分</td> <td>4分(6分)</td> <td>1分</td> <td>2時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 有効性評価で、当該作業に要する時間として想定している時間。 ※2 屋内作業の移動時間について、通常の移動時間から1.5倍した時間を括弧内に記載している。 ※3 有効性評価で、事象発生を起点とし、当該作業が完了する事業として想定している時間。</p>	作業内容	有効性評価上の作業時間 <sup>※1</sup>	移動時間 <sup>※2</sup>	作業時間 <sup>※3</sup>	評価結果	低圧代替注水系（常設）準備操作	30分	8分(12分)	4分	○ 14分(18分)	原子炉格納容器ベント準備操作	1時間	9分(14分)	2分	○ 32分(37分)	原子炉格納容器ベント準備操作	1時間	6分(9分)	2分	○ 8分(11分)	残留熱除去系 原子炉停止時冷却モード準備	準備30分 操作10分	19分(29分)	20分	○ 49分(59分)	低圧注水系から停止時冷却モード切替	30分	5分(8分)	7分	○ 12分(15分)	高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-1~2)	準備30分 操作10分	5分(8分)	5分	○ 11分(14分)	代替原子炉補機冷却系 準備操作	1時間	49分(1時間)	1時間20分	○ 4時間09分(4時間20分)	原子炉格納容器ベント操作	1時間	2分(3分)	2分	○ 4分(5分)	高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-2~4M用)	準備30分 操作15分	10分(15分)	11分	○ 24分(29分)	常設代替交流電源設備からの受電操作	準備30分 操作10分	8分(12分)	13分	○ 25分(29分)	常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 B系 受電操作	準備30分 操作10分	3分(5分)	18分	○ 21分(23分)	常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 C系 受電操作	準備30分 操作10分	4分(6分)	14分	○ 18分(20分)	常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 D系 受電操作	準備30分 操作10分	5分(8分)	20分	○ 25分(28分)	常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 E系 受電操作	準備30分 操作10分	5分(8分)	20分	○ 25分(28分)	低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作	2時間15分(17分)機庫取り出し含む	20分(30分)	1時間12分	○ 1時間32分(1時間42分)	代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による格納容器スプレイ冷却	準備2時間 操作30分	20分(30分)	40分	○ 1時間(1時間10分)	代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による格納容器スプレイ冷却準備	1時間20分	5分(8分)	4分	○ 31分(34分)	低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作	1時間20分	5分(8分)	4分	○ 9分(12分)	低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作	30分	8分(12分)	4分	○ 14分(18分)	高圧中心注水系からの漏えい停止操作（現場操作）	1時間30分	20分(30分)	40分	○ 1時間(1時間10分)	代替格納容器冷却系 準備操作	その1:1時間 その2:30分	その1:18分(12分) その2:16分(9分)	その1:40分 その2:15分	○ その1:34分(38分) ○ その2:21分(24分)	原子炉格納容器下部注水系 準備	準備30分 操作10分	8分(12分)	6分	○ 14分(18分)	燃料プール水位低下要因調査及び隔離	調査30分 隔離30分	調査30分 隔離30分	15分	○ 21分(24分)	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）運転	30分	5分(8分)	7分	○ 12分(15分)	原子炉ウエル水位低下調査及び隔離（原子炉冷却材の流出）	50分	4分(6分)	1分	2時間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業名</th> <th>有効性評価上の作業時間<sup>※1</sup></th> <th>移動時間<sup>※2</sup></th> <th>作業時間<sup>※3</sup></th> <th>有効性評価想定時間<sup>※4</sup></th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低圧代替注水系（常設）準備操作</td> <td>30分</td> <td>8分(12分)</td> <td>6分</td> <td>120分</td> <td>○ 14分(18分)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 停止時冷却モード準備</td> <td>30分</td> <td>4分(6分)</td> <td>1分</td> <td>12時間</td> <td>○ 5分(7分)</td> </tr> <tr> <td>低圧注水系から停止時冷却モード切替</td> <td>30分</td> <td>4分(6分)</td> <td>1分</td> <td>13時間30分</td> <td>○ 5分(7分)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備 準備操作（第一ガスタービン発電機）</td> <td>50分</td> <td>5分(8分)</td> <td>20分</td> <td>60分</td> <td>○ 25分(28分)</td> </tr> <tr> <td>高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-1~2)</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>4分(6分)</td> <td>7分</td> <td>8時間</td> <td>○ 11分(13分)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系 準備操作</td> <td>300分</td> <td>1時間(1時間30分)</td> <td>3時間15分</td> <td>20時間</td> <td>○ 4時間15分(4時間45分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器ベント準備操作</td> <td>60分</td> <td>4分(6分)</td> <td>5分</td> <td>16時間</td> <td>○ 9分(11分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器ベント準備操作</td> <td>60分</td> <td>-</td> <td>2分</td> <td>約16時間</td> <td>○ 2分</td> </tr> <tr> <td>高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-2~4M用)</td> <td>準備30分 操作15分</td> <td>4分(6分)</td> <td>7分</td> <td>8時間</td> <td>○ 11分(13分)</td> </tr> <tr> <td>高圧中心注水系からの漏えい停止操作</td> <td>60分</td> <td>10分(15分)</td> <td>20分</td> <td>4時間</td> <td>○ 30分(35分)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備からの受電操作</td> <td>10分</td> <td>-</td> <td>5分</td> <td>70分</td> <td>○ 5分</td> </tr> <tr> <td>高内蔵電気直流電源からの遮断器用制御電源受電操作</td> <td>準備30分 操作10分</td> <td>4分(6分)</td> <td>17分</td> <td>24時間</td> <td>○ 21分(23分)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器冷却準備</td> <td>その1:120分 その2:30分</td> <td>その1:18分(12分) その2:16分</td> <td>その1:40分 その2:15分</td> <td>20時間</td> <td>○ その1:40分(64分) ○ その2:15分</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 準備操作</td> <td>30分</td> <td>8分(12分)</td> <td>6分</td> <td>10時間</td> <td>○ 14分(18分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水系 準備</td> <td>30分</td> <td>8分(12分)</td> <td>6分</td> <td>1.5時間</td> <td>○ 14分(18分)</td> </tr> <tr> <td>燃料プール水位低下要因調査及び隔離</td> <td>調査40分 隔離30分</td> <td>6分(9分)</td> <td>5分</td> <td>2.5時間</td> <td>○ 11分(14分)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系（停止時冷却モード）運転</td> <td>30分</td> <td>4分(6分)</td> <td>1分</td> <td>3.5時間</td> <td>○ 5分(7分)</td> </tr> <tr> <td>原子炉ウエル水位低下調査及び隔離（原子炉冷却材の流出）</td> <td>50分</td> <td>4分(6分)</td> <td>1分</td> <td>2時間</td> <td>○ 5分(7分)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 有効性評価で、当該作業に要する時間として想定している時間。 ※2 屋内作業の移動時間について、通常の移動時間から1.5倍した時間を括弧内に記載している。 ※3 有効性評価で、事象発生を起点とし、当該作業が完了する事業として想定している時間。</p>	作業名	有効性評価上の作業時間 <sup>※1</sup>	移動時間 <sup>※2</sup>	作業時間 <sup>※3</sup>	有効性評価想定時間 <sup>※4</sup>	評価結果	低圧代替注水系（常設）準備操作	30分	8分(12分)	6分	120分	○ 14分(18分)	残留熱除去系 停止時冷却モード準備	30分	4分(6分)	1分	12時間	○ 5分(7分)	低圧注水系から停止時冷却モード切替	30分	4分(6分)	1分	13時間30分	○ 5分(7分)	常設代替交流電源設備 準備操作（第一ガスタービン発電機）	50分	5分(8分)	20分	60分	○ 25分(28分)	高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-1~2)	準備30分 操作10分	4分(6分)	7分	8時間	○ 11分(13分)	代替原子炉補機冷却系 準備操作	300分	1時間(1時間30分)	3時間15分	20時間	○ 4時間15分(4時間45分)	原子炉格納容器ベント準備操作	60分	4分(6分)	5分	16時間	○ 9分(11分)	原子炉格納容器ベント準備操作	60分	-	2分	約16時間	○ 2分	高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-2~4M用)	準備30分 操作15分	4分(6分)	7分	8時間	○ 11分(13分)	高圧中心注水系からの漏えい停止操作	60分	10分(15分)	20分	4時間	○ 30分(35分)	常設代替交流電源設備からの受電操作	10分	-	5分	70分	○ 5分	高内蔵電気直流電源からの遮断器用制御電源受電操作	準備30分 操作10分	4分(6分)	17分	24時間	○ 21分(23分)	代替格納容器冷却準備	その1:120分 その2:30分	その1:18分(12分) その2:16分	その1:40分 その2:15分	20時間	○ その1:40分(64分) ○ その2:15分	代替格納容器スプレイ冷却系 準備操作	30分	8分(12分)	6分	10時間	○ 14分(18分)	原子炉格納容器下部注水系 準備	30分	8分(12分)	6分	1.5時間	○ 14分(18分)	燃料プール水位低下要因調査及び隔離	調査40分 隔離30分	6分(9分)	5分	2.5時間	○ 11分(14分)	残留熱除去系（停止時冷却モード）運転	30分	4分(6分)	1分	3.5時間	○ 5分(7分)	原子炉ウエル水位低下調査及び隔離（原子炉冷却材の流出）	50分	4分(6分)	1分	2時間	○ 5分(7分)	⑤
作業内容	有効性評価上の作業時間 <sup>※1</sup>	移動時間 <sup>※2</sup>	作業時間 <sup>※3</sup>	評価結果																																																																																																																																																																																																																																																					
低圧代替注水系（常設）準備操作	30分	8分(12分)	4分	○ 14分(18分)																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉格納容器ベント準備操作	1時間	9分(14分)	2分	○ 32分(37分)																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉格納容器ベント準備操作	1時間	6分(9分)	2分	○ 8分(11分)																																																																																																																																																																																																																																																					
残留熱除去系 原子炉停止時冷却モード準備	準備30分 操作10分	19分(29分)	20分	○ 49分(59分)																																																																																																																																																																																																																																																					
低圧注水系から停止時冷却モード切替	30分	5分(8分)	7分	○ 12分(15分)																																																																																																																																																																																																																																																					
高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-1~2)	準備30分 操作10分	5分(8分)	5分	○ 11分(14分)																																																																																																																																																																																																																																																					
代替原子炉補機冷却系 準備操作	1時間	49分(1時間)	1時間20分	○ 4時間09分(4時間20分)																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉格納容器ベント操作	1時間	2分(3分)	2分	○ 4分(5分)																																																																																																																																																																																																																																																					
高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-2~4M用)	準備30分 操作15分	10分(15分)	11分	○ 24分(29分)																																																																																																																																																																																																																																																					
常設代替交流電源設備からの受電操作	準備30分 操作10分	8分(12分)	13分	○ 25分(29分)																																																																																																																																																																																																																																																					
常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 B系 受電操作	準備30分 操作10分	3分(5分)	18分	○ 21分(23分)																																																																																																																																																																																																																																																					
常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 C系 受電操作	準備30分 操作10分	4分(6分)	14分	○ 18分(20分)																																																																																																																																																																																																																																																					
常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 D系 受電操作	準備30分 操作10分	5分(8分)	20分	○ 25分(28分)																																																																																																																																																																																																																																																					
常設代替交流電源設備からの非常用高圧降線 E系 受電操作	準備30分 操作10分	5分(8分)	20分	○ 25分(28分)																																																																																																																																																																																																																																																					
低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作	2時間15分(17分)機庫取り出し含む	20分(30分)	1時間12分	○ 1時間32分(1時間42分)																																																																																																																																																																																																																																																					
代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による格納容器スプレイ冷却	準備2時間 操作30分	20分(30分)	40分	○ 1時間(1時間10分)																																																																																																																																																																																																																																																					
代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による格納容器スプレイ冷却準備	1時間20分	5分(8分)	4分	○ 31分(34分)																																																																																																																																																																																																																																																					
低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作	1時間20分	5分(8分)	4分	○ 9分(12分)																																																																																																																																																																																																																																																					
低圧代替注水系（可搬型）による原子炉注水準備操作	30分	8分(12分)	4分	○ 14分(18分)																																																																																																																																																																																																																																																					
高圧中心注水系からの漏えい停止操作（現場操作）	1時間30分	20分(30分)	40分	○ 1時間(1時間10分)																																																																																																																																																																																																																																																					
代替格納容器冷却系 準備操作	その1:1時間 その2:30分	その1:18分(12分) その2:16分(9分)	その1:40分 その2:15分	○ その1:34分(38分) ○ その2:21分(24分)																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉格納容器下部注水系 準備	準備30分 操作10分	8分(12分)	6分	○ 14分(18分)																																																																																																																																																																																																																																																					
燃料プール水位低下要因調査及び隔離	調査30分 隔離30分	調査30分 隔離30分	15分	○ 21分(24分)																																																																																																																																																																																																																																																					
残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）運転	30分	5分(8分)	7分	○ 12分(15分)																																																																																																																																																																																																																																																					
原子炉ウエル水位低下調査及び隔離（原子炉冷却材の流出）	50分	4分(6分)	1分	2時間																																																																																																																																																																																																																																																					
作業名	有効性評価上の作業時間 <sup>※1</sup>	移動時間 <sup>※2</sup>	作業時間 <sup>※3</sup>	有効性評価想定時間 <sup>※4</sup>	評価結果																																																																																																																																																																																																																																																				
低圧代替注水系（常設）準備操作	30分	8分(12分)	6分	120分	○ 14分(18分)																																																																																																																																																																																																																																																				
残留熱除去系 停止時冷却モード準備	30分	4分(6分)	1分	12時間	○ 5分(7分)																																																																																																																																																																																																																																																				
低圧注水系から停止時冷却モード切替	30分	4分(6分)	1分	13時間30分	○ 5分(7分)																																																																																																																																																																																																																																																				
常設代替交流電源設備 準備操作（第一ガスタービン発電機）	50分	5分(8分)	20分	60分	○ 25分(28分)																																																																																																																																																																																																																																																				
高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-1~2)	準備30分 操作10分	4分(6分)	7分	8時間	○ 11分(13分)																																																																																																																																																																																																																																																				
代替原子炉補機冷却系 準備操作	300分	1時間(1時間30分)	3時間15分	20時間	○ 4時間15分(4時間45分)																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納容器ベント準備操作	60分	4分(6分)	5分	16時間	○ 9分(11分)																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納容器ベント準備操作	60分	-	2分	約16時間	○ 2分																																																																																																																																																																																																																																																				
高内蔵電気直流電源設備切替操作 (A-2~4M用)	準備30分 操作15分	4分(6分)	7分	8時間	○ 11分(13分)																																																																																																																																																																																																																																																				
高圧中心注水系からの漏えい停止操作	60分	10分(15分)	20分	4時間	○ 30分(35分)																																																																																																																																																																																																																																																				
常設代替交流電源設備からの受電操作	10分	-	5分	70分	○ 5分																																																																																																																																																																																																																																																				
高内蔵電気直流電源からの遮断器用制御電源受電操作	準備30分 操作10分	4分(6分)	17分	24時間	○ 21分(23分)																																																																																																																																																																																																																																																				
代替格納容器冷却準備	その1:120分 その2:30分	その1:18分(12分) その2:16分	その1:40分 その2:15分	20時間	○ その1:40分(64分) ○ その2:15分																																																																																																																																																																																																																																																				
代替格納容器スプレイ冷却系 準備操作	30分	8分(12分)	6分	10時間	○ 14分(18分)																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納容器下部注水系 準備	30分	8分(12分)	6分	1.5時間	○ 14分(18分)																																																																																																																																																																																																																																																				
燃料プール水位低下要因調査及び隔離	調査40分 隔離30分	6分(9分)	5分	2.5時間	○ 11分(14分)																																																																																																																																																																																																																																																				
残留熱除去系（停止時冷却モード）運転	30分	4分(6分)	1分	3.5時間	○ 5分(7分)																																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉ウエル水位低下調査及び隔離（原子炉冷却材の流出）	50分	4分(6分)	1分	2時間	○ 5分(7分)																																																																																																																																																																																																																																																				
91	6.(1)	1.0.2-150	<p>柏崎エネルギーホール又は刈羽寮に集合した要員は、発電所対策本部と非常召集に係る以下の確認、調整を行い、通信連絡設備、懐中電灯等を持参し、発電所と連絡を取りながら集団で移動する。柏崎エネルギーホール、刈羽寮には通信連絡設備として衛星電話設備（可搬型）を各10台配備する。</p> <p>①発電所の状況（発電所への移動が可能なプラント状況かどうか（原子炉格納容器ベントの実施見通し）、発電所に行くための必要な装備（放射線防護服、マスク、線量計を含む）） ②その他発電所で得られた情報（発電所への移動に関する道路状況等、移動するうえで有益な情報） ③発電所へ移動する人の情報（人数、体調、移動手段（徒歩、車両）、連絡先）</p>	<p>柏崎エネルギーホール又は刈羽寮に参集した要員は、発電所対策本部と非常召集に係る以下の確認、調整を行い、発電所に移動する。</p> <p>①発電所の状況、召集人数、必要な装備（放射線防護服、マスク、線量計を含む） ②召集した要員の確認（人数、体調等） ③持参品（通信連絡設備、懐中電灯等） ④天候、災害情報（道路状況含む）等 ⑤参集場所</p>	⑤																																																																																																																																																																																																																																																				
92	6.(2)	1.0.2-151	<p>発電所対策本部（全体体制）については、発電所員約1,120名のうち、約900名（平成29年4月現在）が柏崎市又は刈羽村に在住しており、数時間で相当数の要員の非常召集が可能である。</p>	<p>発電所対策本部（全体体制）については、発電所員約1,160名のうち、約890名（平成28年12月現在）が柏崎市又は刈羽村に在住しており、数時間で相当数の要員の非常召集が可能である。</p>	⑤																																																																																																																																																																																																																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
93	9.別紙1	1.0.2-152	(表題) アクセスルートへの外部事象の重畳による影響について	(表題) アクセスルートへの自然現象の重畳による影響について	③(森林火災事象の扱いをこれまでの自然現象から人為事象に変更)
94	9.別紙1	1.0.2-158	(18a)津波 × 森林火災 屋外ルート: 増長する影響モードなし。	(18a)津波 × 森林火災 屋外ルート: 高台より西側(海側)のアクセスルートを使用する。	⑤
95	9.別紙1	1.0.2-164	(39b)森林火災 × 風 作業環境: 強風の場合は重大事故等対処設備を移動する。気象予報を踏まえ、移動作業もできないレベルの強風が想定される場合はプラントを停止する。	(39b)森林火災 × 風 作業環境: 増長する影響モードなし。	⑤(記載の拡充(反映漏れ))
96	9.別紙2 第1図	1.0.2-170			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																												
97	9.別紙3 第2表 第3表	1.0.2-175	<p>第2表 その他の可搬型設備 (6号炉)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名称</th> <th>口数</th> <th>接続方法</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直流給電車</td> <td>3箇所 (原子炉建屋 南, コントロール建屋北, 南)</td> <td>圧縮端子接続 (羽子板)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td>3箇所 (タービン建屋 西, 南, 北)</td> <td>フランジ</td> <td>250A</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置 N2 パージ用)</td> <td>1箇所 (原子炉建屋 東)</td> <td>接合金具</td> <td>25A</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置 (耐圧強化バント N2 パージ用)</td> <td>1箇所 (タービン建屋1階 東)</td> <td>接合金具</td> <td>25A</td> </tr> <tr> <td>スクラバ水 pH 制御設備 (格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御用)</td> <td>1箇所 (フィルタバント遮蔽壁 南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3表 可搬型設備のうち原子炉建屋の外から水又は電力を供給するもの (7号炉)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名称</th> <th>口数</th> <th>接続方法</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (大容量注水用)</td> <td>2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口</td> <td>1箇所 (廃棄物処理建屋 西)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (可搬式用)</td> <td>2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・ウェル接続口</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 東, 南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 南, 北)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口 (可搬式)</td> <td>1箇所 (原子炉建屋 東)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 東, 北)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口 (可搬式)</td> <td>1箇所 (原子炉建屋 南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車)</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 南, 北)</td> <td>貫通口</td> <td>175A</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様	直流給電車	3箇所 (原子炉建屋 南, コントロール建屋北, 南)	圧縮端子接続 (羽子板)	-	代替原子炉補機冷却系	3箇所 (タービン建屋 西, 南, 北)	フランジ	250A	可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置 N2 パージ用)	1箇所 (原子炉建屋 東)	接合金具	25A	可搬型窒素供給装置 (耐圧強化バント N2 パージ用)	1箇所 (タービン建屋1階 東)	接合金具	25A	スクラバ水 pH 制御設備 (格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御用)	1箇所 (フィルタバント遮蔽壁 南)	接合金具	75A	可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (大容量注水用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口	1箇所 (廃棄物処理建屋 西)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (可搬式用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・ウェル接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 南)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口 (可搬式)	1箇所 (原子炉建屋 東)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 北)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口 (可搬式)	1箇所 (原子炉建屋 南)	接合金具	75A	可搬型代替交流電源設備 (電源車)	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	貫通口	175A	<p>表2 その他の可搬型設備 (6号炉)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名称</th> <th>口数</th> <th>接続方法</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直流給電車</td> <td>3箇所 (原子炉建屋 南, コントロール建屋北, 南)</td> <td>圧縮端子接続 (羽子板)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td>3箇所 (タービン建屋 西, 南, 北)</td> <td>接合金具</td> <td>250A</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)</td> <td>1箇所 (原子炉建屋 東)</td> <td>接合金具</td> <td>25A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) (格納容器圧力逃がし装置スクラバ用)</td> <td>1箇所 (FVCS 南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3 可搬型設備のうち原子炉建屋の外から水又は電力を供給するもの (7号炉)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名称</th> <th>口数</th> <th>接続方法</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (大容量注水用)</td> <td>2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口</td> <td>1箇所 (廃棄物処理建屋 西)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (可搬式用)</td> <td>2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・ウェル接続口</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 東, 南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 南, 北)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口 (可搬式)</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 東, 南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 東, 北)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口 (可搬式)</td> <td>1箇所 (原子炉建屋 南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車)</td> <td>2箇所 (原子炉建屋 南, 北)</td> <td>貫通口</td> <td>175A</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様	直流給電車	3箇所 (原子炉建屋 南, コントロール建屋北, 南)	圧縮端子接続 (羽子板)	-	代替原子炉補機冷却系	3箇所 (タービン建屋 西, 南, 北)	接合金具	250A	可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	1箇所 (原子炉建屋 東)	接合金具	25A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) (格納容器圧力逃がし装置スクラバ用)	1箇所 (FVCS 南)	接合金具	75A	可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (大容量注水用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口	1箇所 (廃棄物処理建屋 西)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (可搬式用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・ウェル接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 南)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口 (可搬式)	2箇所 (原子炉建屋 東, 南)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 北)	接合金具	75A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口 (可搬式)	1箇所 (原子炉建屋 南)	接合金具	75A	可搬型代替交流電源設備 (電源車)	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	貫通口	175A	②(設計進捗に伴い、可搬型設備、接続口数・場所を変更)
可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様																																																																																																																														
直流給電車	3箇所 (原子炉建屋 南, コントロール建屋北, 南)	圧縮端子接続 (羽子板)	-																																																																																																																														
代替原子炉補機冷却系	3箇所 (タービン建屋 西, 南, 北)	フランジ	250A																																																																																																																														
可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置 N2 パージ用)	1箇所 (原子炉建屋 東)	接合金具	25A																																																																																																																														
可搬型窒素供給装置 (耐圧強化バント N2 パージ用)	1箇所 (タービン建屋1階 東)	接合金具	25A																																																																																																																														
スクラバ水 pH 制御設備 (格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御用)	1箇所 (フィルタバント遮蔽壁 南)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (大容量注水用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口	1箇所 (廃棄物処理建屋 西)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (可搬式用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・ウェル接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 南)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口 (可搬式)	1箇所 (原子炉建屋 東)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 北)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口 (可搬式)	1箇所 (原子炉建屋 南)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替交流電源設備 (電源車)	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	貫通口	175A																																																																																																																														
可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様																																																																																																																														
直流給電車	3箇所 (原子炉建屋 南, コントロール建屋北, 南)	圧縮端子接続 (羽子板)	-																																																																																																																														
代替原子炉補機冷却系	3箇所 (タービン建屋 西, 南, 北)	接合金具	250A																																																																																																																														
可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	1箇所 (原子炉建屋 東)	接合金具	25A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) (格納容器圧力逃がし装置スクラバ用)	1箇所 (FVCS 南)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (大容量注水用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口	1箇所 (廃棄物処理建屋 西)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・CSP接続口 (可搬式用)	2箇所 (廃棄物処理建屋 東, 西)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・ウェル接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 南)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・MUWC接続口 (可搬式)	2箇所 (原子炉建屋 東, 南)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口	2箇所 (原子炉建屋 東, 北)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) ・SFP接続口 (可搬式)	1箇所 (原子炉建屋 南)	接合金具	75A																																																																																																																														
可搬型代替交流電源設備 (電源車)	2箇所 (原子炉建屋 南, 北)	貫通口	175A																																																																																																																														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



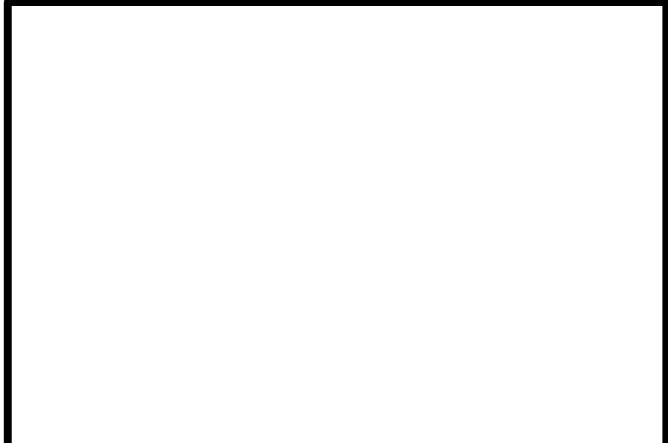
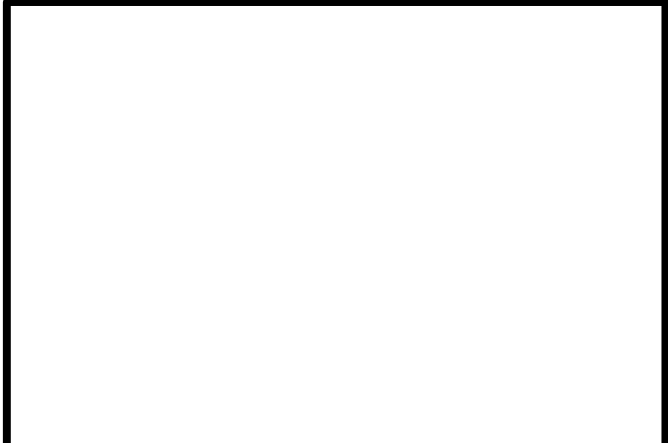
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																												
98	9.別紙3 第4表	1.0.2-176	<p>第4表 その他の可搬型設備 (7号炉)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名称</th> <th>口数</th> <th>接続方法</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直流給電車</td> <td>3箇所 (原子炉建屋南, コントロール建屋北,南)</td> <td>圧縮端子接続 (羽子板)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td>2箇所 (タービン建屋西,南)</td> <td>フランジ</td> <td>250A</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置 N2バージ用)</td> <td>1箇所 (原子炉建屋南)</td> <td>接合金具</td> <td>25A</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置 (耐圧強化バント N2バージ用)</td> <td>1箇所 (タービン建屋1階東)</td> <td>接合金具</td> <td>25A</td> </tr> <tr> <td>スクラバ水 pH制御設備 (格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御用)</td> <td>1箇所 (フィルタバント遮蔽壁南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様	直流給電車	3箇所 (原子炉建屋南, コントロール建屋北,南)	圧縮端子接続 (羽子板)	—	代替原子炉補機冷却系	2箇所 (タービン建屋西,南)	フランジ	250A	可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置 N2バージ用)	1箇所 (原子炉建屋南)	接合金具	25A	可搬型窒素供給装置 (耐圧強化バント N2バージ用)	1箇所 (タービン建屋1階東)	接合金具	25A	スクラバ水 pH制御設備 (格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御用)	1箇所 (フィルタバント遮蔽壁南)	接合金具	75A	<p>表4 その他の可搬型設備 (7号炉)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名称</th> <th>口数</th> <th>接続方法</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直流給電車</td> <td>3箇所 (原子炉建屋南, コントロール建屋北,南)</td> <td>圧縮端子接続 (羽子板)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td>2箇所 (タービン建屋西,南)</td> <td>フランジ</td> <td>250A</td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)</td> <td>1箇所 (原子炉建屋南)</td> <td>接合金具</td> <td>25A</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車) (格納容器圧力逃がし装置スクラバ用)</td> <td>1箇所 (FVCS南)</td> <td>接合金具</td> <td>75A</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様	直流給電車	3箇所 (原子炉建屋南, コントロール建屋北,南)	圧縮端子接続 (羽子板)	—	代替原子炉補機冷却系	2箇所 (タービン建屋西,南)	フランジ	250A	可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	1箇所 (原子炉建屋南)	接合金具	25A	可搬型代替注水ポンプ (消防車) (格納容器圧力逃がし装置スクラバ用)	1箇所 (FVCS南)	接合金具	75A	②(設計進捗に伴い、可搬型設備追加、接続口場所を変更)
可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様																																														
直流給電車	3箇所 (原子炉建屋南, コントロール建屋北,南)	圧縮端子接続 (羽子板)	—																																														
代替原子炉補機冷却系	2箇所 (タービン建屋西,南)	フランジ	250A																																														
可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置 N2バージ用)	1箇所 (原子炉建屋南)	接合金具	25A																																														
可搬型窒素供給装置 (耐圧強化バント N2バージ用)	1箇所 (タービン建屋1階東)	接合金具	25A																																														
スクラバ水 pH制御設備 (格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水 pH 制御用)	1箇所 (フィルタバント遮蔽壁南)	接合金具	75A																																														
可搬型設備名称	口数	接続方法	仕様																																														
直流給電車	3箇所 (原子炉建屋南, コントロール建屋北,南)	圧縮端子接続 (羽子板)	—																																														
代替原子炉補機冷却系	2箇所 (タービン建屋西,南)	フランジ	250A																																														
可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	1箇所 (原子炉建屋南)	接合金具	25A																																														
可搬型代替注水ポンプ (消防車) (格納容器圧力逃がし装置スクラバ用)	1箇所 (FVCS南)	接合金具	75A																																														
99	9.別紙3 第2図	1.0.2-177			②(設計進捗に伴い可搬型設備の追加、荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) (SA設備の追加) ⑤																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
100	9.別紙3 第3図	1.0.2-178			②(設計進捗に伴い、可搬型設備接続口の追加 (N2ページ))
101	9.別紙3 第4図	1.0.2-179			②(設計進捗に伴い、可搬型設備接続口の追加 (N2ページ))



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】





- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																														
102	9.別紙5	1.0.2-185	<p>※1「原子力発電所及び再処理施設の外部電源における送電鉄塔基礎の安定性評価について」(平成24年2月17日 東京電力株式会社)から抜粋 ※2「原子力発電所等に対する供給信頼性向上対策ならびに原子力発電所等電源線の送電鉄塔基礎の安定性等評価報告書」(平成24年2月 東北電力株式会社)から抜粋</p>	「原子力発電所及び再処理施設の外部電源における送電鉄塔基礎の安定性評価について」(平成24年2月17日報告)から抜粋	⑤																																														
103	9.別紙6 第1表	1.0.2-187	<p style="text-align: center;">第1表 各種文献における崩壊土砂の到達距離</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>文献名</th> <th>記載内容</th> <th>根拠</th> <th>到達距離</th> <th>対象斜面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①土木学会：原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術&lt;技術資料&gt;，2009</td> <td>2004年新潟県中越地震による斜面崩壊事例からの分析結果</td> <td rowspan="3">実績</td> <td>1.4H (斜面高×1.4倍)</td> <td rowspan="5">自然斜面</td> </tr> <tr> <td>②土質工学会：土質工学ハンドブック，1990</td> <td>1969～1974年の崖崩れの事例収集</td> <td>1.4H (斜面高×1.4倍)</td> </tr> <tr> <td>③土木学会：土木工学ハンドブック，1989</td> <td>1972～1982年に発生した急傾斜地3500地区の調査結果</td> <td>0.55～0.79H (崩壊高×0.55～0.79倍)</td> </tr> <tr> <td>④土砂災害防止法</td> <td>土砂災害警戒区域</td> <td rowspan="2">警戒区域※1</td> <td>2.0H (斜面高×2.0倍)</td> </tr> <tr> <td>⑤宅地防災研究会：宅地防災マニュアルの解説，2007</td> <td>急傾斜地崩壊危険箇所の考え方</td> <td>2.0H (斜面高×2.0倍)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。危険の周知、警戒避難体制の整備等が図られる。</p>	文献名	記載内容	根拠	到達距離	対象斜面	①土木学会：原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術<技術資料>，2009	2004年新潟県中越地震による斜面崩壊事例からの分析結果	実績	1.4H (斜面高×1.4倍)	自然斜面	②土質工学会：土質工学ハンドブック，1990	1969～1974年の崖崩れの事例収集	1.4H (斜面高×1.4倍)	③土木学会：土木工学ハンドブック，1989	1972～1982年に発生した急傾斜地3500地区の調査結果	0.55～0.79H (崩壊高×0.55～0.79倍)	④土砂災害防止法	土砂災害警戒区域	警戒区域※1	2.0H (斜面高×2.0倍)	⑤宅地防災研究会：宅地防災マニュアルの解説，2007	急傾斜地崩壊危険箇所の考え方	2.0H (斜面高×2.0倍)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>文献名</th> <th>記載内容</th> <th>根拠</th> <th>到達距離</th> <th>対象斜面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術（社団法人土木学会，2009）</td> <td>2004年新潟県中越地震による斜面崩壊事例からの分析結果</td> <td rowspan="3">実績</td> <td>1.4H (斜面高×1.4倍)</td> <td rowspan="5">自然斜面</td> </tr> <tr> <td>②土質工学ハンドブック（社団法人土質工学会，1990）</td> <td>1972～1982年に発生した急傾斜地3500地区の調査結果</td> <td>1.4H (斜面高×1.4倍)</td> </tr> <tr> <td>③土木工学ハンドブック（社団法人土木学会，1989）</td> <td>昭和44年～49年の崖崩れの事例収集</td> <td>0.55～0.79H (崩壊高×0.55～0.79倍)</td> </tr> <tr> <td>④土砂災害防止法</td> <td>土砂災害警戒区域</td> <td rowspan="2">警戒区域※</td> <td>2.0H (斜面高×2.0倍)</td> </tr> <tr> <td>⑤宅地防災マニュアルの解説（宅地防災研究会，2007）</td> <td>急傾斜地崩壊危険箇所の考え方</td> <td>2.0H (斜面高×2.0倍)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※警戒区域：建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。危険の周知、警戒避難体制の整備等が図られる。</p>	文献名	記載内容	根拠	到達距離	対象斜面	①原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術（社団法人土木学会，2009）	2004年新潟県中越地震による斜面崩壊事例からの分析結果	実績	1.4H (斜面高×1.4倍)	自然斜面	②土質工学ハンドブック（社団法人土質工学会，1990）	1972～1982年に発生した急傾斜地3500地区の調査結果	1.4H (斜面高×1.4倍)	③土木工学ハンドブック（社団法人土木学会，1989）	昭和44年～49年の崖崩れの事例収集	0.55～0.79H (崩壊高×0.55～0.79倍)	④土砂災害防止法	土砂災害警戒区域	警戒区域※	2.0H (斜面高×2.0倍)	⑤宅地防災マニュアルの解説（宅地防災研究会，2007）	急傾斜地崩壊危険箇所の考え方	2.0H (斜面高×2.0倍)	⑤
文献名	記載内容	根拠	到達距離	対象斜面																																															
①土木学会：原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術<技術資料>，2009	2004年新潟県中越地震による斜面崩壊事例からの分析結果	実績	1.4H (斜面高×1.4倍)	自然斜面																																															
②土質工学会：土質工学ハンドブック，1990	1969～1974年の崖崩れの事例収集		1.4H (斜面高×1.4倍)																																																
③土木学会：土木工学ハンドブック，1989	1972～1982年に発生した急傾斜地3500地区の調査結果		0.55～0.79H (崩壊高×0.55～0.79倍)																																																
④土砂災害防止法	土砂災害警戒区域	警戒区域※1	2.0H (斜面高×2.0倍)																																																
⑤宅地防災研究会：宅地防災マニュアルの解説，2007	急傾斜地崩壊危険箇所の考え方		2.0H (斜面高×2.0倍)																																																
文献名	記載内容	根拠	到達距離	対象斜面																																															
①原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術（社団法人土木学会，2009）	2004年新潟県中越地震による斜面崩壊事例からの分析結果	実績	1.4H (斜面高×1.4倍)	自然斜面																																															
②土質工学ハンドブック（社団法人土質工学会，1990）	1972～1982年に発生した急傾斜地3500地区の調査結果		1.4H (斜面高×1.4倍)																																																
③土木工学ハンドブック（社団法人土木学会，1989）	昭和44年～49年の崖崩れの事例収集		0.55～0.79H (崩壊高×0.55～0.79倍)																																																
④土砂災害防止法	土砂災害警戒区域	警戒区域※	2.0H (斜面高×2.0倍)																																																
⑤宅地防災マニュアルの解説（宅地防災研究会，2007）	急傾斜地崩壊危険箇所の考え方		2.0H (斜面高×2.0倍)																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																		
104	9.別紙6 第6-3図	1.0.2-193	<p>斜面高さの2倍まで崩壊土砂が到達するとした場合、堆積面が多少上側にシフトし、基本ケースよりも復旧ルートの延長は長くなるが、復旧断面積が小さいことから、復旧時間の評価に影響を及ぼすことはない。</p> <p>【検討条件】 基本ケースと同様</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>区間</th> <th>距離 (m)</th> <th>時間評価項目</th> <th>所要時間 (分)</th> <th>累積時間 (分)<sup>1)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第二企業センター～5号炉原子炉建屋</td> <td>約 1,340 (崩壊土砂影響範囲約 190 含む)</td> <td>徒歩移動</td> <td>24<sup>2)</sup></td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内</td> <td>東側入口～緊急時対応所～東側入口</td> <td>徒歩移動</td> <td>14</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>①→②</td> <td>約 1,500 (崩壊土砂影響範囲約 190 含む)</td> <td>徒歩移動</td> <td>26</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>②→③</td> <td>約 780</td> <td>ホイールロード移動</td> <td>4</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③→④</td> <td rowspan="2">約 190</td> <td>土砂撤去</td> <td>151<sup>3)</sup></td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>安全確認</td> <td>19</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④→⑤</td> <td rowspan="2">約 610</td> <td>ホイールロード移動</td> <td>3</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>段差復旧</td> <td>78<sup>4)</sup></td> <td>319</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 2台で実施 (別紙14参照)。2台目は安全な距離を確保するため、1台目の作業開始10分後に開始。 2) 各号炉ホイールロード1台で同時に復旧する (別紙17参照)。 3) 大津側高台保管場所に保管しているホイールロードにて復旧作業を行う場合は、保管場所までの移動時間が短いため、本評価時間よりも短時間で復旧が可能。 4) 初期対応要員が滞在する「第二企業センター又はその近傍に設置する軌跡場所又は荷役場所」については、第二企業センターを起点として評価する。 5) ルートは本文第28-1図参照</p>	区間	距離 (m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積時間 (分) <sup>1)</sup>	第二企業センター～5号炉原子炉建屋	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲約 190 含む)	徒歩移動	24 <sup>2)</sup>	24	5号炉原子炉建屋内	東側入口～緊急時対応所～東側入口	徒歩移動	14	38	①→②	約 1,500 (崩壊土砂影響範囲約 190 含む)	徒歩移動	26	64	②→③	約 780	ホイールロード移動	4	68	③→④	約 190	土砂撤去	151 <sup>3)</sup>	219	安全確認	19	238	④→⑤	約 610	ホイールロード移動	3	241	段差復旧	78 <sup>4)</sup>	319	<p>斜面高さの2倍まで崩壊土砂が到達したとした場合、堆積面が多少上側にシフトし、基本ケースよりも復旧ルートの延長は長くなるが、復旧断面積が小さいことから、復旧時間の評価に影響を及ぼすことはない。</p> <p>【検討条件】 基本ケースと同様</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>区間</th> <th>距離 (m)</th> <th>時間評価項目</th> <th>所要時間 (分)</th> <th>累積時間 (分)<sup>1)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第二企業センター～K5TSC</td> <td>約 1,340 (崩壊土砂影響範囲約 170 含む)</td> <td></td> <td></td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>K5 原子炉内</td> <td></td> <td></td> <td>14</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>①→②</td> <td>約 2,390 (崩壊土砂影響範囲約 1,110 含む)</td> <td>徒歩移動</td> <td>54</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②→③</td> <td>約 250</td> <td>ホイールロード移動</td> <td>1</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③→④</td> <td rowspan="2">約 190</td> <td>土砂撤去</td> <td>151<sup>1)</sup></td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>安全確認</td> <td>19</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④→⑤</td> <td rowspan="2">約 610</td> <td>ホイールロード移動</td> <td>3</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>段差復旧</td> <td>78<sup>2)</sup></td> <td>237</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 2台で実施。2台目は安全な距離を確保するため、1台目の作業開始10分後に開始。 2) 各号炉ホイールロード1台で同時に復旧する。 3) 大津側高台保管場所に保管しているホイールロードにて復旧作業を行う場合は、保管場所までの移動時間が短いため、本評価時間よりも短時間で復旧が可能。</p>	区間	距離 (m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積時間 (分) <sup>1)</sup>	第二企業センター～K5TSC	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲約 170 含む)			24	K5 原子炉内			14	38	①→②	約 2,390 (崩壊土砂影響範囲約 1,110 含む)	徒歩移動	54	—	②→③	約 250	ホイールロード移動	1	55	③→④	約 190	土砂撤去	151 <sup>1)</sup>	206	安全確認	19	225	④→⑤	約 610	ホイールロード移動	3	227	段差復旧	78 <sup>2)</sup>	237	<p>②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤</p>
区間	距離 (m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積時間 (分) <sup>1)</sup>																																																																																			
第二企業センター～5号炉原子炉建屋	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲約 190 含む)	徒歩移動	24 <sup>2)</sup>	24																																																																																			
5号炉原子炉建屋内	東側入口～緊急時対応所～東側入口	徒歩移動	14	38																																																																																			
①→②	約 1,500 (崩壊土砂影響範囲約 190 含む)	徒歩移動	26	64																																																																																			
②→③	約 780	ホイールロード移動	4	68																																																																																			
③→④	約 190	土砂撤去	151 <sup>3)</sup>	219																																																																																			
		安全確認	19	238																																																																																			
④→⑤	約 610	ホイールロード移動	3	241																																																																																			
		段差復旧	78 <sup>4)</sup>	319																																																																																			
区間	距離 (m)	時間評価項目	所要時間 (分)	累積時間 (分) <sup>1)</sup>																																																																																			
第二企業センター～K5TSC	約 1,340 (崩壊土砂影響範囲約 170 含む)			24																																																																																			
K5 原子炉内			14	38																																																																																			
①→②	約 2,390 (崩壊土砂影響範囲約 1,110 含む)	徒歩移動	54	—																																																																																			
②→③	約 250	ホイールロード移動	1	55																																																																																			
③→④	約 190	土砂撤去	151 <sup>1)</sup>	206																																																																																			
		安全確認	19	225																																																																																			
④→⑤	約 610	ホイールロード移動	3	227																																																																																			
		段差復旧	78 <sup>2)</sup>	237																																																																																			
105	9.別紙7 第1図	1.0.2-194			<p>②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)</p>																																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																								
106	9.別紙8 第1表	1.0.2-196	<p>第1表 高起動変圧器保有油量及び漏油受槽受入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変圧器</th> <th>本体貯油量(kl)</th> <th>漏油受槽名称</th> <th>容量(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NO.1 高起動変圧器</td> <td>78.3</td> <td>NO.1 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td>292</td> </tr> <tr> <td>NO.2 高起動変圧器</td> <td>70.0</td> <td>NO.2 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td>281</td> </tr> <tr> <td>NO.3 高起動変圧器</td> <td>70.0</td> <td>NO.3 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td>323</td> </tr> </tbody> </table>	変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )	NO.1 高起動変圧器	78.3	NO.1 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	292	NO.2 高起動変圧器	70.0	NO.2 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	281	NO.3 高起動変圧器	70.0	NO.3 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	323	<p>表 高起動変圧器保有油量及び漏油受槽受入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変圧器</th> <th>本体貯油量(kl)</th> <th>漏油受槽名称</th> <th>容量(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No.1 高起動変圧器</td> <td>74</td> <td>No.1 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td>292</td> </tr> <tr> <td>No.2 高起動変圧器</td> <td>70</td> <td>No.2 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td>281</td> </tr> <tr> <td>No.3 高起動変圧器</td> <td>70</td> <td>No.3 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td>323</td> </tr> </tbody> </table>	変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )	No.1 高起動変圧器	74	No.1 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	292	No.2 高起動変圧器	70	No.2 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	281	No.3 高起動変圧器	70	No.3 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	323	③(評価基準を統一し、再評価した結果を反映																								
変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )																																																										
NO.1 高起動変圧器	78.3	NO.1 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	292																																																										
NO.2 高起動変圧器	70.0	NO.2 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	281																																																										
NO.3 高起動変圧器	70.0	NO.3 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	323																																																										
変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )																																																										
No.1 高起動変圧器	74	No.1 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	292																																																										
No.2 高起動変圧器	70	No.2 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	281																																																										
No.3 高起動変圧器	70	No.3 高起動変圧器用 防油堤及び防災地下タンク	323																																																										
107	9.別紙8 第3表 第4表	1.0.2-197	<p>第3表 6号炉各主要変圧器保有油量及び漏油受槽受入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変圧器</th> <th>本体貯油量(kl)</th> <th>漏油受槽名称</th> <th>容量(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6号炉主変圧器</td> <td>200.0</td> <td rowspan="5">6号炉用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td rowspan="5">555</td> </tr> <tr> <td>6号炉所内変圧器A</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>6号炉所内変圧器B</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>6/7号炉起動変圧器A</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td>6/7号炉起動変圧器B</td> <td>24.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>第4表 7号炉各主要変圧器保有油量及び漏油受槽受入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変圧器</th> <th>本体貯油量(kl)</th> <th>漏油受槽名称</th> <th>容量(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7号炉主変圧器</td> <td>214.0</td> <td rowspan="3">7号炉用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td rowspan="3">829</td> </tr> <tr> <td>7号炉所内変圧器A</td> <td>19.2</td> </tr> <tr> <td>7号炉所内変圧器B</td> <td>19.2</td> </tr> </tbody> </table>	変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )	6号炉主変圧器	200.0	6号炉用 防油堤及び防災地下タンク	555	6号炉所内変圧器A	21.0	6号炉所内変圧器B	21.0	6/7号炉起動変圧器A	24.6	6/7号炉起動変圧器B	24.6	変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )	7号炉主変圧器	214.0	7号炉用 防油堤及び防災地下タンク	829	7号炉所内変圧器A	19.2	7号炉所内変圧器B	19.2	<p>表 6号炉各主要変圧器保有油量及び漏油受槽受入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変圧器</th> <th>本体貯油量(kl)</th> <th>漏油受槽名称</th> <th>容量(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6号炉主変圧器</td> <td>200.0</td> <td rowspan="5">6号炉用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td rowspan="5">556</td> </tr> <tr> <td>6号炉所内変圧器A</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>6号炉所内変圧器B</td> <td>21.0</td> </tr> <tr> <td>6,7号炉起動用変圧器A</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td>6,7号炉起動用変圧器B</td> <td>24.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 7号炉各主要変圧器保有油量及び漏油受槽受入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変圧器</th> <th>本体貯油量(kl)</th> <th>漏油受槽名称</th> <th>容量(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7号炉主変圧器</td> <td>214.0</td> <td rowspan="3">7号炉用 防油堤及び防災地下タンク</td> <td rowspan="3">829</td> </tr> <tr> <td>7号炉所内変圧器A</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>7号炉所内変圧器B</td> <td>20.0</td> </tr> </tbody> </table>	変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )	6号炉主変圧器	200.0	6号炉用 防油堤及び防災地下タンク	556	6号炉所内変圧器A	21.0	6号炉所内変圧器B	21.0	6,7号炉起動用変圧器A	24.6	6,7号炉起動用変圧器B	24.6	変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )	7号炉主変圧器	214.0	7号炉用 防油堤及び防災地下タンク	829	7号炉所内変圧器A	20.0	7号炉所内変圧器B	20.0	③(評価基準を統一し、再評価した結果を反映
変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )																																																										
6号炉主変圧器	200.0	6号炉用 防油堤及び防災地下タンク	555																																																										
6号炉所内変圧器A	21.0																																																												
6号炉所内変圧器B	21.0																																																												
6/7号炉起動変圧器A	24.6																																																												
6/7号炉起動変圧器B	24.6																																																												
変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )																																																										
7号炉主変圧器	214.0	7号炉用 防油堤及び防災地下タンク	829																																																										
7号炉所内変圧器A	19.2																																																												
7号炉所内変圧器B	19.2																																																												
変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )																																																										
6号炉主変圧器	200.0	6号炉用 防油堤及び防災地下タンク	556																																																										
6号炉所内変圧器A	21.0																																																												
6号炉所内変圧器B	21.0																																																												
6,7号炉起動用変圧器A	24.6																																																												
6,7号炉起動用変圧器B	24.6																																																												
変圧器	本体貯油量(kl)	漏油受槽名称	容量(m <sup>3</sup> )																																																										
7号炉主変圧器	214.0	7号炉用 防油堤及び防災地下タンク	829																																																										
7号炉所内変圧器A	20.0																																																												
7号炉所内変圧器B	20.0																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																				
108	9.別紙9 第1図	1.0.2-203			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)																																																																																				
109	9.別紙9	1.0.2-204	なお、油漏えいの防止策として、タンクローリから軽油タンクへの接続は接合金具及び電気的導通性のある耐油ホースを用いている。	なお、油漏えいの防止策として、タンクローリから燃料タンクへの接続は接合金具式を採用している。	⑤																																																																																				
110	9.別紙10 第1表	1.0.2-205	<p>第1表 可搬型設備等の機関吸気口又は排気口までの高さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名</th> <th>機関吸気口高さ<sup>※1</sup></th> <th>機関排気口高さ<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>可搬型代替交流電源設備(電源車)</td><td>約30cm</td><td>約31cm</td></tr> <tr><td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級消防車)</td><td>約32cm</td><td>約30cm</td></tr> <tr><td>直流給電車</td><td>約50cm</td><td>約27cm</td></tr> <tr><td>可搬型代替注水ポンプ(A-1級消防車)</td><td>約37cm</td><td>約27cm</td></tr> <tr><td>6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器トレーラー</td><td>約40cm</td><td>約28cm</td></tr> <tr><td>6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置</td><td>約50cm</td><td>約39cm</td></tr> <tr><td>原子炉建屋放水設備 大容量送水車</td><td>約47cm</td><td>約31cm</td></tr> <tr><td>原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車</td><td>約50cm</td><td>約33cm</td></tr> <tr><td>原子炉建屋放水設備 展張車</td><td>約51cm</td><td>約33cm</td></tr> <tr><td>タンクローリ</td><td>約47cm</td><td>約34cm</td></tr> <tr><td>ホイールローダ</td><td colspan="2">約36cm<sup>※2</sup></td></tr> <tr><td>ショベルカー</td><td colspan="2">約45cm<sup>※2</sup></td></tr> <tr><td>ブルドーザー</td><td colspan="2">約31cm<sup>※2</sup></td></tr> </tbody> </table> <p>※1 吸気口高さ及び排気口高さは、地上面からの測定結果(実測値)。同一可搬型設備名で複数の車種がある場合には最低値を記載。 ※2 重機については、メーカーカタログから確認した最低地上高を記載。</p>	可搬型設備名	機関吸気口高さ <sup>※1</sup>	機関排気口高さ <sup>※1</sup>	可搬型代替交流電源設備(電源車)	約30cm	約31cm	可搬型代替注水ポンプ(A-2級消防車)	約32cm	約30cm	直流給電車	約50cm	約27cm	可搬型代替注水ポンプ(A-1級消防車)	約37cm	約27cm	6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器トレーラー	約40cm	約28cm	6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	約50cm	約39cm	原子炉建屋放水設備 大容量送水車	約47cm	約31cm	原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車	約50cm	約33cm	原子炉建屋放水設備 展張車	約51cm	約33cm	タンクローリ	約47cm	約34cm	ホイールローダ	約36cm <sup>※2</sup>		ショベルカー	約45cm <sup>※2</sup>		ブルドーザー	約31cm <sup>※2</sup>		<p>表1 可搬型設備等の機関吸気口又は排気口までの高さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名</th> <th>機関吸気口高さ<sup>※1</sup></th> <th>機関排気口高さ<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>可搬型代替交流電源設備(電源車)</td><td>約30cm</td><td>約31cm</td></tr> <tr><td>可搬型代替注水ポンプ(消防車)</td><td>約32cm</td><td>約30cm</td></tr> <tr><td>直流給電車</td><td>約50cm</td><td>約26cm</td></tr> <tr><td>可搬型代替注水ポンプ(A-1級消防車)</td><td>約47cm</td><td>約35cm</td></tr> <tr><td>6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器トレーラー</td><td>約40cm</td><td>約28cm</td></tr> <tr><td>6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置</td><td>約90cm</td><td>約37cm</td></tr> <tr><td>原子炉建屋放水設備 大容量送水車</td><td>約141cm</td><td>約34cm</td></tr> <tr><td>原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車</td><td>約110cm</td><td>約36cm</td></tr> <tr><td>原子炉建屋放水設備 展張車</td><td>約108cm</td><td>約38cm</td></tr> <tr><td>タンクローリ</td><td>約47cm</td><td>約34cm</td></tr> <tr><td>ホイールローダ</td><td colspan="2">約36cm<sup>※2</sup></td></tr> <tr><td>ショベルカー</td><td colspan="2">約45cm<sup>※2</sup></td></tr> <tr><td>ブルドーザー</td><td colspan="2">約31cm<sup>※2</sup></td></tr> </tbody> </table> <p>※1 吸気口高さ及び排気口高さは、地上面からの測定結果(実測値)。同一可搬型設備名で複数の車種がある場合には最低値を記載。 ※2 重機については、メーカーカタログから確認した最低地上高を記載。</p>	可搬型設備名	機関吸気口高さ <sup>※1</sup>	機関排気口高さ <sup>※1</sup>	可搬型代替交流電源設備(電源車)	約30cm	約31cm	可搬型代替注水ポンプ(消防車)	約32cm	約30cm	直流給電車	約50cm	約26cm	可搬型代替注水ポンプ(A-1級消防車)	約47cm	約35cm	6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器トレーラー	約40cm	約28cm	6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	約90cm	約37cm	原子炉建屋放水設備 大容量送水車	約141cm	約34cm	原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車	約110cm	約36cm	原子炉建屋放水設備 展張車	約108cm	約38cm	タンクローリ	約47cm	約34cm	ホイールローダ	約36cm <sup>※2</sup>		ショベルカー	約45cm <sup>※2</sup>		ブルドーザー	約31cm <sup>※2</sup>		③(測定基準を統一し、再評価した結果を反映)
可搬型設備名	機関吸気口高さ <sup>※1</sup>	機関排気口高さ <sup>※1</sup>																																																																																							
可搬型代替交流電源設備(電源車)	約30cm	約31cm																																																																																							
可搬型代替注水ポンプ(A-2級消防車)	約32cm	約30cm																																																																																							
直流給電車	約50cm	約27cm																																																																																							
可搬型代替注水ポンプ(A-1級消防車)	約37cm	約27cm																																																																																							
6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器トレーラー	約40cm	約28cm																																																																																							
6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	約50cm	約39cm																																																																																							
原子炉建屋放水設備 大容量送水車	約47cm	約31cm																																																																																							
原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車	約50cm	約33cm																																																																																							
原子炉建屋放水設備 展張車	約51cm	約33cm																																																																																							
タンクローリ	約47cm	約34cm																																																																																							
ホイールローダ	約36cm <sup>※2</sup>																																																																																								
ショベルカー	約45cm <sup>※2</sup>																																																																																								
ブルドーザー	約31cm <sup>※2</sup>																																																																																								
可搬型設備名	機関吸気口高さ <sup>※1</sup>	機関排気口高さ <sup>※1</sup>																																																																																							
可搬型代替交流電源設備(電源車)	約30cm	約31cm																																																																																							
可搬型代替注水ポンプ(消防車)	約32cm	約30cm																																																																																							
直流給電車	約50cm	約26cm																																																																																							
可搬型代替注水ポンプ(A-1級消防車)	約47cm	約35cm																																																																																							
6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器トレーラー	約40cm	約28cm																																																																																							
6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	約90cm	約37cm																																																																																							
原子炉建屋放水設備 大容量送水車	約141cm	約34cm																																																																																							
原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車	約110cm	約36cm																																																																																							
原子炉建屋放水設備 展張車	約108cm	約38cm																																																																																							
タンクローリ	約47cm	約34cm																																																																																							
ホイールローダ	約36cm <sup>※2</sup>																																																																																								
ショベルカー	約45cm <sup>※2</sup>																																																																																								
ブルドーザー	約31cm <sup>※2</sup>																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
111	9.別紙11	1.0.2-206	2. 日時 (1)がれき撤去 平成28年5月17日 14時00分～15時50分 平成28年5月24日 9時30分～10時40分 (2)段差復旧(a) 平成28年6月21日 13時30分～17時30分 (3)段差復旧(b) 平成29年4月14日 13時30分～17時00分 平成29年4月25日 9時30分～11時50分 (4)土砂撤去 平成29年1月10日14時00分～15時30分	2. 日時 平成26年 9月 3日(水)9時30分～10時30分(がれき撤去) 平成28年6月21日(火)15時00分～17時00分, 6月24日(金)13時30分～18時30分, 8月26日(金)15時30分～17時00分(段差復旧(b)) 平成28年 9月 9日(金)10時30分～12時00分(段差復旧(a)) 平成29年1月10日(火)14時00分～15時30分(土砂撤去)	⑤(至近の訓練結果を反映したため)
112	9.別紙11	1.0.2-206	4. 作業員経歴 (1) がれき撤去 作業員A:勤続10年 免許取得後 約2年 作業員B:勤続21年 免許取得後 約4年 作業員C:勤続38年 免許取得後 約3年 (2) 段差復旧(a) 作業員A:勤続20年 免許取得後 約3年 作業員B:勤続10年 免許取得後 約2年 (3) 段差復旧(b) 作業員A:勤続38年 免許取得後 約5年 作業員B:勤続22年 免許取得後 約5年 作業員C:勤続11年 免許取得後 約3年 (4) 土砂撤去 作業員A:勤続37年 免許取得後 約5年 作業員B:勤続21年 免許取得後 約5年	4. 作業員経歴 (1)がれき撤去 作業員A:勤続39年 免許取得後 約2年 作業員B:勤続22年 免許取得後 約2年 作業員C:勤続 5年 免許取得後 約2年 (2) 段差復旧(a) 作業員A:勤続28年 免許取得後 約3.5年 作業員B:勤続37年 免許取得後 約5年 (3)段差復旧(b) 作業員A:勤続 8年 免許取得後 約2年 作業員B:勤続40年 免許取得後 約2年 作業員C:勤続23年 免許取得後 約3年 (4) 土砂撤去 作業員A:勤続36年 免許取得後 約5年 作業員B:勤続22年 免許取得後 約5年	⑤(至近の訓練結果を反映したため)
113	9.別紙11	1.0.2-207	a. 概要 ・ 柏崎刈羽原子力発電所に配備しているホイールローダにより、第1図のとおり、割石(約1t)・古タイヤ(約2.1t)・丸太(末口30cm:7本結束約700kg)・流木(約300kg)を「がれき」に見立て、幅員3mのアクセスルートを確認した際の作業時間を作業員A、B、Cそれぞれ1回計測した。	a. 概要 ・ 柏崎刈羽原子力発電所に配備しているホイールローダにより、図1のとおり、割石(約1.5t)・古タイヤ(約500kg)・丸太(末口30cm:7本結束約700kg)・流木(約100kg)を「がれき」に見立て、幅員3mのアクセスルートを確認した際の作業時間を作業員A、B、Cそれぞれ1回計測した。	⑤(至近の訓練結果を反映したため)
114	9.別紙11	1.0.2-207	・ 作業員A 2分32秒 (1.18km/h) ・ 作業員B 2分05秒 (1.44km/h) ・ 作業員C 2分50秒 (1.05km/h)	・ 作業員A 2分50秒 (1.04km/h) ・ 作業員B 2分39秒 (1.12km/h) ・ 作業員C 2分34秒 (1.17km/h)	⑤(至近の訓練結果を反映したため)



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
115	9.別紙11	1.0.2-209	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業員A 4分43秒</li> <li>作業員B 3分39秒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業員A 4分22秒</li> <li>作業員B 4分47秒</li> </ul>	⑤(至近の訓練結果を反映したため)
116	9.別紙11 第5図	1.0.2-210	<p>○道路段差復旧訓練 概要 (平面)</p> <p>・土砂または碎石で擦り付け              ・3mの幅員確保</p> <p>○道路段差復旧訓練 概要 (断面)</p> <p>・土砂または碎石で擦り付け              ・3mの幅員確保</p>	<p>A-A'断面</p>	⑤(至近の訓練結果を反映したため)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



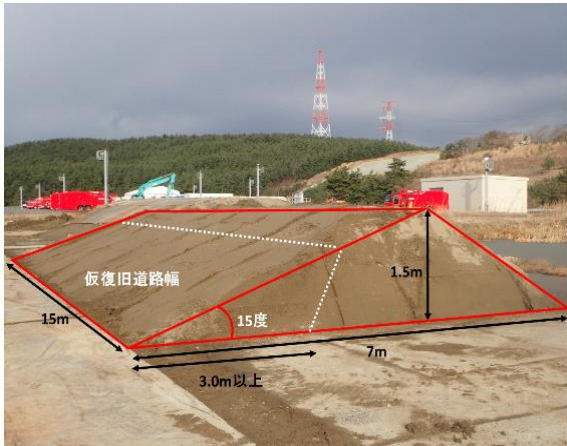
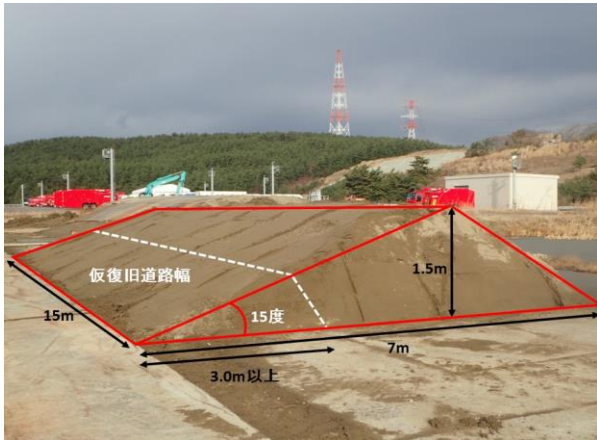
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																		
117	9.別紙11 第6図	1.0.2-211	 <p>第6図 段差復旧状況</p> <p>b. 測定結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>復旧箇所</th> <th>時間</th> <th>サイクル (移動～すくい上げ～移動 ～巻きだし～転圧)</th> <th>1サイクル 当たりの 時間</th> <th>使用砕 石量</th> <th>1サイクル当 たりの作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">作業員A</td> <td>上り</td> <td>21分</td> <td>4</td> <td>約6分</td> <td rowspan="6">4.2m<sup>3</sup></td> <td>約1.0m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>下り</td> <td>16分</td> <td>4</td> <td>約4分</td> <td>約1.0m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業員B</td> <td>上り</td> <td>25分</td> <td>6</td> <td>約5分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>下り</td> <td>26分</td> <td>6</td> <td>約5分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業員C</td> <td>上り</td> <td>18分</td> <td>6</td> <td>約3分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>下り</td> <td>27分</td> <td>6</td> <td>約5分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価値】 上り・下りの復旧とも30分</p>		復旧箇所	時間	サイクル (移動～すくい上げ～移動 ～巻きだし～転圧)	1サイクル 当たりの 時間	使用砕 石量	1サイクル当 たりの作業量	作業員A	上り	21分	4	約6分	4.2m <sup>3</sup>	約1.0m <sup>2</sup>	下り	16分	4	約4分	約1.0m <sup>2</sup>	作業員B	上り	25分	6	約5分	約0.7m <sup>2</sup>	下り	26分	6	約5分	約0.7m <sup>2</sup>	作業員C	上り	18分	6	約3分	約0.7m <sup>2</sup>	下り	27分	6	約5分	約0.7m <sup>2</sup>	 <p>図6 段差復旧状況</p> <p>b. 測定結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>復旧箇所</th> <th>時間</th> <th>サイクル (移動～すくい上げ～移動 ～巻きだし～転圧)</th> <th>1サイクル 当たりの 時間</th> <th>使用砕 石量</th> <th>1サイクル当 たりの作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">作業員A</td> <td>上り</td> <td>21分</td> <td>4</td> <td>約6分</td> <td rowspan="6">4.2m<sup>3</sup></td> <td>約1.0m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>下り</td> <td>16分</td> <td>4</td> <td>約4分</td> <td>約1.0m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業員B</td> <td>上り</td> <td>25分</td> <td>6</td> <td>約5分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>下り</td> <td>26分</td> <td>6</td> <td>約5分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業員C</td> <td>上り</td> <td>18分</td> <td>6</td> <td>約3分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>下り</td> <td>27分</td> <td>6</td> <td>約5分</td> <td>約0.7m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table>		復旧箇所	時間	サイクル (移動～すくい上げ～移動 ～巻きだし～転圧)	1サイクル 当たりの 時間	使用砕 石量	1サイクル当 たりの作業量	作業員A	上り	21分	4	約6分	4.2m <sup>3</sup>	約1.0m <sup>2</sup>	下り	16分	4	約4分	約1.0m <sup>2</sup>	作業員B	上り	25分	6	約5分	約0.7m <sup>2</sup>	下り	26分	6	約5分	約0.7m <sup>2</sup>	作業員C	上り	18分	6	約3分	約0.7m <sup>2</sup>	下り	27分	6	約5分	約0.7m <sup>2</sup>	⑤(至近の訓練結果を反映したため)
	復旧箇所	時間	サイクル (移動～すくい上げ～移動 ～巻きだし～転圧)	1サイクル 当たりの 時間	使用砕 石量	1サイクル当 たりの作業量																																																																																	
作業員A	上り	21分	4	約6分	4.2m <sup>3</sup>	約1.0m <sup>2</sup>																																																																																	
	下り	16分	4	約4分		約1.0m <sup>2</sup>																																																																																	
作業員B	上り	25分	6	約5分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	
	下り	26分	6	約5分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	
作業員C	上り	18分	6	約3分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	
	下り	27分	6	約5分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	
	復旧箇所	時間	サイクル (移動～すくい上げ～移動 ～巻きだし～転圧)	1サイクル 当たりの 時間	使用砕 石量	1サイクル当 たりの作業量																																																																																	
作業員A	上り	21分	4	約6分	4.2m <sup>3</sup>	約1.0m <sup>2</sup>																																																																																	
	下り	16分	4	約4分		約1.0m <sup>2</sup>																																																																																	
作業員B	上り	25分	6	約5分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	
	下り	26分	6	約5分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	
作業員C	上り	18分	6	約3分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	
	下り	27分	6	約5分		約0.7m <sup>2</sup>																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
118	9.別紙11 第7図	1.0.2-212			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤
119	9.別紙11 第8図	1.0.2-213			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
120	9.別紙11	1.0.2-214	<p>d. 土砂撤去作業後の掘削面勾配の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斜面崩壊後の堆積土砂を模擬(第8図)し、柏崎刈羽原子力発電所に配備しているホイールローダにより仮復旧した際の掘削面勾配について、作業員(A,B)の組み合わせで1回計測し、労働安全衛生規則を参考とした60度※以下が確保されていることを検証した(第11図)。</li> <li>※撤去部における堆積土砂厚さが最大でも1m程度であることを踏まえれば、労働安全衛生規則第356条より2m未満の地山(岩盤、堅い粘土以外)として掘削面勾配は90度となるが、堆積土砂の撤去は自然地山の掘削ではないため、仮復旧後の掘削面勾配の基準は、同規則における5mの地山(岩盤、堅い粘土以外)の掘削面勾配である60度とした。</li> </ul>	<p>d. 崩壊土砂撤去作業後の切取勾配の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斜面崩壊土を模擬(図8)し、柏崎刈羽原子力発電所に配備しているホイールローダにより、仮復旧した際の切取勾配について、作業員(A, B)の組み合わせで1回計測した結果、労働安全衛生規則を参考とした60度※以下が確保されていることを検証した。</li> <li>※仮復旧後の切取斜面勾配は撤去部における崩壊土砂堆積厚さが最大でも1m程度であり、労働安全衛生規則第356条において、2m未満の地山(岩盤、堅い粘土以外)の掘削面勾配は(90度)であるが、崩壊土砂の撤去は自然地山の掘削ではないため、同規則における5mの地山(岩盤、堅い粘土以外)の掘削面勾配である60度とした。</li> </ul>	⑤
121	9.別紙13 第1図	1.0.2-221			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化


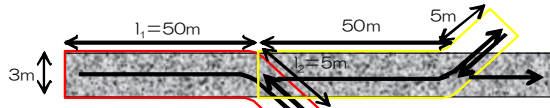
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
122	9.別紙13 第2図	1.0.2-222			②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
123	9.別紙13 第3図	1.0.2-222			⑤
124	9.別紙13 第4図	1.0.2-222			⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
125	9.別紙14	1.0.2-223	<p>・ 溢水範囲とアクセスルートの周辺斜面崩壊箇所は重複するものの、周辺の空地が平坦かつ広大であり、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し、拡散することから、崩壊土砂や撤去作業に影響はない(本文第17図、第21-4図、第25図、別紙30参照)。</p>	<p>・ 溢水範囲は周辺斜面の崩壊箇所とは重複するものの、周辺の空地が平坦かつ広大であり、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し比較的短時間で拡散することから、崩壊土砂や撤去作業に影響はない。(本文図17、図21-6、図25参照)</p>	⑤
126	9.別紙14 第1図 第2図	1.0.2-223	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p> 		②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
127	9.別紙15	1.0.2-225	 <p>サイクルタイム <math>C_m = (l_1 + l_2) \div v_1 + l_2 \div v_2</math>  <math>= 55 \div 41.6 + 5.0 \div 41.6 \approx 1.5 \text{分} / 50\text{m}</math></p>	 <p>サイクルタイム <math>C_m = l_1 \div v_1 + l_2 \div v_2</math>  <math>= 55 / 41.6 + 5.0 / 41.6 \approx 1.5 \text{分} / 50\text{m}</math></p>	⑤
128	9.別紙15	1.0.2-225	 <p>サイクルタイム <math>C_m = (l_1 + l_2) \div v_1 + l_2 \div v_2</math>  <math>= 10 \div 8.3 + 5.0 \div 8.3 \approx 1.8 \text{分} / \text{箇所}</math></p>	 <p>サイクルタイム <math>C_m = l_1 \div v_1 + l_2 \div v_2</math>  <math>= 10 / 8.3 + 5.0 / 8.3 \approx 1.8 \text{分} / \text{箇所}</math></p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正        ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
129	9.別紙16 第2図 第3図	1.0.2-231 ~ 1.0.2-232	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p> 		<p>②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤</p>

# まとめ資料変更箇所リスト

## 【変更理由の類型化】





- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																							
			変更理由が同じため、最初の表のみ記載																																																																																																																																																																									
130	9.別紙17 第1表 第2表	1.0.2-234 ~ 1.0.2-262	<p>① 第1表 柏崎刈羽原子力発電所6号炉 技術的能力における対応手順と操作・作業場所一覧(1/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表文</th> <th rowspan="2">対応手段</th> <th colspan="3">操作・作業場所</th> </tr> <tr> <th>中央</th> <th>屋内アクセスルート</th> <th>屋外アクセスルート※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">1.1. 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等。</td> <td>代替制御挿入機能による制御挿入(自動)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替制御挿入機能による制御挿入(手動)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(代替冷却材再循環ポンプトリップ機能)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(原子炉冷却材再循環ポンプ手動停止機能)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>自動減圧系の起動阻止スイッチによる原子炉出力力上昇防止。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ばう散水注入。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1.2. 原子炉冷却材圧力バウナンドリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等。</td> <td>高圧代替注水系の中央制御室からの操作による発電用原子炉の冷却。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系の現場操作による発電用原子炉の冷却。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系の現場操作による発電用原子炉の冷却(運転員操作)。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>監視及び制御(中央制御室の監視計器)。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ばう散水注入系による遠隔抑制(ばう散水注入系統のバウナンドリ抑制)。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系による発電用原子炉の冷却(設計基準状態)。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1.3. 原子炉冷却材圧力バウナンドリを減圧するための手順等。</td> <td>減圧の自動化(代替自動減圧機能)。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>手動操作による減圧(遠がし安全弁の手動操作による減圧)。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>常設代替直流電源設備による遠がし安全弁閉鎖回復。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>遠がし安全弁用可能型蓄電池による遠がし安全弁閉鎖回復。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>高圧変換ガス供給系による遠がし安全弁閉鎖(不適性ガスからの高圧変換ガス供給系への切替)。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>※ 屋外アクセスルートは、5号炉原子炉建屋内部時対策所から保管場所までの移動ルートを記す。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表文	対応手段	操作・作業場所			中央	屋内アクセスルート	屋外アクセスルート※	1.1. 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等。	代替制御挿入機能による制御挿入(自動)	○	○	○	代替制御挿入機能による制御挿入(手動)	○	○	○	原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(代替冷却材再循環ポンプトリップ機能)	○	○	○	原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(原子炉冷却材再循環ポンプ手動停止機能)	○	○	○	自動減圧系の起動阻止スイッチによる原子炉出力力上昇防止。	○	○	○	ばう散水注入。	○	○	○	1.2. 原子炉冷却材圧力バウナンドリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等。	高圧代替注水系の中央制御室からの操作による発電用原子炉の冷却。	○	○	○	高圧代替注水系の現場操作による発電用原子炉の冷却。	○	○	○	原子炉隔離時冷却系の現場操作による発電用原子炉の冷却(運転員操作)。	○	○	○	監視及び制御(中央制御室の監視計器)。	○	○	○	ばう散水注入系による遠隔抑制(ばう散水注入系統のバウナンドリ抑制)。	○	○	○	原子炉隔離時冷却系による発電用原子炉の冷却(設計基準状態)。	○	○	○	1.3. 原子炉冷却材圧力バウナンドリを減圧するための手順等。	減圧の自動化(代替自動減圧機能)。	○	○	○	手動操作による減圧(遠がし安全弁の手動操作による減圧)。	○	○	○	常設代替直流電源設備による遠がし安全弁閉鎖回復。	○	○	○	遠がし安全弁用可能型蓄電池による遠がし安全弁閉鎖回復。	○	○	○	高圧変換ガス供給系による遠がし安全弁閉鎖(不適性ガスからの高圧変換ガス供給系への切替)。	○	○	○	※ 屋外アクセスルートは、5号炉原子炉建屋内部時対策所から保管場所までの移動ルートを記す。					<p>表1 柏崎刈羽原子力発電所6号炉 技術的能力における対応手順と操作・作業場所一覧(1/16)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表文</th> <th rowspan="2">対応手段</th> <th colspan="3">操作・作業場所</th> </tr> <tr> <th>中央</th> <th>屋内アクセスルート</th> <th>屋外アクセスルート※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等。</td> <td>代替制御挿入機能による制御挿入(自動)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替制御挿入機能による制御挿入(手動)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替制御挿入機能による制御挿入(手動)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(手動)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>自動減圧系の起動阻止スイッチによる原子炉出力力上昇防止。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ばう散水注入。</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1.2 原子炉冷却材圧力バウナンドリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等。</td> <td>中央制御室からの高圧代替注水系統</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>現場手動操作による高圧代替注水系統</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>現場手動操作による原子炉隔離時冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ばう散水注入系による原子炉注水(水質がばう散水注入系統タンクの場合)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系による原子炉注水(設計基準状態)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系による原子炉注水(設計基準状態)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1.3 原子炉冷却材圧力バウナンドリを減圧するための手順等。</td> <td>原子炉減圧の自動化</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>手動による原子炉減圧(遠がし安全弁による減圧)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>常設代替直流電源設備による遠がし安全弁閉鎖</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>遠がし安全弁用可能型蓄電池による遠がし安全弁閉鎖</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>高圧変換ガスポンプによる遠がし安全弁閉鎖回復</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>※ 屋外アクセスルートは、5号炉原子炉建屋内部時対策所から保管場所までの移動ルートを記す。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表文	対応手段	操作・作業場所			中央	屋内アクセスルート	屋外アクセスルート※	1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等。	代替制御挿入機能による制御挿入(自動)	○	○	○	代替制御挿入機能による制御挿入(手動)	○	○	○	代替制御挿入機能による制御挿入(手動)	○	○	○	原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(手動)	○	○	○	自動減圧系の起動阻止スイッチによる原子炉出力力上昇防止。	○	○	○	ばう散水注入。	○	○	○	1.2 原子炉冷却材圧力バウナンドリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等。	中央制御室からの高圧代替注水系統	○	○	○	現場手動操作による高圧代替注水系統	○	○	○	現場手動操作による原子炉隔離時冷却系	○	○	○	ばう散水注入系による原子炉注水(水質がばう散水注入系統タンクの場合)	○	○	○	原子炉隔離時冷却系による原子炉注水(設計基準状態)	○	○	○	高圧炉心注水系による原子炉注水(設計基準状態)	○	○	○	1.3 原子炉冷却材圧力バウナンドリを減圧するための手順等。	原子炉減圧の自動化	○	○	○	手動による原子炉減圧(遠がし安全弁による減圧)	○	○	○	常設代替直流電源設備による遠がし安全弁閉鎖	○	○	○	遠がし安全弁用可能型蓄電池による遠がし安全弁閉鎖	○	○	○	高圧変換ガスポンプによる遠がし安全弁閉鎖回復	○	○	○	※ 屋外アクセスルートは、5号炉原子炉建屋内部時対策所から保管場所までの移動ルートを記す。				③(対応手順の変更(更新)反映)
		表文	対応手段			操作・作業場所																																																																																																																																																																						
中央	屋内アクセスルート			屋外アクセスルート※																																																																																																																																																																								
1.1. 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等。	代替制御挿入機能による制御挿入(自動)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	代替制御挿入機能による制御挿入(手動)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(代替冷却材再循環ポンプトリップ機能)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(原子炉冷却材再循環ポンプ手動停止機能)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	自動減圧系の起動阻止スイッチによる原子炉出力力上昇防止。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	ばう散水注入。	○	○	○																																																																																																																																																																								
1.2. 原子炉冷却材圧力バウナンドリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等。	高圧代替注水系の中央制御室からの操作による発電用原子炉の冷却。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	高圧代替注水系の現場操作による発電用原子炉の冷却。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	原子炉隔離時冷却系の現場操作による発電用原子炉の冷却(運転員操作)。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	監視及び制御(中央制御室の監視計器)。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	ばう散水注入系による遠隔抑制(ばう散水注入系統のバウナンドリ抑制)。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	原子炉隔離時冷却系による発電用原子炉の冷却(設計基準状態)。	○	○	○																																																																																																																																																																								
1.3. 原子炉冷却材圧力バウナンドリを減圧するための手順等。	減圧の自動化(代替自動減圧機能)。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	手動操作による減圧(遠がし安全弁の手動操作による減圧)。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	常設代替直流電源設備による遠がし安全弁閉鎖回復。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	遠がし安全弁用可能型蓄電池による遠がし安全弁閉鎖回復。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	高圧変換ガス供給系による遠がし安全弁閉鎖(不適性ガスからの高圧変換ガス供給系への切替)。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	※ 屋外アクセスルートは、5号炉原子炉建屋内部時対策所から保管場所までの移動ルートを記す。																																																																																																																																																																											
表文	対応手段	操作・作業場所																																																																																																																																																																										
		中央	屋内アクセスルート	屋外アクセスルート※																																																																																																																																																																								
1.1 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等。	代替制御挿入機能による制御挿入(自動)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	代替制御挿入機能による制御挿入(手動)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	代替制御挿入機能による制御挿入(手動)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制(手動)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	自動減圧系の起動阻止スイッチによる原子炉出力力上昇防止。	○	○	○																																																																																																																																																																								
	ばう散水注入。	○	○	○																																																																																																																																																																								
1.2 原子炉冷却材圧力バウナンドリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等。	中央制御室からの高圧代替注水系統	○	○	○																																																																																																																																																																								
	現場手動操作による高圧代替注水系統	○	○	○																																																																																																																																																																								
	現場手動操作による原子炉隔離時冷却系	○	○	○																																																																																																																																																																								
	ばう散水注入系による原子炉注水(水質がばう散水注入系統タンクの場合)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	原子炉隔離時冷却系による原子炉注水(設計基準状態)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	高圧炉心注水系による原子炉注水(設計基準状態)	○	○	○																																																																																																																																																																								
1.3 原子炉冷却材圧力バウナンドリを減圧するための手順等。	原子炉減圧の自動化	○	○	○																																																																																																																																																																								
	手動による原子炉減圧(遠がし安全弁による減圧)	○	○	○																																																																																																																																																																								
	常設代替直流電源設備による遠がし安全弁閉鎖	○	○	○																																																																																																																																																																								
	遠がし安全弁用可能型蓄電池による遠がし安全弁閉鎖	○	○	○																																																																																																																																																																								
	高圧変換ガスポンプによる遠がし安全弁閉鎖回復	○	○	○																																																																																																																																																																								
	※ 屋外アクセスルートは、5号炉原子炉建屋内部時対策所から保管場所までの移動ルートを記す。																																																																																																																																																																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
131	9.別紙17 第1図 ①～⑧	1.0.2-263 ～ 1.0.2-270	変更理由が同じため、最初の図のみ記載 		③(屋内可搬型設備の明示, アクセスルートの更新)
132	9.別紙18 第1図 ①～⑧	1.0.2-271 ～ 1.0.2-278	変更理由が同じため、最初の図のみ記載 		③(アクセスルートの更新)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																			
133	9.別紙19 第1表	1.0.2-279~ 281	<p>変更理由が同じため、最初の表のみ記載</p> <p>第1表 機器等の転倒防止処置等確認結果 (1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設置箇所</th> <th>評価結果</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">廊・ゲート</td> <td>サービス建屋・コントロール建屋連絡水密扉 地下1階(非) T.M.S.L.+6,500</td> <td>・壁面に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>コントロール建屋・クリーンアクセス通路連絡水密扉 地下1階(非) T.M.S.L.+6,500</td> <td>・壁面に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">棚・ラック等</td> <td>サービス建屋私服更衣室 ロッカー T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真2参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>サービス建屋西側EVホール 清掃用具保管棚 T.M.S.L.+6,500</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>サービス建屋西側EVホール 工具棚(S-2) T.M.S.L.+6,500</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理建屋東側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理建屋北側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真4参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理建屋西側通路 工具棚 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※類似の転倒防止処置例は代表例の写真を示す</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設置箇所	評価結果	評価結果	廊・ゲート	サービス建屋・コントロール建屋連絡水密扉 地下1階(非) T.M.S.L.+6,500	・壁面に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○	コントロール建屋・クリーンアクセス通路連絡水密扉 地下1階(非) T.M.S.L.+6,500	・壁面に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○	棚・ラック等	サービス建屋私服更衣室 ロッカー T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真2参照)	○	サービス建屋西側EVホール 清掃用具保管棚 T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	サービス建屋西側EVホール 工具棚(S-2) T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	廃棄物処理建屋東側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	廃棄物処理建屋北側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真4参照)	○	廃棄物処理建屋西側通路 工具棚 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	※類似の転倒防止処置例は代表例の写真を示す				<p>表 機器等の転倒防止処置等確認結果 (類似処置は代表例の写真を示す)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設置箇所</th> <th>評価結果</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">廊・ゲート</td> <td>中央制御室7号炉側 出入りゲート コントロール建屋2F(非) T.M.S.L.+17,300</td> <td>・天井に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>中央制御室6号炉側 出入りゲート コントロール建屋2F(非) T.M.S.L.+17,300</td> <td>・天井に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">棚・ラック等</td> <td>コントロール建屋クリーンアクセス通路 潤滑油保管棚 T.M.S.L.+6,500</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>サービス建屋私服更衣室 ロッカー T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真2参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>サービス建屋西側EVホール 清掃用具保管棚 T.M.S.L.+6,500</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>サービス建屋西側EVホール 工具棚(S-2) T.M.S.L.+6,500</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理建屋東側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理建屋北側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真4参照)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理建屋西側通路 工具棚 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300</td> <td>・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設置箇所	評価結果	評価結果	廊・ゲート	中央制御室7号炉側 出入りゲート コントロール建屋2F(非) T.M.S.L.+17,300	・天井に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○	中央制御室6号炉側 出入りゲート コントロール建屋2F(非) T.M.S.L.+17,300	・天井に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○	棚・ラック等	コントロール建屋クリーンアクセス通路 潤滑油保管棚 T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	サービス建屋私服更衣室 ロッカー T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真2参照)	○	サービス建屋西側EVホール 清掃用具保管棚 T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	サービス建屋西側EVホール 工具棚(S-2) T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	廃棄物処理建屋東側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	廃棄物処理建屋北側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真4参照)	○	廃棄物処理建屋西側通路 工具棚 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○	<p>②(分かり易い例示(写真)に変更、資機材撤去に伴う削除)</p>
			項目	設置箇所	評価結果	評価結果																																																																		
廊・ゲート	サービス建屋・コントロール建屋連絡水密扉 地下1階(非) T.M.S.L.+6,500	・壁面に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○																																																																					
	コントロール建屋・クリーンアクセス通路連絡水密扉 地下1階(非) T.M.S.L.+6,500	・壁面に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○																																																																					
棚・ラック等	サービス建屋私服更衣室 ロッカー T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真2参照)	○																																																																					
	サービス建屋西側EVホール 清掃用具保管棚 T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	サービス建屋西側EVホール 工具棚(S-2) T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	廃棄物処理建屋東側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	廃棄物処理建屋北側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真4参照)	○																																																																					
	廃棄物処理建屋西側通路 工具棚 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	※類似の転倒防止処置例は代表例の写真を示す																																																																							
項目	設置箇所	評価結果	評価結果																																																																					
廊・ゲート	中央制御室7号炉側 出入りゲート コントロール建屋2F(非) T.M.S.L.+17,300	・天井に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○																																																																					
	中央制御室6号炉側 出入りゲート コントロール建屋2F(非) T.M.S.L.+17,300	・天井に固定用アンカーを打設し、転倒防止を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真1参照)	○																																																																					
棚・ラック等	コントロール建屋クリーンアクセス通路 潤滑油保管棚 T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	サービス建屋私服更衣室 ロッカー T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真2参照)	○																																																																					
	サービス建屋西側EVホール 清掃用具保管棚 T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	サービス建屋西側EVホール 工具棚(S-2) T.M.S.L.+6,500	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	廃棄物処理建屋東側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					
	廃棄物処理建屋北側通路 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真4参照)	○																																																																					
	廃棄物処理建屋西側通路 工具棚 長期保管工具棚 T.M.S.L.+12,300	・一般的な転倒防止策を実施 ・転倒した場合でも通行可能な通路幅、乗り越え又は迂回が可能なためアクセス性の問題なし (転倒防止処置例は写真3参照)	○																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																														
134	9.別紙19 第1図	1.0.2-282～ 284	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p> <p>各項目の転倒防止処置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設置物の外観</th> <th>転倒防止対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扉・ゲート (写真1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>棚・ラック等 (写真2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>棚・ラック等 (写真3)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>棚・ラック等 (写真4)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>第1図 転倒防止処置 (1/3)</p>		設置物の外観	転倒防止対策	扉・ゲート (写真1)			棚・ラック等 (写真2)			棚・ラック等 (写真3)			棚・ラック等 (写真4)			<p>各項目の転倒防止処置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設置物の外観</th> <th>転倒防止対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扉・ゲート (写真1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>棚・ラック等 (写真2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>棚・ラック等 (写真3)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>棚・ラック等 (写真4)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		設置物の外観	転倒防止対策	扉・ゲート (写真1)			棚・ラック等 (写真2)			棚・ラック等 (写真3)			棚・ラック等 (写真4)			<p>②(分かり易い例示(写真)に変更, 資機材撤去に伴う削除)</p>
	設置物の外観	転倒防止対策																																	
扉・ゲート (写真1)																																			
棚・ラック等 (写真2)																																			
棚・ラック等 (写真3)																																			
棚・ラック等 (写真4)																																			
	設置物の外観	転倒防止対策																																	
扉・ゲート (写真1)																																			
棚・ラック等 (写真2)																																			
棚・ラック等 (写真3)																																			
棚・ラック等 (写真4)																																			
135	9.別紙19	1.0.2-285	<p>また、中央制御室から非常用電源室までのアクセスルートで設置物を乗り越え箇所は、6号炉2箇所、7号炉2箇所である。よって2箇所の乗り越え時間は10.8秒となる。</p>	<p>また、中央制御室から非常用電源室までのアクセスルートで設置物を乗り越え箇所は、6号炉3箇所、7号炉2箇所である。よって2箇所の乗り越え時間は16.2秒となる。</p>	<p>②(資機材撤去に伴う評価内容修正)</p>																														



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																				
136	9.別紙21 第3表	1.0.2-291	<p>第3表 地震随伴火災を考慮する機器リスト (6号及び7号炉共通)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>機器名称</th> <th>損傷モード</th> <th>評価部位</th> <th>応力分類</th> <th>発生値 (MPa)</th> <th>許容基準値 (MPa)</th> <th>設置区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)(D)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(B)(D)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">14</td> <td rowspan="6">6号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)</td> <td>機能損傷</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>8</td> <td>207</td> <td rowspan="6">BCクラス (耐震裕度有)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>7</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>ポンプ取付ボルト</td> <td>引張</td> <td>7</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>6</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>原動機取付ボルト</td> <td>引張り</td> <td>10</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>6</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">14</td> <td rowspan="6">7号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)</td> <td>機能損傷</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>16</td> <td>207</td> <td rowspan="6">BCクラス (耐震裕度有)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>12</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>ポンプ取付ボルト</td> <td>引張</td> <td>10</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>7</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>原動機取付ボルト</td> <td>引張り</td> <td>19</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>12</td> <td>159</td> </tr> </tbody> </table>	番号	機器名称	損傷モード	評価部位	応力分類	発生値 (MPa)	許容基準値 (MPa)	設置区分	11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス	12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス	13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	14	6号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	8	207	BCクラス (耐震裕度有)			せん断	7	159	機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	7	202			せん断	6	155	機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	10	207			せん断	6	159	14	7号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	16	207	BCクラス (耐震裕度有)			せん断	12	159	機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	10	202			せん断	7	155	機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	19	207			せん断	12	159	<p>表3 地震随伴火災を考慮する機器リスト (6号及び7号炉共通)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>機器名称</th> <th>損傷モード</th> <th>評価部位</th> <th>応力分類</th> <th>発生値 (MPa)</th> <th>許容基準値 (MPa)</th> <th>設置区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)(D)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(B)(D)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>Sクラス</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">14</td> <td rowspan="6">6号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)</td> <td>機能損傷</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>8</td> <td>207</td> <td rowspan="6">BCクラス (耐震裕度有)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>7</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>ポンプ取付ボルト</td> <td>引張</td> <td>7</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>6</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>原動機取付ボルト</td> <td>引張り</td> <td>10</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>6</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">14</td> <td rowspan="6">7号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)</td> <td>機能損傷</td> <td>基礎ボルト</td> <td>引張</td> <td>8</td> <td>207</td> <td rowspan="6">BCクラス (耐震裕度有)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>6</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>ポンプ取付ボルト</td> <td>引張</td> <td>9</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>4</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>機能損傷</td> <td>原動機取付ボルト</td> <td>引張り</td> <td>9</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>せん断</td> <td>6</td> <td>159</td> </tr> </tbody> </table>	番号	機器名称	損傷モード	評価部位	応力分類	発生値 (MPa)	許容基準値 (MPa)	設置区分	11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス	12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス	13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス	14	6号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	8	207	BCクラス (耐震裕度有)			せん断	7	159	機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	7	202			せん断	6	155	機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	10	207			せん断	6	159	14	7号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	8	207	BCクラス (耐震裕度有)			せん断	6	159	機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	9	202			せん断	4	155	機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	9	207			せん断	6	159	③(最新評価結果の反映)
番号	機器名称	損傷モード	評価部位	応力分類	発生値 (MPa)	許容基準値 (MPa)	設置区分																																																																																																																																																																																																																																																		
11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
14	6号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	8	207	BCクラス (耐震裕度有)																																																																																																																																																																																																																																																		
				せん断	7	159																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	7	202																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	6	155																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	10	207																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	6	159																																																																																																																																																																																																																																																			
14	7号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	16	207	BCクラス (耐震裕度有)																																																																																																																																																																																																																																																		
				せん断	12	159																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	10	202																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	7	155																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	19	207																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	12	159																																																																																																																																																																																																																																																			
番号	機器名称	損傷モード	評価部位	応力分類	発生値 (MPa)	許容基準値 (MPa)	設置区分																																																																																																																																																																																																																																																		
11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
11	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
12	6号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(B)(D)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
13	7号炉換気空調補機非常用冷却水系ポンプ(A)(C)	-	-	-	-	-	Sクラス																																																																																																																																																																																																																																																		
14	6号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	8	207	BCクラス (耐震裕度有)																																																																																																																																																																																																																																																		
				せん断	7	159																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	7	202																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	6	155																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	10	207																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	6	159																																																																																																																																																																																																																																																			
14	7号炉復水移送ポンプ(A)(B)(C)	機能損傷	基礎ボルト	引張	8	207	BCクラス (耐震裕度有)																																																																																																																																																																																																																																																		
				せん断	6	159																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	ポンプ取付ボルト	引張	9	202																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	4	155																																																																																																																																																																																																																																																			
		機能損傷	原動機取付ボルト	引張り	9	207																																																																																																																																																																																																																																																			
				せん断	6	159																																																																																																																																																																																																																																																			
137	9.別紙21 第2図 ①~⑧	1.0.2-292 ~ 1.0.2-299	<p>変更理由が同じため、最初のみ記載</p> 		③(アクセスルートの変更)																																																																																																																																																																																																																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
138	9.別紙22 第1表	1.0.2-302	<table border="1"> <thead> <tr> <th>T.M.</th> <th colspan="2">原子炉建屋 (管理区域)</th> <th colspan="2">原子炉建屋 (非管理区域)</th> <th colspan="2">コントロール建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋 (管理区域)</th> <th colspan="2">タービン建屋 (非管理区域)</th> <th colspan="2">廃棄物処理建屋 (管理区域)</th> <th colspan="2">廃棄物処理建屋 (非管理区域)</th> </tr> <tr> <th>S.L.</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>31,700</td><td>○</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27,200</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23,500</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20,400</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18,100</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17,300</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12,300</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8,500</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>4,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4,800</td><td>④⑤</td><td>○</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-1,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-1,700</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-2,700</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-5,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-6,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-8,200</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 ○(数字なし) 有効性評価ではアクセスしないが技術的能力1.1~1.19でアクセスするフロア ○(数字あり) 有効性評価でアクセスするフロア — アクセスしないフロア ■ 建屋毎の対象外フロア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事故現象シナリオ</th> <th>No.</th> <th>事故現象シナリオ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>① 高圧・高圧注水機能喪失</td><td>13</td><td>⑬ 蒸気圧力・温度による静荷重(格納容器過圧・過熱破壊)(代替無条件発生を使用しない場合)</td></tr> <tr><td>2</td><td>② 高圧注水・減圧機能喪失</td><td>14</td><td>⑭ 原子炉格納容器/格納容器熱交換器故障</td></tr> <tr><td>3</td><td>③ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)</td><td>15</td><td>⑮ 原子炉圧力容器外の部材材料-冷材相互作用</td></tr> <tr><td>4</td><td>④ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+配管破裂</td><td>16</td><td>⑯ 水素燃焼</td></tr> <tr><td>5</td><td>⑤ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+原液漏洩発生</td><td>17</td><td>⑰ ① 部材中心・コンクリート相互作用</td></tr> <tr><td>6</td><td>⑥ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+SIV再投入</td><td>18</td><td>— 想定事故1</td></tr> <tr><td>7</td><td>⑦ 蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)</td><td>19</td><td>— 想定事故2</td></tr> <tr><td>8</td><td>⑧ 蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)</td><td>20</td><td>⑳ 蒸気熱除去機能喪失(停止時)</td></tr> <tr><td>9</td><td>⑨ 原子炉停止機能喪失</td><td>21</td><td>㉑ 全交流動力電源喪失(停止時)</td></tr> <tr><td>10</td><td>⑩ LOCA時注水機能喪失</td><td>22</td><td>㉒ 原子炉冷却材の流出(停止時)</td></tr> <tr><td>11</td><td>⑪ 格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)</td><td>23</td><td>— 反応度の観測(停止時)</td></tr> <tr><td>12</td><td>⑫ 蒸気圧力・温度による静荷重(格納容器過圧・過熱破壊)(代替無条件発生を使用しない場合)</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	T.M.	原子炉建屋 (管理区域)		原子炉建屋 (非管理区域)		コントロール建屋		タービン建屋 (管理区域)		タービン建屋 (非管理区域)		廃棄物処理建屋 (管理区域)		廃棄物処理建屋 (非管理区域)		S.L.	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	31,700	○	④⑤	④⑤	④⑤											30,900															27,200	○	○		④⑤											23,500	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤											20,400															18,100	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤											17,300					○	○									16,100															12,300	④⑤	④⑤	○	○	○	○	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤	○	○			8,500					④⑤	④⑤							④⑤	④⑤	4,900							④⑤	④⑤							4,800	④⑤	○	④⑤	④⑤											1,000															-1,100															-1,700	④⑤	④⑤													-2,700					④⑤	④⑤									-5,100															-6,100									④⑤	④⑤					-8,200	○	○													No.	事故現象シナリオ	No.	事故現象シナリオ	1	① 高圧・高圧注水機能喪失	13	⑬ 蒸気圧力・温度による静荷重(格納容器過圧・過熱破壊)(代替無条件発生を使用しない場合)	2	② 高圧注水・減圧機能喪失	14	⑭ 原子炉格納容器/格納容器熱交換器故障	3	③ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)	15	⑮ 原子炉圧力容器外の部材材料-冷材相互作用	4	④ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+配管破裂	16	⑯ 水素燃焼	5	⑤ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+原液漏洩発生	17	⑰ ① 部材中心・コンクリート相互作用	6	⑥ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+SIV再投入	18	— 想定事故1	7	⑦ 蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)	19	— 想定事故2	8	⑧ 蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)	20	⑳ 蒸気熱除去機能喪失(停止時)	9	⑨ 原子炉停止機能喪失	21	㉑ 全交流動力電源喪失(停止時)	10	⑩ LOCA時注水機能喪失	22	㉒ 原子炉冷却材の流出(停止時)	11	⑪ 格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)	23	— 反応度の観測(停止時)	12	⑫ 蒸気圧力・温度による静荷重(格納容器過圧・過熱破壊)(代替無条件発生を使用しない場合)			<table border="1"> <thead> <tr> <th>T.M.</th> <th colspan="2">原子炉建屋 (管理区域)</th> <th colspan="2">原子炉建屋 (非管理区域)</th> <th colspan="2">コントロール建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋 (管理区域)</th> <th colspan="2">タービン建屋 (非管理区域)</th> <th colspan="2">廃棄物処理建屋 (管理区域)</th> <th colspan="2">廃棄物処理建屋 (非管理区域)</th> </tr> <tr> <th>S.L.</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>31,700</td><td>○</td><td>④</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27,200</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23,500</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20,400</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18,100</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17,300</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12,300</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8,500</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td></tr> <tr><td>4,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4,800</td><td>④</td><td>○</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-1,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-1,700</td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-2,700</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-5,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-6,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④⑤</td><td>④⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-8,200</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 ○(数字なし) 有効性評価ではアクセスしないが技術的能力1.1~1.19でアクセスするフロア ○(数字あり) 有効性評価でアクセスするフロア — アクセスしないフロア ■ 建屋毎の対象外フロア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事故現象シナリオ</th> <th>No.</th> <th>事故現象シナリオ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>高圧・高圧注水機能喪失</td><td>⑮</td><td>水素燃焼</td></tr> <tr><td>②</td><td>高圧注水・減圧機能喪失</td><td>⑯</td><td>蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)</td></tr> <tr><td>③</td><td>全交流動力電源喪失</td><td>⑰</td><td>蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)</td></tr> <tr><td>④</td><td>全交流動力電源喪失(取水機能のみ喪失した場合)</td><td>⑱</td><td>原子炉停止機能喪失</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>全交流動力電源喪失(積熱除去系が故障した場合)</td><td>⑳</td><td>LOCA時注水機能喪失</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>原子炉停止機能喪失</td><td>㉑</td><td>格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>LOCA時注水機能喪失</td><td>㉒</td><td>格納容器過圧・過熱破壊</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)</td><td>㉓</td><td>高圧冷却材の流出(停止時)</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)</td><td>㉔</td><td>高圧冷却材の流出(停止時)</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)</td><td>㉕</td><td>反応度の観測(停止時)</td></tr> <tr><td>⑪</td><td>原子炉停止機能喪失</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑫</td><td>LOCA時注水機能喪失</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑬</td><td>格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑭</td><td>蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑰</td><td>蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑱</td><td>原子炉停止機能喪失</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑲</td><td>LOCA時注水機能喪失</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑳</td><td>格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>㉑</td><td>格納容器過圧・過熱破壊</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>㉒</td><td>高圧冷却材の流出(停止時)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>㉓</td><td>高圧冷却材の流出(停止時)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>㉔</td><td>反応度の観測(停止時)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>㉕</td><td>原子炉圧力容器外の部材材料-冷材相互作用</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	T.M.	原子炉建屋 (管理区域)		原子炉建屋 (非管理区域)		コントロール建屋		タービン建屋 (管理区域)		タービン建屋 (非管理区域)		廃棄物処理建屋 (管理区域)		廃棄物処理建屋 (非管理区域)		S.L.	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	31,700	○	④	④⑤	④⑤											30,900															27,200	○	○		④⑤											23,500	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤											20,400															18,100	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤											17,300					○	○									16,100															12,300	④⑤	④⑤	○	○	○	○	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤	○	○			8,500					④⑤	④⑤							④⑤	④⑤	4,900							④⑤	④⑤							4,800	④	○	④⑤	④⑤											1,000															-1,100															-1,700	④⑤	④⑤													-2,700					④⑤	④⑤									-5,100															-6,100									④⑤	④⑤					-8,200	○	○													No.	事故現象シナリオ	No.	事故現象シナリオ	①	高圧・高圧注水機能喪失	⑮	水素燃焼	②	高圧注水・減圧機能喪失	⑯	蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)	③	全交流動力電源喪失	⑰	蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)	④	全交流動力電源喪失(取水機能のみ喪失した場合)	⑱	原子炉停止機能喪失	⑤	全交流動力電源喪失(積熱除去系が故障した場合)	⑳	LOCA時注水機能喪失	⑥	原子炉停止機能喪失	㉑	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)	⑦	LOCA時注水機能喪失	㉒	格納容器過圧・過熱破壊	⑧	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)	㉓	高圧冷却材の流出(停止時)	⑨	蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)	㉔	高圧冷却材の流出(停止時)	⑩	蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)	㉕	反応度の観測(停止時)	⑪	原子炉停止機能喪失			⑫	LOCA時注水機能喪失			⑬	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)			⑭	蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)			⑰	蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)			⑱	原子炉停止機能喪失			⑲	LOCA時注水機能喪失			⑳	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)			㉑	格納容器過圧・過熱破壊			㉒	高圧冷却材の流出(停止時)			㉓	高圧冷却材の流出(停止時)			㉔	反応度の観測(停止時)			㉕	原子炉圧力容器外の部材材料-冷材相互作用			④ (有効性評価の最新状況を反映)
T.M.	原子炉建屋 (管理区域)		原子炉建屋 (非管理区域)		コントロール建屋		タービン建屋 (管理区域)		タービン建屋 (非管理区域)		廃棄物処理建屋 (管理区域)		廃棄物処理建屋 (非管理区域)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
S.L.	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
31,700	○	④⑤	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
30,900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
27,200	○	○		④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
23,500	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20,400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
18,100	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
17,300					○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
16,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
12,300	④⑤	④⑤	○	○	○	○	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8,500					④⑤	④⑤							④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4,900							④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,800	④⑤	○	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-1,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-1,700	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-2,700					④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-5,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-6,100									④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
-8,200	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
No.	事故現象シナリオ	No.	事故現象シナリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1	① 高圧・高圧注水機能喪失	13	⑬ 蒸気圧力・温度による静荷重(格納容器過圧・過熱破壊)(代替無条件発生を使用しない場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2	② 高圧注水・減圧機能喪失	14	⑭ 原子炉格納容器/格納容器熱交換器故障																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3	③ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)	15	⑮ 原子炉圧力容器外の部材材料-冷材相互作用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4	④ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+配管破裂	16	⑯ 水素燃焼																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5	⑤ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+原液漏洩発生	17	⑰ ① 部材中心・コンクリート相互作用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
6	⑥ 全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+SIV再投入	18	— 想定事故1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7	⑦ 蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)	19	— 想定事故2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
8	⑧ 蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)	20	⑳ 蒸気熱除去機能喪失(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9	⑨ 原子炉停止機能喪失	21	㉑ 全交流動力電源喪失(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10	⑩ LOCA時注水機能喪失	22	㉒ 原子炉冷却材の流出(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11	⑪ 格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)	23	— 反応度の観測(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12	⑫ 蒸気圧力・温度による静荷重(格納容器過圧・過熱破壊)(代替無条件発生を使用しない場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
T.M.	原子炉建屋 (管理区域)		原子炉建屋 (非管理区域)		コントロール建屋		タービン建屋 (管理区域)		タービン建屋 (非管理区域)		廃棄物処理建屋 (管理区域)		廃棄物処理建屋 (非管理区域)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
S.L.	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉	6号炉	7号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
31,700	○	④	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
30,900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
27,200	○	○		④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
23,500	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
20,400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
18,100	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
17,300					○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
16,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
12,300	④⑤	④⑤	○	○	○	○	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
8,500					④⑤	④⑤							④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4,900							④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,800	④	○	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-1,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-1,700	④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-2,700					④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-5,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-6,100									④⑤	④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
-8,200	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
No.	事故現象シナリオ	No.	事故現象シナリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
①	高圧・高圧注水機能喪失	⑮	水素燃焼																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
②	高圧注水・減圧機能喪失	⑯	蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
③	全交流動力電源喪失	⑰	蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④	全交流動力電源喪失(取水機能のみ喪失した場合)	⑱	原子炉停止機能喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑤	全交流動力電源喪失(積熱除去系が故障した場合)	⑳	LOCA時注水機能喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑥	原子炉停止機能喪失	㉑	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑦	LOCA時注水機能喪失	㉒	格納容器過圧・過熱破壊																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑧	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)	㉓	高圧冷却材の流出(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑨	蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)	㉔	高圧冷却材の流出(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑩	蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)	㉕	反応度の観測(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
⑪	原子炉停止機能喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑫	LOCA時注水機能喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑬	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑭	蒸気熱除去機能喪失(取水機能のみ喪失した場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑰	蒸気熱除去機能喪失(積熱除去系が故障した場合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑱	原子炉停止機能喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑲	LOCA時注水機能喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
⑳	格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉑	格納容器過圧・過熱破壊																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉒	高圧冷却材の流出(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉓	高圧冷却材の流出(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉔	反応度の観測(停止時)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
㉕	原子炉圧力容器外の部材材料-冷材相互作用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
139	9.別紙22 第2表	1.0.2-303	<table border="1"> <thead> <tr> <th>T.M. S.L.</th> <th>原子炉建屋 (管理区域)</th> <th>原子炉建屋 (非管理区域)</th> <th>コントロール棟 (管理区域)</th> <th>タービン建屋 (管理区域)</th> <th>タービン建屋 (非管理区域)</th> <th>廃棄物処理建屋 (管理区域)</th> <th>廃棄物処理建屋 (非管理区域)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>31,700</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27,200</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23,500</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20,400</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19,100</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17,300</td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12,300</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td></tr> <tr><td>8,500</td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td></tr> <tr><td>4,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4,800</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-1,100</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-1,700</td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-2,700</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-5,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-6,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-8,200</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 「建築さ」：下層階へ排水する開口部高さ:約20cm 「漏水なし」:当該エリアでの排水又は他エリアからの排水流入なし 「○」:操作エリアは漏水したが、階段エリアが排水するための対応策が必要なエリア</p>	T.M. S.L.	原子炉建屋 (管理区域)	原子炉建屋 (非管理区域)	コントロール棟 (管理区域)	タービン建屋 (管理区域)	タービン建屋 (非管理区域)	廃棄物処理建屋 (管理区域)	廃棄物処理建屋 (非管理区域)		6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階	31,700	建築さ	建築さ	漏水なし						30,900									27,200	建築さ	建築さ	漏水なし						23,500	建築さ	建築さ	漏水なし						20,400									19,100	建築さ	建築さ	漏水なし						17,300			漏水なし	漏水なし					16,100									12,300	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	8,500			漏水なし	漏水なし			漏水なし	漏水なし	4,900					漏水なし	漏水なし			4,800	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし					1,000									-1,100	建築さ	建築さ							-1,700			漏水なし	漏水なし					-2,700									-5,100									-6,100									-8,200	○	○							<table border="1"> <thead> <tr> <th>T.M. S.L.</th> <th>原子炉建屋 (管理区域)</th> <th>原子炉建屋 (非管理区域)</th> <th>コントロール棟 (管理区域)</th> <th>タービン建屋 (管理区域)</th> <th>タービン建屋 (非管理区域)</th> <th>廃棄物処理建屋 (管理区域)</th> <th>廃棄物処理建屋 (非管理区域)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> <th>6号階</th> <th>7号階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>31,700</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27,200</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23,500</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20,400</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19,100</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17,300</td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12,300</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td></tr> <tr><td>8,500</td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td></tr> <tr><td>4,900</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4,800</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1,000</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-1,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td></tr> <tr><td>-1,700</td><td>建築さ</td><td>建築さ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-2,700</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-5,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-6,100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>漏水なし</td><td>漏水なし</td></tr> <tr><td>-8,200</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【凡例】 「建築さ」：下層階へ排水する開口部高さ:約20cm 「漏水なし」:当該エリアでの排水又は他エリアからの排水流入なし 「○」:操作エリアは漏水したが、階段エリアが排水するための対応策が必要なエリア</p>	T.M. S.L.	原子炉建屋 (管理区域)	原子炉建屋 (非管理区域)	コントロール棟 (管理区域)	タービン建屋 (管理区域)	タービン建屋 (非管理区域)	廃棄物処理建屋 (管理区域)	廃棄物処理建屋 (非管理区域)		6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階	31,700	建築さ	建築さ	漏水なし						30,900									27,200	建築さ	建築さ	漏水なし						23,500	建築さ	建築さ	漏水なし						20,400									19,100	建築さ	建築さ	漏水なし						17,300			漏水なし	漏水なし					16,100									12,300	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	8,500			漏水なし	漏水なし			漏水なし	漏水なし	4,900					漏水なし	漏水なし			4,800	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし					1,000					漏水なし	漏水なし			-1,100							漏水なし	漏水なし	-1,700	建築さ	建築さ							-2,700					漏水なし	漏水なし			-5,100									-6,100							漏水なし	漏水なし	-8,200	○	○							④ (有効性評価の最新状況を反映)
T.M. S.L.	原子炉建屋 (管理区域)	原子炉建屋 (非管理区域)	コントロール棟 (管理区域)	タービン建屋 (管理区域)	タービン建屋 (非管理区域)	廃棄物処理建屋 (管理区域)	廃棄物処理建屋 (非管理区域)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
31,700	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
30,900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
27,200	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
23,500	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20,400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
19,100	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
17,300			漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
16,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
12,300	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8,500			漏水なし	漏水なし			漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
4,900					漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,800	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1,000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-1,100	建築さ	建築さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
-1,700			漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
-2,700																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-5,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-6,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-8,200	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
T.M. S.L.	原子炉建屋 (管理区域)	原子炉建屋 (非管理区域)	コントロール棟 (管理区域)	タービン建屋 (管理区域)	タービン建屋 (非管理区域)	廃棄物処理建屋 (管理区域)	廃棄物処理建屋 (非管理区域)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階	6号階	7号階																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
31,700	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
30,900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
27,200	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
23,500	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20,400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
19,100	建築さ	建築さ	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
17,300			漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
16,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
12,300	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
8,500			漏水なし	漏水なし			漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
4,900					漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
4,800	建築さ	建築さ	漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1,000					漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
-1,100							漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
-1,700	建築さ	建築さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
-2,700					漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
-5,100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
-6,100							漏水なし	漏水なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
-8,200	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
140	9.別紙22	1.0.2-304	原子炉建屋最地下階へのアクセスが必要となる。原子炉隔離時冷却系の現場操作については、内部溢水の影響により階段エリアから入室出来ない場合も想定し、原子炉建屋地下2階にある上部ハッチより入室することで、現場操作を行うこととする。また、その他の原子炉建屋最地下階での作業は、アクセスが出来ない場合には対応不要な冷却水系の負荷カット等の対応である。	原子炉建屋最地下階へのアクセスが必要となる。原子炉隔離時冷却系の現場操作及び排水処理については、内部溢水の影響により階段エリアから入室出来ない場合も想定し、原子炉建屋地下2階にある上部ハッチより入室することで、現場操作を行うこととする。また、その他の原子炉建屋最地下階での作業は、アクセスが出来ない場合には対応不要な冷却水系の負荷カットなどの対応である。	⑤ (別表17との記載整合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
141	9.別紙22 第3-1表 ~第3-5表	1.0.2-305~ 308	<p>変更理由が同じため、最初の表のみ記載</p> <p>第3-1表 アクセスルートの溢水源「6号炉 原子炉建屋（管理区域）」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>フロア</th> <th>溢水源</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>溢水位 (cm)</th> <th>溢水源への添加薬品</th> <th>放射能の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">6号炉</td> <td rowspan="3">T.M.S.L.31,700 (地上4階)</td> <td>換気空調補機常用冷却水系</td> <td>36.9</td> <td>約7</td> <td rowspan="12">約100※1</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>内内風水系</td> <td>36.9</td> <td>約58</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール スロッシング</td> <td>690</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.27,200 (地上中4階)</td> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>51.6</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機常用冷却水系</td> <td>49.6</td> <td>約7</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>内内風水系</td> <td>39.5</td> <td>約58</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.23,500 (地上3階)</td> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>26.8</td> <td>約35</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>70.3</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機常用冷却水系</td> <td>56.5</td> <td>約7</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.18,100 (地上2階)</td> <td>内内風水系</td> <td>57.5</td> <td>約58</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>34.1</td> <td>約35</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>91.0</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.12,300 (地上1階)</td> <td>換気空調補機常用冷却水系</td> <td>66.3</td> <td>約7</td> <td rowspan="12">約20</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>内内風水系</td> <td>59.8</td> <td>約58</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>37.7</td> <td>約35</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.4,800 (地下1階)</td> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td>6.5</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>91.1</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機常用冷却水系</td> <td>84.5</td> <td>約7</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>内内風水系</td> <td>62.6</td> <td>約58</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>64.3</td> <td>約35</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td>15.9</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-8,200 (地下3階)</td> <td>燃料プール冷却浄化系</td> <td>100.8</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>換気空調補機常用冷却水系</td> <td>87.2</td> <td>約7</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>内内風水系</td> <td>63.3</td> <td>約58</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">6号炉</td> <td rowspan="3">T.M.S.L.31,700 (地上4階)</td> <td>HNCW</td> <td>36.9</td> <td>約14</td> <td rowspan="12">約100*</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>36.9</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>SFP スロッシング</td> <td>690</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.27,200 (地上中4階)</td> <td>F P C</td> <td>51.6</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>49.6</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>39.5</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.23,500 (地上3階)</td> <td>R C W</td> <td>26.8</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>70.3</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>56.5</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.18,100 (地上2階)</td> <td>HWH</td> <td>57.5</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>34.1</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>91.0</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.12,300 (地上1階)</td> <td>HNCW</td> <td>66.3</td> <td>約14</td> <td rowspan="12">約20</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>59.8</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>37.7</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.4,800 (地下1階)</td> <td>C U W</td> <td>6.5</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>91.1</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>84.5</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>HWH</td> <td>62.6</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>64.3</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>C U W</td> <td>15.9</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-8,200 (地下3階)</td> <td>F P C</td> <td>100.8</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>87.2</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>63.3</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>M S C</td> <td>20.6</td> <td>-</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>148.1</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R D</td> <td>2.9</td> <td>-</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>C U W</td> <td>50.8</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>114.5</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>122.0</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>HWH</td> <td>63.3</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>193.9</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R D</td> <td>4.8</td> <td>-</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料プールスロッシング対策として開口部からの漏水を抑制するために堰を設置。過渡的に溢水位に到達するが、アクセス時には階段室・床ファンネルから排水されるため影響はない。 ※2 溢水は原子炉建屋最地下階に滞留するため、階段からのアクセスは不可。</p>	号炉	フロア	溢水源	溢水量 (m³)	温度 (°C)	溢水位 (cm)	溢水源への添加薬品	放射能の有無	6号炉	T.M.S.L.31,700 (地上4階)	換気空調補機常用冷却水系	36.9	約7	約100※1	防食剤	無	内内風水系	36.9	約58	防食剤	無	使用済燃料プール スロッシング	690	約35	無	有	T.M.S.L.27,200 (地上中4階)	燃料プール冷却浄化系	51.6	約35	無	有	換気空調補機常用冷却水系	49.6	約7	防食剤	無	内内風水系	39.5	約58	防食剤	無	T.M.S.L.23,500 (地上3階)	原子炉補機冷却水系	26.8	約35	防食剤	無	燃料プール冷却浄化系	70.3	約35	無	有	換気空調補機常用冷却水系	56.5	約7	防食剤	無	T.M.S.L.18,100 (地上2階)	内内風水系	57.5	約58	防食剤	無	原子炉補機冷却水系	34.1	約35	防食剤	無	燃料プール冷却浄化系	91.0	約35	無	有	T.M.S.L.12,300 (地上1階)	換気空調補機常用冷却水系	66.3	約7	約20	防食剤	無	内内風水系	59.8	約58	防食剤	無	原子炉補機冷却水系	37.7	約35	防食剤	無	T.M.S.L.4,800 (地下1階)	原子炉冷却材浄化系	6.5	約280	無	有	燃料プール冷却浄化系	91.1	約35	無	有	換気空調補機常用冷却水系	84.5	約7	防食剤	無	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	内内風水系	62.6	約58	防食剤	無	原子炉補機冷却水系	64.3	約35	防食剤	無	原子炉冷却材浄化系	15.9	約280	無	有	T.M.S.L.-8,200 (地下3階)	燃料プール冷却浄化系	100.8	約35	無	有	換気空調補機常用冷却水系	87.2	約7	防食剤	無	内内風水系	63.3	約58	防食剤	無	6号炉	T.M.S.L.31,700 (地上4階)	HNCW	36.9	約14	約100*	防食剤	無	HWH	36.9	約40	防食剤	無	SFP スロッシング	690	約35	無	有	T.M.S.L.27,200 (地上中4階)	F P C	51.6	約35	無	有	HNCW	49.6	約14	防食剤	無	HWH	39.5	約40	防食剤	無	T.M.S.L.23,500 (地上3階)	R C W	26.8	約30	防食剤	無	F P C	70.3	約35	無	有	HNCW	56.5	約14	防食剤	無	T.M.S.L.18,100 (地上2階)	HWH	57.5	約40	防食剤	無	R C W	34.1	約30	防食剤	無	F P C	91.0	約35	無	有	T.M.S.L.12,300 (地上1階)	HNCW	66.3	約14	約20	防食剤	無	HWH	59.8	約40	防食剤	無	R C W	37.7	約30	防食剤	無	T.M.S.L.4,800 (地下1階)	C U W	6.5	約280	無	有	F P C	91.1	約35	無	有	HNCW	84.5	約14	防食剤	無	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	62.6	約40	防食剤	無	R C W	64.3	約30	防食剤	無	C U W	15.9	約280	無	有	T.M.S.L.-8,200 (地下3階)	F P C	100.8	約35	無	有	HNCW	87.2	約14	防食剤	無	HWH	63.3	約40	防食剤	無	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	M S C	20.6	-	無	無	R C W	148.1	約30	防食剤	無	R D	2.9	-	無	有	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	C U W	50.8	約280	無	有	F P C	114.5	約35	無	有	HNCW	122.0	約14	防食剤	無	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	63.3	約40	防食剤	無	R C W	193.9	約30	防食剤	無	R D	4.8	-	無	有	<p>表3-1 アクセスルートの溢水源「6号炉 原子炉建屋（管理区域）」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>フロア</th> <th>溢水源</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>溢水位 (cm)</th> <th>溢水源への添加薬品</th> <th>放射能の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">6号炉</td> <td rowspan="3">T.M.S.L.31,700 (地上4階)</td> <td>HNCW</td> <td>36.9</td> <td>約14</td> <td rowspan="12">約100*</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>36.9</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>SFP スロッシング</td> <td>690</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.27,200 (地上中4階)</td> <td>F P C</td> <td>51.6</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>49.6</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>39.5</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.23,500 (地上3階)</td> <td>R C W</td> <td>26.8</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>70.3</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>56.5</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.18,100 (地上2階)</td> <td>HWH</td> <td>57.5</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>34.1</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>91.0</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.12,300 (地上1階)</td> <td>HNCW</td> <td>66.3</td> <td>約14</td> <td rowspan="12">約20</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>59.8</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>37.7</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.4,800 (地下1階)</td> <td>C U W</td> <td>6.5</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>91.1</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>84.5</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>HWH</td> <td>62.6</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>64.3</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>C U W</td> <td>15.9</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-8,200 (地下3階)</td> <td>F P C</td> <td>100.8</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>87.2</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>HWH</td> <td>63.3</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>M S C</td> <td>20.6</td> <td>-</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>148.1</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R D</td> <td>2.9</td> <td>-</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>C U W</td> <td>50.8</td> <td>約280</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>F P C</td> <td>114.5</td> <td>約35</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>HNCW</td> <td>122.0</td> <td>約14</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.M.S.L.-1,700 (地下2階)</td> <td>HWH</td> <td>63.3</td> <td>約40</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R C W</td> <td>193.9</td> <td>約30</td> <td>防食剤</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>R D</td> <td>4.8</td> <td>-</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </tbody> </table> <p>※SFP スロッシング対策として開口部からの漏水を抑制するために堰を設置。過渡的に溢水位に到達するが、アクセス時には階段室・床ファンネルから排水されるため影響はない。</p>	号炉	フロア	溢水源	溢水量 (m³)	温度 (°C)	溢水位 (cm)	溢水源への添加薬品	放射能の有無	6号炉	T.M.S.L.31,700 (地上4階)	HNCW	36.9	約14	約100*	防食剤	無	HWH	36.9	約40	防食剤	無	SFP スロッシング	690	約35	無	有	T.M.S.L.27,200 (地上中4階)	F P C	51.6	約35	無	有	HNCW	49.6	約14	防食剤	無	HWH	39.5	約40	防食剤	無	T.M.S.L.23,500 (地上3階)	R C W	26.8	約30	防食剤	無	F P C	70.3	約35	無	有	HNCW	56.5	約14	防食剤	無	T.M.S.L.18,100 (地上2階)	HWH	57.5	約40	防食剤	無	R C W	34.1	約30	防食剤	無	F P C	91.0	約35	無	有	T.M.S.L.12,300 (地上1階)	HNCW	66.3	約14	約20	防食剤	無	HWH	59.8	約40	防食剤	無	R C W	37.7	約30	防食剤	無	T.M.S.L.4,800 (地下1階)	C U W	6.5	約280	無	有	F P C	91.1	約35	無	有	HNCW	84.5	約14	防食剤	無	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	62.6	約40	防食剤	無	R C W	64.3	約30	防食剤	無	C U W	15.9	約280	無	有	T.M.S.L.-8,200 (地下3階)	F P C	100.8	約35	無	有	HNCW	87.2	約14	防食剤	無	HWH	63.3	約40	防食剤	無	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	M S C	20.6	-	無	無	R C W	148.1	約30	防食剤	無	R D	2.9	-	無	有	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	C U W	50.8	約280	無	有	F P C	114.5	約35	無	有	HNCW	122.0	約14	防食剤	無	T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	63.3	約40	防食剤	無	R C W	193.9	約30	防食剤	無	R D	4.8	-	無	有	③(設計進捗に伴う、再評価結果の反映)
			号炉	フロア	溢水源	溢水量 (m³)	温度 (°C)	溢水位 (cm)	溢水源への添加薬品	放射能の有無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6号炉	T.M.S.L.31,700 (地上4階)	換気空調補機常用冷却水系	36.9	約7	約100※1	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		内内風水系	36.9	約58		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		使用済燃料プール スロッシング	690	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.27,200 (地上中4階)	燃料プール冷却浄化系	51.6	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		換気空調補機常用冷却水系	49.6	約7		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		内内風水系	39.5	約58		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.23,500 (地上3階)	原子炉補機冷却水系	26.8	約35		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		燃料プール冷却浄化系	70.3	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		換気空調補機常用冷却水系	56.5	約7		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.18,100 (地上2階)	内内風水系	57.5	約58		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		原子炉補機冷却水系	34.1	約35		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		燃料プール冷却浄化系	91.0	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
T.M.S.L.12,300 (地上1階)	換気空調補機常用冷却水系	66.3	約7	約20	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	内内風水系	59.8	約58		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	原子炉補機冷却水系	37.7	約35		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.4,800 (地下1階)	原子炉冷却材浄化系	6.5	約280		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	燃料プール冷却浄化系	91.1	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	換気空調補機常用冷却水系	84.5	約7		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	内内風水系	62.6	約58		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	原子炉補機冷却水系	64.3	約35		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	原子炉冷却材浄化系	15.9	約280		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-8,200 (地下3階)	燃料プール冷却浄化系	100.8	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	換気空調補機常用冷却水系	87.2	約7		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	内内風水系	63.3	約58		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
6号炉	T.M.S.L.31,700 (地上4階)	HNCW	36.9	約14	約100*	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HWH	36.9	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		SFP スロッシング	690	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.27,200 (地上中4階)	F P C	51.6	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HNCW	49.6	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HWH	39.5	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.23,500 (地上3階)	R C W	26.8	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		F P C	70.3	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HNCW	56.5	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.18,100 (地上2階)	HWH	57.5	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		R C W	34.1	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		F P C	91.0	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
T.M.S.L.12,300 (地上1階)	HNCW	66.3	約14	約20	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HWH	59.8	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	R C W	37.7	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.4,800 (地下1階)	C U W	6.5	約280		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	F P C	91.1	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HNCW	84.5	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	62.6	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	R C W	64.3	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C U W	15.9	約280		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-8,200 (地下3階)	F P C	100.8	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HNCW	87.2	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HWH	63.3	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	M S C	20.6	-	無	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R C W	148.1	約30	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R D	2.9	-	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	C U W	50.8	約280	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	F P C	114.5	約35	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	HNCW	122.0	約14	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	63.3	約40	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R C W	193.9	約30	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R D	4.8	-	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
号炉	フロア	溢水源	溢水量 (m³)	温度 (°C)	溢水位 (cm)	溢水源への添加薬品	放射能の有無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6号炉	T.M.S.L.31,700 (地上4階)	HNCW	36.9	約14	約100*	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HWH	36.9	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		SFP スロッシング	690	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.27,200 (地上中4階)	F P C	51.6	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HNCW	49.6	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HWH	39.5	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.23,500 (地上3階)	R C W	26.8	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		F P C	70.3	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		HNCW	56.5	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	T.M.S.L.18,100 (地上2階)	HWH	57.5	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		R C W	34.1	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		F P C	91.0	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
T.M.S.L.12,300 (地上1階)	HNCW	66.3	約14	約20	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HWH	59.8	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	R C W	37.7	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.4,800 (地下1階)	C U W	6.5	約280		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	F P C	91.1	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HNCW	84.5	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	62.6	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	R C W	64.3	約30		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C U W	15.9	約280		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-8,200 (地下3階)	F P C	100.8	約35		無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HNCW	87.2	約14		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	HWH	63.3	約40		防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	M S C	20.6	-	無	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R C W	148.1	約30	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R D	2.9	-	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	C U W	50.8	約280	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	F P C	114.5	約35	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	HNCW	122.0	約14	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
T.M.S.L.-1,700 (地下2階)	HWH	63.3	約40	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R C W	193.9	約30	防食剤	無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R D	4.8	-	無	有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

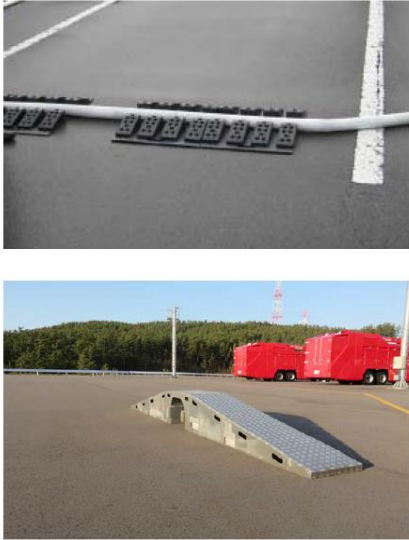



- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
142	9.別紙23 第1図	1.0.2-311			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
143	9.別紙24	1.0.2-312	6号及び7号炉においては、重大事故等対処設備である可搬型代替注水ポンプを用いて、 <b>防火水槽及び復水貯蔵槽への補給</b> 、使用済燃料プールへの注水を行う。 可搬型代替注水ポンプの配置場所は、 <b>淡水貯水池近傍及び原子炉建屋近傍</b> となり、ホース敷設ルートは <b>淡水貯水池から防火水槽までの構内道路の一部及び原子炉建屋近傍</b> となる。 <b>アクセスルート上にホースを敷設する際には、道路の端に敷設することを基本とするため</b> 、主要な発電所構内道路への影響は限定的であり、機材を設置することにより通行に支障は来さない。	6号及び7号炉においては、重大事故等対処設備である可搬型代替注水ポンプを用いて、復水貯蔵槽への補給や使用済燃料プールへの注水を行う。水源である防火水槽は原子炉建屋の近傍に配置されており、可搬型代替注水ポンプの配置場所及びホースの布設ルートも原子炉建屋近傍となる。よって、主要な発電所構内道路への影響は限定的で機材を設置することにより通行に支障は来さない。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化



No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
144	9.別紙24 第1図	1.0.2-312			②(大容量送水車の導入に伴い、ホースブリッジ追加)
145	9.別紙25 第1図	1.0.2-313			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
146	9.別紙26	1.0.2-314	<p>柏崎エネルギーホール又は刈羽寮に集合した要員は、緊急時対策本部と非常召集に係る以下の確認、調整を行い、通信連絡設備、懐中電灯等を持参し、発電所と連絡を取りながら集団で移動する。柏崎エネルギーホール、刈羽寮には通信連絡設備として衛星電話設備(可搬型)を各10台配備する。</p> <p>①発電所の状況(発電所への移動が可能なプラント状況かどうか(格納容器ベントの実施見通し)、発電所に行くための必要な装備(放射線防護服、マスク、線量計を含む))</p> <p>②その他発電所で得られた情報(発電所への移動に関する道路状況等、移動するうえで有益な情報)</p> <p>③発電所へ移動する人の情報(人数、体調、移手段(徒歩、車両)、連絡先)</p>	<p>柏崎エネルギーホール又は刈羽寮に参集した要員は、発電所対策本部と非常召集に係る以下の確認、調整を行い、集団で発電所に移動する。</p> <p>①発電所の状況、召集人数、必要な装備(放射線防護服、マスク、線量計を含む)</p> <p>②召集した要員の確認(人数、体調等)</p> <p>③持参品(通信連絡設備、懐中電灯等)</p> <p>④天候、災害情報(道路状況含む)等</p> <p>⑤参集場所</p>	⑤																
147	9.別紙26 第1表	1.0.2-315	<p>第1表 居住地別の発電所員数(平成29年4月時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>居住地</th> <th>柏崎市</th> <th>刈羽村</th> <th>その他地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居住者数</td> <td>820名 (73%)</td> <td>81名 (7%)</td> <td>223名 (20%)</td> </tr> </tbody> </table>	居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域	居住者数	820名 (73%)	81名 (7%)	223名 (20%)	<p>表1 居住地別の発電所員数(平成28年12月時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>居住地</th> <th>柏崎市</th> <th>刈羽村</th> <th>その他地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居住者数</td> <td>804名 (69%)</td> <td>85名 (7%)</td> <td>270名 (23%)</td> </tr> </tbody> </table>	居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域	居住者数	804名 (69%)	85名 (7%)	270名 (23%)	⑤
居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域																		
居住者数	820名 (73%)	81名 (7%)	223名 (20%)																		
居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域																		
居住者数	804名 (69%)	85名 (7%)	270名 (23%)																		
148	9.別紙26 第4図	1.0.2-318			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																												
149	9.別紙27 第1図 第2図	1.0.2-324 ~ 1.0.2-325	変更理由が同じため、最初の図のみ記載 		④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤																																																																																																												
150	9.別紙27 第1図	1.0.2-324	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区間</th> <th>距離 (m)</th> <th>時間評価項目</th> <th>速度 (km/h)</th> <th>所要時間 (分)</th> <th>累積 (分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第二企業センター*→①</td> <td>約 770</td> <td>徒歩移動</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>①→②</td> <td>約 590</td> <td>除雪</td> <td>3.3</td> <td>11</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>②→③</td> <td>約 240</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>③→④</td> <td>約 780</td> <td>除雪</td> <td>3.3</td> <td>15</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>④→⑤</td> <td>約 80</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>⑤→⑥</td> <td>約 130</td> <td>除雪</td> <td>3.3</td> <td>3</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>⑥→⑦</td> <td>約 260</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>⑦→⑧</td> <td>約 130</td> <td>除雪</td> <td>3.3</td> <td>3</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>⑧→⑨</td> <td>約 230</td> <td>ホイールローダ移動</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>⑨→⑩</td> <td>約 500</td> <td>除雪</td> <td>3.3</td> <td>10</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> <p>※初動対応要員が滞在する「第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所」については、第二企業センターを起点として評価する。</p>	区間	距離 (m)	時間評価項目	速度 (km/h)	所要時間 (分)	累積 (分)	第二企業センター*→①	約 770	徒歩移動	4	12	12	①→②	約 590	除雪	3.3	11	23	②→③	約 240	ホイールローダ移動	15	1	24	③→④	約 780	除雪	3.3	15	39	④→⑤	約 80	ホイールローダ移動	15	1	40	⑤→⑥	約 130	除雪	3.3	3	43	⑥→⑦	約 260	ホイールローダ移動	15	2	45	⑦→⑧	約 130	除雪	3.3	3	48	⑧→⑨	約 230	ホイールローダ移動	15	1	49	⑨→⑩	約 500	除雪	3.3	10	59	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区間</th> <th>距離(約m)</th> <th>時間評価項目</th> <th>速度(km/h)</th> <th>所要時間(分)</th> <th>累積(分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①→②</td> <td>2,516</td> <td>徒歩移動</td> <td>4</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>②→③→④</td> <td>1,008</td> <td>降雪除去</td> <td>3.3</td> <td>19</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>④→③</td> <td>147</td> <td>移動</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>③→⑤→⑥</td> <td>300</td> <td>降雪除去</td> <td>3.3</td> <td>6</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>⑥→⑤</td> <td>157</td> <td>移動</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>⑤→⑦</td> <td>800</td> <td>降雪除去</td> <td>3.3</td> <td>15</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	区間	距離(約m)	時間評価項目	速度(km/h)	所要時間(分)	累積(分)	①→②	2,516	徒歩移動	4	38	38	②→③→④	1,008	降雪除去	3.3	19	57	④→③	147	移動	15	1	58	③→⑤→⑥	300	降雪除去	3.3	6	64	⑥→⑤	157	移動	15	1	65	⑤→⑦	800	降雪除去	3.3	15	80	④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤
区間	距離 (m)	時間評価項目	速度 (km/h)	所要時間 (分)	累積 (分)																																																																																																												
第二企業センター*→①	約 770	徒歩移動	4	12	12																																																																																																												
①→②	約 590	除雪	3.3	11	23																																																																																																												
②→③	約 240	ホイールローダ移動	15	1	24																																																																																																												
③→④	約 780	除雪	3.3	15	39																																																																																																												
④→⑤	約 80	ホイールローダ移動	15	1	40																																																																																																												
⑤→⑥	約 130	除雪	3.3	3	43																																																																																																												
⑥→⑦	約 260	ホイールローダ移動	15	2	45																																																																																																												
⑦→⑧	約 130	除雪	3.3	3	48																																																																																																												
⑧→⑨	約 230	ホイールローダ移動	15	1	49																																																																																																												
⑨→⑩	約 500	除雪	3.3	10	59																																																																																																												
区間	距離(約m)	時間評価項目	速度(km/h)	所要時間(分)	累積(分)																																																																																																												
①→②	2,516	徒歩移動	4	38	38																																																																																																												
②→③→④	1,008	降雪除去	3.3	19	57																																																																																																												
④→③	147	移動	15	1	58																																																																																																												
③→⑤→⑥	300	降雪除去	3.3	6	64																																																																																																												
⑥→⑤	157	移動	15	1	65																																																																																																												
⑤→⑦	800	降雪除去	3.3	15	80																																																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後						変更前						変更理由
			区間	距離 (m)	時間評価項目	速度 (km/h)	所要時間 (分)	累積 (分)	区間	距離 (約m)	時間評価項目	速度 (km/h)	所要時間 (分)	累積 (分)	
151	9.別紙27 第2図	1.0.2-325	第二企業センター*→①	約 420	徒歩移動	4	7	7	①→②	1,287	徒歩移動	4	20	20	④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤
			①→②	約 750	除雪	3.3	14	21	②→③→④→⑤	2,155	降雪除去	3.3	40	60	
			②→③	約 130	ホイールロード移動	15	1	22	⑤→④→③	208	移動	15	1	61	
			③→④	約 890	除雪	3.3	17	39	③→⑥→⑦	238	降雪除去	3.3	5	66	
			④→⑤	約 80	ホイールロード移動	15	1	40	⑦→⑥	157	移動	15	1	67	
			⑤→⑥	約 130	除雪	3.3	3	43	⑥→⑧	800	降雪除去	3.3	15	82	
			⑥→⑦	約 260	ホイールロード移動	15	2	45							
			⑦→⑧	約 130	除雪	3.3	3	48							
			⑧→⑨	約 230	ホイールロード移動	15	1	49							
			⑨→⑩	約 500	除雪	3.3	10	59							
			<small>※初動対応要員が滞在する「第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所」については、第二企業センターを起点として評価する。</small>						<p>図2 荒浜側高台保管場所からの除雪ルート及び仮復旧時間</p> <small>※5号炉原子炉建屋内緊急時対策所からの移動・作業も想定されるが、仮復旧に要する時間が長い事務建屋からの時間を算出した。また、参考に海側のサブルート徒歩で通行した場合における仮復旧に要する時間を算出した結果、大湊側高台保管場所、荒浜側高台保管場所からのルートでそれぞれ90分、132分であった。</small>						
152	9.別紙28 第1図 第2図	1.0.2-327 ~ 1.0.2-328	変更理由が同じため、最初の図のみ記載												④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後						変更前						変更理由
			区間	距離 (m)	時間評価項目	速度 (km/h)	所要時間 (分)	累積 (分)	区間	距離 (約m)	時間評価項目	速度 (km/h)	所要時間 (分)	累積 (分)	
153	9.別紙28 第1図	1.0.2-327	第二企業センター*→①	約 770	徒歩移動	4	12	12	①→②	2,516	徒歩移動	4	38	38	④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤
			①→②	約 590	除灰	1.4	26	38	②→③→④	1,008	降灰除去	1.4	44	82	
			②→③	約 240	ホイールロード移動	15	1	39	④→③	147	移動	15	1	83	
			③→④	約 780	除灰	1.4	34	73	③→⑤→⑥	300	降灰除去	1.4	13	96	
			④→⑤	約 80	ホイールロード移動	15	1	74	⑥→⑤	157	移動	15	1	97	
			⑤→⑥	約 130	除灰	1.4	6	80	⑤→⑦	800	降灰除去	1.4	35	132	
			⑥→⑦	約 260	ホイールロード移動	15	2	82							
			⑦→⑧	約 130	除灰	1.4	6	88							
			⑧→⑨	約 230	ホイールロード移動	15	1	89							
			⑨→⑩	約 500	除灰	1.4	22	111							
			※初動対応要員が滞在する「第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所」については、第二企業センターを起点として評価する。												
154	9.別紙28 第2図	1.0.2-328	第二企業センター*→①	約 420	徒歩移動	4	7	7	①→②	1,287	徒歩移動	4	20	20	④(アクセスルート復旧作業における前提条件で起点を統一したため) ⑤
			①→②	約 750	除灰	1.4	33	40	②→③→④→⑤	2,155	降灰除去	1.4	93	113	
			②→③	約 130	ホイールロード移動	15	1	41	⑤→④→③	208	移動	15	1	114	
			③→④	約 890	除灰	1.4	39	80	③→⑥→⑦	238	降灰除去	1.4	11	125	
			④→⑤	約 80	ホイールロード移動	15	1	81	⑦→⑥	157	移動	15	1	126	
			⑤→⑥	約 130	除灰	1.4	6	87	⑥→⑧	800	降灰除去	1.4	35	161	
			⑥→⑦	約 260	ホイールロード移動	15	2	89							
			⑦→⑧	約 130	除灰	1.4	6	95							
			⑧→⑨	約 230	ホイールロード移動	15	1	96							
			⑨→⑩	約 500	除灰	1.4	22	118							
			※初動対応要員が滞在する「第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所」については、第二企業センターを起点として評価する。						<p>図 2 荒浜側高台保管場所からの降灰除去ルート及び仮復旧時間</p> <p>※5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所からの移動・作業も想定されるが、仮復旧に要する時間が長い事務建屋からの時間を算出した。また、参考に海側のサブルート徒歩で通行した場合における仮復旧に要する時間を算出した結果、大湊側高台保管場所、荒浜側高台保管場所からのルートでそれぞれ142分、274分であった。</p>						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
155	9.別紙29 第1図	1.0.2-329			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
156	9.別紙30 第1図 第2図	1.0.2-332 1.0.2-335	変更理由が同じため、最初の図のみ記載 		②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化



No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																		
157	9.別紙30 第1表	1.0.2-334	<p>第1表 雨水流出量と排水路流末排水量の比較結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>流域</th> <th>集水区域 面積 A<sub>1</sub> (ha)</th> <th>雨水流出量 Q<sub>1</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>排水路流末 排水量 Q<sub>2</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>安全率 Q<sub>2</sub>/Q<sub>1</sub></th> <th>滞留水量 (Q<sub>1</sub>-Q<sub>2</sub>) × 3600 (m<sup>3</sup>/h)</th> <th>備考 (接続先)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">荒浜側</td> <td>A</td> <td>121.98<sup>※</sup></td> <td>11.20<sup>※</sup></td> <td>7.57</td> <td>0.67</td> <td>13,068<sup>※</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>20.81</td> <td>3.52</td> <td>3.72</td> <td>1.05</td> <td>—</td> <td>流域A排水路</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>3.29</td> <td>0.66</td> <td>1.75</td> <td>2.65</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>3.08</td> <td>0.51</td> <td>1.75</td> <td>3.43</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>13.50</td> <td>2.36</td> <td>3.32</td> <td>1.40</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>22.28</td> <td>3.27</td> <td>4.62</td> <td>1.41</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央 土捨場</td> <td>G</td> <td>19.46</td> <td>2.15</td> <td>5.48</td> <td>2.54</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">大湊側</td> <td rowspan="2">H</td> <td>①</td> <td>65.31</td> <td>6.84</td> <td>6.42</td> <td>0.93</td> <td>1,512</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.96</td> <td>0.56</td> <td>1.12</td> <td>2.00</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>3.99</td> <td>0.73</td> <td>1.06</td> <td>1.45</td> <td>—</td> <td>7号炉放水路</td> </tr> <tr> <td>J</td> <td>5.88</td> <td>1.17</td> <td>11.99</td> <td>10.24</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>62.76</td> <td>6.21</td> <td>5.72</td> <td>0.92</td> <td>1,764</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 合流する流域Bを含む</p>			流域	集水区域 面積 A <sub>1</sub> (ha)	雨水流出量 Q <sub>1</sub> (m <sup>3</sup> /s)	排水路流末 排水量 Q <sub>2</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>2</sub> /Q <sub>1</sub>	滞留水量 (Q <sub>1</sub> -Q <sub>2</sub> ) × 3600 (m <sup>3</sup> /h)	備考 (接続先)	荒浜側	A	121.98 <sup>※</sup>	11.20 <sup>※</sup>	7.57	0.67	13,068 <sup>※</sup>		B	20.81	3.52	3.72	1.05	—	流域A排水路	C	3.29	0.66	1.75	2.65	—		D	3.08	0.51	1.75	3.43	—		E	13.50	2.36	3.32	1.40	—		F	22.28	3.27	4.62	1.41	—		中央 土捨場	G	19.46	2.15	5.48	2.54	—		大湊側	H	①	65.31	6.84	6.42	0.93	1,512		②	4.96	0.56	1.12	2.00	—		I	3.99	0.73	1.06	1.45	—	7号炉放水路	J	5.88	1.17	11.99	10.24	—		K	62.76	6.21	5.72	0.92	1,764		<p>表1 雨水流出量と排水路流末排水量の比較結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>流域</th> <th>集水区域 面積 A<sub>1</sub> (ha)</th> <th>雨水流出量 Q<sub>1</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>排水路流末 排水量 Q<sub>2</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>安全率 Q<sub>2</sub>/Q<sub>1</sub></th> <th>滞留水量 (Q<sub>2</sub>-Q<sub>1</sub>) × 3600 (m<sup>3</sup>/h)</th> <th>備考 (接続先)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">荒浜側</td> <td>A</td> <td>121.98<sup>※2</sup></td> <td>11.20<sup>※2</sup></td> <td>7.57</td> <td>0.67</td> <td>13,068<sup>※2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>20.81</td> <td>3.52</td> <td>3.72</td> <td>1.05</td> <td>—</td> <td>流域A排水路</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>3.29</td> <td>0.66</td> <td>1.99</td> <td>3.01</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>3.08</td> <td>0.51</td> <td>1.99</td> <td>3.90</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>13.50</td> <td>2.36</td> <td>3.32</td> <td>1.40</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>22.28</td> <td>3.27</td> <td>4.62</td> <td>1.41</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央 土捨場</td> <td>G</td> <td>19.46</td> <td>2.15</td> <td>5.48</td> <td>2.54</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">大湊側</td> <td rowspan="2">H</td> <td>①</td> <td>65.31</td> <td>6.84</td> <td>6.42</td> <td>0.93</td> <td>1,512</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.96</td> <td>0.45</td> <td>1.12</td> <td>2.48</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>3.99</td> <td>0.73</td> <td>1.06</td> <td>1.45</td> <td>—</td> <td>7号炉放水路</td> </tr> <tr> <td>J</td> <td>5.88</td> <td>1.17</td> <td>11.99</td> <td>10.24</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>62.76</td> <td>6.21</td> <td>5.72</td> <td>0.92</td> <td>1,764</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 合流する流域Bを含む</p>			流域	集水区域 面積 A <sub>1</sub> (ha)	雨水流出量 Q <sub>1</sub> (m <sup>3</sup> /s)	排水路流末 排水量 Q <sub>2</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>2</sub> /Q <sub>1</sub>	滞留水量 (Q <sub>2</sub> -Q <sub>1</sub> ) × 3600 (m <sup>3</sup> /h)	備考 (接続先)	荒浜側	A	121.98 <sup>※2</sup>	11.20 <sup>※2</sup>	7.57	0.67	13,068 <sup>※2</sup>		B	20.81	3.52	3.72	1.05	—	流域A排水路	C	3.29	0.66	1.99	3.01	—		D	3.08	0.51	1.99	3.90	—		E	13.50	2.36	3.32	1.40	—		F	22.28	3.27	4.62	1.41	—		中央 土捨場	G	19.46	2.15	5.48	2.54	—		大湊側	H	①	65.31	6.84	6.42	0.93	1,512		②	4.96	0.45	1.12	2.48	—		I	3.99	0.73	1.06	1.45	—	7号炉放水路	J	5.88	1.17	11.99	10.24	—		K	62.76	6.21	5.72	0.92	1,764		⑤
			流域	集水区域 面積 A <sub>1</sub> (ha)	雨水流出量 Q <sub>1</sub> (m <sup>3</sup> /s)	排水路流末 排水量 Q <sub>2</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>2</sub> /Q <sub>1</sub>	滞留水量 (Q <sub>1</sub> -Q <sub>2</sub> ) × 3600 (m <sup>3</sup> /h)	備考 (接続先)																																																																																																																																																																																														
			荒浜側	A	121.98 <sup>※</sup>	11.20 <sup>※</sup>	7.57	0.67	13,068 <sup>※</sup>																																																																																																																																																																																														
				B	20.81	3.52	3.72	1.05	—	流域A排水路																																																																																																																																																																																													
				C	3.29	0.66	1.75	2.65	—																																																																																																																																																																																														
				D	3.08	0.51	1.75	3.43	—																																																																																																																																																																																														
				E	13.50	2.36	3.32	1.40	—																																																																																																																																																																																														
				F	22.28	3.27	4.62	1.41	—																																																																																																																																																																																														
			中央 土捨場	G	19.46	2.15	5.48	2.54	—																																																																																																																																																																																														
			大湊側	H	①	65.31	6.84	6.42	0.93	1,512																																																																																																																																																																																													
					②	4.96	0.56	1.12	2.00	—																																																																																																																																																																																													
				I	3.99	0.73	1.06	1.45	—	7号炉放水路																																																																																																																																																																																													
				J	5.88	1.17	11.99	10.24	—																																																																																																																																																																																														
				K	62.76	6.21	5.72	0.92	1,764																																																																																																																																																																																														
			流域	集水区域 面積 A <sub>1</sub> (ha)	雨水流出量 Q <sub>1</sub> (m <sup>3</sup> /s)	排水路流末 排水量 Q <sub>2</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>2</sub> /Q <sub>1</sub>	滞留水量 (Q <sub>2</sub> -Q <sub>1</sub> ) × 3600 (m <sup>3</sup> /h)	備考 (接続先)																																																																																																																																																																																														
荒浜側	A	121.98 <sup>※2</sup>	11.20 <sup>※2</sup>	7.57	0.67	13,068 <sup>※2</sup>																																																																																																																																																																																																	
	B	20.81	3.52	3.72	1.05	—	流域A排水路																																																																																																																																																																																																
	C	3.29	0.66	1.99	3.01	—																																																																																																																																																																																																	
	D	3.08	0.51	1.99	3.90	—																																																																																																																																																																																																	
	E	13.50	2.36	3.32	1.40	—																																																																																																																																																																																																	
	F	22.28	3.27	4.62	1.41	—																																																																																																																																																																																																	
中央 土捨場	G	19.46	2.15	5.48	2.54	—																																																																																																																																																																																																	
大湊側	H	①	65.31	6.84	6.42	0.93	1,512																																																																																																																																																																																																
		②	4.96	0.45	1.12	2.48	—																																																																																																																																																																																																
	I	3.99	0.73	1.06	1.45	—	7号炉放水路																																																																																																																																																																																																
	J	5.88	1.17	11.99	10.24	—																																																																																																																																																																																																	
	K	62.76	6.21	5.72	0.92	1,764																																																																																																																																																																																																	



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
158	9.別紙30 第3図	1.0.2-336			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																
159	9.別紙30 第3表	1.0.2-337	<p>第3表 雨水流出量とフラップゲート排水量の比較結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">流域</th> <th>集水区域 面積A<sub>i</sub> (ha)</th> <th>雨水流出量Q<sub>i</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>フラップゲート排水量 Q<sub>s</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>安全率 Q<sub>s</sub>/Q<sub>i</sub></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">荒浜側</td> <td>A</td> <td>121.98<sup>※1</sup></td> <td>11.20<sup>※1</sup></td> <td rowspan="7">フラップゲート 1本当たり3.44  a:18本 b:12本</td> <td rowspan="7">-</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>20.81</td> <td>3.52</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>3.29</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>3.08</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>13.50</td> <td>2.36</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>22.28</td> <td>3.27</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>9.73<sup>※2</sup></td> <td>1.08<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>-</td> <td>19.08<sup>※3</sup></td> <td>103.20</td> <td>5.40</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">大湊側</td> <td>G</td> <td>9.73<sup>※2</sup></td> <td>1.08<sup>※2</sup></td> <td rowspan="6">フラップゲート 1本当たり6.65  c:1本 d:1本 e:1本</td> <td rowspan="6">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H</td> <td>①</td> <td>65.31</td> <td>6.84</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.96</td> <td>0.56</td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>3.99</td> <td>0.73</td> </tr> <tr> <td>J</td> <td>5.88</td> <td>1.17</td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>62.76</td> <td>6.21</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>-</td> <td>16.59</td> <td>19.95</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 合流する流域Bを含む ※2 流域Gからの雨水は、荒浜側、大湊側にそれぞれ1/2が流れ込むと仮定 ※3 流域Bの雨水流出量は流域Aに含まれることから、合計に加算しない</p>	流域		集水区域 面積A <sub>i</sub> (ha)	雨水流出量Q <sub>i</sub> (m <sup>3</sup> /s)	フラップゲート排水量 Q <sub>s</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>s</sub> /Q <sub>i</sub>	荒浜側	A	121.98 <sup>※1</sup>	11.20 <sup>※1</sup>	フラップゲート 1本当たり3.44  a:18本 b:12本	-	B	20.81	3.52	C	3.29	0.66	D	3.08	0.51	E	13.50	2.36	F	22.28	3.27	G	9.73 <sup>※2</sup>	1.08 <sup>※2</sup>	合計		-	19.08 <sup>※3</sup>	103.20	5.40	大湊側	G	9.73 <sup>※2</sup>	1.08 <sup>※2</sup>	フラップゲート 1本当たり6.65  c:1本 d:1本 e:1本	-	H	①	65.31	6.84	②	4.96	0.56	I	3.99	0.73	J	5.88	1.17	K	62.76	6.21	合計		-	16.59	19.95	1.20	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">流域</th> <th>集水区域 面積A<sub>i</sub> (ha)</th> <th>雨水流出量Q<sub>i</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>フラップゲート排水量 Q<sub>s</sub> (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>安全率 Q<sub>s</sub>/Q<sub>i</sub></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">荒浜側</td> <td>A</td> <td>121.98<sup>※2</sup></td> <td>11.20<sup>※2</sup></td> <td rowspan="7">フラップゲート 1本当たり3.44  a:18本 b:12本</td> <td rowspan="7">-</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>20.81</td> <td>3.52</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>3.29</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>3.08</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>13.50</td> <td>2.36</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>22.28</td> <td>3.27</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>9.73<sup>※4</sup></td> <td>1.08<sup>※4</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>-</td> <td>19.08<sup>※5</sup></td> <td>103.20</td> <td>5.40</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">大湊側</td> <td>G</td> <td>9.73<sup>※4</sup></td> <td>1.08<sup>※4</sup></td> <td rowspan="6">フラップゲート 1本当たり6.65  c:1本 d:1本 e:1本</td> <td rowspan="6">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H</td> <td>①</td> <td>65.31</td> <td>6.84</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>4.96</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>3.99</td> <td>0.73</td> </tr> <tr> <td>J</td> <td>5.88</td> <td>1.17</td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>62.76</td> <td>6.21</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>-</td> <td>16.48</td> <td>19.95</td> <td>1.21</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2 合流する流域Bを含む ※4 流域Gからの雨水は、荒浜側、大湊側にそれぞれ1/2が流れ込むと仮定 ※5 流域Bの雨水流出量は流域Aに含まれることから、合計に加算しない</p>	流域		集水区域 面積A <sub>i</sub> (ha)	雨水流出量Q <sub>i</sub> (m <sup>3</sup> /s)	フラップゲート排水量 Q <sub>s</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>s</sub> /Q <sub>i</sub>	荒浜側	A	121.98 <sup>※2</sup>	11.20 <sup>※2</sup>	フラップゲート 1本当たり3.44  a:18本 b:12本	-	B	20.81	3.52	C	3.29	0.66	D	3.08	0.51	E	13.50	2.36	F	22.28	3.27	G	9.73 <sup>※4</sup>	1.08 <sup>※4</sup>	合計		-	19.08 <sup>※5</sup>	103.20	5.40	大湊側	G	9.73 <sup>※4</sup>	1.08 <sup>※4</sup>	フラップゲート 1本当たり6.65  c:1本 d:1本 e:1本	-	H	①	65.31	6.84	②	4.96	0.45	I	3.99	0.73	J	5.88	1.17	K	62.76	6.21	合計		-	16.48	19.95	1.21	⑤
流域		集水区域 面積A <sub>i</sub> (ha)	雨水流出量Q <sub>i</sub> (m <sup>3</sup> /s)	フラップゲート排水量 Q <sub>s</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>s</sub> /Q <sub>i</sub>																																																																																																																																
荒浜側	A	121.98 <sup>※1</sup>	11.20 <sup>※1</sup>	フラップゲート 1本当たり3.44  a:18本 b:12本	-																																																																																																																																
	B	20.81	3.52																																																																																																																																		
	C	3.29	0.66																																																																																																																																		
	D	3.08	0.51																																																																																																																																		
	E	13.50	2.36																																																																																																																																		
	F	22.28	3.27																																																																																																																																		
	G	9.73 <sup>※2</sup>	1.08 <sup>※2</sup>																																																																																																																																		
合計		-	19.08 <sup>※3</sup>	103.20	5.40																																																																																																																																
大湊側	G	9.73 <sup>※2</sup>	1.08 <sup>※2</sup>	フラップゲート 1本当たり6.65  c:1本 d:1本 e:1本	-																																																																																																																																
	H	①	65.31			6.84																																																																																																																															
		②	4.96			0.56																																																																																																																															
	I	3.99	0.73																																																																																																																																		
	J	5.88	1.17																																																																																																																																		
	K	62.76	6.21																																																																																																																																		
合計		-	16.59	19.95	1.20																																																																																																																																
流域		集水区域 面積A <sub>i</sub> (ha)	雨水流出量Q <sub>i</sub> (m <sup>3</sup> /s)	フラップゲート排水量 Q <sub>s</sub> (m <sup>3</sup> /s)	安全率 Q <sub>s</sub> /Q <sub>i</sub>																																																																																																																																
荒浜側	A	121.98 <sup>※2</sup>	11.20 <sup>※2</sup>	フラップゲート 1本当たり3.44  a:18本 b:12本	-																																																																																																																																
	B	20.81	3.52																																																																																																																																		
	C	3.29	0.66																																																																																																																																		
	D	3.08	0.51																																																																																																																																		
	E	13.50	2.36																																																																																																																																		
	F	22.28	3.27																																																																																																																																		
	G	9.73 <sup>※4</sup>	1.08 <sup>※4</sup>																																																																																																																																		
合計		-	19.08 <sup>※5</sup>	103.20	5.40																																																																																																																																
大湊側	G	9.73 <sup>※4</sup>	1.08 <sup>※4</sup>	フラップゲート 1本当たり6.65  c:1本 d:1本 e:1本	-																																																																																																																																
	H	①	65.31			6.84																																																																																																																															
		②	4.96			0.45																																																																																																																															
	I	3.99	0.73																																																																																																																																		
	J	5.88	1.17																																																																																																																																		
	K	62.76	6.21																																																																																																																																		
合計		-	16.48	19.95	1.21																																																																																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																												
160	9.別紙31	1.0.2-338	<p>(1) 可搬型設備の開口部確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名</th> <th>開口部有無</th> <th>対策内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車)</td> <td>有</td> <td>貫通部パッキン処理</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2 級消防車)</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 級消防車)</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニット</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置</td> <td>有</td> <td>金網設置</td> </tr> <tr> <td>大容量送水車</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>泡原液搬送車</td> <td>無</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ (4k1/16k1)</td> <td>無</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>無</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型設備名	開口部有無	対策内容	可搬型代替交流電源設備 (電源車)	有	貫通部パッキン処理	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級消防車)	有	貫通部シール処理	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級消防車)	有	貫通部シール処理	6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニット	有	貫通部シール処理	6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	有	金網設置	大容量送水車	有	貫通部シール処理	泡原液搬送車	無	—	タンクローリ (4k1/16k1)	無	—	ホイールローダ	無	—	<p>(1) 可搬型設備の開口部確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可搬型設備名</th> <th>開口部有無</th> <th>対策内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車)</td> <td>有</td> <td>貫通部パッキン処理, 貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (消防車)</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>直流給電車</td> <td>有</td> <td>金網設置 貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 級消防車)</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニット</td> <td>無</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋放水設備 大容量送水車</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車</td> <td>有</td> <td>貫通部シール処理</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ</td> <td>無</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型設備名	開口部有無	対策内容	可搬型代替交流電源設備 (電源車)	有	貫通部パッキン処理, 貫通部シール処理	可搬型代替注水ポンプ (消防車)	有	貫通部シール処理	直流給電車	有	金網設置 貫通部シール処理	可搬型代替注水ポンプ (A-1 級消防車)	有	貫通部シール処理	6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニット	無	—	6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	有	貫通部シール処理	原子炉建屋放水設備 大容量送水車	有	貫通部シール処理	原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車	有	貫通部シール処理	タンクローリ	無	—	<p>③(直流給電車の 削除, ホイール ローダの追加, 設 計進捗に伴う対 策実施)</p>
可搬型設備名	開口部有無	対策内容																																																															
可搬型代替交流電源設備 (電源車)	有	貫通部パッキン処理																																																															
可搬型代替注水ポンプ (A-2 級消防車)	有	貫通部シール処理																																																															
可搬型代替注水ポンプ (A-1 級消防車)	有	貫通部シール処理																																																															
6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニット	有	貫通部シール処理																																																															
6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	有	金網設置																																																															
大容量送水車	有	貫通部シール処理																																																															
泡原液搬送車	無	—																																																															
タンクローリ (4k1/16k1)	無	—																																																															
ホイールローダ	無	—																																																															
可搬型設備名	開口部有無	対策内容																																																															
可搬型代替交流電源設備 (電源車)	有	貫通部パッキン処理, 貫通部シール処理																																																															
可搬型代替注水ポンプ (消防車)	有	貫通部シール処理																																																															
直流給電車	有	金網設置 貫通部シール処理																																																															
可搬型代替注水ポンプ (A-1 級消防車)	有	貫通部シール処理																																																															
6号炉用, 7号炉用 代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニット	無	—																																																															
6号炉用, 7号炉用 可搬型窒素供給装置	有	貫通部シール処理																																																															
原子炉建屋放水設備 大容量送水車	有	貫通部シール処理																																																															
原子炉建屋放水設備 泡原液搬送車	有	貫通部シール処理																																																															
タンクローリ	無	—																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
161	9別紙31	1.0.2-339	<p>②可搬型代替注水ポンプ (A-2 級消防車)</p>  <p>③可搬型代替注水ポンプ (A-1 級消防車)</p> 	<p>②直流給電車</p>  <p>③可搬型代替注水設備</p> 	<p>③(直流給電車の 削除に伴う、写真 の変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



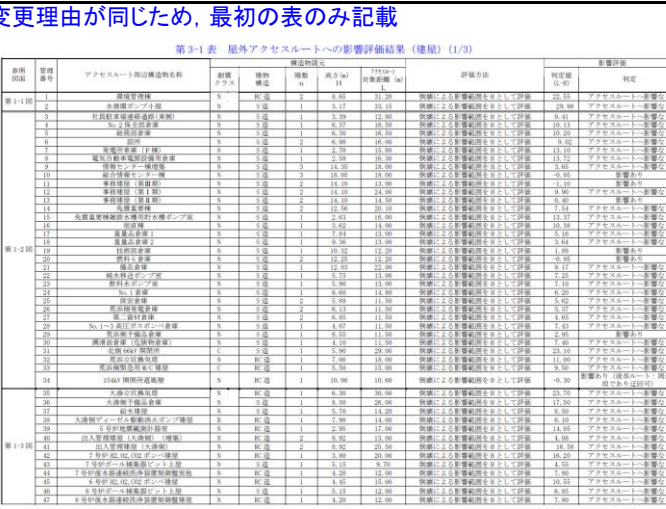

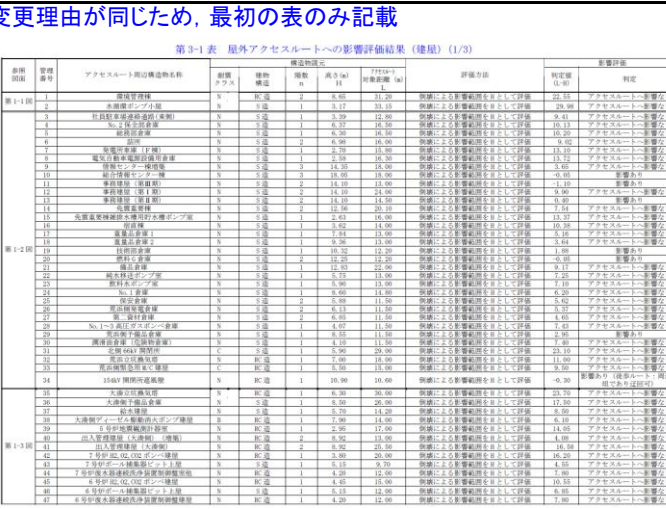

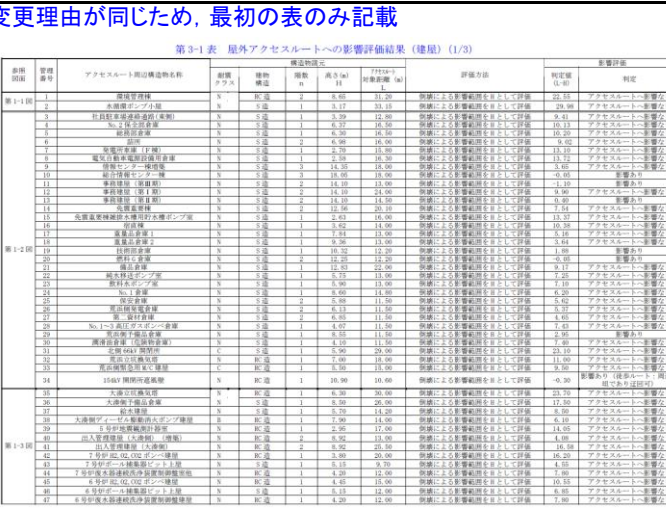

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
162	9.別紙32 第1-1表 ~ 第1-2表	1.0.2-341~ 342	<p>変更理由が同じため、最初の表のみ記載</p> <p>第1-1表 アクセスルートの周辺構造物（建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>管理番号</th> <th>構造物名称</th> <th>参照図面</th> <th>管理番号</th> <th>構造物名称</th> <th>参照図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>環境管理棟</td><td>第1-1図</td><td>51</td><td>6/7号炉廃棄物処理建屋</td><td rowspan="15">第1-3図</td></tr> <tr><td>2</td><td>水循環ポンプ小屋</td><td></td><td>52</td><td>6/7号炉コントロール建屋</td></tr> <tr><td>3</td><td>社員駐車場連絡通路(東側)</td><td></td><td>53</td><td>6/7号炉サービス建屋</td></tr> <tr><td>4</td><td>No.2保安部倉庫</td><td></td><td>54</td><td>6/7号炉連絡通路</td></tr> <tr><td>5</td><td>総務部倉庫</td><td></td><td>55</td><td>6号炉タービン建屋</td></tr> <tr><td>6</td><td>詰所</td><td></td><td>56</td><td>6号炉原子炉建屋</td></tr> <tr><td>7</td><td>発電所車庫 (F棟)</td><td></td><td>57</td><td>OF-CV 洞道入口建屋</td></tr> <tr><td>8</td><td>電気自動車電源設備用倉庫</td><td></td><td>58</td><td>5号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋</td></tr> <tr><td>9</td><td>情報センター棟増築</td><td></td><td>59</td><td>5号炉 N2, CO2 ボンベ建屋</td></tr> <tr><td>10</td><td>総合情報センター棟</td><td></td><td>60</td><td>5号炉海水熱交換器建屋排風機室</td></tr> <tr><td>11</td><td>事務建屋 (第Ⅲ期)</td><td></td><td>61</td><td>5号炉ボール捕集器ピット上屋</td></tr> <tr><td>12</td><td>事務建屋 (第Ⅰ期)</td><td></td><td>62</td><td>5号炉大物搬入建屋</td></tr> <tr><td>13</td><td>事務建屋 (第Ⅱ期)</td><td></td><td>63</td><td>5号炉タービン建屋</td></tr> <tr><td>14</td><td>免震重要棟</td><td></td><td>64</td><td>補助ボイラー建屋</td></tr> <tr><td>15</td><td>免震重要棟雑排水槽用貯水槽ポンプ室</td><td></td><td>65</td><td>雑固体廃棄物焼却設備建屋 (大液側)</td></tr> <tr><td>16</td><td>宿直棟</td><td></td><td>66</td><td>5号炉サービス建屋車庫</td></tr> <tr><td>17</td><td>重量品倉庫 1</td><td></td><td>67</td><td>5号炉格納容器圧力逃がし装置基礎</td></tr> <tr><td>18</td><td>重量品倉庫 2</td><td></td><td>68</td><td>5号炉主排気モニタ建屋</td></tr> <tr><td>19</td><td>技術部倉庫</td><td></td><td>69</td><td>5号炉原子炉建屋</td></tr> <tr><td>20</td><td>燃料 G 倉庫</td><td></td><td>70</td><td>5号炉サービス建屋</td></tr> <tr><td>21</td><td>備品倉庫</td><td></td><td>71</td><td>大液側緊急用電気品室</td></tr> <tr><td>22</td><td>純水移送ポンプ室</td><td></td><td>72</td><td>大液側高台資機材倉庫</td></tr> <tr><td>23</td><td>飲料水ポンプ室</td><td></td><td>73</td><td>大液側津波対策品倉庫</td></tr> <tr><td>24</td><td>No.1倉庫</td><td></td><td>74</td><td>固体廃棄物処理建屋</td></tr> <tr><td>25</td><td>保安倉庫</td><td></td><td>75</td><td>固体廃棄物貯蔵庫</td></tr> <tr><td>26</td><td>荒浜側発電倉庫</td><td></td><td>76</td><td>固体廃棄物ポンプ室建屋</td></tr> <tr><td>27</td><td>第二資材倉庫</td><td></td><td>77</td><td>協力企業 A 社 事務所</td></tr> <tr><td>28</td><td>No.1~3 高圧ガスボンベ倉庫</td><td></td><td>78</td><td>協力企業 A 社 倉庫</td></tr> <tr><td>29</td><td>荒浜側予備品倉庫</td><td></td><td>79</td><td>協力企業 B 社 柏崎事業所</td></tr> <tr><td>30</td><td>潤滑油倉庫 (危険物倉庫)</td><td></td><td>80</td><td>協力企業 C 社 事務所棟</td></tr> <tr><td>31</td><td>北側 66kV 開閉所</td><td></td><td>81</td><td>協力企業 C 社 食堂売店棟</td></tr> <tr><td>32</td><td>荒浜立坑換気塔</td><td></td><td>82</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 事務所・詰所</td></tr> <tr><td>33</td><td>荒浜側緊急用 M/C 建屋</td><td></td><td>83</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所</td></tr> <tr><td>34</td><td>154kV 変電所遮断壁</td><td></td><td>84</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 倉庫棟</td></tr> <tr><td>35</td><td>大液立坑換気塔</td><td></td><td>85</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所 2</td></tr> <tr><td>36</td><td>大液側予備品倉庫</td><td></td><td>86</td><td>協力企業 F 社 事業所</td></tr> <tr><td>37</td><td>給水建屋</td><td></td><td>87</td><td>協力企業事務所</td></tr> <tr><td>38</td><td>大液側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋</td><td></td><td>88</td><td>協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫</td></tr> <tr><td>39</td><td>5号炉地盤観測計器室</td><td></td><td>89</td><td>協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 2</td></tr> <tr><td>40</td><td>出入管理建屋 (大液側) (増築)</td><td></td><td>90</td><td>協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 3</td></tr> <tr><td>41</td><td>出入管理建屋 (大液側)</td><td></td><td>91</td><td>協力企業 G 社 事務所</td></tr> <tr><td>42</td><td>7号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋</td><td></td><td>92</td><td>協力企業 G 社 詰所</td></tr> <tr><td>43</td><td>7号炉ボール捕集器ピット上屋</td><td></td><td>93</td><td>協力企業 H 社 事務所</td></tr> <tr><td>44</td><td>7号炉復水器連続洗浄装置制御室他</td><td></td><td>94</td><td>土木企業体 現場事務所①</td></tr> <tr><td>45</td><td>6号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋</td><td></td><td>95</td><td>土木企業体 現場事務所②</td></tr> <tr><td>46</td><td>6号炉ボール捕集器ピット上屋</td><td></td><td>96</td><td>土木企業体 現場事務所③</td></tr> <tr><td>47</td><td>6号炉復水器連続洗浄装置制御室建屋</td><td></td><td>97</td><td>土木企業体 現場事務所④</td></tr> <tr><td>48</td><td>6号炉 CO2 ボンベ建屋</td><td></td><td>98</td><td>土木企業体 現場事務所⑤</td></tr> <tr><td>49</td><td>7号炉タービン建屋</td><td></td><td>99</td><td>土木企業体 現場事務所⑥</td></tr> <tr><td>50</td><td>7号炉原子炉建屋</td><td></td><td>100</td><td>土木企業体 現場事務所⑦</td></tr> </tbody> </table>	管理番号	構造物名称	参照図面	管理番号	構造物名称	参照図面	1	環境管理棟	第1-1図	51	6/7号炉廃棄物処理建屋	第1-3図	2	水循環ポンプ小屋		52	6/7号炉コントロール建屋	3	社員駐車場連絡通路(東側)		53	6/7号炉サービス建屋	4	No.2保安部倉庫		54	6/7号炉連絡通路	5	総務部倉庫		55	6号炉タービン建屋	6	詰所		56	6号炉原子炉建屋	7	発電所車庫 (F棟)		57	OF-CV 洞道入口建屋	8	電気自動車電源設備用倉庫		58	5号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋	9	情報センター棟増築		59	5号炉 N2, CO2 ボンベ建屋	10	総合情報センター棟		60	5号炉海水熱交換器建屋排風機室	11	事務建屋 (第Ⅲ期)		61	5号炉ボール捕集器ピット上屋	12	事務建屋 (第Ⅰ期)		62	5号炉大物搬入建屋	13	事務建屋 (第Ⅱ期)		63	5号炉タービン建屋	14	免震重要棟		64	補助ボイラー建屋	15	免震重要棟雑排水槽用貯水槽ポンプ室		65	雑固体廃棄物焼却設備建屋 (大液側)	16	宿直棟		66	5号炉サービス建屋車庫	17	重量品倉庫 1		67	5号炉格納容器圧力逃がし装置基礎	18	重量品倉庫 2		68	5号炉主排気モニタ建屋	19	技術部倉庫		69	5号炉原子炉建屋	20	燃料 G 倉庫		70	5号炉サービス建屋	21	備品倉庫		71	大液側緊急用電気品室	22	純水移送ポンプ室		72	大液側高台資機材倉庫	23	飲料水ポンプ室		73	大液側津波対策品倉庫	24	No.1倉庫		74	固体廃棄物処理建屋	25	保安倉庫		75	固体廃棄物貯蔵庫	26	荒浜側発電倉庫		76	固体廃棄物ポンプ室建屋	27	第二資材倉庫		77	協力企業 A 社 事務所	28	No.1~3 高圧ガスボンベ倉庫		78	協力企業 A 社 倉庫	29	荒浜側予備品倉庫		79	協力企業 B 社 柏崎事業所	30	潤滑油倉庫 (危険物倉庫)		80	協力企業 C 社 事務所棟	31	北側 66kV 開閉所		81	協力企業 C 社 食堂売店棟	32	荒浜立坑換気塔		82	協力企業 D 社/E 社合同棟 事務所・詰所	33	荒浜側緊急用 M/C 建屋		83	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所	34	154kV 変電所遮断壁		84	協力企業 D 社/E 社合同棟 倉庫棟	35	大液立坑換気塔		85	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所 2	36	大液側予備品倉庫		86	協力企業 F 社 事業所	37	給水建屋		87	協力企業事務所	38	大液側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋		88	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫	39	5号炉地盤観測計器室		89	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 2	40	出入管理建屋 (大液側) (増築)		90	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 3	41	出入管理建屋 (大液側)		91	協力企業 G 社 事務所	42	7号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		92	協力企業 G 社 詰所	43	7号炉ボール捕集器ピット上屋		93	協力企業 H 社 事務所	44	7号炉復水器連続洗浄装置制御室他		94	土木企業体 現場事務所①	45	6号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		95	土木企業体 現場事務所②	46	6号炉ボール捕集器ピット上屋		96	土木企業体 現場事務所③	47	6号炉復水器連続洗浄装置制御室建屋		97	土木企業体 現場事務所④	48	6号炉 CO2 ボンベ建屋		98	土木企業体 現場事務所⑤	49	7号炉タービン建屋		99	土木企業体 現場事務所⑥	50	7号炉原子炉建屋		100	土木企業体 現場事務所⑦	<p>表 1.1 アクセスルートの周辺構造物（建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>管理番号</th> <th>構造物名称</th> <th>参照図面</th> <th>管理番号</th> <th>構造物名称</th> <th>参照図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>環境管理棟</td><td>図 1.1</td><td>52</td><td>6/7号機廃棄物処理建屋</td><td rowspan="15">図 1.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>水循環ポンプ小屋</td><td></td><td>53</td><td>6/7号機コントロール建屋</td></tr> <tr><td>3</td><td>社員駐車場連絡通路(東側)</td><td></td><td>54</td><td>6/7号機サービス建屋</td></tr> <tr><td>4</td><td>No.2保安部倉庫</td><td></td><td>55</td><td>6/7号機連絡通路</td></tr> <tr><td>5</td><td>総務部倉庫</td><td></td><td>56</td><td>6号機タービン建屋</td></tr> <tr><td>6</td><td>詰所</td><td></td><td>57</td><td>6号機原子炉建屋</td></tr> <tr><td>7</td><td>発電所車庫 (F棟)</td><td></td><td>58</td><td>OF-CV 洞道入口建屋</td></tr> <tr><td>8</td><td>電気自動車電源設備用倉庫</td><td></td><td>59</td><td>5号機 H2, CO2, O2 ボンベ建屋</td></tr> <tr><td>9</td><td>情報センター棟増築</td><td></td><td>60</td><td>5号機 N2, CO2 ボンベ建屋</td></tr> <tr><td>10</td><td>総合情報センター棟</td><td></td><td>61</td><td>5号機海水熱交換器建屋排風機室</td></tr> <tr><td>11</td><td>事務建屋 (第Ⅲ期)</td><td></td><td>62</td><td>5号機ボール捕集器ピット上屋</td></tr> <tr><td>12</td><td>事務建屋 (第Ⅰ期)</td><td></td><td>63</td><td>5号機大物搬入建屋</td></tr> <tr><td>13</td><td>事務建屋 (第Ⅱ期)</td><td></td><td>64</td><td>5号機タービン建屋</td></tr> <tr><td>14</td><td>免震重要棟</td><td></td><td>65</td><td>補助ボイラー建屋</td></tr> <tr><td>15</td><td>免震重要棟雑排水槽用貯水槽ポンプ室</td><td></td><td>66</td><td>雑固体廃棄物焼却設備建屋 (大液側)</td></tr> <tr><td>16</td><td>宿直棟</td><td></td><td>67</td><td>5号機サービス建屋車庫</td></tr> <tr><td>17</td><td>重量品倉庫 1</td><td></td><td>68</td><td>5号機フィルタベント設備</td></tr> <tr><td>18</td><td>重量品倉庫 2</td><td></td><td>69</td><td>5号機主排気モニタ建屋</td></tr> <tr><td>19</td><td>技術部倉庫</td><td></td><td>70</td><td>5号機原子炉建屋</td></tr> <tr><td>20</td><td>燃料 G 倉庫</td><td></td><td>94</td><td>5号機サービス建屋</td></tr> <tr><td>21</td><td>備品倉庫</td><td></td><td>71</td><td>大液側緊急用電気品室</td></tr> <tr><td>22</td><td>純水移送ポンプ室</td><td></td><td>72</td><td>大液側高台資機材倉庫</td></tr> <tr><td>23</td><td>飲料水ポンプ室</td><td></td><td>73</td><td>大液側津波対策品倉庫</td></tr> <tr><td>24</td><td>No.1倉庫</td><td></td><td>74</td><td>固体廃棄物処理建屋</td></tr> <tr><td>25</td><td>保安倉庫</td><td></td><td>75</td><td>固体廃棄物貯蔵庫</td></tr> <tr><td>26</td><td>荒浜側発電倉庫</td><td></td><td>76</td><td>固体廃棄物ポンプ室建屋</td></tr> <tr><td>27</td><td>第二資材倉庫</td><td></td><td>77</td><td>協力企業 A 社 事務所</td></tr> <tr><td>28</td><td>No.1~3 高圧ガスボンベ倉庫</td><td></td><td>78</td><td>協力企業 A 社 倉庫</td></tr> <tr><td>29</td><td>荒浜側予備品倉庫</td><td></td><td>79</td><td>協力企業 B 社 柏崎事業所</td></tr> <tr><td>30</td><td>潤滑油倉庫 (危険物倉庫)</td><td></td><td>80</td><td>協力企業 C 社 事務所棟</td></tr> <tr><td>31</td><td>北側 66 K V 開閉所</td><td></td><td>81</td><td>協力企業 C 社 食堂売店棟</td></tr> <tr><td>32</td><td>荒浜立坑換気塔</td><td></td><td>82</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 事務所・詰所</td></tr> <tr><td>33</td><td>荒浜側緊急用 M/C 建屋</td><td></td><td>83</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所</td></tr> <tr><td>34</td><td>154 K V 変電所遮断壁</td><td></td><td>84</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 倉庫棟</td></tr> <tr><td>35</td><td>大液立坑換気塔</td><td></td><td>85</td><td>協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所 2</td></tr> <tr><td>36</td><td>大液側予備品倉庫</td><td></td><td>86</td><td>協力企業 F 社 事業所</td></tr> <tr><td>37</td><td>給水建屋</td><td></td><td>87</td><td>協力企業事務所</td></tr> <tr><td>38</td><td>大液側 D/D ボンベ建屋</td><td></td><td>88</td><td>協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫</td></tr> <tr><td>39</td><td>5号機地盤観測計器室</td><td></td><td>89</td><td>協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 2</td></tr> <tr><td>40</td><td>出入管理建屋 (大液側) (増築)</td><td></td><td>90</td><td>協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 3</td></tr> <tr><td>41</td><td>出入管理建屋 (大液側)</td><td></td><td>91</td><td>協力企業 G 社 事務所</td></tr> <tr><td>42</td><td>7号機 H2, O2, CO2 ボンベ建屋</td><td></td><td>92</td><td>協力企業 G 社 詰所</td></tr> <tr><td>43</td><td>7号機ボール捕集器ピット上屋</td><td></td><td>93</td><td>協力企業 H 社 事務所</td></tr> <tr><td>44</td><td>7号機復水器連続洗浄装置制御室他</td><td></td><td>95</td><td>土木企業体 現場事務所①</td></tr> <tr><td>45</td><td>6号機 H2, O2, CO2 ボンベ建屋</td><td></td><td>96</td><td>土木企業体 現場事務所②</td></tr> <tr><td>46</td><td>6号機ボール捕集器ピット上屋</td><td></td><td>97</td><td>土木企業体 現場事務所③</td></tr> <tr><td>47</td><td>6号機復水器連続洗浄装置制御室建屋</td><td></td><td>98</td><td>土木企業体 現場事務所④</td></tr> <tr><td>48</td><td>6号機 CO2 ボンベ建屋</td><td></td><td>99</td><td>土木企業体 現場事務所⑤</td></tr> <tr><td>49</td><td>7号機タービン建屋</td><td></td><td>100</td><td>土木企業体 現場事務所⑥</td></tr> <tr><td>50</td><td>7号機原子炉建屋</td><td></td><td>101</td><td>土木企業体 現場事務所⑦</td></tr> <tr><td>51</td><td>7号機原子炉建屋</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	管理番号	構造物名称	参照図面	管理番号	構造物名称	参照図面	1	環境管理棟	図 1.1	52	6/7号機廃棄物処理建屋	図 1.3	2	水循環ポンプ小屋		53	6/7号機コントロール建屋	3	社員駐車場連絡通路(東側)		54	6/7号機サービス建屋	4	No.2保安部倉庫		55	6/7号機連絡通路	5	総務部倉庫		56	6号機タービン建屋	6	詰所		57	6号機原子炉建屋	7	発電所車庫 (F棟)		58	OF-CV 洞道入口建屋	8	電気自動車電源設備用倉庫		59	5号機 H2, CO2, O2 ボンベ建屋	9	情報センター棟増築		60	5号機 N2, CO2 ボンベ建屋	10	総合情報センター棟		61	5号機海水熱交換器建屋排風機室	11	事務建屋 (第Ⅲ期)		62	5号機ボール捕集器ピット上屋	12	事務建屋 (第Ⅰ期)		63	5号機大物搬入建屋	13	事務建屋 (第Ⅱ期)		64	5号機タービン建屋	14	免震重要棟		65	補助ボイラー建屋	15	免震重要棟雑排水槽用貯水槽ポンプ室		66	雑固体廃棄物焼却設備建屋 (大液側)	16	宿直棟		67	5号機サービス建屋車庫	17	重量品倉庫 1		68	5号機フィルタベント設備	18	重量品倉庫 2		69	5号機主排気モニタ建屋	19	技術部倉庫		70	5号機原子炉建屋	20	燃料 G 倉庫		94	5号機サービス建屋	21	備品倉庫		71	大液側緊急用電気品室	22	純水移送ポンプ室		72	大液側高台資機材倉庫	23	飲料水ポンプ室		73	大液側津波対策品倉庫	24	No.1倉庫		74	固体廃棄物処理建屋	25	保安倉庫		75	固体廃棄物貯蔵庫	26	荒浜側発電倉庫		76	固体廃棄物ポンプ室建屋	27	第二資材倉庫		77	協力企業 A 社 事務所	28	No.1~3 高圧ガスボンベ倉庫		78	協力企業 A 社 倉庫	29	荒浜側予備品倉庫		79	協力企業 B 社 柏崎事業所	30	潤滑油倉庫 (危険物倉庫)		80	協力企業 C 社 事務所棟	31	北側 66 K V 開閉所		81	協力企業 C 社 食堂売店棟	32	荒浜立坑換気塔		82	協力企業 D 社/E 社合同棟 事務所・詰所	33	荒浜側緊急用 M/C 建屋		83	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所	34	154 K V 変電所遮断壁		84	協力企業 D 社/E 社合同棟 倉庫棟	35	大液立坑換気塔		85	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所 2	36	大液側予備品倉庫		86	協力企業 F 社 事業所	37	給水建屋		87	協力企業事務所	38	大液側 D/D ボンベ建屋		88	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫	39	5号機地盤観測計器室		89	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 2	40	出入管理建屋 (大液側) (増築)		90	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 3	41	出入管理建屋 (大液側)		91	協力企業 G 社 事務所	42	7号機 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		92	協力企業 G 社 詰所	43	7号機ボール捕集器ピット上屋		93	協力企業 H 社 事務所	44	7号機復水器連続洗浄装置制御室他		95	土木企業体 現場事務所①	45	6号機 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		96	土木企業体 現場事務所②	46	6号機ボール捕集器ピット上屋		97	土木企業体 現場事務所③	47	6号機復水器連続洗浄装置制御室建屋		98	土木企業体 現場事務所④	48	6号機 CO2 ボンベ建屋		99	土木企業体 現場事務所⑤	49	7号機タービン建屋		100	土木企業体 現場事務所⑥	50	7号機原子炉建屋		101	土木企業体 現場事務所⑦	51	7号機原子炉建屋					⑤
			管理番号	構造物名称	参照図面	管理番号	構造物名称	参照図面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			1	環境管理棟	第1-1図	51	6/7号炉廃棄物処理建屋	第1-3図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			2	水循環ポンプ小屋		52	6/7号炉コントロール建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			3	社員駐車場連絡通路(東側)		53	6/7号炉サービス建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			4	No.2保安部倉庫		54	6/7号炉連絡通路																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			5	総務部倉庫		55	6号炉タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			6	詰所		56	6号炉原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			7	発電所車庫 (F棟)		57	OF-CV 洞道入口建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			8	電気自動車電源設備用倉庫		58	5号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			9	情報センター棟増築		59	5号炉 N2, CO2 ボンベ建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			10	総合情報センター棟		60	5号炉海水熱交換器建屋排風機室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			11	事務建屋 (第Ⅲ期)		61	5号炉ボール捕集器ピット上屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			12	事務建屋 (第Ⅰ期)		62	5号炉大物搬入建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			13	事務建屋 (第Ⅱ期)		63	5号炉タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			14	免震重要棟		64	補助ボイラー建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			15	免震重要棟雑排水槽用貯水槽ポンプ室		65	雑固体廃棄物焼却設備建屋 (大液側)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			16	宿直棟		66	5号炉サービス建屋車庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			17	重量品倉庫 1		67	5号炉格納容器圧力逃がし装置基礎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			18	重量品倉庫 2		68	5号炉主排気モニタ建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			19	技術部倉庫		69	5号炉原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			20	燃料 G 倉庫		70	5号炉サービス建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			21	備品倉庫		71	大液側緊急用電気品室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			22	純水移送ポンプ室		72	大液側高台資機材倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			23	飲料水ポンプ室		73	大液側津波対策品倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			24	No.1倉庫		74	固体廃棄物処理建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			25	保安倉庫		75	固体廃棄物貯蔵庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			26	荒浜側発電倉庫		76	固体廃棄物ポンプ室建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			27	第二資材倉庫		77	協力企業 A 社 事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			28	No.1~3 高圧ガスボンベ倉庫		78	協力企業 A 社 倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			29	荒浜側予備品倉庫		79	協力企業 B 社 柏崎事業所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			30	潤滑油倉庫 (危険物倉庫)		80	協力企業 C 社 事務所棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			31	北側 66kV 開閉所		81	協力企業 C 社 食堂売店棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			32	荒浜立坑換気塔		82	協力企業 D 社/E 社合同棟 事務所・詰所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			33	荒浜側緊急用 M/C 建屋		83	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			34	154kV 変電所遮断壁		84	協力企業 D 社/E 社合同棟 倉庫棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			35	大液立坑換気塔		85	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			36	大液側予備品倉庫		86	協力企業 F 社 事業所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			37	給水建屋		87	協力企業事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			38	大液側ディーゼル駆動消火ポンプ建屋		88	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			39	5号炉地盤観測計器室		89	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			40	出入管理建屋 (大液側) (増築)		90	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			41	出入管理建屋 (大液側)		91	協力企業 G 社 事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			42	7号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		92	協力企業 G 社 詰所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			43	7号炉ボール捕集器ピット上屋		93	協力企業 H 社 事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			44	7号炉復水器連続洗浄装置制御室他		94	土木企業体 現場事務所①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			45	6号炉 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		95	土木企業体 現場事務所②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			46	6号炉ボール捕集器ピット上屋		96	土木企業体 現場事務所③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			47	6号炉復水器連続洗浄装置制御室建屋		97	土木企業体 現場事務所④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			48	6号炉 CO2 ボンベ建屋		98	土木企業体 現場事務所⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
49	7号炉タービン建屋		99	土木企業体 現場事務所⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
50	7号炉原子炉建屋		100	土木企業体 現場事務所⑦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
管理番号	構造物名称	参照図面	管理番号	構造物名称	参照図面																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1	環境管理棟	図 1.1	52	6/7号機廃棄物処理建屋	図 1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2	水循環ポンプ小屋		53	6/7号機コントロール建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
3	社員駐車場連絡通路(東側)		54	6/7号機サービス建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4	No.2保安部倉庫		55	6/7号機連絡通路																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
5	総務部倉庫		56	6号機タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
6	詰所		57	6号機原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
7	発電所車庫 (F棟)		58	OF-CV 洞道入口建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
8	電気自動車電源設備用倉庫		59	5号機 H2, CO2, O2 ボンベ建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
9	情報センター棟増築		60	5号機 N2, CO2 ボンベ建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
10	総合情報センター棟		61	5号機海水熱交換器建屋排風機室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
11	事務建屋 (第Ⅲ期)		62	5号機ボール捕集器ピット上屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
12	事務建屋 (第Ⅰ期)		63	5号機大物搬入建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
13	事務建屋 (第Ⅱ期)		64	5号機タービン建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
14	免震重要棟		65	補助ボイラー建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
15	免震重要棟雑排水槽用貯水槽ポンプ室		66	雑固体廃棄物焼却設備建屋 (大液側)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
16	宿直棟		67	5号機サービス建屋車庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
17	重量品倉庫 1		68	5号機フィルタベント設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
18	重量品倉庫 2		69	5号機主排気モニタ建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
19	技術部倉庫		70	5号機原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
20	燃料 G 倉庫		94	5号機サービス建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
21	備品倉庫		71	大液側緊急用電気品室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
22	純水移送ポンプ室		72	大液側高台資機材倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
23	飲料水ポンプ室		73	大液側津波対策品倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
24	No.1倉庫		74	固体廃棄物処理建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
25	保安倉庫		75	固体廃棄物貯蔵庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
26	荒浜側発電倉庫		76	固体廃棄物ポンプ室建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
27	第二資材倉庫		77	協力企業 A 社 事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
28	No.1~3 高圧ガスボンベ倉庫		78	協力企業 A 社 倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
29	荒浜側予備品倉庫		79	協力企業 B 社 柏崎事業所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
30	潤滑油倉庫 (危険物倉庫)		80	協力企業 C 社 事務所棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
31	北側 66 K V 開閉所		81	協力企業 C 社 食堂売店棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
32	荒浜立坑換気塔		82	協力企業 D 社/E 社合同棟 事務所・詰所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
33	荒浜側緊急用 M/C 建屋		83	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
34	154 K V 変電所遮断壁		84	協力企業 D 社/E 社合同棟 倉庫棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
35	大液立坑換気塔		85	協力企業 D 社/E 社合同棟 仮設事務所 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
36	大液側予備品倉庫		86	協力企業 F 社 事業所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
37	給水建屋		87	協力企業事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
38	大液側 D/D ボンベ建屋		88	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
39	5号機地盤観測計器室		89	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
40	出入管理建屋 (大液側) (増築)		90	協力企業 G 社 仮設詰所・倉庫 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
41	出入管理建屋 (大液側)		91	協力企業 G 社 事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
42	7号機 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		92	協力企業 G 社 詰所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
43	7号機ボール捕集器ピット上屋		93	協力企業 H 社 事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
44	7号機復水器連続洗浄装置制御室他		95	土木企業体 現場事務所①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
45	6号機 H2, O2, CO2 ボンベ建屋		96	土木企業体 現場事務所②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
46	6号機ボール捕集器ピット上屋		97	土木企業体 現場事務所③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
47	6号機復水器連続洗浄装置制御室建屋		98	土木企業体 現場事務所④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
48	6号機 CO2 ボンベ建屋		99	土木企業体 現場事務所⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
49	7号機タービン建屋		100	土木企業体 現場事務所⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
50	7号機原子炉建屋		101	土木企業体 現場事務所⑦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
51	7号機原子炉建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充・適正化

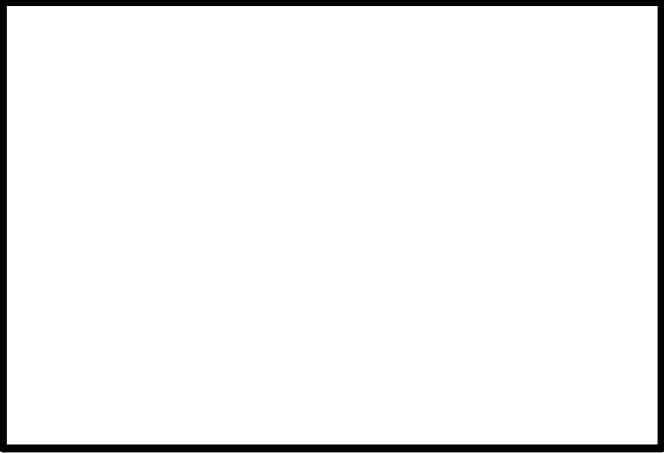
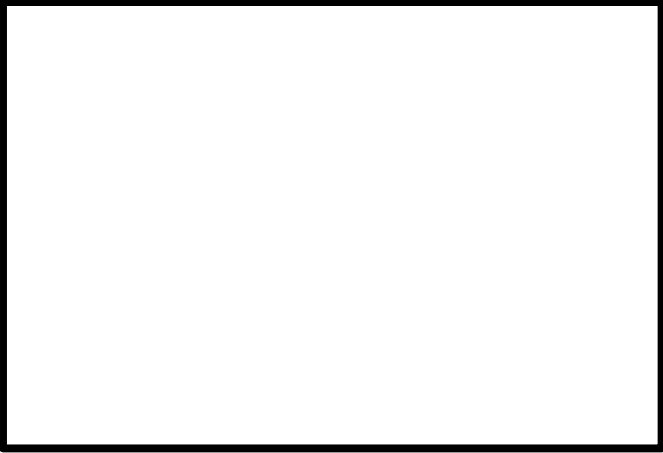
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由	
163	9.別紙32 第1-1図 ~ 第1-6図	1.0.2-343~ 348	変更理由が同じため、最初の図のみ記載			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルートを確定したため) ⑤
			変更理由が同じため、最初の表のみ記載			
164	9.別紙32 第3-1表 ~ 第3-4表	1.0.2-351~ 353	変更理由が同じため、最初の表のみ記載			③(再評価結果の反映)
			変更理由が同じため、最初の表のみ記載			



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
165	9.別紙32 第4-1図 ～ 第4-3図	1.0.2-354～ 356	<p>変更理由が同じため、最初の図のみ記載</p> 		③(再評価結果の反映)
166	9.別紙33	1.0.2-358	<p>2. アクセスルートの斜面すべり検討: 斜面崩壊形状の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2図に示すとおり、すべり範囲に応じた崩壊形状は、すべり線が大きいほど崩壊土砂の到達距離は長くなり、崩壊後の法肩位置は崩壊前の法肩位置に近づいていく。</li> <li>・このことから、アクセスルート斜面における崩壊後の土砂堆積形状は、保守的に崩壊前の斜面形状の法肩を基点にして堆積角度が15°となるように設定した。</li> </ul>	<p>アクセスルートの斜面すべり検討: 斜面崩壊形状の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ すべり範囲に応じた崩壊形状の設定では、下図に示すとおり、すべり線が大きいほど崩壊土砂の到達距離は長くなり、崩壊形状の法肩は崩壊前の斜面形状の法肩に近づく。</li> <li>■ アクセスルート斜面の崩壊形状については、保守的に崩壊後の土砂の堆積形状を崩壊前の土砂形状の法肩を基点に堆積角度が15°となるように設定した。</li> </ul>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
167	9. 別紙34 第1図	1.0.2-359	<p>1. 揺すり込み沈下率について：(参考) 鉄道構造物等設計標準による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不飽和地盤の揺すり込みによる沈下量を、「鉄道総合技術研究所：鉄道構造物等設計標準・同解説 土構造物、2007」に示されている方法に基づき算定した。</li> <li>結果、沈下率は最大0.17%であり、北爪ら(2012)の方法により算定した沈下率より小さいことから、3.(3)3)にて設定した沈下率2.0%は十分に保守的であるといえる。</li> </ul> <p>① 3号及び4号OFケーブルダクト          地下水位以浅の揺すり込み沈下量:0.00065m          // の地盤の層厚:4.0m          // の揺すり込み沈下による体積ひずみ:0.17%</p> <p>② 3号OFケーブルダクト          地下水位以浅の揺すり込み沈下量:0.00110m          // の地盤の層厚:3.0m          // の揺すり込み沈下による体積ひずみ:0.04%</p> <p>第1図 鉄道構造物等設計標準・同解説による評価</p>	<p>揺すり込み沈下について：(参考) 鉄道設計標準による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不飽和地盤の揺すり込みによる沈下率を、「鉄道構造物等設計標準・同解説、土構造物(2007)」に示されている方法に基づき算出した。</li> <li>沈下率は最大0.18%であり、北爪ら(2012)の方法より算出した沈下率より小さいことから、設定した2%は十分に保守的な設定であるといえる。</li> </ul> <p>① K-3/4 CV K-4OFケーブルダクト          地下水位以浅の揺すり込み沈下量:0.00701m          // の地盤の層厚:4.0m          // の揺すり込み沈下による体積ひずみ:0.18%</p> <p>② K-3 OFケーブルダクト          地下水位以浅の揺すり込み沈下量:0.00134m          // の地盤の層厚:3.0m          // の揺すり込み沈下による体積ひずみ:0.04%</p> <p>不飽和地盤の揺すり込み沈下量の算定フロー</p>	<p>②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)          ⑤</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																				
168	9. 別紙34 第3図	1.0.2-361	<p>対象層の相対密度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地層</th> <th colspan="2">相対密度 [%]</th> <th rowspan="2">備考 (調査位置)</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新期砂層・沖積層</td> <td>99</td> <td></td> <td>A-3及びその周辺、 7号炉軽油タンク</td> </tr> </tbody> </table> <p>大湊側 試料採取地点位置図</p> <p>荒浜側 試料採取地点位置図</p> <p>新期砂層・沖積層の相対密度</p> <p>平均: 99% 標準偏差: 7%</p> <p>○ アーチ ○ 平均</p> <p>● 新期砂層・沖積層調査位置 ● 埋戻土調査位置</p> <p>第3図 新期砂層・沖積層の相対密度</p>	地層	相対密度 [%]		備考 (調査位置)	平均		新期砂層・沖積層	99		A-3及びその周辺、 7号炉軽油タンク	<p>対象層の相対密度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地層</th> <th colspan="2">相対密度 [%]</th> <th rowspan="2">備考 (調査位置)</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新期砂層・沖積層</td> <td>99</td> <td></td> <td>A-3及びその周辺、 K7軽油タンク周辺</td> </tr> </tbody> </table> <p>大湊側 試料採取地点位置図</p> <p>荒浜側 試料採取地点位置図</p> <p>新期砂層・沖積層の相対密度</p> <p>平均: 99% 標準偏差: 7%</p> <p>○ アーチ ○ 平均</p> <p>● 新期砂層・沖積層調査位置</p>	地層	相対密度 [%]		備考 (調査位置)	平均		新期砂層・沖積層	99		A-3及びその周辺、 K7軽油タンク周辺	⑤
地層	相対密度 [%]		備考 (調査位置)																						
	平均																								
新期砂層・沖積層	99		A-3及びその周辺、 7号炉軽油タンク																						
地層	相対密度 [%]		備考 (調査位置)																						
	平均																								
新期砂層・沖積層	99		A-3及びその周辺、 K7軽油タンク周辺																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

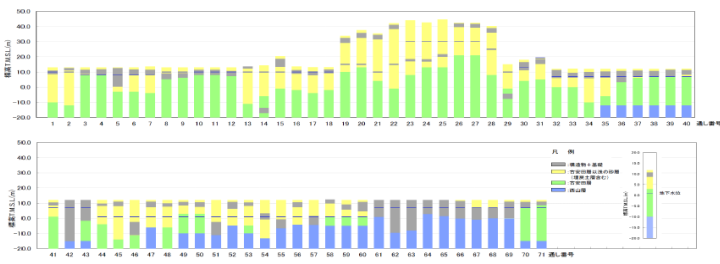
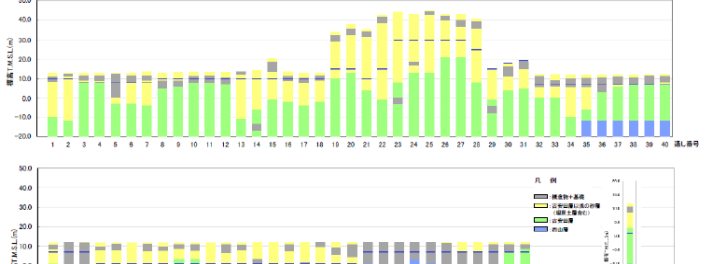
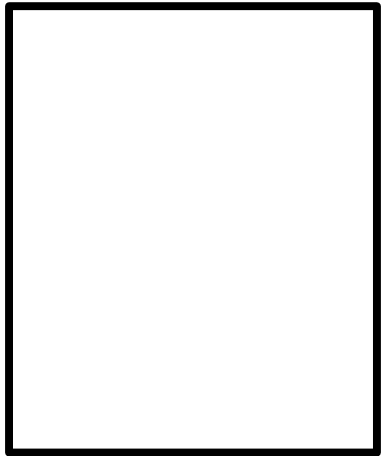

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由														
169	9. 別紙34 第4図	1.0.2-362	<p>対象層の相対密度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地層</th> <th>相対密度 [%]</th> <th rowspan="2">備考 (調査位置)</th> </tr> <tr> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古安田層 中の砂層</td> <td>89</td> <td>荒浜側、 大湊側海側</td> </tr> </tbody> </table> <p>第4図 古安田層の相対密度</p>	地層	相対密度 [%]	備考 (調査位置)	平均	古安田層 中の砂層	89	荒浜側、 大湊側海側	<p>対象層の相対密度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地層</th> <th>相対密度 [%]</th> <th rowspan="2">備考 (調査位置)</th> </tr> <tr> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古安田層中の 砂層</td> <td>89</td> <td>荒浜側、 大湊側海側</td> </tr> </tbody> </table> <p>第4図 古安田層の相対密度</p>	地層	相対密度 [%]	備考 (調査位置)	平均	古安田層中の 砂層	89	荒浜側、 大湊側海側	⑤
地層	相対密度 [%]	備考 (調査位置)																	
	平均																		
古安田層 中の砂層	89	荒浜側、 大湊側海側																	
地層	相対密度 [%]	備考 (調査位置)																	
	平均																		
古安田層中の 砂層	89	荒浜側、 大湊側海側																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
170	9.別紙34 第5図	1.0.2-363	 <p>第5図 段差評価位置の地質構成</p>		④(竣工図反映方法を統一したため) ⑤
171	9.別紙34	1.0.2-364	<p>・6号炉軽油タンク南側は、最大40cm程度の段差が生じるものの、事前に迂回ルートを設定することでアクセスルートを確認する(別紙38参照)。 ・6号炉軽油タンク北側・西側は、事前に段差緩和対策を行うことでアクセスルートを確認する(別紙38参照)。</p>	<p>・6号炉軽油タンク部地盤改良周辺は、最大40cm程度の段差が生じるものの、事前に迂回ルートを設定することで通行可能。 ・6号炉原子炉建屋北側については、事前に地盤改良周辺に発生する可能性のある段差の緩和対策を行うことでアクセスルートを確認する。</p>	⑤
172	9.別紙34 第6図	1.0.2-364			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
173	9.別紙35 第1図	1.0.2-365			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
174	9.別紙35	1.0.2-367	斜面崩壊後の堆積土砂形状を想定	斜面崩壊後の斜面形状を想定	⑤
175	9.別紙35	1.0.2-367	斜面崩壊後の堆積土砂形状	崩壊後の斜面形状	⑤
176	9.別紙35	1.0.2-367	斜面崩壊時における堆積土砂形状の斜面角度	崩壊土砂の堆積時の角度	⑤
177	9.別紙35 第3図	1.0.2-367			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
178	9.別紙35 第4-1図	1.0.2-368			⑤
179	9.別紙35 第5図	1.0.2-369	<p>荒浜側道上域（防溺場内）の津波高さ T.M.S.L.+6.9m を上回る T.M.S.L.+11.9m の標高の7.7m<sup>※</sup>を通行又は迂回するスペースが確保可能。</p> <p>すべり線の大きさ 沈下量 小 大</p> <p>7.7m<sup>※</sup>に斜面崩壊の影響があるものの沈下量は1.8m程度（第4-1図参照）のため、荒浜側道上域（防溺場内）の津波高さ T.M.S.L.+6.9m よりも高い T.M.S.L.+10.1m 程度の標高位置<sup>※</sup>を通行可能。</p> <p>すべり線の大きさ 沈下量 小 大</p> <p>7.7m<sup>※</sup>にすべりの影響があるものの沈下量は1.8mよりも小さくなり、荒浜側道上域（防溺場内）の津波高さ T.M.S.L.+6.9m よりも高い T.M.S.L.+10.1m 以上の標高位置を通行可能。</p> <p>すべり線の大きさ 沈下量 大 小</p> <p>※第2-1図で想定した最大1.1mの沈下を考慮した標高。</p>	<p>荒浜側道上域（防溺場内）の津波高さ T.M.S.L.+6.9m を上回る T.M.S.L.+11.9m の標高の7.7m<sup>※</sup>を通行又は迂回するスペースが確保可能。</p> <p>すべり線の大きさ 沈下量 小 大</p> <p>7.7m<sup>※</sup>に斜面崩壊の影響があるものの沈下量は1.8m程度（図4-1参照）のため、浜側道上域（防溺場内）の津波高さ T.M.S.L.+6.9m よりも高い T.M.S.L.+10.1m 程度の標高位置<sup>※</sup>を通行可能。</p> <p>すべり線の大きさ 沈下量 小 大</p> <p>7.7m<sup>※</sup>にすべりの影響があるものの沈下量は1.8mよりも小さくなり、浜側道上域（防溺場内）の津波高さ T.M.S.L.+6.9m よりも高い T.M.S.L.+10.1m 以上の標高位置を通行可能。</p> <p>すべり線の大きさ 沈下量 大 小</p> <p>※図2-1で想定した最大1.1mの沈下を考慮した標高。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】




- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
180	9.別紙35	1.0.2-370	別途実施している遡上域最高水位はT.M.S.L.+8.3mであり、荒浜側遡上域(防潮堤内)では津波高さはT.M.S.L.+6.9m(本文第3図参照)であることから、地震時の沈下を想定しても津波の影響を受けずにアクセスルートは使用可能である。	別途実施している遡上域最高水位はT.M.S.L.+8.3mであり、このうち荒浜側遡上域(防潮堤内)では津波高さはT.M.S.L.+6.9m(第442回審査会合資料1-3-2)であることから、地震時の沈下を想定しても津波の影響を受けずにアクセスルートは使用可能である。	⑤
181	9.別紙36 第1図 ～ 第3図	1.0.2-371～ 372	変更理由が同じため、最初の図のみ記載 		②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
182	9.別紙37	1.0.2-373	原子炉建屋、タービン建屋等、建屋近傍での	建屋近傍での	⑤
183	9.別紙37	1.0.2-373	原子炉圧力容器への注水及び格納容器スプレイに用いる	原子炉注水及び格納容器スプレイに用いる	⑤
184	9.別紙37	1.0.2-373	代替原子炉補機冷却系熱交換器ユニット(以下「熱交換器ユニット」という。)のホース接続作業	熱交換器ユニットのホース接続作業	⑤
185	9.別紙37	1.0.2-374	代替熱交換器ユニットのホースをタービン建屋外側にて接続する場合、必要な段差の復旧幅を3mと想定すると、上記の評価時間に包含される。	代替熱交換器車のホースをタービン建屋外側にて接続する場合は、必要な段差の復旧幅は1m程度であり、幅3mで段差を復旧する時間よりも作業時間が短くなることから、上記の評価時間に包含される。	⑤
186	9.別紙37	1.0.2-377	別紙11 5.(3)にて検証した50cmの段差復旧	50cmの段差復旧	⑤
187	9.別紙37	1.0.2-377	約5～約6分/サイクル	約3～約6分/サイクル	③(至近の訓練結果を反映したため)
188	9.別紙37 第1表	1.0.2-379	約5～約6分/サイクル	約3～約6分/サイクル	③(至近の訓練結果を反映したため)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】




- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
189	9. 別紙38 第1図	1.0.2-380			②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
190	9. 別紙39	1.0.2-381	なお、荒浜側高台保管場所には周辺斜面が存在しない。		⑤
191	9. 別紙39 第1図	1.0.2-381			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】


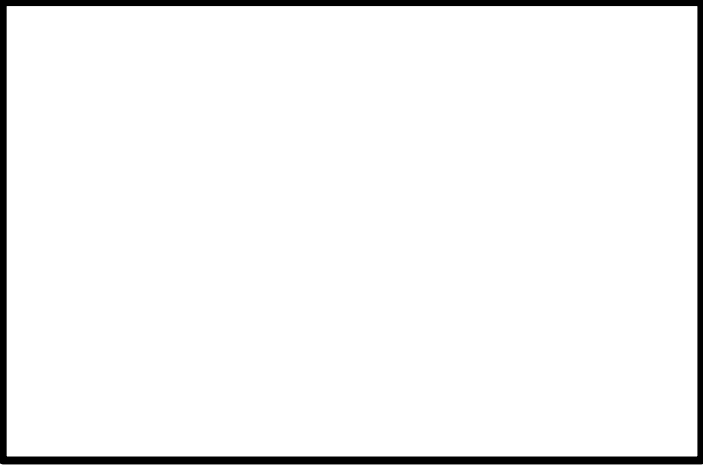
- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
192	9.別紙39 第2図	1.0.2-381			②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤
193	10.補足2	1.0.2-383	(2) 5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所への影響について 溢水伝播挙動評価は、6号及び7号炉の周辺に着目した解析に基づくものであり、浸水防護重点化範囲のうち、5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所は解析モデルの範囲外に位置する。	(2) 5号炉東側保管場所への影響について 溢水伝播挙動評価は、6号及び7号炉の周辺に着目した解析に基づくものであり、浸水防護重点化範囲のうち、5号炉東側保管場所は解析モデルの範囲外に位置する。	②(新規保管場所の追加)
194	10.補足2	1.0.2-384	3. その他 5号炉東側保管場所及び5号炉東側第二保管場所では有意な浸水は生じないものと考えられるが、保管する可搬型設備については、保守的に地表面上30cm(T.M.S.L+12.3m)の浸水が生じるものと想定し、必要な対策を実施する。	3. その他 5号炉東側保管場所では有意な浸水は生じないものと考えられるが、5号炉東側保管場所に設置する「5号炉原子炉建屋内緊急時対策用電源設備」については、保守的に地表面上30cm(T.M.S.L+12.3m)の浸水が生じるものと想定し、必要な対策実施する。	②(新規保管場所の追加)
195	10.補足2	1.0.2-386	なお、格納容器ベント後の現場の操作としては、「フィルタ装置水位調整(水抜き)」、「フィルタ装置スクラバ水pH調整」、「ドレン移送ラインN2パージ」、「ドレンタンク水抜き」の作業があるが、これらの操作に伴う被ばく量を評価し、緊急時作業に係る線量限度100mSvに照らしても作業可能であることを確認している。(柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉重大事故等対処設備について別添資料-1原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備(格納容器圧力逃がし装置について))	なお、格納容器ベント後の現場の操作としては、「フィルタ装置水位調整」、「フィルタ装置への薬液注入」、「排水ラインの窒素パージ」、「ドレンタンク水抜き」の作業があるが、これらの操作における作業エリアの被ばく線量率  が低下した62時間後で実施するため、人体に与える影響は少ない。	③(設備・手順の変更反映、再評価結果の反映)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】







- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
196	10.補足5	1.0.2-394	このケースの場合、6号及び7号炉ともに2箇所(①, ②)について転倒による乗り越えの可能性がある資機材設備として抽出した。	このケースの場合、6号炉で3箇所(①, ②, ⑬), 7号炉で2箇所(①, ②)について転倒による乗り越えの可能性がある資機材設備として抽出した。	②(資機材撤去等に伴う削除)
197	10.補足5 第1図(2/2)	1.0.2-396			②(資機材撤去等に伴う削除)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充・適正化



No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																										
198	10.補足5 第1表	1.0.2-397~ 400	<p>変更理由が同じため、最初の表のみ記載</p> <p>第1表 資機材設備の設置状況 (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">番号</th> <th rowspan="3">場所 (フロア)</th> <th rowspan="3">物品名</th> <th colspan="4">(上段) 物品の計測結果 [mm]</th> <th rowspan="3">通路の幅 [mm]</th> <th rowspan="3">写真</th> </tr> <tr> <th>高さ</th> <th>奥行</th> <th>幅</th> <th>最大長さ</th> </tr> <tr> <th colspan="4">(下段) 評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>サービス 建屋 地下1階 西側 Ev 横</td> <td>清掃用具保 管ラック</td> <td>1,920</td> <td>710</td> <td>2,170</td> <td>2,900</td> <td>2,430</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>サービス 建屋 地下1階 西側 Ev 横</td> <td>工具棚</td> <td>1,890</td> <td>900</td> <td>1,150</td> <td>2,210</td> <td>2,430</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>コントロ ール建屋 地下1階 (共用) 通路</td> <td>固定式消火 設備用ボン ベ(二酸化 炭素ボン ベ)</td> <td>1,920</td> <td>710</td> <td>1,740</td> <td>2,600</td> <td>4,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">通路の幅が十分なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室</td> <td>リフター</td> <td>2,500</td> <td>1,750</td> <td>1,250</td> <td>2,950</td> <td>3,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">通路の幅が十分なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室</td> <td>電源車用ド ラム</td> <td>1450</td> <td>1720</td> <td>1250</td> <td>2100</td> <td>3,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">通路の幅が十分なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室</td> <td>治具ラック</td> <td>1,620</td> <td>720</td> <td>1,330</td> <td>2,080</td> <td>1,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">アクセスルートと関係のない場所に設置されているため問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	場所 (フロア)	物品名	(上段) 物品の計測結果 [mm]				通路の幅 [mm]	写真	高さ	奥行	幅	最大長さ	(下段) 評価結果				①	サービス 建屋 地下1階 西側 Ev 横	清掃用具保 管ラック	1,920	710	2,170	2,900	2,430					設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし						②	サービス 建屋 地下1階 西側 Ev 横	工具棚	1,890	900	1,150	2,210	2,430					設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし						③	コントロ ール建屋 地下1階 (共用) 通路	固定式消火 設備用ボン ベ(二酸化 炭素ボン ベ)	1,920	710	1,740	2,600	4,200					通路の幅が十分なためアクセス性問題なし						④	6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室	リフター	2,500	1,750	1,250	2,950	3,900					通路の幅が十分なためアクセス性問題なし						⑤	6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室	電源車用ド ラム	1450	1720	1250	2100	3,900					通路の幅が十分なためアクセス性問題なし						⑥	6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室	治具ラック	1,620	720	1,330	2,080	1,400					アクセスルートと関係のない場所に設置されているため問題なし						<p>表1 資機材設備の設置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">番号</th> <th rowspan="3">場所 (フロア)</th> <th rowspan="3">物品名</th> <th colspan="4">(上段) 物品の計測結果 [mm]</th> <th rowspan="3">通路の幅 [mm]</th> <th rowspan="3">写真</th> </tr> <tr> <th>高さ</th> <th>奥行</th> <th>幅</th> <th>最大長さ</th> </tr> <tr> <th colspan="4">(下段) 評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>サービス 建屋 BIF 西側 Ev 横</td> <td>清掃用具保 管ラック</td> <td>1,920</td> <td>710</td> <td>2,170</td> <td>2,900</td> <td>2,430</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>サービス 建屋 BIF 西側 Ev 横</td> <td>工具棚</td> <td>1,890</td> <td>900</td> <td>1,150</td> <td>2,210</td> <td>2,430</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>コントロ ール建屋 BIF (共用) 通路</td> <td>潤滑油保 管棚 G-5A, 5B</td> <td>2,100</td> <td>670</td> <td>2,800</td> <td>3,500</td> <td>4,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">通路の幅が十分なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>コントロ ール建屋 BIF (共用) 通路</td> <td>固定式消火 設備用ボン ベ(二酸化 炭素ボン ベ)</td> <td>1,920</td> <td>710</td> <td>1,740</td> <td>2,600</td> <td>4,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">通路の幅が十分なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>6号炉原子 炉建屋 BIF A系非常用 電気品室</td> <td>リフター</td> <td>2,500</td> <td>1,750</td> <td>1,250</td> <td>2,950</td> <td>3,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">通路の幅が十分なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>6号炉原子 炉建屋 BIF A系非常用 電気品室</td> <td>電源車用ド ラム</td> <td>1450</td> <td>1720</td> <td>1250</td> <td>2100</td> <td>3,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">通路の幅が十分なためアクセス性問題なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	場所 (フロア)	物品名	(上段) 物品の計測結果 [mm]				通路の幅 [mm]	写真	高さ	奥行	幅	最大長さ	(下段) 評価結果				①	サービス 建屋 BIF 西側 Ev 横	清掃用具保 管ラック	1,920	710	2,170	2,900	2,430					設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし						②	サービス 建屋 BIF 西側 Ev 横	工具棚	1,890	900	1,150	2,210	2,430					設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし						③	コントロ ール建屋 BIF (共用) 通路	潤滑油保 管棚 G-5A, 5B	2,100	670	2,800	3,500	4,200					通路の幅が十分なためアクセス性問題なし						④	コントロ ール建屋 BIF (共用) 通路	固定式消火 設備用ボン ベ(二酸化 炭素ボン ベ)	1,920	710	1,740	2,600	4,200					通路の幅が十分なためアクセス性問題なし						⑤	6号炉原子 炉建屋 BIF A系非常用 電気品室	リフター	2,500	1,750	1,250	2,950	3,900					通路の幅が十分なためアクセス性問題なし						⑥	6号炉原子 炉建屋 BIF A系非常用 電気品室	電源車用ド ラム	1450	1720	1250	2100	3,900					通路の幅が十分なためアクセス性問題なし						②(資機材撤去等に 伴う削除)
			番号				場所 (フロア)	物品名	(上段) 物品の計測結果 [mm]				通路の幅 [mm]	写真																																																																																																																																																																																																																																																	
高さ	奥行	幅							最大長さ																																																																																																																																																																																																																																																						
(下段) 評価結果																																																																																																																																																																																																																																																															
①	サービス 建屋 地下1階 西側 Ev 横	清掃用具保 管ラック	1,920	710	2,170	2,900	2,430																																																																																																																																																																																																																																																								
			設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
②	サービス 建屋 地下1階 西側 Ev 横	工具棚	1,890	900	1,150	2,210	2,430																																																																																																																																																																																																																																																								
			設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
③	コントロ ール建屋 地下1階 (共用) 通路	固定式消火 設備用ボン ベ(二酸化 炭素ボン ベ)	1,920	710	1,740	2,600	4,200																																																																																																																																																																																																																																																								
			通路の幅が十分なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
④	6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室	リフター	2,500	1,750	1,250	2,950	3,900																																																																																																																																																																																																																																																								
			通路の幅が十分なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
⑤	6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室	電源車用ド ラム	1450	1720	1250	2100	3,900																																																																																																																																																																																																																																																								
			通路の幅が十分なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
⑥	6号炉原子 炉建屋 地下1階 A系非常用 電気品室	治具ラック	1,620	720	1,330	2,080	1,400																																																																																																																																																																																																																																																								
			アクセスルートと関係のない場所に設置されているため問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	場所 (フロア)	物品名	(上段) 物品の計測結果 [mm]				通路の幅 [mm]	写真																																																																																																																																																																																																																																																							
			高さ	奥行	幅	最大長さ																																																																																																																																																																																																																																																									
			(下段) 評価結果																																																																																																																																																																																																																																																												
①	サービス 建屋 BIF 西側 Ev 横	清掃用具保 管ラック	1,920	710	2,170	2,900	2,430																																																																																																																																																																																																																																																								
			設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
②	サービス 建屋 BIF 西側 Ev 横	工具棚	1,890	900	1,150	2,210	2,430																																																																																																																																																																																																																																																								
			設置物の転倒後、乗り越え可能なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
③	コントロ ール建屋 BIF (共用) 通路	潤滑油保 管棚 G-5A, 5B	2,100	670	2,800	3,500	4,200																																																																																																																																																																																																																																																								
			通路の幅が十分なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
④	コントロ ール建屋 BIF (共用) 通路	固定式消火 設備用ボン ベ(二酸化 炭素ボン ベ)	1,920	710	1,740	2,600	4,200																																																																																																																																																																																																																																																								
			通路の幅が十分なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
⑤	6号炉原子 炉建屋 BIF A系非常用 電気品室	リフター	2,500	1,750	1,250	2,950	3,900																																																																																																																																																																																																																																																								
			通路の幅が十分なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												
⑥	6号炉原子 炉建屋 BIF A系非常用 電気品室	電源車用ド ラム	1450	1720	1250	2100	3,900																																																																																																																																																																																																																																																								
			通路の幅が十分なためアクセス性問題なし																																																																																																																																																																																																																																																												



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
199	10.補足9 第1図	1.0.2-434			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)
200	10.補足10	1.0.2-436	<p>(1) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への参集及び保管場所への移動による影響                      5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への参集については、第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所からのアクセスルートにおける周辺斜面の崩落、道路下斜面のすべりを考慮した徒歩の総移動時間は約25分であり、各エリアでの移動時間及び第2図の現場線量率の関係より移動にかかる被ばく線量は約2mSvとなる。                      また、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所への移動等における被ばく線量の一例として、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所(保守性を考慮し最も1~4号炉寄りの場所)への移動を考える。周辺斜面の崩落、道路下斜面のすべりを考慮した場合、徒歩での移動の総移動時間は約30分であり、各エリアでの移動時間及び第3図の現場線量率の関係より移動にかかる被ばく線量は約3mSvとなる。                      なお、線量率の高いエリアは限られることから、これらを極力避けることにより、被ばく線量を抑えることができる。また、徒歩での移動に比べ車両で移動した場合は移動時間及び被ばく線量はより小さくなる。</p> <p>よって、高線量場の発生を含め、1~5号炉に重大事故等が発生した場合であっても、6号及び7号炉の重大事故等への対応作業のためのアクセスは可能であり、重大事故等時における活動が可能である。</p>	<p>(1) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への参集・作業への影響                      5号炉原子炉建屋内緊急時対策所については、免震重要棟内緊急時対策所からの周辺斜面の崩落、敷地下斜面のすべりを考慮した徒歩の総移動時間は約72分であり、各エリアでの移動時間及び図2の現場線量率の概略より、移動にかかる被ばく線量は約16mSvとなる。したがって、重大事故等発生時における対応作業が可能である。</p> <p>(3) アクセスルートの移動による影響                      5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所への移動等は図4.図5で示すものであり、徒歩での移動に比べ車両で移動した場合は移動時間及び被ばく線量は小さくなる。                      移動における被ばく線量の一例として、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所(保守性を考慮し最も1~4号炉寄りの場所)への周辺斜面の崩落、敷地下斜面のすべりを考慮した徒歩の総移動時間は約30分であり、各エリアでの移動時間及び図2の現場線量率の関係より移動にかかる被ばく線量は3mSvとなる。                      また、線量率の高いエリアのエリアは限られることから、これらを極力避けることにより、被ばく線量を抑えることができる。</p> <p>よって、高線量場の発生を含め、1~5号炉に重大事故等が発生した場合であっても、6号及び7号炉の重大事故等への対応作業のためのアクセスは可能である。</p>	③(第二企業センターからの参集を反映、再評価結果の反映)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																
201	10.補足10 第1表	1.0.2-438	<p>第1表 想定する各号炉の状態</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>6号及び7号炉</th> <th>1～5号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+SRV高閉失敗」</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「前線熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サイフォン現象による漏えいは、各号炉(1～7号炉)のサイフォン発生防止用の逆止弁及びサイフォンブレイク孔により停止される。したがって、この漏えいによる影響はスロッシングによる溢水に包摂されるため、使用済燃料プールからの漏えいは、スロッシングによる漏えいを想定する。</p> <p>※2 燃料については消費量の観点から非常用ディーゼル発電機の運転継続を想定する。</p> <p>※3 使用済燃料プールへの注水が必要となるスロッシングの発生を想定する。</p> <p>※4 6号及び7号炉は火災防護措置が強化されることから、1～5号炉での内部火災を想定する。また、1～5号炉で複数の内部火災を想定することが考えられるが、時間差で発生することを想定し、全交流動力電源喪失及び使用済燃料プールでのスロッシングと同時に発生する内部火災としては1つの号炉とする。ただし、消火活動に必要な水源は、5号炉(1～5号炉)分の消費を想定する。</p>	項目	6号及び7号炉	1～5号炉	要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+SRV高閉失敗」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「前線熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	<p>表1 想定する各号炉の状態(必要となる対応操作及び必要な要員及び資源の場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>6号及び7号炉</th> <th>1～5号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「前線熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サイフォン現象による漏えいは、各号炉(1～7号炉)のサイフォン発生防止用の逆止弁及びサイフォンブレイク孔により停止される。したがって、この漏えいによる影響はスロッシングによる溢水に包摂されるため、使用済燃料プールからの漏えいは、スロッシングによる漏えいを想定する。</p> <p>※2 燃料については消費量の観点から非常用ディーゼル発電機の運転継続を想定する。</p> <p>※3 燃料については消費量の観点から非常用ディーゼル発電機の運転継続を想定する。</p> <p>※4 6号及び7号炉は火災防護措置が強化されることから、1～5号炉での内部火災を想定する。また、1～5号炉で複数の内部火災を想定することが考えられるが、時間差で発生することを想定し、全交流動力電源喪失及び使用済燃料プールでのスロッシングと同時に発生する内部火災としては1つの号炉とする。ただし、消火活動に必要な水源は、5号炉(1～5号炉)分の消費を想定する。</p>	項目	6号及び7号炉	1～5号炉	要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「前線熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	③(より厳しい想定する重大事故等に変更)																		
項目	6号及び7号炉	1～5号炉																																																			
要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)+SRV高閉失敗」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「前線熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
項目	6号及び7号炉	1～5号炉																																																			
要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失(外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2(使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「前線熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
202	10.補足10 第2表	1.0.2-439	<p>第2表 同時被災時の1～5号炉の対応操作、6号及び7号炉の使用済燃料プールの対応操作、必要な要員及び資源</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要となる対応操作</th> <th>対応操作概要</th> <th>対応要員</th> <th>必要な資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限</td> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の長時間供給のための負荷制限を実施する</td> <td>運転員</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内部火災に対する消火活動</td> <td>建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する</td> <td>自衛消防隊(運転員を含む)</td> <td>○水源 180m<sup>3</sup>(36m<sup>3</sup>/号炉×5(1～5号炉)) ○燃料 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約4kL(21L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ:約6kL(32L/h×24h×7日×1台)</td> </tr> <tr> <td>各注水系(復水補給水系、燃料プール補給水系、消水系、可搬型代替注水ポンプ(A-2機))による使用済燃料プールへの注水</td> <td>各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの前線熱の継続的な除去を行う。</td> <td>運転員及び10時間以降の発電所外からの参事要員</td> <td>○水源(詳細は表3参照) 1号炉:約308m<sup>3</sup> 2号炉:約1,401m<sup>3</sup> 3号炉:約1,425m<sup>3</sup> 4号炉:約1,366m<sup>3</sup> 5号炉:約1,425m<sup>3</sup> 6号炉:約8,652m<sup>3</sup> 7号炉:約8,672m<sup>3</sup> ※6号及び7号炉については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」で想定している水源も含む ○燃料 1～5号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約18kL(21L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約30kL(21L/h×24h×7日×4台/号炉)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備等による給電</td> <td>常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する</td> <td>緊急時対策要員及び運転員</td> <td>○燃料 非常用ディーゼル発電機:約3,160kL(1,879L/h×24h×7日×10台) ※全交流動力電源喪失のため、実際は常設代替交流電源設備で給電することになるが、燃料消費量を保守的に見積もる観点から、非常用ディーゼル発電機(2台/号炉)の運転を想定</td> </tr> <tr> <td>燃料給油作業</td> <td>常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2機)に給油を行う</td> <td>緊急時対策要員</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源	非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の長時間供給のための負荷制限を実施する	運転員	-	内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊(運転員を含む)	○水源 180m <sup>3</sup> (36m <sup>3</sup> /号炉×5(1～5号炉)) ○燃料 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約4kL(21L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ:約6kL(32L/h×24h×7日×1台)	各注水系(復水補給水系、燃料プール補給水系、消水系、可搬型代替注水ポンプ(A-2機))による使用済燃料プールへの注水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの前線熱の継続的な除去を行う。	運転員及び10時間以降の発電所外からの参事要員	○水源(詳細は表3参照) 1号炉:約308m <sup>3</sup> 2号炉:約1,401m <sup>3</sup> 3号炉:約1,425m <sup>3</sup> 4号炉:約1,366m <sup>3</sup> 5号炉:約1,425m <sup>3</sup> 6号炉:約8,652m <sup>3</sup> 7号炉:約8,672m <sup>3</sup> ※6号及び7号炉については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」で想定している水源も含む ○燃料 1～5号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約18kL(21L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約30kL(21L/h×24h×7日×4台/号炉)	常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	○燃料 非常用ディーゼル発電機:約3,160kL(1,879L/h×24h×7日×10台) ※全交流動力電源喪失のため、実際は常設代替交流電源設備で給電することになるが、燃料消費量を保守的に見積もる観点から、非常用ディーゼル発電機(2台/号炉)の運転を想定	燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2機)に給油を行う	緊急時対策要員	-	<p>表2 相隣炉間1～5号炉に重大事故等が発生した場合の対応操作及び必要な要員及び資源</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要となる対応操作</th> <th>対応操作概要</th> <th>対応要員</th> <th>必要な資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限</td> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の検証のための負荷制限を実施する</td> <td>運転員</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内部火災に対する消火活動</td> <td>建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する</td> <td>自衛消防隊(運転員を含む)</td> <td>○水源 180m<sup>3</sup>(36m<sup>3</sup>/プラント×5プラント) ○燃料 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約4kL(18L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ:約6kL(32L/h×24h×7日×1台)</td> </tr> <tr> <td>各注水系による使用済燃料プール(復水補給水系、燃料プール補給水系、消水系、可搬型代替注水ポンプ(A-2機))による使用済燃料プールへの給水</td> <td>各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの前線熱の継続的な除去を行う</td> <td>運転員及び10時間以降の発電所外からの参事要員</td> <td>○水源(詳細は表3参照) 1号炉:約324m<sup>3</sup> 2号炉:約1,401m<sup>3</sup> 3号炉:約1,425m<sup>3</sup> 4号炉:約1,366m<sup>3</sup> 5号炉:約1,532m<sup>3</sup> 6号炉:約8,565m<sup>3</sup> 7号炉:約8,586m<sup>3</sup> ※6号及び7号炉については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」で想定している水源も含む ○燃料 1～5号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約16kL(18L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約17kL(18L/h×24h×7日×2台)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備等による給電</td> <td>常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する</td> <td>緊急時対策要員及び運転員</td> <td>○燃料 常設代替交流電源設備:約860kL(1,705L/h×24h×7日×3台)</td> </tr> <tr> <td>燃料給油作業</td> <td>常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2機)に給油を行う</td> <td>緊急時対策要員</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源	非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の検証のための負荷制限を実施する	運転員	-	内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊(運転員を含む)	○水源 180m <sup>3</sup> (36m <sup>3</sup> /プラント×5プラント) ○燃料 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約4kL(18L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ:約6kL(32L/h×24h×7日×1台)	各注水系による使用済燃料プール(復水補給水系、燃料プール補給水系、消水系、可搬型代替注水ポンプ(A-2機))による使用済燃料プールへの給水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの前線熱の継続的な除去を行う	運転員及び10時間以降の発電所外からの参事要員	○水源(詳細は表3参照) 1号炉:約324m <sup>3</sup> 2号炉:約1,401m <sup>3</sup> 3号炉:約1,425m <sup>3</sup> 4号炉:約1,366m <sup>3</sup> 5号炉:約1,532m <sup>3</sup> 6号炉:約8,565m <sup>3</sup> 7号炉:約8,586m <sup>3</sup> ※6号及び7号炉については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」で想定している水源も含む ○燃料 1～5号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約16kL(18L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約17kL(18L/h×24h×7日×2台)	常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	○燃料 常設代替交流電源設備:約860kL(1,705L/h×24h×7日×3台)	燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2機)に給油を行う	緊急時対策要員	-	③(再評価結果の反映)
必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源																																																		
非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の長時間供給のための負荷制限を実施する	運転員	-																																																		
内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊(運転員を含む)	○水源 180m <sup>3</sup> (36m <sup>3</sup> /号炉×5(1～5号炉)) ○燃料 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約4kL(21L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ:約6kL(32L/h×24h×7日×1台)																																																		
各注水系(復水補給水系、燃料プール補給水系、消水系、可搬型代替注水ポンプ(A-2機))による使用済燃料プールへの注水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの前線熱の継続的な除去を行う。	運転員及び10時間以降の発電所外からの参事要員	○水源(詳細は表3参照) 1号炉:約308m <sup>3</sup> 2号炉:約1,401m <sup>3</sup> 3号炉:約1,425m <sup>3</sup> 4号炉:約1,366m <sup>3</sup> 5号炉:約1,425m <sup>3</sup> 6号炉:約8,652m <sup>3</sup> 7号炉:約8,672m <sup>3</sup> ※6号及び7号炉については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」で想定している水源も含む ○燃料 1～5号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約18kL(21L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約30kL(21L/h×24h×7日×4台/号炉)																																																		
常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	○燃料 非常用ディーゼル発電機:約3,160kL(1,879L/h×24h×7日×10台) ※全交流動力電源喪失のため、実際は常設代替交流電源設備で給電することになるが、燃料消費量を保守的に見積もる観点から、非常用ディーゼル発電機(2台/号炉)の運転を想定																																																		
燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2機)に給油を行う	緊急時対策要員	-																																																		
必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源																																																		
非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の検証のための負荷制限を実施する	運転員	-																																																		
内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊(運転員を含む)	○水源 180m <sup>3</sup> (36m <sup>3</sup> /プラント×5プラント) ○燃料 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約4kL(18L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ:約6kL(32L/h×24h×7日×1台)																																																		
各注水系による使用済燃料プール(復水補給水系、燃料プール補給水系、消水系、可搬型代替注水ポンプ(A-2機))による使用済燃料プールへの給水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの前線熱の継続的な除去を行う	運転員及び10時間以降の発電所外からの参事要員	○水源(詳細は表3参照) 1号炉:約324m <sup>3</sup> 2号炉:約1,401m <sup>3</sup> 3号炉:約1,425m <sup>3</sup> 4号炉:約1,366m <sup>3</sup> 5号炉:約1,532m <sup>3</sup> 6号炉:約8,565m <sup>3</sup> 7号炉:約8,586m <sup>3</sup> ※6号及び7号炉については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」「代替循環冷却系を使用しない場合」で想定している水源も含む ○燃料 1～5号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約16kL(18L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2機):約17kL(18L/h×24h×7日×2台)																																																		
常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	○燃料 常設代替交流電源設備:約860kL(1,705L/h×24h×7日×3台)																																																		
燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2機)に給油を行う	緊急時対策要員	-																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】





- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
203	10.補足10 第3表	1.0.2-440	<p>第3表 各号炉に必要な水量（平成26年10月時点での崩壊熱により計算）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">KK1</th> <th colspan="2">KK2</th> <th colspan="2">KK3</th> <th colspan="2">KK4</th> <th colspan="2">KK5</th> <th colspan="2">KK6</th> <th colspan="2">KK7</th> </tr> <tr> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊心燃料</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> </tr> <tr> <td>原子炉開放状態</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> </tr> <tr> <td>水位</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> </tr> <tr> <td>想定するプラントの状態</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> </tr> <tr> <td>スロッシング臨水差<sup>①</sup>[m]</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> </tr> <tr> <td>65℃到達までの時間[hour]</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>100℃到達までの時間[hour]</td> <td>91</td> <td>100</td> <td>85</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>②</sup>[m<sup>3</sup>/168h]</td> <td>84</td> <td>52</td> <td>76</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>事故発生からTAP到達までの時間[hour]</td> <td>256</td> <td>471</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td>通常運転水位（オーバーフロー水位）から必要な低い水位までの必要差<sup>③</sup>[m]</td> <td>4.0</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>④</sup>[m<sup>3</sup>/168h]</td> <td>261</td> <td>1,401</td> <td>1,425</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>⑤</sup>[m<sup>3</sup>/168h]</td> <td>1,956</td> <td>2,172</td> <td>2,196</td> <td>2,115</td> <td>2,173</td> <td>2,115</td> <td>2,173</td> <td>2,115</td> <td>2,173</td> <td>2,115</td> <td>2,173</td> <td>2,115</td> <td>2,173</td> <td>2,115</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 1～5号炉の注水量は、6号及び7号炉の詳細結果に基づきスロッシングによる注水量を設定（1～5号炉の使用済燃料プールは6号及び7号炉に対して保有水量やプール表面積が小さいため注水量は少なくなると考えられる）。また、必要な注水量は原子炉開放状態（プールゲート開放状態）を考慮して評価。</p> <p>※2 「必要な注水量」：必要な最低水位（原子炉建屋上部のフロアでの現場の線量計が10mSv/h以下となる水位（建屋水没の計算に用いた各号炉の線量の強度は保守的6号及び7号炉の線量強度を参照）まで回復させ、その後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びD/Sピットを考慮）、「必要な注水量」：通常水位までの回復及びその後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びD/Sピットを考慮）。</p>		KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7		停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	伊心燃料	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	原子炉開放状態	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	水位	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	想定するプラントの状態	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシング臨水差 <sup>①</sup> [m]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	65℃到達までの時間[hour]	38	42	35	45	33	45	33	45	33	45	33	45	33	45	100℃到達までの時間[hour]	91	100	85	107	80	107	80	107	80	107	80	107	80	107	必要な注水量 <sup>②</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	84	52	76	43	103	43	103	43	103	43	103	43	103	43	事故発生からTAP到達までの時間[hour]	256	471	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492	通常運転水位（オーバーフロー水位）から必要な低い水位までの必要差 <sup>③</sup> [m]	4.0	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	必要な注水量 <sup>④</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	261	1,401	1,425	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	必要な注水量 <sup>⑤</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	1,956	2,172	2,196	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115	<p>表3 各号炉に必要な水量（平成26年10月時点での崩壊熱により計算）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">KK1</th> <th colspan="2">KK2</th> <th colspan="2">KK3</th> <th colspan="2">KK4</th> <th colspan="2">KK5</th> <th colspan="2">KK6</th> <th colspan="2">KK7</th> </tr> <tr> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> <th>停止中</th> <th>運転中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊心燃料</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> <td>全燃料取り出し</td> </tr> <tr> <td>原子炉開放状態</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> <td>開放（プールの開放）</td> </tr> <tr> <td>水位</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> <td>ウェル満水（オーバーフロー水位）</td> </tr> <tr> <td>想定するプラントの状態</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> <td>スロッシングによる循環・全交流動力喪失</td> </tr> <tr> <td>スロッシング臨水差<sup>①</sup>[m]</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> </tr> <tr> <td>65℃到達までの時間[hour]</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>100℃到達までの時間[hour]</td> <td>91</td> <td>100</td> <td>85</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>②</sup>[m<sup>3</sup>/168h]</td> <td>84</td> <td>52</td> <td>76</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>事故発生からTAP到達までの時間[hour]</td> <td>256</td> <td>471</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>396</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td>通常運転水位（オーバーフロー水位）から必要な低い水位までの必要差<sup>③</sup>[m]</td> <td>3.9</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>④</sup>[m<sup>3</sup>/168h]</td> <td>324</td> <td>1,401</td> <td>1,425</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,366</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>⑤</sup>[m<sup>3</sup>/168h]</td> <td>2,272</td> <td>2,530</td> <td>2,554</td> <td>2,465</td> <td>2,527</td> <td>2,465</td> <td>2,527</td> <td>2,465</td> <td>2,527</td> <td>2,465</td> <td>2,527</td> <td>2,465</td> <td>2,527</td> <td>2,465</td> </tr> </tbody> </table>		KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7		停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	伊心燃料	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	原子炉開放状態	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	水位	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	想定するプラントの状態	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシング臨水差 <sup>①</sup> [m]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	65℃到達までの時間[hour]	38	42	35	45	33	45	33	45	33	45	33	45	33	45	100℃到達までの時間[hour]	91	100	85	107	80	107	80	107	80	107	80	107	80	107	必要な注水量 <sup>②</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	84	52	76	43	103	43	103	43	103	43	103	43	103	43	事故発生からTAP到達までの時間[hour]	256	471	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492	通常運転水位（オーバーフロー水位）から必要な低い水位までの必要差 <sup>③</sup> [m]	3.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	必要な注水量 <sup>④</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	324	1,401	1,425	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	必要な注水量 <sup>⑤</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	2,272	2,530	2,554	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465	③（再評価結果の反映）
					KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
停止中	運転中	停止中		運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
伊心燃料	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉開放状態	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
水位	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
想定するプラントの状態	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
スロッシング臨水差 <sup>①</sup> [m]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
65℃到達までの時間[hour]	38	42	35	45	33	45	33	45	33	45	33	45	33	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
100℃到達までの時間[hour]	91	100	85	107	80	107	80	107	80	107	80	107	80	107																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>②</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	84	52	76	43	103	43	103	43	103	43	103	43	103	43																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
事故発生からTAP到達までの時間[hour]	256	471	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
通常運転水位（オーバーフロー水位）から必要な低い水位までの必要差 <sup>③</sup> [m]	4.0	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>④</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	261	1,401	1,425	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>⑤</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	1,956	2,172	2,196	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115	2,173	2,115																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中	停止中	運転中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
伊心燃料	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し	全燃料取り出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
原子炉開放状態	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）	開放（プールの開放）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
水位	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）	ウェル満水（オーバーフロー水位）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
想定するプラントの状態	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失	スロッシングによる循環・全交流動力喪失																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
スロッシング臨水差 <sup>①</sup> [m]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
65℃到達までの時間[hour]	38	42	35	45	33	45	33	45	33	45	33	45	33	45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
100℃到達までの時間[hour]	91	100	85	107	80	107	80	107	80	107	80	107	80	107																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>②</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	84	52	76	43	103	43	103	43	103	43	103	43	103	43																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
事故発生からTAP到達までの時間[hour]	256	471	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492	396	492																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
通常運転水位（オーバーフロー水位）から必要な低い水位までの必要差 <sup>③</sup> [m]	3.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>④</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	324	1,401	1,425	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366	1,424	1,366																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>⑤</sup> [m <sup>3</sup> /168h]	2,272	2,530	2,554	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465	2,527	2,465																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
204	10.補足10 第4表	1.0.2-441	<p>第4表 1～5号炉の注水及び給電に用いる設備の台数</p> <p>記載は設置台数であり、○内はその系統のみで注水するのに必要な台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>4号炉</th> <th>5号炉</th> <th>共通</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残留熱除去ポンプ</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>—</td> <td>全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備による応急を実施することで使用可能電圧を確保し、残熱注水操作を実施する。</td> </tr> <tr> <td>環水700kV弁</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>2 (○)</td> <td>—</td> <td>全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備又は電源車による給電を実施することで使用可能。</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給ポンプ</td> <td>2 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>—</td> <td>全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備又は電源車による給電を実施することで使用可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ（ディーゼル駆動ポンプ）</td> <td>1</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ（A-2機）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4台のうち、6号及び7号炉の対応には第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機のみで対応可能である。</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。</td> </tr> </tbody> </table>		1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	共通	備考	残留熱除去ポンプ	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	—	全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備による応急を実施することで使用可能電圧を確保し、残熱注水操作を実施する。	環水700kV弁	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	—	全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備又は電源車による給電を実施することで使用可能。	燃料プール補給ポンプ	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—	全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備又は電源車による給電を実施することで使用可能。	消火ポンプ（ディーゼル駆動ポンプ）	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	—	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。	可搬型代替注水ポンプ（A-2機）	—	—	—	—	—	—	十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。	常設代替交流電源設備	—	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉の対応には第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機のみで対応可能である。	電源車	—	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。	<p>表4 1～5号炉の注水及び給電に用いる設備の台数</p> <p>記載は設置台数であり、○内はその系統のみで注水するのに必要な台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>4号炉</th> <th>5号炉</th> <th>共通</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残留熱除去ポンプ</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>—</td> <td>全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機による給電を実施することで使用可能電圧を確保し、残熱注水操作を実施する。</td> </tr> <tr> <td>環水補給ポンプ</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>—</td> <td>全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機又は電源車による給電を実施することで使用可能。</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給ポンプ</td> <td>2 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>—</td> <td>全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機又は電源車による給電を実施することで使用可能。</td> </tr> <tr> <td>消火ポンプ（ディーゼル駆動ポンプ）</td> <td>1</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ（A-2機）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4台のうち、6号及び7号炉の対応には第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機のみで対応可能である。</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。</td> </tr> </tbody> </table>		1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	共通	備考	残留熱除去ポンプ	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機による給電を実施することで使用可能電圧を確保し、残熱注水操作を実施する。	環水補給ポンプ	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機又は電源車による給電を実施することで使用可能。	燃料プール補給ポンプ	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—	全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機又は電源車による給電を実施することで使用可能。	消火ポンプ（ディーゼル駆動ポンプ）	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	—	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。	可搬型代替注水ポンプ（A-2機）	—	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。	常設代替交流電源設備	—	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉の対応には第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機のみで対応可能である。	電源車	—	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	共通	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
残留熱除去ポンプ	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	—	全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備による応急を実施することで使用可能電圧を確保し、残熱注水操作を実施する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
環水700kV弁	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	2 (○)	—	全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備又は電源車による給電を実施することで使用可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料プール補給ポンプ	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—	全交流動力電源喪失時は常設代替交流電源設備又は電源車による給電を実施することで使用可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
消火ポンプ（ディーゼル駆動ポンプ）	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	—	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
可搬型代替注水ポンプ（A-2機）	—	—	—	—	—	—	十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
常設代替交流電源設備	—	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉の対応には第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機のみで対応可能である。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
電源車	—	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	共通	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
残留熱除去ポンプ	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機による給電を実施することで使用可能電圧を確保し、残熱注水操作を実施する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
環水補給ポンプ	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機又は電源車による給電を実施することで使用可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料プール補給ポンプ	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—	全交流動力電源喪失時は空冷式ガスタービン発電機又は電源車による給電を実施することで使用可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
消火ポンプ（ディーゼル駆動ポンプ）	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	—	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な箇所に順次注水を実施していくことが可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
可搬型代替注水ポンプ（A-2機）	—	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
常設代替交流電源設備	—	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉の対応には第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機のみで対応可能である。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
電源車	—	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分余裕を確保（1）。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

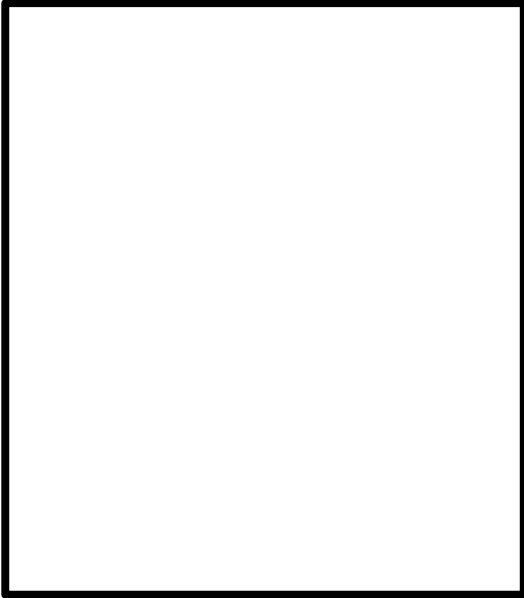
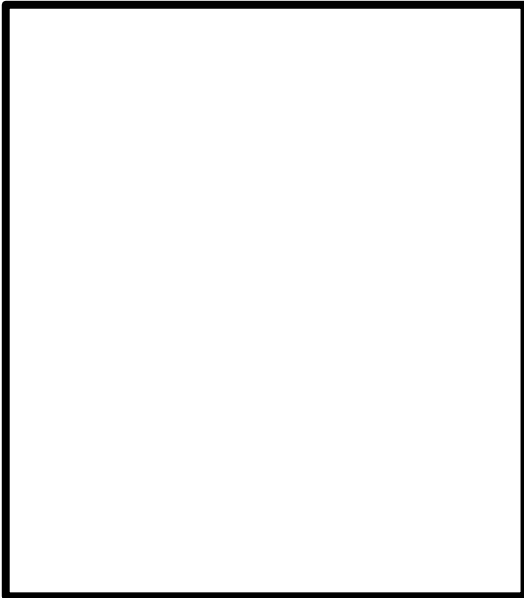
- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
205	10.補足10 第2図	1.0.2-443			⑤
206	10.補足10 第4図	1.0.2-445			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
207	10.補足10 第5図	1.0.2-446			②(設計進捗に伴い5号炉東側第二保管場所位置を確定したため) ⑤
208	10.補足11	1.0.2-447	原子炉建屋ブローアウトパネルは、新規基準への適合性審査において、重大事故等のうち格納容器外での配管破断事故であるインターフェイスシステムLOCA時に開放することが、機能要求として必要であると整理することとしたため、2015年11月に説明した以下の内容は参考となる。	記載なし	② (ブローアウトパネルの扱い変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

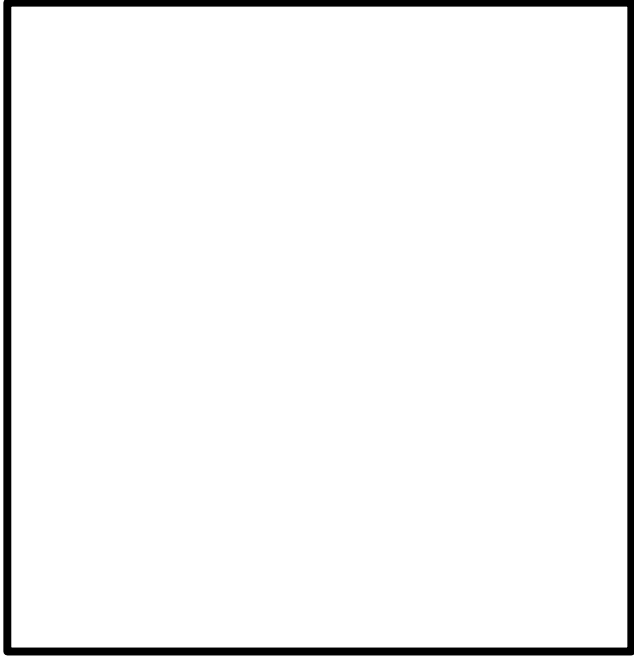
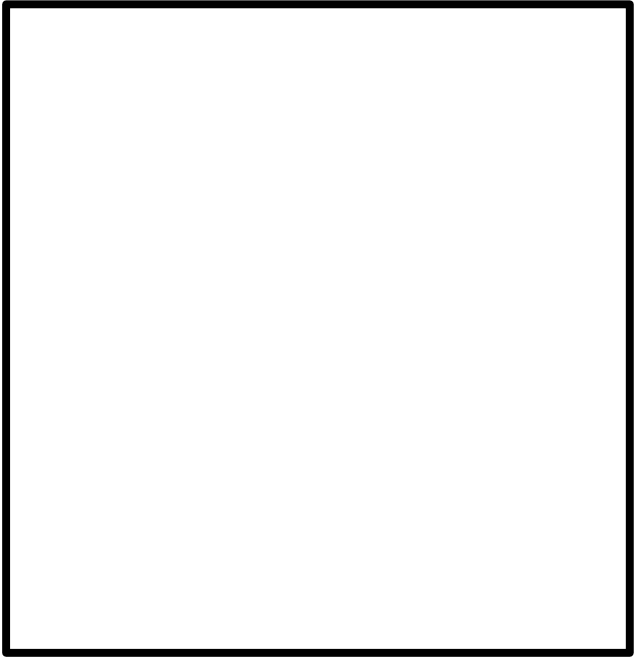
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
209	10.補足12	1.0.2-448	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①のケースについては、7号炉の海水取水場所は健全であるため、7号炉については当該箇所から海水を取水する。一方、6号炉の海水取水場所は使用不可能となる。その場合、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器については格納容器圧力逃がし装置(フィルタベント)等を用いた格納容器ベント操作による除熱に切り替える。使用済燃料プールについては燃料損傷までの時間余裕があることから、燃料プール代替注水系(可搬型)等による注水に切り替える。</li> <li>・②のケースについては、6号炉の海水取水場所は健全であるため、6号炉については当該箇所から海水を取水する。一方、7号炉の海水取水場所は使用不可能となる。その場合、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器については格納容器圧力逃がし装置(フィルタベント)等を用いた格納容器ベント操作による除熱に切り替える。使用済燃料プールについては燃料損傷までの時間余裕があることから、燃料プール代替注水系(可搬型)等による注水に切り替える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①のケースについては、7号炉の海水取水場所は健全であるため、7号炉については当該箇所から海水を取水する。一方、6号炉の海水取水場所は使用不可能となる。その場合、格納容器圧力逃がし装置(フィルタベント)等を用いた格納容器ベント操作による除熱に切り替える。</li> <li>・②のケースについては、6号炉の海水取水場所は健全であるため、6号炉については当該箇所から海水を取水する。一方、7号炉の海水取水場所は使用不可能となる。その場合、格納容器圧力逃がし装置(フィルタベント)等を用いた格納容器ベント操作による除熱に切り替える。</li> </ul>	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】





- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
210	10.補足13 第1図	1.0.2-452			②(設計進捗に伴い、接続口設置場所の変更・可搬型設備配置変更) ⑤
211	10.補足13	1.0.2-453	また、6号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要がある接続口は、「復水補給水系(MUWC)接続口」、「使用済燃料プール(SFP)接続口」及び「電源接続口」の3つがあるが、6号炉主変圧器の高さ(11.2m)に対し、6号炉原子炉建屋側の変圧器基礎部から原子炉建屋壁面まで十分距離(約13m)があるものの、原子炉建屋風除室(約2.5m)が障害となりホース接続口までのアクセスが確保できないことから、主変圧器を迂回することで接続口までのアクセス性を確保する。	また、6号炉主変圧器横のアクセスルートを通過する必要がある接続口は、「復水補給水系(MUWC)接続口」、「使用済燃料プール(SFP)接続口」及び「電源接続口」の3つがあるが、6号炉主変圧器の高さ(11.2m)に対し、6号炉原子炉建屋側の変圧器基礎部から原子炉建屋壁面まで十分距離(12.8m)があるものの、原子炉建屋風除室(約2m)が障害となりホース接続口までのアクセスが確保できないことから、主変圧器を迂回することで接続口までのアクセス性を確保する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正    ⑤記載の拡充・適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
212	10.補足13 第2図	1.0.2-453			②(設計進捗に伴い、接続口設置場所の変更・可搬型設備配置変更)
213	10.補足16 第1図	1.0.2-461			②(設計進捗に伴い荒浜側徒歩ルート・5号炉東側第二保管場所位置を確定したため)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.3 予備品等の確保及び保管場所について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																
1	冒頭	1.0.3-1	ここでは、これら重要安全施設のうち、重要安全施設の取替え可能な機器及び部品等に対する予備品及び予備品への取り替えのために必要な機材等の確保及び保管場所について記載する。	ここでは、これら重要安全施設のうち、重要安全施設の取替え可能な機器及び部品等に対する予備品及び予備品への取り替えのために必要な機材等の選定及び保管場所について記載する。	⑤																																
2	2.	1.0.3-1	重大事故等時の事故対応については、重大事故等対処設備にて実施することにより、事故収束を行う。	重大事故等発生後の事故対応については、重大事故等対処設備にて実施することにより、事故収束を行う。	⑤																																
3	3.	1.0.3-2	なお、設備の復旧作業場所へのアクセスルートについては、第1図に示す複数ルートのうち少なくとも1ルート確保されたアクセスルートを使用して、予備品の保管場所から復旧作業場所へ予備品を移動させて復旧する。	なお、予備品復旧場所へのアクセスルートについては、図1に示す複数ルートのうち少なくとも1ルート確保されたアクセスルートを使用して、予備品の保管場所から復旧作業場所へ予備品を移動させて復旧する。	⑤																																
4	1. (第1表)	1.0.3-4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">事故時の放射能閉じこめ状態の把握機能</td> <td>格納容器内圧力 サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内放射線レベル</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉圧力 原子炉水位（広帯域、燃料域） 格納容器内圧力 サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度 気体廃棄物処理設備エリア排気モニタ</td> </tr> </table>	事故時の放射能閉じこめ状態の把握機能	格納容器内圧力 サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内放射線レベル	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉圧力 原子炉水位（広帯域、燃料域） 格納容器内圧力 サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度 気体廃棄物処理設備エリア排気モニタ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">事故時の放射能閉じこめ状態の把握機能</td> <td>原子炉格納容器圧力 サブプレッション・プール水温度 原子炉格納容器エア放射線量率</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント操作のための情報の把握機能</td> <td>原子炉圧力 原子炉水位（広帯域、燃料域） 原子炉格納容器圧力 サブプレッション・プール水温度 原子炉格納容器水素濃度 原子炉格納容器酸素濃度 気体廃棄物処理系設備エリア排気放射線モニタ</td> </tr> </table>	事故時の放射能閉じこめ状態の把握機能	原子炉格納容器圧力 サブプレッション・プール水温度 原子炉格納容器エア放射線量率	事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉圧力 原子炉水位（広帯域、燃料域） 原子炉格納容器圧力 サブプレッション・プール水温度 原子炉格納容器水素濃度 原子炉格納容器酸素濃度 気体廃棄物処理系設備エリア排気放射線モニタ	⑤																								
事故時の放射能閉じこめ状態の把握機能	格納容器内圧力 サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内放射線レベル																																				
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉圧力 原子炉水位（広帯域、燃料域） 格納容器内圧力 サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度 気体廃棄物処理設備エリア排気モニタ																																				
事故時の放射能閉じこめ状態の把握機能	原子炉格納容器圧力 サブプレッション・プール水温度 原子炉格納容器エア放射線量率																																				
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	原子炉圧力 原子炉水位（広帯域、燃料域） 原子炉格納容器圧力 サブプレッション・プール水温度 原子炉格納容器水素濃度 原子炉格納容器酸素濃度 気体廃棄物処理系設備エリア排気放射線モニタ																																				
5	1. (第2表)	1.0.3-5	<p>2. がれき撤去用重機</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>バケット 3m<sup>3</sup></td> <td>4 台</td> <td>荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)</td> </tr> <tr> <td>ショベルカー</td> <td>バケット 0.7m<sup>3</sup></td> <td>2 台</td> <td>荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>D3</td> <td>1 台</td> <td>荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	仕様	数量*	保管場所*	ホイールローダ	バケット 3m <sup>3</sup>	4 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)	ショベルカー	バケット 0.7m <sup>3</sup>	2 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)	ブルドーザ	D3	1 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m)	<p>2. がれき撤去用重機</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>バケット 3m<sup>3</sup></td> <td>4 台</td> <td>荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)</td> </tr> <tr> <td>ショベルカー</td> <td>ZK200-3 バケット 0.7m<sup>3</sup></td> <td>2 台</td> <td>荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>CAT D3K</td> <td>1 台</td> <td>荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	仕様	数量*	保管場所*	ホイールローダ	バケット 3m <sup>3</sup>	4 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)	ショベルカー	ZK200-3 バケット 0.7m <sup>3</sup>	2 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)	ブルドーザ	CAT D3K	1 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m)	⑤
名称	仕様	数量*	保管場所*																																		
ホイールローダ	バケット 3m <sup>3</sup>	4 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)																																		
ショベルカー	バケット 0.7m <sup>3</sup>	2 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)																																		
ブルドーザ	D3	1 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m)																																		
名称	仕様	数量*	保管場所*																																		
ホイールローダ	バケット 3m <sup>3</sup>	4 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)																																		
ショベルカー	ZK200-3 バケット 0.7m <sup>3</sup>	2 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)																																		
ブルドーザ	CAT D3K	1 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m)																																		
6	1. (第2表)	1.0.3-5	<p>3. 予備品への取り替え時に使用する重機</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフタークレーン</td> <td>最大つり上げ荷重 25t 以上</td> <td>1 台</td> <td>大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	仕様	数量*	保管場所*	ラフタークレーン	最大つり上げ荷重 25t 以上	1 台	大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)	<p>3. 予備品取替時に使用する重機</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフタークレーン</td> <td>最大つり上げ荷重 25t</td> <td>1 台</td> <td>大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	仕様	数量*	保管場所*	ラフタークレーン	最大つり上げ荷重 25t	1 台	大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)	⑤																
名称	仕様	数量*	保管場所*																																		
ラフタークレーン	最大つり上げ荷重 25t 以上	1 台	大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)																																		
名称	仕様	数量*	保管場所*																																		
ラフタークレーン	最大つり上げ荷重 25t	1 台	大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

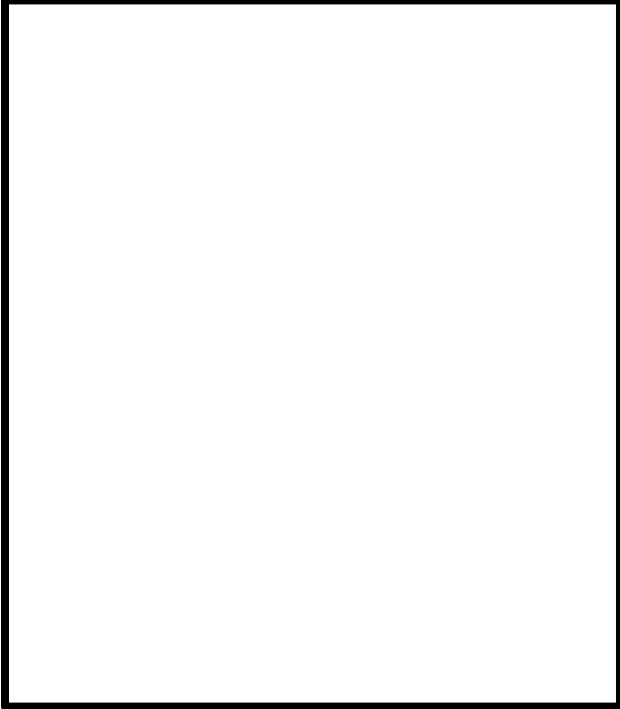
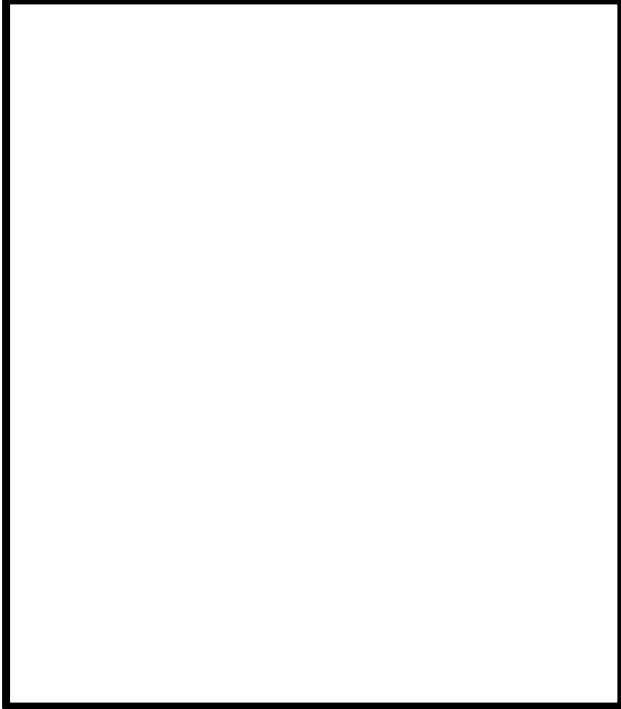
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																		
7	1. (第2表)	1.0.3-6	<p>4. 可搬型照明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>電源種別</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">乾電池内蔵型照明 (ヘッドライト (ヘルメット装着用))</td> <td rowspan="3">乾電池</td> <td>100 個 (運転員全員に配備)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち5号炉定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員 22名+予備 28 個)</td> <td>5号炉定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td>50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員 29名+予備 21 個)</td> <td>第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">懐中電灯</td> <td rowspan="6">乾電池</td> <td>20 個 (現場対応 10名分+予備 10 個)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>4 個 (管理区域で懐中電灯が使用不可能時の予備)</td> <td>現場控室</td> </tr> <tr> <td>30 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち5号炉定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員 22名+予備 8 個)</td> <td>5号炉定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td>50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員 29名+予備 21 個)</td> <td>第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td>70 個 (保安班、復旧班、自衛消防隊の現場要員 90名 (5号炉定検事務室又はその近傍の執務又は宿泊場所に配備する 30 個と合わせた 100 個で対応) )</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>20 個 (中央制御室対応として中央制御室主盤エリア 5個+中央制御室裏盤エリア 10 個+中央制御室待避室 2 個+予備 3 個)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>乾電池内蔵型照明 (ランタンタイプ LED ライト)</td> <td>乾電池</td> <td>60 個 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 6 個+5号炉原子炉建屋内アクセスルート 44 個+予備 10 個)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>乾電池内蔵型照明 (三脚タイプ LED ライト)</td> <td>乾電池</td> <td>4 個 (当直主任席 2 個+主機操作員席 2 個)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>LEDライト (フロアライト)</td> <td>内蔵蓄電池</td> <td>4 個 (非常用ガス処理系配管の補修用 2 個+予備 2 個)</td> <td>大湊側高台保管場所</td> </tr> <tr> <td>発電機付投光器</td> <td>発電機</td> <td>19 台 (復旧班の夜間屋外作業用 19 個)</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数量、保管場所については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p>	名称	電源種別	数量*	保管場所*	乾電池内蔵型照明 (ヘッドライト (ヘルメット装着用))	乾電池	100 個 (運転員全員に配備)	中央制御室	50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち5号炉定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員 22名+予備 28 個)	5号炉定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員 29名+予備 21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	懐中電灯	乾電池	20 個 (現場対応 10名分+予備 10 個)	中央制御室	4 個 (管理区域で懐中電灯が使用不可能時の予備)	現場控室	30 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち5号炉定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員 22名+予備 8 個)	5号炉定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員 29名+予備 21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	70 個 (保安班、復旧班、自衛消防隊の現場要員 90名 (5号炉定検事務室又はその近傍の執務又は宿泊場所に配備する 30 個と合わせた 100 個で対応) )	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)	20 個 (中央制御室対応として中央制御室主盤エリア 5個+中央制御室裏盤エリア 10 個+中央制御室待避室 2 個+予備 3 個)	中央制御室	乾電池内蔵型照明 (ランタンタイプ LED ライト)	乾電池	60 個 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 6 個+5号炉原子炉建屋内アクセスルート 44 個+予備 10 個)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)	乾電池内蔵型照明 (三脚タイプ LED ライト)	乾電池	4 個 (当直主任席 2 個+主機操作員席 2 個)	中央制御室	LEDライト (フロアライト)	内蔵蓄電池	4 個 (非常用ガス処理系配管の補修用 2 個+予備 2 個)	大湊側高台保管場所	発電機付投光器	発電機	19 台 (復旧班の夜間屋外作業用 19 個)	荒浜側及び大湊側高台保管場所	<p>4. 作業用照明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘッドライト</td> <td>乾電池式</td> <td>24 個</td> <td>作業員に配備</td> </tr> <tr> <td>懐中電灯</td> <td>乾電池式</td> <td>24 個</td> <td>事務本館又は初動要員宿泊所</td> </tr> <tr> <td>LEDライト (ランタンタイプ)</td> <td>乾電池式</td> <td>10 個</td> <td>5号炉原子炉建屋内</td> </tr> <tr> <td>LEDライト (三脚タイプ)</td> <td>乾電池式</td> <td>10 個</td> <td>免震重要棟内</td> </tr> <tr> <td>可搬型照明設備</td> <td>発電機付投光器</td> <td>10 台</td> <td>荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数量、保管場所については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p>	名称	仕様	数量*	保管場所*	ヘッドライト	乾電池式	24 個	作業員に配備	懐中電灯	乾電池式	24 個	事務本館又は初動要員宿泊所	LEDライト (ランタンタイプ)	乾電池式	10 個	5号炉原子炉建屋内	LEDライト (三脚タイプ)	乾電池式	10 個	免震重要棟内	可搬型照明設備	発電機付投光器	10 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)	<p>② (免震棟自主化に伴う変更)</p>
名称	電源種別	数量*	保管場所*																																																																				
乾電池内蔵型照明 (ヘッドライト (ヘルメット装着用))	乾電池	100 個 (運転員全員に配備)	中央制御室																																																																				
		50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち5号炉定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員 22名+予備 28 個)	5号炉定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																				
		50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員 29名+予備 21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																				
懐中電灯	乾電池	20 個 (現場対応 10名分+予備 10 個)	中央制御室																																																																				
		4 個 (管理区域で懐中電灯が使用不可能時の予備)	現場控室																																																																				
		30 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち5号炉定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員 22名+予備 8 個)	5号炉定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																				
		50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員 29名+予備 21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																				
		70 個 (保安班、復旧班、自衛消防隊の現場要員 90名 (5号炉定検事務室又はその近傍の執務又は宿泊場所に配備する 30 個と合わせた 100 個で対応) )	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)																																																																				
		20 個 (中央制御室対応として中央制御室主盤エリア 5個+中央制御室裏盤エリア 10 個+中央制御室待避室 2 個+予備 3 個)	中央制御室																																																																				
乾電池内蔵型照明 (ランタンタイプ LED ライト)	乾電池	60 個 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 6 個+5号炉原子炉建屋内アクセスルート 44 個+予備 10 個)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)																																																																				
乾電池内蔵型照明 (三脚タイプ LED ライト)	乾電池	4 個 (当直主任席 2 個+主機操作員席 2 個)	中央制御室																																																																				
LEDライト (フロアライト)	内蔵蓄電池	4 個 (非常用ガス処理系配管の補修用 2 個+予備 2 個)	大湊側高台保管場所																																																																				
発電機付投光器	発電機	19 台 (復旧班の夜間屋外作業用 19 個)	荒浜側及び大湊側高台保管場所																																																																				
名称	仕様	数量*	保管場所*																																																																				
ヘッドライト	乾電池式	24 個	作業員に配備																																																																				
懐中電灯	乾電池式	24 個	事務本館又は初動要員宿泊所																																																																				
LEDライト (ランタンタイプ)	乾電池式	10 個	5号炉原子炉建屋内																																																																				
LEDライト (三脚タイプ)	乾電池式	10 個	免震重要棟内																																																																				
可搬型照明設備	発電機付投光器	10 台	荒浜側高台保管場所 (T. M. S. L. +37m) 及び 大湊側高台保管場所 (T. M. S. L. +35m)																																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
8	3. (第1図)	1.0.3-7			② (アクセスルート 図の修正に伴う 変更)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.4 外部からの支援について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	1.(1)	1.0.4-1	7日間の活動に必要な資機材等を5号炉原子炉建屋内緊急時対策所等に配備している。	7日間の活動に必要な資機材等を緊急時対策所等に配備している。	②(免震重要棟の自主化)
2	1.(1)	1.0.4-1	柏崎刈羽原子力発電所では、第2～5表に示す5号炉原子炉建屋内緊急時対策所、中央制御室の資機材を、今後も継続して配備する。	柏崎刈羽原子力発電所では、表2～7に示す免震重要棟内緊急時対策所及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所、中央制御室の資機材を、今後も継続して配備する。	②(免震重要棟の自主化)
3	1.(2)	1.0.4-1	(2) 重大事故等発生後8日目以降の対応 重大事故等発生後8日目以降の事故収束対応を維持するため、重大事故等発生後6日後までに、あらかじめ選定している候補施設の中から原子力事業所災害対策支援拠点(以下「支援拠点」という。)を選定し、発電所の事故収束対応を維持するために必要な燃料、資機材等を支援できる体制を整備している。	(2) 重大事故等発生後7日間以降の対応 重大事故等発生後7日間以降の事故収束対応を維持するため、重大事故等発生後6日後までに、あらかじめ選定している候補施設の中から原子力事業所災害対策支援拠点(以下「支援拠点」という。)を選定し、発電所の事故収束対応を維持するために必要な燃料、資機材等を支援できる体制を整備している。	⑤
4	4.	1.0.4-5	福島第一原子力発電所の事故対応の教訓を踏まえ、重大事故等時に多様かつ高度な災害対応を行うため、平成25年1月に日本原子力発電株式会社内の組織として「原子力緊急事態支援センター」を原子力事業者共同で設置した。原子力緊急事態支援センターでは、平時から遠隔操作が可能なロボットの操作訓練等を実施しており、当社要員も参加しロボット操作技術等を習得させる等、原子力災害対策活動能力の向上を図っている。	福島第一原子力発電所の事故対応の教訓を踏まえ、重大事故等発生時に多様かつ高度な災害対応を行うため、平成25年1月に日本原子力発電株式会社内の組織として原子力緊急事態支援センター(以下「支援センター」という。)を原子力事業者共同で設置している。支援センターでは、平時から遠隔操作が可能なロボットの操作訓練等を実施しており、当社要員も参加しロボット操作技術等を習得させる等、原子力災害対策活動能力の向上を図っている。当社を含む原子力事業者と日本原子力発電株式会社との間で締結している、支援センターの共同運営に関する基本協定の内容は以下のとおり。	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
5	4.	1.0.4-6	<p>その後、更に原子力緊急事態支援センターの強化を図るため、当社を含む原子力事業者と日本原子力発電株式会社との間で「原子力緊急事態支援組織の運営に関する基本協定」を締結し、平成28年3月に「原子力緊急事態支援組織」が設立された。なお、平成28年12月には活動拠点を福井県美浜町の「美浜原子力緊急事態支援センター」に移し、本格運用が開始されている（「原子力緊急事態支援センター」は廃止）。 原子力緊急事態支援組織の支援に関する事項は以下のとおり。</p> <p>（支援要請） 発災事業者は、原災法第10条に基づく通報後、速やかにその情報を原子力緊急事態支援組織に連絡するとともに、事態に応じて資機材の提供などの支援要請を行う。</p>	<p>当社を含む原子力事業者と日本原子力発電株式会社との間で締結している、支援センターの共同運営に関する基本協定の内容は以下のとおり。</p> <p>（支援要請） 発災事業者は、原災法第10条に基づく通報後、緊急支援組織の支援を必要とするときは支援センターに支援を要請する。</p> <p>（支援の内容） 支援センターは、発災事業者からの支援要請に基づき、支援センター要員の安全が確保される範囲において以下の業務を実施することで、発災事業者の事故収束活動を積極的に支援する。 ・発災事業者が指定する輸送先のうち、輸送可能な地点までの資機材の輸送。 ・発災事業者が実施する資機材操作の支援及び提供資機材を活用した事故収束活動に係る助言。 ・発災事業者からの要請に基づく、追加資機材の確保、輸送の実施。 ・その他、発災事業者からの要請に基づく事故収束活動に係る支援の実施。</p> <p>（要員） 9名</p> <p>（資機材の提供） 支援センターは、原災法第10条に基づく通報をした旨の連絡を発災事業者から受信した場合、発生した事故・災害状況、放射線による影響を考慮し、安全かつ迅速に資機材の供給が可能となるルートを決定し、原則として発災事業者が設置する支援拠点まで、必要な資機材の輸送を行うものとする。ただし支援拠点の設置状況を踏まえ、その他の輸送先に資機材を輸送する場合は、発災事業者と協議した上で、支援センター要員の安全が確保される範囲及び発災事業者が設定する放射線管理区域境界の外側の範囲内の輸送先に、資機材の輸送を行う。</p> <p>さらに、支援組織の更なる強化を図るため、平成28年3月を目的に支援センターの機能を拡充し、平成28年12月17日から「美浜原子力緊急事態支援センター」を設置し本格的な運用を開始した。 支援センター強化の概要は以下のとおり。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																
6	4.	1.0.4-6	<p>(事故時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子力災害発生時、事故が発生した事業者からの出動要請を受け、要員・資機材を拠点施設から迅速に搬送する。</li> <li>事故が発生した事業者の指揮の下、協働で遠隔操作可能なロボット等を用いて現場状況の偵察、空間線量率の測定、<b>がれき</b>等屋外障害物の除去によるアクセスルートの確保、屋内障害物の除去や機材運搬等を行う。</li> </ul> <p>(平常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の連絡体制(24時間体制)を確保し、出動計画を整備する。</li> <li>ロボット等の操作訓練や必要な資機材の調達・維持管理及び訓練等で得られたノウハウや経験に基づく改良を行う。</li> </ul> <p>(要員)</p> <p>21名</p> <p>(資機材)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔操作資機材(小型・中型ロボット、小型・大型無線重機、無線小型ヘリコプター)</li> <li>現地活動用資機材(放射線防護用資機材、放射線管理・除染用資機材、作業用資機材、一般資機材)</li> <li>搬送用車両(ワゴン車、大型トラック(重機搬送車用)、中型トラック)</li> </ul>	<p>(事故時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子力災害発生時、事故が発生した事業者からの出動要請を受け、要員・資機材を拠点施設から迅速に搬送する。</li> <li>事故が発生した事業者の指揮の下、協働で遠隔操作可能なロボット等を用いて現場状況の偵察、空間線量率の測定、瓦礫等屋外障害物の除去によるアクセスルートの確保、屋内障害物の除去や機材運搬等を行う。</li> </ul> <p>(平常時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の連絡体制(24時間体制)を確保し、出動計画を整備する。</li> <li>ロボット等の操作訓練や必要な資機材の調達・維持管理及び訓練等で得られたノウハウや経験に基づく改良を行う。</li> </ul> <p>(要員)</p> <p>21名</p> <p>(資機材)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔操作資機材(小型・中型ロボット、小型・大型無線重機、無線小型ヘリコプター)</li> <li>現地活動用資機材(放射線防護用資機材、放射線管理・除染用資機材、作業用資機材、一般資機材)</li> <li>搬送用車両(ワゴン車、大型トラック(重機搬送車用)、中型トラック)</li> </ul>	⑤																																																																
7	第1表	1.0.4-8	<p>第1表 発電所構内に確保している燃料(事象発生後7日間の対応)</p> <p>プラント状況: 6号及び7号炉運転中、1号炉停止中。                  事象: 真田原燃物供給/格納容器貯留能力低下(6号及び7号炉を想定)。                  注: 全プラントで外置電源喪失発生することとし、各号炉原子炉内燃料貯留容量/可搬型電源設備、プラントに関連しない設備も別添とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>時系列別</th> <th>合計</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> </tbody> </table>	号炉	時系列別	合計	判定	7	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	6	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	5	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	4	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	3	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	2	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	1	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	<p>表1 発電所構内に確保している燃料(事象発生後7日間の対応)</p> <p>プラント状況: 6号及び7号炉運転中、1号炉停止中。                  事象: 全交流電源喪失(6号及び7号炉を想定、保守的に全ての設備が事業者直営から燃料を消費するものとして評価。なお、全プラントで外置電源喪失が発生することとし、外置電源設備、プラントに関連しない設備も別添とする。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>時系列別</th> <th>合計</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>事象発生直後～事象発生後7日間</td> <td>1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh</td> <td>7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。</td> </tr> </tbody> </table>	号炉	時系列別	合計	判定	7	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	6	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	5	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	4	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	3	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	2	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	1	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。	③(燃料使用量の変更)
号炉	時系列別	合計	判定																																																																		
7	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
6	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
5	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
4	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
3	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
2	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
1	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
号炉	時系列別	合計	判定																																																																		
7	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
6	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
5	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
4	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
3	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
2	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		
1	事象発生直後～事象発生後7日間	1. 号炉燃料タンク容量は約63,344tであり、7日間対応可能。 2. 非常用ディーゼル発電機2台起動。②2 (燃費は保守的に最大負荷時を想定) 1,879kWh/24h×7日×2台=631,344kWh	7日間の燃料消費量は約63,344tであり、7日間対応可能。																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																												
8	第2表	1.0.4-9	<p>第2表 放射線防護資機材等</p> <p>○防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">配備数(6号及び7号炉共用)<sup>*7</sup></th> </tr> <tr> <th>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</th> <th>中央制御室</th> <th>構内(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不織布カバーオール</td> <td>1,890着<sup>*1</sup></td> <td>420着<sup>*8</sup></td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>1,890足<sup>*1</sup></td> <td>420足<sup>*8</sup></td> <td>約5,000足</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>1,890着<sup>*1</sup></td> <td>420着<sup>*8</sup></td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>1,890双<sup>*1</sup></td> <td>420双<sup>*8</sup></td> <td>約5,000双</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>3,780双<sup>*2</sup></td> <td>840双<sup>*9</sup></td> <td>約15,000双</td> </tr> <tr> <td>全面マスク (電動ファン付き全面マスクを含む)</td> <td>810個<sup>*3</sup></td> <td>180個<sup>*10</sup></td> <td>約2,000個</td> </tr> <tr> <td>チャコールフィルタ</td> <td>3,780個<sup>*2</sup></td> <td>840個<sup>*9</sup></td> <td>約5,000個</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>945着<sup>*4</sup></td> <td>210着<sup>*11</sup></td> <td>約3,000着</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴</td> <td>40足<sup>*5</sup></td> <td>10足<sup>*12</sup></td> <td>約300足</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服 (タンゴステンベスト)</td> <td>14着<sup>*6</sup></td> <td>—</td> <td>10着</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット<sup>*13</sup></td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>約100台</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸器<sup>*14</sup></td> <td>—</td> <td>5台</td> <td>約20台</td> </tr> </tbody> </table>	品名	配備数(6号及び7号炉共用) <sup>*7</sup>			5号炉原子炉建屋内緊急時対策所	中央制御室	構内(参考)	不織布カバーオール	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着	靴下	1,890足 <sup>*1</sup>	420足 <sup>*8</sup>	約5,000足	帽子	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着	綿手袋	1,890双 <sup>*1</sup>	420双 <sup>*8</sup>	約5,000双	ゴム手袋	3,780双 <sup>*2</sup>	840双 <sup>*9</sup>	約15,000双	全面マスク (電動ファン付き全面マスクを含む)	810個 <sup>*3</sup>	180個 <sup>*10</sup>	約2,000個	チャコールフィルタ	3,780個 <sup>*2</sup>	840個 <sup>*9</sup>	約5,000個	アノラック	945着 <sup>*4</sup>	210着 <sup>*11</sup>	約3,000着	汚染区域用靴	40足 <sup>*5</sup>	10足 <sup>*12</sup>	約300足	高線量対応防護服 (タンゴステンベスト)	14着 <sup>*6</sup>	—	10着	セルフエアセット <sup>*13</sup>	4台	4台	約100台	酸素呼吸器 <sup>*14</sup>	—	5台	約20台	<p>表2 放射線防護資機材等(緊急時対策所)</p> <p>○防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="4">配備数(6/7号炉共用)<sup>*7</sup></th> </tr> <tr> <th>免震重要構内緊急時対策所</th> <th>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</th> <th>中央制御室</th> <th>構内(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不織布カバーオール</td> <td>1,890着<sup>*1</sup></td> <td>1,890着<sup>*1</sup></td> <td>420着<sup>*8</sup></td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>1,890足<sup>*1</sup></td> <td>1,890足<sup>*1</sup></td> <td>420足<sup>*8</sup></td> <td>約5,000足</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>1,890着<sup>*1</sup></td> <td>1,890着<sup>*1</sup></td> <td>420着<sup>*8</sup></td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>1,890双<sup>*1</sup></td> <td>1,890双<sup>*1</sup></td> <td>420双<sup>*8</sup></td> <td>約5,000双</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>3,780双<sup>*2</sup></td> <td>3,780双<sup>*2</sup></td> <td>840双<sup>*9</sup></td> <td>約15,000双</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>810個<sup>*3</sup></td> <td>810個<sup>*3</sup></td> <td>180個<sup>*10</sup></td> <td>約2,000個</td> </tr> <tr> <td>チャコールフィルタ</td> <td>3,780個<sup>*2</sup></td> <td>3,780個<sup>*2</sup></td> <td>840個<sup>*9</sup></td> <td>約5,000個</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>945着<sup>*4</sup></td> <td>945着<sup>*4</sup></td> <td>210着<sup>*11</sup></td> <td>約3,000着</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴</td> <td>40足<sup>*5</sup></td> <td>40足<sup>*5</sup></td> <td>10足<sup>*12</sup></td> <td>約300足</td> </tr> <tr> <td>タンゴステンベスト</td> <td>14着<sup>*6</sup></td> <td>14着<sup>*6</sup></td> <td>—</td> <td>10着</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット<sup>*13</sup></td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>約100台</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸器<sup>*14</sup></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5台</td> <td>約20台</td> </tr> </tbody> </table>	品名	配備数(6/7号炉共用) <sup>*7</sup>				免震重要構内緊急時対策所	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所	中央制御室	構内(参考)	不織布カバーオール	1,890着 <sup>*1</sup>	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着	靴下	1,890足 <sup>*1</sup>	1,890足 <sup>*1</sup>	420足 <sup>*8</sup>	約5,000足	帽子	1,890着 <sup>*1</sup>	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着	綿手袋	1,890双 <sup>*1</sup>	1,890双 <sup>*1</sup>	420双 <sup>*8</sup>	約5,000双	ゴム手袋	3,780双 <sup>*2</sup>	3,780双 <sup>*2</sup>	840双 <sup>*9</sup>	約15,000双	全面マスク	810個 <sup>*3</sup>	810個 <sup>*3</sup>	180個 <sup>*10</sup>	約2,000個	チャコールフィルタ	3,780個 <sup>*2</sup>	3,780個 <sup>*2</sup>	840個 <sup>*9</sup>	約5,000個	アノラック	945着 <sup>*4</sup>	945着 <sup>*4</sup>	210着 <sup>*11</sup>	約3,000着	汚染区域用靴	40足 <sup>*5</sup>	40足 <sup>*5</sup>	10足 <sup>*12</sup>	約300足	タンゴステンベスト	14着 <sup>*6</sup>	14着 <sup>*6</sup>	—	10着	セルフエアセット <sup>*13</sup>	4台	4台	4台	約100台	酸素呼吸器 <sup>*14</sup>	—	—	5台	約20台	<p>③</p> <p>⑤</p>
品名	配備数(6号及び7号炉共用) <sup>*7</sup>																																																																																																																																
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所	中央制御室	構内(参考)																																																																																																																														
不織布カバーオール	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着																																																																																																																														
靴下	1,890足 <sup>*1</sup>	420足 <sup>*8</sup>	約5,000足																																																																																																																														
帽子	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着																																																																																																																														
綿手袋	1,890双 <sup>*1</sup>	420双 <sup>*8</sup>	約5,000双																																																																																																																														
ゴム手袋	3,780双 <sup>*2</sup>	840双 <sup>*9</sup>	約15,000双																																																																																																																														
全面マスク (電動ファン付き全面マスクを含む)	810個 <sup>*3</sup>	180個 <sup>*10</sup>	約2,000個																																																																																																																														
チャコールフィルタ	3,780個 <sup>*2</sup>	840個 <sup>*9</sup>	約5,000個																																																																																																																														
アノラック	945着 <sup>*4</sup>	210着 <sup>*11</sup>	約3,000着																																																																																																																														
汚染区域用靴	40足 <sup>*5</sup>	10足 <sup>*12</sup>	約300足																																																																																																																														
高線量対応防護服 (タンゴステンベスト)	14着 <sup>*6</sup>	—	10着																																																																																																																														
セルフエアセット <sup>*13</sup>	4台	4台	約100台																																																																																																																														
酸素呼吸器 <sup>*14</sup>	—	5台	約20台																																																																																																																														
品名	配備数(6/7号炉共用) <sup>*7</sup>																																																																																																																																
	免震重要構内緊急時対策所	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所	中央制御室	構内(参考)																																																																																																																													
不織布カバーオール	1,890着 <sup>*1</sup>	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着																																																																																																																													
靴下	1,890足 <sup>*1</sup>	1,890足 <sup>*1</sup>	420足 <sup>*8</sup>	約5,000足																																																																																																																													
帽子	1,890着 <sup>*1</sup>	1,890着 <sup>*1</sup>	420着 <sup>*8</sup>	約5,000着																																																																																																																													
綿手袋	1,890双 <sup>*1</sup>	1,890双 <sup>*1</sup>	420双 <sup>*8</sup>	約5,000双																																																																																																																													
ゴム手袋	3,780双 <sup>*2</sup>	3,780双 <sup>*2</sup>	840双 <sup>*9</sup>	約15,000双																																																																																																																													
全面マスク	810個 <sup>*3</sup>	810個 <sup>*3</sup>	180個 <sup>*10</sup>	約2,000個																																																																																																																													
チャコールフィルタ	3,780個 <sup>*2</sup>	3,780個 <sup>*2</sup>	840個 <sup>*9</sup>	約5,000個																																																																																																																													
アノラック	945着 <sup>*4</sup>	945着 <sup>*4</sup>	210着 <sup>*11</sup>	約3,000着																																																																																																																													
汚染区域用靴	40足 <sup>*5</sup>	40足 <sup>*5</sup>	10足 <sup>*12</sup>	約300足																																																																																																																													
タンゴステンベスト	14着 <sup>*6</sup>	14着 <sup>*6</sup>	—	10着																																																																																																																													
セルフエアセット <sup>*13</sup>	4台	4台	4台	約100台																																																																																																																													
酸素呼吸器 <sup>*14</sup>	—	—	5台	約20台																																																																																																																													
9	第2表	1.0.4-9	ブルーム通過直後に対応する現場復旧班要員	ブルーム通過時現場復旧班要員	⑤																																																																																																																												
10	第2表	1.0.4-9	・1.5倍の妥当性の確認について 【5号炉原子炉建屋内緊急時対策所】	・1.5倍の妥当性の確認について 【緊急時対策所】	②(免震重要棟の自主化)																																																																																																																												
11	第2表	1.0.4-9	<p>第2次緊急態勢時(1日目), 1~7号炉対応の要員は緊急時対策要員164名+自衛消防隊10名であり, 機能班要員84名, 現場要員80名及び自衛消防隊10名で構成されている。このうち, 本部要員は, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所を陽圧化することにより, 防護具類を着用する必要がないが, 全要員は12時間に1回交替するため, 2回の交替分を考慮する。また, 現場要員80名は, 1日に6回現場に行くことを想定する。自衛消防隊は火災現場には消防服で出向し, 防護具類を着用する必要がないため考慮しない。</p> <p>ブルーム通過以降(2日目以降), 1~7号炉対応の要員は緊急時対策要員111名+5号炉運転員8名であり, 機能班要員54名, 現場要員57名及び5号炉運転員8名で構成されている。このうち, 本部要員は, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所を陽圧化することにより, 防護具類を着用する必要がないが, 全要員は7日目で1回交替するため, 1回の交替分を考慮する。また, 現場要員は1日に2回現場に行くことを想定する。自衛消防隊は火災現場には消防服で出向し, 防護具類を着用する必要がないため考慮しない。</p> <p>174名×2交替+80名×6回+119名+65名×2回×6日=1,727着&lt;1,890着</p>	<p>初動態勢時(1日目), 1~7号炉対応の緊急時対策要員数は164名+自衛消防隊10名であり, 機能班要員84名, 現場要員80名及び自衛消防隊10名で構成されている。このうち, 本部要員は, 緊急時対策所を陽圧化することにより, 防護具類を着用する必要がないが, 全要員は12時間に1回交替するため, 2回の交替分を考慮する。また, 現場要員80名は, 1日に6回現場に行くことを想定する。自衛消防隊は火災現場には消防服で出向し, 防護具類を着用する必要がないため考慮しない。</p> <p>ブルーム通過以降(2日目以降), 1~7号炉対応の緊急時対策要員数は71名であり, 機能班要員54名, 現場要員17名及び自衛消防隊10名で構成されている。このうち, 本部要員は, 緊急時対策所を陽圧化することにより, 防護具類を着用する必要がないが, 全要員は7日目で1回交替するため, 1回の交替分を考慮する。また, 現場要員は1日に6回現場に行くことを想定する。自衛消防隊は火災現場には消防服で出向し, 防護具類を着用する必要がないため考慮しない。</p> <p>174名×2交替+80名×6回+71名+10名+17名×6回×6日=1,521着&lt;1,890着</p>	<p>②(対応要員数の変更)</p>																																																																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																													
12	第2表	1.0.4-10	<p>○計測器（被ばく管理、汚染管理）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="2">配備台数（6号及び7号炉共用）<sup>※7</sup></th> </tr> <tr> <th>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所</th> <th>中央制御室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">個人線量計</td> <td>電子式線量計</td> <td>180台<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>ガラスパッチ</td> <td>70台<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>GM汚染サーベイメータ</td> <td>5台<sup>※3</sup></td> <td>3台<sup>※3</sup></td> </tr> <tr> <td>電離箱サーベイメータ</td> <td>8台<sup>※4</sup></td> <td>2台<sup>※4</sup></td> </tr> <tr> <td>可搬型エアモニタ</td> <td>3台<sup>※5</sup></td> <td>3台<sup>※6</sup></td> </tr> </tbody> </table>	品名	配備台数（6号及び7号炉共用） <sup>※7</sup>		5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室	個人線量計	電子式線量計	180台 <sup>※1</sup>	ガラスパッチ	70台 <sup>※2</sup>	GM汚染サーベイメータ	5台 <sup>※3</sup>	3台 <sup>※3</sup>	電離箱サーベイメータ	8台 <sup>※4</sup>	2台 <sup>※4</sup>	可搬型エアモニタ	3台 <sup>※5</sup>	3台 <sup>※6</sup>	<p>○計測器（被ばく管理、汚染管理）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">配備台数（6/7号炉共用）<sup>※6</sup></th> </tr> <tr> <th>免震重要棟内 緊急時対策所</th> <th>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所</th> <th>中央制御室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">個人線量計</td> <td>電子式線量計</td> <td>180台<sup>※1</sup></td> <td>70台<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>ガラスパッチ</td> <td>180台<sup>※1</sup></td> <td>70台<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>GM汚染サーベイメータ</td> <td>5台<sup>※3</sup></td> <td>5台<sup>※3</sup></td> <td>3台<sup>※3</sup></td> </tr> <tr> <td>電離箱サーベイメータ</td> <td>8台<sup>※4</sup></td> <td>8台<sup>※4</sup></td> <td>2台<sup>※4</sup></td> </tr> <tr> <td>可搬型エアモニタ</td> <td>4台<sup>※5</sup></td> <td>4台<sup>※5</sup></td> <td>3台<sup>※5</sup></td> </tr> </tbody> </table>	品名	配備台数（6/7号炉共用） <sup>※6</sup>			免震重要棟内 緊急時対策所	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室	個人線量計	電子式線量計	180台 <sup>※1</sup>	70台 <sup>※2</sup>	ガラスパッチ	180台 <sup>※1</sup>	70台 <sup>※2</sup>	GM汚染サーベイメータ	5台 <sup>※3</sup>	5台 <sup>※3</sup>	3台 <sup>※3</sup>	電離箱サーベイメータ	8台 <sup>※4</sup>	8台 <sup>※4</sup>	2台 <sup>※4</sup>	可搬型エアモニタ	4台 <sup>※5</sup>	4台 <sup>※5</sup>	3台 <sup>※5</sup>	②（免震重要棟の自主化、対策本部・待機場所のSA化）
品名	配備台数（6号及び7号炉共用） <sup>※7</sup>																																																	
	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室																																																
個人線量計	電子式線量計	180台 <sup>※1</sup>																																																
	ガラスパッチ	70台 <sup>※2</sup>																																																
GM汚染サーベイメータ	5台 <sup>※3</sup>	3台 <sup>※3</sup>																																																
電離箱サーベイメータ	8台 <sup>※4</sup>	2台 <sup>※4</sup>																																																
可搬型エアモニタ	3台 <sup>※5</sup>	3台 <sup>※6</sup>																																																
品名	配備台数（6/7号炉共用） <sup>※6</sup>																																																	
	免震重要棟内 緊急時対策所	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室																																															
個人線量計	電子式線量計	180台 <sup>※1</sup>	70台 <sup>※2</sup>																																															
	ガラスパッチ	180台 <sup>※1</sup>	70台 <sup>※2</sup>																																															
GM汚染サーベイメータ	5台 <sup>※3</sup>	5台 <sup>※3</sup>	3台 <sup>※3</sup>																																															
電離箱サーベイメータ	8台 <sup>※4</sup>	8台 <sup>※4</sup>	2台 <sup>※4</sup>																																															
可搬型エアモニタ	4台 <sup>※5</sup>	4台 <sup>※5</sup>	3台 <sup>※5</sup>																																															
13	第2表	1.0.4-10	<p>※1：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）                  ※2：18名（6号及び7号炉運転員）＋46名（引継班、日勤班、作業管理班）＋余裕                  ※3：モニタリング及びチェンジングエリアにて使用                  ※4：モニタリングに使用                  ※5：5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性（線量率）を確認するための重大事故等対処設備として2台（予備1台）を5号炉原子炉建屋内緊急時対策所内に保管する。5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の対策本部及び待機場所に1台ずつ設置する。                  設置のタイミングは、チェンジングエリア設営判断と同時（原子力災害対策特別措置法第10条特定事象）                  ※6：各エリアにて使用。設置のタイミングは、チェンジングエリア設営判断と同時（原子力災害対策特別措置法第10条特定事象）                  ※7：予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う）</p>	<p>※1：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）                  ※2：18名（6号及び7号炉運転員18名）＋46名（引継班、日勤班、作業管理班）＋余裕                  ※3：チェンジングエリアにて使用                  ※4：現場作業時に使用                  ※5：5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の1台は陽圧化の判断のために重大事故等対処設備として使用する。各エリアにて使用。設置のタイミングは、チェンジングエリア設営判断と同時（原子力災害対策特別措置法第10条特定事象）                  ※6：予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う）</p>	②（対策本部・待機場所のSA化）																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																										
14	第2表	1.0.4-11	<p>○飲食料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="2">配備数（6号及び7号炉共用）<sup>※10</sup></th> </tr> <tr> <th>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所</th> <th>中央制御室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飲食料等<sup>※1</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・食料</td> <td>3,780食<sup>※4</sup></td> <td>420食<sup>※7</sup></td> </tr> <tr> <td>・飲料水（1.5リットル）</td> <td>2,520本<sup>※5</sup></td> <td>280本<sup>※8</sup></td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ<sup>※2</sup></td> <td>1式</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>ヨウ素剤<sup>※3</sup></td> <td>1,440錠<sup>※6</sup></td> <td>320錠<sup>※9</sup></td> </tr> </tbody> </table>	品名	配備数（6号及び7号炉共用） <sup>※10</sup>		5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室	飲食料等 <sup>※1</sup>			・食料	3,780食 <sup>※4</sup>	420食 <sup>※7</sup>	・飲料水（1.5リットル）	2,520本 <sup>※5</sup>	280本 <sup>※8</sup>	簡易トイレ <sup>※2</sup>	1式	1式	ヨウ素剤 <sup>※3</sup>	1,440錠 <sup>※6</sup>	320錠 <sup>※9</sup>	<p>○飲食料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th>配備数<sup>※4</sup></th> </tr> <tr> <th>中央制御室（6/7号炉共用）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飲食料等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・食料</td> <td>420食<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>・飲料水（1.5リットル）</td> <td>280本<sup>※2</sup></td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>よう素剤</td> <td>320錠<sup>※3</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>飲食料</td> <td>ブルーム通過中に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から退出する必要があるように、余裕数を見込んで1日分以上の食料及び飲料水を待避室内に保管する。 残りの数量については、5号炉原子炉建屋に保管することで、必要に応じて取りに行くことが可能である。</td> <td>3,780食<sup>※2</sup> 2,520本<sup>※3</sup> (1.5リットル)</td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要があるよう、また、本設のトイレが使用できない場合に備え、簡易トイレを配備する。</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>よう素剤</td> <td>初日に2錠、二日目以降は1錠/一日服用する。</td> <td>1,440錠<sup>※4</sup></td> </tr> </tbody> </table>	品名	配備数 <sup>※4</sup>	中央制御室（6/7号炉共用）	飲食料等		・食料	420食 <sup>※1</sup>	・飲料水（1.5リットル）	280本 <sup>※2</sup>	簡易トイレ	1式	よう素剤	320錠 <sup>※3</sup>	飲食料	ブルーム通過中に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から退出する必要があるように、余裕数を見込んで1日分以上の食料及び飲料水を待避室内に保管する。 残りの数量については、5号炉原子炉建屋に保管することで、必要に応じて取りに行くことが可能である。	3,780食 <sup>※2</sup> 2,520本 <sup>※3</sup> (1.5リットル)	簡易トイレ	ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要があるよう、また、本設のトイレが使用できない場合に備え、簡易トイレを配備する。	1式	よう素剤	初日に2錠、二日目以降は1錠/一日服用する。	1,440錠 <sup>※4</sup>	⑤
品名	配備数（6号及び7号炉共用） <sup>※10</sup>																																														
	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室																																													
飲食料等 <sup>※1</sup>																																															
・食料	3,780食 <sup>※4</sup>	420食 <sup>※7</sup>																																													
・飲料水（1.5リットル）	2,520本 <sup>※5</sup>	280本 <sup>※8</sup>																																													
簡易トイレ <sup>※2</sup>	1式	1式																																													
ヨウ素剤 <sup>※3</sup>	1,440錠 <sup>※6</sup>	320錠 <sup>※9</sup>																																													
品名	配備数 <sup>※4</sup>																																														
	中央制御室（6/7号炉共用）																																														
飲食料等																																															
・食料	420食 <sup>※1</sup>																																														
・飲料水（1.5リットル）	280本 <sup>※2</sup>																																														
簡易トイレ	1式																																														
よう素剤	320錠 <sup>※3</sup>																																														
飲食料	ブルーム通過中に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から退出する必要があるように、余裕数を見込んで1日分以上の食料及び飲料水を待避室内に保管する。 残りの数量については、5号炉原子炉建屋に保管することで、必要に応じて取りに行くことが可能である。	3,780食 <sup>※2</sup> 2,520本 <sup>※3</sup> (1.5リットル)																																													
簡易トイレ	ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要があるよう、また、本設のトイレが使用できない場合に備え、簡易トイレを配備する。	1式																																													
よう素剤	初日に2錠、二日目以降は1錠/一日服用する。	1,440錠 <sup>※4</sup>																																													



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	第2表	1.0.4-11	<p>※1：プルーム通過中に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から退出する必要があるように、余裕数を見込んで1日以上の食料及び飲料水を待避室内に保管する。残りの数量については、5号炉原子炉建屋に保管することで、必要に応じて取りに行くことが可能である。</p> <p>※2：プルーム通過中に5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から退出する必要があるよう、また、本設のトイレが使用できない場合に備え、簡易トイレを配備する。</p> <p>※3：初日に2錠、二日目以降は1錠／一日服用する。</p> <p>※4：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）×7日×3食</p> <p>※5：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）×7日×2本（1.5リットル／本）</p> <p>※6：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）×8錠（初日2錠＋2日目以降1錠／1日×6日）</p> <p>※7：20名（6号及び7号炉運転員18名＋余裕）×7日×3食</p> <p>※8：20名（6号及び7号炉運転員18名＋余裕）×7日×2本</p> <p>※9：20名（6号及び7号炉運転員18名＋余裕）×8錠（初日2錠＋2日目以降1錠／1日×6日分）×2交替</p> <p>※10：予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p>	<p>※1：20名（6号及び7号炉運転員18名＋余裕）×7日×3食</p> <p>※2：20名（6号及び7号炉運転員18名＋余裕）×7日×2本</p> <p>※3：20名（6号及び7号炉運転員18名＋余裕）×（初日2錠＋二日目以降1錠／1日＝8）×2交替</p> <p>※4：予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> <p>※2：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）×7日×3食</p> <p>※3：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）×7日×2本（1.5リットル／本）</p> <p>※4：180名（1～7号炉対応の緊急時対策要員164名＋自衛消防隊10名＋余裕）×（初日2錠＋2日目以降1錠／1日×6日）</p>	<p>②（免震重要棟の自主化）</p> <p>⑤</p>



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																			
16	第3表	1.0.4-12	<p>第3表 チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">数量 (6号及び7号炉共用)</th> <th rowspan="2">根拠</th> </tr> <tr> <th>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所</th> <th>中央制御室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エアータント</td> <td>2式 (南側ルート、北東側 ルート各1式ずつ)</td> <td>1式</td> <td rowspan="20">チェンジングエ リア設置に必要 な数量</td> </tr> <tr> <td>養生シート</td> <td>3巻</td> <td>2巻</td> </tr> <tr> <td>バリア</td> <td>4個</td> <td>2個</td> </tr> <tr> <td>フェンス</td> <td>28枚</td> <td>4枚</td> </tr> <tr> <td>粘着マット</td> <td>2枚</td> <td>2枚</td> </tr> <tr> <td>ヘルメット掛け</td> <td>1式</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ポリ袋</td> <td>25枚</td> <td>20枚</td> </tr> <tr> <td>テープ</td> <td>5巻</td> <td>2巻</td> </tr> <tr> <td>ウエス</td> <td>2箱</td> <td>1箱</td> </tr> <tr> <td>ウェットティッシュ</td> <td>10巻</td> <td>2巻</td> </tr> <tr> <td>はさみ</td> <td>6個</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>マジック</td> <td>2本</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>簡易シャワー</td> <td>1台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>簡易タンク</td> <td>1台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>トレイ</td> <td>1個</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>バケツ</td> <td>2個</td> <td>2個</td> </tr> <tr> <td>可搬型空気浄化装置</td> <td>3台 (予備1台)</td> <td>1台 (予備1台)</td> </tr> <tr> <td>乾電池内蔵型照明</td> <td>7台 (予備1台)</td> <td>4台 (予備1台)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	数量 (6号及び7号炉共用)		根拠	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室	エアータント	2式 (南側ルート、北東側 ルート各1式ずつ)	1式	チェンジングエ リア設置に必要 な数量	養生シート	3巻	2巻	バリア	4個	2個	フェンス	28枚	4枚	粘着マット	2枚	2枚	ヘルメット掛け	1式	—	ポリ袋	25枚	20枚	テープ	5巻	2巻	ウエス	2箱	1箱	ウェットティッシュ	10巻	2巻	はさみ	6個	1個	マジック	2本	2本	簡易シャワー	1台	1台	簡易タンク	1台	1台	トレイ	1個	1個	バケツ	2個	2個	可搬型空気浄化装置	3台 (予備1台)	1台 (予備1台)	乾電池内蔵型照明	7台 (予備1台)	4台 (予備1台)	<p>表3 チェンジングエリア用資機材 (緊急時対策所)</p> <p>○免震重要棟内緊急時対策所チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>数量 (6/7号炉共用)</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エアータント</td><td>1式</td><td rowspan="20">チェンジングエリア設置に 必要な数量</td></tr> <tr><td>養生シート</td><td>3巻</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>6個</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>20枚</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>4枚</td></tr> <tr><td>ヘルメット掛け</td><td>1式</td></tr> <tr><td>ポリ袋</td><td>14個</td></tr> <tr><td>テープ</td><td>40枚</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>20巻</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>2箱</td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>10巻</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>6個</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>2本</td></tr> <tr><td>簡易タンク</td><td>1台</td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>1台</td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化装置</td><td>2台 (予備1台)</td></tr> <tr><td>乾電池内蔵型照明</td><td>4台 (予備1台)</td></tr> </tbody> </table> <p>○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>数量 (6/7号炉共用)</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>養生シート</td><td>3巻</td><td rowspan="20">チェンジングエリア設置に 必要な数量</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>4個</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>9枚</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>2枚</td></tr> <tr><td>ヘルメット掛け</td><td>1式</td></tr> <tr><td>ポリ袋</td><td>25枚</td></tr> <tr><td>テープ</td><td>5巻</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>10巻</td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>6個</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>2本</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1台</td></tr> <tr><td>簡易タンク</td><td>1台</td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>2個</td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化装置</td><td>2台 (予備1台)</td></tr> <tr><td>乾電池内蔵型照明</td><td>4台 (予備1台)</td></tr> </tbody> </table> <p>表7 チェンジングエリア用資機材 (中央制御室)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>数量 (6/7号炉共用)</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エアータント</td><td>1式</td><td rowspan="20">チェンジングエリア設置に 必要な数量</td></tr> <tr><td>養生シート</td><td>2巻</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>4枚</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>2個</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>2枚</td></tr> <tr><td>ヘルメット掛け</td><td>1式</td></tr> <tr><td>ポリ袋</td><td>20枚</td></tr> <tr><td>テープ</td><td>2巻</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>1箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>2巻</td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>2本</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1式</td></tr> <tr><td>簡易タンク</td><td>1台</td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>2個</td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化装置</td><td>1台 (予備1台)</td></tr> <tr><td>乾電池内蔵型照明</td><td>4台 (予備1台)</td></tr> </tbody> </table>	名称	数量 (6/7号炉共用)	根拠	エアータント	1式	チェンジングエリア設置に 必要な数量	養生シート	3巻	バリア	6個	フェンス	20枚	粘着マット	4枚	ヘルメット掛け	1式	ポリ袋	14個	テープ	40枚	ウエス	20巻	ウェットティッシュ	2箱	はさみ	10巻	マジック	6個	簡易シャワー	2本	簡易タンク	1台	トレイ	1台	バケツ	1個	可搬型空気浄化装置	2台 (予備1台)	乾電池内蔵型照明	4台 (予備1台)	名称	数量 (6/7号炉共用)	根拠	養生シート	3巻	チェンジングエリア設置に 必要な数量	バリア	4個	フェンス	9枚	粘着マット	2枚	ヘルメット掛け	1式	ポリ袋	25枚	テープ	5巻	ウエス	2箱	ウェットティッシュ	10巻	はさみ	6個	マジック	2本	簡易シャワー	1台	簡易タンク	1台	トレイ	1個	バケツ	2個	可搬型空気浄化装置	2台 (予備1台)	乾電池内蔵型照明	4台 (予備1台)	名称	数量 (6/7号炉共用)	根拠	エアータント	1式	チェンジングエリア設置に 必要な数量	養生シート	2巻	フェンス	4枚	バリア	2個	粘着マット	2枚	ヘルメット掛け	1式	ポリ袋	20枚	テープ	2巻	ウエス	1箱	ウェットティッシュ	2巻	はさみ	1個	マジック	2本	簡易シャワー	1式	簡易タンク	1台	トレイ	1個	バケツ	2個	可搬型空気浄化装置	1台 (予備1台)	乾電池内蔵型照明	4台 (予備1台)	<p>②(免震重要棟の自主化)</p> <p>⑤</p>
名称	数量 (6号及び7号炉共用)		根拠																																																																																																																																																																																					
	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所	中央制御室																																																																																																																																																																																						
エアータント	2式 (南側ルート、北東側 ルート各1式ずつ)	1式	チェンジングエ リア設置に必要 な数量																																																																																																																																																																																					
養生シート	3巻	2巻																																																																																																																																																																																						
バリア	4個	2個																																																																																																																																																																																						
フェンス	28枚	4枚																																																																																																																																																																																						
粘着マット	2枚	2枚																																																																																																																																																																																						
ヘルメット掛け	1式	—																																																																																																																																																																																						
ポリ袋	25枚	20枚																																																																																																																																																																																						
テープ	5巻	2巻																																																																																																																																																																																						
ウエス	2箱	1箱																																																																																																																																																																																						
ウェットティッシュ	10巻	2巻																																																																																																																																																																																						
はさみ	6個	1個																																																																																																																																																																																						
マジック	2本	2本																																																																																																																																																																																						
簡易シャワー	1台	1台																																																																																																																																																																																						
簡易タンク	1台	1台																																																																																																																																																																																						
トレイ	1個	1個																																																																																																																																																																																						
バケツ	2個	2個																																																																																																																																																																																						
可搬型空気浄化装置	3台 (予備1台)	1台 (予備1台)																																																																																																																																																																																						
乾電池内蔵型照明	7台 (予備1台)	4台 (予備1台)																																																																																																																																																																																						
名称	数量 (6/7号炉共用)	根拠																																																																																																																																																																																						
エアータント	1式	チェンジングエリア設置に 必要な数量																																																																																																																																																																																						
養生シート	3巻																																																																																																																																																																																							
バリア	6個																																																																																																																																																																																							
フェンス	20枚																																																																																																																																																																																							
粘着マット	4枚																																																																																																																																																																																							
ヘルメット掛け	1式																																																																																																																																																																																							
ポリ袋	14個																																																																																																																																																																																							
テープ	40枚																																																																																																																																																																																							
ウエス	20巻																																																																																																																																																																																							
ウェットティッシュ	2箱																																																																																																																																																																																							
はさみ	10巻																																																																																																																																																																																							
マジック	6個																																																																																																																																																																																							
簡易シャワー	2本																																																																																																																																																																																							
簡易タンク	1台																																																																																																																																																																																							
トレイ	1台																																																																																																																																																																																							
バケツ	1個																																																																																																																																																																																							
可搬型空気浄化装置	2台 (予備1台)																																																																																																																																																																																							
乾電池内蔵型照明	4台 (予備1台)																																																																																																																																																																																							
名称	数量 (6/7号炉共用)		根拠																																																																																																																																																																																					
養生シート	3巻		チェンジングエリア設置に 必要な数量																																																																																																																																																																																					
バリア	4個																																																																																																																																																																																							
フェンス	9枚																																																																																																																																																																																							
粘着マット	2枚																																																																																																																																																																																							
ヘルメット掛け	1式																																																																																																																																																																																							
ポリ袋	25枚																																																																																																																																																																																							
テープ	5巻																																																																																																																																																																																							
ウエス	2箱																																																																																																																																																																																							
ウェットティッシュ	10巻																																																																																																																																																																																							
はさみ	6個																																																																																																																																																																																							
マジック	2本																																																																																																																																																																																							
簡易シャワー	1台																																																																																																																																																																																							
簡易タンク	1台																																																																																																																																																																																							
トレイ	1個																																																																																																																																																																																							
バケツ	2個																																																																																																																																																																																							
可搬型空気浄化装置	2台 (予備1台)																																																																																																																																																																																							
乾電池内蔵型照明	4台 (予備1台)																																																																																																																																																																																							
名称	数量 (6/7号炉共用)	根拠																																																																																																																																																																																						
エアータント	1式	チェンジングエリア設置に 必要な数量																																																																																																																																																																																						
養生シート	2巻																																																																																																																																																																																							
フェンス	4枚																																																																																																																																																																																							
バリア	2個																																																																																																																																																																																							
粘着マット	2枚																																																																																																																																																																																							
ヘルメット掛け	1式																																																																																																																																																																																							
ポリ袋	20枚																																																																																																																																																																																							
テープ	2巻																																																																																																																																																																																							
ウエス	1箱																																																																																																																																																																																							
ウェットティッシュ	2巻																																																																																																																																																																																							
はさみ	1個																																																																																																																																																																																							
マジック	2本																																																																																																																																																																																							
簡易シャワー	1式																																																																																																																																																																																							
簡易タンク	1台																																																																																																																																																																																							
トレイ	1個																																																																																																																																																																																							
バケツ	2個																																																																																																																																																																																							
可搬型空気浄化装置	1台 (予備1台)																																																																																																																																																																																							
乾電池内蔵型照明	4台 (予備1台)																																																																																																																																																																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																							
17	第4表	1.0.4-13	<p>第4表 その他資機材等 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様等</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸素濃度計</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～100%</li> <li>測定精度：±0.5% (0～25.0%) ±3.0% (25.1%以上)</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：ガルバニ電池式</li> <li>管理目標：18%以上 (酸素欠乏症防止規則を準拠)</li> </ul> </td> <td>3台<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～10,000ppm</li> <li>測定精度：±3%FS</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：非分散形赤外線式 (NDIR)</li> <li>管理目標：0.5%以下 (事務所衛生基準規則を準拠)</li> </ul> </td> <td>3台<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>一般テレビ (回線、機器)</td> <td>報道や気象情報等を入手するため、一般テレビ (回線、機器) を配備する。</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>社内パソコン (回線、機器)</td> <td>社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ (社内回線) を整備する。</td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：予備を含む。</p>	名称	仕様等	数量	酸素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～100%</li> <li>測定精度：±0.5% (0～25.0%) ±3.0% (25.1%以上)</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：ガルバニ電池式</li> <li>管理目標：18%以上 (酸素欠乏症防止規則を準拠)</li> </ul>	3台 <sup>※1</sup>	二酸化炭素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～10,000ppm</li> <li>測定精度：±3%FS</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：非分散形赤外線式 (NDIR)</li> <li>管理目標：0.5%以下 (事務所衛生基準規則を準拠)</li> </ul>	3台 <sup>※1</sup>	一般テレビ (回線、機器)	報道や気象情報等を入手するため、一般テレビ (回線、機器) を配備する。	1式	社内パソコン (回線、機器)	社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ (社内回線) を整備する。	1式	<p>表4 その他資機材等 (緊急時対策所)</p> <p>○免震重要棟内緊急時対策所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様等</th> <th>容量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸素濃度計</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～100%</li> <li>測定精度：±0.5% (0～25.0%) ±3.0% (25.1%以上)</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：ガルバニ電池式</li> <li>管理目標：18%以上 (酸素欠乏症防止規則を準拠)</li> </ul> </td> <td>2台<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～10,000ppm</li> <li>測定精度：±3%FS</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：非分散形赤外線式 (NDIR)</li> <li>管理目標：0.5%以下 (事務所衛生基準規則を準拠)</li> </ul> </td> <td>2台<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>一般テレビ (回線、機器)</td> <td>報道や気象情報等を入手するため、一般テレビ (回線、機器) を配備する。</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>社内パソコン (回線、機器)</td> <td>社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ (社内回線) を整備する。</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>飲食物</td> <td>ブルーム通過中に免震重要棟1階待避室から退出する必要がないように、余裕数を見込んで1日以上の食料及び飲料水を1階待避室内に保管する。 残りの数量については、免震重要棟1階廊下倉庫に保管することで、必要に応じて取りに行くことが可能である。</td> <td>3,780食<sup>※2</sup> 2,520本<sup>※3</sup> (1.5リットル)</td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要がないよう、また、本設のトイレが使用できない場合に備え、簡易トイレを配備する。</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>よう素剤</td> <td>初日に2錠、二日目以降は1錠/一日服用する。</td> <td>1,440錠<sup>※4</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：予備を含む。 ※2：180名 (1～7号炉対応の緊急時対策要員164名+自衛消防隊10名+余裕) ×7日×3食 ※3：180名 (1～7号炉対応の緊急時対策要員164名+自衛消防隊10名+余裕) ×7日×2本 (L1.5リットル/本) ※4：180名 (1～7号炉対応の緊急時対策要員164名+自衛消防隊10名+余裕) × (初日2錠+2日目以降1錠/1日×6日)</p>	名称	仕様等	容量	酸素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～100%</li> <li>測定精度：±0.5% (0～25.0%) ±3.0% (25.1%以上)</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：ガルバニ電池式</li> <li>管理目標：18%以上 (酸素欠乏症防止規則を準拠)</li> </ul>	2台 <sup>※1</sup>	二酸化炭素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～10,000ppm</li> <li>測定精度：±3%FS</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：非分散形赤外線式 (NDIR)</li> <li>管理目標：0.5%以下 (事務所衛生基準規則を準拠)</li> </ul>	2台 <sup>※1</sup>	一般テレビ (回線、機器)	報道や気象情報等を入手するため、一般テレビ (回線、機器) を配備する。	1式	社内パソコン (回線、機器)	社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ (社内回線) を整備する。	1式	飲食物	ブルーム通過中に免震重要棟1階待避室から退出する必要がないように、余裕数を見込んで1日以上の食料及び飲料水を1階待避室内に保管する。 残りの数量については、免震重要棟1階廊下倉庫に保管することで、必要に応じて取りに行くことが可能である。	3,780食 <sup>※2</sup> 2,520本 <sup>※3</sup> (1.5リットル)	簡易トイレ	ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要がないよう、また、本設のトイレが使用できない場合に備え、簡易トイレを配備する。	1式	よう素剤	初日に2錠、二日目以降は1錠/一日服用する。	1,440錠 <sup>※4</sup>	<p>②(対策本部・待機場所のSA化)</p> <p>⑤</p>
名称	仕様等	数量																																										
酸素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～100%</li> <li>測定精度：±0.5% (0～25.0%) ±3.0% (25.1%以上)</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：ガルバニ電池式</li> <li>管理目標：18%以上 (酸素欠乏症防止規則を準拠)</li> </ul>	3台 <sup>※1</sup>																																										
二酸化炭素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～10,000ppm</li> <li>測定精度：±3%FS</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：非分散形赤外線式 (NDIR)</li> <li>管理目標：0.5%以下 (事務所衛生基準規則を準拠)</li> </ul>	3台 <sup>※1</sup>																																										
一般テレビ (回線、機器)	報道や気象情報等を入手するため、一般テレビ (回線、機器) を配備する。	1式																																										
社内パソコン (回線、機器)	社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ (社内回線) を整備する。	1式																																										
名称	仕様等	容量																																										
酸素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～100%</li> <li>測定精度：±0.5% (0～25.0%) ±3.0% (25.1%以上)</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：ガルバニ電池式</li> <li>管理目標：18%以上 (酸素欠乏症防止規則を準拠)</li> </ul>	2台 <sup>※1</sup>																																										
二酸化炭素濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定範囲：0～10,000ppm</li> <li>測定精度：±3%FS</li> <li>電 源：単3形乾電池4本</li> <li>検知原理：非分散形赤外線式 (NDIR)</li> <li>管理目標：0.5%以下 (事務所衛生基準規則を準拠)</li> </ul>	2台 <sup>※1</sup>																																										
一般テレビ (回線、機器)	報道や気象情報等を入手するため、一般テレビ (回線、機器) を配備する。	1式																																										
社内パソコン (回線、機器)	社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ (社内回線) を整備する。	1式																																										
飲食物	ブルーム通過中に免震重要棟1階待避室から退出する必要がないように、余裕数を見込んで1日以上の食料及び飲料水を1階待避室内に保管する。 残りの数量については、免震重要棟1階廊下倉庫に保管することで、必要に応じて取りに行くことが可能である。	3,780食 <sup>※2</sup> 2,520本 <sup>※3</sup> (1.5リットル)																																										
簡易トイレ	ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要がないよう、また、本設のトイレが使用できない場合に備え、簡易トイレを配備する。	1式																																										
よう素剤	初日に2錠、二日目以降は1錠/一日服用する。	1,440錠 <sup>※4</sup>																																										
18	第5表	1.0.4-14	<p>第5表 原子力災害対策活動で使用する資料(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</p>	<p>表5 原子力災害対策活動で使用する資料(緊急時対策所) 表(省略) 免震重要棟内緊急時対策所及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所のそれぞれに資料を配備</p>	<p>②(免震重要棟の自主化)</p>																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																										
19	第6表	1.0.4-15	<p>第6表 原子力事業者間協力協定に基づき貸与される原子力防災資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>GM 汚染サーベイメータ</td></tr> <tr><td>NaI シンチレーションサーベイメータ</td></tr> <tr><td>電離箱サーベイメータ</td></tr> <tr><td>ダストサンプラ</td></tr> <tr><td>個人線量計（ポケット線量計）</td></tr> <tr><td>高線量対応防護服（タングステンベスト）</td></tr> <tr><td>全面マスク</td></tr> <tr><td>不織布カバーオール</td></tr> <tr><td>ゴム手袋</td></tr> <tr><td>遮蔽材</td></tr> <tr><td>放射能観測車</td></tr> <tr><td>Ge 半導体式試料放射能測定装置</td></tr> <tr><td>ホールボディカウンタ</td></tr> <tr><td>全アルファ測定装置</td></tr> <tr><td>可搬型モニタリングポスト</td></tr> </tbody> </table> <p>原子力災害が発生した場合、又は発生するおそれがある場合には、発災事業者からの要請に基づき、必要数量が貸与される。</p>	項 目		GM 汚染サーベイメータ	NaI シンチレーションサーベイメータ	電離箱サーベイメータ	ダストサンプラ	個人線量計（ポケット線量計）	高線量対応防護服（タングステンベスト）	全面マスク	不織布カバーオール	ゴム手袋	遮蔽材	放射能観測車	Ge 半導体式試料放射能測定装置	ホールボディカウンタ	全アルファ測定装置	可搬型モニタリングポスト	<p>表8 事業者間協力協定に基づき貸与される原子力防災資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>汚染密度測定用サーベイメータ</td></tr> <tr><td>NaI シンチレーションサーベイメータ</td></tr> <tr><td>電離箱サーベイメータ</td></tr> <tr><td>ダストサンプラ</td></tr> <tr><td>個人線量計（ポケット線量計）</td></tr> <tr><td>高線量対応防護服</td></tr> <tr><td>全面マスク</td></tr> <tr><td>タイベックスーツ</td></tr> <tr><td>ゴム手袋</td></tr> <tr><td>遮蔽材</td></tr> <tr><td>放射能測定用車両</td></tr> <tr><td>Ge 半導体式試料放射能測定装置</td></tr> <tr><td>ホールボディカウンタ</td></tr> <tr><td>全α測定装置</td></tr> <tr><td>可搬型モニタリングポスト</td></tr> </tbody> </table> <p>原子力災害が発生した場合、又は発生するおそれがある場合には、発災事業者からの要請に基づき、必要数量が貸与される。</p>	項 目		汚染密度測定用サーベイメータ	NaI シンチレーションサーベイメータ	電離箱サーベイメータ	ダストサンプラ	個人線量計（ポケット線量計）	高線量対応防護服	全面マスク	タイベックスーツ	ゴム手袋	遮蔽材	放射能測定用車両	Ge 半導体式試料放射能測定装置	ホールボディカウンタ	全α測定装置	可搬型モニタリングポスト	⑤																								
項 目																																																															
GM 汚染サーベイメータ																																																															
NaI シンチレーションサーベイメータ																																																															
電離箱サーベイメータ																																																															
ダストサンプラ																																																															
個人線量計（ポケット線量計）																																																															
高線量対応防護服（タングステンベスト）																																																															
全面マスク																																																															
不織布カバーオール																																																															
ゴム手袋																																																															
遮蔽材																																																															
放射能観測車																																																															
Ge 半導体式試料放射能測定装置																																																															
ホールボディカウンタ																																																															
全アルファ測定装置																																																															
可搬型モニタリングポスト																																																															
項 目																																																															
汚染密度測定用サーベイメータ																																																															
NaI シンチレーションサーベイメータ																																																															
電離箱サーベイメータ																																																															
ダストサンプラ																																																															
個人線量計（ポケット線量計）																																																															
高線量対応防護服																																																															
全面マスク																																																															
タイベックスーツ																																																															
ゴム手袋																																																															
遮蔽材																																																															
放射能測定用車両																																																															
Ge 半導体式試料放射能測定装置																																																															
ホールボディカウンタ																																																															
全α測定装置																																																															
可搬型モニタリングポスト																																																															
20	第7表	1.0.4-16	<p>○通信連絡設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資機材</th> <th>数量</th> <th>保管場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>携帯電話</td> <td>5台</td> <td>本社</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">衛星電話設備（可搬型）</td> <td>3台</td> <td>本社</td> </tr> <tr> <td>10台</td> <td>柏崎エネルギーホール</td> </tr> <tr> <td>FAX（電力保安通信用電話設備、局線加入電話設備、衛星電話設備（社内向）の共用FAX）</td> <td>2台</td> <td>信濃川電力所</td> </tr> </tbody> </table> <p>○計測器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資機材</th> <th>数量</th> <th>保管場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GM 汚染サーベイメータ</td> <td>42台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>シンチレーションサーベイメータ</td> <td>1台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>電離箱サーベイメータ</td> <td>1台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>個人線量計</td> <td>945台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> </tbody> </table>	資機材	数量	保管場所	携帯電話	5台	本社	衛星電話設備（可搬型）	3台	本社	10台	柏崎エネルギーホール	FAX（電力保安通信用電話設備、局線加入電話設備、衛星電話設備（社内向）の共用FAX）	2台	信濃川電力所	資機材	数量	保管場所	GM 汚染サーベイメータ	42台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	シンチレーションサーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	電離箱サーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	個人線量計	945台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	<p>○通信連絡設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資機材</th> <th>数量</th> <th>保管場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>携帯電話</td> <td>5台</td> <td>本社</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">衛星電話設備（可搬型）</td> <td>3台</td> <td>本社</td> </tr> <tr> <td>5台</td> <td>柏崎エネルギーホール</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>2台</td> <td>信濃川電力所</td> </tr> </tbody> </table> <p>○計測器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資機材</th> <th>数量</th> <th>保管場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚染密度測定用サーベイメータ</td> <td>42台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>シンチレーションサーベイメータ</td> <td>1台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>電離箱サーベイメータ</td> <td>1台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>個人線量計</td> <td>945台</td> <td>福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所</td> </tr> </tbody> </table>	資機材	数量	保管場所	携帯電話	5台	本社	衛星電話設備（可搬型）	3台	本社	5台	柏崎エネルギーホール	FAX	2台	信濃川電力所	資機材	数量	保管場所	汚染密度測定用サーベイメータ	42台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	シンチレーションサーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	電離箱サーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	個人線量計	945台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所	③（参集時の装備品の明確化） ⑤
資機材	数量	保管場所																																																													
携帯電話	5台	本社																																																													
衛星電話設備（可搬型）	3台	本社																																																													
	10台	柏崎エネルギーホール																																																													
FAX（電力保安通信用電話設備、局線加入電話設備、衛星電話設備（社内向）の共用FAX）	2台	信濃川電力所																																																													
資機材	数量	保管場所																																																													
GM 汚染サーベイメータ	42台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													
シンチレーションサーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													
電離箱サーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													
個人線量計	945台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													
資機材	数量	保管場所																																																													
携帯電話	5台	本社																																																													
衛星電話設備（可搬型）	3台	本社																																																													
	5台	柏崎エネルギーホール																																																													
FAX	2台	信濃川電力所																																																													
資機材	数量	保管場所																																																													
汚染密度測定用サーベイメータ	42台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													
シンチレーションサーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													
電離箱サーベイメータ	1台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													
個人線量計	945台	福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
21	第3図	1.0.4-19	 <p>第3図 原子力事業所災害対策支援拠点 体制図</p>	 <p>図3 原子力事業所災害対策支援拠点 体制図</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
22	別紙 第18図	1.0.4-47			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.5 重大事故等への対応に係る文書体系

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	1.	1.0.5-1	手順書は、通常時からプラントを運転監視している運転員が事故収束のために用いる手順書と、緊急時対策要員が使用する手順書の二種類に整理している。	手順書は、通常時からプラントを運転監視している運転員が事故収束のために用いる手順書と、緊急時対策本部が使用する手順書の二種類に整理している。	⑤
2	1.	1.0.5-1	運転員が使用する手順書は、保安規定第14条(マニュアルの作成)に基づき「警報発生時操作手順書」、「事故時運転操作手順書(事象ベース)」、「事故時運転操作手順書(徴候ベース)」、「事故時運転操作手順書(停止時徴候ベース)」及び「AM設備別操作手順書」、保安規定第110条(原子力防災資機材等)に基づき「事故時運転操作手順書(シビアアクシデント)」を作成し、それぞれ具体的な対応を定めている。	運転員が使用する手順書は、保安規定第14条(マニュアルの作成)に基づき「警報発生時操作手順書」、「事故時運転操作手順書(事象ベース)」及び「事故時運転操作手順書(徴候ベース)」、保安規定第110条(原子力防災資機材等)に基づき「事故時運転操作手順書(シビアアクシデント)」を作成し、それぞれ具体的な対応を定めている。	④ 添付資料1.0.6において、運転操作手順書の種類が追加になったため。
3	1.	1.0.5-2	また、緊急時対策要員が使用する手順書は、	また、緊急時対策本部が使用する手順書は、	⑤
4	1.	1.0.5-2	なお、上記運転員及び緊急時対策要員が必要な力量を確保するために、	なお、上記運転員及び緊急時対策本部の要員が必要な力量を確保するために、	⑤
5	1.	1.0.5-4			④ 添付資料1.0.6において、運転操作手順書の種類が追加になったため。



まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.6 重大事故等対応に係る手順書の構成と概要について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	1	1.0.6-1	柏崎刈羽原子力発電所では、プラントに異常が発生した場合等において、重大事故への進展を防止するため、「警報発生時操作手順書」、「事故時運転操作手順書(事象ベース)」、「事故時運転操作手順書(徴候ベース)」及び「 <b>事故時運転操作手順書(停止時徴候ベース)</b> 」を整備している。	柏崎刈羽原子力発電所では、プラントに異常が発生した場合等において、重大事故への進展を防止するため、「警報発生時操作手順書」、「事故時運転操作手順書(事象ベース)」及び「 <b>事故時運転操作手順書(徴候ベース)</b> 」を整備している。	② (停止時EOPの新規制定)
2	1	1.0.6-1	第1図 手順書機能体系の概要図	図1 手順書機能体系の概要図	② (停止時EOPの新規制定による手順書機能体系の変更)
3	2.1 (2)	1.0.6-2	(2)事故時運転操作手順書(事象ベース)(以下「AOP」という。) 単一の故障等で発生する可能性のある <b>あらかじめ想定された異常事象</b> 又は事故が発生した際に、事故の進展を防止するために必要な対応操作を定めた手順書。 <b>設計基準事故の範囲内の特定された事故ごとの操作内容をあらかじめ手順化しており、当該手順で対応できると判断した場合に使用し、過渡状態が収束するまでの間に適用する。</b>	(2)事故時運転操作手順書(事象ベース)(以下「AOP」という。) 単一の故障等で発生する可能性のある異常又は事故が発生した際に、事故の進展を防止するために必要な対応操作を定めた手順書。 主な設計基準内の事故発生時の対応をあらかじめ手順化しており、当該手順で対応できると判断した場合に使用し、過渡状態が収束するまでの間に適用する。	⑤
4	2.1 (2)	1.0.6-2	AOP の一例として、 <b>発電用原子炉が運転中に給水ポンプがトリップし、給水不能となった場合</b> の対応操作を定めた、AOP「 <b>給水全喪失</b> 」の対応フロー図及び操作等判断基準一覧を別紙1.2 に示す。	AOP の一例として、全交流動力電源が喪失した時に、電源喪失が継続している間の対応操作を定めた、AOP「 <b>発電所全停</b> 」、「 <b>全交流電源喪失</b> 」、「 <b>全直流電源喪失</b> 」の対応フロー図及び操作等判断基準一覧を別紙1.2 に示す。	② (SBOの対応手順をEOPに変更したことによるAOPの例示を変更)
5	2.1 (2)	1.0.6-2	c.火災編 目的 :火災発生時の対応 手順書: <b>各建屋火災事故</b> d.溢水編 目的 :内部溢水発生時の対応 手順書: <b>大規模内部溢水、小規模内部溢水等</b>	c.火災編 目的 :火災発生時の対応 手順書:原子炉建屋非管理区域における火災対応等 d.内部溢水編 目的 :内部溢水発生時の対応 手順書:原子炉建屋管理区域内大規模漏えい等	⑤
6	2.1 (3)	1.0.6-3	<b>AOP が設計基準事故の範囲内の特定された事故ごとの対応操作を示した手順書であることに対して、EOP は観測されるプラントの徴候(パラメータの変化)に応じた対応操作を示した手順書であり、設計基準事故に加え設計基準を超えるような設備の多重故障時等にも適用する。</b>	観測されるプラントの徴候(パラメータの変化)に応じた対応操作を示した手順書であり、設計基準事故に加え設計基準を超えるような設備の多重故障時等にも適用する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
7	2.1 (4)	1.0.6-4	<p>【SOP フローチャート】</p> <p>SOP-1:RPV 制御 SOP-2:PCV 制御 SOP-3:R/B 制御</p>	<p>【SOP フローチャート】</p> <p>AM 操作方針の全体流れ図 注水-1 :「損傷炉心への注水」 注水-2 :「長期の原子炉水位の確保」 注水-3a:「RPV 破損前の下部D/W 初期注水」 注水-3b:「RPV 破損後の下部D/W 注水」 注水-4 :「長期のRPV 破損後の注水」 除熱-1 :「損傷炉心冷却後の除熱」 除熱-2 :「RPV 破損後の除熱」 放出 :「PCV 破損防止」 水素 :「R/B 水素爆発防止」</p>	<p>② (SOPの構成を整理した結果を反映)</p>
8	2.1 (5)	1.0.6-4	<p>(5)事故時運転操作手順書(停止時微候ベース)(以下「停止時EOP」という。) 発電用原子炉が停止中の場合において、プラントの異常状態を検知する対応、異常状態発生防止に関する対応及び異常事象が発生した場合の対応操作に関する事項を定めた手順書。 プラント停止中に発生する可能性のある事故に対し、EOPと同様に、観測されるプラントの微候(パラメータの変化)に応じた対応操作を示した手順書であり、発生確率は極めて低いと考えられる設計基準を超えるような多重故障にも適用する。 停止時EOPは、目的に応じて「停止時反応度制御」、「水位・温度制御」及び「交流/直流電源供給回復」に分類した各手順を視覚的に認識できるようにした「フローチャート」、各手順の「対応手順」及びプラント停止中における作業を想定し、人的過誤又は機器故障等により発生する異常事象の代表的なシナリオとその解説をまとめた「停止時事故時運転操作の手引き」により構成される。 異常事象発生時には、発電用原子炉の未臨界維持、炉心や使用済燃料プールの冷却状況等に関するパラメータを確認し、各手順の導入条件が成立した場合には、その手順の対応処置を開始する。 各手順のフローチャート、目的及び基本的な考え方及び操作等判断基準一覧を別紙9,10,11に示す。 (別紙9,10,11)</p>	<p>—</p>	<p>② (停止時EOPの新規制定)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
9	2.1 (5)	1.0.6-5	<p>【停止時EOP フローチャート】</p> <p>a.停止時反応度制御 目的:プラント停止中における意図せぬ制御棒引き抜け時の対応 手順書:停止時反応度制御</p> <p>b.水位・温度制御 目的:発電用原子炉の状態変化に応じた水位・温度の制御 手順書: 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 閉鎖」時SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオン/プールゲート閉/PCV 開放」時SFP 原子炉水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート閉/PCV 開放」時SFP 原子炉ウェル水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ/プールゲート開/PCV 開放」時SFP 原子炉ウェル水位・温度制御 「RPV ヘッドオフ直後・ヘッドオン直前」時 原子炉水位・温度制御</p> <p>c.交流/直流電源供給回復 目的:外部電源喪失時の交流/直流電源の供給維持 手順書:交流/直流電源供給回復</p>	—	② (停止時EOPの新規制定)
10	2.1 (6)	1.0.6-5	<p>なお, EOP, SOP 及び停止時EOP にはAM 設備別操作手順書が使用可能なタイミングを明示する。 AM 設備別操作手順書の一覧を別紙12 に示す。 (別紙12)</p>	<p>なお, EOP 及びSOP にはAM 設備別操作手順書が使用可能なタイミングを明示する。 AM 設備別操作手順書の一覧を別紙9 に示す。 (別紙9)</p>	② (停止時EOPの新規制定)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
11	2.1 (6)	1.0.6-6	<p>【AM 設備別操作手順書の構成】</p> <p>電源確保戦略：第一ガスタービン発電機起動、M/C7C・7D受電、直流125V蓄電池切替(A,A-2,AM用)等</p> <p>反応度制御戦略：SLCポンプによるほう酸水注入等</p> <p>Rx注水戦略：RCIC現場起動、MUWCによる原子炉注水等</p> <p>圧力制御戦略：SRV駆動源確保、炉心損傷前PCVベント等</p> <p>格納容器スプレイ戦略：消防車によるPCV スプレイ等</p> <p>格納容器水素・酸素制御戦略：FCSによる格納容器水素制御、PCV水素・酸素ガス放出</p> <p>SFP注水、ウェル注水、SFP監視戦略：消防車によるSFP注水、SFP監視カメラ冷却装置起動等</p> <p>代替除熱戦略：代替Hxによる補機冷却水確保等</p> <p>原子炉除熱戦略：RHRによる原子炉除熱等</p> <p>格納容器除熱戦略：代替循環冷却系によるPCV内の減圧及び除熱等</p> <p>SFP除熱戦略：RHRによるSFP除熱、FPCによるSFP除熱</p> <p>水源確保戦略：MUWPIによるCSPへの補給、消防車によるCSPへの補給</p> <p>代替計器戦略：可搬計器によるパラメータ計測</p> <p>その他戦略：SFP漏えい緩和、通信手段確保等</p> <p>中央制御室居住性確保戦略：可搬型陽圧化空調機による中央制御室陽圧化等</p> <p>下部D/W注水戦略：MUWCによる下部D/W注水等</p>	<p>【AM 設備別操作手順書の構成】</p> <p>電源確保：交流・直流電源受電、直流125V 充電器受電、GTG 起動等</p> <p>反応度制御：SLC ポンプによるほう酸水注入</p> <p>原子炉注水：RCIC 現場起動、MUWC による原子炉注水等</p> <p>原子炉減圧：SRV 駆動源確保、バッテリーによるSRV 開放等</p> <p>格納容器冷却：PCV ベント、MUWC によるPCV スプレイ等</p> <p>水素対策：FCS による格納容器水素制御</p> <p>燃料プール注水：可搬型代替注水ポンプによるSFP 注水等</p> <p>補機冷却水確保：代替Hx による補機冷却水確保等</p> <p>原子炉除熱：RHR による原子炉除熱、CUW による原子炉除熱</p> <p>S/P 除熱：RHR によるS/P 除熱</p> <p>燃料プール除熱：RHR によるSFP 除熱、FPC によるSFP 除熱</p> <p>水源確保：MUWP ポンプによるCSP への補給等</p> <p>代替計器：可搬型計測器によるパラメータ計測</p>	<p>② (AM設備別操作手順書の整理及び新規制定した結果を反映)</p> <p>⑤</p>
12	2.2	1.0.6-6	<p>2.2 緊急時対策本部用手順書</p> <p>緊急時対策本部用手順書は使用主体に応じて、緊急時対策本部が使用する手順書、緊急時対策本部のうち技術支援組織が使用する手順書及び緊急時対策本部のうち実施組織(運転員以外)が使用する手順書に分類して整備する。</p>	2.2 緊急時対策本部用手順書	⑤
13	2.2 (1)	1.0.6-6	<p>(1)緊急時対策本部運営要領</p> <p>重大事故、大規模損壊等が発生した場合、又はそのおそれがある場合に、緊急事態に関する緊急時対策本部の責任と権限及び実施事項を定めた要領で、緊急時対策本部が使用する。</p>	<p>(1)緊急時対策本部運営要領</p> <p>重大事故、大規模損壊等が発生した場合、又はそのおそれがある場合に、緊急事態に関する緊急時対策本部の責任と権限及び実施事項を定めた要領。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
14	2.2 (3)	1.0.6-7	<p>【EHPの構成】</p> <p>炉心冷却：消防車による送水(原子炉注水)等                      格納容器機能維持：熱交換器ユニットによる補機冷却水確保等                      原子炉建屋損傷防止：原子炉建屋トップベント等                      SFP冷却：消防車による送水(SFP常設スプレー)等                      放射性物質の拡散を抑制：大容量送水車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制等                      水源：貯水池から大湊側防火水槽への補給等                      電源確保：第二GTGによる大湊側緊急用M/C受電等                      居住性：カードル式空気ポンプユニットによる陽圧化                      その他：アクセスルートの状況確認、瓦礫除去等</p>	<p>【EHPの構成】</p> <p>炉心冷却：可搬型直流電源装置による原子炉隔離時冷却系の復旧等                      格納容器機能維持：代替原子炉補機冷却系による除熱等                      原子炉建屋損傷防止：原子炉建屋トップベント等                      燃料プール冷却：常設スプレーヘッダによる使用済燃料プールのスプレー等                      放射性物質の拡散抑制：大容量送水車及び放水砲による大気への拡散抑制等                      水源：淡水貯水池から防火水槽への補給等                      電源確保：第二ガスタービン発電機による緊急M/C受電等                      状態監視等：重要監視計器復旧                      その他：アクセスルート確保等</p>	<p>② (EHPの整理及び新規制定した結果を反映) ⑤</p>
15	3 (1)	1.0.6-8	<p>なお、発電用原子炉が停止中の場合は、警報発生時操作手順書に基づく対応を実施し、事象が進展して停止時EOP導入条件が成立した場合は、停止時EOPへ移行する。                      また、停止時EOP対応中にEOP導入条件が成立した場合は、EOPに移行する。</p>	—	<p>② (停止時EOPの新規制定)</p>
16	3 (4)	1.0.6-9	<p>(4)AM設備別操作手順書の使用                      EOP、SOP又は停止時EOPによる事故対応中に、多数の恒設の電源設備・注水設備等が使用できず、EOP、SOP又は停止時EOPのフローチャートにおける原子炉注水等の操作項目が達成できない場合は、その操作項目に対応したAM設備別操作手順書の手順及びその手順に紐づくEHPの手順の中から実現可能な手順を選択し、可搬型設備等による対応を行う。この操作を実施する際には、運転員と実施組織(運転員以外)との情報交換を密にして、プラント状況及び実施すべき操作内容を相互に確認しながら実施する。                      なお、EOP、SOP又は停止時EOPの操作項目が達成できない場合に、AM設備別操作手順書及びEHPに複数の使用可能な手順が存在する場合は、以下のような観点から使用可能な手順を対比し、事故対応に適切な手順を選択する。</p>	<p>(4)AM設備別操作手順書の使用                      EOP又はSOPによる事故対応中に、多数の恒設の電源設備・注水設備等が使用できず、EOP又はSOPのフローチャートにおける原子炉注水等の操作項目が達成できない場合は、その操作項目に対応したAM設備別操作手順書の手順及びその手順に紐づくEHPの手順の中から実現可能な手順を選択し、可搬型設備等による対応を行う。この操作を実施する際には、運転員と実施組織(運転員以外)との情報交換を密にして、プラント状況及び実施すべき操作内容を相互に確認しながら実施する。                      なお、EOP又はSOPの操作項目が達成できない場合に、AM設備別操作手順書及びEHPに複数の使用可能な手順が存在する場合は、以下のような観点から使用可能な手順を対比し、事故対応に適切な手順を選択する。</p>	<p>② (停止時EOPの新規制定)</p>
17	3 (4)	1.0.6-10	<p>AM設備別操作手順書及びEHPで選択した手順が完了した場合は、引き続きEOP、SOP又は停止時EOPによる対応を行う。</p>	<p>AM設備別操作手順書及びEHPで選択した手順が完了した場合は、引き続きEOP又はSOPによる対応を行う。</p>	<p>② (停止時EOPの新規制定)</p>
18	4	1.0.6-11	<p>なお、発電用原子炉が停止中の場合においても、対応操作の流れについては発電用原子炉が運転中の場合と同様である。</p>	—	<p>② (停止時EOPの新規制定)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
19	別紙1 別紙2	別紙1-1 別紙2-1	別紙1 AOP「給水全喪失」対応フロー図 別紙2 AOP「給水全喪失」操作等判断基準一覧(7号炉の例)  <主な変更内容> 手順書類の見直しにともない, 全交流動力電源喪失の対応手順をEOPに変更したため, AOPの一例を「給水全喪失」に変更。	別紙1 AOP「発電所全停」, 「全交流電源喪失」, 「全直流電源喪失」対応フロー図 別紙2 AOP「発電所全停」, 「全交流電源喪失」, 「全直流電源喪失」操作等判断基準一覧	② (SBOの対応手順をEOPに変更したことによるAOPの例示を変更)
20	別紙3 別紙4 別紙5	別紙3-1~18 別紙4-1~5 別紙5-1~32	別紙3 EOP フローチャート 別紙4 EOP 目的及び基本的な考え方(7号炉の例) 別紙5 EOP 操作等判断基準一覧(7号炉の例)  <主な変更内容> 原子炉水位によるSOP移行基準の追加 「反応度制御」の対応操作の優先順位の変更 「PCV圧力制御」の残留熱除去系による格納容器スプレイの判断基準の変更 「交流/直流電源供給回復」の追加等	別紙3 EOP フローチャート 別紙4 EOP 目的及び基本的な考え方 別紙5 EOP 操作等判断基準一覧	② (SOP移行基準の追加等によるEOPの見直し)
21	別紙6 別紙7 別紙8	別紙6-1~3 別紙7-1,2 別紙8-1~8	別紙6 SOP フローチャート 別紙7 SOP 目的及び基本的な考え方(7号炉の例) 別紙8 SOP 操作等判断基準一覧(7号炉の例)  <主な変更内容> SOPフローチャートの再整理 「PCV制御」の格納容器ベントの判断基準の変更 「PCV制御」の代替循環冷却系の起動条件の変更等	別紙6 SOP フローチャート 別紙7 SOP 目的及び基本的な考え方 別紙8 SOP 操作等判断基準一覧	② (SOPの構成を整理した結果を反映)
22	別紙9 別紙10 別紙11	別紙9-1~9 別紙10-1,2 別紙11-1~12	別紙9 停止時EOP フローチャート 別紙10 停止時EOP 目的及び基本的な考え方(7号炉の例) 別紙11 停止時EOP 操作等判断基準一覧(7号炉の例)  <新規追加>	-	② (停止時EOPの新規制定)
23	別紙12	1~11	別紙12 AM 設備別操作手順書一覧(7号炉の例)  <手順書の見直しに伴う修正>	別紙9 AM 設備別操作手順書一覧	② (AM設備別操作手順書の整理及び新規制定した結果を反映) ⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
24	別紙13	1	別紙13 緊急時対策本部運営要領と主な機能班ガイド <各機能班ガイドの見直しに伴う修正>	別紙10 緊急時対策本部運営要領と主な機能班ガイド	② (緊急時対策本部運営要領の見直し) ⑤
25	別紙14	1~5	別紙14 多様なハザード対応手順一覧(7号炉の例) <手順書の見直しに伴う修正>	別紙11 多様なハザード対応手順一覧	② (EHPの整理及び新規制定した結果を反映) ⑤
26	別紙15	1,2	別紙15 EOP, SOP, 停止時EOP フローチャート凡例 <凡例24~29の追加>	別紙12 EOP/SOP フローチャート凡例	② (手順書類の見直しによる凡例の追加)

## まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.7 有効性評価における重大事故対応時の手順について

**【変更理由の類型化】**

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗, 設備変更による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正        ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	全て	全て	有効性評価の見直しに伴う修正及び運転操作手順書の最新版を反映		④ 有効性評価の見直しに伴う修正及び運転操作手順書の最新版反映

## まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.8 大津波警報発令時の原子炉停止操作等について

**【変更理由の類型化】**

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	1.	1.0.8-1	柏崎刈羽原子力発電所では, 安全対策を幾重にも講じているものの, 津波の対応については, プラントが被災して機器・電源が使用不能になることを想定し, 被災前にプラントを停止するとともに, 燃料の崩壊熱を除去することで, 炉心損傷に至るまでの時間を延長し, 被災後の対応時間に余裕を持たせることが重要である。	柏崎刈羽原子力発電所では, 津波に対して防潮堤(T.M.S.L.+15.0m)を設置する等, 安全対策を幾重にも講じているものの, 津波の対応については, プラントが被災して機器・電源が使用不能になることを想定し, 被災前にプラントを停止するとともに, 燃料の崩壊熱を除去することで, 炉心損傷に至るまでの時間を延長し, 被災後の対応時間に余裕を持たせることが重要である。	②(防潮堤自主化に伴う変更)
2	1.	1.0.8-1	所員の高台への避難及び水密扉の閉止確認を行い, 津波監視カメラ及び取水槽水位計による津波の継続監視を行う。	所員の高台への避難及び扉の閉鎖を行い, 津波監視カメラ及び取水ピット水位計による津波の継続監視を行う。	⑤
3	2.	1.0.8-1	大津波警報が発令された場合, 原子力警戒態勢を発令し, 緊急時対策要員を非常召集することにより, 速やかに重大事故等対策を実施できる体制を整える。	大津波警報が発令された場合, 緊急時態勢(原子力警戒態勢)を発令し, 緊急時対策要員を非常召集することにより, すみやかに重大事故等対策を実施できる体制を整える。	⑤
4	3.	1.0.8-1	柏崎刈羽原子力発電所における基準津波の遡上波による発電所遡上域の最高水位はT.M.S.L.+8.3mと評価しており,	柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉の設計基準上の津波遡上高さはT.M.S.L.+7.5mと評価しており,	③(津波影響評価の進捗)
5	3.(2)	1.0.8-2	なお, 資機材の運搬や作業に伴い, 水密扉を連続開放する必要がある場合は, 大津波警報の情報が得られ次第, 速やかに扉を閉める運用としている。	開運用となっている一部の水密扉については, 大津波警報の情報が得られ次第, すみやかに扉を閉める運用としている。	⑤
6	3.(3)	1.0.8-2	基準津波を超える津波に対しても, 防潮堤(T.M.S.L.+15.0m)の設置, 原子炉建屋, タービン建屋等の水密化, 特に重要な安全機能を有する施設を内包する重要区画の水密化, 排水設備の設置等, 更なる信頼性向上の観点から自主的な対策を実施している。	基準津波を超える津波に対しても, 防潮堤(T.M.S.L.+15.0m)の設置, 原子炉建屋, タービン建屋等の水密化, 重要区画の水密化, 排水設備の設置等, 更なる信頼性向上の観点から自主的な対策を実施している。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.9 重大事故等対策の対処に係る教育及び訓練について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	冒頭	1.0.9-1	<p>また、教育及び訓練の結果を評価し、継続的改善を図っていくこととし、各                      項で参照する表に記載の教育及び訓練についても、今後必要な改善、見直                      しを行っていくものである。</p> <p>なお、発電所対策本部の構成は添付資料1.0.10にて定義の通りで、自衛消                      防隊は緊急時対策要員と同等の教育及び訓練を実施するが、自衛消防隊                      のうち協力企業社員については業務委託契約に基づき実施する。</p>	<p>なお、教育及び訓練の結果を評価し、継続的改善を図っていくこととし、各                      項で参照する表に記載の教育及び訓練についても、今後必要な改善、見直                      しを行っていくものである。</p>	⑤
2	1. (2) a.	1.0.9-2	<p>発電用原子炉施設の冷却機能の回復のために必要な電源確保及び可搬                      型重大事故等対処設備を使用した給水確保等の対応操作を習得することを                      目的に、実施組織の要員に対し、重大事故等対策に関する教育として手順                      の内容理解(作業の目的、事故シーケンスとの関係等)や資機材の取り扱い                      方法等の習得を図るため個別訓練等を計画的に繰り返し実施する。</p>	<p>発電用原子炉施設の冷却機能の回復のために必要な電源確保及び可搬                      型重大事故等対処設備を使用した給水確保等の対応操作を習得すること                      を目的に、実施組織の要員に対し、重大事故等対策に関する教育として手順                      の内容理解(作業の目的、事故シーケンスとの関係等)や資機材の取り扱い                      方法等の習得を図るため個別訓練等を年1回以上実施する。</p>	⑤
3	1. (2) a.	1.0.9-3	<p>個別訓練は、現場操作の指揮、発電所緊急時対策本部との連絡等を行う                      指揮者、現場操作等を行う担当者等のチームで行い、各人の事故対応能力                      の向上、役割分担の確認等を行う。また、力量評価者を置き、原子力災害発                      生時に対応できるよう確実に力量が確保されていることを、定期的に評価す                      る。訓練は、訓練ごとの訓練対象者全員が原則として実際の設備、活動場所                      で実施することとするが、実際の設備を使用するとプラントに影響を及ぼす場                      合(例:実際の充電中の電源盤への電源ケーブルの接続を実施すると、電気                      事故、感電が発生する。)は、訓練設備を用いた訓練を実施する。</p> <p>なお、運転員についても上記に準じた訓練、評価を実施し、第4表の訓練頻                      度については運転員の習熟等を踏まえ適宜見直しを行う。</p>	<p>個別訓練は、現場操作の指揮、緊急時対策本部との連絡等を行う指揮者、                      現場操作等を行う担当者等のチームで行い、各人の事故対応能力の向上、                      役割分担の確認等を行う。また、力量評価者を置き、原子力災害発生時に対                      応できるよう確実に力量が確保されていることを、定期的に評価する。訓練                      は、訓練ごとの訓練対象者全員が原則として実際の設備、活動場所で実施                      することとするが、実際の設備を使用するとプラントに影響を及ぼす場合                      (例:実際の充電中の電源盤への電源ケーブルの接続を実施すると、電気事                      故、感電が発生する。)は、訓練設備を用いた訓練を実施する。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.10 重大事故等時の体制について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	1.(1)	1.0.10-1	さらに、「統括」の下に機能班を配置し、それぞれの機能班に「班長」を置いている。	—	⑤
2	1.(2)	1.0.10-2	(2) 重大事故等に対処する要員の確保に関する考え方	(2) 緊急時対策要員の確保に関する基本的な考え方	⑤
3	1.(2)	1.0.10-2	速やかに対策を行えるよう、発電所内に必要な重大事故等に対処する要員である運転員、緊急時対策要員及び自衛消防隊を常時確保	すみやかに対策を行えるよう、発電所内に必要な要員を常時確保	⑤
4	1.(2)	1.0.10-2	社員で対応できるよう重大事故等に対処する要員を確保	社員で対応できるよう要員を確保する。	⑤
5	1.(2)	1.0.10-2	所定の重大事故等に対処する要員に欠員が生じた場合は、夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)を含め重大事故等に対処する要員の補充を行うとともに、そのような事態に備えた重大事故等に対処する要員の体制	所定の緊急時対策要員に欠員が生じた場合は、夜間及び休日を含め緊急時対策要員の補充を行うとともに、そのような事態に備えた緊急時対策要員の体制	⑤
6	1.(2)	1.0.10-2	確保できる重大事故等に対処する要員で、	確保できる要員で、	⑤
7	1.(2)	1.0.10-2	あらかじめ定めた連絡体制に基づき、夜間及び休日を含めて必要な緊急時対策要員を	予め定めた連絡体制に基づき、夜間及び休日を含めて必要な要員を	⑤
8	1.(3)	1.0.10-2	運転員が使用する手順書(以下「運転操作手順書」という。)に	運転操作手順書に	⑤
9	1.(3)	1.0.10-2	緊急時対策要員が使用する手順書(以下「緊急時対策本部用手順書」という。)上で	緊急時対策本部運営要領上で	⑤
10	1.(3)	1.0.10-3	運転員が使用する運転操作手順書と発電所緊急時対策要員が使用する緊急時対策本部用手順書と、	運転員が使用するものと発電所緊急時対策要員が使用するものと、	⑤
11	2.(1)	1.0.10-3	各班及び当直にはそれぞれ責任者である班長、当直副長を配置する。	各班にはそれぞれ責任者である班長を配置する。	⑤
12	2.(1)	1.0.10-5	発電所長はただちに原子力警戒態勢を、特定事象又は原災法第15条第1項に該当する事象が発生した場合、発電所長は	所長はただちに緊急事態等を発令するとともに本社原子力運営管理部長へ報告する。	⑤
13	2.(1)	1.0.10-5	情報共有を実施できるよう可搬型照明設備を整備	情報共有を実施できるようヘッドライト及びランタン等を整備	⑤
14	2.(2)	1.0.10-6	また、平日勤務時間帯、夜間及び休日いずれの場合においても、緊急時対策所で初動態勢時に対応する要員は、対応者(執務できない場合の交替者を含む)を明確にした上で、5号炉定検事務室又はその近傍及び第二企業センター又はその近傍で分散して執務若しくは宿泊することとし、非常召集時は5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に参集する。	—	②(K5TSC設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	2.(2)	1.0.10-6	<p>重大事故時には事故発生号炉の当直副長が, 重大事故等対策に係る運転操作に関する指揮・命令・判断を行い, 中央制御室で運転操作を行う運転員及び現場で対応する運転員は, 当直副長指示のもと重大事故等対策の対応を行うために整備された手順書に従い事故対応を行う。</p> <p>複数号炉の同時被災時においても, 号炉ごとの運転操作指揮を指揮・命令・判断に関して必要な力量を有している<sup>※2</sup>当直副長が行い, 号炉ごとに運転操作に係る情報収集や事故対策の検討等を行うことにより, 情報の混乱や指揮命令が遅れることのない体制とする。</p> <p>※2「指揮・命令に関して必要な力量を有している」とは, BWR運転訓練センターにおいて, 指揮命令, 状況判断等について習得する上級初期訓練, 及び重大事故等への拡大を防ぐ取り組み, 炉心損傷後の対応, 状況判断を含む予測について習得するSA(上級)訓練を受講していることを言う。</p> <p>当直長は適宜, 発電所対策本部の号機班長と連携しプラント対応操作の状況を報告する。</p> <p>また, 号炉ごとの当直主任及び主機操作員は中央制御室内のプラント操作・監視, 現場操作の指示を行い, 現場支援担当・当直副主任・補機操作員は2名以上が1組で号炉ごとの現場操作を行う。</p>	<p>重大事故発生時には事故発生号炉の当直副長が, 重大事故等対策に係る運転操作に関する指揮・命令・判断を行い, 中央制御室で運転操作を行う運転員及び現場で対応する運転員は, 当直副長指示のもと重大事故等対策の対応を行うために整備された手順書に従い事故対応を行う。当直長は適宜, 発電所対策本部の号機班長と連携しプラント対応操作の状況を報告する。</p>	⑤ (まとめ資料1.0共通事項に記載のあった内容の移行)
16	2.(2)	1.0.10-7	1～5号炉には22名の運転員	1～5号炉には21名の運転員	⑤
17	2.(2)	1.0.10-7	意思決定・指揮を行う要員4名, 実施組織として現場対応を行う要員12名, 技術支援組織として情報収集・計画立案を行う要員5名, 運営支援組織として対外対応を行う要員5名及びロジスティック・リソース管理を行う要員2名), 現場で対応を行う復旧班要員14名(注水隊4名, 送水隊2名, 電源隊6名, 瓦礫隊2名), チェン징エリアの設営等	意思決定・指揮を行う要員5名, 実施組織として現場対応を行う要員12名, 技術支援組織として情報収集・計画立案を行う要員5名, 運営支援組織として対外対応を行う要員4名及びロジスティック・リソース管理を行う要員2名), 現場で対応を行う復旧班要員14名(電源隊6名, 送水隊2名, 注水隊4名, 給油隊2名)及び放射線測定等	⑤
18	2.(2)	1.0.10-8	発電所員約1,120名のうち, 約900名(平成29年4月現在)	発電所員約1,150名のうち, 約890名(平成28年12月現在)	⑤
19	2.(2)	1.0.10-8	<p>また, 事象発生から10時間以内の重大事故等時の対応においては, 発電所内に常時確保する44名の緊急時対策要員により対応が可能であるが, 早期に班長以下の要員数が約2倍となれば, より迅速・多様な重大事故等への対処が可能と考えられる。このため, 徒歩参集, 要員自身の被災, 過酷な天候, 道路の被害等を考慮し, 事象発生から約6時間を目処に, 外部から発電所に参集する40名の緊急時対策要員<sup>※</sup>を確保する。</p> <p>※ 要員数については, 今後の訓練等の結果により人数を見直す可能性がある。</p>	-	④(要員参集に関するアクセスルート審査会合説明内容の反映)
20	2.(2)	1.0.10-9	緊急事態の体制に移行する。なお, 残りの要員については交替要員	発電所対策本部の体制に移行する。なお, 残りの要員については交代要員	⑤
21	2.(4)	1.0.10-9	号機班が安全パラメータ表示システム(SPDS)及び通信連絡設備を用い, 当直長又は当直副長からプラント状況を逐次入手し, ホワイトボード等に記載するとともに, 主要な情報について発電所対策本部全体に共有するため発話する。	号機班が通信連絡設備を用い当直長又は当直副長からプラント状況を逐次入手し, ホワイトボード等に記載するとともに, 主要な情報について発電所対策本部中央の幹部席に向かって発話する。	⑤
22	2.(4)	1.0.10-10	情報共有ツールをもとにプラントパラメータを確認し,	SPDS表示装置によりプラントパラメータを監視し,	⑤
23	2.(4)	1.0.10-10	情報を更新することにより,	記録・保存し,	⑤
24	2.(5)	1.0.10-11	通信連絡設備(衛星電話設備(可搬型)等)	通信連絡設備(衛星電話設備等)	⑤
25	3.(1)	1.0.10-12	事故進展評価及び放射線管理	運転及び放射線管理	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

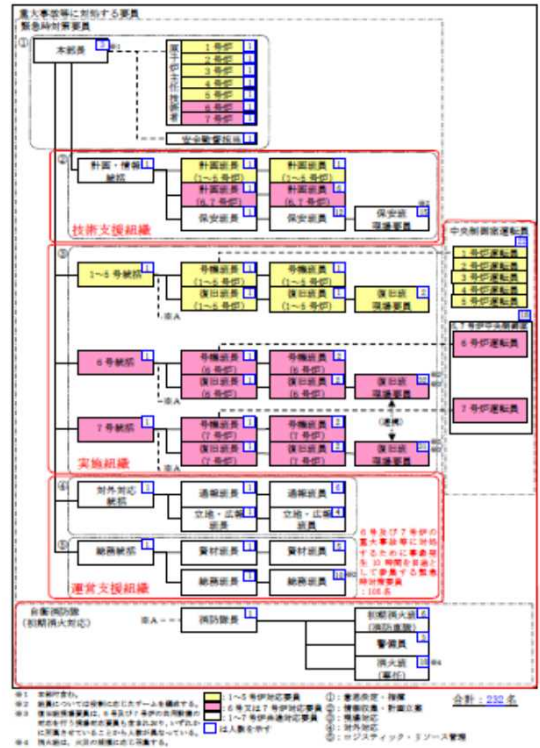
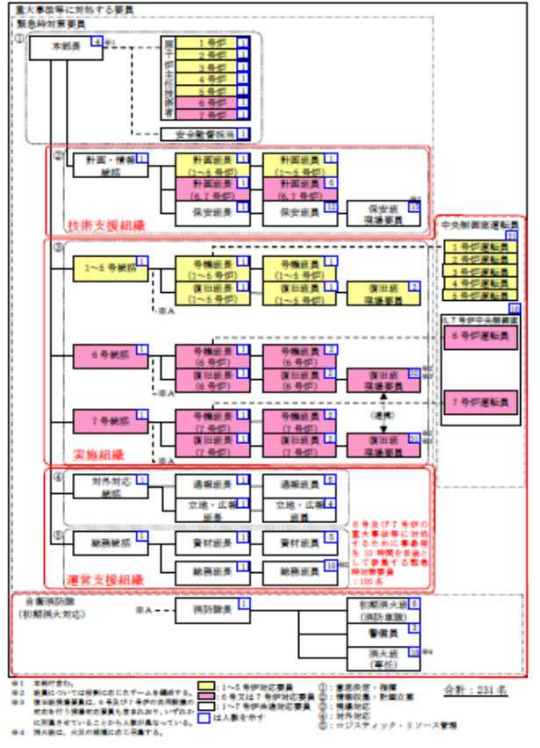
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																				
26	3.(1)	1.0.10-12	自治体・緊急事態応急対策等拠点施設(以下「オフサイトセンター」という。)への情報提供, 自治体・オフサイトセンター	自治体・防災センターへの情報提供, 自治体・防災センター	⑤																																																				
27	3.(1)	1.0.10-12	通信連絡設備について	通信手段について	⑤																																																				
28	3.(1)	1.0.10-13	発電所において、警戒事象が発生した場合、発電所長はただちに原子力警戒態勢を、特定事象又は原災法第15条第1項に該当する事象が発生した場合、発電所長はただちに緊急時態勢を発令するとともに本社原子力運営管理部長へ報告する。	発電所において、重大事故等の原子力災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合、所長はただちに緊急時態勢等を発令するとともに本社原子力運営管理部長へ報告する。	⑤																																																				
29	3.(1)	1.0.10-13	原子力警戒態勢又は緊急時態勢	緊急時態勢	⑤																																																				
30	3.(1)	1.0.10-13	原子力警戒態勢又は緊急時態勢を発令した場合、速やかに	緊急時態勢を発令した場合、すみやかに	⑤																																																				
31	3.(3)	1.0.10-14	重大事故等時に現場操作対応等を実施する人員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や設備の補修に必要な予備品等の供給及び人員の派遣等について、協議及び合意の上、支援計画を定め、「柏崎刈羽原子力発電所における原子力防災組織の発足時の事態收拾活動への協力」に係る協定を締結し、重大事故等時に必要な支援が受けられる体制を整備している。	重大事故等発生後に現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や設備の補修に必要な予備品等の供給及び要員の派遣等について、協議・合意の上、「柏崎刈羽原子力発電所における原子力防災組織の発足時の事態收拾活動への協力」に係る覚書等を締結し、重大事故等発生後に必要な支援が受けられる体制を整備している。	⑤																																																				
32	—	1.0.10-16	<p>第2表 本部長不在時の代行順位</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>代行順位</th> <th>役職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>原子力安全センター所長</td></tr> <tr><td>2</td><td>ユニット所長(5~7号炉)</td></tr> <tr><td>3</td><td>ユニット所長(1~4号炉)</td></tr> <tr><td>4</td><td>副所長(技術系所員)</td></tr> <tr><td>5</td><td>防災安全部長</td></tr> <tr><td>6</td><td>第二運転管理部長</td></tr> <tr><td>7</td><td>第二保全部長</td></tr> <tr><td>8</td><td>第一運転管理部長</td></tr> <tr><td>9</td><td>第一保全部長</td></tr> <tr><td>10</td><td>第二運転管理部運転管理担当</td></tr> <tr><td>11</td><td>第二保全部保全担当</td></tr> <tr><td>12</td><td>第一運転管理部運転管理担当</td></tr> <tr><td>13</td><td>第一保全部保全担当</td></tr> </tbody> </table> <p>※：役職については、組織見直し等により変更される場合がある。</p>	代行順位	役職	1	原子力安全センター所長	2	ユニット所長(5~7号炉)	3	ユニット所長(1~4号炉)	4	副所長(技術系所員)	5	防災安全部長	6	第二運転管理部長	7	第二保全部長	8	第一運転管理部長	9	第一保全部長	10	第二運転管理部運転管理担当	11	第二保全部保全担当	12	第一運転管理部運転管理担当	13	第一保全部保全担当	<p>表2 所長(原子力防災管理者)不在時の代行順位</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>代行順位</th> <th>役職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>原子力安全センター所長</td></tr> <tr><td>2</td><td>ユニット所長(2名)</td></tr> <tr><td>3</td><td>副所長(3名)</td></tr> <tr><td>4</td><td>防災安全部長</td></tr> <tr><td>5</td><td>安全総括部長</td></tr> <tr><td>6</td><td>放射線安全部長</td></tr> <tr><td>7</td><td>運転管理部長(2名)</td></tr> <tr><td>8</td><td>保全部長(2名)</td></tr> <tr><td>9</td><td>総務部長</td></tr> <tr><td>10</td><td>原子力計画部長</td></tr> <tr><td>11</td><td>防災安全グループマネージャー</td></tr> </tbody> </table>	代行順位	役職	1	原子力安全センター所長	2	ユニット所長(2名)	3	副所長(3名)	4	防災安全部長	5	安全総括部長	6	放射線安全部長	7	運転管理部長(2名)	8	保全部長(2名)	9	総務部長	10	原子力計画部長	11	防災安全グループマネージャー	②(K5TSC設計進捗)
代行順位	役職																																																								
1	原子力安全センター所長																																																								
2	ユニット所長(5~7号炉)																																																								
3	ユニット所長(1~4号炉)																																																								
4	副所長(技術系所員)																																																								
5	防災安全部長																																																								
6	第二運転管理部長																																																								
7	第二保全部長																																																								
8	第一運転管理部長																																																								
9	第一保全部長																																																								
10	第二運転管理部運転管理担当																																																								
11	第二保全部保全担当																																																								
12	第一運転管理部運転管理担当																																																								
13	第一保全部保全担当																																																								
代行順位	役職																																																								
1	原子力安全センター所長																																																								
2	ユニット所長(2名)																																																								
3	副所長(3名)																																																								
4	防災安全部長																																																								
5	安全総括部長																																																								
6	放射線安全部長																																																								
7	運転管理部長(2名)																																																								
8	保全部長(2名)																																																								
9	総務部長																																																								
10	原子力計画部長																																																								
11	防災安全グループマネージャー																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
33	—	1.0.10-17	 <p>第1図 柏崎刈羽原子力発電所 原子力防災組織 体制図 (第2次緊急時態勢・参集要員召集後(6号及び7号炉とも運転中の場合))</p>	 <p>図1 柏崎刈羽原子力発電所 原子力防災組織 体制図 (第2次緊急時態勢・参集要員召集後(6号及び7号炉共運転中の場合))</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
34	—	1.0.10-18	<p>第2図 柏崎刈羽原子力発電所 原子力防災組織 体制図 (夜間及び休日(6号及び7号炉とも運転中の場合))</p>	<p>図2 柏崎刈羽原子力発電所 原子力防災組織 体制図 (夜間及び休日(6号及び7号炉共運転中の場合))</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
35	—	1.0.10-19	<p>第3図 柏崎刈羽原子力発電所 原子力防災組織 体制図 (ブルーム通過時)</p>	<p>図3 柏崎刈羽原子力発電所 原子力防災組織 体制図 (ブルーム通過時(6号及び7号炉共運転中の場合))</p>	②(K5TSC設計進捗)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
36	—	1.0.10-23	<p>※ 原子力警戒事態発令の場合、「発電所対策本部」は「発電所警戒本部」に読み替える。</p> <p>第7図 発電所における態勢発令と緊急時対策要員の非常召集</p>	<p>※原子力警戒事態発令の場合、「発電所対策本部」は「発電所警戒本部」に読み替える。</p> <p>図7 発電所における態勢発令と緊急時対策要員の非常召集</p>	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
37	—	1.0.10-25	<p>第9図 重大事故等発生からの緊急時対策要員の動き(6号及び7号炉対応要員)</p>	<p>図8 重大事故等発生からの緊急時対策要員の動き(6, 7号炉対応要員)</p>	<p>②(K5TSC設計進捗)</p>





まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
39	—	1.0.10-27	<p>第11図 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)における各機能班, 本社緊急時対策本部との情報共有イメージ</p>	<p>図11 免震重要棟緊急時対策所2階対策本部内における各機能班, 本社対策本部との情報共有イメージ</p>	②(免震重要棟の自主化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
40	—	1.0.10-30	<p>※ 原子力警戒事態発令の場合、「本社対策本部」は「本社警戒本部」に読み替える。</p> <p>第14図 本社における態勢発令と緊急時対策要員の非常召集</p>	<p>※原子力警戒事態発令の場合、「本社対策本部」は「本社警戒本部」に読み替える。</p> <p>図14 本社における態勢発令と緊急時対策要員の非常召集</p>	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

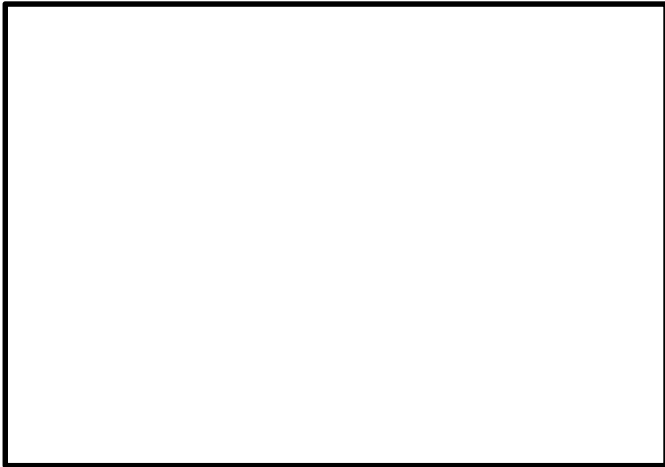

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
47	別紙3	1.0.10-54	<p>第2図 6号及び7号炉同時火災(内部火災)発生時の初期消火体制</p>	<p>図2 6号及び7号炉同時火災(内部火災)発生時の初期消火体制</p>	⑤
48	別紙3	1.0.10-57	<p>第7図 緊急時における敷地内の同時火災発生時の初期消火体制</p>	<p>図7 緊急時における敷地内の同時火災発生時の初期消火体制</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
49	別紙4	1.0.10-58	<p>平日勤務時間帯における緊急時対策所で初動態勢時に対応する要員(本部要員, 現場要員)は, 平日勤務時間における対応者(執務できない場合の交替者を含む)を明確にした上で, 5号炉定検事務室又はその近傍, 及び第二企業センター又はその近傍で分散して執務しており, 召集連絡を受けた場合は, 速やかに5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に集合する。</p> <p>・夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)中における緊急時対策所で初動態勢時に対応する要員(本部要員, 現場要員)は, 夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)中における対応者を明確にした上で, 5号炉定検事務室又はその近傍, 及び第二企業センター又はその近傍で分散して執務及び宿泊しており, 召集連絡を受けた場合は, 速やかに5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に集合する。</p>	<p>平日勤務時間中においては, 緊急時対策要員のほとんどは事務本館で執務しており, 召集連絡を受けた場合は, すみやかに免震重要棟内緊急時対策所に集合する。</p> <p>・夜間及び休日は, 初動対応要員(本部要員, 現場要員)が事務本館等での執務若しくは免震重要棟に隣接した建物に宿泊しており, 召集連絡を受けた場合は, すみやかに徒歩で免震重要棟内緊急時対策所に集合する。</p> <p>・震度6弱以上の地震発生後, 初動対応要員が免震重要棟に参集の後, 免震重要棟内緊急時対策所の健全性(居住性確保, 通信連絡機能等)が確認できない場合は, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所へ移動する。</p>	②(K5TSC設計進捗)
50	別紙4	1.0.10-58	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。</p>  <p>第1図 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所, 5号炉定検事務室, 第二企業センターの位置関係</p>	<p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。</p>  <p>図1 事務本館, 緊急時対策所等の位置関係</p>	②(K5TSC設計進捗)



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																									
51	別紙5	1.0.10-59	削除	<p>1. 免震重要棟内緊急時対策所</p> <p>○通信連絡設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>容量<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">発電所内外</td> <td>固定電話機</td> <td>18台</td> </tr> <tr> <td>電力保安通信用電話設備<sup>※1</sup></td> <td>PHS端末 30台 FAX 1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">衛星電話設備</td> <td>常設</td> <td>12台</td> </tr> <tr> <td>可搬型</td> <td>19台</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">発電所内</td> <td>送受話器 (ペーシング)</td> <td>ハンドセット 1台 スピーカー 1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線連絡設備</td> <td>常設</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>可搬型</td> <td>102台</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">発電所外</td> <td rowspan="4">統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>I P - 電話機 (有線系)</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>I P - 電話機 (衛星系)</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>I P - F A X (有線系)</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>I P - F A X (衛星系)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (有線系・衛星系・共用)</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>無線加入電話設備</td> <td>加入電話機 2台 加入FAX 3台</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム</td> <td>電力保安通信用電話設備接続 79回線 テレビ会議システム (社内内) 1式</td> </tr> <tr> <td>専用電話設備 (ホットライン) (自治体他内)</td> <td>7台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 無線加入電話設備に接続されており, 発電所外への連絡も可能 ※2: 予備を含む (今後, 数値等で見直しを行う)</p> <p>○必要な情報を把握できる設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>容量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電所内外</td> <td>緊急時対策支援システム伝送設備</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>発電所内</td> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p>○照明設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘッドライト</td> <td>約1,000個</td> <td>全所員に配布</td> </tr> <tr> <td>三脚ライト</td> <td>135個</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	通信種別	主要設備	容量 <sup>※2</sup>	発電所内外	固定電話機	18台	電力保安通信用電話設備 <sup>※1</sup>	PHS端末 30台 FAX 1台	衛星電話設備	常設	12台	可搬型	19台	発電所内	送受話器 (ペーシング)	ハンドセット 1台 スピーカー 1台	無線連絡設備	常設	9台	可搬型	102台	発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	I P - 電話機 (有線系)	4台	I P - 電話機 (衛星系)	2台	I P - F A X (有線系)	3台	I P - F A X (衛星系)	1台	テレビ会議システム (有線系・衛星系・共用)	1式	無線加入電話設備	加入電話機 2台 加入FAX 3台	テレビ会議システム	電力保安通信用電話設備接続 79回線 テレビ会議システム (社内内) 1式	専用電話設備 (ホットライン) (自治体他内)	7台	通信種別	主要設備	容量	発電所内外	緊急時対策支援システム伝送設備	1式	発電所内	安全パラメータ表示システム (SPDS)	1式	品名	数量	備考	ヘッドライト	約1,000個	全所員に配布	三脚ライト	135個		②(免震重要棟の自主化)
通信種別	主要設備	容量 <sup>※2</sup>																																																												
発電所内外	固定電話機	18台																																																												
	電力保安通信用電話設備 <sup>※1</sup>	PHS端末 30台 FAX 1台																																																												
	衛星電話設備	常設	12台																																																											
		可搬型	19台																																																											
発電所内	送受話器 (ペーシング)	ハンドセット 1台 スピーカー 1台																																																												
	無線連絡設備	常設	9台																																																											
		可搬型	102台																																																											
発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	I P - 電話機 (有線系)	4台																																																											
		I P - 電話機 (衛星系)	2台																																																											
		I P - F A X (有線系)	3台																																																											
		I P - F A X (衛星系)	1台																																																											
	テレビ会議システム (有線系・衛星系・共用)	1式																																																												
	無線加入電話設備	加入電話機 2台 加入FAX 3台																																																												
	テレビ会議システム	電力保安通信用電話設備接続 79回線 テレビ会議システム (社内内) 1式																																																												
専用電話設備 (ホットライン) (自治体他内)	7台																																																													
通信種別	主要設備	容量																																																												
発電所内外	緊急時対策支援システム伝送設備	1式																																																												
発電所内	安全パラメータ表示システム (SPDS)	1式																																																												
品名	数量	備考																																																												
ヘッドライト	約1,000個	全所員に配布																																																												
三脚ライト	135個																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																					
52	別紙5	1.0.10-59	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>○通信連絡設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>数量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">発電所内外</td> <td>衛星電話設備</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (可搬型)</td> <td>15台</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">発電所内</td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td>19台</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>送受話器</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>スピーカー</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線連絡設備</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (可搬型)</td> <td>90台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">携帯型音声呼出電話設備</td> <td>携帯型音声呼出電話機</td> <td>6台</td> </tr> <tr> <td>中継用ケーブルドラム</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">発電所外</td> <td>統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機 (有線系)</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機 (衛星系)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (有線系)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (衛星系)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>衛星社内電話機</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (社内向)</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (社内向)</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>専用電話設備</td> <td>専用電話設備 (自治体他向)</td> <td>7台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 予備を含む (今後, 訓練等で見直しを行う)</p> <p>○必要な情報を把握できる設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">発電所内外</td> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>データ伝送設備</td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p>○可搬型照明設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘッドライト</td> <td>100個</td> </tr> <tr> <td>ランタンタイプLEDライト</td> <td>60個</td> </tr> </tbody> </table>	通信種別	主要設備	数量 <sup>※1</sup>	発電所内外	衛星電話設備	9台	衛星電話設備 (可搬型)	15台	発電所内	電力保安通信用電話設備	19台	FAX	2台	送受話器	2台	スピーカー	2台	無線連絡設備	無線連絡設備 (常設)	4台	無線連絡設備 (可搬型)	90台	携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	6台	中継用ケーブルドラム	2台	発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	1式	テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)	4台	IP-電話機 (有線系)	2台	IP-電話機 (衛星系)	1台	IP-FAX (有線系)	1台	IP-FAX (衛星系)	1台	衛星社内電話機	4台	テレビ会議システム (社内向)	1式	テレビ会議システム (社内向)	1式	専用電話設備	専用電話設備 (自治体他向)	7台	通信種別	主要設備	数量	発電所内外	安全パラメータ表示システム (SPDS)	1式	データ伝送設備	1式	品名	数量	ヘッドライト	100個	ランタンタイプLEDライト	60個	<p>2. 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</p> <p>○通信連絡設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>容量<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">発電所内外</td> <td>固定電話機</td> <td>15台</td> </tr> <tr> <td>電力保安通信用電話設備<sup>※1</sup></td> <td>30台</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">衛星電話設備</td> <td>常設</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>可搬型</td> <td>15台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発電所内</td> <td>送受話器</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>スピーカー</td> <td>7台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線連絡設備</td> <td>常設</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>可搬型</td> <td>78台</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">発電所外</td> <td>IP-電話機 (有線系)</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機 (衛星系)</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (有線系)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (衛星系)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (有線系・衛星系 共用)</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>加入電話設備</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>加入FAX</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (社内向)</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>専用電話設備 (ホットライン) (自治体他向)</td> <td>7台</td> </tr> <tr> <td>衛星社内電話機</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>FAX (社内向)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (社内向)</td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 局線加入電話設備に接続されており, 発電所外への連絡も可能 ※2: 予備を含む (今後, 訓練等で見直しを行う)</p> <p>○必要な情報を把握できる設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>容量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電所内外</td> <td>緊急時対策支援システム伝送装置</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>発電所内</td> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p>○照明設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘッドライト</td> <td>約1,000個</td> <td>全所員に配布</td> </tr> <tr> <td>LEDランタン</td> <td>40個</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	通信種別	主要設備	容量 <sup>※2</sup>	発電所内外	固定電話機	15台	電力保安通信用電話設備 <sup>※1</sup>	30台	FAX	1台	FAX	1台	衛星電話設備	常設	9台	可搬型	15台	発電所内	送受話器	3台	スピーカー	7台	無線連絡設備	常設	4台	可搬型	78台	発電所外	IP-電話機 (有線系)	4台	IP-電話機 (衛星系)	2台	IP-FAX (有線系)	1台	IP-FAX (衛星系)	1台	テレビ会議システム (有線系・衛星系 共用)	1式	加入電話設備	1台	加入FAX	1台	テレビ会議システム (社内向)	1式	専用電話設備 (ホットライン) (自治体他向)	7台	衛星社内電話機	2台	FAX (社内向)	1台	テレビ会議システム (社内向)	1式	通信種別	主要設備	容量	発電所内外	緊急時対策支援システム伝送装置	1式	発電所内	安全パラメータ表示システム (SPDS)	1式	品名	数量	備考	ヘッドライト	約1,000個	全所員に配布	LEDランタン	40個		②(K5TSC設計進捗)
通信種別	主要設備	数量 <sup>※1</sup>																																																																																																																																								
発電所内外	衛星電話設備	9台																																																																																																																																								
	衛星電話設備 (可搬型)	15台																																																																																																																																								
発電所内	電力保安通信用電話設備	19台																																																																																																																																								
	FAX	2台																																																																																																																																								
	送受話器	2台																																																																																																																																								
	スピーカー	2台																																																																																																																																								
無線連絡設備	無線連絡設備 (常設)	4台																																																																																																																																								
	無線連絡設備 (可搬型)	90台																																																																																																																																								
携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	6台																																																																																																																																								
	中継用ケーブルドラム	2台																																																																																																																																								
発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	1式																																																																																																																																								
	テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)	4台																																																																																																																																								
	IP-電話機 (有線系)	2台																																																																																																																																								
	IP-電話機 (衛星系)	1台																																																																																																																																								
	IP-FAX (有線系)	1台																																																																																																																																								
	IP-FAX (衛星系)	1台																																																																																																																																								
	衛星社内電話機	4台																																																																																																																																								
テレビ会議システム (社内向)	1式																																																																																																																																									
テレビ会議システム (社内向)	1式																																																																																																																																									
専用電話設備	専用電話設備 (自治体他向)	7台																																																																																																																																								
通信種別	主要設備	数量																																																																																																																																								
発電所内外	安全パラメータ表示システム (SPDS)	1式																																																																																																																																								
	データ伝送設備	1式																																																																																																																																								
品名	数量																																																																																																																																									
ヘッドライト	100個																																																																																																																																									
ランタンタイプLEDライト	60個																																																																																																																																									
通信種別	主要設備	容量 <sup>※2</sup>																																																																																																																																								
発電所内外	固定電話機	15台																																																																																																																																								
	電力保安通信用電話設備 <sup>※1</sup>	30台																																																																																																																																								
	FAX	1台																																																																																																																																								
	FAX	1台																																																																																																																																								
衛星電話設備	常設	9台																																																																																																																																								
	可搬型	15台																																																																																																																																								
発電所内	送受話器	3台																																																																																																																																								
	スピーカー	7台																																																																																																																																								
無線連絡設備	常設	4台																																																																																																																																								
	可搬型	78台																																																																																																																																								
発電所外	IP-電話機 (有線系)	4台																																																																																																																																								
	IP-電話機 (衛星系)	2台																																																																																																																																								
	IP-FAX (有線系)	1台																																																																																																																																								
	IP-FAX (衛星系)	1台																																																																																																																																								
	テレビ会議システム (有線系・衛星系 共用)	1式																																																																																																																																								
	加入電話設備	1台																																																																																																																																								
	加入FAX	1台																																																																																																																																								
	テレビ会議システム (社内向)	1式																																																																																																																																								
	専用電話設備 (ホットライン) (自治体他向)	7台																																																																																																																																								
	衛星社内電話機	2台																																																																																																																																								
FAX (社内向)	1台																																																																																																																																									
テレビ会議システム (社内向)	1式																																																																																																																																									
通信種別	主要設備	容量																																																																																																																																								
発電所内外	緊急時対策支援システム伝送装置	1式																																																																																																																																								
発電所内	安全パラメータ表示システム (SPDS)	1式																																																																																																																																								
品名	数量	備考																																																																																																																																								
ヘッドライト	約1,000個	全所員に配布																																																																																																																																								
LEDランタン	40個																																																																																																																																									
53	別紙8	1.0.10-63	<p>集合した要員は, 緊急時対策本部と非常召集に係る以下の確認, 調整を行い, 通信連絡設備, 懐中電灯等を持参し, 発電所と連絡を取りながら集団で移動する。</p>	<p>参集した要員は, 発電所対策本部と非常召集に係る以下の確認, 調整を行い, 集団で発電所に移動する。</p>	⑤																																																																																																																																					
54	別紙8	1.0.10-63	<p>柏崎エネルギーホール, 刈羽寮には通信連絡設備として衛星電話設備(可搬型)を各10台配備する。</p>	—	⑤																																																																																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

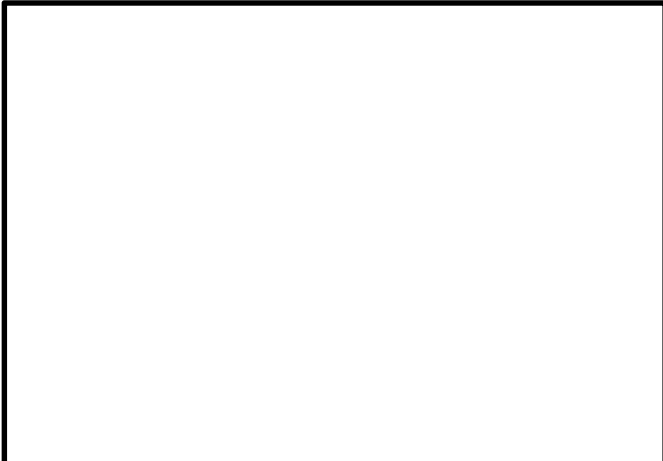

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
55	別紙8	1.0.10-63	①発電所の状況(発電所への移動が可能なプラント状況かどうか(格納容器ベントの実施見通し)、発電所に行くための必要な装備(放射線防護服、マスク、線量計を含む)) ②その他発電所で得られた情報(発電所への移動に関する道路状況等、移動する上で有益な情報) ③発電所へ移動する人の情報(人数、体調、移動手段(徒歩、車両)、連絡先)	①発電所の状況、召集人数、必要な装備(放射線防護服、マスク、線量計を含む) ②召集した要員の確認(人数、体調等) ③持参品(通信連絡設備、懐中電灯等) ④天候、災害情報(道路状況含む)等 ⑤参集場所(免震重要棟内緊急時対策所、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	⑤																
56	別紙8	1.0.10-63	発電用原子炉主任技術者は通信連絡手段により、必要の都度、発電所の連絡責任者と連絡をとり、発電用原子炉施設の運転に関し、保安上の指示を行う。	—	②(原子炉主任技術者の役割の明確化)																
57	別紙8	1.0.10-64	柏崎刈羽原子力発電所から半径10km圏内(第2図)に位置しており、社員寮についても半径10km圏内に設置されている。	柏崎市街地、刈羽村の大半は柏崎刈羽原子力発電所から半径10km圏内(上記図2)であり、	⑤																
58	別紙8	1.0.10-64	第1表 居住地別の発電所員数(平成29年4月時点) <table border="1" data-bbox="445 727 1084 817"> <thead> <tr> <th>居住地</th> <th>柏崎市</th> <th>刈羽村</th> <th>その他地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居住者数</td> <td>820名 (73%)</td> <td>81名 (7%)</td> <td>223名 (20%)</td> </tr> </tbody> </table>	居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域	居住者数	820名 (73%)	81名 (7%)	223名 (20%)	表1 居住地別の発電所員数(平成28年12月時点) <table border="1" data-bbox="1225 727 1852 817"> <thead> <tr> <th>居住地</th> <th>柏崎市</th> <th>刈羽村</th> <th>その他地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居住者数</td> <td>804名 (69%)</td> <td>85名 (7%)</td> <td>270名 (23%)</td> </tr> </tbody> </table>	居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域	居住者数	804名 (69%)	85名 (7%)	270名 (23%)	⑤
居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域																		
居住者数	820名 (73%)	81名 (7%)	223名 (20%)																		
居住地	柏崎市	刈羽村	その他地域																		
居住者数	804名 (69%)	85名 (7%)	270名 (23%)																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
59	別紙8	1.0.10-67	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     特開みの内容は機密事項に属しますので公開できません。                 </div>  <p style="text-align: center;">第4図 発電所構内への参集ルート</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     特開みの内容は機密事項に属しますので公開できません。                 </div>  <p style="text-align: center;">図4 発電所構内への参集ルート</p>	②(K5TSC設計進捗)
60	別紙8	1.0.10-68	<p>(1) 要員の想定参集時間 第1表及び第2図に示すとおり, 要員の大多数は発電所から半径10km圏内に居住していることから, 仮に発電所から10km地点に所在する要員が, 夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において直接徒歩移動で参集する場合であっても, 参集時間は約3時間30分と考えられる。また, 大地震等が発生している状況では要員の自宅が被災する可能性もあるため, 出発までの準備時間が約1時間必要であると仮定した場合であっても, 発電所への参集時間は約4時間30分と考えられる。 さらに, 要員集合場所(柏崎エネルギーホール又は刈羽寮)に立寄り, 情報収集を行った上で参集することから, 集合場所に立寄るために遠回りする時間を1時間, 情報収集する場合の時間を30分必要であると仮定した場合であっても, 発電所から10kmに所在する要員は, 約6時間で発電所に参集可能であると考えられる。</p>	—	⑤
61	別紙8	1.0.10-68	(2) 要員参集調査	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
62	別紙8	1.0.10-71	<p>(3) 参集要員の確保 (1)要員の想定参集時間及び(2)要員参集調査から、夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)かつ、参集手段が徒歩移動のみを想定した場合であっても、発電所構外の緊急時対策要員は事象発生から約6時間で発電所に参集可能と考えられること、また、年末年始やゴールデンウィーク等の大型連休に重大事故等が発生した場合であっても、5時間30分以内に参集可能な緊急時対策要員は350名以上と考えられることから、事象発生から10時間以内に外部から発電所へ参集する6号及び7号炉の対応を行うために必要な緊急時対策要員※(106名(1~7号炉の対応を行う必要な要員は合計114名))は確保可能であることを確認した。</p> <p>また、事象発生から10時間以内の重大事故等時の対応においては、発電所内に常時確保する44名の緊急時対策要員により対応が可能であるが、早期に班長以下の要員数が約2倍となれば、より迅速・多様な重大事故等への対応が可能と考えられる。このため、徒歩参集、要員自身の被災、過酷な天候、道路の被害等を考慮し、事象発生から約6時間を目処に、外部から発電所に参集する40名の緊急時対策要員※を確保する。</p> <p>※ 要員数については、今後の訓練等の結果により人数を見直す可能性がある。</p>	—	⑤
63	補足1	1.0.10-72	12のシナリオが該当し、参集要員で対応する現場作業は以下の4つが該当	7つのシナリオが該当し、参集要員で対応する現場作業は以下の2つが該当	⑤
64	補足1	1.0.10-72	<p>・格納容器ベント準備操作(フィルタ装置水位調整準備(排水ポンプ水張り))</p> <p>・格納容器ベント操作(フィルタ装置水位調整, フィルタ装置pH測定, フィルタ薬液補給)</p>	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																											
65	補足1	1.0.10-73	<p>第1表 有効性評価シナリオと要員参集の整合性確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">有効性評価シナリオ</th> <th rowspan="2">参集要員に期待する作業</th> <th rowspan="2">要員参集のトリガーとなる有効性シナリオの時間と緊急時活動レベル (EAL) の事象</th> <th colspan="2">有効性評価上の時間</th> </tr> <tr> <th>事象発生～EAL発出</th> <th>参集要員による作業開始までの時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+非常用ディーゼル発電機喪失)</td> <td>代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)</td> <td rowspan="15">外部電源喪失による原子炉への給水機能の喪失 →EAL AL22 (原子炉給水機能の喪失) **</td> <td rowspan="15">0分 (同タイミング)</td> <td>事象発生から10時間後</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (同上) + 原子炉隔離時冷却系調整喪失</td> <td>代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)</td> <td>事象発生から16時間後</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (同上) + 直流電源喪失</td> <td>代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)</td> <td>事象発生から16時間後</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (同上) + 主蒸気送がし安全弁再閉失敗</td> <td>格納容器ベント操作 (10名/号炉)</td> <td>事象発生から18時間後</td> </tr> <tr> <td>格納熱除去機能喪失 (取水機能喪失した場合)</td> <td>代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)</td> <td>事象発生から10時間後</td> </tr> <tr> <td>冷却材喪失事故時給水機能喪失</td> <td>格納容器ベント操作 (10名/号炉)</td> <td>事象発生から13時間後</td> </tr> <tr> <td>格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)</td> <td>格納容器ベント操作 (10名/号炉)</td> <td>事象発生から22時間後</td> </tr> <tr> <td>高圧・低圧給水機能喪失</td> <td>格納容器ベント操作 (10名/号炉)</td> <td>事象発生から38時間後</td> </tr> <tr> <td>高圧源動力放出/格納容器雰囲気直接加熱</td> <td>代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)</td> <td>事象発生から10時間後</td> </tr> <tr> <td>蒸気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) (代替循環冷却を使用する場合)</td> <td>可搬型代替給水系調整操作 (5名/号炉)</td> <td>事象発生から16時間後</td> </tr> <tr> <td>蒸気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) (格納容器ベントを実施する場合)</td> <td>格納容器ベント調整操作 (2名/号炉)</td> <td>事象発生から36時間後</td> </tr> <tr> <td>格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)</td> <td>格納容器ベント操作 (8名/号炉)</td> <td>事象発生から38時間後</td> </tr> <tr> <td>停止中の全交流動力電源喪失</td> <td>代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)</td> <td>全交流動力電源喪失 15分経過 →EAL AL25 (全交流電源の15分以上喪失) **</td> <td>事象発生から10時間後</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 添付資料 1.0.10 (重大事故等時の体制) 第1表「態勢の区分と緊急時活動レベル (EAL)」参照</p>	有効性評価シナリオ	参集要員に期待する作業	要員参集のトリガーとなる有効性シナリオの時間と緊急時活動レベル (EAL) の事象	有効性評価上の時間		事象発生～EAL発出	参集要員による作業開始までの時間	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+非常用ディーゼル発電機喪失)	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)	外部電源喪失による原子炉への給水機能の喪失 →EAL AL22 (原子炉給水機能の喪失) **	0分 (同タイミング)	事象発生から10時間後	全交流動力電源喪失 (同上) + 原子炉隔離時冷却系調整喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)	事象発生から16時間後	全交流動力電源喪失 (同上) + 直流電源喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)	事象発生から16時間後	全交流動力電源喪失 (同上) + 主蒸気送がし安全弁再閉失敗	格納容器ベント操作 (10名/号炉)	事象発生から18時間後	格納熱除去機能喪失 (取水機能喪失した場合)	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)	事象発生から10時間後	冷却材喪失事故時給水機能喪失	格納容器ベント操作 (10名/号炉)	事象発生から13時間後	格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)	格納容器ベント操作 (10名/号炉)	事象発生から22時間後	高圧・低圧給水機能喪失	格納容器ベント操作 (10名/号炉)	事象発生から38時間後	高圧源動力放出/格納容器雰囲気直接加熱	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)	事象発生から10時間後	蒸気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) (代替循環冷却を使用する場合)	可搬型代替給水系調整操作 (5名/号炉)	事象発生から16時間後	蒸気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) (格納容器ベントを実施する場合)	格納容器ベント調整操作 (2名/号炉)	事象発生から36時間後	格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)	格納容器ベント操作 (8名/号炉)	事象発生から38時間後	停止中の全交流動力電源喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)	全交流動力電源喪失 15分経過 →EAL AL25 (全交流電源の15分以上喪失) **	事象発生から10時間後	<p>表1 有効性評価シナリオと要員参集の整合性確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">有効性評価シナリオ</th> <th rowspan="2">参集要員に期待する作業</th> <th rowspan="2">要員参集のトリガーとなる有効性シナリオの時間と緊急時活動レベル (EAL) の事象</th> <th colspan="2">有効性評価上の時間</th> </tr> <tr> <th>事象発生～EAL発出</th> <th>参集要員による作業開始までの時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+非常用ディーゼル発電機喪失)</td> <td rowspan="6">代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)</td> <td rowspan="6">外部電源喪失による原子炉への給水機能の喪失 →EAL AL22 (原子炉給水機能の喪失) **</td> <td rowspan="6">0分 (同タイミング)</td> <td>事象発生から10時間後</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (同上) + 原子炉隔離時冷却系調整喪失</td> <td>事象発生から16時間後</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (同上) + 直流電源喪失</td> <td>事象発生から16時間後</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (同上) + 主蒸気送がし安全弁再閉失敗</td> <td>事象発生から18時間後</td> </tr> <tr> <td>格納熱除去機能喪失 (取水機能喪失)</td> <td>事象発生から10時間後</td> </tr> <tr> <td>格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)</td> <td>事象発生から12時間後</td> </tr> <tr> <td>停止中の全交流動力電源喪失</td> <td>代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)</td> <td>全交流電源喪失 15分経過 →EAL AL25 (全交流電源の15分以上喪失) **</td> <td>事象発生から10時間後</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 有効性評価上考慮しない作業 ※2 添付資料 1.0.10 (重大事故等発生時の体制) 図1 態勢の区分と緊急時活動レベル (EAL) 参照</p>	有効性評価シナリオ	参集要員に期待する作業	要員参集のトリガーとなる有効性シナリオの時間と緊急時活動レベル (EAL) の事象	有効性評価上の時間		事象発生～EAL発出	参集要員による作業開始までの時間	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+非常用ディーゼル発電機喪失)	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)	外部電源喪失による原子炉への給水機能の喪失 →EAL AL22 (原子炉給水機能の喪失) **	0分 (同タイミング)	事象発生から10時間後	全交流動力電源喪失 (同上) + 原子炉隔離時冷却系調整喪失	事象発生から16時間後	全交流動力電源喪失 (同上) + 直流電源喪失	事象発生から16時間後	全交流動力電源喪失 (同上) + 主蒸気送がし安全弁再閉失敗	事象発生から18時間後	格納熱除去機能喪失 (取水機能喪失)	事象発生から10時間後	格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)	事象発生から12時間後	停止中の全交流動力電源喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)	全交流電源喪失 15分経過 →EAL AL25 (全交流電源の15分以上喪失) **	事象発生から10時間後	⑤
有効性評価シナリオ	参集要員に期待する作業	要員参集のトリガーとなる有効性シナリオの時間と緊急時活動レベル (EAL) の事象	有効性評価上の時間																																																																													
			事象発生～EAL発出	参集要員による作業開始までの時間																																																																												
全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+非常用ディーゼル発電機喪失)	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)	外部電源喪失による原子炉への給水機能の喪失 →EAL AL22 (原子炉給水機能の喪失) **	0分 (同タイミング)	事象発生から10時間後																																																																												
全交流動力電源喪失 (同上) + 原子炉隔離時冷却系調整喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)			事象発生から16時間後																																																																												
全交流動力電源喪失 (同上) + 直流電源喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉) 格納容器ベント操作 (10名/号炉)			事象発生から16時間後																																																																												
全交流動力電源喪失 (同上) + 主蒸気送がし安全弁再閉失敗	格納容器ベント操作 (10名/号炉)			事象発生から18時間後																																																																												
格納熱除去機能喪失 (取水機能喪失した場合)	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)			事象発生から10時間後																																																																												
冷却材喪失事故時給水機能喪失	格納容器ベント操作 (10名/号炉)			事象発生から13時間後																																																																												
格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)	格納容器ベント操作 (10名/号炉)			事象発生から22時間後																																																																												
高圧・低圧給水機能喪失	格納容器ベント操作 (10名/号炉)			事象発生から38時間後																																																																												
高圧源動力放出/格納容器雰囲気直接加熱	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)			事象発生から10時間後																																																																												
蒸気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) (代替循環冷却を使用する場合)	可搬型代替給水系調整操作 (5名/号炉)			事象発生から16時間後																																																																												
蒸気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破壊) (格納容器ベントを実施する場合)	格納容器ベント調整操作 (2名/号炉)			事象発生から36時間後																																																																												
格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)	格納容器ベント操作 (8名/号炉)			事象発生から38時間後																																																																												
停止中の全交流動力電源喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)			全交流動力電源喪失 15分経過 →EAL AL25 (全交流電源の15分以上喪失) **	事象発生から10時間後																																																																											
有効性評価シナリオ	参集要員に期待する作業			要員参集のトリガーとなる有効性シナリオの時間と緊急時活動レベル (EAL) の事象	有効性評価上の時間																																																																											
					事象発生～EAL発出	参集要員による作業開始までの時間																																																																										
全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+非常用ディーゼル発電機喪失)	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)	外部電源喪失による原子炉への給水機能の喪失 →EAL AL22 (原子炉給水機能の喪失) **	0分 (同タイミング)	事象発生から10時間後																																																																												
全交流動力電源喪失 (同上) + 原子炉隔離時冷却系調整喪失				事象発生から16時間後																																																																												
全交流動力電源喪失 (同上) + 直流電源喪失				事象発生から16時間後																																																																												
全交流動力電源喪失 (同上) + 主蒸気送がし安全弁再閉失敗				事象発生から18時間後																																																																												
格納熱除去機能喪失 (取水機能喪失)				事象発生から10時間後																																																																												
格納熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)				事象発生から12時間後																																																																												
停止中の全交流動力電源喪失	代替原子炉補機冷却系調整操作 (13名/号炉)	全交流電源喪失 15分経過 →EAL AL25 (全交流電源の15分以上喪失) **	事象発生から10時間後																																																																													



## まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.11 重大事故等時の発電用原子炉主任技術者の役割について

**【変更理由の類型化】**

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	2. (1) b.	1.0.11- 1	2. 発電用原子炉主任技術者の職務等 (中略) b. 保安規定に定める事項について, <b>原子力・立地本部長又は</b> 所長の承認に先立ち確認する。	2. 発電用原子炉主任技術者の職務等 (中略) b. 保安規定に定める事項について, 所長の承認に先立ち確認する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.12 福島第一原子力発電所の事故教訓を踏まえた対応について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由				
1	2.	1.0.12-1	なお、当社の「福島原子力事故調査報告書」や、「福島原子力事故の総括および原子力安全改革プラン」以外にも、	なお、当社の「社内事故調報告書(福島原子力事故調査報告書)」や、「福島原子力事故の総括および原子力安全改革プラン」以外にも、	⑤				
2	2.	1.0.12-1	平成25年度から、四半期ごとに原子力安全改革プランの進捗状況を取りまとめ公表している。 平成25年度分は平成25年7月26日, 11月1日, 平成26年2月3日, 5月1日公表。 平成26年度分は平成26年8月1日, 11月5日, 平成27年2月3日, 3月30日公表。 平成27年度分は平成27年8月11日, 11月20日, 平成28年2月9日, 5月30日公表。 平成28年度分は平成28年8月2日, 11月2日, 平成29年2月10日, 5月10日公表。	平成25年度より、四半期毎に原子力安全改革プランの進捗状況を取りまとめ公表している。 平成25年度分は平成25年7月26日, 平成25年11月1日, 平成26年2月3日, 平成26年5月1日に公表。 平成26年度分は平成26年8月1日, 平成26年11月5日, 平成27年2月3日, 平成27年3月30日に公表。 平成27年度分は平成27年8月11日に公表。	⑤				
3	2.(2)b.	1.0.12-3	総合訓練: 56回(平成25年1月(新しい組織導入)~平成29年3月末の累計) 個別訓練: 16,110回(平成29年3月末までの累計)(以降に記載する訓練を含む)	総合訓練: 33回(平成25年1月(新しい組織導入)~平成27年7月末の累計) 個別訓練: 約6,700回(平成27年7月末までの累計)(以下に記載した訓練を含む)	⑤				
4	2.(2)c.	1.0.12-4	訓練実績: 384回(ガスタービン発電機車), 580回(電源車)(平成29年3月末までの累計)	訓練実績: 193回(ガスタービン発電機車), 460回(電源車)(平成27年7月末までの累計)	⑤				
5	2.(2)c.	1.0.12-5	注水(放水)及びホース接続訓練を定期的実施している(訓練実績: 1,016回(平成29年3月末までの累計))。	注水(放水)及びホース接続訓練を定期的実施している(訓練実績: 545回(平成27年7月末までの累計))。	⑤				
6	2.(2)c.	1.0.12-5	重機によるがれき撤去訓練を定期的実施している(訓練実績: 4,428回(平成29年3月末までの累計))。	がれき撤去訓練を定期的実施している(訓練実績: 2,306回(平成27年7月末までの累計))。	⑤				
7	2.(2)c.	1.0.12-6	代替の除熱設備を配備し、プラント近接への車両設置、配管接続訓練を定期的実施している(訓練実績: 586回(平成29年3月末までの累計))。	代替の除熱設備を配備し、プラント近接への車両設置、配管接続訓練を定期的実施している(訓練実績: 289回(平成27年7月末までの累計))。	⑤				
8	2.(2)c.	1.0.12-6	可搬型重大事故等対処設備(電源車、可搬型代替注水ポンプ(消防車)等)の燃料を6号及び7号炉軽油タンク(2,040kL)から補給することとしており、	可搬型重大事故等対処設備(電源車、消防車等)の燃料として、高台に約15万リットルの軽油を貯蔵、	②(設計進捗による燃料補給先の変更)				
9	2.(2)c.	1.0.12-6	タンクローリーから可搬型重大事故等対処設備への給油訓練を定期的実施している(訓練実績: 581回(平成29年3月末までの累計))。	タンクローリーから可搬型重大事故等対処設備への給油訓練を定期的実施している(訓練実績: 393回(平成27年7月末までの累計))。	⑤				
10	2.(3)a. (第5-1表)	1.0.12-8	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     4 ○予断を許さない状況の中で通常の事故対応と同様に全員で対処し、要員ローテーションについては、要員の増強等に応じて、各班等の自主的な判断で行われていた。                      5 ○情報を伝送する機器や通信設備にも期待できない中で、プラント状態や安全上重要な設備の系統状態を正確に伝達することは非常に困難だった。                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ○緊急時対策要員を増強し、交替で対応できるようにする。                      ○本部長、統括、班長について、複数名の人員を配置することで、長期間に及んでも交替で対応することができ、常により最適な判断が下せるようにする。                      ○号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。                 </td> </tr> </table>	4 ○予断を許さない状況の中で通常の事故対応と同様に全員で対処し、要員ローテーションについては、要員の増強等に応じて、各班等の自主的な判断で行われていた。 5 ○情報を伝送する機器や通信設備にも期待できない中で、プラント状態や安全上重要な設備の系統状態を正確に伝達することは非常に困難だった。	○緊急時対策要員を増強し、交替で対応できるようにする。 ○本部長、統括、班長について、複数名の人員を配置することで、長期間に及んでも交替で対応することができ、常により最適な判断が下せるようにする。 ○号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     4 ○従来の体制は、長期間の対応に適したのではなく、人員を交替することができず、長期間の対応を極度の疲労の中で行わざるを得なかった。                      5 ○中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     ○緊急時対策要員を増強し、交替で対応できるようにする。                      ○本部長、統括、班長について、複数名の人員を配置することで、長期間に及んでも交替で対応することができ、常により最適な判断が下せるようにする。                      ○号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。                 </td> </tr> </table>	4 ○従来の体制は、長期間の対応に適したのではなく、人員を交替することができず、長期間の対応を極度の疲労の中で行わざるを得なかった。 5 ○中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。	○緊急時対策要員を増強し、交替で対応できるようにする。 ○本部長、統括、班長について、複数名の人員を配置することで、長期間に及んでも交替で対応することができ、常により最適な判断が下せるようにする。 ○号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。	⑤
4 ○予断を許さない状況の中で通常の事故対応と同様に全員で対処し、要員ローテーションについては、要員の増強等に応じて、各班等の自主的な判断で行われていた。 5 ○情報を伝送する機器や通信設備にも期待できない中で、プラント状態や安全上重要な設備の系統状態を正確に伝達することは非常に困難だった。	○緊急時対策要員を増強し、交替で対応できるようにする。 ○本部長、統括、班長について、複数名の人員を配置することで、長期間に及んでも交替で対応することができ、常により最適な判断が下せるようにする。 ○号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。								
4 ○従来の体制は、長期間の対応に適したのではなく、人員を交替することができず、長期間の対応を極度の疲労の中で行わざるを得なかった。 5 ○中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。	○緊急時対策要員を増強し、交替で対応できるようにする。 ○本部長、統括、班長について、複数名の人員を配置することで、長期間に及んでも交替で対応することができ、常により最適な判断が下せるようにする。 ○号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

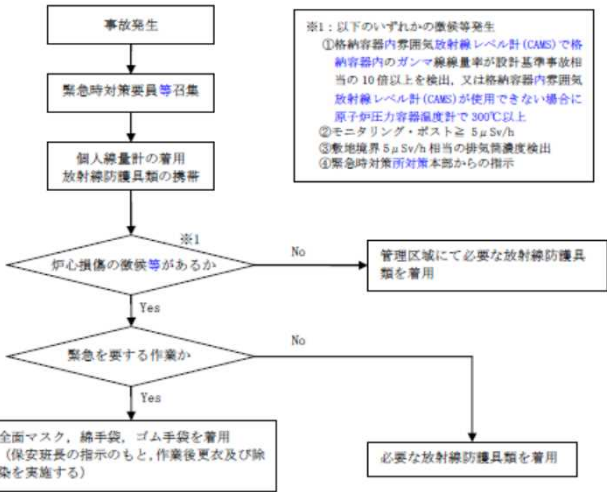
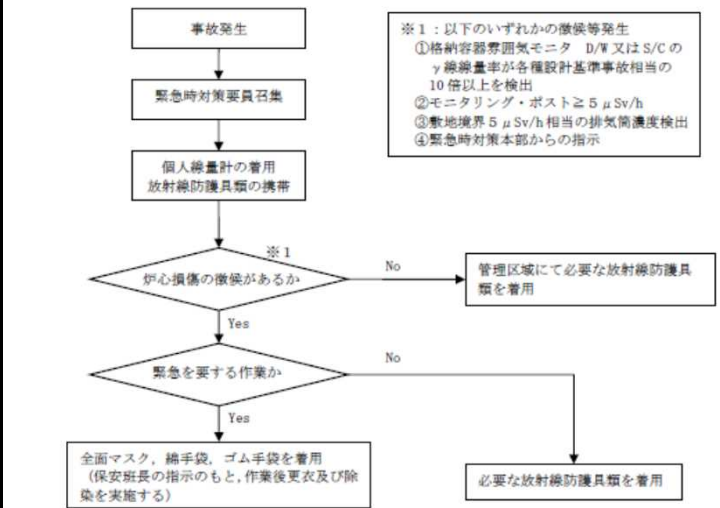
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
11	2.(3)b. (第6表)	1.0.12-12	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>○津波による影響で、保有していた個人線量計（電子式線量計）が使用できなくなり、線量集計等に労力を要した。</td> <td>○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に個人線量計（電子式線量計及びガラスバッジ）を配備する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>○放射性物質の放出に伴い、通常の入退域管理が困難になったため、出入管理拠点の整備に労力を要した。</td> <td>○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所入口にチェンジングエリアを設置し、外部から放射性物質を持ち込まない環境を整備するとともに、総合訓練時に設置訓練を行う。</td> </tr> </table>	3	○津波による影響で、保有していた個人線量計（電子式線量計）が使用できなくなり、線量集計等に労力を要した。	○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に個人線量計（電子式線量計及びガラスバッジ）を配備する。	4	○放射性物質の放出に伴い、通常の入退域管理が困難になったため、出入管理拠点の整備に労力を要した。	○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所入口にチェンジングエリアを設置し、外部から放射性物質を持ち込まない環境を整備するとともに、総合訓練時に設置訓練を行う。	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>○津波による影響で、使用できるアラーム付ポケット線量計（APD）が不足した。</td> <td>○緊急時対策所にアラーム付ポケット線量計（APD）やガラスバッジを配備する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>○免震重要棟緊急時対策本部内の放射性物質に対する環境維持に苦勞した。</td> <td>○緊急時対策所入口にチェンジングプレースを設置し、外部から放射性物質を持ち込まない環境を整備するとともに、総合訓練時に設置訓練を行う。</td> </tr> </table>	3	○津波による影響で、使用できるアラーム付ポケット線量計（APD）が不足した。	○緊急時対策所にアラーム付ポケット線量計（APD）やガラスバッジを配備する。	4	○免震重要棟緊急時対策本部内の放射性物質に対する環境維持に苦勞した。	○緊急時対策所入口にチェンジングプレースを設置し、外部から放射性物質を持ち込まない環境を整備するとともに、総合訓練時に設置訓練を行う。	⑤												
3	○津波による影響で、保有していた個人線量計（電子式線量計）が使用できなくなり、線量集計等に労力を要した。	○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に個人線量計（電子式線量計及びガラスバッジ）を配備する。																											
4	○放射性物質の放出に伴い、通常の入退域管理が困難になったため、出入管理拠点の整備に労力を要した。	○5号炉原子炉建屋内緊急時対策所入口にチェンジングエリアを設置し、外部から放射性物質を持ち込まない環境を整備するとともに、総合訓練時に設置訓練を行う。																											
3	○津波による影響で、使用できるアラーム付ポケット線量計（APD）が不足した。	○緊急時対策所にアラーム付ポケット線量計（APD）やガラスバッジを配備する。																											
4	○免震重要棟緊急時対策本部内の放射性物質に対する環境維持に苦勞した。	○緊急時対策所入口にチェンジングプレースを設置し、外部から放射性物質を持ち込まない環境を整備するとともに、総合訓練時に設置訓練を行う。																											
12	2.(3)c. (第7表)	1.0.12-13~ 14	<p>(前ページからの続き)</p> <table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>○避難事故は起こらないとの思い込みから、必要な資機材の備えが不足した。</td> <td>○物資や人員の輸送がスムーズに行えるよう、大型自動車・けん引等の免許等について社員の資格取得を進めている。また、資格所有者の管理を実施している。 ○飲食料及び生活食品は、発電所で適切な備蓄量を確保するとともに、被災地域外から安定的に物資供給が行われるよう、非常時においても物資を供給できるよう、社外関係企業との連携を強化する。 ○後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を速やかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決めておく（本社、発電所、新潟本部の要員から選任）。 ○実際に原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を立ち上げる訓練を適宜実施する。 ○外部組織である原子力緊急事態支援組織との連携を図る訓練を行い、同組織からの資機材（ロボット）の迅速な輸送に関する訓練を適宜実施する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>○放射性物質による屋外汚染とそれに伴う被ばくの</td> <td>○物流の専門の会社と物資の輸送に関する協定を結ぶとともに、汚染エリアでの輸送にも従事</td> </tr> </table> <p>(前ページからの続き)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>課題</td> <td>対応</td> </tr> <tr> <td></td> <td>問題等が資機材輸送の阻害要因となった。</td> <td>きるよう、輸送部隊に放射線教育を実施する。</td> </tr> </table>	3	○避難事故は起こらないとの思い込みから、必要な資機材の備えが不足した。	○物資や人員の輸送がスムーズに行えるよう、大型自動車・けん引等の免許等について社員の資格取得を進めている。また、資格所有者の管理を実施している。 ○飲食料及び生活食品は、発電所で適切な備蓄量を確保するとともに、被災地域外から安定的に物資供給が行われるよう、非常時においても物資を供給できるよう、社外関係企業との連携を強化する。 ○後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を速やかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決めておく（本社、発電所、新潟本部の要員から選任）。 ○実際に原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を立ち上げる訓練を適宜実施する。 ○外部組織である原子力緊急事態支援組織との連携を図る訓練を行い、同組織からの資機材（ロボット）の迅速な輸送に関する訓練を適宜実施する。	4	○放射性物質による屋外汚染とそれに伴う被ばくの	○物流の専門の会社と物資の輸送に関する協定を結ぶとともに、汚染エリアでの輸送にも従事		課題	対応		問題等が資機材輸送の阻害要因となった。	きるよう、輸送部隊に放射線教育を実施する。	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>○地震・津波による発電所内外の被害により、事故収束対応のための資機材の迅速な輸送、受け渡しができなかった。</td> <td>○物資や人員の輸送がスムーズに行えるよう、大型自動車・けん引等の免許等について社員の資格取得を進めている。また、資格所有者の管理を実施している。 ○飲食料及び生活食品は、発電所で適切な備蓄量を確保するとともに、被災地域外から安定的に物資供給が行われるよう、非常時においても物資を供給できるよう、社外関係企業との連携を強化する。 ○後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、予め派遣する人員を決めておく（本社、発電所、新潟本部の要員から選任）。 ○実際に原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を立ち上げる訓練を適宜実施する。 ○外部組織である原子力緊急事態支援組織との連携を図る訓練を行い、同組織からの資機材（ロボット）の迅速な輸送に関する訓練を適宜実施する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>○通常の管理区域以上の状態が屋外にまで拡大した</td> <td>○物流の専門の会社と物資の輸送に関する協定を結ぶとともに、汚染エリアでの輸送にも従事</td> </tr> </table> <p>(前ページからの続き)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>課題</td> <td>対応</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ため、発電所への必要な物資の輸送に支障を来した。</td> <td>きるよう、輸送部隊に放射線教育を実施する。</td> </tr> </table>	3	○地震・津波による発電所内外の被害により、事故収束対応のための資機材の迅速な輸送、受け渡しができなかった。	○物資や人員の輸送がスムーズに行えるよう、大型自動車・けん引等の免許等について社員の資格取得を進めている。また、資格所有者の管理を実施している。 ○飲食料及び生活食品は、発電所で適切な備蓄量を確保するとともに、被災地域外から安定的に物資供給が行われるよう、非常時においても物資を供給できるよう、社外関係企業との連携を強化する。 ○後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、予め派遣する人員を決めておく（本社、発電所、新潟本部の要員から選任）。 ○実際に原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を立ち上げる訓練を適宜実施する。 ○外部組織である原子力緊急事態支援組織との連携を図る訓練を行い、同組織からの資機材（ロボット）の迅速な輸送に関する訓練を適宜実施する。	4	○通常の管理区域以上の状態が屋外にまで拡大した	○物流の専門の会社と物資の輸送に関する協定を結ぶとともに、汚染エリアでの輸送にも従事		課題	対応		ため、発電所への必要な物資の輸送に支障を来した。	きるよう、輸送部隊に放射線教育を実施する。	⑤
3	○避難事故は起こらないとの思い込みから、必要な資機材の備えが不足した。	○物資や人員の輸送がスムーズに行えるよう、大型自動車・けん引等の免許等について社員の資格取得を進めている。また、資格所有者の管理を実施している。 ○飲食料及び生活食品は、発電所で適切な備蓄量を確保するとともに、被災地域外から安定的に物資供給が行われるよう、非常時においても物資を供給できるよう、社外関係企業との連携を強化する。 ○後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を速やかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決めておく（本社、発電所、新潟本部の要員から選任）。 ○実際に原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を立ち上げる訓練を適宜実施する。 ○外部組織である原子力緊急事態支援組織との連携を図る訓練を行い、同組織からの資機材（ロボット）の迅速な輸送に関する訓練を適宜実施する。																											
4	○放射性物質による屋外汚染とそれに伴う被ばくの	○物流の専門の会社と物資の輸送に関する協定を結ぶとともに、汚染エリアでの輸送にも従事																											
	課題	対応																											
	問題等が資機材輸送の阻害要因となった。	きるよう、輸送部隊に放射線教育を実施する。																											
3	○地震・津波による発電所内外の被害により、事故収束対応のための資機材の迅速な輸送、受け渡しができなかった。	○物資や人員の輸送がスムーズに行えるよう、大型自動車・けん引等の免許等について社員の資格取得を進めている。また、資格所有者の管理を実施している。 ○飲食料及び生活食品は、発電所で適切な備蓄量を確保するとともに、被災地域外から安定的に物資供給が行われるよう、非常時においても物資を供給できるよう、社外関係企業との連携を強化する。 ○後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、予め派遣する人員を決めておく（本社、発電所、新潟本部の要員から選任）。 ○実際に原子力事業所災害対策支援拠点（柏崎エネルギーホール、信濃川電力所）を立ち上げる訓練を適宜実施する。 ○外部組織である原子力緊急事態支援組織との連携を図る訓練を行い、同組織からの資機材（ロボット）の迅速な輸送に関する訓練を適宜実施する。																											
4	○通常の管理区域以上の状態が屋外にまで拡大した	○物流の専門の会社と物資の輸送に関する協定を結ぶとともに、汚染エリアでの輸送にも従事																											
	課題	対応																											
	ため、発電所への必要な物資の輸送に支障を来した。	きるよう、輸送部隊に放射線教育を実施する。																											

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.13 緊急時対策要員の作業時における装備について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価の進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、最適化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	冒頭	1.0.13-1	<p>重大事故等発生時における現場作業では、作業環境が悪化していることが予想され、緊急時対策要員及び運転員等(以下「緊急時対策要員等」という。)は、作業環境に応じ第1表のとおり、必要な装備を着用する。また、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所等との連絡手段の確保のため、通信連絡設備等の重大事故等対処設備を携行し使用する。                      特に初動対応においては、作業環境の調査を待たずに作業を実施するため、適切な装備の選定が必要となる。                      初動対応時における緊急時対策要員等の放射線防護具類については、以下のとおり整備している。また、初動対応時における適切な放射線防護具類の選定については、保安班長が判断し、着用を指示する。</p>	<p>初動対応時における緊急時対策要員の放射線防護具類については、以下のとおり整備している。また、初動対応時における適切な放射線防護具類の選定については、保安班長が判断し、着用を指示する。</p>	⑤
2	1.	1.0.13-1	<p>第1図 放射線防護具の選定方法</p> 	<p>図1 放射線防護具の選定方法</p> 	⑤
3	2.	1.0.13-2	<p>・必要な放射線防護具類は、保安班長が着用について判断した場合に速やかに着用できるよう、常時、中央制御室及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に必要数を保管している。</p>	<p>・必要な放射線防護具類は、保安班長が着用について判断した場合にすみやかに着用できるよう、常時、中央制御室、緊急時対策所に必要数を保管している。</p>	② (免震重要棟の自主化)



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価の進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、最適化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																
4	2.	1.0.13-3	<p>第1表 緊急時対策要員等の初動対応時における装備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">着用基準</th> </tr> <tr> <th>炉心損傷の徴候あり</th> <th>炉心損傷の徴候なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガラスパッチ</td> <td>現場作業を行っていない間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>個人線量計（電子式線量計）</td> <td>必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>綿手袋、ゴム手袋</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服（不織布カバーオール）</td> <td>緊急を要する作業を除き着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>アノラック、汚染作業用長靴、網長靴</td> <td>湿潤作業を行う場合に着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服（タンダステンベスト）</td> <td>移動を伴わない高放射線量下での作業を行う場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>全面マスク（電動ファン付き全面マスクを含む）</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット</td> <td>酸欠等のおそれがある場合着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸器</td> <td>酸欠等のおそれがある場合着用</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>	名称	着用基準		炉心損傷の徴候あり	炉心損傷の徴候なし	ガラスパッチ	現場作業を行っていない間も含め必ず着用	同左	個人線量計（電子式線量計）	必ず着用	同左	綿手袋、ゴム手袋	必ず着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用	汚染防護服（不織布カバーオール）	緊急を要する作業を除き着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用	アノラック、汚染作業用長靴、網長靴	湿潤作業を行う場合に着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用	高線量対応防護服（タンダステンベスト）	移動を伴わない高放射線量下での作業を行う場合に着用	同左	全面マスク（電動ファン付き全面マスクを含む）	必ず着用	管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用	セルフエアセット	酸欠等のおそれがある場合着用	同左	酸素呼吸器	酸欠等のおそれがある場合着用	同左	<p>表1 緊急時対策要員の初動対応時における装備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">着用基準</th> </tr> <tr> <th>炉心損傷の徴候あり</th> <th>炉心損傷の徴候なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガラスパッチ</td> <td>現場作業を行っていない間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>個人線量計（電子式線量計）</td> <td>必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>綿手袋・ゴム手袋</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服（タイベック）</td> <td>緊急を要する作業を除き着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>アノラック・汚染作業用長靴（網長靴）</td> <td>湿潤作業を行う場合に着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服（タンダステンベスト）</td> <td>移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット</td> <td>酸欠等のおそれがある場合着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸器</td> <td>酸欠等のおそれがある場合着用</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>	名称	着用基準		炉心損傷の徴候あり	炉心損傷の徴候なし	ガラスパッチ	現場作業を行っていない間も含め必ず着用	同左	個人線量計（電子式線量計）	必ず着用	同左	綿手袋・ゴム手袋	必ず着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用	汚染防護服（タイベック）	緊急を要する作業を除き着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用	アノラック・汚染作業用長靴（網長靴）	湿潤作業を行う場合に着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用	高線量対応防護服（タンダステンベスト）	移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用	同左	全面マスク	必ず着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用	セルフエアセット	酸欠等のおそれがある場合着用	同左	酸素呼吸器	酸欠等のおそれがある場合着用	同左	<p>③ （原子炉建屋の漏えい率について）</p> <p>⑤</p>
名称	着用基準																																																																				
	炉心損傷の徴候あり	炉心損傷の徴候なし																																																																			
ガラスパッチ	現場作業を行っていない間も含め必ず着用	同左																																																																			
個人線量計（電子式線量計）	必ず着用	同左																																																																			
綿手袋、ゴム手袋	必ず着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用																																																																			
汚染防護服（不織布カバーオール）	緊急を要する作業を除き着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用																																																																			
アノラック、汚染作業用長靴、網長靴	湿潤作業を行う場合に着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用																																																																			
高線量対応防護服（タンダステンベスト）	移動を伴わない高放射線量下での作業を行う場合に着用	同左																																																																			
全面マスク（電動ファン付き全面マスクを含む）	必ず着用	管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用																																																																			
セルフエアセット	酸欠等のおそれがある場合着用	同左																																																																			
酸素呼吸器	酸欠等のおそれがある場合着用	同左																																																																			
名称	着用基準																																																																				
	炉心損傷の徴候あり	炉心損傷の徴候なし																																																																			
ガラスパッチ	現場作業を行っていない間も含め必ず着用	同左																																																																			
個人線量計（電子式線量計）	必ず着用	同左																																																																			
綿手袋・ゴム手袋	必ず着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用																																																																			
汚染防護服（タイベック）	緊急を要する作業を除き着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用																																																																			
アノラック・汚染作業用長靴（網長靴）	湿潤作業を行う場合に着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用																																																																			
高線量対応防護服（タンダステンベスト）	移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用	同左																																																																			
全面マスク	必ず着用	管理区域内で身体汚染のおそれがある湿潤作業を行う場合に着用																																																																			
セルフエアセット	酸欠等のおそれがある場合着用	同左																																																																			
酸素呼吸器	酸欠等のおそれがある場合着用	同左																																																																			
5	3.(3) a. (b)	1.0.13-6	<p>なお、通常の全面マスクよりも容易に声を伝えることが可能な伝声器付き全面マスクについても導入し、訓練を行っている。</p>	<p>なお、通常の全面マスクよりも容易に声を伝えることが可能な伝声器付き全面マスクについても、現在導入を進めている。</p>	⑤																																																																
6	3.(3) b.	1.0.13-7	<p>全交流動力電源喪失等により建屋照明等が使用できない状況を想定し、暗所での作業性について評価を実施した。なお、中央制御室等にヘッドライト、懐中電灯、LEDライト等が配備されている。（第2表、第4図参照）</p>	<p>全交流動力電源喪失等により、建屋照明等が使用できない状況を想定し、暗所における作業性について評価を実施した。</p>	⑤																																																																
7	3.(3) b. (a)	1.0.13-7	<p>暗所作業の成立性を確認するため、可搬型照明（ヘッドライト）を使用して操作を実施する。（第5図参照）</p>	<p>イ. 暗所作業時に使用する可搬型照明として、ヘッドライト、懐中電灯、LEDライトを中央制御室等に配備している。（表2、図4参照）                  ロ. 暗所作業の成立性を確認するため、可搬型照明（ヘッドライト）を使用して操</p>	⑤																																																																
8	3.(3) b. (b)	1.0.13-7	<p>ヘッドライト等の可搬型照明を使用することにより、操作を行うために必要な明るさは十分確保されるため、個別操作時間に有意な影響がないことを確認した。                  なお、より容易に操作が可能となるよう、建屋内の作業エリア、アクセスルートには、バッテリー内蔵型の照明が設置されている。（第6図参照）</p>	<p>ヘッドライトを使用することにより、操作を行うために必要な明るさは十分確保されるため、個別操作時間に有意な影響がないことを確認した。                  なお、より容易に操作が可能となるよう、建屋内の作業エリア、アクセスルートには、バッテリー内蔵型の照明が設置されている。（図6参照）</p>	⑤																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価の進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、最適化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																												
9	3.(3) b.	1.0.13-8	<p>第2表 可搬型照明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>電源種別</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">乾電池内蔵型照明 (ヘッドライト (ヘルメット装着用))</td> <td rowspan="2">乾電池</td> <td>100 個 (運転員全員に配備)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち5号伊定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員22名+予備28 個)</td> <td>5号伊定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">懐中電灯</td> <td rowspan="2">乾電池</td> <td>50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員29名+予備21 個)</td> <td>第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td>20 個 (現場対応10名分+予備10 個)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">懐中電灯</td> <td rowspan="5">乾電池</td> <td>4 個 (管理区域で懐中電灯が使用不可能時の予備)</td> <td>現場控室</td> </tr> <tr> <td>30 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち5号伊定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員22名+予備8 個)</td> <td>5号伊定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td>50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員29名+予備21 個)</td> <td>第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所</td> </tr> <tr> <td>70 個 (保安班、復旧班、自衛消防隊の現場要員90名(5号伊定検事務室又はその近傍の執務又は宿泊場所に配備する30 個と合わせた100 個に対応))</td> <td>5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(対策本部)</td> </tr> <tr> <td>20 個 (中央制御室対応として中央制御室主盤エリア5 個+中央制御室裏盤エリア10 個+中央制御室待避室2 個+予備3 個)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>乾電池内蔵型照明 (ランタンタイプ LED ライト)</td> <td>乾電池</td> <td>60 個 (5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(神機場所)6 個+5号伊原子伊藤屋内アクセスルート44 個+予備10 個)</td> <td>5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(対策本部)</td> </tr> <tr> <td>乾電池内蔵型照明 (三脚タイプ LED ライト)</td> <td>乾電池</td> <td>4 個 (当直主任席2 個+主機操作員席2 個)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>LEDライト (フロアライト)</td> <td>内蔵蓄電池</td> <td>4 個 (非常用ガス処理系配管の補修用2 個+予備2 個)</td> <td>大湊側高台保管場所</td> </tr> <tr> <td>発電機付投光器</td> <td>発電機</td> <td>19 台 (復旧班の夜間屋外作業用19 個)</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数量、保管場所については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p>	名称	電源種別	数量*	保管場所*	乾電池内蔵型照明 (ヘッドライト (ヘルメット装着用))	乾電池	100 個 (運転員全員に配備)	中央制御室	50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち5号伊定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員22名+予備28 個)	5号伊定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	懐中電灯	乾電池	50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員29名+予備21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	20 個 (現場対応10名分+予備10 個)	中央制御室	懐中電灯	乾電池	4 個 (管理区域で懐中電灯が使用不可能時の予備)	現場控室	30 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち5号伊定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員22名+予備8 個)	5号伊定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員29名+予備21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所	70 個 (保安班、復旧班、自衛消防隊の現場要員90名(5号伊定検事務室又はその近傍の執務又は宿泊場所に配備する30 個と合わせた100 個に対応))	5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(対策本部)	20 個 (中央制御室対応として中央制御室主盤エリア5 個+中央制御室裏盤エリア10 個+中央制御室待避室2 個+予備3 個)	中央制御室	乾電池内蔵型照明 (ランタンタイプ LED ライト)	乾電池	60 個 (5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(神機場所)6 個+5号伊原子伊藤屋内アクセスルート44 個+予備10 個)	5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(対策本部)	乾電池内蔵型照明 (三脚タイプ LED ライト)	乾電池	4 個 (当直主任席2 個+主機操作員席2 個)	中央制御室	LEDライト (フロアライト)	内蔵蓄電池	4 個 (非常用ガス処理系配管の補修用2 個+予備2 個)	大湊側高台保管場所	発電機付投光器	発電機	19 台 (復旧班の夜間屋外作業用19 個)	荒浜側及び大湊側高台保管場所	<p>表2 可搬型照明</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量*</th> <th>保管場所*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘッドライト</td> <td>乾電池式</td> <td>約 1000 個</td> <td>全所に配備 (運転員含む)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">懐中電灯</td> <td rowspan="3">乾電池式</td> <td>20 個</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>4 個</td> <td>現場控室</td> </tr> <tr> <td>27 個</td> <td>事務本館又は初動要員宿泊所</td> </tr> <tr> <td>LEDライト (ランタンタイプ)</td> <td>乾電池式</td> <td>4 個</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LEDライト (三脚タイプ)</td> <td rowspan="2">乾電池式</td> <td>60 個</td> <td>3号伊原子伊藤屋内</td> </tr> <tr> <td>4 個</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型照明設備</td> <td rowspan="2">発電機付投光器</td> <td>135 個</td> <td>免震重要棟内</td> </tr> <tr> <td>19 台</td> <td>荒浜側及び大湊側高台保管場所</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数量、保管場所については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p>	名称	仕様	数量*	保管場所*	ヘッドライト	乾電池式	約 1000 個	全所に配備 (運転員含む)	懐中電灯	乾電池式	20 個	中央制御室	4 個	現場控室	27 個	事務本館又は初動要員宿泊所	LEDライト (ランタンタイプ)	乾電池式	4 個	中央制御室	LEDライト (三脚タイプ)	乾電池式	60 個	3号伊原子伊藤屋内	4 個	中央制御室	可搬型照明設備	発電機付投光器	135 個	免震重要棟内	19 台	荒浜側及び大湊側高台保管場所	<p>② (免震重要棟の自主化)</p>
			名称	電源種別	数量*	保管場所*																																																																											
乾電池内蔵型照明 (ヘッドライト (ヘルメット装着用))	乾電池	100 個 (運転員全員に配備)	中央制御室																																																																														
		50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち5号伊定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員22名+予備28 個)	5号伊定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																														
懐中電灯	乾電池	50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員29名+予備21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																														
		20 個 (現場対応10名分+予備10 個)	中央制御室																																																																														
懐中電灯	乾電池	4 個 (管理区域で懐中電灯が使用不可能時の予備)	現場控室																																																																														
		30 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち5号伊定検事務室又はその近傍で執務及び宿泊する要員22名+予備8 個)	5号伊定検事務室又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																														
		50 個 (原子力防災組織の初動態勢時に5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所に参加する要員のうち第二企業センター又はその近傍で執務及び宿泊する要員29名+予備21 個)	第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所																																																																														
		70 個 (保安班、復旧班、自衛消防隊の現場要員90名(5号伊定検事務室又はその近傍の執務又は宿泊場所に配備する30 個と合わせた100 個に対応))	5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(対策本部)																																																																														
		20 個 (中央制御室対応として中央制御室主盤エリア5 個+中央制御室裏盤エリア10 個+中央制御室待避室2 個+予備3 個)	中央制御室																																																																														
乾電池内蔵型照明 (ランタンタイプ LED ライト)	乾電池	60 個 (5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(神機場所)6 個+5号伊原子伊藤屋内アクセスルート44 個+予備10 個)	5号伊原子伊藤屋内緊急時対策所(対策本部)																																																																														
乾電池内蔵型照明 (三脚タイプ LED ライト)	乾電池	4 個 (当直主任席2 個+主機操作員席2 個)	中央制御室																																																																														
LEDライト (フロアライト)	内蔵蓄電池	4 個 (非常用ガス処理系配管の補修用2 個+予備2 個)	大湊側高台保管場所																																																																														
発電機付投光器	発電機	19 台 (復旧班の夜間屋外作業用19 個)	荒浜側及び大湊側高台保管場所																																																																														
名称	仕様	数量*	保管場所*																																																																														
ヘッドライト	乾電池式	約 1000 個	全所に配備 (運転員含む)																																																																														
懐中電灯	乾電池式	20 個	中央制御室																																																																														
		4 個	現場控室																																																																														
		27 個	事務本館又は初動要員宿泊所																																																																														
LEDライト (ランタンタイプ)	乾電池式	4 個	中央制御室																																																																														
LEDライト (三脚タイプ)	乾電池式	60 個	3号伊原子伊藤屋内																																																																														
		4 個	中央制御室																																																																														
可搬型照明設備	発電機付投光器	135 個	免震重要棟内																																																																														
		19 台	荒浜側及び大湊側高台保管場所																																																																														
10	3.(3) c. (a)	1.0.13-10	中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所、及び現場間での通信連絡設備として、送受話器(ページング)、電力保安通信用電話設備、携帯型音声呼出電話設備、無線連絡設備及び衛星電話設備等の通信連絡設備を整備している。	中央制御室、緊急時対策所、及び現場間での通信手段として、送受話器(ページング)、電力保安通信用電話設備、携帯型音声呼出電話設備、無線連絡設備及び衛星電話設備等の通信連絡設備を整備している。	② (免震重要棟の自主化)																																																																												
11	3.(3) c. (b)	1.0.13-10	なお、通常の全面マスクよりも容易に声を伝えることが可能な伝声器付き全面マスクについても導入し、訓練を行っている。	なお、通常の全面マスクよりも容易に声を伝えることが可能な伝声器付き全面マスクについても、現在導入を進めている。	⑤																																																																												



## まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.14 技術的能力対応手段と有効性評価比較表, 技術的能力対応手段と運転手順等比較表

**【変更理由の類型化】**

- ①指摘事項対応による変更・修正    ②設計進捗, 設備変更による変更・修正    ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正            ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	添付資料 1.0.14	1~6	表1 技術的能力対応手段と有効性評価比較表  主な変更点は以下のとおり。 ・技術的能力まとめ資料(1.1~1.16)の修正を反映 ・比較結果(「●」「○」)の適正化等	表1 技術的能力対応手段と有効性評価比較表 1~5ページ	② (運転操作手順書の最新版反映に伴う再整理) ⑤
2	添付資料 1.0.14	7~12	表2 技術的能力対応手段と運転手順等比較表  主な変更点は以下のとおり。 ・AOPの列削除 (全交流動力電源喪失の対応手順をEOPに変更したため) ・停止時EOPの列追加 ・各種手順書の見直しによる変更 ・比較結果の凡例変更(「○」のみ→「●」「○」) (「間接的に機器の作動, 操作あり」を追加) ・技術的能力まとめ資料(1.1~1.19)の修正を反映 ・比較結果(「●」「○」)の適正化等	表2 技術的能力対応手段と運転手順等比較表 6~11ページ	② (運転操作手順書の最新版反映に伴う再整理) ⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.15 原子炉格納容器の長期にわたる状態維持に係る体制の整備について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由															
1	2.(1) (第1表)	1.0.15-3	<table border="1"> <tr> <td>原子炉格納容器バウン ダリが維持されない除 熱手段</td> <td>格納容器ベント</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>耐圧強化ベント系</td> <td>○</td> </tr> </table>	原子炉格納容器バウン ダリが維持されない除 熱手段	格納容器ベント	格納容器圧力逃がし装置	○			耐圧強化ベント系	○	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">格納容器バウンダリが 確保されない除熱手段</td> <td>フィルタベント</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地下式フィルタベント</td> <td>○</td> </tr> </table>	格納容器バウンダリが 確保されない除熱手段	フィルタベント	○	耐圧強化ベント	○	地下式フィルタベント	○	②(設計進捗による地下式フィルタベントの削除) ⑤
原子炉格納容器バウン ダリが維持されない除 熱手段	格納容器ベント	格納容器圧力逃がし装置	○																	
		耐圧強化ベント系	○																	
格納容器バウンダリが 確保されない除熱手段	フィルタベント	○																		
	耐圧強化ベント	○																		
	地下式フィルタベント	○																		
2	2.(2)	1.0.15-5,6	<p>第1-2図 代替原子炉補機冷却系 系統概要図                      第1-3図 残留熱除去系 系統概要図                      第1-4図 格納容器圧力逃がし装置及び耐圧強化ベント系 系統概要図</p>	図1-2 残留熱除去系及び格納容器ベント	⑤															
3	3.(1)	1.0.15-8	代替循環冷却系は, 残留熱除去系による冷却機能を喪失した場合に使用する系統である。	代替循環冷却系は, 残留熱除去系による格納容器からの除熱能力を喪失した場合に使用する系統である。	⑤															
4	3.(1)	1.0.15-8	代替循環冷却系では, サプレッション・チェンバからのプール水の吸込み及び原子炉格納容器内へのスプレイとして, 残留熱除去系のB系を使用することを想定(原子炉圧力容器への注水はA系を想定)している。このため, 残留熱除去系の復旧に際しては, 代替循環冷却系の影響を受ける可能性が最も低いC系を復旧することを想定する。	代替循環冷却系では, サプレッションプールからのプール水の吸込み, 及び, 原子炉及び格納容器への注水に, 残留熱除去系のB系を使用することを想定(原子炉への注水はA系も想定)している。このため, 残留熱除去系の復旧に際しては, 代替循環冷却の影響を受ける可能性が最も低いC系を復旧することを想定する。	⑤															
5	3.(1)	1.0.15-8	6号炉については, 第3図に示すとおり, 代替循環冷却系の運転により高線量となる配管は, 残留熱除去系(C)ポンプ室及び同上部ハッチ付近から離れており, ポンプ室及び同上部ハッチ付近にアクセス可能である。	6号炉については, 図3に示すとおり, 代替循環冷却系統の運転により高線量となる配管は, 残留熱除去系(C)ポンプ室, 及び, 同上部ハッチ付近から離れており, アクセスは可能であると考ええる。	⑤															
6	4.(1)	1.0.15-11	また, 原子炉補機冷却海水ポンプ電動機及び原子炉補機冷却水ポンプ電動機の予備品を重大事故により同時に影響を受けない場所に保管している。	また, 電動機の予備品を重大事故により同時に影響を受けない場所に保管している。	⑤															
7	4.(1)	1.0.15-11	また, 防潮堤等の津波対策及び原子炉建屋内の内部溢水対策により区分分離されていること, さらに, 改良型沸騰水型軽水炉の残留熱除去系は3系統あることから, 福島第一原子力発電所事故のように複数の残留熱除去系が浸水により同時に機能喪失することはない。	一方, 残留熱除去系については, 防潮堤等の津波対策及び原子炉建屋内の内部溢水対策により区分分離されていること, 万が一の溢水がポンプ室に流入してもRHRポンプ室排水ポンプを設置していること, 更にABWRの残留熱除去系は3系統あることから, 福島第一原子力発電所事故のように複数の残留熱除去系が浸水により同時に機能喪失することはないと考えられる。	⑤															
8	5.1(1)	1.0.15-21	第7図に可搬型格納容器除熱系統の系統概要図を示す。	(記載なし)	⑤															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
9	5.1(2)	1.0.15-22	<p>第8図に示される高圧炉心注水系ポンプ(B室内における高圧炉心注水系復水貯蔵槽側吸込逆止弁(B)付近の雰囲気線量は、原子炉格納容器からの漏えいにより約26.1mSv/hとなる。</p> <p>第9図に示されるB系弁室内における残留熱除去系注入ライン洗浄水入口逆止弁(B)付近の雰囲気線量は、原子炉格納容器からの漏えいにより約12.8mSv/hとなる。</p> <p>原子炉建屋大物搬入口における可搬熱交換器配備箇所の雰囲気線量は、原子炉格納容器からの漏えいにより約21.7mSv/hとなる。</p>	<p>HPCFポンプB室内におけるHPCF復水貯蔵槽側吸込逆止弁(B)付近の雰囲気線量は、格納容器からの漏えいにより約19mSv/hとなる。</p> <p>B系弁室内における残留熱除去系注入ライン洗浄水入口逆止弁(B)付近の雰囲気線量は、格納容器からの漏えいにより約6.5mSv/hとなる。</p> <p>原子炉建屋大物搬入口における可搬熱交換器配備箇所の雰囲気線量は、格納容器からの漏えいにより約11mSv/hとなる。</p>	③(被ばく評価の進捗による修正)
10	5.2(1)	1.0.15-24	<p>第10図にサブプレッションプール浄化系ポンプによる格納容器除熱系統の系統概要図を示す。</p>	(記載なし)	⑤
11	5.2(2)	1.0.15-27	<p>第11図に示されるサブプレッションプール浄化系ポンプ室内におけるサブプレッションプール浄化系ポンプ吐出弁付近の雰囲気線量は、原子炉格納容器からの漏えいにより約22.8mSv/hとなる。</p> <p>第12図に示されるB系弁室内における残留熱除去系注入ライン洗浄水入口逆止弁(B)付近の雰囲気線量は、原子炉格納容器からの漏えいにより約12.8mSv/hとなる。</p> <p>原子炉建屋大物搬入口における可搬熱交換器配備箇所の雰囲気線量は、原子炉格納容器からの漏えいにより約21.7mSv/hとなる。</p>	<p>SPCUポンプ室内におけるSPCUポンプ吐出弁付近の雰囲気線量は、格納容器からの漏えいにより約17mSv/hとなる。</p> <p>B系弁室内における残留熱除去系注入ライン洗浄水入口逆止弁(B)付近の雰囲気線量は、格納容器からの漏えいにより約6.5mSv/hとなる。</p> <p>原子炉建屋大物搬入口における可搬熱交換器配備箇所の雰囲気線量は、格納容器からの漏えいにより約11mSv/hとなる。</p>	③(被ばく評価の進捗による修正)
12	5.3(1)	1.0.15-28	<p>第13図及び第14図に代替原子炉補機冷却系を用いた原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱の系統概要図を示す。</p>	(記載なし)	⑤
13	参考資料 1 1.	1.0.15-31	<p>福島第一原子力発電所では、以下の汚染水処理設備が稼働している。 セシウム除去装置(ストロンチウムも除去可能な設備) 多核種除去設備(62核種を告示濃度限度未満にすることが可能) ストロンチウム除去装置 以下に、福島第一原子力発電所で運用している汚染水処理設備について概要を記す。</p> <p>※ 告示濃度限度未満とは「東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関して必要な事項を定める告示」で定められた濃度未満であることを意味する。</p>	<p>福島第一原子力発電所では、以下の水処理設備が稼働している。 セシウム除去装置(ストロンチウムも除去可能な設備) 多核種除去設備(62核種を告示濃度限度未満にすることが可能) ストロンチウム除去装置 以下に、福島第一原子力発電所で運用している水処理設備について概要を記す。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
14	参考資料 1 1.(1)	1.0.15-32	<p>除去能力: ・Cs 吸着運転時 放射性セシウムを1/1,000~1/100,000程度に低減する。(設計目標値)</p> <p>・Cs/Sr 同時吸着運転時 放射性セシウムを1/1,000~1/100,000程度に低減する。(設計目標値) 放射性ストロンチウムを1/10~1/1,000程度に低減する。(設計目標値)</p> <p>処理能力:1,200m3/日 (4 系列:Cs 吸着運転) 600m3/日 (2 系列:Cs/Sr 同時吸着運転)</p>	<p>除去能力:セシウムを1/1,000~1/100,000に低減する。また, 設備の構成を変更したことで, ストロンチウムを1/10~1/1000に低減する。 処理能力:600m3/日 (セシウムの場合1,200m3/日)</p>	⑤
15	参考資料 1 1.(2)	1.0.15-33	<p>除去能力:放射性セシウムを1/10,000~1/1,000,000に低減する。(設計目標値) 処理能力:1,200m3/日</p>	<p>除去能力:セシウムを1/10,000~1/1,000,000に低減する。また, 設備の構成を変更したことで, ストロンチウムを1/10~1/1000に低減する。 処理能力:1,200m3/日</p>	⑤
16	参考資料 1 1.(7)	1.0.15-38	<p>(7) RO濃縮水処理設備(本設備は, RO濃縮水の処理完了に伴い廃止済) 設備概要 除去能力:放射性ストロンチウムを1/100~1/1,000へ低減。</p>	<p>(7) RO濃縮水処理設備 設備概要 除去能力:ストロンチウムを1/10~1/1,000へ低減。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について  
 章/項番号: 1.0 重大事故等対策における共通事項 添付資料1.0.16 重大事故等時における停止号炉の影響について

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	冒頭	1.0.16-1	また、6号及び7号炉の使用済燃料プールを含めた事故対応においても当該号炉の要員及び資源が十分であることを	また、6号及び7号炉の使用済燃料プールを含めた事故対応においても当該号炉の資源が十分であることを	⑤
2	1.	1.0.16-1	第1図に示すとおり第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所から5号炉原子炉建屋内緊急時対策所へのアクセス性を確保する必要がある。	図1に示すとおり免震重要棟内緊急時対策所から5号炉原子炉建屋内緊急時対策所へのアクセス性を確保する必要がある。	②(免震重要棟の自主化)
3	1.(2)	1.0.16-2	(消防法で定められた指定数量以上を貯蔵していると想定した場合)	(消防法で定められた指定数量以上を貯蔵)	⑤
4	1.(3)	1.0.16-2	1～4号炉周辺、5～7号炉周辺いずれも、タンクからの溢水影響を評価しており、周辺の空地が平坦かつ広大であり、周辺の道路上及び排水設備を自然流下し、拡散することからアクセスルートへの影響はない。	1～4号炉周辺、5～7号炉周辺いずれも、タンクからの溢水影響を評価しており、周辺の空地が平坦かつ広大であることから周辺の道路上及び排水設備を自然流下し比較的短時間で拡散することからアクセスルート及び可搬型設備の走行への影響がない。	⑤
5	1.(4)	1.0.16-2	1～4号炉周辺、5～7号炉周辺のアクセスルート近傍において、屋外に設置されている運用中の薬品タンクは液化窒素貯槽のみであり、漏えいした場合であっても外気に拡散することから、漏えいによる影響は限定的である。	1～4号炉周辺、5～7号炉周辺のアクセスルート近傍において、屋外に設置されている運用中の薬品タンクは液化窒素貯槽のみであることから、建屋内ガスによる影響はない。	⑤
6	2.(1)	1.0.16-2	なお、水源評価に際しては1～5号炉における消火活動による水の消費を考慮する。	なお、水源評価に際してはすべての号炉における消火活動による水の消費を考慮する。	⑤
7	2.(3) a.	1.0.16-3	重大事故等時に必要な1～5号炉の対応操作、6号及び7号炉の使用済燃料プールの対応操作については、各号炉の中央制御室に常駐している運転員、自衛消防隊、緊急時対策要員、10時間以降の発電所外からの参集要員にて対応可能である。	重大事故発生時に必要な1～5号炉、6号及び7号炉の使用済燃料プールの対応操作については、各号炉の中央制御室に常駐している運転員、自衛消防隊、緊急時対策要員、10時間以降の発電所外からの参集要員にて対応可能である。	⑤
8	2.(3) b.(a)	1.0.16-3	6号及び7号炉において、水源の使用量が最も多い「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)代替循環冷却を使用しない場合」を想定すると、原子炉への注水及び格納容器内にスプレイを実施するため、7日間で号炉あたり約7,400m <sup>3</sup> の水が必要となる(6号及び7号炉で約14,800m <sup>3</sup> )。また、第3表に示すとおり、6号及び7号炉における使用済燃料プールへの注水量(通常水位までの回復、水位維持)は、7日間の対応を考慮すると、約2,529m <sup>3</sup> の水が必要となる(6号及び7号炉で合計約17,329m <sup>3</sup> )。	6号及び7号炉において、水源の使用量が最も多い「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)」を想定すると、炉心注水及び格納容器スプレイの実施のため、7日間で号炉当たり約7,300m <sup>3</sup> の水が必要となる(6号及び7号炉で約14,600m <sup>3</sup> )。また、表3に示すとおり、6号及び7号炉における使用済燃料プールへの注水量(通常水位までの回復、水位維持)は、7日間の対応を考慮すると、約2,551m <sup>3</sup> の水が必要となる(6号及び7号炉で合計約17,151m <sup>3</sup> )。	③(水源評価における条件の見直し) ⑤
9	2.(3) b.(a)	1.0.16-3	1～5号炉において、スロッシングによる水位低下の発生後に、遮蔽に必要な高さまで水位を回復させ、蒸発による水位低下を防止するための必要な水量は7日間の対応を考慮すると、約5,896m <sup>3</sup> となる。	1～5号炉において、スロッシングによる水位低下の発生後に、遮蔽に必要な高さまで水位を回復させ、蒸発による水位低下を防止するための必要な水量は7日間の対応を考慮すると、約6,048m <sup>3</sup> となる。	③(使用水量評価における条件の見直し)
10	2.(3) b.(a)	1.0.16-3	1～5号炉における水源として、第3表に示す各号炉の必要な水量を各号炉の復水貯蔵槽、ろ過水タンク、純水タンク及びサプレッション・チェンパのプールにて確保する運用であることから、6号及び7号炉における水源を用いなくても1～5号炉の7日間の対応が可能である <sup>*1</sup> 。	1～5号炉における水源として、表3に示す各必要な水量を各号炉の復水貯蔵槽、ろ過水タンク、純水タンク及びサプレッション・チェンパのプールにて確保する運用であることから、6号及び7号炉における水源を用いなくても1～5号炉の7日間の対応が可能である(1～5号炉で合計約6,048m <sup>3</sup> )。	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
11	2.(3) b.(a)	1.0.16-4	また、スロッシングによる水位低下により、線量率が上昇し原子炉建屋最上階での使用済燃料プールへの注水操作が困難になる場合に備え、消火系、常設代替交流電源設備又は電源車により給電した残留熱除去系、復水補給水系、燃料プール補給水系等、当該現場作業を必要としない注水手段を確保している。さらに、あらかじめ注水用ホースを設置することで、原子炉建屋最上階での注水操作が可能な設計としている。	また、スロッシングによる水位低下により、線量率が上昇しオペレーティングフロアでの使用済燃料プールへの注水操作が困難になる場合に備え、消火系、ガスタービン発電機又は電源車により給電した残留熱除去系、復水補給水系、燃料プール補給水系等、当該現場作業を必要としない注水手段を確保している。さらに、あらかじめ注水用ホースを設置することで、原子炉建屋最上階下での注水操作が可能な設計としている。	⑤
12	2.(3) b.(a)	1.0.16-4	1～5号炉の注水及び給電に用いる設備の台数と共用の関係は第4表に示すとおりである。常設代替交流電源設備は発電所全体で4台保有しており、6号及び7号炉での重大事故等の対応に必要な台数は2台であるため、予備機を1～5号炉での対応で使用することも可能である。	注水及び給電に用いる設備の台数と共用の関係は表4に示すとおりである。空冷式ガスタービン発電機は発電所全体として4台の保有を計画しており、6号及び7号炉での重大事故等の対応に必要な台数は第一ガスタービン発電機又は第二ガスタービン発電機のいずれか1台であるため、予備機を1～5号炉での対応で使用することも可能である。	②(GTGを1プラント1台の運用に変更したため) ⑤
13	2.(3) b.(a)	1.0.16-4	※1 使用済燃料プール(原子炉ウエル及びD/Sピットを含む)の通常水位までの回復を想定した場合、1～5号炉においては、内部火災に対する消火活動に必要な水量と合わせ、合計約10,792m <sup>3</sup> の水が必要となる(1～7号炉で合計約13,321m <sup>3</sup> )。	※:使用済燃料プール(原子炉ウエル及びD/Sピットを含む)の通常水位までの回復を想定した場合、1～5号炉においては、内部火災に対する消火活動に必要な水量と合わせ、合計約12,706m <sup>3</sup> の水が必要となる(1～7号炉で合計約15,257m <sup>3</sup> )。	③(水源及び使用水量評価における条件の見直し) ⑤
14	2.(3) b.(a)	1.0.16-4	したがって、使用済燃料プールの通常水位までの回復及び運転中の原子炉での事故対応を想定すると、1～7号炉にて合計約28,121m <sup>3</sup> の水が必要である。しかし、6号及び7号炉の復水貯蔵槽及び淡水貯水池における保有水は約21,400m <sup>3</sup> であり、1～5号炉の復水貯蔵槽、ろ過水タンク、純水タンク、サプレッション・チェンバ・プール等の確保される保有水量は約5,800m <sup>3</sup> 以上である(合計約27,200m <sup>3</sup> 以上)。これらの合計量は、6号及び7号炉の重大事故等対応及び1～5号炉の内部火災(7日間で5箇所)への対応を実施した上で、1～5号炉の使用済燃料プール(原子炉ウエル及びD/Sピットを含む)の水位を通常水位から約0.5m下の水位まで回復させ、その後7日間の水位維持が可能となる水量である。7日以降については十分時間余裕があるため、外部からの水源供給や支援等にも期待できることから、1～5号炉の使用済燃料プールの水位を通常水位まで回復させることが可能である。	したがって、使用済燃料プールの通常水位までの回復を想定すると、1～7号炉にて合計約29,857m <sup>3</sup> の水が必要であるが、6号及び7号炉の復水貯蔵槽及び淡水貯水池における保有水は約21,400m <sup>3</sup> であり、1～5号炉の各号炉の復水貯蔵槽、ろ過水タンク、純水タンク、サプレッションチェンバのプール及び防火水槽の最低限確保される保有水量は約6,228m <sup>3</sup> である(合計約27,628m <sup>3</sup> )。これらの合計量は、6号及び7号炉及び内部火災(7日間で5箇所)への対応を実施した上で、1～5号炉の使用済燃料プール(原子炉ウエル及びD/Sピットを含む)の水位を通常水位一約1mまで回復させ、その後、7日間の水位維持を可能となる水量である。7日以降については十分時間余裕があるため、外部からの水源供給や支援等にも期待できることから、1～5号炉の使用済燃料プールの水位を通常水位まで回復させることが可能である。	③(水源及び使用水量評価における条件の見直し) ⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	2.(3) b.(b)	1.0.16-4	6号及び7号炉において、軽油の使用量が最も多い「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」を想定すると、非常用ディーゼル発電機(3台/号炉あたり)の7日間の運転継続に号炉あたり約753kL <sup>※2</sup> 、復水貯蔵槽補給用可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(4台/号炉あたり)の7日間の運転継続に号炉あたり約15kL、代替原子炉補機冷却系専用の電源車(2台/号炉あたり)の7日間の運転継続に号炉あたり約37kL <sup>※2</sup> 、代替原子炉補機冷却系用の大容量送水車(熱交換器ユニット用)の7日間の運転継続に号炉あたり約11kLの軽油が必要となる。また、6号及び7号炉の使用済燃料プールへの注水には、使用済燃料プール代替注水系(可搬型)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6号及び7号炉で8台)の7日間の運転継続に約30kLが必要となる <sup>※3</sup> 。	6号及び7号炉において、軽油の使用量が最も多い「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」を想定すると、非常用ディーゼル発電機(3台)の7日間の運転継続に号炉当たり約751kL <sup>※</sup> 、復水貯蔵槽補給用可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(3台)の7日間の運転継続に号炉当たり約10kL <sup>※</sup> 、代替原子炉補機冷却系専用の電源車(2台)の7日間の運転継続に号炉当たり約37kL <sup>※</sup> 、使用済燃料プール代替注水系(可搬)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6号及び7号炉で2台)の7日間の運転継続に約7kL <sup>※</sup> が必要となる。	②(送水ラインの変更) ③(燃費の変更) ⑤
16	2.(3) b.(b)	1.0.16-5	加えて、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備及びモニタリング・ポスト用発電機の7日間運転継続は約13kL <sup>※2</sup> の軽油が必要となる(6号及び7号炉での事故対応、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備及びモニタリング・ポスト用発電機にて使用する軽油:合計約1,674kL)。	加えて、免震重要棟ガスタービン発電機及びモニタリングポスト用仮設発電機(3台)の7日間運転継続は約79kL <sup>※</sup> の軽油が必要となる(6号及び7号炉での事故対応、免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機及びモニタリング・ポスト用発電機にて使用する軽油:合計約1682kL)。	②(免震重要棟の自主化) ③(燃費の変更)
17	2.(3) b.(b)	1.0.16-5	6号及び7号炉の各軽油タンクにて約1,020kL(6号及び7号炉合計約2,040kL)の軽油を保有しており、これらの使用が可能であることから、6号及び7号炉の原子炉及び使用済燃料プールの事故対応、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備及びモニタリング・ポスト用発電機への電源供給について、7日間の対応は可能である。	6号及び7号炉の各軽油タンクにて約1,020kL(6号及び7号炉合計約2,040kL)の軽油を保有しており、これらの使用が可能であることから、6号及び7号炉の原子炉及び使用済燃料プールの事故対応、緊急時対策所への電源供給及びモニタリング・ポストへの電源供給について、7日間の対応は可能である。	②(免震重要棟の自主化) ⑤
18	2.(3) b.(b)	1.0.16-5	1~5号炉の使用済燃料プールの注水設備への電源供給に使用する軽油の使用量として、保守的に最大負荷で非常用ディーゼル発電機(2台/号炉あたり)が起動した場合を想定しており(「(1)想定する重大事故等」では常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の軽油を上回る保守的な想定)、7日間で号炉あたりの必要な軽油は約632kLとなる(1~5号炉で合計約3,160kL)。なお、1~5号炉における使用済燃料プールへの注水と、内部火災が発生した号炉における消火活動に対して、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(注水と消火でそれぞれ1台)の7日間の運転継続に約22kLが必要となる。	1~5号炉の使用済燃料プールの注水設備への電源供給に使用する軽油の使用量として、保守的に全出力で非常用ディーゼル発電機(2台)が起動した場合を想定しており(「(1)想定する重大事故等」では常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の軽油を上回る保守的な想定)、7日間で号炉当たりの必要な軽油は約632kLとなる(1~5号炉で合計約3,160kL)。なお、1~5号炉における使用済燃料プールへの注水と、火災が発生した号炉での消火活動に対して、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(注水と消火でそれぞれ1台)の7日間の運転継続を仮定すると約20kL <sup>※</sup> が必要となる。	③(燃費の変更) ⑤
19	2.(3) b.(b)	1.0.16-5	※3 使用済燃料プールへの必要な補給量は小さく時間余裕も長いことから、復水貯蔵槽の補給に使用している可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いて注水を実施することも可能であるが、軽油の消費量の計算においては保守的に復水貯蔵槽の補給に使用している可搬型代替注水ポンプ(A-2級)とは別の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いて使用済燃料プールへの補給を行うことを想定する。	(記載なし)	⑤ (記載の拡充)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
20	3.(1)	1.0.16-6	6号及び7号炉への対応に必要となる <b>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所における活動</b> 、及び重大事故等対策に関する作業、アクセスルートの移動による現場の線量率を評価する際において、 <b>1～5号炉の状態は放射線遮蔽の観点で厳しい使用済燃料プールの全保有水喪失を想定する。</b> 1～5号炉の使用済燃料プールで全保有水が喪失した場合の現場線量率の概略を <b>第3図</b> に示す。	6号及び7号炉への対応に必要となる緊急時対策所機能、及び重大事故等対策に関する作業、アクセスルートの移動による現場の線量率を評価する際において、各号炉の状態は放射線遮蔽の観点で厳しい1～5号炉の使用済燃料プールの全保有水喪失を想定する。 1～5号炉の使用済燃料プールで全保有水が喪失した場合の現場線量率を図3に、線量率の概略を示す。	②(免震重要棟の自主化) ⑤
21	3.(2) a.	1.0.16-6	a. 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所における活動への影響 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に最も近い5号炉の使用済燃料プールにおいて、高線量場が発生した場合の5号炉原子炉建屋内緊急時対策所での線量率の評価結果は、以下の資料で示す <b>とおり</b> 6号及び7号炉の重大事故等時対応に影響するものではない。 ・61条 緊急時対策所(補足説明資料) 61-10 緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価について 添付資料12「使用済燃料プール等の燃料等による影響について」	a. 免震重要棟内緊急時対策所及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所における活動への影響 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に最も近い5号炉の使用済燃料プールにおいて、高線量場が発生した場合の、免震重要棟内緊急時対策所及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所での線量率の評価結果は以下の資料で示す通り、6号及び7号炉の重大事故時対応に影響するものではない。 ・緊急時対策所の居住性 添付資料12 「使用済燃料プール等の燃料等による影響について」	②(免震重要棟の自主化) ⑤
22	3.(2) b.(a)	1.0.16-7	(a) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への参集 <b>及び保管場所への移動による影響</b> 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への参集については、 <b>第二企業センター又はその近傍に設置する執務場所又は宿泊場所からのアクセスルートにおける周辺斜面の崩落、敷地下斜面のすべりを考慮した徒歩の総移動時間は約25分</b> であり、各エリアでの移動時間及び <b>第3図の現場線量率の関係より移動にかかる被ばく線量は約2mSv</b> となる。 また、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所への移動等における被ばく線量の一例として、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所から荒浜側高台保管場所(保守性を考慮し最も1～4号炉寄りの場所)への移動を考える。周辺斜面の崩落、敷地下斜面のすべりを考慮した場合、徒歩での総移動時間は約30分であり、各エリアでの移動時間及び <b>第3図の現場線量率の関係より移動にかかる被ばく線量は約3mSv</b> となる。 なお、線量率の高いエリアは限られることから、これらを極力避けることにより、被ばく線量を抑えることができる。また、徒歩での移動に比べ車両で移動した場合は総移動時間及び被ばく線量はより小さくなる。  よって、高線量場の発生を含め、1～5号炉に重大事故等が発生した場合であっても、6号及び7号炉の重大事故等への対応作業のためのアクセスは可能であり、重大事故等時における活動が可能である。	1) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への参集・作業への影響 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所については、免震重要棟内緊急時対策所からの周辺斜面の崩落、敷地下斜面のすべりを考慮した徒歩の総移動時間は約72分であり、各エリアでの移動時間及び <b>図3の現場線量率の関係より移動にかかる被ばく線量は16mSv</b> となる。したがって、重大事故等発生時における活動が可能である。	②(免震重要棟の自主化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】  
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																
23	第1表	1.0.16-9	<p>第1表 想定する各号伊の状態</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>6号及び7号伊</th> <th>1~5号伊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)+SRV再開失敗」</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「崩壊熱除去機能喪失 (取水機能が喪失した場合)」</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サイフォン現象による漏えいは、各号伊 (1~7号伊) のサイフォン発生防止用の逆止弁及びサイフォンブレイク孔により停止される。したがって、この漏えいによる影響はスロッシングによる溢水に包絡されるため、使用済燃料プールからの漏えいは、スロッシングによる漏えいを想定する。</p> <p>※2 燃料については消費量の観点から非常用ディーゼル発電機の運転継続を想定する。</p> <p>※3 使用済燃料プールへの注水が必要となるスロッシングの発生を想定する。</p> <p>※4 6号及び7号伊は大規模地震が強化されることから、1~5号伊での内部火災の発生を想定する。また、1~5号伊で複数の内部火災を想定することが考えられるが、時間差で発生することを想定し、全交流動力電源喪失及び使用済燃料プールでのスロッシングと同時に発生する内部火災としては1つの号伊とする。ただし、消火活動に必要な水源は、5号伊 (1~5号伊) 分の消費を想定する。</p>	項目	6号及び7号伊	1~5号伊	要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)+SRV再開失敗」</li> </ul>		水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>	燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「崩壊熱除去機能喪失 (取水機能が喪失した場合)」</li> </ul>		<p>表1 想定する各号伊の状態</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>6号及び7号伊</th> <th>1~5号伊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※3</sup></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サイフォン現象による漏えいは、各号伊 (1~7号伊) のサイフォン発生防止用の逆止弁及びサイフォンブレイク孔により停止される。したがって、この漏えいによる影響はスロッシングによる溢水に包絡されるため、使用済燃料プールからの漏えいは、スロッシングによる漏えいを想定する。</p> <p>※2 燃料については消費量の観点から非常用ディーゼル発電機の運転継続を想定する。</p> <p>※3 6号及び7号伊は大規模地震が強化されることから、1~5号伊での内部火災を想定する。また、1~5号伊で複数の内部火災を想定することが考えられるが、時間差で発生することを想定し、全交流動力電源喪失及び使用済燃料プールでのスロッシングと同時に発生する内部火災としては1つの号伊とする。ただし、消火活動に必要な水源は、5プラント分の消費を想定する。</p>	項目	6号及び7号伊	1~5号伊	要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul>		水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※3</sup></li> </ul>	燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul>		⑤																		
項目	6号及び7号伊	1~5号伊																																																			
要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)+SRV再開失敗」</li> </ul>																																																				
水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生<sup>※3</sup></li> <li>内部火災<sup>※4</sup></li> </ul>																																																			
燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>																																																				
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「崩壊熱除去機能喪失 (取水機能が喪失した場合)」</li> </ul>																																																				
項目	6号及び7号伊	1~5号伊																																																			
要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul>																																																				
水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>内部火災<sup>※3</sup></li> </ul>																																																			
燃料	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源喪失<sup>※2</sup></li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」</li> </ul>																																																				
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流動力電源喪失</li> <li>使用済燃料プールでのスロッシング発生</li> <li>「想定事故2 (使用済燃料プール漏えい)」<sup>※1</sup></li> <li>「全交流電源喪失 (外部電源喪失+DG喪失)」</li> </ul>																																																				
24	第2表	1.0.16-10	<p>第2表 同時被災時の1~5号伊の対応操作、6号及び7号伊の使用済燃料プールの対応操作、必要な要員及び資源</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要となる対応操作</th> <th>対応操作概要</th> <th>対応要員</th> <th>必要な資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限</td> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の長時間供給のための負荷制限を実施する</td> <td>運転員</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内部火災に対する消火活動</td> <td>建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する</td> <td>自衛消防隊 (運転員を含む)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 180m<sup>3</sup> (36m<sup>3</sup>/号伊×5 (1~5号伊))</li> <li>○燃料 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 4kL (21L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ: 約 6kL (32L/h×24h×7日×1台)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>各注水系 (復水補給水系、燃料プール補給水系、消火系、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) ) による使用済燃料プールへの注水</td> <td>各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの崩壊熱の継続的な除去を行う</td> <td>運転員及び10時間以降の発電所外からの参集要員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 (詳細は第2表参照) 1号伊: 約 280m<sup>3</sup> 2号伊: 約 1,401m<sup>3</sup> 3号伊: 約 1,425m<sup>3</sup> 4号伊: 約 1,366m<sup>3</sup> 5号伊: 約 1,424m<sup>3</sup> 6号伊: 約 8,654m<sup>3</sup> 7号伊: 約 8,675m<sup>3</sup> ※6号及び7号伊については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」で想定している水源も含む</li> <li>○燃料 1~5号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 18kL (21L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 38kL (21L/h×24h×7日×4台/号伊)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備等による給電</td> <td>常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する</td> <td>緊急時対策要員及び運転員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料 非常用ディーゼル発電機: 約 3,160kL (1,879L/h×24h×7日×10台) ※全交流動力電源喪失のため、実際は常設代替交流電源設備で給電することになるが、燃料消費量を保守的に見積もる観点から、非常用ディーゼル発電機 (2台/号伊) の運転を想定</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>燃料給油作業</td> <td>常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に給油を行う</td> <td>緊急時対策要員</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源	非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の長時間供給のための負荷制限を実施する	運転員	-	内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊 (運転員を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 180m<sup>3</sup> (36m<sup>3</sup>/号伊×5 (1~5号伊))</li> <li>○燃料 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 4kL (21L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ: 約 6kL (32L/h×24h×7日×1台)</li> </ul>	各注水系 (復水補給水系、燃料プール補給水系、消火系、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) ) による使用済燃料プールへの注水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの崩壊熱の継続的な除去を行う	運転員及び10時間以降の発電所外からの参集要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 (詳細は第2表参照) 1号伊: 約 280m<sup>3</sup> 2号伊: 約 1,401m<sup>3</sup> 3号伊: 約 1,425m<sup>3</sup> 4号伊: 約 1,366m<sup>3</sup> 5号伊: 約 1,424m<sup>3</sup> 6号伊: 約 8,654m<sup>3</sup> 7号伊: 約 8,675m<sup>3</sup> ※6号及び7号伊については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」で想定している水源も含む</li> <li>○燃料 1~5号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 18kL (21L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 38kL (21L/h×24h×7日×4台/号伊)</li> </ul>	常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料 非常用ディーゼル発電機: 約 3,160kL (1,879L/h×24h×7日×10台) ※全交流動力電源喪失のため、実際は常設代替交流電源設備で給電することになるが、燃料消費量を保守的に見積もる観点から、非常用ディーゼル発電機 (2台/号伊) の運転を想定</li> </ul>	燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に給油を行う	緊急時対策要員	-	<p>表2 同時被災時の1~5号伊、6号及び7号伊の使用済燃料プールの対応操作、必要な要員及び資源</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要となる対応操作</th> <th>対応操作概要</th> <th>対応要員</th> <th>必要な資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限</td> <td>非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び、直流電源の延命のための負荷制限を実施する</td> <td>運転員</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内部火災に対する消火活動</td> <td>建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する</td> <td>自衛消防隊 (運転員を含む)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 180m<sup>3</sup> (36m<sup>3</sup>/プラント×5プラント)</li> <li>○燃料 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 4kL (18L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ: 約 6kL (32L/h×24h×7日×1台)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>各注水系による使用済燃料プール (復水補給水系、燃料プール補給水系、消火系、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) ) による使用済燃料プールへの給水</td> <td>各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの崩壊熱の継続的な除去を行う</td> <td>運転員及び10時間以降の発電所外からの参集要員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 (詳細は表3参照) 1号伊: 約 321m<sup>3</sup> 2号伊: 約 1,401m<sup>3</sup> 3号伊: 約 1,425m<sup>3</sup> 4号伊: 約 1,366m<sup>3</sup> 5号伊: 約 1,532m<sup>3</sup> 6号伊: 約 8,565m<sup>3</sup> 7号伊: 約 8,589m<sup>3</sup> ※6号及び7号伊については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損)」で想定している水源も含む</li> <li>○燃料 1~5号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 16kL (18L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 7kL (18L/h×24h×7日×2台)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備等による給電</td> <td>常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する</td> <td>緊急時対策要員及び運転員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料 常設代替交流電源設備: 約 960kL (1,705L/h×24h×7日×3台)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>燃料給油作業</td> <td>常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に給油を行う</td> <td>緊急時対策要員</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源	非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び、直流電源の延命のための負荷制限を実施する	運転員	-	内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊 (運転員を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 180m<sup>3</sup> (36m<sup>3</sup>/プラント×5プラント)</li> <li>○燃料 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 4kL (18L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ: 約 6kL (32L/h×24h×7日×1台)</li> </ul>	各注水系による使用済燃料プール (復水補給水系、燃料プール補給水系、消火系、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) ) による使用済燃料プールへの給水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの崩壊熱の継続的な除去を行う	運転員及び10時間以降の発電所外からの参集要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 (詳細は表3参照) 1号伊: 約 321m<sup>3</sup> 2号伊: 約 1,401m<sup>3</sup> 3号伊: 約 1,425m<sup>3</sup> 4号伊: 約 1,366m<sup>3</sup> 5号伊: 約 1,532m<sup>3</sup> 6号伊: 約 8,565m<sup>3</sup> 7号伊: 約 8,589m<sup>3</sup> ※6号及び7号伊については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損)」で想定している水源も含む</li> <li>○燃料 1~5号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 16kL (18L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 7kL (18L/h×24h×7日×2台)</li> </ul>	常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料 常設代替交流電源設備: 約 960kL (1,705L/h×24h×7日×3台)</li> </ul>	燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に給油を行う	緊急時対策要員	-	③(水源評価における条件の見直し、給電設備の評価条件の見直し、燃費の変更) ⑤
必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源																																																		
非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び直流電源の長時間供給のための負荷制限を実施する	運転員	-																																																		
内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊 (運転員を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 180m<sup>3</sup> (36m<sup>3</sup>/号伊×5 (1~5号伊))</li> <li>○燃料 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 4kL (21L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ: 約 6kL (32L/h×24h×7日×1台)</li> </ul>																																																		
各注水系 (復水補給水系、燃料プール補給水系、消火系、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) ) による使用済燃料プールへの注水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの崩壊熱の継続的な除去を行う	運転員及び10時間以降の発電所外からの参集要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 (詳細は第2表参照) 1号伊: 約 280m<sup>3</sup> 2号伊: 約 1,401m<sup>3</sup> 3号伊: 約 1,425m<sup>3</sup> 4号伊: 約 1,366m<sup>3</sup> 5号伊: 約 1,424m<sup>3</sup> 6号伊: 約 8,654m<sup>3</sup> 7号伊: 約 8,675m<sup>3</sup> ※6号及び7号伊については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損) (代替補償冷却を使用しない場合)」で想定している水源も含む</li> <li>○燃料 1~5号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 18kL (21L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 38kL (21L/h×24h×7日×4台/号伊)</li> </ul>																																																		
常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料 非常用ディーゼル発電機: 約 3,160kL (1,879L/h×24h×7日×10台) ※全交流動力電源喪失のため、実際は常設代替交流電源設備で給電することになるが、燃料消費量を保守的に見積もる観点から、非常用ディーゼル発電機 (2台/号伊) の運転を想定</li> </ul>																																																		
燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に給油を行う	緊急時対策要員	-																																																		
必要となる対応操作	対応操作概要	対応要員	必要な資源																																																		
非常用ディーゼル発電機等の現場確認、直流電源の負荷制限	非常用ディーゼル発電機等の現場の状態確認及び、直流電源の延命のための負荷制限を実施する	運転員	-																																																		
内部火災に対する消火活動	建屋内での火災を想定し、当該火災に対する現場確認・消火活動を実施する	自衛消防隊 (運転員を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 180m<sup>3</sup> (36m<sup>3</sup>/プラント×5プラント)</li> <li>○燃料 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 4kL (18L/h×24h×7日×1台) 又は ディーゼル駆動消火ポンプ: 約 6kL (32L/h×24h×7日×1台)</li> </ul>																																																		
各注水系による使用済燃料プール (復水補給水系、燃料プール補給水系、消火系、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) ) による使用済燃料プールへの給水	各注水系による使用済燃料プールへの給水を行い、使用済燃料からの崩壊熱の継続的な除去を行う	運転員及び10時間以降の発電所外からの参集要員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水源 (詳細は表3参照) 1号伊: 約 321m<sup>3</sup> 2号伊: 約 1,401m<sup>3</sup> 3号伊: 約 1,425m<sup>3</sup> 4号伊: 約 1,366m<sup>3</sup> 5号伊: 約 1,532m<sup>3</sup> 6号伊: 約 8,565m<sup>3</sup> 7号伊: 約 8,589m<sup>3</sup> ※6号及び7号伊については有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧・過温破損)」で想定している水源も含む</li> <li>○燃料 1~5号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 16kL (18L/h×24h×7日×5台) 6号及び7号伊 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) : 約 7kL (18L/h×24h×7日×2台)</li> </ul>																																																		
常設代替交流電源設備等による給電	常設代替交流電源設備等による給電・受電操作を実施する	緊急時対策要員及び運転員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料 常設代替交流電源設備: 約 960kL (1,705L/h×24h×7日×3台)</li> </ul>																																																		
燃料給油作業	常設代替交流電源設備及び可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に給油を行う	緊急時対策要員	-																																																		



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

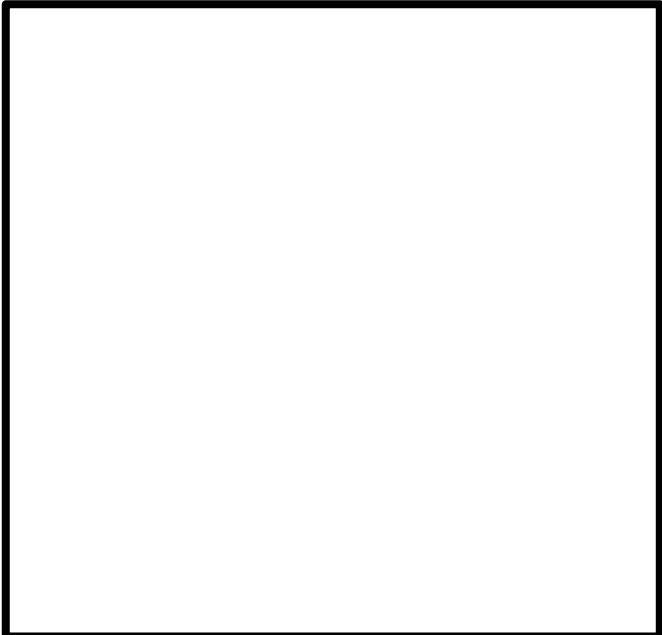

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
25	第3表	1.0.16-11	<p>第3表 各号炉の必要な水量（平成26年10月時点での燃焼熱により計算）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">KK1</th> <th colspan="2">KK2</th> <th colspan="2">KK3</th> <th colspan="2">KK4</th> <th colspan="2">KK5</th> <th colspan="2">KK6</th> <th colspan="2">KK7</th> </tr> <tr> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉心燃料</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> </tr> <tr> <td>原子炉開放状態</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">未開放（プールゲート閉）</td> </tr> <tr> <td>水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> </tr> <tr> <td>想定するプラントの状態</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> </tr> <tr> <td>スロッシング臨水量<sup>①</sup> [a]</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> </tr> <tr> <td>60℃到達までの時間 [hour]</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>100℃到達までの時間 [hour]</td> <td>91</td> <td>100</td> <td>85</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>②</sup> [a]</td> <td>84</td> <td>52</td> <td>76</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>③</sup> [a]</td> <td>336</td> <td>471</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> </tr> <tr> <td>通常運転水位 [オーバーフロー水位] から必要な注へい水位までの必要注水量<sup>④</sup> [a]</td> <td>4.0</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>⑤</sup> [a]</td> <td>200</td> <td>1,401</td> <td>1,425</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>⑥</sup> [a]</td> <td>1,956</td> <td>2,172</td> <td>2,196</td> <td>2,115</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 1～5号炉の注水量は、6号及び7号炉の評価結果に基づきスロッシングによる注水量を設定（1～5号炉の使用済燃料プールは6号及び7号炉に比べて保水容量やプール表面積が小さいため注水量は少なく考えられる。また、必要な注水量は原子炉開放状態（プールゲート開放状態）を考慮して評価。 ※2 「必要な注水量」②：崩壊による水位低下防止に必要な注水量。「必要な注水量」③：必要な運転水位（原子炉建屋最上層のフロアでの現地の燃焼熱が10a/s以下となる水位（運転水位の計算に用いた各号炉の燃焼熱の強度は保守的な6号及び7号炉の燃焼熱を参照））まで回復させ、その後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。「必要な注水量」④：通常水位までの回復及びその後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。「必要な注水量」⑤：通常水位までの回復及びその後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。「必要な注水量」⑥：通常水位までの回復及びその後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。</p>		KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7		停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	炉心燃料	全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		原子炉開放状態	開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		未開放（プールゲート閉）		水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	想定するプラントの状態	スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシング臨水量 <sup>①</sup> [a]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	60℃到達までの時間 [hour]	38	42	38	45	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	100℃到達までの時間 [hour]	91	100	85	107	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	必要な注水量 <sup>②</sup> [a]	84	52	76	43	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	必要な注水量 <sup>③</sup> [a]	336	471	396	492	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	通常運転水位 [オーバーフロー水位] から必要な注へい水位までの必要注水量 <sup>④</sup> [a]	4.0	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	必要な注水量 <sup>⑤</sup> [a]	200	1,401	1,425	1,366	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	必要な注水量 <sup>⑥</sup> [a]	1,956	2,172	2,196	2,115	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	<p>表3 各号炉の必要な水量（平成26年10月時点での燃焼熱により計算）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">KK1</th> <th colspan="2">KK2</th> <th colspan="2">KK3</th> <th colspan="2">KK4</th> <th colspan="2">KK5</th> <th colspan="2">KK6</th> <th colspan="2">KK7</th> </tr> <tr> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> <th>停炉中</th> <th>運転中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉心燃料</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> <td colspan="2">全燃料取り出し</td> </tr> <tr> <td>原子炉開放状態</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">開放（プールゲート開放）</td> <td colspan="2">未開放（プールゲート閉）</td> </tr> <tr> <td>水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> <td>ウェルプール水位</td> </tr> <tr> <td>想定するプラントの状態</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> <td colspan="2">スロッシングによる崩壊・全交差動力発生</td> </tr> <tr> <td>スロッシング臨水量<sup>①</sup> [a]</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> <td>710</td> </tr> <tr> <td>60℃到達までの時間 [hour]</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>100℃到達までの時間 [hour]</td> <td>91</td> <td>100</td> <td>85</td> <td>107</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>②</sup> [a]</td> <td>84</td> <td>52</td> <td>76</td> <td>43</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>③</sup> [a]</td> <td>336</td> <td>471</td> <td>396</td> <td>492</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> <td>398</td> </tr> <tr> <td>通常運転水位 [オーバーフロー水位] から必要な注へい水位までの必要注水量<sup>④</sup> [a]</td> <td>4.0</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>⑤</sup> [a]</td> <td>200</td> <td>1,401</td> <td>1,425</td> <td>1,366</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> <td>1,424</td> </tr> <tr> <td>必要な注水量<sup>⑥</sup> [a]</td> <td>1,956</td> <td>2,172</td> <td>2,196</td> <td>2,115</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> <td>2,173</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 1～5号炉の注水量は、6号及び7号炉の評価結果に基づきスロッシングによる注水量を設定（1～5号炉の使用済燃料プールは6号及び7号炉に比べて保水容量やプール表面積が小さいため注水量は少なく考えられる。また、必要な注水量は原子炉開放状態（プールゲート開放状態）を考慮して評価。 ※2 「必要な注水量」②：崩壊による水位低下防止に必要な注水量。「必要な注水量」③：必要な運転水位（原子炉建屋最上層のフロアでの現地の燃焼熱が10a/s以下となる水位（運転水位の計算に用いた各号炉の燃焼熱の強度は保守的な6号及び7号炉の燃焼熱を参照））まで回復させ、その後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。「必要な注水量」④：通常水位までの回復及びその後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。「必要な注水量」⑤：通常水位までの回復及びその後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。「必要な注水量」⑥：通常水位までの回復及びその後の水位維持に必要な注水量（使用済燃料プール、原子炉ウェル及びB/Dピットを考慮）。</p>		KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7		停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	炉心燃料	全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		原子炉開放状態	開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		未開放（プールゲート閉）		水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	想定するプラントの状態	スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシング臨水量 <sup>①</sup> [a]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	60℃到達までの時間 [hour]	38	42	38	45	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	100℃到達までの時間 [hour]	91	100	85	107	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	必要な注水量 <sup>②</sup> [a]	84	52	76	43	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	必要な注水量 <sup>③</sup> [a]	336	471	396	492	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398	通常運転水位 [オーバーフロー水位] から必要な注へい水位までの必要注水量 <sup>④</sup> [a]	4.0	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	必要な注水量 <sup>⑤</sup> [a]	200	1,401	1,425	1,366	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	必要な注水量 <sup>⑥</sup> [a]	1,956	2,172	2,196	2,115	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	<p>③（使用水量評価における条件の見直し）</p>
	KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
炉心燃料	全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉開放状態	開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		未開放（プールゲート閉）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
想定するプラントの状態	スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
スロッシング臨水量 <sup>①</sup> [a]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
60℃到達までの時間 [hour]	38	42	38	45	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
100℃到達までの時間 [hour]	91	100	85	107	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>②</sup> [a]	84	52	76	43	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>③</sup> [a]	336	471	396	492	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
通常運転水位 [オーバーフロー水位] から必要な注へい水位までの必要注水量 <sup>④</sup> [a]	4.0	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>⑤</sup> [a]	200	1,401	1,425	1,366	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>⑥</sup> [a]	1,956	2,172	2,196	2,115	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	KK1		KK2		KK3		KK4		KK5		KK6		KK7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中	停炉中	運転中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
炉心燃料	全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し		全燃料取り出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉開放状態	開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		開放（プールゲート開放）		未開放（プールゲート閉）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位	ウェルプール水位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
想定するプラントの状態	スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生		スロッシングによる崩壊・全交差動力発生																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
スロッシング臨水量 <sup>①</sup> [a]	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710	710																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
60℃到達までの時間 [hour]	38	42	38	45	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
100℃到達までの時間 [hour]	91	100	85	107	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>②</sup> [a]	84	52	76	43	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>③</sup> [a]	336	471	396	492	398	398	398	398	398	398	398	398	398	398																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
通常運転水位 [オーバーフロー水位] から必要な注へい水位までの必要注水量 <sup>④</sup> [a]	4.0	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>⑤</sup> [a]	200	1,401	1,425	1,366	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424	1,424																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
必要な注水量 <sup>⑥</sup> [a]	1,956	2,172	2,196	2,115	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173	2,173																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
26	第4表	1.0.16-12	<p>第4表 1～5号炉の注水及び給電に用いる設備の台数</p> <p>記載は設置台数であり、○内はその系統のみで注水するに必要な台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="5">共通</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>4号炉</th> <th>5号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器運転</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機内給排水</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料プール供給水</td> <td>2 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水 (サイゼセル駆動ポンプ)</td> <td>1</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1</td> <td>1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な台数に順次注水を実施していくことが可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2線)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交差電源設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4台のうち、6号及び7号炉で用いなかったものを活用することも可能。</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)</td> </tr> </tbody> </table>	設備	共通					備考	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	機器運転	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	機内給排水	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	燃料プール供給水	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—	消火水 (サイゼセル駆動ポンプ)	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な台数に順次注水を実施していくことが可能。	可搬型代替注水ポンプ (A-2線)	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)	常設代替交差電源設備	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉で用いなかったものを活用することも可能。	電源車	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)	<p>表4 1～5号炉の注水及び給電に用いる設備の台数</p> <p>記載は設置台数であり、○内はその系統のみで注水するに必要な台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="5">共通</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>4号炉</th> <th>5号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器運転</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機内給排水</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>3 (○)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料プール供給水</td> <td>2 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>1 (○)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水 (サイゼセル駆動ポンプ)</td> <td>1</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1号炉と共通</td> <td>1</td> <td>1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な台数に順次注水を実施していくことが可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2線)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)</td> </tr> <tr> <td>常設代替交差電源設備</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4台のうち、6号及び7号炉で用いなかったものを活用することも可能。</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)</td> </tr> </tbody> </table>	設備	共通					備考	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	機器運転	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	機内給排水	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—	燃料プール供給水	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—	消火水 (サイゼセル駆動ポンプ)	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な台数に順次注水を実施していくことが可能。	可搬型代替注水ポンプ (A-2線)	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)	常設代替交差電源設備	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉で用いなかったものを活用することも可能。	電源車	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)	<p>②（GTGを1プラント1台の運用に変更したため）</p> <p>⑤</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
設備	共通					備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機器運転	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
機内給排水	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
燃料プール供給水	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
消火水 (サイゼセル駆動ポンプ)	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な台数に順次注水を実施していくことが可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
可搬型代替注水ポンプ (A-2線)	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
常設代替交差電源設備	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉で用いなかったものを活用することも可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
電源車	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
設備	共通					備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機器運転	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
機内給排水	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	3 (○)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
燃料プール供給水	2 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	1 (○)	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
消火水 (サイゼセル駆動ポンプ)	1	1号炉と共通	1号炉と共通	1号炉と共通	1	1～4号炉は共通の消火ポンプを使用。5～7号炉は共通の消火ポンプを使用。十分時間余裕があるため、1台を用いて、必要な台数に順次注水を実施していくことが可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
可搬型代替注水ポンプ (A-2線)	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
常設代替交差電源設備	—	—	—	—	—	4台のうち、6号及び7号炉で用いなかったものを活用することも可能。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
電源車	—	—	—	—	—	必要な台数に対して十分な台数を保有 (1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
27	第1図	1.0.16-13	 <p>第1図 柏崎刈羽原子力発電所におけるアクセスルート</p>	 <p>図1 柏崎刈羽原子力発電所におけるアクセスルート</p>	<p>② (荒浜側徒歩ルート(事務建屋～荒浜側高台保管場所)の詳細設計確定による変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
28	第3図	1.0.16-15	 <p>第3図 線量率の概略とアクセスルート</p>	 <p>図3 線量率の概略とアクセスルート (免震重要棟内緊急時対策所から5号伊原子伊達屋内緊急時対策所, 大液側高台保管場所の例)</p>	② (免震重要棟の 自主化) ⑤
29	第4図	1.0.16-16	 <p>第4図 線量率の概略分布 (5~7号炉周辺)</p>	 <p>図4 線量率の概略分布 (5~7号炉周辺)</p>	⑤
30	参考	1.0.16-17	使用済燃料プールの保有水が全喪失した場合であっても, 崩壊熱量が小さいときには, 露出した使用済燃料が, 空気自然対流により冷却維持が可能と考えられる。	使用済燃料プールの保有水が全喪失した場合であっても, 崩壊熱量が小さいときには, 露出した使用済燃料が, 空気自然対流により冷却される場合が考えられる。	⑤



まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

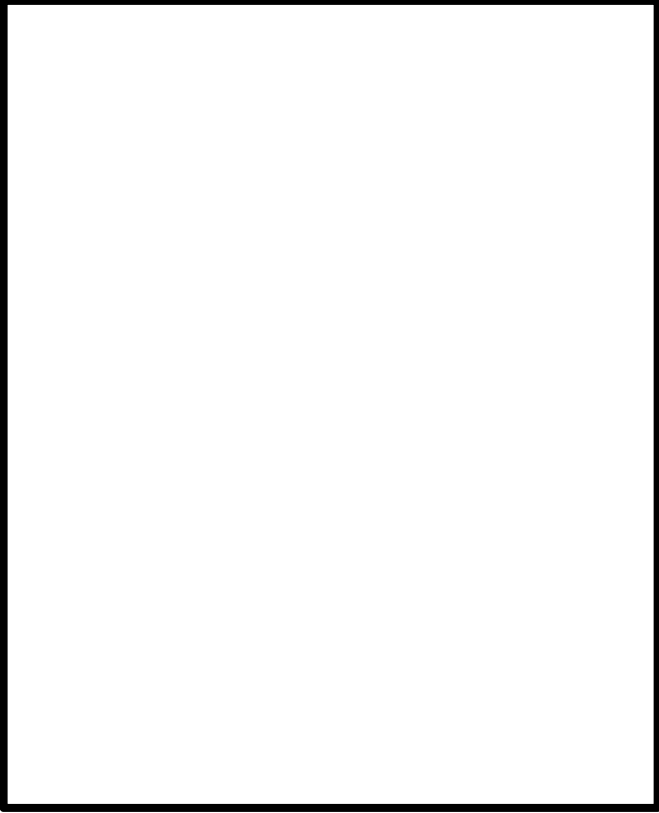
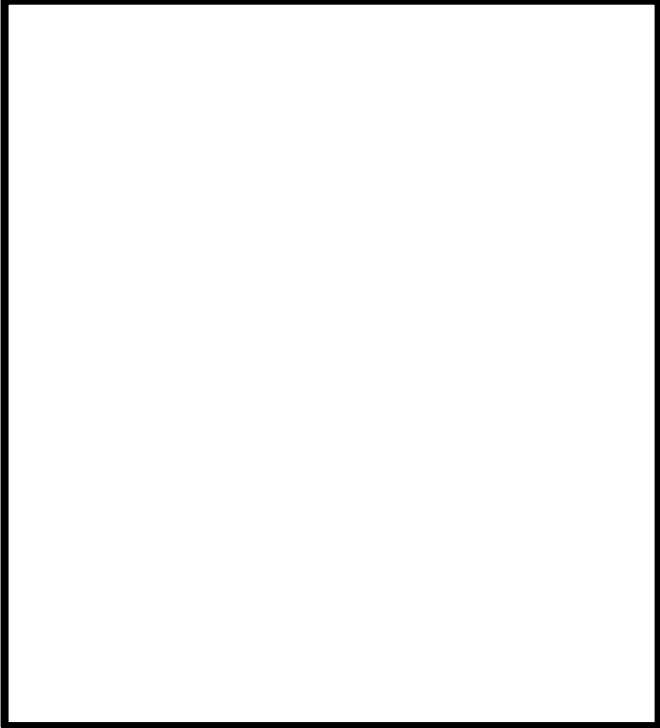
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																
31	参考	1.0.16-17	電力中央研究所による使用済燃料プールの事故時の過渡解析※3によると、使用済燃料プールにおいて <b>全保有水喪失</b> が発生しても、使用済燃料プール内の全崩壊熱が約1MW以下の場合、気相の自然循環冷却と使用済燃料プール壁への輻射伝熱により被覆管の健全性は維持されるとしている	電力中央研究所による使用済燃料プールの事故時の過渡解析※3によると、使用済燃料プールにおいて瞬時のLOCAが発生しても、使用済燃料プール内の全崩壊熱が約1MW以下の場合、気相の自然循環冷却と使用済燃料プール壁への輻射伝熱により被覆管の健全性は維持されるとしている	⑤																																																
32	参考	1.0.16-17	現在の1～5号炉における使用済燃料プール内の燃料集合体の全崩壊熱 <b>及び1体当たりの崩壊熱</b> は、参考第1表に示すとおり、各号炉とも1MW未満と低く、評価での想定より建屋の壁面の除熱を多く考慮できることから、使用済燃料は空気自然対流による冷却でも健全性が維持されるものと考えられる。	現在の1～5号炉における使用済燃料プール内の燃料集合体の全崩壊熱は、参考表1に示すとおり、各号炉とも1MW未満と低く、評価での想定より建屋の壁面の除熱を多く考慮できることから、使用済燃料は空気自然対流による冷却でも健全性が維持されるものと考えられる。	⑤																																																
33	参考第1表	1.0.16-18	<p style="text-align: center;">参考第1表 使用済燃料の崩壊熱の比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>解析ケース</th> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>4号炉</th> <th>5号炉</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全崩壊熱 (MW)</td> <td>1.01</td> <td>約0.7</td> <td>約0.5</td> <td>約0.5</td> <td>約0.4</td> <td>約0.7</td> <td>1～5号炉：平成27年1月時点※</td> </tr> <tr> <td>集合体1体当たり (kW)</td> <td>0.84</td> <td>約0.5</td> <td>約0.3</td> <td>約0.6</td> <td>約0.3</td> <td>約0.5</td> <td>1～5号炉：平成27年1月時点※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価時点で原子炉圧力容器内にあった燃料は使用済燃料プールにあるものとする</p>	項目	解析ケース	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	備考	全崩壊熱 (MW)	1.01	約0.7	約0.5	約0.5	約0.4	約0.7	1～5号炉：平成27年1月時点※	集合体1体当たり (kW)	0.84	約0.5	約0.3	約0.6	約0.3	約0.5	1～5号炉：平成27年1月時点※	<p style="text-align: center;">参考表1 使用済燃料の崩壊熱の比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>解析ケース</th> <th>1号炉</th> <th>2号炉</th> <th>3号炉</th> <th>4号炉</th> <th>5号炉</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全崩壊熱 (MW)</td> <td>1.01</td> <td>約0.5</td> <td>約0.5</td> <td>約0.5</td> <td>約0.4</td> <td>約0.5</td> <td>1～5号炉：平成27年1月時点</td> </tr> <tr> <td>集合体1体当たり (kW)</td> <td>0.84</td> <td>約0.5</td> <td>約0.3</td> <td>約0.6</td> <td>約0.3</td> <td>約0.5</td> <td>1～5号炉：平成27年1月時点</td> </tr> </tbody> </table>	項目	解析ケース	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	備考	全崩壊熱 (MW)	1.01	約0.5	約0.5	約0.5	約0.4	約0.5	1～5号炉：平成27年1月時点	集合体1体当たり (kW)	0.84	約0.5	約0.3	約0.6	約0.3	約0.5	1～5号炉：平成27年1月時点	<p>②(GTGを1プラント1台の運用に変更したため)</p> <p>⑤</p>
項目	解析ケース	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	備考																																														
全崩壊熱 (MW)	1.01	約0.7	約0.5	約0.5	約0.4	約0.7	1～5号炉：平成27年1月時点※																																														
集合体1体当たり (kW)	0.84	約0.5	約0.3	約0.6	約0.3	約0.5	1～5号炉：平成27年1月時点※																																														
項目	解析ケース	1号炉	2号炉	3号炉	4号炉	5号炉	備考																																														
全崩壊熱 (MW)	1.01	約0.5	約0.5	約0.5	約0.4	約0.5	1～5号炉：平成27年1月時点																																														
集合体1体当たり (kW)	0.84	約0.5	約0.3	約0.6	約0.3	約0.5	1～5号炉：平成27年1月時点																																														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正  
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
34	参考第1図	1.0.16-19	 <p data-bbox="663 1177 864 1200">参考第1図 解析モデル</p>	 <p data-bbox="1435 1091 1615 1114">参考図1 解析モデル</p>	<p data-bbox="1962 762 2101 817">⑤ (記載の拡充)</p>